「とうきょう こども アンケート」報告書

（令和7年調査）

令和7年 11 月

東京都子供政策連携室

目次

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的 1
2. 調査の項目 1
3. 調査の設計 1
4. 検討会議 1
5. 調査機関 1
6. 各調査対象の設問数 2
7. 回収結果 2

標本抽出方法 3
標本サイズの配分 3
抽出 4
報告書の見方 5

Ⅱ. 調査結果

1. 子供編

問1. あなたの性別は何ですか。 6
問2. あなたの住んでいる区市町村はどこですか。 7
問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。
（A 私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある） 8
（B 私が困っていたら近所の人が助けてくれる） 10
（C 近所の大人たちは私にやさしい） 12
（D 大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる） 14
（E 子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる） 16
（F 近所の人たち同士がお互いに助け合っている） 18
問4. あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。 20
問5. あなたが安心して遊べる場所はどこですか。 23
問6. あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。 28
問7. あなたは、週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。 31
問8. 過去 1 年以内に、あなたの住む地域で、危険な目にあったことはありますか。 33
問9. あなたは東京が好きですか。 36
問 10. 問 9 で、その選択肢を選んだ理由は何ですか。 39
問 11. あなたが、20年後に一番叶えたいことは何ですか。 45
問 12. 問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。 50
問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。 52
問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。 54
問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。
（A 将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う） 56

（B　ボランティアをしたいと思う）.....58
（C　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある）.....60
（D　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している）.....62
（E　未来の社会を良くするために何か行動しようと思う）.....64
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）.....66
（G　機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）.....68
問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。
（A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ）.....70
（B　学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）.....72
（C　学ぶことが楽しい）.....74
（D　良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない）.....76
問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。.....78
問 18. あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。.....81
問 19. あなたは学習や進路に関して、どのようなサポートがあればよいと思いますか。.....84
問 20. あなたは学校に所属または就労（アルバイトを含む）していますか。.....87
問 21. あなたは学校または職場が好きですか。.....89
問 22. 学校について、不満に感じることはありますか。.....91
問 23. 学校が嫌いで休むことはありますか。.....96
問 24. 1 か月のうち、学校に行かないで休む日はどれくらいありますか。.....98
問 25. あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　自分にとって居心地が良い）.....100
（B　自分の意見が言える）.....102
（C　自分の意見が採用される）.....104
（D　自分のことを自分で決められる）.....106
（E　安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる）.....108
（F　規則や運営に対しても自分たちの意見を言える）.....110
（G　規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される）.....112
問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　毎日たくさん笑っている）.....114
（B　今の自分は幸せだ）.....116
（C　今の自分の生活に満足している）.....117
（D　今の自分が好きだ）.....119
（E　人生を楽しんでいる）.....121
（F　自分は他人から必要とされている）.....123
（G　勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある）.....125
（H　自分には、夢や目標がある）.....127
問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ）.....129
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）.....131
問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。

（A　家事）……133
（B　育児）……135
（C　仕事）……137
（D　介護）……139
問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。
（A　パソコン）……141
（B　スマートフォン）……143
（C　タブレット）……145
（D　インターネット接続（Wi-Fi など））……147
（E　家庭用ゲーム機）……149
（F　テレビ）……151
問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）……153
（B　家では安心して過ごしている）……155
（C　私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている）……157
（D　親／保護者は私の話を聞いてくれる）……159
問 31.「親／保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらないのは、なぜですか。……161
問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　友達との関係は良好である）……164
（B　家族との関係は良好である）……166
（C　学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である）……168
（D　地域の人との関係は良好である）……170
問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。……172
問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）……181
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）……183
（C　意欲的で、活動的に過ごした）……185
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）……187
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）……189
問 34. 精神的健康状態（WHO-5）……191
問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。……193
問 36. あなたは過去 1 年以内に、嫌な経験をしたことがありますか。（インターネット上での経験は除きます。）……198
問 37. あなたは過去 1 年以内に、インターネット上で嫌な経験をしたことがありますか。……202
問 38. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。……205
問 39. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。……208
問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（A　起きる時間）……210
（B　寝る時間）……212
問 41. あなたが平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間は
どれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。……216

問 42. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。.....218
問 43. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。.....220
問 44. あなたは、生成 AIを使用していますか。.....222
問 45. あなたは次の言葉についてどれくらい知っていますか。
（A 性自認）.....224
（B 性的指向）.....226
（C LGBTQ）.....228

2. 保護者編

問1. あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか。.....230
問2（1）. お子様と同居している方を教えてください。.....231
問2（1）. また、お子様のきょうだいが同居している場合は、その人数を記入してください。.....233
問2（2）. お子様と同居している方は、お子様自身とあなたを含めて合計で何人か、記入してください。.....234
問3. あなたとお子様が現在住んでいるお住まいを教えてください。.....235
問4. 現在のお住まいに、お子様の部屋はありますか。.....238
問5. 現在、あなたは配偶者/パートナーと同居していますか。.....240
問6. あなたの年齢を教えてください。.....242
問7. あなたの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。.....243
問8. あなたの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、
「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。
（A 1週間あたりの平均就業日数）.....246
（B 1日あたりの平均就業時間）.....248
問9. あなたの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、
1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。
（A 1週間の在宅勤務時間割合）.....250
（B 1日あたりの往復の平均通勤時間）.....252
問 10. あなたは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか.....254
問 11. 配偶者/パートナーの年齢を教えてください。.....256
問 12. 配偶者/パートナーの就業状況について、どれがあてはまりますか。.....257
問 13. 配偶者/パートナーの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、
「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。
（A 1週間あたりの平均就業日数）.....260
（B 1日あたりの平均就業時間）.....262
問 14. 配偶者/パートナーの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、
1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。
（A 1週間の在宅勤務時間割合）.....264
（B 1日あたりの往復の平均通勤時間）.....266
問 15. 配偶者/パートナーは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日は
どれくらいありますか。.....268
問 16. あなたと配偶者/パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（A　配偶者/パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる）.....270
（B　配偶者/パートナーのことを信頼している）.....272
問 17. あなたと配偶者/パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会はどれくらいありますか。..274
問 18. ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合はどれくらいですか。.....276
問 19. 使用している日本語以外の言語について、全てお答えください。.....277
問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。
（1. あなたの割合）.....279
（2. 配偶者/パートナーの割合）.....281
（3. その他の割合）.....283
問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。
（1. あなたの割合）.....285
（2. 配偶者/パートナーの割合）.....287
（3. その他の割合）.....289
問 21A. あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足していますか。.....291
問 21B. あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。.....293
問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。
また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。
（A 介護・補助が必要な方）.....295
（B 主に介護・補助をされている方）.....297
問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。
（A　毎日たくさん笑っている）.....300
（B　今の自分は幸せだ）.....302
（C　今の自分の生活に満足している）.....304
（D　今の自分が好きだ）.....306
（E　人生を楽しんでいる）.....308
（F　自分は他人から必要とされている）.....310
（G　自分には夢や目標がある）.....312
（H　子育てを楽しんでいる）.....314
問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）.....316
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）.....318
（C　意欲的で、活動的に過ごした）.....320
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）.....322
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）.....324
問 24. 精神的健康状態（WHO-5）.....326
問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。
（A　時間的なゆとり）.....328
（B　経済的なゆとり）.....330
（C　体力的なゆとり）.....332
（D　精神的なゆとり）.....334

（E　生活全般のゆとり）……336
問 26. あなたが今、子育てに関して楽しいと感じていることは何ですか。……338
問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　子育てや教育の費用）……342
（B　子育ての相談相手の不足）……344
（C　子供の健康や発達・発育）……346
（D　子供の成績や学力）……348
（E　子供の進学や就職）……350
（F　子供の問題行動）……352
（G　子育てと仕事や家事の両立）……354
問 28. あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。……356
問 29. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は誰ですか。……360
問 30. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は何人いますか。……364
問 31. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を一人にしなければならない時など、
家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思いましたか。……366
問 32. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、
預けられなかったことはありましたか。……369
問 33. お子様についてあてはまる症状や状況をお選びください。……371
問 34. お子様は過去1年以内に嫌な経験をしたことがありますか。……373
問 35. お子様が通う学校について、保護者であるあなたは満足していますか。……376
問 36. お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由は何ですか。……378
問 37. あなたの住む地域または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　子育てに良い場所である）……383
（B　進んで周りの人達を助けようとする）……385
（C　地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い）……387
（D　信用できる）……389
（E　同じ価値観を持っている）……391
（F　異なる世代間の交流が盛んである）……393
問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友人や親戚はいますか。……395
問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（A　起きる時間）……397
（B　寝る時間）……399
問 40. あなたが平日（仕事などがある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を
見ている時間はどれくらいありますか。仕事で見る時間は除きます。……403
問 41. あなたや配偶者/パートナーは、お子様とどの程度話しますか。
（A あなた）……405
（B 配偶者/パートナー）……407
問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）……409
（B　子供は家では安心して過ごしている）……411

（C　子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）……413
（D　保護者は子供の話を聞いている）……415
問 43（1）. あなたが、これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたことは何ですか。……417
問 43（2）. 今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいことは何ですか。……420
問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。……425
問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。……429
問 46. それは、お子様の希望と合っていると思いますか。……432
問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。……434
問 48. あなたの世帯の世帯年収は、次のうちどれですか。……437
問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　学費（教材費などを除く））……439
（B　学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など））……441
（C　塾や習い事に関する費用）……443
（D　部活（クラブ活動）に関する費用）……445
（E　食費）……447
（F　住居費）……449
（G　旅行やレジャーなどにかかる費用）……451
（H　靴や洋服などの服飾費用）……453
（I　パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用）……455
問 50. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。……457
問 51. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。……459

3. その他
（1）ギャップ分析
【子供と保護者の差】
・20 年後に一番叶えたいこと……461
・社会に出て働くタイミング……462
・将来像や進路を難しくしている問題……463
・家族と一緒に心地よい時間を過ごしている……464
・家では安心して過ごしている……465
・私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている……466
・親／保護者は私の話を聞いてくれる……467
・過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）……468

【男女の差】
・週に 30 分以上遊んだり体を動かしたりする日……469
・過去 1 年以内の住む地域で経験した危険な目……470
・20 年後に一番叶えたいこと……471
・将来的に叶えられているか……472
・将来、子供を育てたいか……473

・将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を育てたいか 474
・ボランティアをしたいと思う 475
・自分の行動で社会を変えられると思う 476
・社会に出て働くタイミング 477
・将来像や進路を難しくしている問題 478
・学校について不満に感じること 480
・自分の考えを他の人にしっかりと言える 481
・家庭における男女の役割・家事 482
・家庭における男女の役割・育児 483
・家庭における男女の役割・仕事 484
・家庭における男女の役割・介護 485
・ほっとできる居場所 486
・精神的健康状態（WHO-5） 487
・今、悩んでいること 488
・睡眠時間 489

(2)テーマ別

【子供の意見表明】

・学校や職場で自分の意見が言える × 自分の考えを他の人にしっかりと言える 490
・自分の考えを他の人にしっかりと言える × 今の自分が好きだ 491
・学校や職場で自分の意見が採用される × 子供が権利の主体であることの認知度 492

【安全安心】

・過去 1 年以内の住む地域で経験した危険な目 × 精神的健康状態（WHO-5） 493
・過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く） × 今の自分が好きだ 494
・困ったり悩んだりしたときの相談相手 × 精神的健康状態（WHO-5） 495

【学校生活】

・学校や職場で自分の意見が言える × 学校や職場は自分にとって居心地が良い 496
・学校等で自分の意見が採用される × 機会があれば留学や他国で働いてみたい 497
・学校について不満に感じること × 学校や職場は自分にとって居心地が良い 498

【学び・成長】

・学ぶことが楽しい × 自分の行動で社会を変えられると思う 499
・学ぶことが楽しい × 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい 500

【居場所・遊び】

・居場所（自宅以外と自宅のみ） × 今の自分が好きだ 501
・過去1年以内のインターネット上での嫌な経験 × 居場所（インターネット空間の有無） 502
・週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日 × テレビやスマホなどの画面を見ている時間 503
・もっともよく遊ぶ人 × 自分は他人から必要とされている 504

【地域社会】

・地域の人との関係は良好である × 自分は他人から必要とされている 505
・地域の人との関係は良好である × 自分の行動で社会を変えられると思う 506

【子育て】

・(保護者)子育てを楽しんでいる × (子供)今の自分は幸せだ 507
・時間的なゆとり × 子育てを楽しんでいる 508
・子育てと仕事や家事の両立の悩み × 時間的なゆとり 509
・1日あたりの平均就業時間 × 子育てと仕事や家事の両立 510
・家庭内での育児分担の満足度 × 精神的なゆとり 511
・家庭内でのあなたの『育児分担』の割合×家庭内での育児分担の満足度 512
・家庭内での育児分担の満足度 × 配偶者／パートナーのことを信頼している 513
・子育ての相談相手の不足の悩み × 精神的ゆとり 514
・住む地域に友人や親戚がいるか × 子育ての相談相手の不足 515
・子育てや教育の費用 × 経済的なゆとり 516

(3)重回帰分析 517

(4)他調査比較

【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】＜地域とのつながり＞ 521
【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】＜家庭との関係性＞ 523
【日本財団「18 歳意識調査『第 62 回-国や社会に対する意識(6カ国調査)-』」】＜社会貢献意欲＞ 525
【PISA 2022】＜生活への満足度＞ 527
【HBSC(Health Behaviour in School-aged Children)国際調査 2021/22 年度調査】
＜精神的健康状態(WHO-5)＞ 528
【内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査(令和4年度)」】＜社会貢献意欲＞ 530
【第 14 回(令和6年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)】＜学校で勉強したことが役立つか＞ 532
【第 14 回(令和6年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)】＜希望する進路＞ 533
【第9回(令和元年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)】【第 11 回(令和3年)21 世紀出生児
縦断調査(平成 22 年出生児)】【第 14 回(令和6年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)】
＜起きる時間・寝る時間＞ 535
【こども家庭庁「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」】＜スマートフォン所有状況＞ 538
【スポーツ庁「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」】＜スクリーンタイム＞ 540
【東京大学未来ビジョン研究センターによる調査】【SOMPOインスティチュート・プラス株式会社
「幸福度に関わるアンケート調査」】＜大人の幸福度＞ 543

Ⅰ．調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、都内に居住する子供たちとその保護者の方々の日頃の暮らしや悩み、困りごとについて、福祉や教育など、従来の行政分野の枠組みにとらわれることなく子供たちに関する実態や意識を把握し、今後の子供政策を検討するために、令和5年度から継続的に実施している。

調査結果については、庁内各局で共有するとともに、今後も継続的に調査を行うことで、単年の結果だけでなく経年の変化も分析し、より強固なエビデンスに基づいた実効性のある政策の推進につなげていく。

2. 調査の項目

①子供/保護者自身について
②子供の安全安心について
③子供の遊び場・居場所について
④子供の学び・成長について
⑤子育て家庭支援について
⑥子供の意見表明、参加、権利擁護について
⑦社会的情勢の変化による影響について
⑧基本情報　　等

3. 調査の設計

（1）調査地域　東京都全域

（2）調査対象　小学3年生、小学5年生、中学2年生、17 歳の子供とその保護者、3歳児の保護者

（3）標本ｻｲｽﾞ　10,500 世帯（計 19,500 人）

（4）抽出方法　住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

※ 層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって都内をブロックに分類し（層化）、各層で抽出地点を抽出（一段目）し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して、地点ごとに一定数のサンプル抽出（二段目）を行うものである。

（5）調査方法　郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）

（6）調査時期　令和7年5月7日（水曜日）から令和7年5月 31 日（土曜日）まで

4. 検討会議

子供に精通した学識経験者等（外部委員）及び子供政策連携室職員（内部委員）により構成された「令和7年子供に関する定点調査『とうきょう こども アンケート』検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置した。

検討会議委員の意見を踏まえ、調査票を設計し、具体的な調査方法等を決定した。

なお、検討会議委員（外部委員）は以下のとおりである。

池本 美香（株式会社日本総合研究所 上席主任研究員）
土屋 隆裕（横浜市立大学教授）
西田 淳志（公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長）
松原 康雄（明治学院大学名誉教授）
森田 明美（東洋大学名誉教授）
渡辺 由美子（特定非営利活動法人キッズドア理事長）

（五十音順・敬称略）

5. 調査機関

株式会社日本リサーチセンター

6. 各調査対象の設問数

	子供	保護者
3歳児		46 問
小学3年生	40 問	51 問
小学5年生	40 問	51 問
中学2年生	44 問	51 問
17 歳	45 問	51 問

7. 回収結果

調査対象		発送数(A)	総回収数 (B)			回収率 (B／A)
				郵送回収	WEB 回収	
子供	小学3年生	2,050	1,018	552	466	49.7%
	小学5年生	1,900	962	553	409	50.6%
	中学2年生	2,150	887	369	518	41.3%
	17 歳	2,900	1,009	342	667	34.8%
	子供計	**9,000**	**3,876**	**1,816**	**2,060**	**43.1%**
保護者	3歳児	1,500	810	275	535	54.0%
	小学3年生	2,050	948	494	454	46.2%
	小学5年生	1,900	902	479	423	47.5%
	中学2年生	2,150	845	351	494	39.3%
	17 歳	2,900	945	356	589	32.6%
	保護者計	**10,500**	**4,450**	**1,955**	**2,495**	**42.4%**
合　　計		**19,500**	**8,326**	**3,771**	**4,555**	**42.7%**

標本抽出方法

調査対象 ： 東京都内の区市町村に居住する、小学3年生、小学5年生、中学2年生、
17 歳の子供とその保護者、3歳児の保護者

標本ｻｲｽﾞ ： 10,500 世帯（計 19,500 人）

地 点 数 ： 200 地点

抽出方法 ： 層化二段無作為抽出法

【層化】

都内を次の 7 ブロックに分類した。

地域名	該当区市町村名
①センターコア	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・渋谷区・豊島区・荒川区
②区部東部・北部	北区・板橋区・足立区・葛飾区・江戸川区
③区部西部・南部	品川区・目黒区・大田区・世田谷区・中野区・杉並区・練馬区
④多摩東部	武蔵野市・三鷹市・調布市・小金井市・小平市・東村山市・国分寺市・狛江市・清瀬市・東久留米市・西東京市
⑤多摩中央部北	立川市・昭島市・福生市・東大和市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町
⑥多摩中央部南	八王子市・府中市・町田市・日野市・国立市・多摩市・稲城市
⑦多摩西部・島しょ	青梅市・あきる野市・日の出町・檜原村・奥多摩町・大島町・利島村・新島村・神津島村・三宅村・御蔵島村・八丈町・青ヶ島村・小笠原村

標本サイズの配分

各地域別の層による各学年の人口（令和6年1月時点）に対して、10, 500 の標本を比例配分した。

抽出

１． 令和2年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。

２． 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{調査区における 19 歳以下の人口の合計}}{\text{地域に配分した調査地点数}} = \text{抽出間隔}\right]$$

を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

３． 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

４． 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・各学年の世帯数・標本サイズ・調査地点数は、次のとおりである。

属性 / 地域	3歳児	小学3年生	小学5年生	中学2年生	17 歳	合計
①センターコア	19,429	20,227	19,340	18,183	16,828	94,007
	315	396	356	376	480	1,923
	37					
②区部東部・北部	17,263	19,791	20,013	20,459	20,441	97,967
	280	388	369	423	583	2,043
	39					
③区部西部・南部	26,883	29,726	28,577	28,645	27,271	141,102
	436	582	526	592	778	2,914
	56					
④多摩東部	12,191	14,000	13,649	13,842	13,499	67,181
	197	274	251	286	385	1,393
	27					
⑤多摩中央部北	4,007	4,771	4,937	5,127	5,190	24,032
	65	94	91	106	148	504
	9					
⑥多摩中央部南	11,387	14,199	14,665	15,502	16,029	71,782
	184	278	270	320	458	1,510
	28					
⑦多摩西部・島しょ	1,414	1,949	2,017	2,272	2,361	10,013
	23	38	37	47	68	213
	4					
合　計	92,574	104,663	103,198	104,030	101,619	506,084
	1,500	2,050	1,900	2,150	2,900	10,500
	200					

（注）上段は各学年の人口（令和6年1月時点）、中段は標本サイズ、下段は調査地点数である。

報告書の見方

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

(1)比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。また、小数点以下第2位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は「0.0」、回答者がいなかった選択肢については「－」と表示している。

(2)基数となるべき実数は n として掲載した。その比率は n の件数を 100%として算出した。

(3)1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。

(4)複数の選択肢を合わせた表記の回答割合は、各選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、各選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。

(5)回答の基数が 50 人未満の場合は標本誤差が大きくなるため、原則、本文の分析の対象にしていない。また、5ポイント以上の差異が見られない場合は、解説で当該集計結果に触れていない場合がある。また、派生的設問において、基数が少ない属性が多い場合は、解説を行わない場合がある。

(6)各設問に記載している設問番号及び図表中の選択肢は、特に記載のない限り子供に関しては 17 歳、保護者に関しては 17 歳保護者の質問票の番号である。

(7)原則、**設問・選択肢の表記及び条件分岐が同じ場合**に、経年比較を行っている。

(8)経年比較や男女の差の比較等については、比較の結果、**5%水準で有意かつ5ポイント以上差がついている箇所**を中心に解説している。なお、**11 段階評価の設問の場合は、平均値で比較し、5%水準で有意の箇所**について解説している。

(9)「幸福度」については、子供調査票の問 22(小学3年生、小学5年生)、問 25(中学2年生)、問 26(17 歳)の「B 今の自分は幸せだ」の 11 段階評価を3段階に区分し、**8～10 を「幸福度高(8～10)」、4～7を「幸福度中(4～7)」、0～3を「幸福度低(0～3)」と便宜的に区分**している。

(10)自由記述は、一部の回答者のコメントを掲載している。また、原則として原文のまま掲載することとしているが、商品名・サービス名については最小限の範囲において一般的な名称に書き換えを行っている。

Ⅱ. 調査結果

1. 子供編

（子供：共通）問1. あなたの性別は何ですか。（1つだけ）

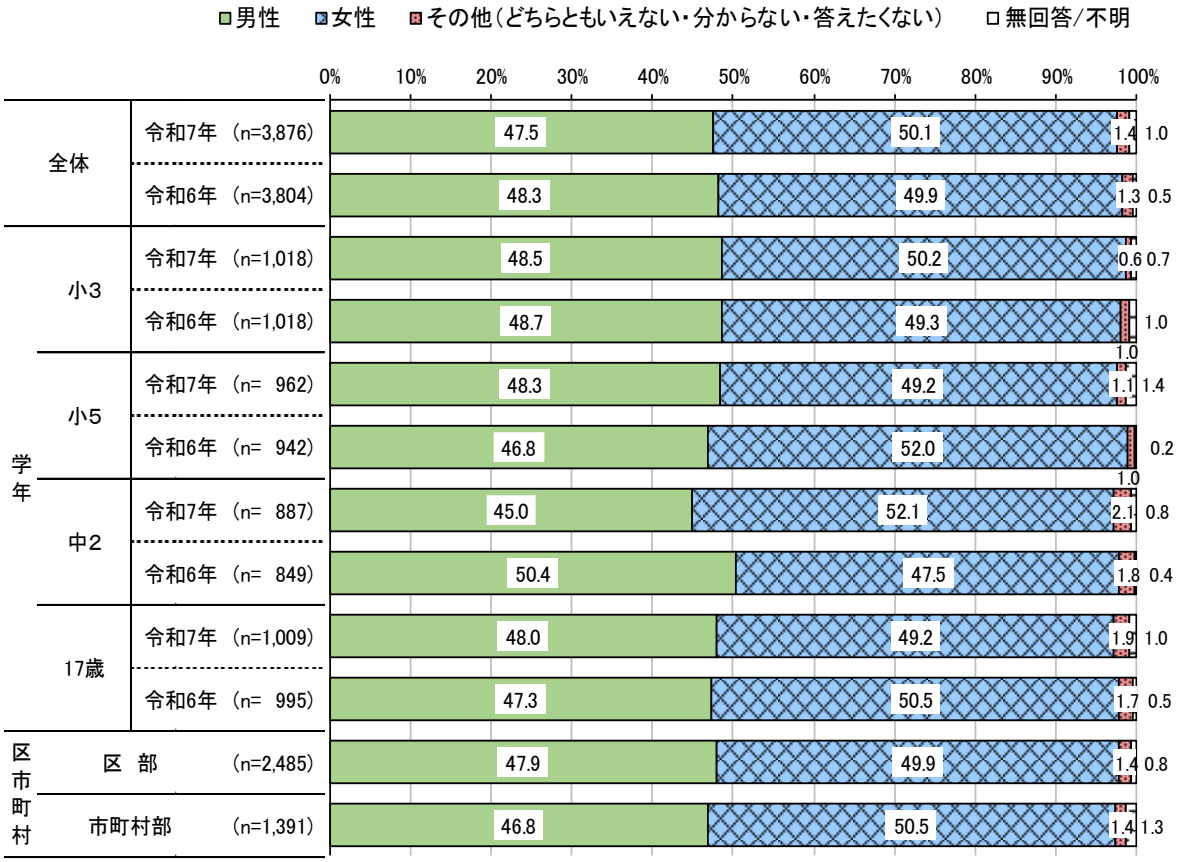
【全体】

「男性」が 47.5%、「女性」が 50.1%、「その他、（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」が 1.4%である。

【学年別】

経年比較でみると、中 2 で「男性」が 5.4 ポイント減少している。

図表 1-1 性別 ＜単一回答＞



（子供：共通）問2．あなたの住んでいる区市町村はどこですか。（1つだけ）

図表 1-2 区市町村 ＜単一回答＞※五十音順

		回答者数（人）	割合（%）
回答者数		3,876	100.0
あなたの住んでいる区市町村はどこですか	青ヶ島村	－	－
	昭島市	31	0.8
	あきる野市	21	0.5
	足立区	163	4.2
	荒川区	62	1.6
	板橋区	177	4.6
	稲城市	40	1.0
	江戸川区	212	5.5
	青梅市	42	1.1
	大島町	1	0.0
	大田区	193	5.0
	小笠原村	－	－
	奥多摩町	－	－
	葛飾区	115	3.0
	北区	83	2.1
	清瀬市	18	0.5
	国立市	41	1.1
	神津島村	－	－
	江東区	138	3.6
	小金井市	35	0.9
	国分寺市	43	1.1
	小平市	69	1.8
	狛江市	12	0.3
	品川区	121	3.1
	渋谷区	61	1.6
	新宿区	115	3.0
	杉並区	170	4.4
	墨田区	41	1.1
	世田谷区	227	5.9
	台東区	34	0.9
	立川市	69	1.8

		回答者数（人）	割合（%）
あなたの住んでいる区市町村はどこですか	多摩市	24	0.6
	中央区	32	0.8
	調布市	88	2.3
	千代田区	18	0.5
	豊島区	51	1.3
	利島村	－	－
	中野区	71	1.8
	新島村	－	－
	西東京市	59	1.5
	練馬区	218	5.6
	八王子市	183	4.7
	八丈町	－	－
	羽村市	18	0.5
	東久留米市	33	0.9
	東村山市	53	1.4
	東大和市	25	0.6
	日野市	54	1.4
	日の出町	28	0.7
	檜原村	－	－
	府中市	71	1.8
	福生市	21	0.5
	文京区	66	1.7
	町田市	151	3.9
	御蔵島村	1	0.0
	瑞穂町	14	0.4
	三鷹市	63	1.6
	港区	51	1.3
	三宅村	－	－
	武蔵野市	63	1.6
	武蔵村山市	20	0.5
	目黒区	66	1.7

（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（A　私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある）

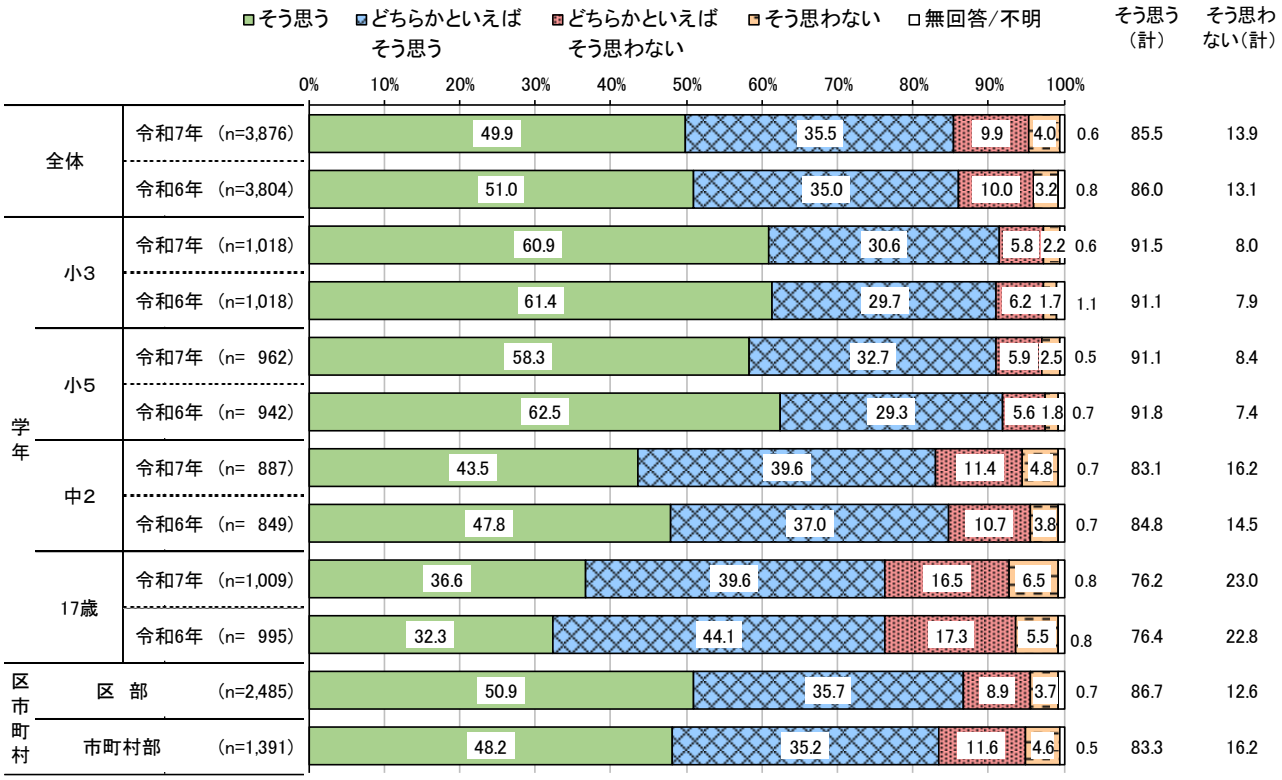
【全体】

「そう思う」が 49.9％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.5％であり、遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんあると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 85.5％である。

【学年別】

「そう思う」が小3では 60.9％、小5では 58.3％、中2では 43.5％で最も高い。また、「そう思う」及び「そう思う（計）」（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は学年が上がるにしたがって低くなっている。

図表 1-3　A　私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある ＜単一回答＞

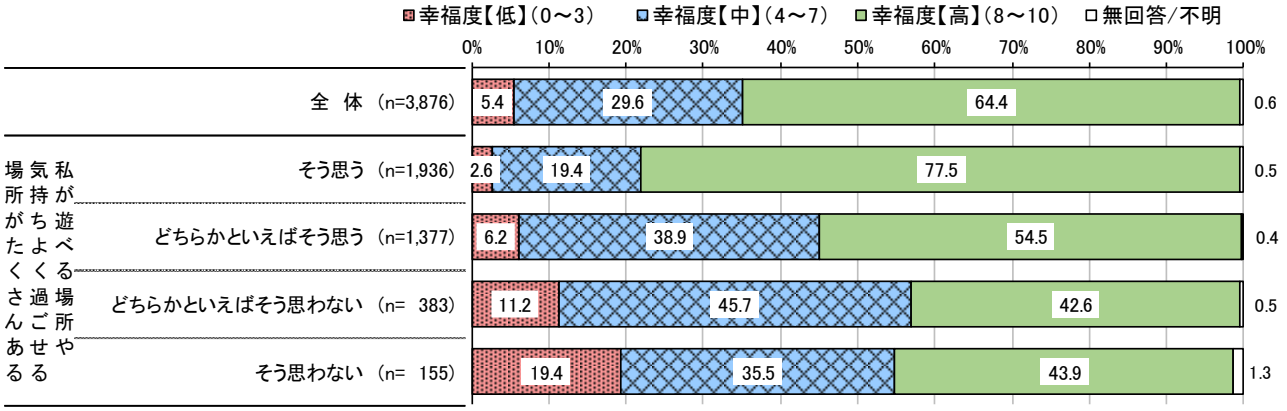


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 77.5%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 19.4%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-4　子供の幸福度(「私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある)」の回答別)



（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（B　私が困っていたら近所の人が助けてくれる）

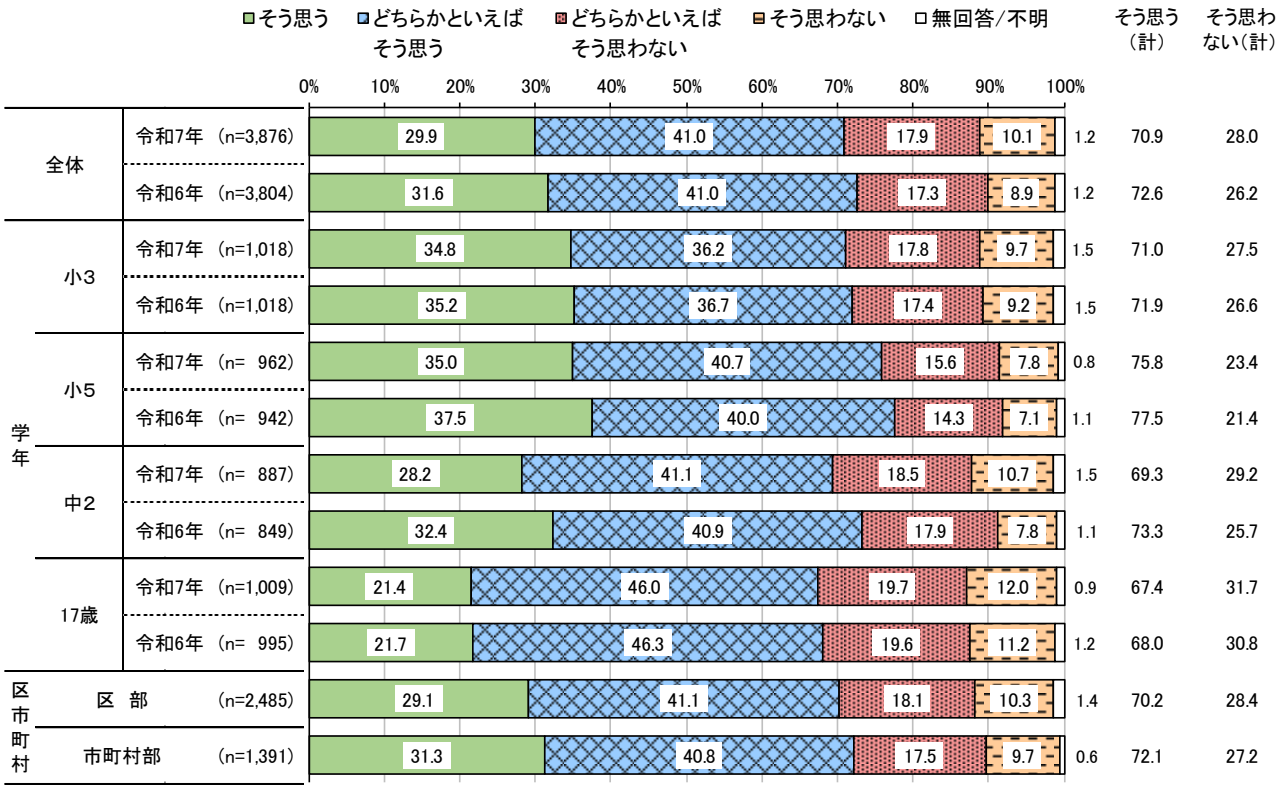
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 41.0％で最も高く、次いで「そう思う」が 29.9％であり、困っていたら近所の人が助けてくれると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 70.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

図表 1-5　B　私が困っていたら近所の人が助けてくれる　＜単一回答＞

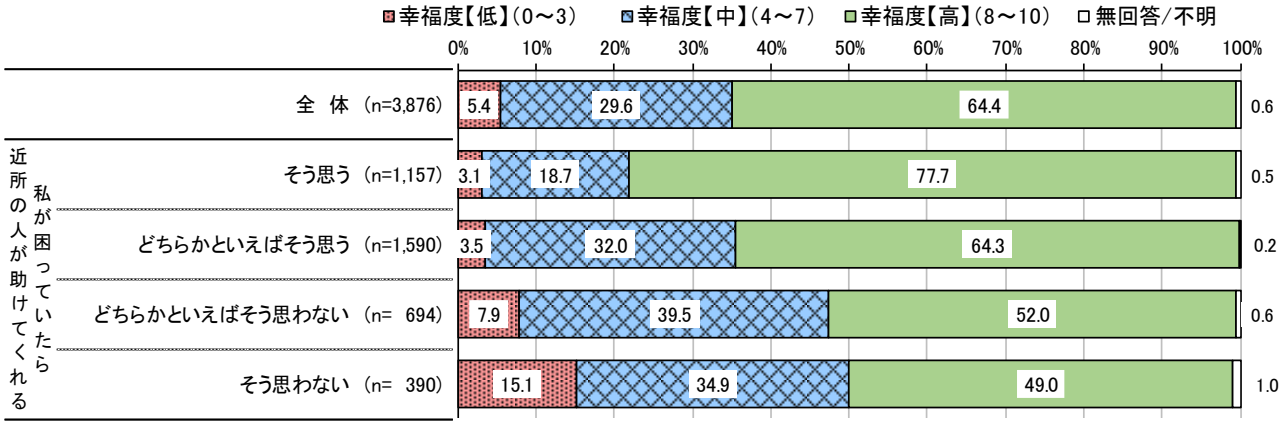


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「困っていたら近所の人が助けてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 77.7%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 15.1%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-6　子供の幸福度(「私が困っていたら近所の人が助けてくれる」の回答別)



（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（C　近所の大人たちは私にやさしい）

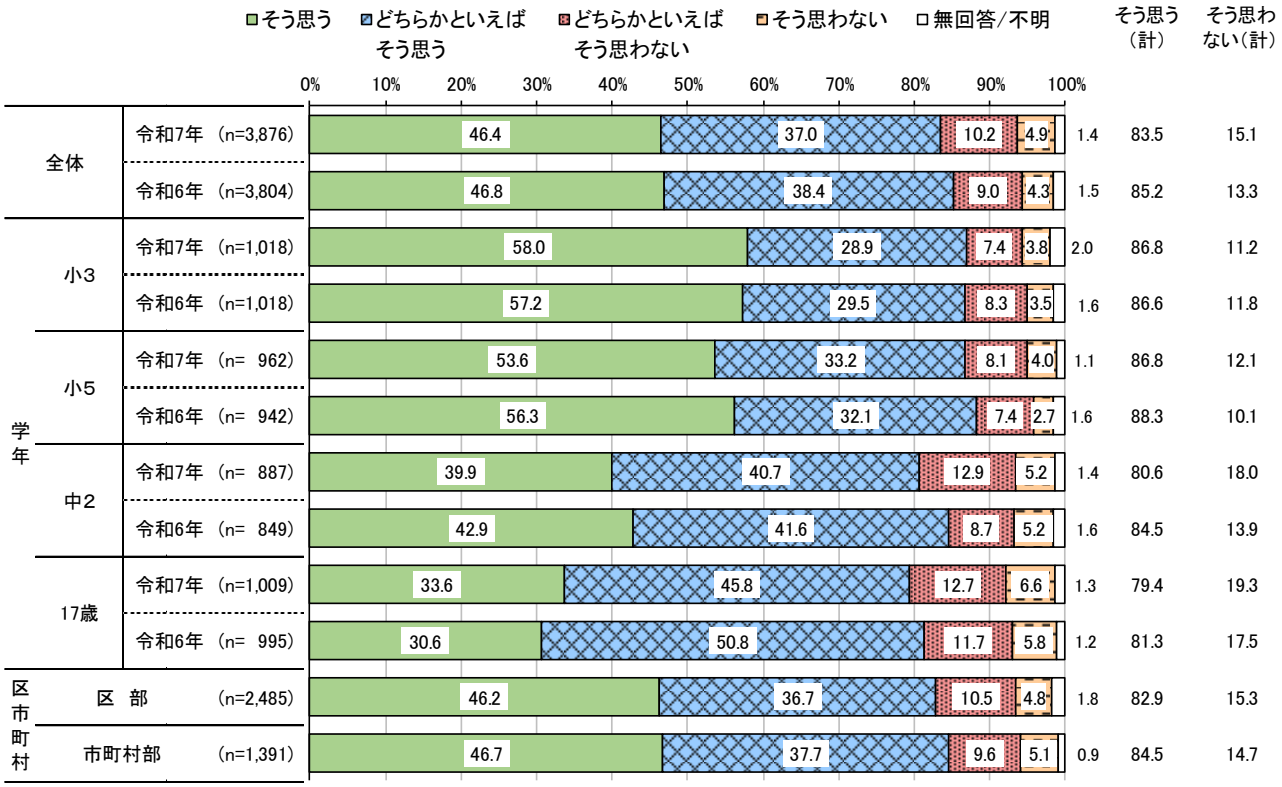
【全体】

「そう思う」が 46.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 37.0％であり、近所の大人たちはやさしいと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 83.5％である。

【学年別】

「そう思う」が小3では 58.0％、小5では 53.6％で最も高い。「どちらかといえばそう思う」は中2では 40.7％、17 歳では 45.8％で最も高い。また、「そう思う」は学年が上がるにつれて、低くなっている。

図表 1-7　C　近所の大人たちは私にやさしい　＜単一回答＞

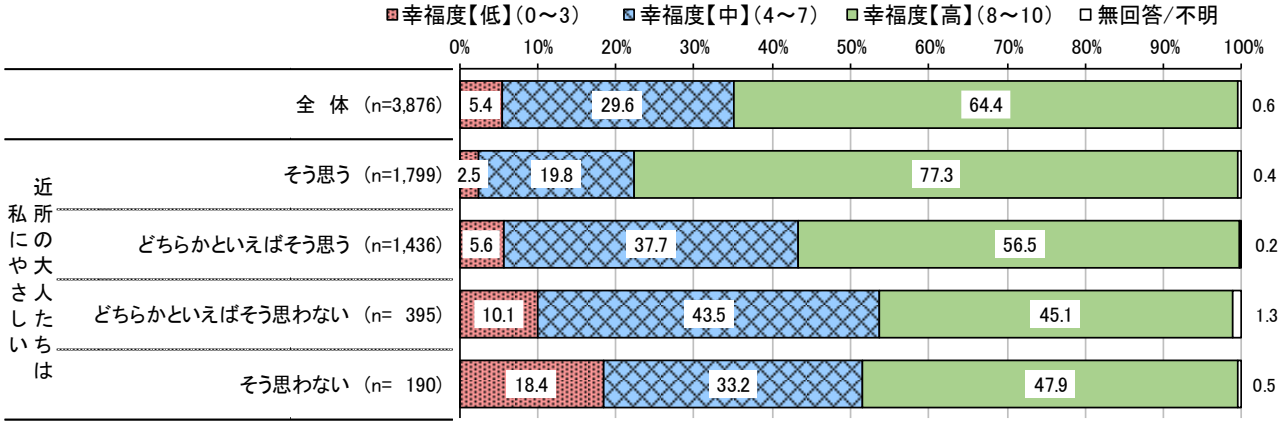


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「近所の大人たちは私にやさしい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 77.3%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 18.4%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-8　子供の幸福度(「近所の大人たちは私にやさしい」の回答別)



（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（D　大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる）

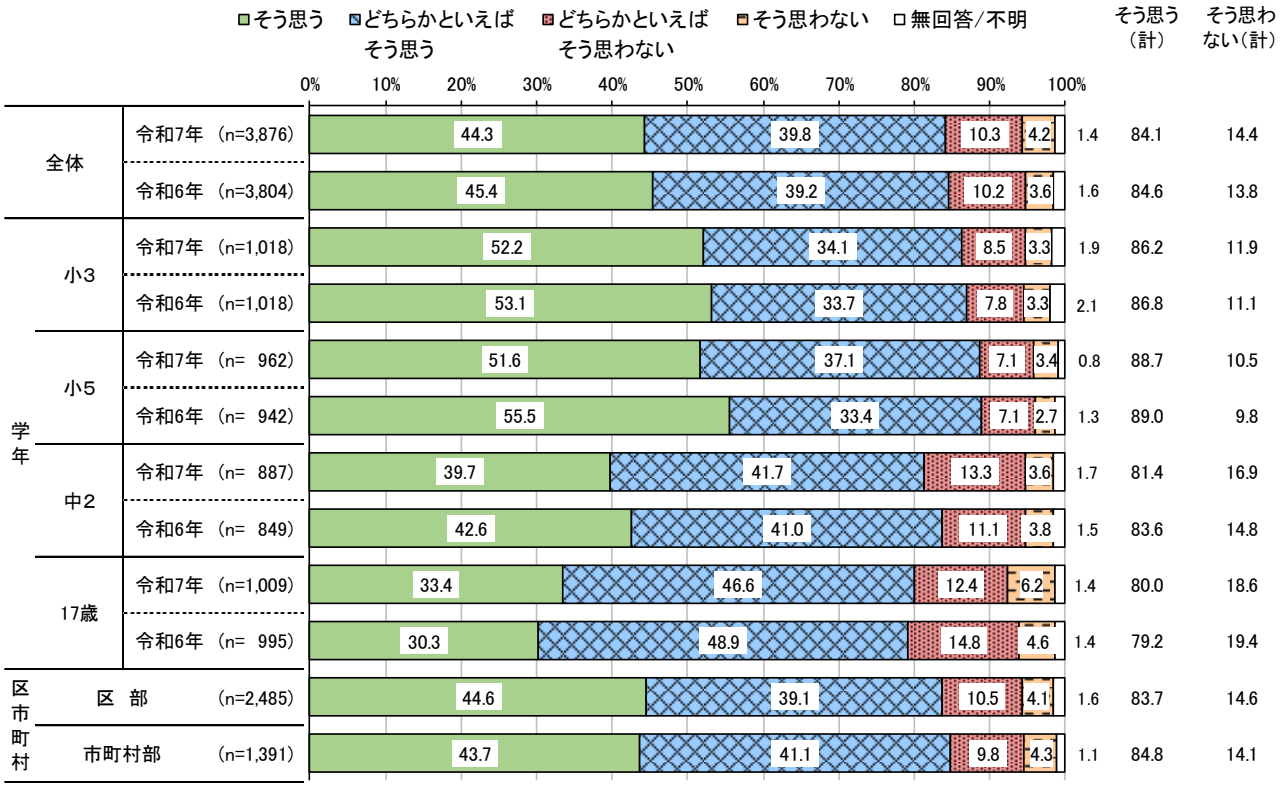
【全体】

「そう思う」が 44.3％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 39.8％であり、大人たちが話をきちんと聞いてくれると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 84.1％である。

【学年別】

「そう思う」が小3では 52.2％、小5では 51.6％で最も高い。「どちらかと言えばそう思う」は中2で 41.7％、17 歳で 46.6％で最も高い。また、「そう思う」は学年が上がるにつれて、低くなっている。

図表 1-9　D　大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる　＜単一回答＞

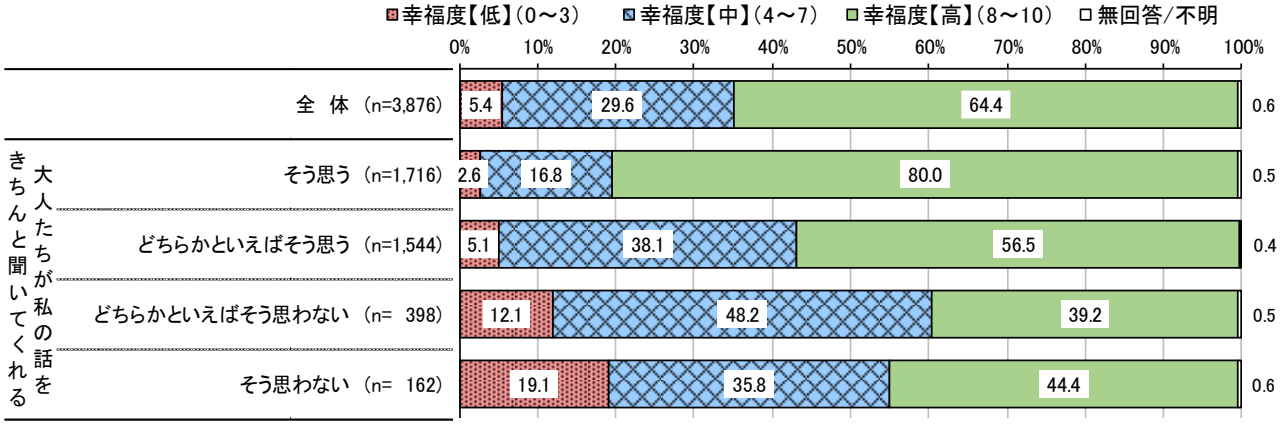


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の80.0%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 19.1%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-10　子供の幸福度(「大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる」の回答別)



（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（E　子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる）

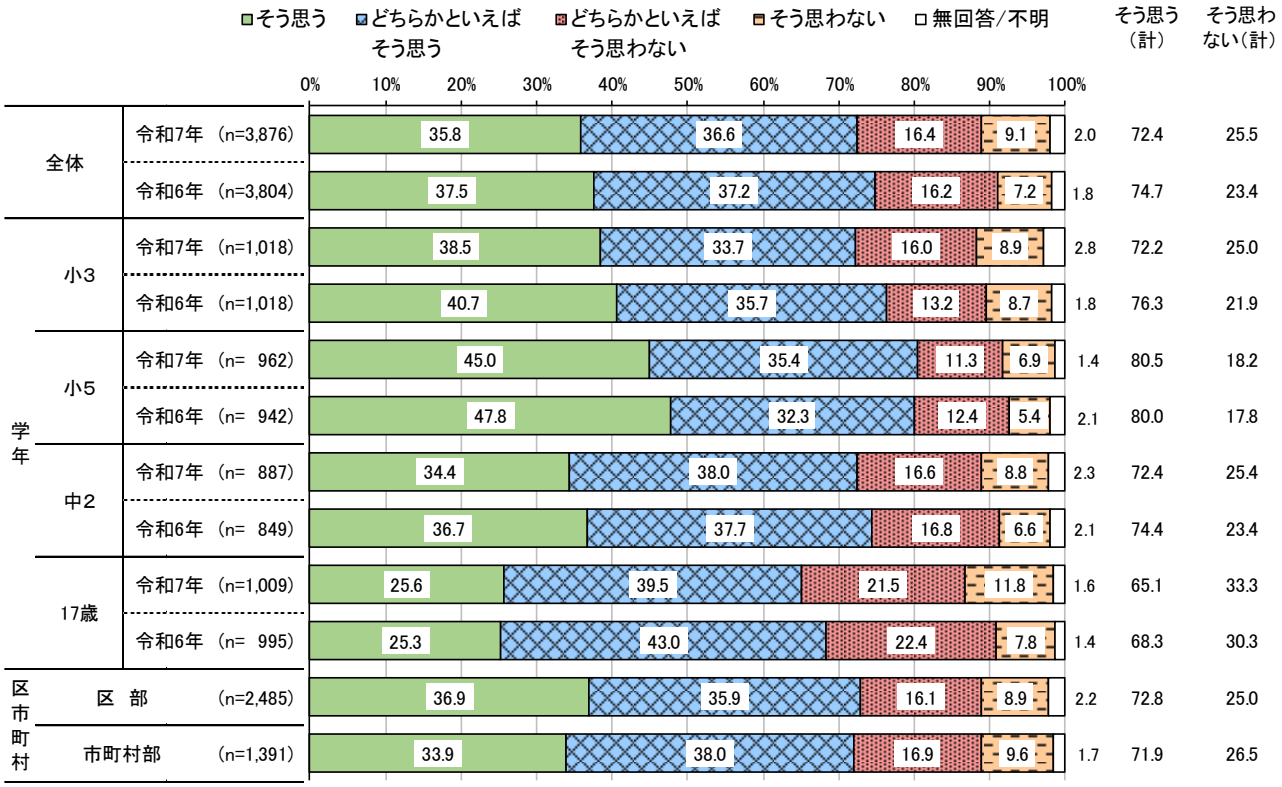
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 36.6％で最も高く、次いで「そう思う」が 35.8％であり、子供にとって大切なことを決めるときに参加できると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 72.4％である。

【学年別】

「そう思う」は小 3 では 38.5％、小5では 45.0％で最も高い。「どちらかといえばそう思う」は中 2 で 38.0％、17 歳で 39.5％で最も高い。また、「そう思う」は小5で最も高くなっている。

図表 1-11　E　子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる　＜単一回答＞

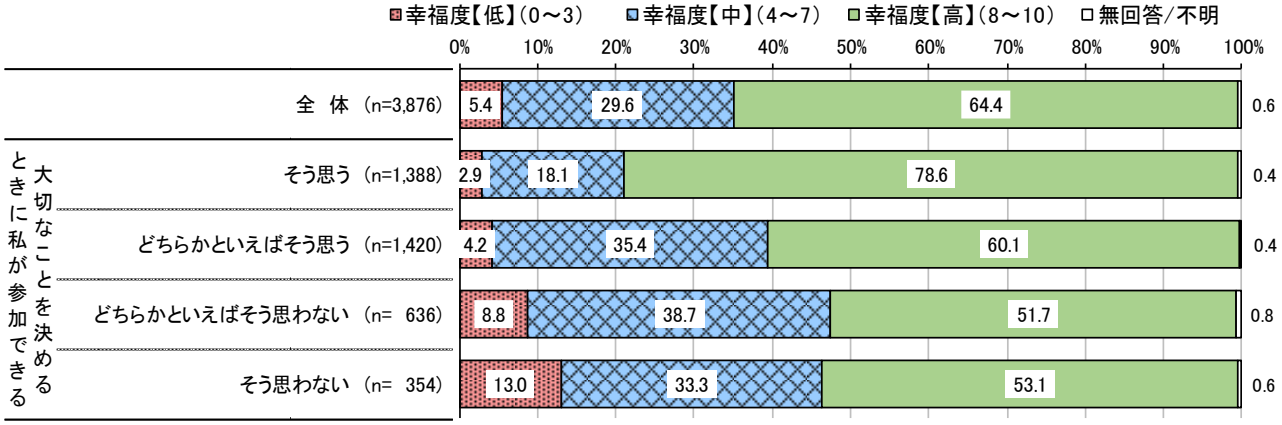


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 78.6%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 13.0%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-12　子供の幸福度(「子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる」の回答別)



（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（F　近所の人たち同士がお互いに助け合っている）

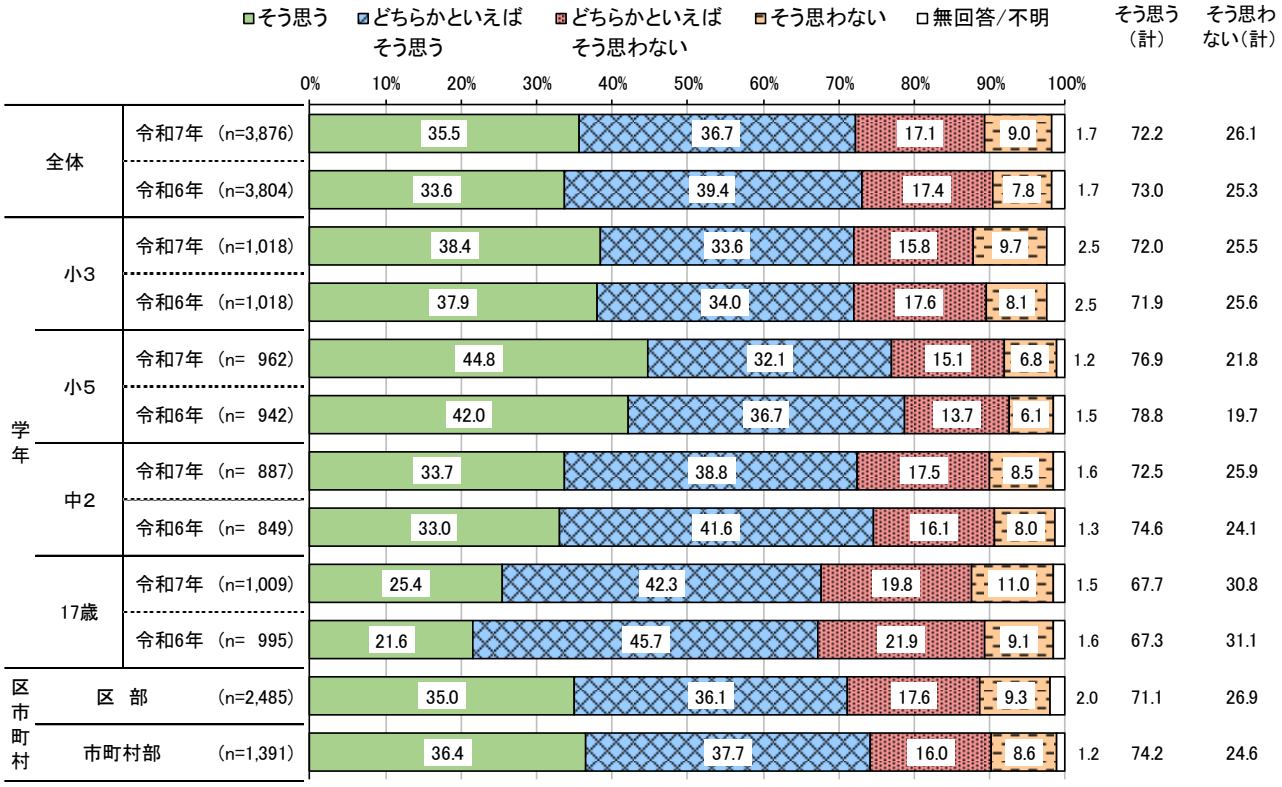
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 36.7％で最も高く、次いで「そう思う」が 35.5％であり、近所の人たち同士がお互いに助け合っていると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 72.2％である。

【学年別】

「そう思う」は小 3 では 38.4％、小5では 44.8％で最も高い。「どちらかといえばそう思う」は中2では 38.8％、17 歳では 42.3％で最も高い。また、「そう思う」は小 5 で最も高くなっている。

図表 1-13　F　近所の人たち同士がお互いに助け合っている　＜単一回答＞

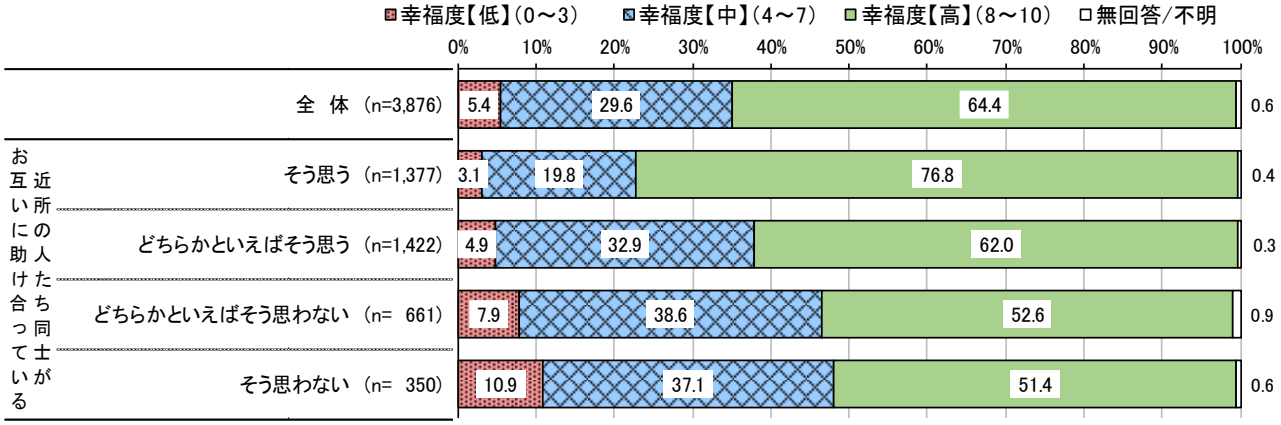


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の76.8%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 10.9%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-14　子供の幸福度(「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」の回答別)



（子供：共通）問4．あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。（いくつでも）

【全体】

「YouTube や SNS、その他のインターネット情報を見る」が 73.5％で最も高い。次いで「テレビを見る」「DVD や動画配信サービス、録画番組（Netflix や Amazon プライム・ビデオなど）を見る」「友達とおしゃべりするなどして遊ぶ」「スポーツや体を動かして遊ぶ」が上位。

【学年別】

「YouTube や SNS、その他のインターネット情報を見る」は学年が上がるにつれて増加傾向にあり、17 歳では 86.9％である。

図表 1-15 普段、放課後や休みの日に遊んでいること ＜複数回答＞

（%）

		n	マンガや本を読む	テレビを見る	DVDや動画配信サービス、録画番組（NetflixやAmazonプライム・ビデオなど）を見る	YouTubeやSNS、その他のインターネット情報を見る	オンラインゲームで遊ぶ	家庭用ゲーム機やボードゲーム・カードゲームなどインターネットを使わないゲーム、おもちゃで遊ぶ	スポーツや体を動かして遊ぶ
全体		3,876	45.6	56.0	51.3	73.5	38.0	37.5	45.7
学年	小3	1,018	47.2	63.9	49.1	57.8	23.9	62.0	57.4
	小5	962	49.1	66.2	47.5	65.0	38.1	45.0	52.4
	中2	887	46.3	54.6	53.1	85.5	46.4	25.1	41.6
	17歳	1,009	40.1	39.4	55.4	86.9	44.6	16.7	31.2
区市町村	区部	2,485	45.5	56.7	52.0	73.0	38.0	37.1	44.9
	市町村部	1,391	45.9	54.6	50.0	74.4	38.0	38.4	47.2

		公園で遊ぶ	友達とおしゃべりするなどして遊ぶ	その他	遊んでいない	無回答/不明	遊んでいる（計）
全体		39.0	47.4	9.6	0.5	0.4	99.0
学年	小3	64.3	44.3	9.3	0.3	0.3	99.4
	小5	59.8	46.5	10.1	0.4	0.4	99.2
	中2	21.1	47.8	8.8	0.1	0.6	99.3
	17歳	9.4	51.1	10.0	1.2	0.5	98.3
区市町村	区部	39.9	47.5	10.0	0.5	0.4	99.1
	市町村部	37.5	47.2	8.8	0.6	0.4	99.0

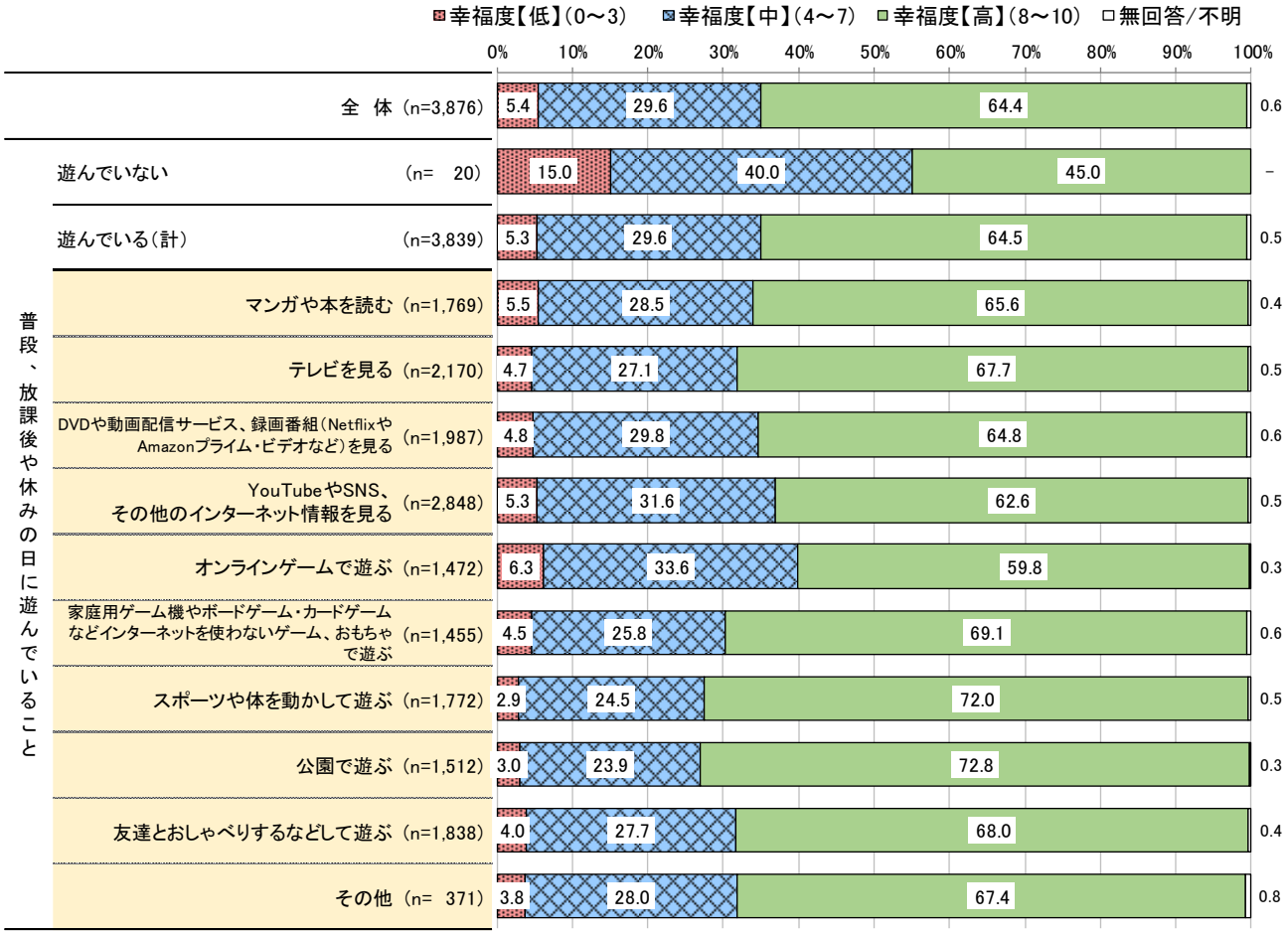
※遊んでいる（計）は「マンガや本を読む」～「友達とおしゃべりするなどして遊ぶ」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「普段、放課後や休みの日に遊んでいること」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「遊んでいる(計)」と回答した子供の 64.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-16　子供の幸福度(「普段、放課後や休みの日に遊んでいること」の回答別)



【自由記述】

その他（普段、放課後や休みの日に遊んでいること）
お絵かきをする（子供・小3）
ごっこあそび（子供・小3）
ねん土（子供・小3）
ピアノをひく（子供・小3）
工作をする（子供・小3）
ハンドメイド（子供・小5）
音楽(ピアノ.ベース)（子供・小5）
他の区のイベントなどに参加する（子供・小5）
釣り（子供・小5）
妹とおままごとなど（子供・小5）
勉強、習い事（子供・小5）
イラストを描く（子供・中2）
音楽を聴く（子供・中2）
図書館に行く（子供・中2）
編みものなど、物を作る（子供・中2）
カラオケ、映画（子供・17 歳）
ライブに行く（子供・17 歳）
山や川へ行き、生き物採集（子供・17 歳）
電車見に行く（子供・17 歳）
野球観戦（子供・17 歳）

（子供：共通）問5．あなたが安心して遊べる場所はどこですか。（いくつでも）

【全体】

「自宅」が 95.0％で最も高く、次いで「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」が 50.7％、「公園」が 50.0％、「友達の家」が 44.0％、「学校の校庭・グラウンド」が 41.7％となっている。

経年比較でみると、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」は 5.1 ポイント増加している。

【学年別】

いずれの学年でも「自宅」が最も高い。「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」「学校の校庭・グラウンド」は学年が上がるにつれ、減少傾向にある。一方、「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」は学年が上がるにつれ、増加傾向であり、17 歳では 35.1％である。

経年比較でみると、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」は小3で 11.0 ポイント、小5で 7.5 ポイント増加している。また、「公園」は小3で 5.2 ポイント減少している。

図表 1-17 安心して遊べる場所 ＜複数回答＞

(%)

			n	自宅（自分の家）	友達の家	祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家	学校の校庭・グラウンド	公園	児童館	図書館
全体		令和7年	3,876	95.0	44.0	50.7	41.7	50.0	24.5	28.4
		令和6年	3,804	93.7	43.7	45.6	42.4	51.7	23.9	27.4
学年	小3	令和7年	1,018	97.0	41.3	64.4	57.0	61.8	33.5	39.0
		令和6年	1,018	93.3	45.1	53.4	59.8	67.0	33.4	37.7
	小5	令和7年	962	96.3	50.2	63.3	54.8	62.7	35.0	34.4
		令和6年	942	95.1	51.3	55.8	52.5	65.4	34.4	32.4
	中2	令和7年	887	93.1	47.6	42.1	30.0	44.8	20.9	21.8
		令和6年	849	93.3	44.1	41.8	34.2	47.8	20.0	22.1
	17歳	令和7年	1,009	93.5	37.9	32.5	24.0	30.5	8.6	17.8
		令和6年	995	93.2	34.7	31.0	22.1	26.4	7.6	16.6
区市町村	区部		2,485	95.6	43.7	49.7	41.4	50.8	25.5	29.0
	市町村部		1,391	93.9	44.7	52.6	42.2	48.5	22.8	27.3

			プレーパーク・冒険遊び場	地域にある広場・空き地	近所の路上	ショッピングモール	娯楽施設（映画館・カラオケ・ゲームセンター・ボウリング場など）	インターネット空間（SNS・YouTube・オンラインゲームなど）	その他	安心して遊べる場所はない
全体		令和7年	10.2	10.4	8.4	23.6	34.6	25.3	2.1	0.2
		令和6年	9.7	12.5	8.2	22.6	34.0	27.0	1.9	0.3
学年	小3	令和7年	13.7	11.0	8.5	13.8	23.0	13.9	2.9	－
		令和6年	14.3	14.8	8.5	14.7	25.3	15.7	1.8	0.4
	小5	令和7年	12.9	12.1	9.6	15.5	23.0	20.1	1.6	0.2
		令和6年	10.1	13.5	8.8	14.8	21.4	21.2	2.7	0.3
	中2	令和7年	9.6	10.4	8.7	33.9	42.8	32.9	2.0	0.3
		令和6年	10.0	13.2	9.0	30.7	38.3	33.3	1.9	0.4
	17歳	令和7年	4.6	8.2	6.9	32.0	50.3	35.1	1.7	0.2
		令和6年	4.3	8.7	6.7	31.3	51.3	38.7	1.4	0.3
区市町村	区部		10.2	9.1	7.2	23.6	36.3	25.8	1.7	0.1
	市町村部		10.1	12.7	10.5	23.4	31.8	24.5	2.7	0.3

			無回答/不明	安心して遊べる場所がある（計）
全体		令和7年	0.2	99.6
		令和6年	0.2	99.4
学年	小3	令和7年	－	100.0
		令和6年	0.2	99.4
	小5	令和7年	0.2	99.6
		令和6年	0.3	99.4
	中2	令和7年	0.5	99.2
		令和6年	0.1	99.5
	17歳	令和7年	0.3	99.5
		令和6年	0.2	99.5
区市町村	区部		0.2	99.6
	市町村部		0.2	99.5

※安心して遊べる場所がある（計）は「自宅」～「インターネット空間（SNS・YouTube・オンラインゲームなど）」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

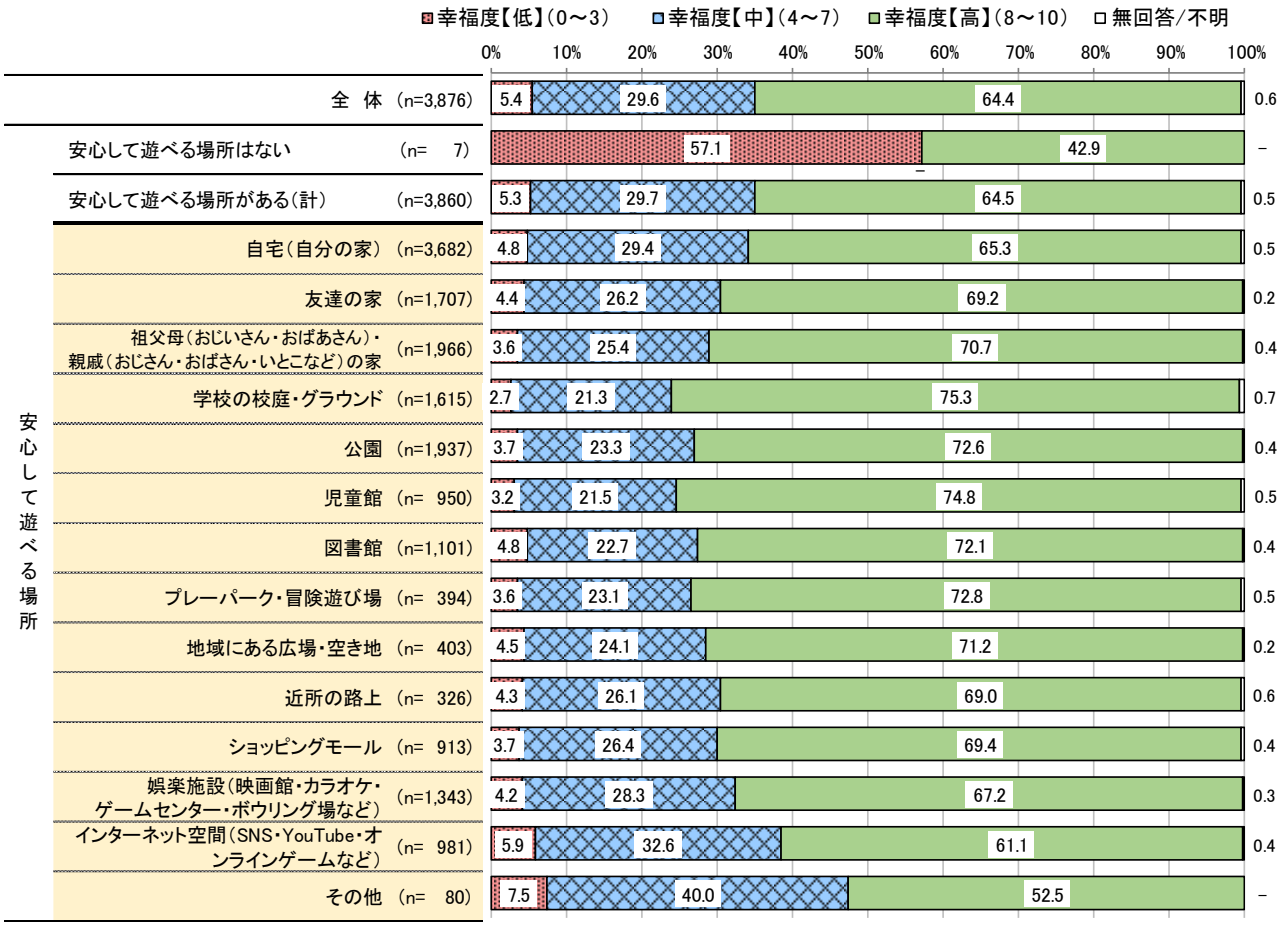
※令和6年は、小3・小5では「自分の家」は「自宅」、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」は「祖父母・親戚の家」という選択肢。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「安心して遊べる場所」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「安心して遊べる場所がある（計）」と回答した子供の 64.5%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-18　子供の幸福度（「安心して遊べる場所」の回答別 ）



【自由記述】

その他（安心して遊べる場所）
プール（子供・小3）
放課後居場所事業（子供・小3）
放課後等デイサービス（子供・小3）
ようちえん（ならいごと）（子供・小3）
ボルダリング教室。（子供・小3）
しつ内あそびば（子供・小3）
がくどう（子供・小3）
すみっこ（子供・小3）
自分の家の車の中（子供・小3）
学校の広場（子供・小3）
学校（子供・小5）
まちとも（子供・小5）
マンションの共用施設（子供・小5）
博物館や美術館（子供・小5）
学校の中休みと教室（子供・小5）
なっぱこども食堂（江戸川ベースnappa）（子供・小5）
大人が見守ってくれている場所（子供・小5）
駅（子供・小5）
スポーツ施設（子供・小5）
市の文化センター（子供・小5）
コミュニティーセンター（子供・中2）
体育館（子供・中2）
テニスコート（子供・中2）
学校自体（子供・中2）
クリーンセンター（子供・中2）
てつどう（子供・中2）
学校（子供・中2）
バスケコート（子供・中2）
青少年交流センター（子供・中2）
美術館（子供・17 歳）
学校（子供・17 歳）
卓球が出来る施設（子供・17 歳）
カードショップ（子供・17 歳）
スポーツジム（子供・17 歳）
アニメイト（子供・17 歳）
空港（子供・17 歳）
川（子供・17 歳）

（子供：共通）問6．あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。（1つだけ）

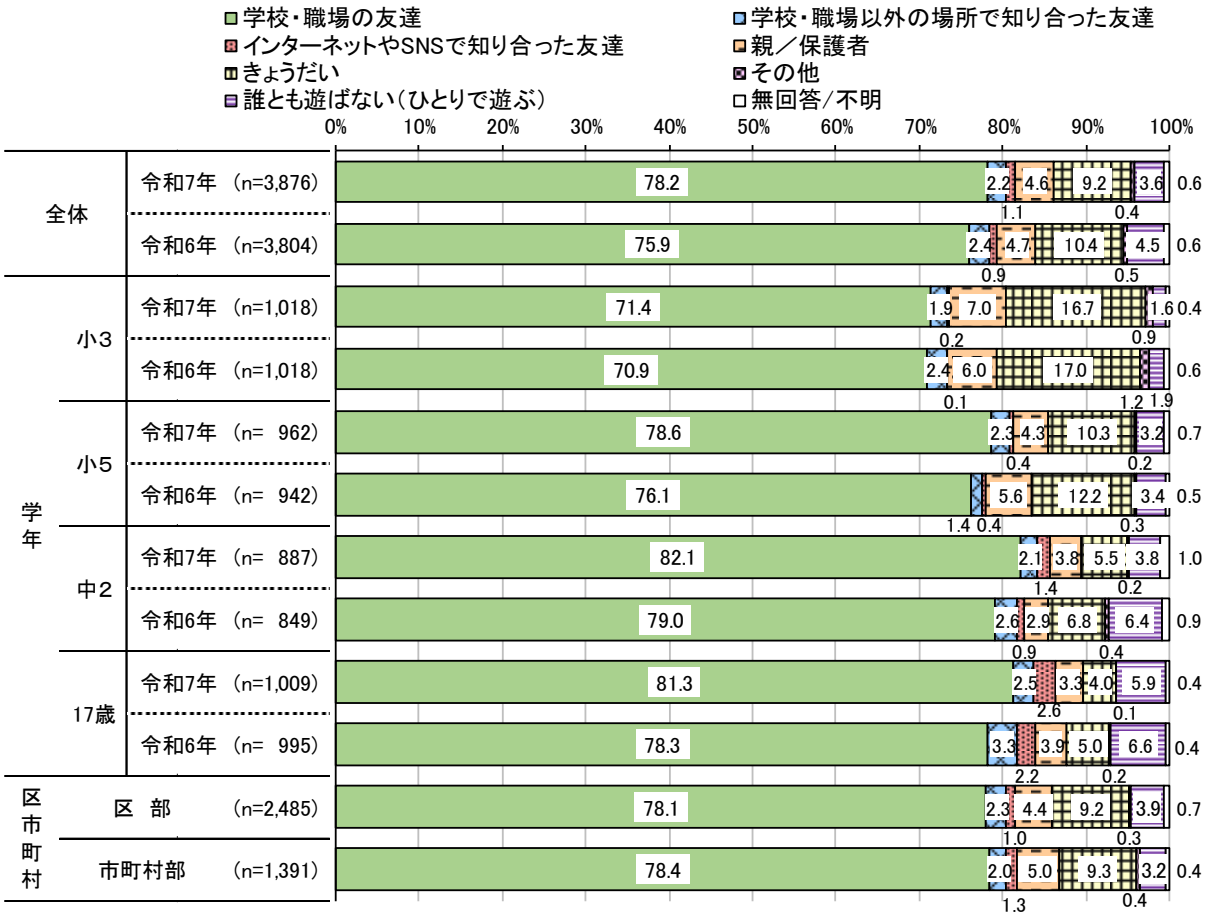
【全体】

「学校・職場の友達」が 78.2％で最も高く、次いで「きょうだい」が 9.2％、「親／保護者」が 4.6％である。「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」は 3.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「学校・職場の友達」が最も高い。また、「親／保護者」「きょうだい」は学年が上がるにつれて減少傾向である。

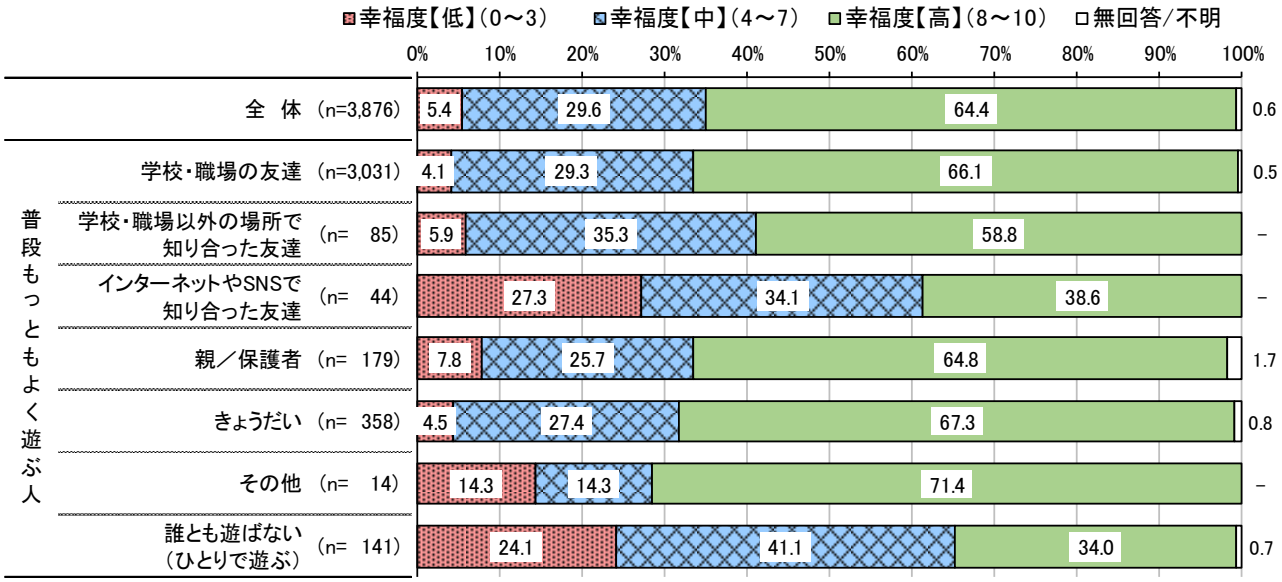
図表 1-19 普段もっともよく遊ぶ人 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「普段もっともよく遊ぶ人」の回答別に子供の幸福度をみると、「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」と回答した子供は幸福度【低】（0～3）が 24.1％である。

図表 1-20　子供の幸福度（「普段もっともよく遊ぶ人」の回答別）



【自由記述】

その他（普段もっともよく遊ぶ人）
家ぞく(子供・小3)
かぞく（子供・小3）
きんじょの友だち（子供・小3）
いとこ（子供・小3）
おさななじみ（子供・小3）
いとこ（子供・小3）
家ぞく（子供・小3）
いとこ（子供・小3）
幼なじみ（子供・小3）
従姉妹（子供・小3）
家族（子供・小5）
いとこ（子供・小5）
家族（子供・中2）
彼氏（子供・17 歳）

（子供：共通）問7．あなたは、週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

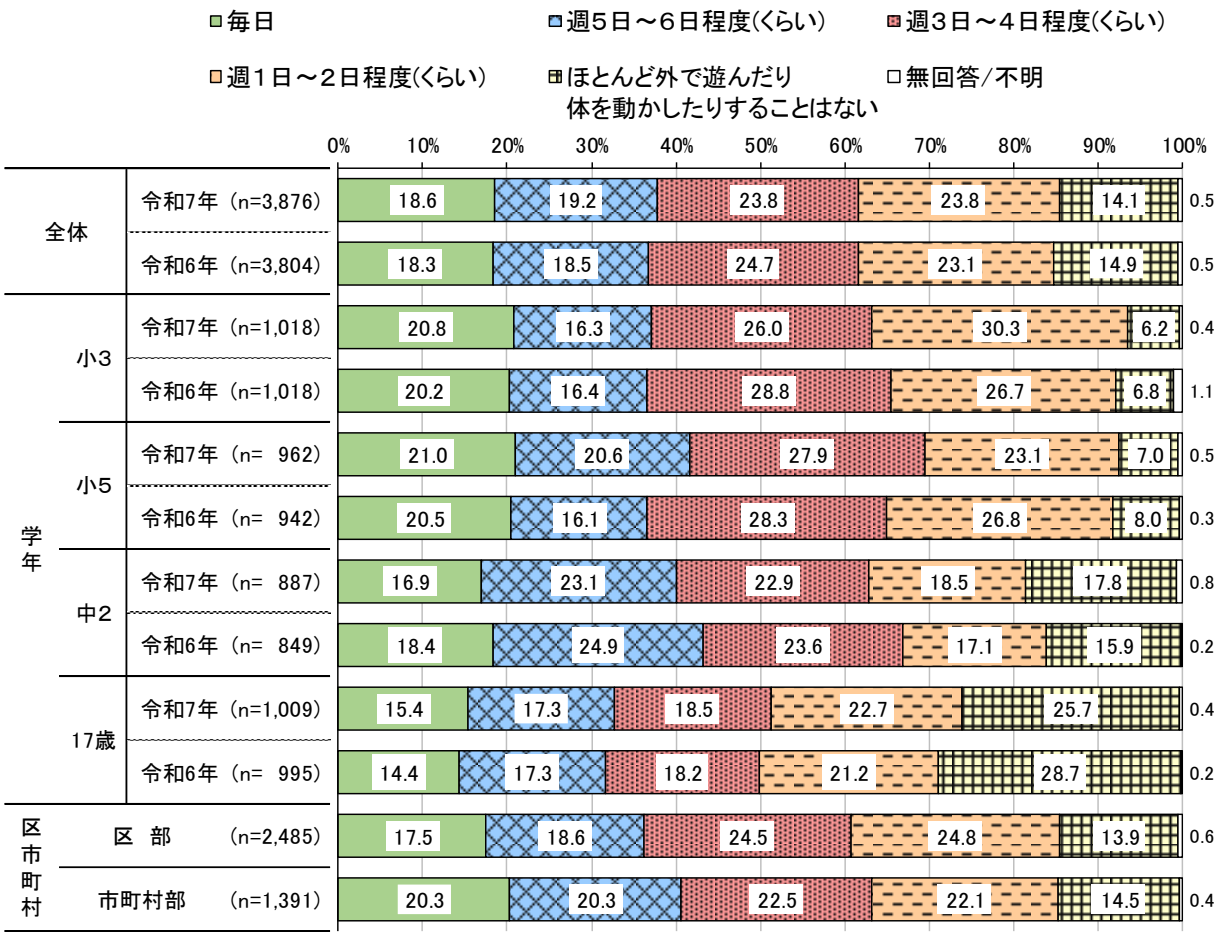
【全体】

「週3日～4日程度」「週1日～2日程度」がともに 23.8％で最も高く、「週5日～6日程度」が 19.2％で続く。

【学年別】

小3では「週1日～2日程度」が 30.3％、小5では「週3日～4日程度」が 27.9％、中2では「週5日～6日程度」が 23.1％、17 歳では「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」が 25.7％で、それぞれ最も高い。「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」は、学年が上がるにつれて、増加傾向である。

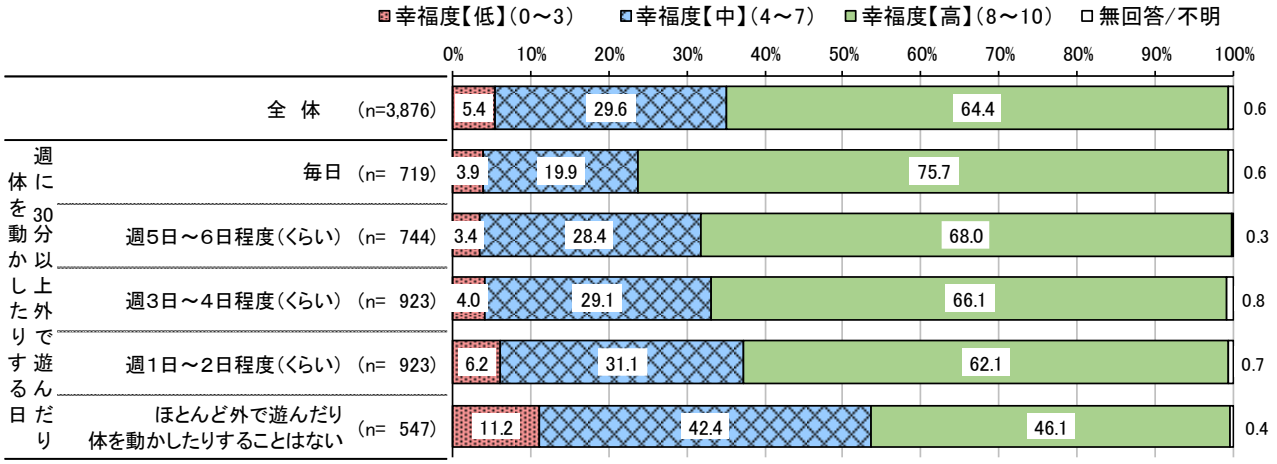
図表 1-21 週に30分以上外で遊んだり体を動かしたりする日 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日」の回答別に子供の幸福度をみると、「毎日」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 75.7%であるのに対し、「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 46.1%である。

図表 1-22　子供の幸福度(「週に30分以上外で遊んだり体を動かしたりする日」の回答別)



（子供：共通）問8．過去 1 年以内に、あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）で、次のような危険な目にあったことはありますか。（いくつでも）

【全体】

過去1年以内に住む地域で危険な目にあったことがある中では、「自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった」が23.9％で最も高く、次いで「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」が 17.2％、「知らない人に声をかけられた」が 11.6％、「知らない人ににらまれた、怒られた」が 11.0％、「知らない人が後ろをついてきた」が 3.6％で続いている。「危険な目にあったことはない」は 53.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「危険な目にあったことはない」が最も高い。「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」「自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-23 過去1年以内に住む地域で経験した危険な目 ＜複数回答＞

(%)

		n	車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった	自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった	知らない人に声をかけられた	知らない人ににらまれた、怒られた	知らない人が後ろをついてきた	知らない人に体をさわられた	知らない人から暴力を受けた	知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた
全体		3,876	17.2	23.9	11.6	11.0	3.6	0.7	0.4	0.2
学年	小3	1,018	12.6	18.1	11.1	6.9	4.0	0.8	0.4	0.3
	小5	962	13.4	23.5	11.7	12.5	3.3	0.5	0.4	0.4
	中2	887	18.3	26.8	14.0	13.8	4.2	0.8	0.3	－
	17歳	1,009	24.5	27.7	9.9	11.3	3.1	0.7	0.4	0.2
区市町村	区部	2,485	16.3	24.7	11.3	11.5	3.6	0.6	0.3	0.2
	市町村部	1,391	18.7	22.4	12.1	10.0	3.7	0.8	0.6	0.2

		その他	危険な目にあったことはない	無回答／不明	危険な目にあったことがある（計）
全体		1.5	53.9	2.0	44.1
学年	小3	2.0	59.4	2.3	38.3
	小5	2.6	54.5	2.7	42.8
	中2	0.6	49.7	1.9	48.4
	17歳	0.9	51.6	1.0	47.4
区市町村	区部	1.7	54.0	1.7	44.3
	市町村部	1.2	53.8	2.4	43.8

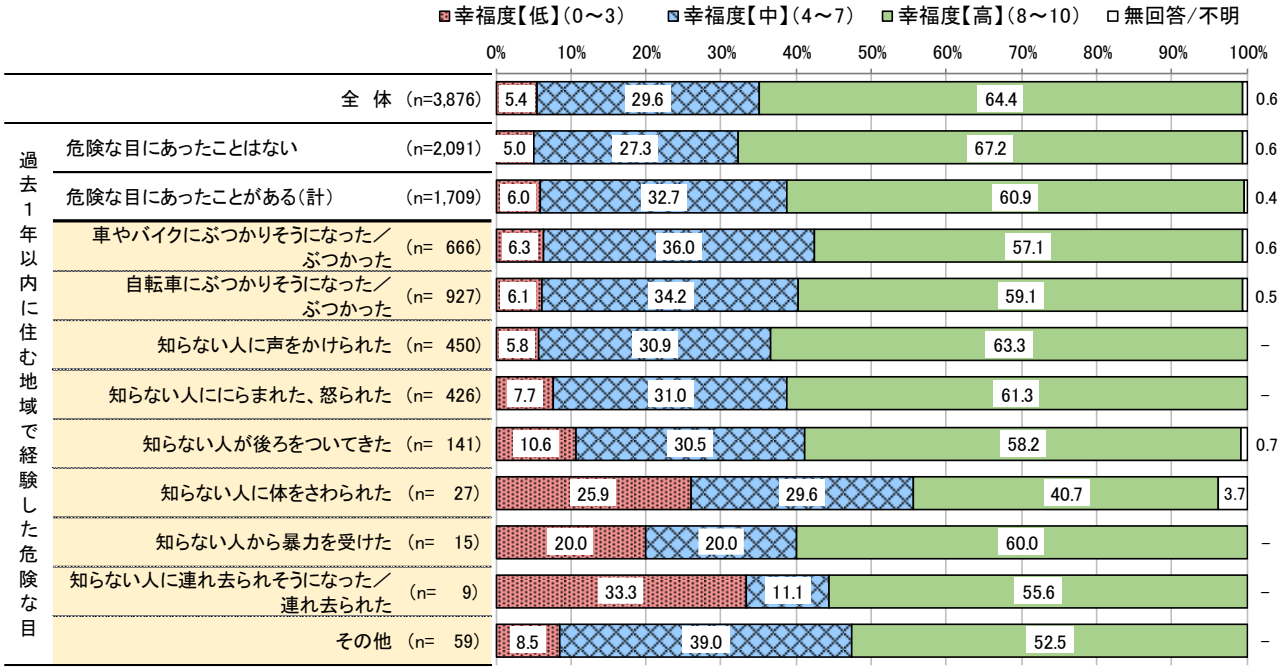
※危険な目にあったことがある（計）は「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」～「知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「過去1年以内に住む地域で経験した危険な目」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「危険な目にあったことがある(計)」と回答した子供は幸福度【高】(8～10)が 60.9%なのに対して、「危険な目にあったことはない」と回答した子供は幸福度【高】(8～10)が 67.2%である。

図表 1-24　子供の幸福度(「過去1年以内に住む地域で経験した危険な目」の回答別)



【自由記述】

その他（経験した危険な目）
知らない人がうしろからついてきた(子供・小3)
知らない人が小学校に入ってきた（子供・小3）
外国人に写真をとられたり、頭をなでられた。（写真は通学中、何回もある）（子供・小3）
知らない人にぶつかられそうになった。（子供・小3）
知らない人が家の近くをうろついていた（子供・小3）
しゃしんをとられたようなこと（子供・小3）
知らない人にしゃしんをとられた（子供・小3）
ランドセルをさわられた（子供・小3）
リードをつけていない犬においかけられた(もちぬしはいる)（子供・小3）
知らない人が叫んでた（子供・小3）
近くの交差点でこうつうしぼうじこあった（子供・小3）
盗撮された（子供・小3）
電柱に当たった（子供・小5）
不審者に追いかけられた。（友達と）（子供・小5）
知らないひとに写真をとられた（子供・小5）
いきなりうしろからぶつかってきた（子供・小5）
車が目の前でぶつかった。（子供・小5）
ナイフを持った人がすぐそばにいた（子供・小5）
電動キックボード（ループ）にひかれそうになった。（子供・小5）
相手がわざとあたってきたのにぼくがおこられた。（自転車）（子供・小5）
きけんな目に合ってる人を見た。（子供・小5）
自転車で転んだ（子供・小5）
歩行者に自転車でぶつかりそうになった（子供・小5）
近所の人に水をかけられた（子供・小5）
ちょっとだけまいごになりかけた（子供・小5）
知らない人に手を振られた。（子供・小5）
自転車にのっている知らないおじさんにしゃしんをとられた。（子供・中2）
露出狂に会った（子供・中2）
知らない人に舌うちをされた。（子供・中2）
不審者を見た（子供・17 歳）
歩きスマホをしてる人にぶつかりそうになった（子供・17 歳）
知らない人に凝視された、写真を撮られたことがある（子供・17 歳）
犬の散歩中トラブルにあった（子供・17 歳）
大人の人に手で道をさえぎられました。（子供・17 歳）
怪しい人を何回かみたことがある（子供・17 歳）
電車で降りる時後ろから押された（子供・17 歳）

（子供：共通）問9．あなたは東京が好きですか。（1つだけ）

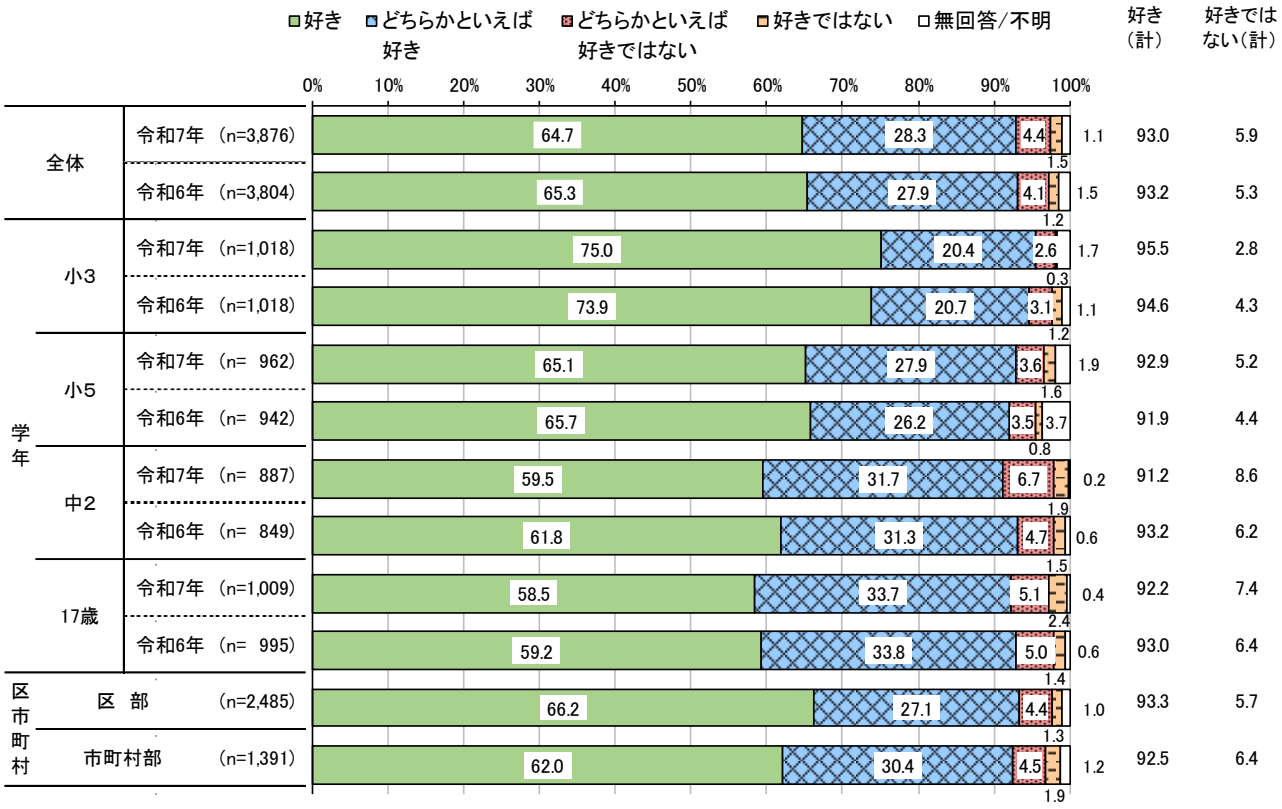
【全体】

「好き」が 64.7％で最も高く、次いで「どちらかといえば好き」が 28.3％であり、東京が好きと思っている（「好き」と「どちらかといえば好き」の割合）子供は 93.0％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好き」が最も高いが、学年が上がるにつれて減少傾向である。

図表 1-25 東京が好きか ＜単一回答＞



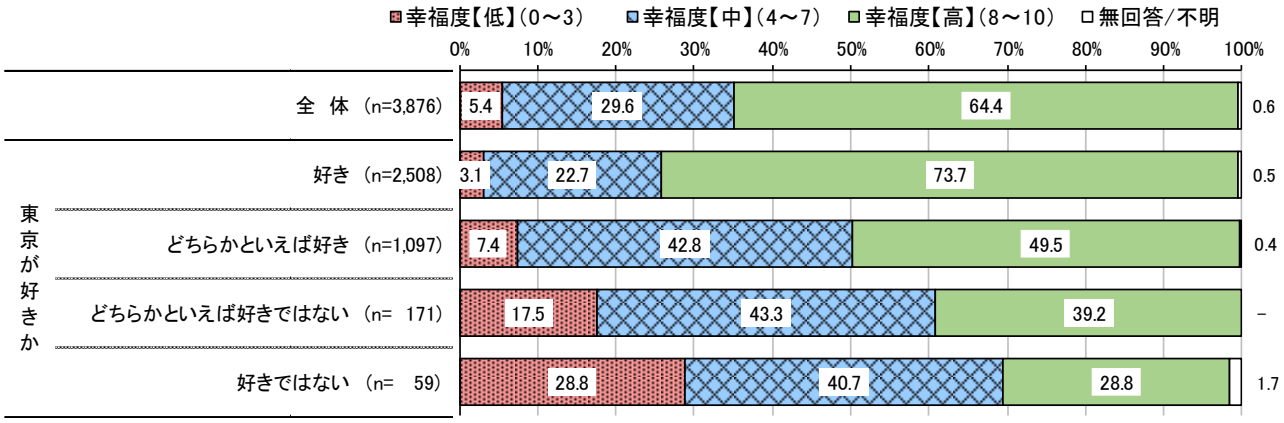
※好き（計）は「好き」及び「どちらかといえば好き」の割合。

好きではない（計）は「好きではない」及び「どちらかといえば好きではない」の割合。

【子供の幸福度】

「東京が好きか」の回答別に子供の幸福度をみると、「好き」と回答した子供は幸福度【高】(8～10)が 73.7%である。「好きではない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 28.8%である。

図表 1-26　子供の幸福度(「東京が好きか」の回答別)



（子供：共通）問 10. 問 9 で、その選択肢を選んだ理由は何ですか。（いくつでも）

※上記の設問を、問9で「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した子供と、「好きではない」または「どちらかといえば好きではない」と回答した子供で分けて集計した。

【全体】

問9で「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した子供の理由をみると、「施設（公共施設（図書館や児童館）・商業施設（ショッピングモール）・飲食店など）の数」が 60.7％で最も高く、次いで「交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）」が 54.8％、「遊ぶ場所の数」が 52.7％である。

【学年別】

小3では「遊ぶ場所の数」が 55.1％で最も高い。小5、中2では「施設（公共施設（図書館や児童館）・商業施設（ショッピングモール）・飲食店など）の数」がそれぞれ 59.3％、63.9％で最も高く、17 歳では「交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）」が 75.5％で最も高い。

【区市町村別】

区部では「交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）」が市町村部に比べて 7.9 ポイント高い。一方、市町村部では「自然・公園の量」が区部に比べて 6.8 ポイント高い。

図表 1-27 東京が好きな理由 ＜複数回答＞

(%)

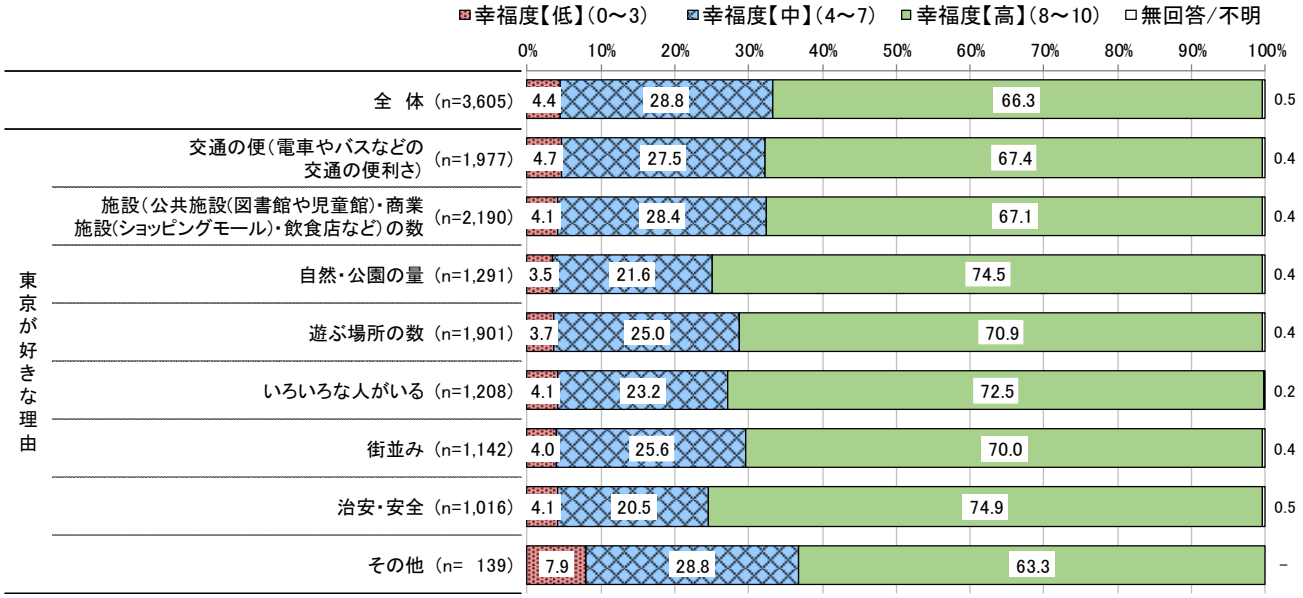
		n	交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）	施設（公共施設(図書館や児童館)・商業施設(ショッピングモール)・飲食店など）の数	自然・公園の量	遊ぶ場所の数	いろいろな人がいる	街並み	治安・安全
全　体		3,605	54.8	60.7	35.8	52.7	33.5	31.7	28.2
学年	小3	972	33.4	50.2	53.1	55.1	38.8	23.5	40.5
	小5	894	50.1	59.3	51.3	56.5	39.6	36.6	39.4
	中2	809	62.1	63.9	23.4	50.1	29.2	36.7	19.4
	17歳	930	75.5	70.4	13.7	48.9	25.9	31.2	12.2
区市町村	区　部	2,319	57.7	61.5	33.4	53.7	33.5	32.4	28.6
	市町村部	1,286	49.8	59.3	40.2	51.0	33.5	30.3	27.4

		その他	無回答/不明
全　体		3.9	0.4
学年	小3	4.9	0.9
	小5	5.0	0.1
	中2	3.2	0.4
	17歳	2.2	0.2
区市町村	区　部	3.4	0.4
	市町村部	4.6	0.4

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

図表 1-28　子供の幸福度（「東京が好きな理由」の回答別）



【全体】

問9で「好きではない」または「どちらといえば好きではない」と回答した子供の理由をみると、「治安・安全」が34.8%で最も高く、次いで「いろいろな人がいる」が 33.9%、「自然・公園の量」が 32.2%である。

図表 1-29 東京が好きではない理由 ＜複数回答＞

(%)

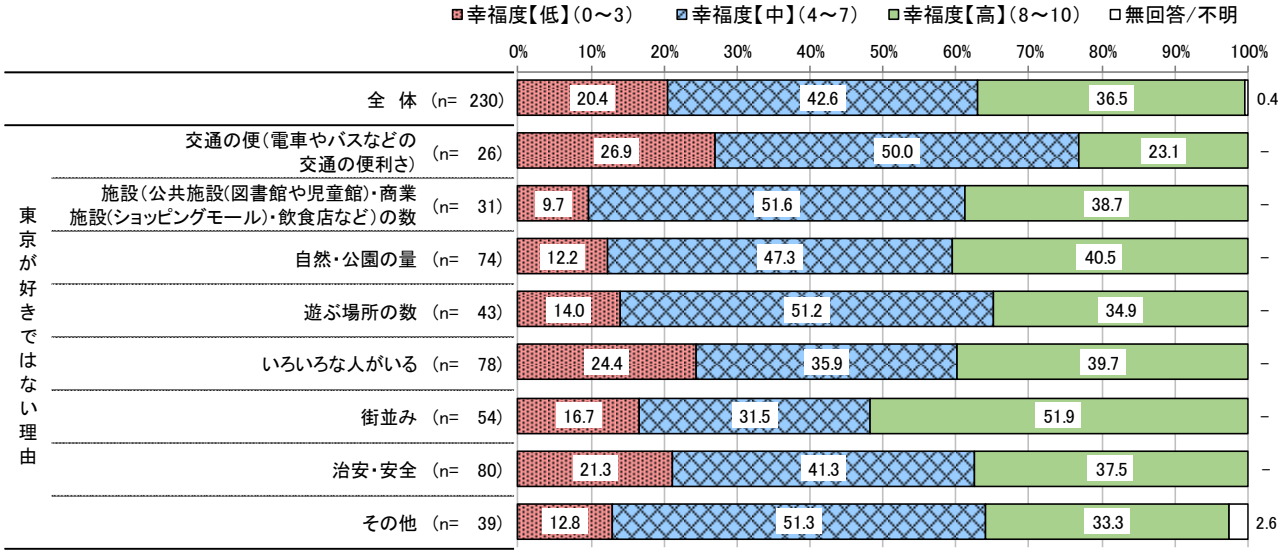
		n	交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）	施設（公共施設(図書館や児童館)・商業施設(ショッピングモール)・飲食店など）の数	自然・公園の量	遊ぶ場所の数	いろいろな人がいる	街並み	治安・安全
全体		230	11.3	13.5	32.2	18.7	33.9	23.5	34.8
学年	小3	29	3.4	13.8	27.6	20.7	31.0	3.4	13.8
	小5	50	6.0	14.0	36.0	20.0	18.0	26.0	28.0
	中2	76	10.5	15.8	34.2	17.1	38.2	26.3	43.4
	17歳	75	18.7	10.7	29.3	18.7	41.3	26.7	38.7
区市町村	区部	141	12.1	15.6	31.9	21.3	34.8	23.4	33.3
	市町村部	89	10.1	10.1	32.6	14.6	32.6	23.6	37.1

		その他	無回答/不明
全体		17.0	0.9
学年	小3	24.1	－
	小5	24.0	－
	中2	18.4	2.6
	17歳	8.0	－
区市町村	区部	18.4	0.7
	市町村部	14.6	1.1

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

図表 1-30　子供の幸福度（「東京が好きではない理由」の回答別）



【自由記述】

その他（東京が好き／好きではない理由）
【好きな理由】
県の形が金魚みたいで面白い・小さくて可愛いから（子供・小3）
お祭がある（子供・小3）
住んでるから好き（子供・小3）
江戸城跡があるから（子供・小3）
ならいごとができる。（子供・小5）
おちつける（子供・小5）
綺麗（子供・小5）
我が家がある所（子供・小5）
今のクラスが楽しい（子供・小5）
みんなやさしい（子供・小5）
東京しか知らないから（子供・中2）
学力が高い（子供・中2）
育った場所で安心感があるから（子供・中2）
食べ物のおいしさ（子供・中2）
大学の多さ（子供・17 歳）
僕が東京に生まれたことに感謝しているから。（子供・17 歳）
同じぐらいの歳の子が多い（子供・17 歳）
【好きではない理由】
ただの町みたいだから（子供・小3）
車などのはいきガスがすごく多い。（子供・小3）
ごみがおちててきたないから（子供・小3）
自分をじーっと見てくる人が多いから（子供・小3）
鹿児島のほうが好きだから（子供・小5）
人が守ってくれない（子供・小5）
都会すぎる（子供・小5）
騒音（子供・中2）
ゴミが多い（子供・中2）
においがきらい（子供・中2）
信号無視が多い（子供・中2）
学校の先生に怒られたのがトラウマになった。（子供・中2）
東京の範囲 東京一極集中（子供・17 歳）
つまらない（子供・17 歳）
友達がいない（子供・17 歳）
千葉が好きだから（子供・17 歳）
外国の方のマナーがあまり良くないと思う（子供・17 歳）

（子供：共通）問 11. あなたが、20年後に一番叶えたいことは何ですか。（1つだけ）

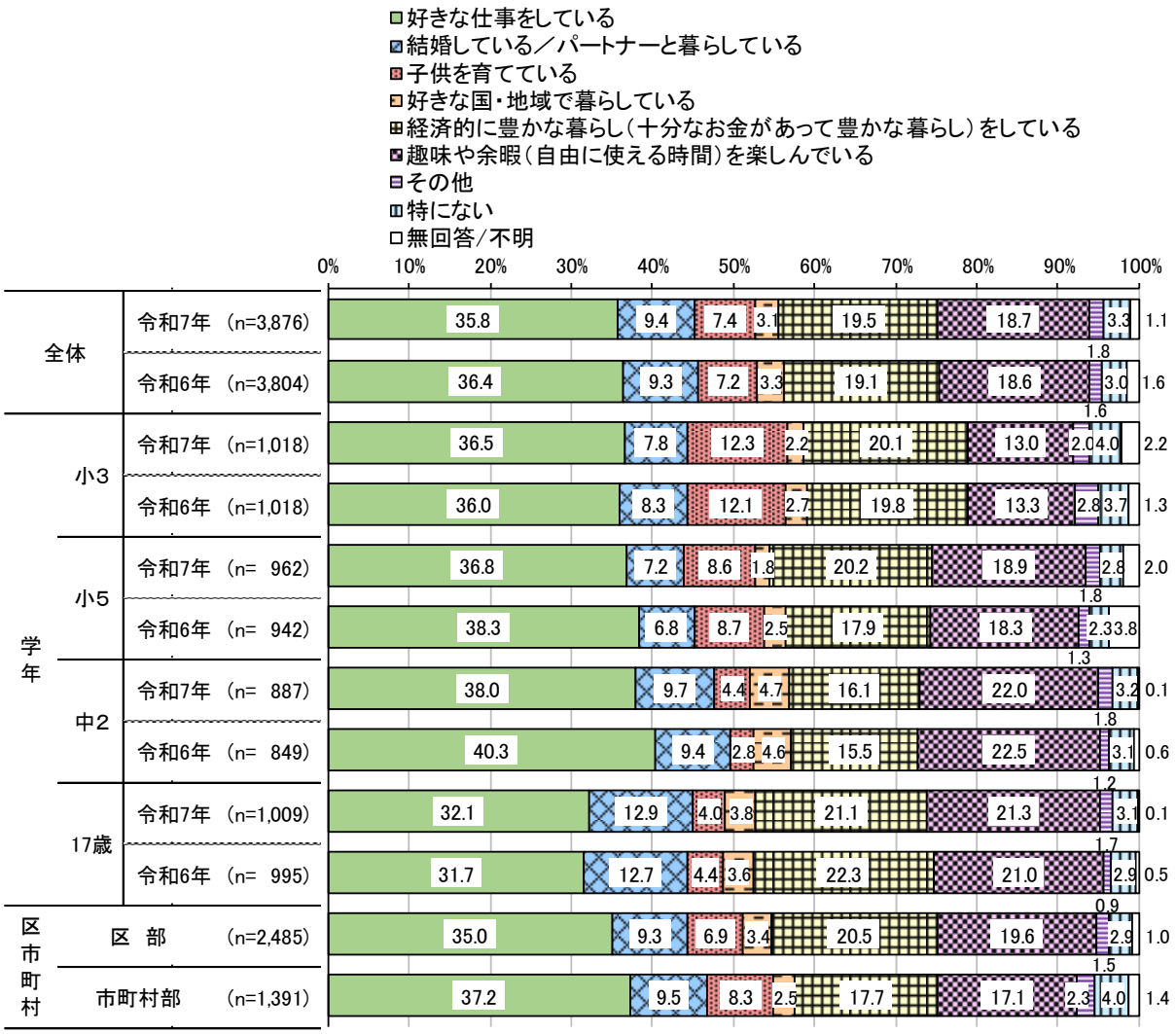
【全体】

「好きな仕事をしている」が 35.8％で最も高く、次いで「経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている」が 19.5％、「趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる」が 18.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好きな仕事をしている」の割合が最も高い。

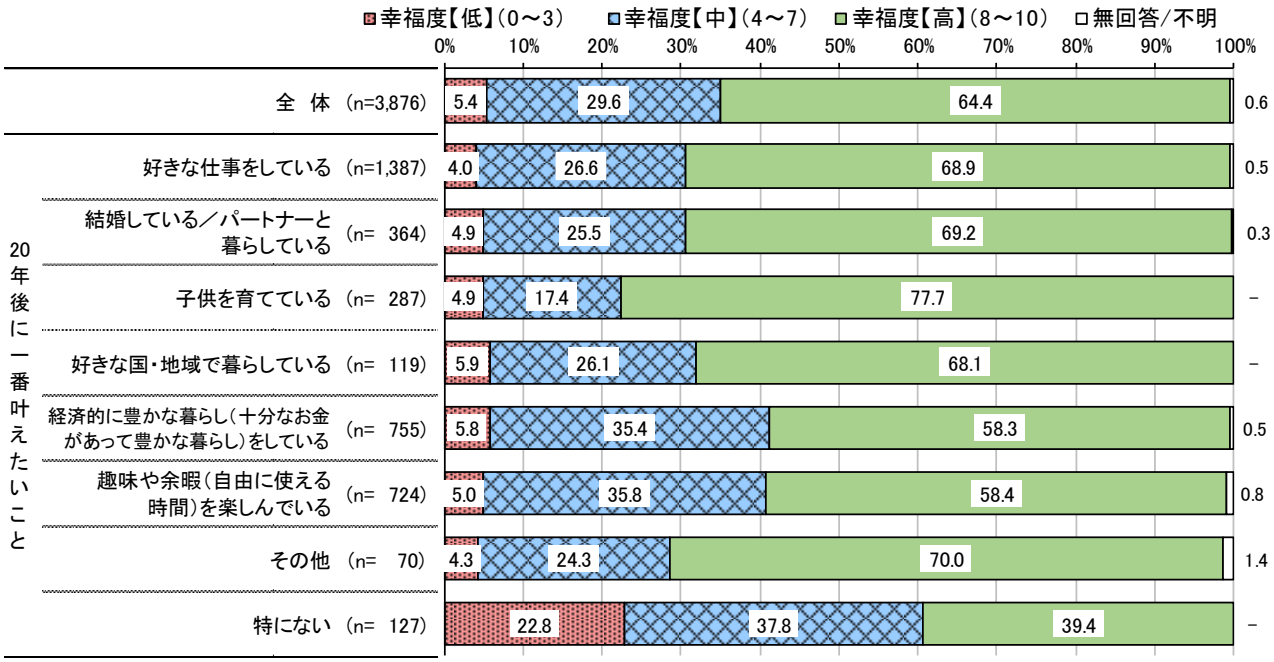
図表 1-31 20年後に一番叶えたいこと ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「20年後に一番叶えたいこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を育てている」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 77.7%である。

図表 1-32　子供の幸福度(「20年後に一番叶えたいこと」の回答別)



【自由記述】

その他（20年後に一番叶えたいこと）
自分のしょうらいのゆめをかなえている（子供・小3）
鳥を飼う（子供・小3）
沢山あって悩んでいる。1つだけは選べない。（子供・小3）
家ぞくと、楽しく来らしている。（子供・小3）
友達と遊んでいたいし、家族と一緒に色々な所へ行きたい。（子供・小3）
しぜんであんぜんにくらせる（子供・小3）
なん年も家ぞくみんななかよくすごしていること（子供・小3）
お父さんお母さんと楽しくすごす（子供・小3）
楽しく暮らしたい（子供・小3）
安全なくらしができる（子供・小3）
ともだちと虫のしょくぶつかんをつくる（子供・小3）
けんこうに人生をたのしみたい（子供・小3）
サッカー（子供・小5）
毎日安全で健康な暮らし（子供・小5）
おやをしあわせにする。（子供・小5）
みんながしあわせでいること（子供・小5）
動物をかっている（子供・小5）
自分の夢を叶えてる（子供・小5）
猫を飼う（子供・小5）
友だちといっしょにくらす（子供・小5）
勉強ができる人（子供・小5）
犬といっしょにくらす。（子供・小5）
今の私が見てなっとくできることをしている。（子供・小5）
楽しい（子供・中2）
幸せでいること（子供・中2）
友人がまだ生きている（子供・中2）
疎遠にならない友達がいる（子供・中2）
自分の夢が叶っている（子供・中2）
自分の選択に後悔していない（子供・中2）
生きているという実感ある（子供・中2）
今大切にしている人たちと関わり続けている（子供・中2）
車を運転する（子供・17 歳）
笑顔で幸せに過ごしてる（子供・17 歳）
元気に暮らしている（子供・17 歳）
世界平和（子供・17 歳）
全ての要素を包括して考えたとき、幸せだと思う生活を送っている（子供・17 歳）
自分のしたいことをできている（子供・17 歳）

（子供：共通）問 12.【問 11 で「好きな仕事をしている」～「趣味や余暇を楽しんでいる」「その他」と答えた方にお聞きします。】
問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。（1つだけ）

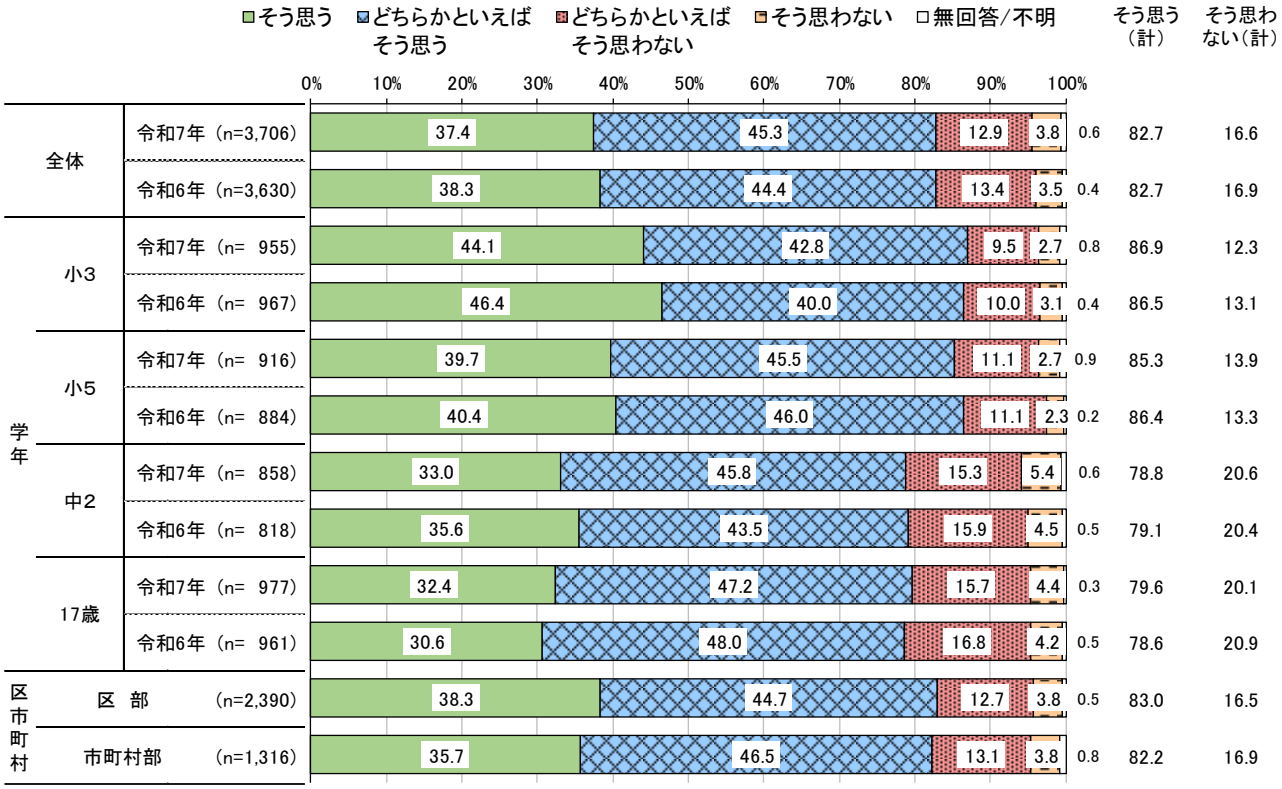
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 45.3％で最も高く、次いで「そう思う」が 37.4％であり、20 年後に叶えたいと思っていることが、将来的に叶えられていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は 82.7％である。

【学年別】

小3では「そう思う」が 44.1％で最も高く、小5、中2、17 歳では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、それぞれ 45.5％、45.8％、47.2％である。

図表 1-33 将来的に叶えられているか ＜単一回答＞

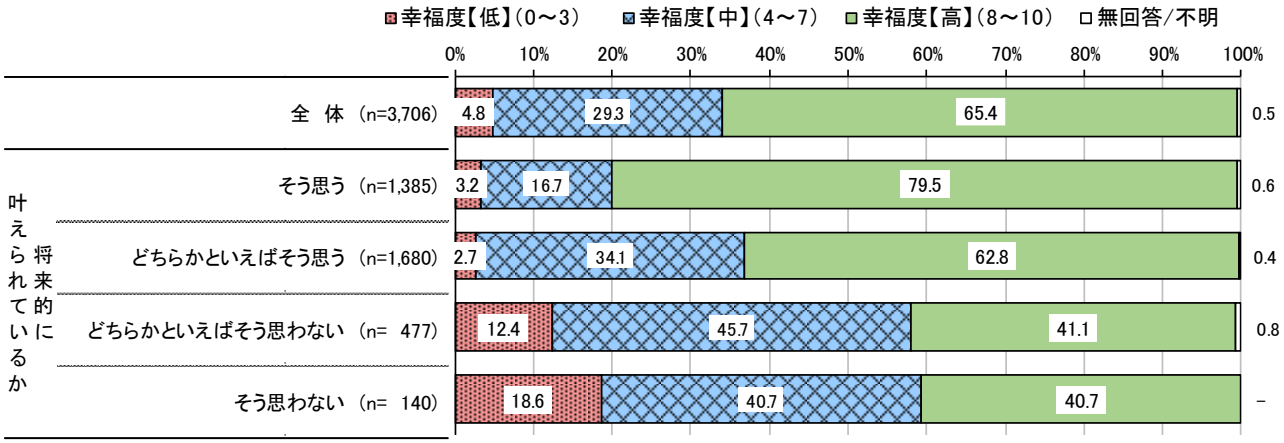


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「将来的に叶えられているか」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」では幸福度【高】(8～10)が 79.5%である。一方「そう思わない」では幸福度【低】(0～3)が 18.6%である。

図表 1-34　子供の幸福度(「将来的に叶えられているか」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。（1つだけ）

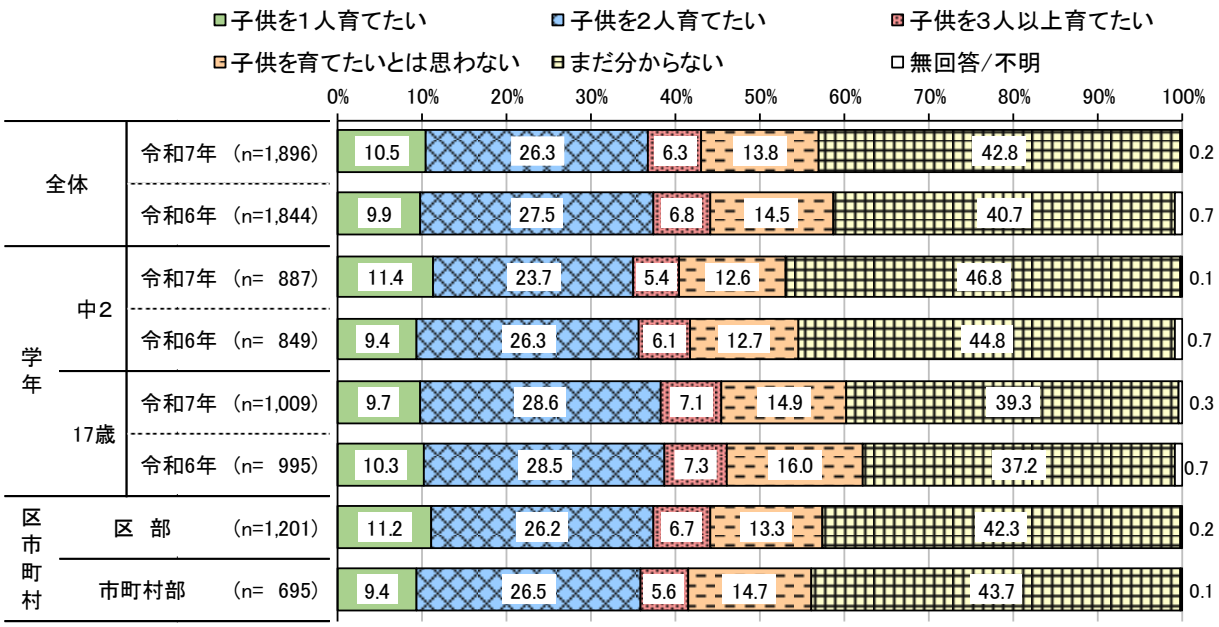
【全体】

「まだ分からない」が 42.8％で最も高く、「子供を2人育てたい」が 26.3％、「子供を育てたいとは思わない」が 13.8％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「まだ分からない」の割合が最も高い。次いで中2、17 歳ともに「子供を2人育てたい」となっている。

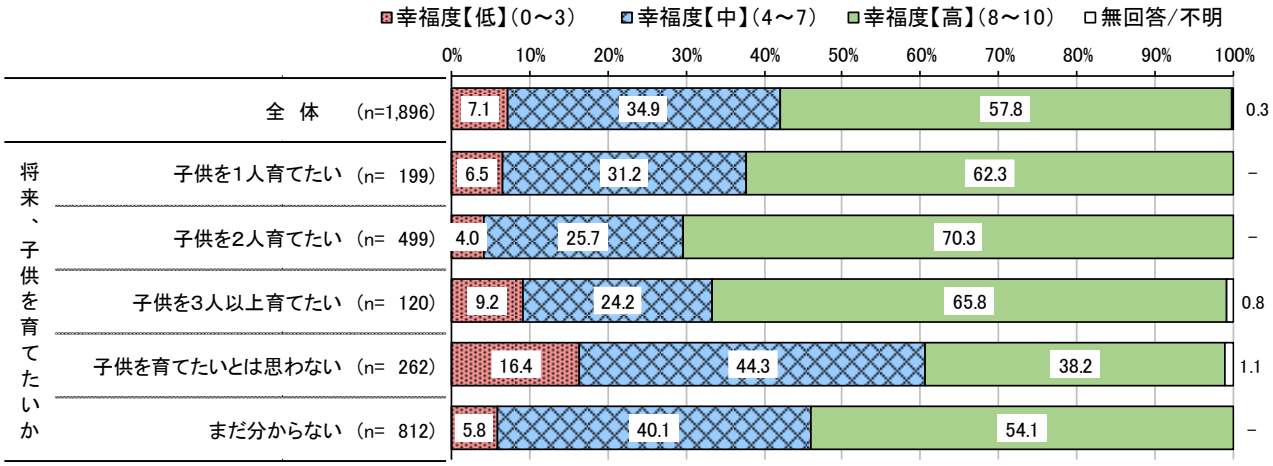
図表 1-35 将来、子供を育てたいか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「将来、子供を育てたいか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を育てたいとは思わない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 16.4%である。

図表 1-36　子供の幸福度(「将来、子供を育てたいか」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。
（1つだけ）

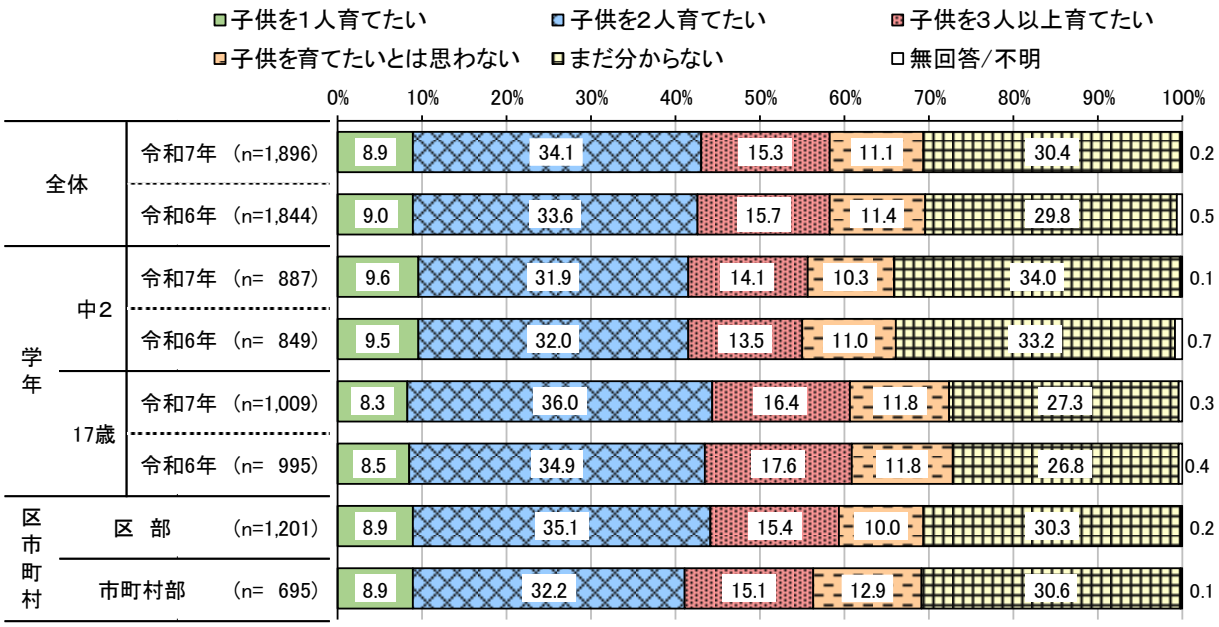
【全体】

「子供を2人育てたい」が 34.1％で最も高く、次いで「まだ分からない」が 30.4％、「子供を3人以上育てたい」が 15.3％である。

【学年別】

中2では「まだ分からない」が 34.0％で最も高く、17 歳では「子供を2人育てたい」が 36.0％で最も高い。

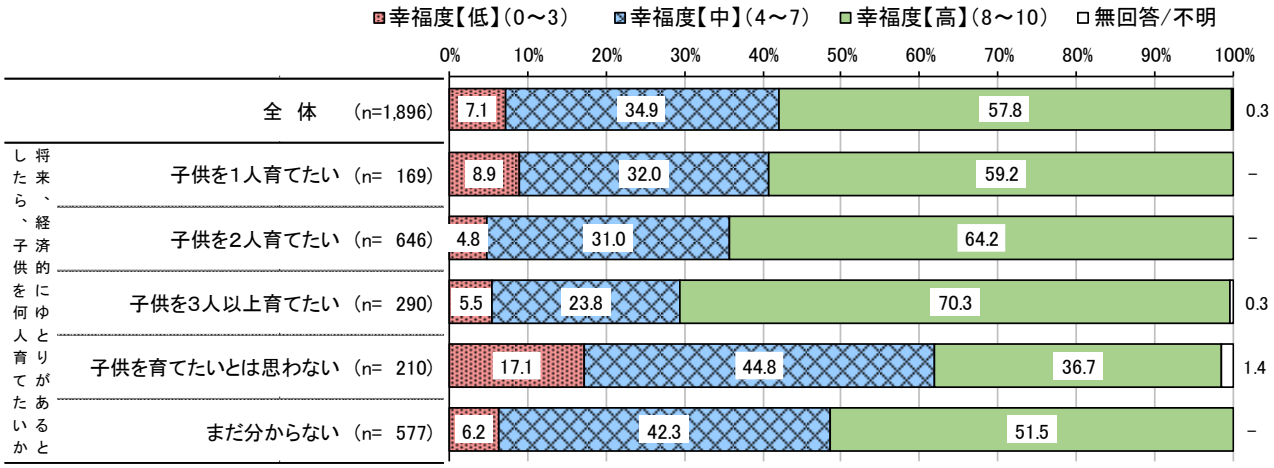
図表 1-37 将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を3人以上育てたい」では幸福度【高】(8～10)が 70.3%、「子供を育てたいとは思わない」では幸福度【低】(0～3)が 17.1%である。

図表 1-38　子供の幸福度(「将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか」の回答別)



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（A　将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う）

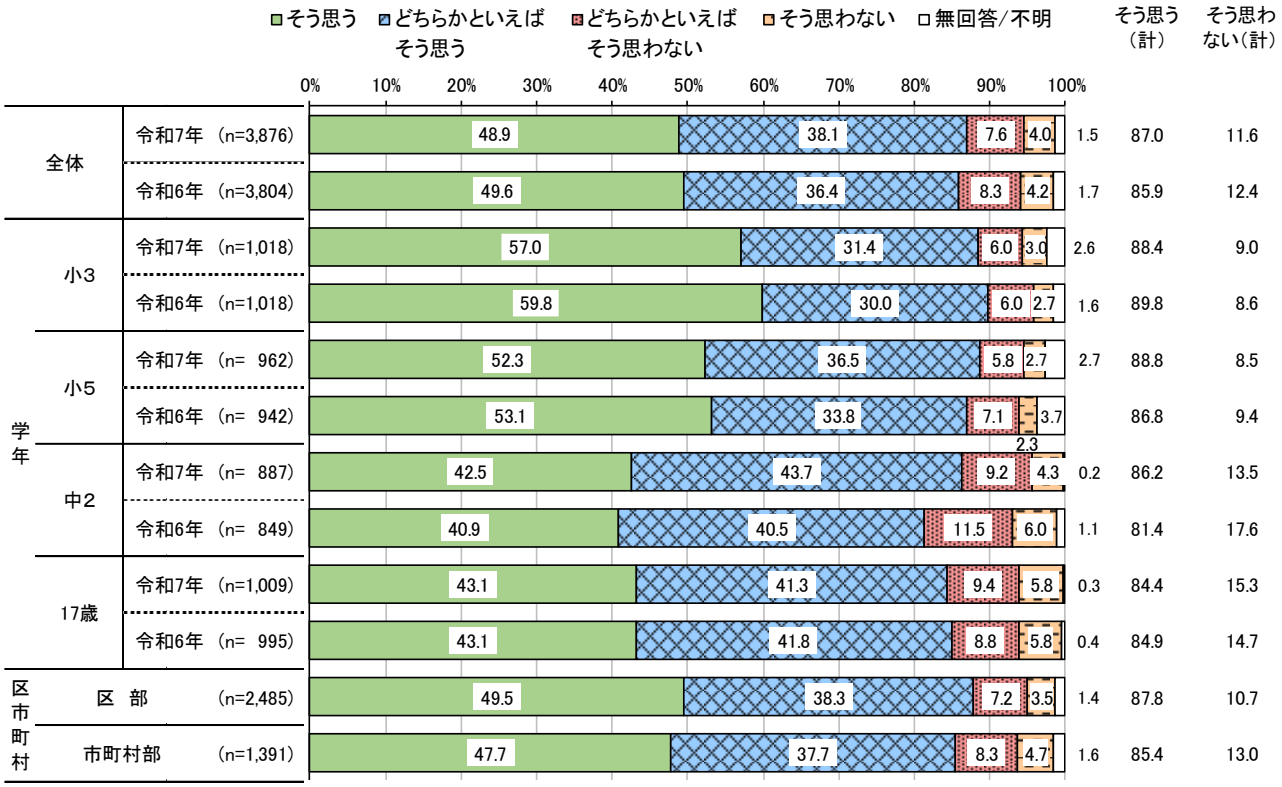
【全体】

「そう思う」が 48.9％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 38.1％であり、将来社会のために役立つ仕事をしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 87.0％である。

【学年別】

小3、小5、17歳では「そう思う」が最も高く、中2では「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

図表 1-39　A　将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う　＜単一回答＞

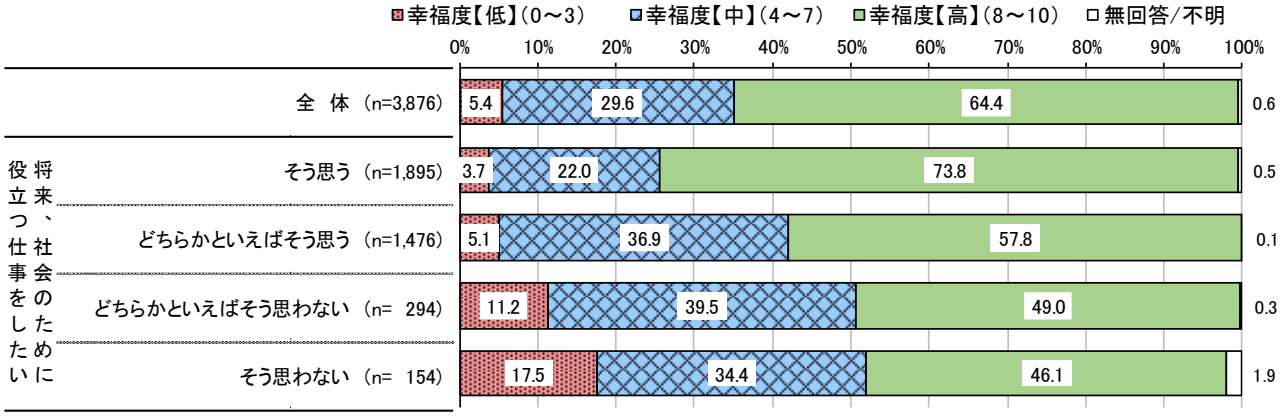


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「将来、社会のために役立つ仕事をしたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.8%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 17.5%である。

図表 1-40　子供の幸福度(「将来、社会のために役立つ仕事をしたい」の回答別)



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（B　ボランティアをしたいと思う）

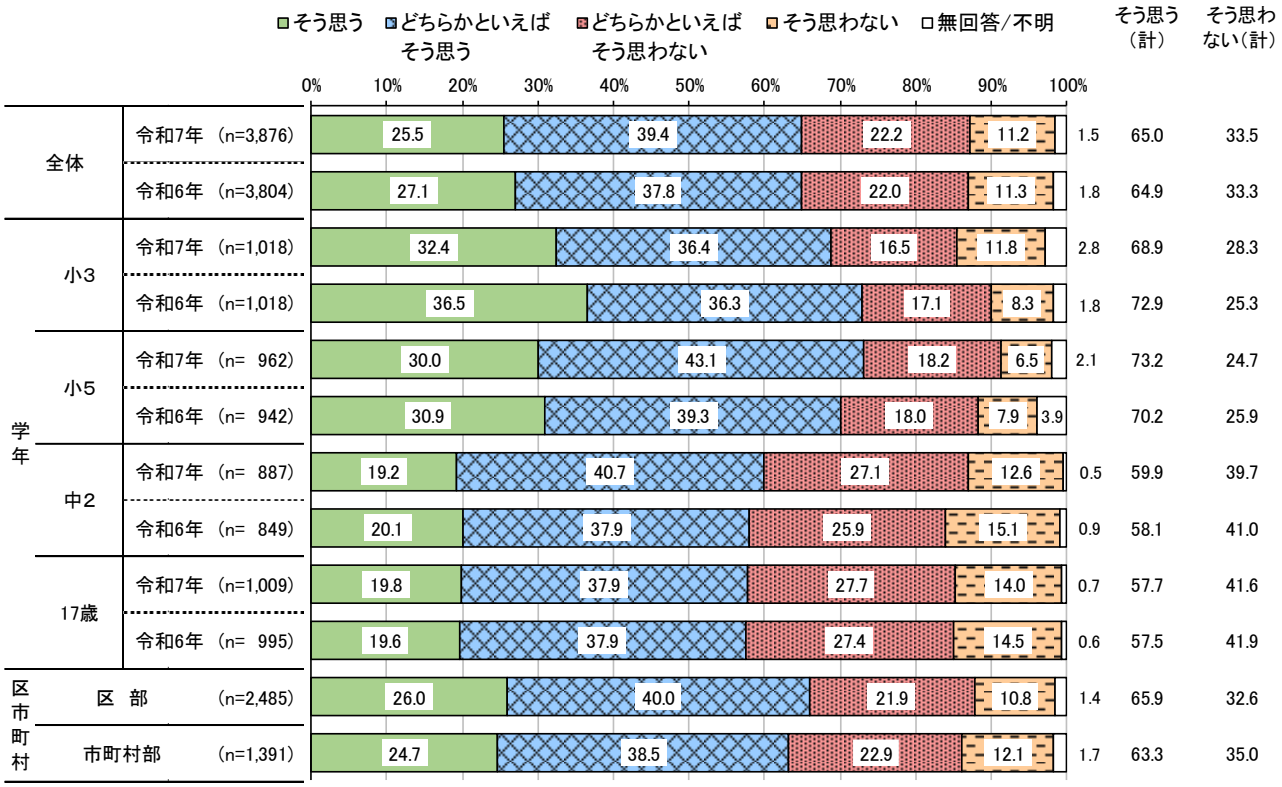
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 39.4％で最も高く、次いで「そう思う」が 25.5％であり、ボランティアをしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 65.0％である。

【学年別】

ボランティアをしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、73.2％である。

図表 1-41　B ボランティアをしたいと思う ＜単一回答＞

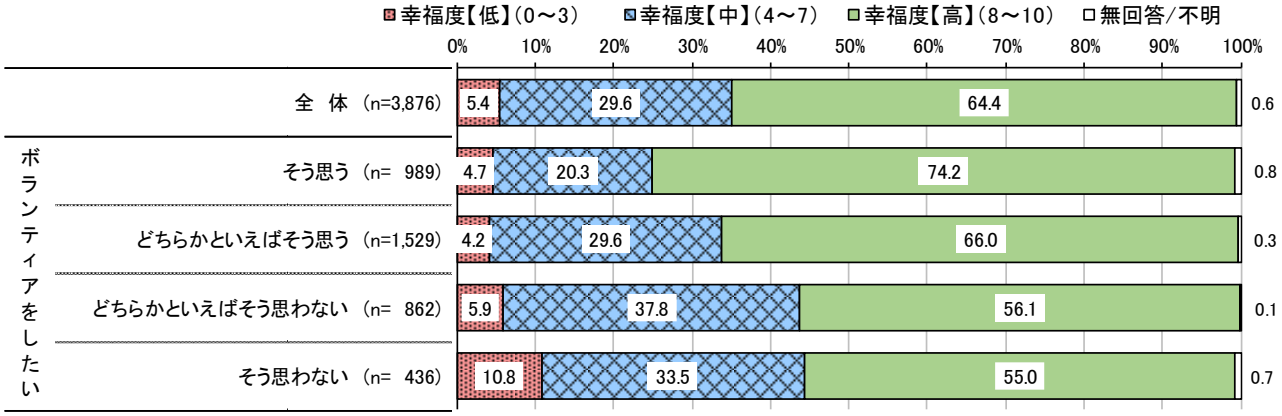


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「ボランティアをしたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が74.2%である。「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が10.8%である。

図表 1-42　子供の幸福度(「ボランティアをしたい」の回答別)



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（C　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある）

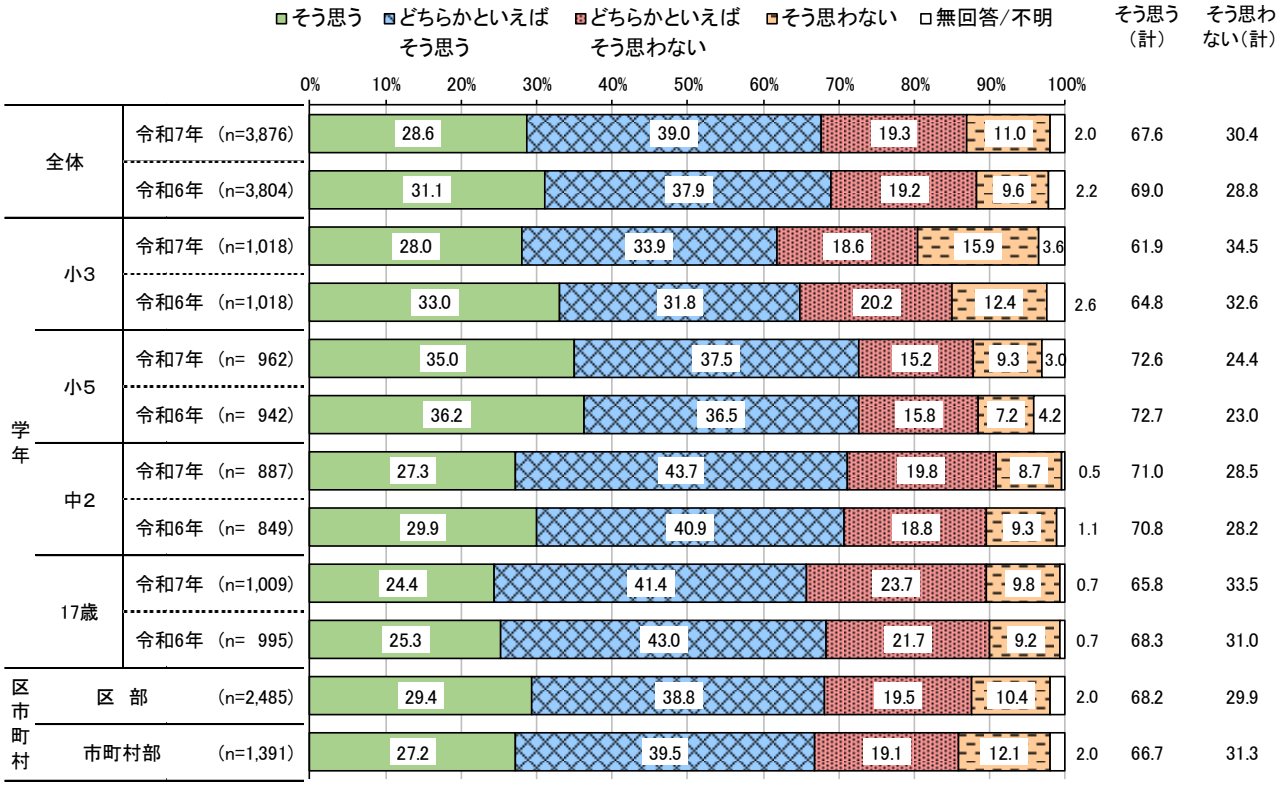
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 39.0％で最も高く、次いで「そう思う」が 28.6％であり、社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 67.6％である。

【学年別】

社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、72.6％である。

図表 1-43　C　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）についての関心がある＜単一回答＞

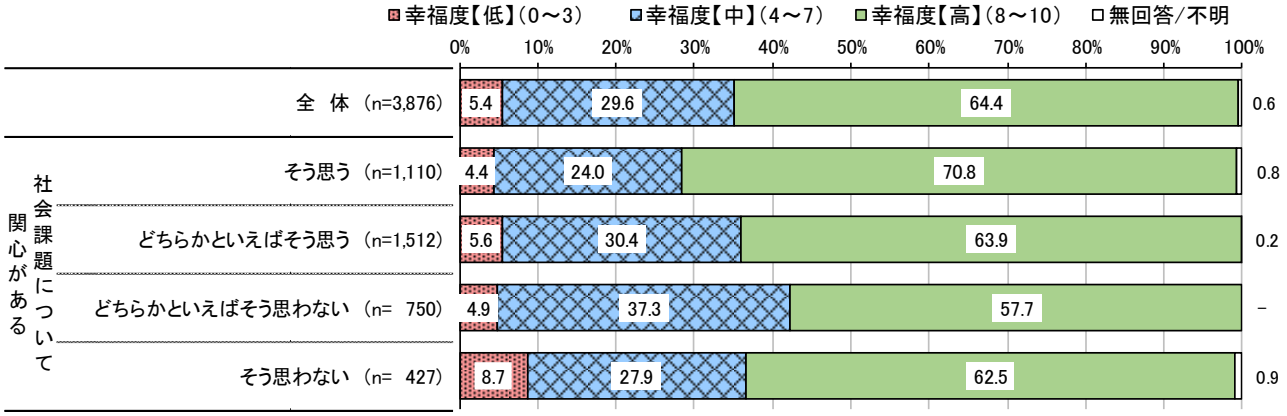


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 70.8％である。「そう思わない」と回答した子供では幸福度【低】（0～3）が 8.7％である。

図表 1-44　子供の幸福度（「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」の回答別）



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（D　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している）

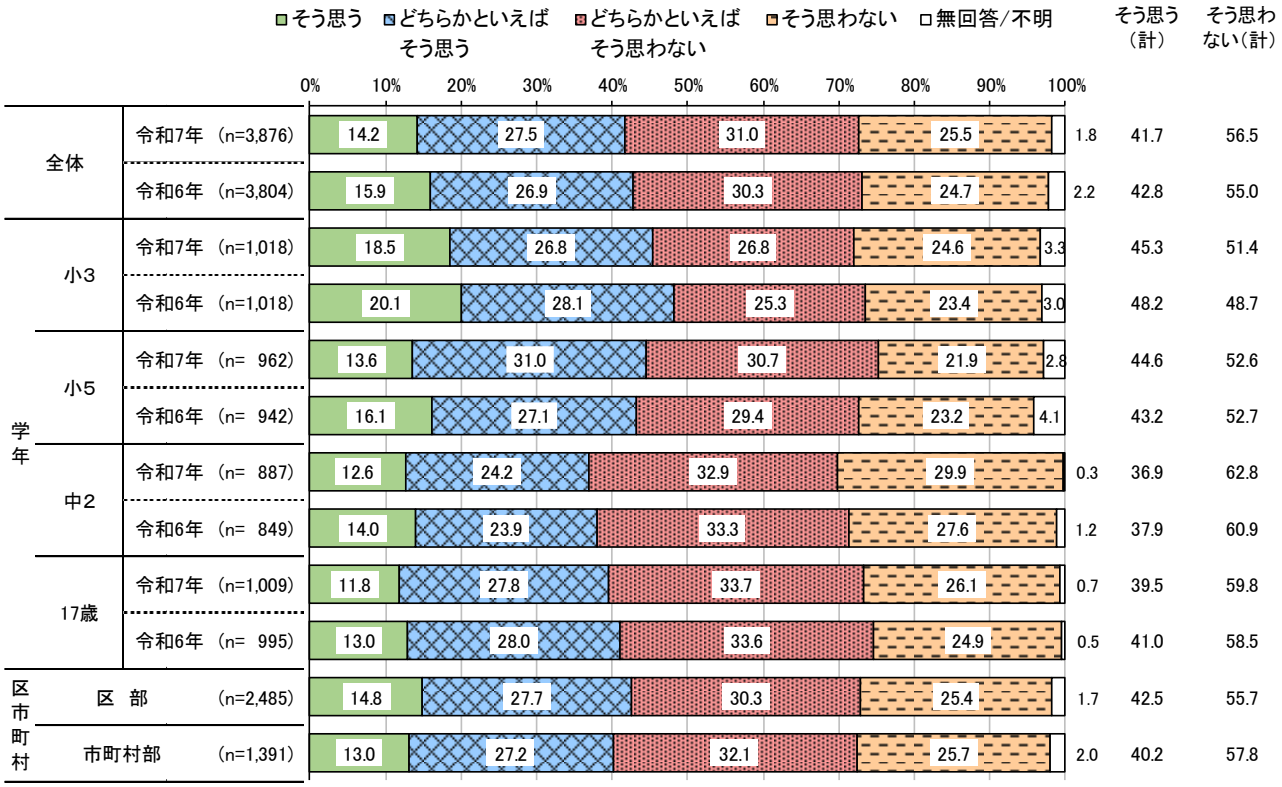
【全体】

「どちらかといえばそう思わない」が 31.0％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.5％である。社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論していない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）子供は 56.5％である。

【学年別】

小3では「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が並んで最も高く、小5では「どちらかといえばそう思う」が最も高い。また、中2、17 歳では「どちらかといえばそう思わない」が最も高い。

図表 1-45　D 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について家族や友達と積極的に議論している ＜単一回答＞

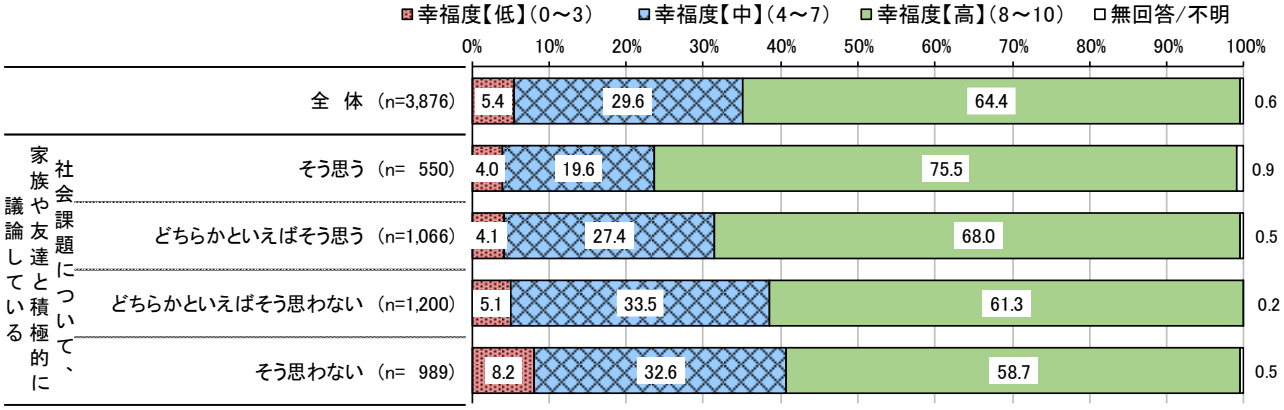


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論している」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 75.5％である。「そう思わない」と回答した子供では幸福度【低】（0～3）が 8.2％である。

図表 1-46　子供の幸福度（「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している」の回答別）



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（E　未来の社会を良くするために何か行動しようと思う）

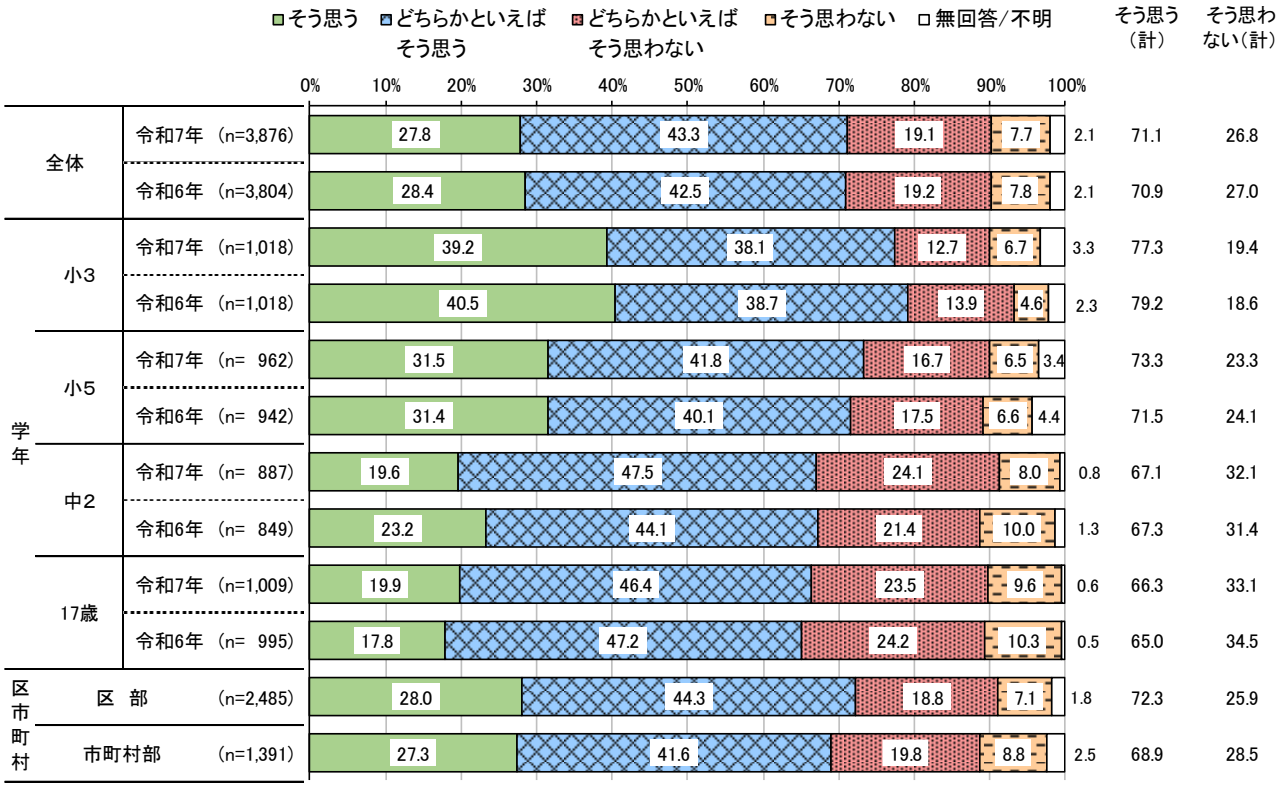
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 43.3％で最も高く、次いで「そう思う」が 27.8％である。未来の社会を良くするために何か行動しようと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 71.1％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、未来の社会を良くするために何か行動しようと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は減少傾向である。

図表 1-47　E　未来の社会を良くするために何か行動しようと思う　＜単一回答＞

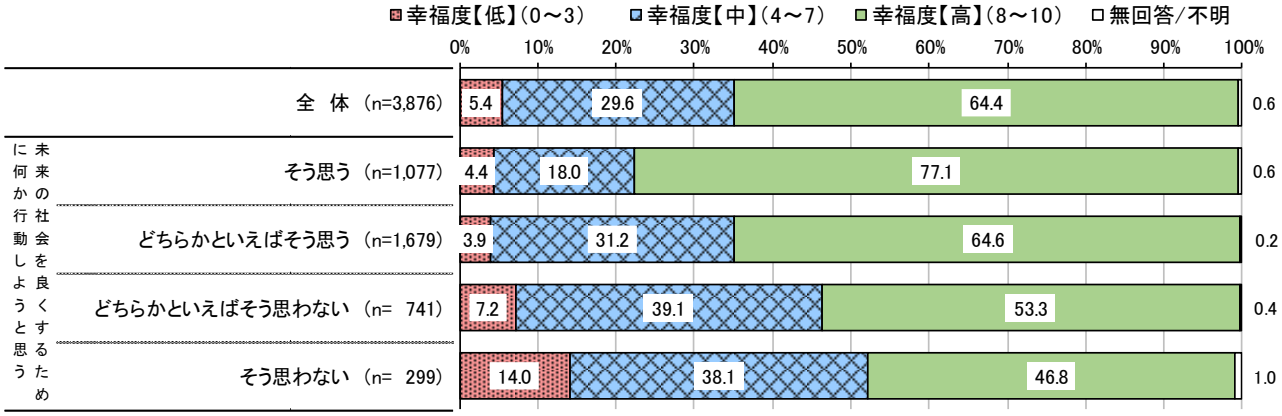


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 77.1%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 14.0%である。

図表 1-48　子供の幸福度(「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」の回答別)



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

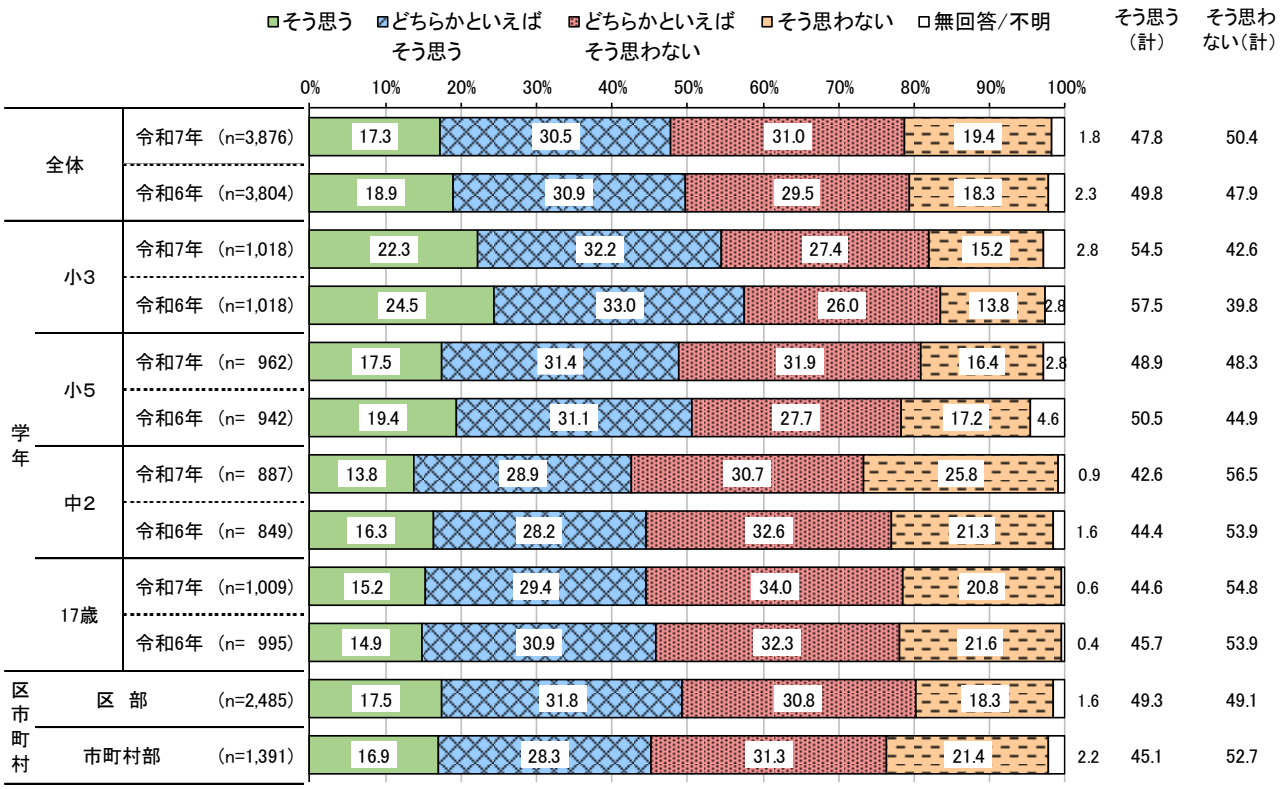
【全体】

「どちらかといえばそう思わない」が 31.0％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.5％である。自分の行動で社会を変えられると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 47.8％であり、自分の行動で社会を変えられると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）子供は 50.4％と二分されている。

【学年別】

小3では「どちらかといえばそう思う」が 32.2％と最も高いが、小5、中2、17 歳では「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、それぞれ 31.9％、30.7％、34.0％である。

図表 1-49　F　自分の行動で社会を変えられると思う ＜単一回答＞

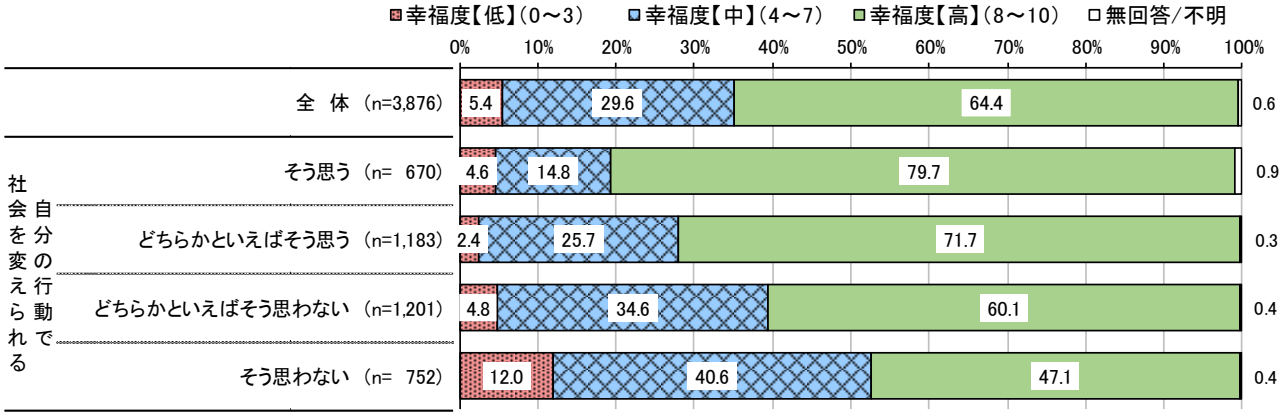


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の行動で社会を変えられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 79.7%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 12.0%である。

図表 1-50　子供の幸福度(「自分の行動で社会を変えられる」の回答別)



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（G　機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）

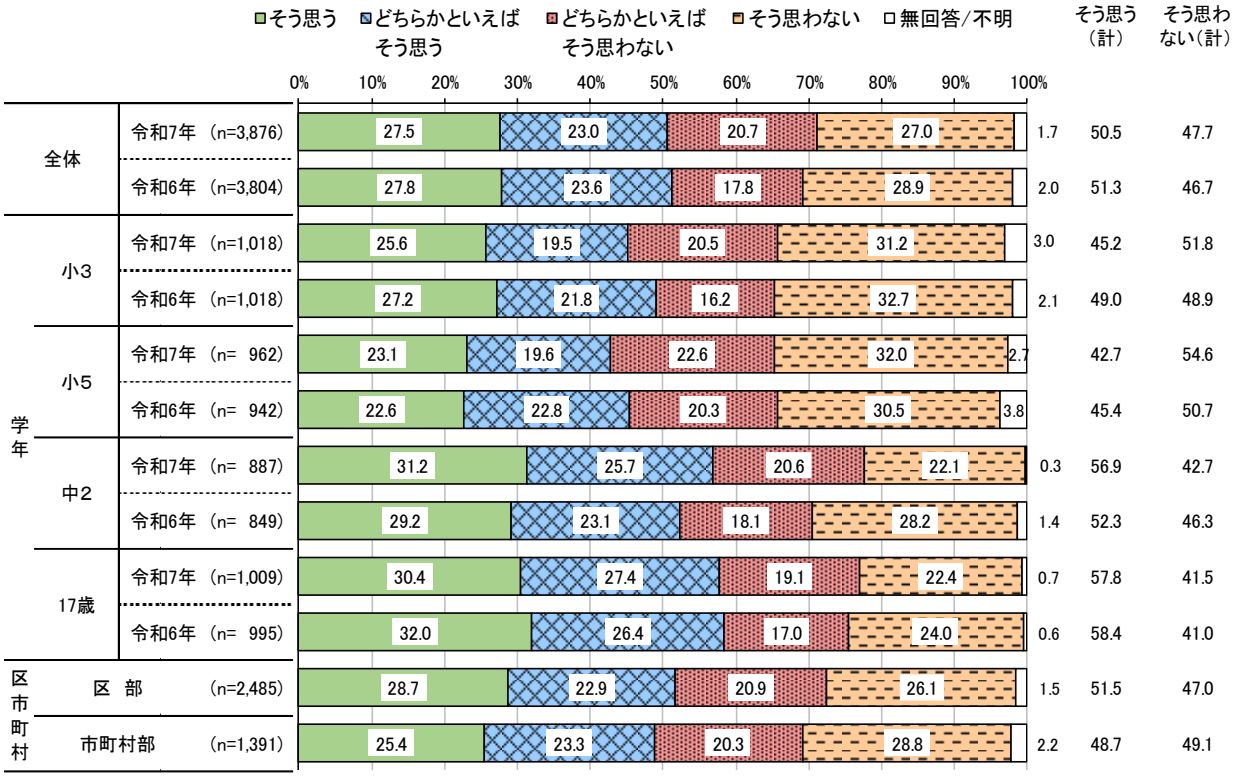
【全体】

「そう思う」が 27.5％で最も高く、次いで「そう思わない」が 27.0％である。機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 50.5％、機会があれば留学や他国で働いてみたいと思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）子供は 47.7％と二分されている。

【学年別】

機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は、17 歳が 57.8％で最も高い。

図表 1-51　G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う ＜単一回答＞

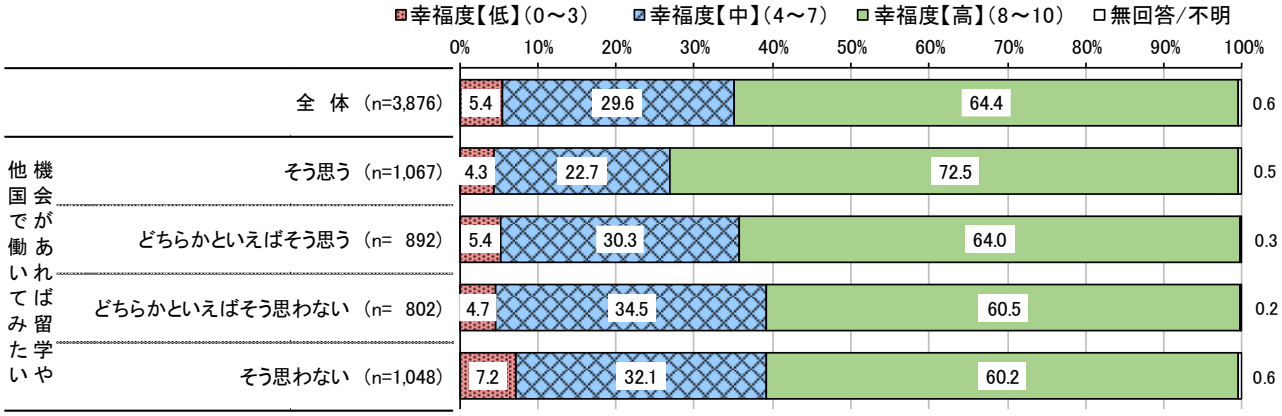


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「機会があれば留学や他国で働いてみたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 72.5%である。「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.2%である。

図表 1-52　子供の幸福度(「機会があれば留学や他国で働いてみたい」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ）

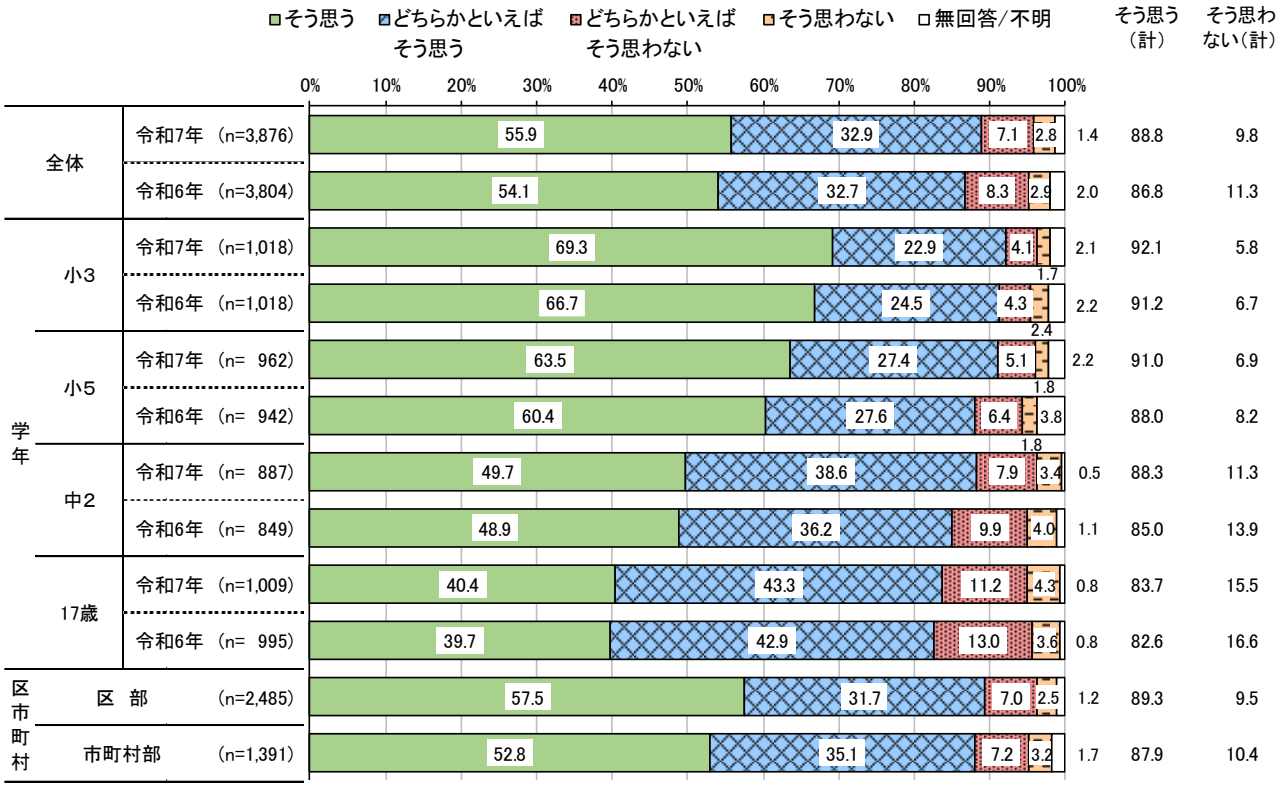
【全体】

「そう思う」が 55.9％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.9％であり、学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 88.8％である。

【学年別】

小3、小5、中2で「そう思う」の割合が最も高くなっており、学年が上がるにつれて減少傾向である。

図表 1-53　A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ　＜単一回答＞

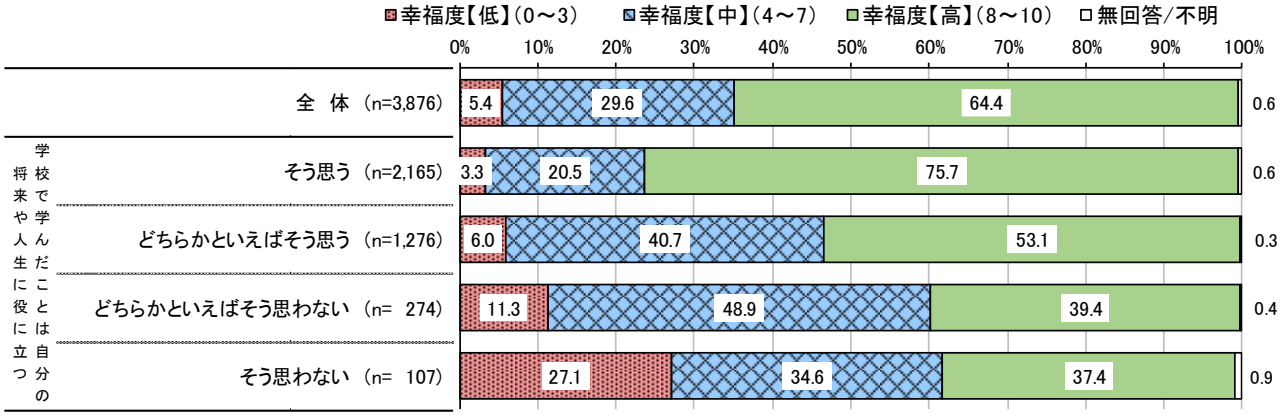


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 75.7%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 27.1%である。

図表 1-54　子供の幸福度(「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（B　学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）

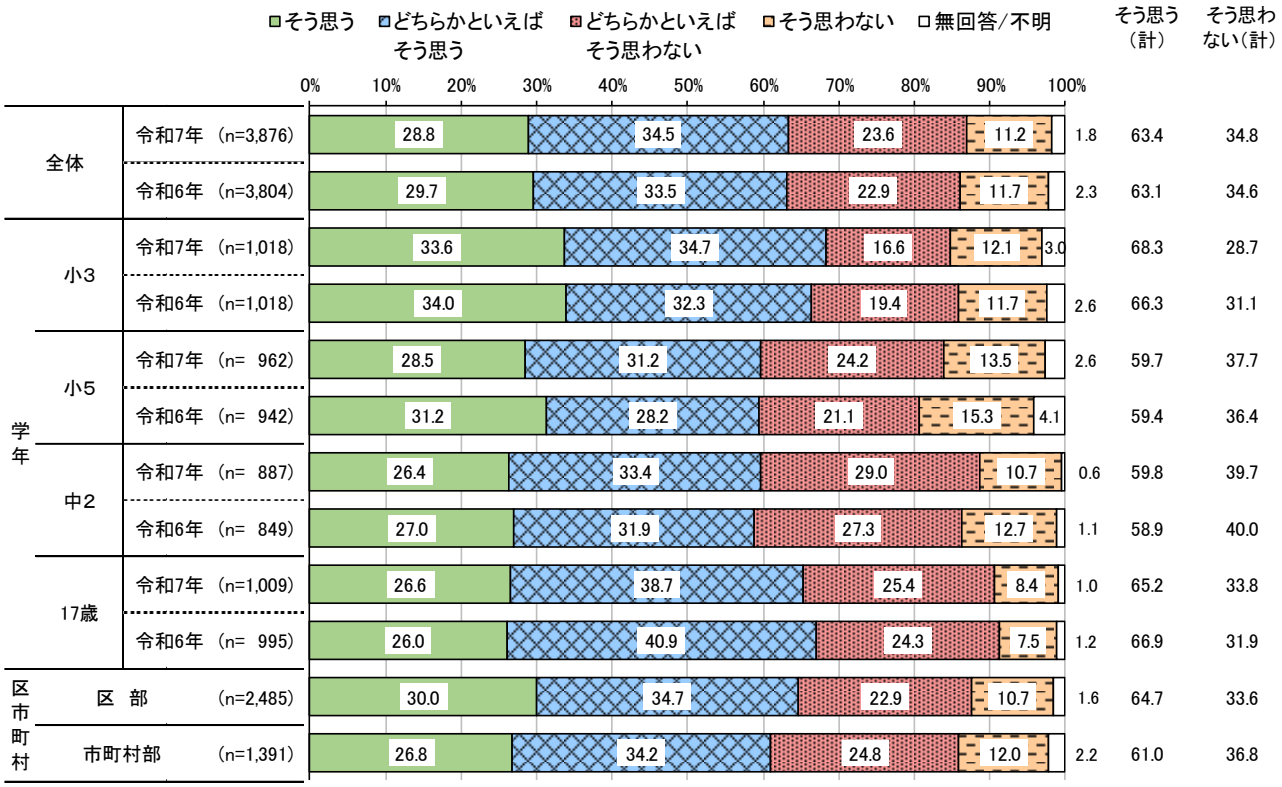
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 34.5％で最も高く、次いで「そう思う」が 28.8％である。学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたいと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 63.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

図表 1-55　B　学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい　＜単一回答＞

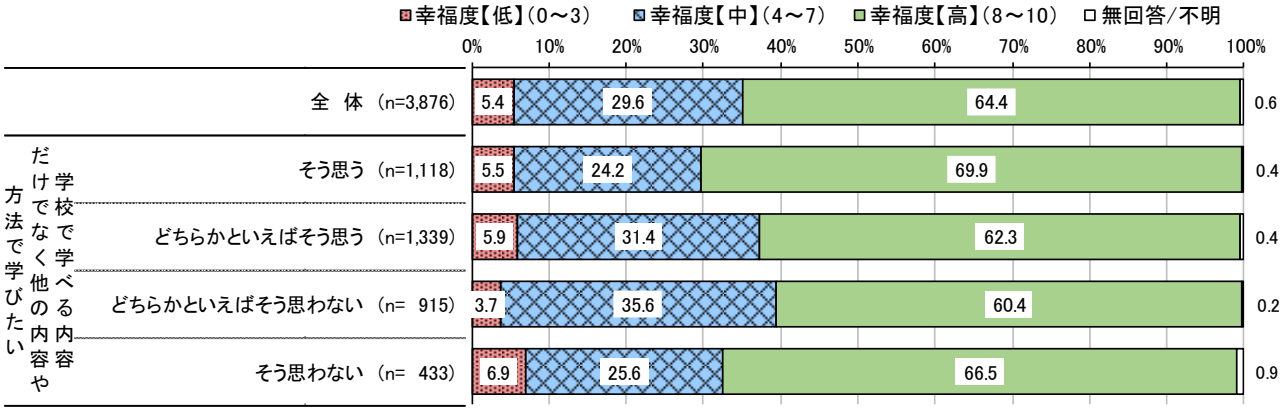


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.9%である。

図表 1-56　子供の幸福度(「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

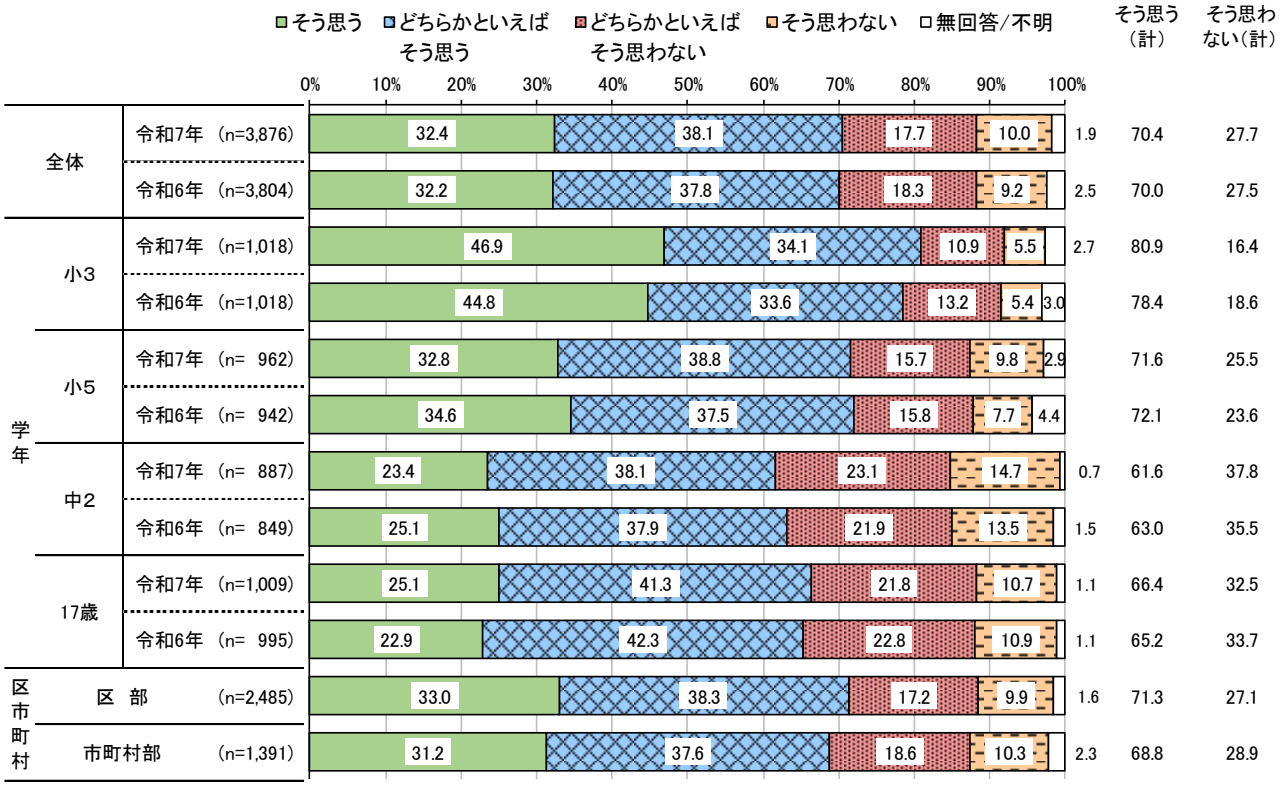
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 38.1％で最も高く、次いで「そう思う」が 32.4％であり、学ぶことが楽しいと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 70.4％である。

【学年別】

小3では「そう思う」が最も高く、小5、中2、17 歳では「どちらかといえばそう思う」が最も高い。学ぶことが楽しいと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は、小3では 80.9％、小5では 71.6％、中2では 61.6％、17 歳では 66.4％である。

図表 1-57　C　学ぶことが楽しい　＜単一回答＞

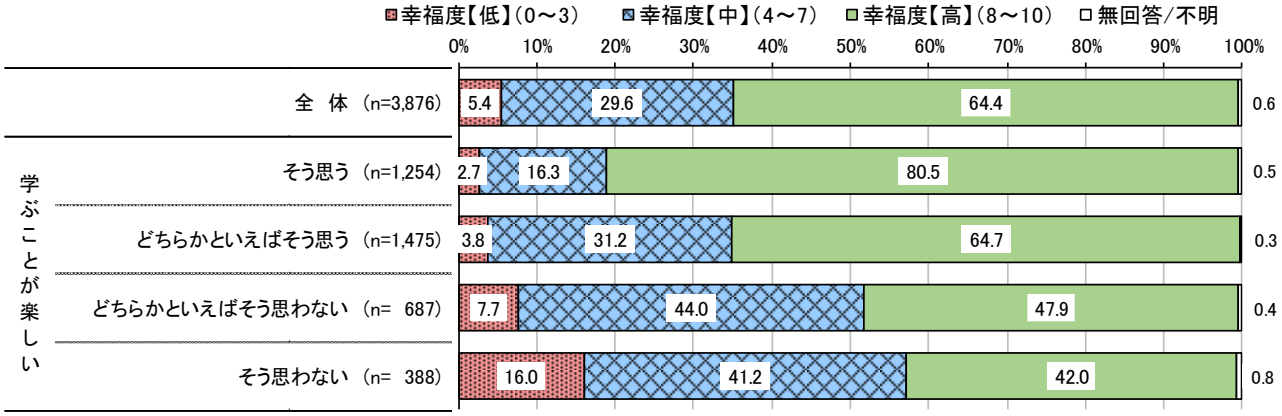


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学ぶことが楽しい」の回答別に幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 80.5%である。「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 16.0%である。

図表 1-58　子供の幸福度(「学ぶことが楽しい」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（D　良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない）

【全体】

「そう思う」が 60.9％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.9％であり、良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけないと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 88.8％である。

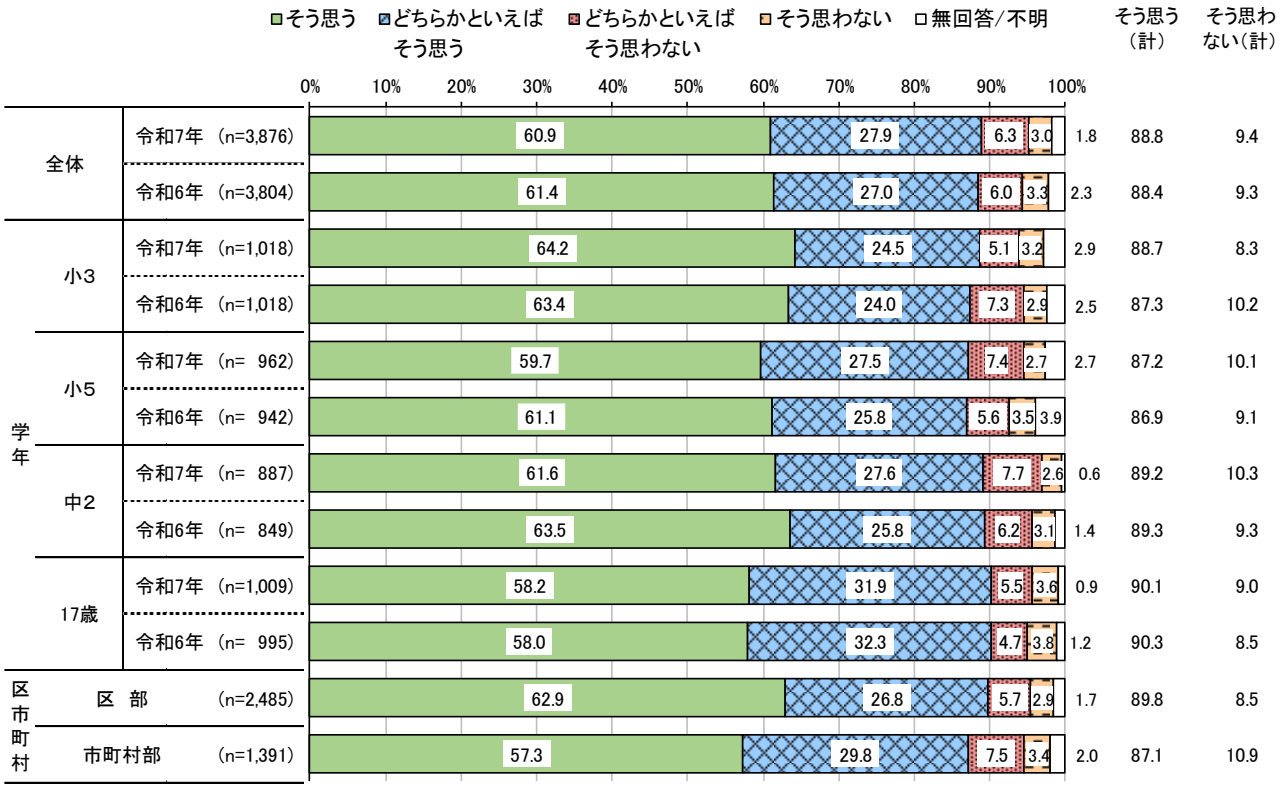
【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」が最も高く、小3では 64.2％である。

【区市町村別】

区部では「そう思う」が 62.9％と、市町村部に比べて 5.6 ポイント高い。

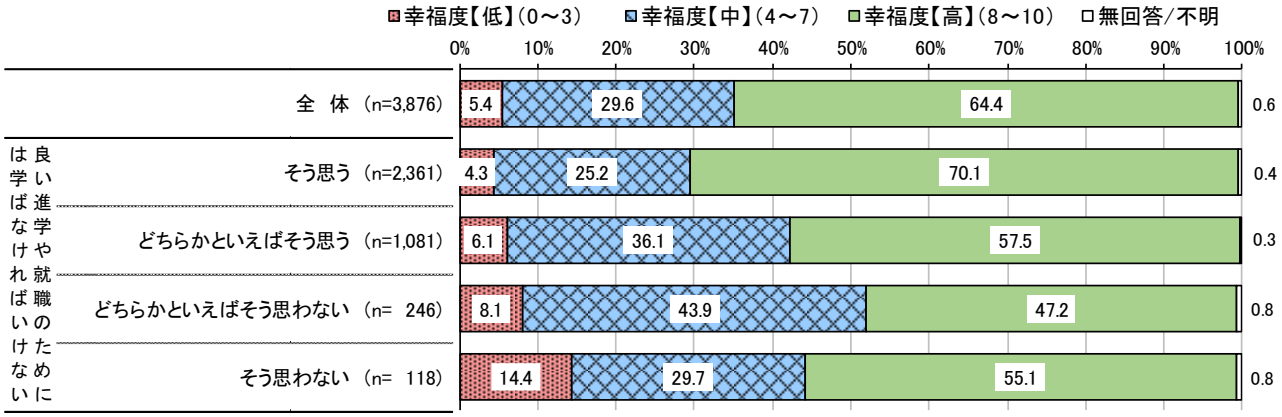
図表 1-59　D　良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.1%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 14.4%である。

図表 1-60　子供の幸福度(「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」の回答別)



（子供：共通）問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

【全体】

「大学卒業後」が 52.7％で最も高く、次いで「まだ分からない」が 24.3％、「高校卒業後」が 8.3％である。

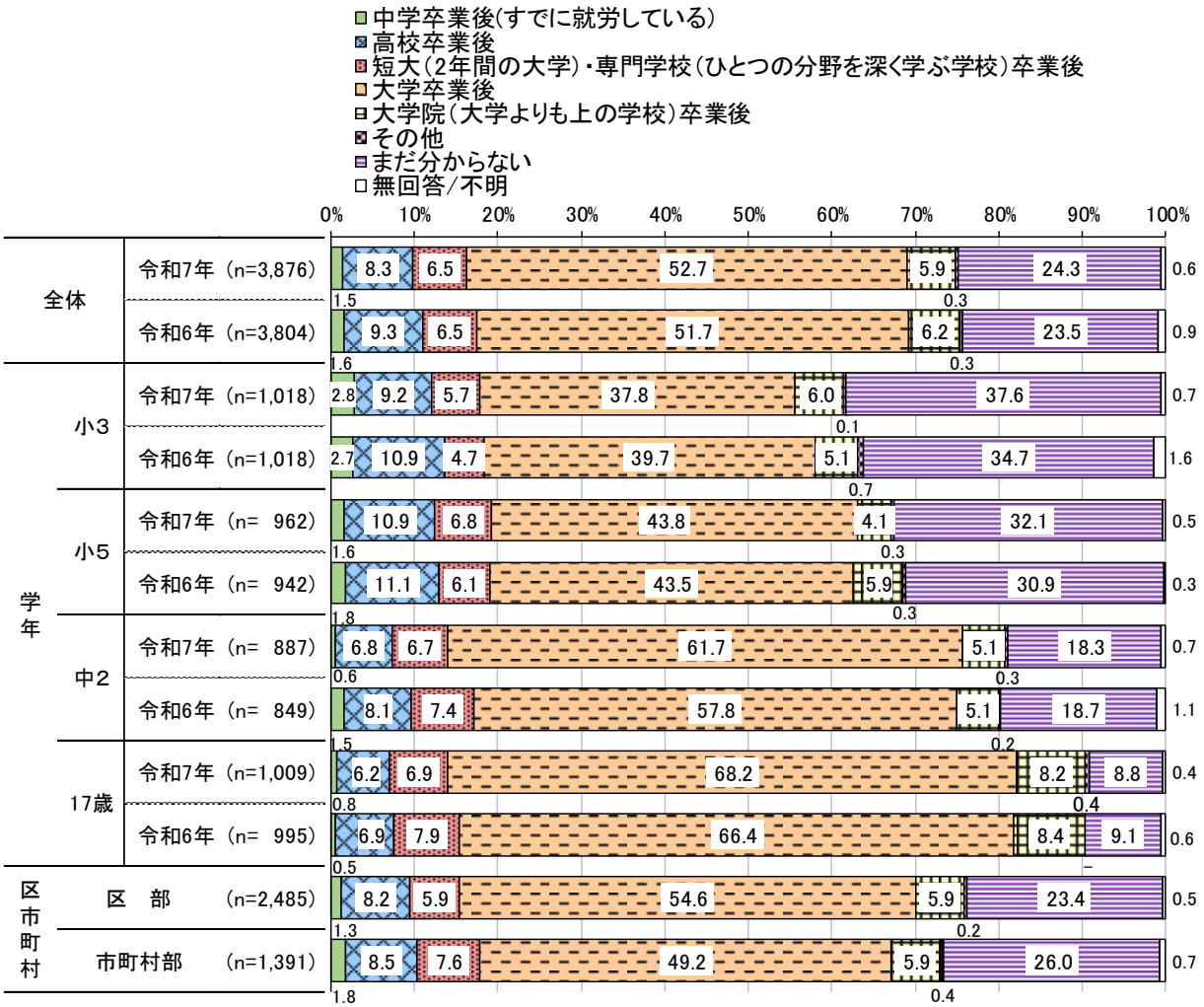
【学年別】

いずれの学年でも「大学卒業後」の割合が最も高く、17 歳では 68.2％である。また、学年が上がるにつれて増加傾向となっている。「まだ分からない」は学年が上がるにつれて減少傾向である。

【区市町村別】

区部では「大学卒業後」が 54.6％で、市町村部に比べて 5.4 ポイント高い。

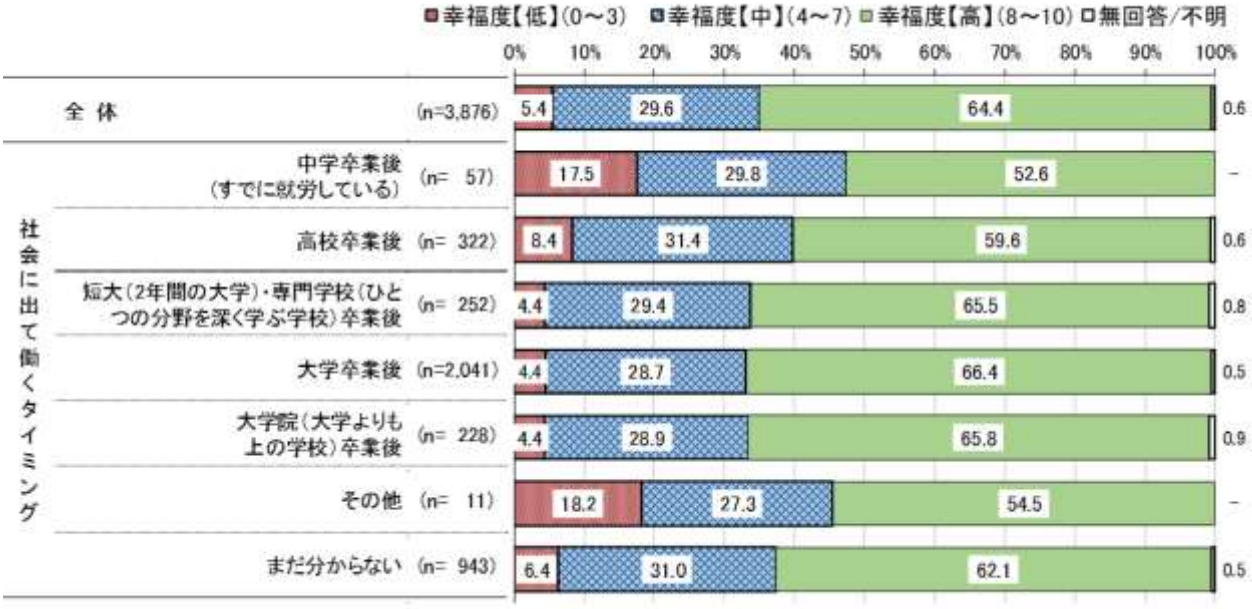
図表 1-61　社会に出て働くタイミング　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「社会に出て働くタイミング」の回答別に子供の幸福度をみると、「大学卒業後」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 66.4%である。

図表 1-62　子供の幸福度(「社会に出て働くタイミング」の回答別)



【自由記述】

その他（社会に出て働くタイミング）
23～25歳（子供・小3）
親がまだ元気な時から（子供・小5）
留学後（子供・小5）
仕事したくない（子供・小5）
働かない（子供・中2）
航空学生卒業後（子供・中2）
そのときになったら（子供・17 歳）
働きたくない（子供・17 歳）
特別支援学校卒業後（子供・17 歳）
特別支援学校（子供・17 歳）

（子供：共通）問 18. あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。
（いくつでも）

【全体】

「自分の努力不足」が 38.9％で最も高く、次いで「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない」が 30.5％、「まだ分からない」が 24.2％である。

【学年別】

「まだ分からない」が小3では 36.7％で最も高く、小5、中2、17 歳では「自分の努力不足」がそれぞれ 30.4％、52.0％、56.5％と最も高い。また、「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法や進路を叶える方法）が分からない」「自分の努力不足」は学年が上がるにつれ、増加傾向であり、一方「まだ分からない」は学年が上がるにつれ、減少傾向である。

図表 1-63　将来像や進路を難しくしている問題　＜複数回答＞

(%)

			n	進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	親／保護者の理解が得られない（わかってくれない）、考え方の違い（意見が合わない）※	自分の健康上の問題	自分の努力不足	その他	まだ分からない
全　体		令和7年	3,876	22.3	30.5	5.4	7.8	38.9	1.5	24.2
		令和6年	3,804	23.6	28.5	5.7	8.7	37.1	1.1	26.1
学年	小3	令和7年	1,018	19.5	20.4	5.0	6.5	18.2	1.0	36.7
		令和6年	1,018	19.9	19.2	4.0	9.6	18.1	0.8	37.3
	小5	令和7年	962	26.1	24.0	4.1	10.1	30.4	1.6	29.6
		令和6年	942	26.1	22.0	4.7	10.7	29.5	1.1	31.8
	中2	令和7年	887	19.8	36.0	7.4	7.2	52.0	1.7	19.2
		令和6年	849	21.6	35.2	6.7	6.2	48.9	0.8	22.4
	17歳	令和7年	1,009	23.8	42.0	5.3	7.4	56.5	2.0	10.7
		令和6年	995	26.7	38.6	7.5	8.0	53.7	1.8	12.2
区市町村	区　部		2,485	21.8	30.5	5.6	7.8	38.4	1.6	24.3
	市町村部		1,391	23.3	30.6	5.0	7.8	39.8	1.4	23.9

			特に問題はない	無回答／不明	将来像や進路に問題がある（計）
全　体		令和7年	12.0	0.7	63.1
		令和6年	11.4	0.9	61.7
学年	小3	令和7年	19.3	1.4	42.6
		令和6年	17.9	1.7	43.1
	小5	令和7年	15.4	0.6	54.4
		令和6年	13.8	0.3	54.0
	中2	令和7年	7.7	0.5	72.7
		令和6年	6.7	0.7	70.2
	17歳	令和7年	5.4	0.5	83.4
		令和6年	6.5	0.7	80.6
区市町村	区　部		12.4	0.8	62.5
	市町村部		11.3	0.7	64.1

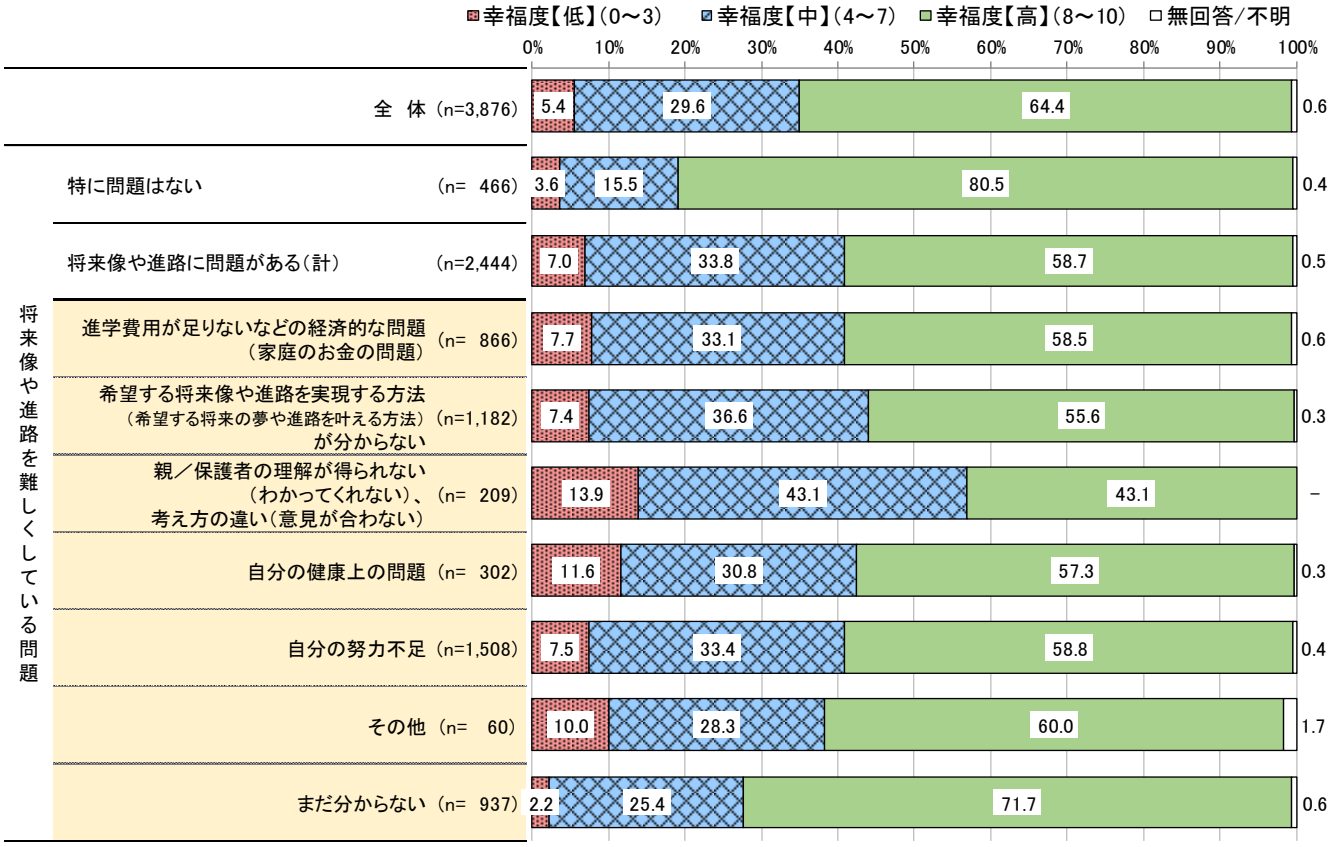
※将来像や進路に問題がある（計）は、「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「自分の努力不足」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「将来像や進路を難しくしている問題」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に問題はない」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 80.5%である。何らか「将来像や進路に問題がある(計)」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.7%である。

図表 1-64　子供の幸福度(「将来像や進路を難しくしている問題」の回答別)



【自由記述】

その他（将来像や進路を難しくしている問題）
なにかがたりない（子供・小3）
治安・安全（子供・小3）
苗字が変わること（子供・小3）
才能（子供・小3）
せんもんの学校に行けるか分からない。（子供・小3）
おぎょうぎ。（子供・小5）
将来の夢が未定。（子供・小5）
不安差がある（子供・小5）
運動が苦手（子供・小5）
なりたいものがない（子供・小5）
20年後には鉄動の運転士という職業はAI（自動運転）にかわっていっているかもしれない。（子供・小5）
親に心ぱいをかけてしまう。（親はひていしていない）（子供・小5）
なれるか分からない（子供・小5）
心変わりしてしまう（子供・小5）
ゆめが、まだない。（子供・小5）
頭能（子供・中2）
給料や休み。（子供・中2）
希望する進路が、まだない。（子供・中2）
将来像が見つからない（子供・中2）
しょうらいなりたいものはない。（子供・中2）
全てが不安すぎる。（子供・中2）
友達がいない（子供・中2）
進路が決まってないから。（子供・中2）
うんが悪い。（子供・中2）
人間関係学校の規則諸々（子供・17 歳）
世界、日本の情勢（子供・17 歳）
運（子供・17 歳）
夢がない（子供・17 歳）
仕事に忙殺されないか（子供・17 歳）
勇気が出ない（子供・17 歳）
希望する進路が分からない（子供・17 歳）
心配症すぎて失敗したときの逃げ道を考えて行動してしまう（子供・17 歳）
やりたいことが見つからない（子供・17 歳）
進路が決まらない（子供・17 歳）
描く将来像がない（子供・17 歳）

（子供：17 歳、中2）問 19. あなたは学習や進路に関して、どのようなサポートがあればよいと思いますか。
（いくつでも）

【全体】

「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」が 57.5%で最も高く、「家・学校以外で勉強に集中できる場所」が 49.2%、「学費や生活費などの経済的な支援」36.3%と続いている。

経年比較でみると、「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」は前回から 5.1 ポイント増加し、「学費や生活費などの経済的な支援」は 5.3 ポイント減少している。

【学年別】

中2と 17 歳のいずれでも「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」が最も高い。

経年比較でみると、中2では「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」は前回から 5.9 ポイント増加している。

図表 1-65　学習や進路に関してあったら良いサポート　＜複数回答＞

(%)

			n	勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人	家・学校以外で勉強に集中できる場所	学費や生活費などの経済的な支援	学校に行きづらい人でも勉強できる場所	グローバル・デジタルなど先端・専門的な分野が学べる機会	体験学習（芸術文化・ビジネス体験など）ができる機会	その他
全　体		令和7年	1,896	57.5	49.2	36.3	19.9	20.3	27.5	1.2
		令和6年	1,844	52.4	47.3	41.6	24.3	21.3	27.9	1.0
学年	中2	令和7年	887	61.4	48.1	33.9	22.0	22.0	29.1	0.9
		令和6年	849	55.5	46.1	38.2	26.1	22.5	31.8	1.3
	17歳	令和7年	1,009	54.0	50.1	38.5	18.0	18.8	26.1	1.4
		令和6年	995	49.7	48.4	44.6	22.7	20.3	24.5	0.8
区市町村	区　部		1,201	57.4	49.0	34.9	18.2	21.3	27.9	1.2
	市町村部		695	57.7	49.5	38.8	22.9	18.6	26.8	1.0

			特にない	無回答/不明	サポート希望あり（計）
全　体		令和7年	9.2	0.4	90.4
		令和6年	10.5	0.7	88.8
学年	中2	令和7年	10.5	0.3	89.2
		令和6年	11.7	0.9	87.4
	17歳	令和7年	8.1	0.4	91.5
		令和6年	9.4	0.5	90.1
区市町村	区　部		9.2	0.3	90.5
	市町村部		9.4	0.4	90.2

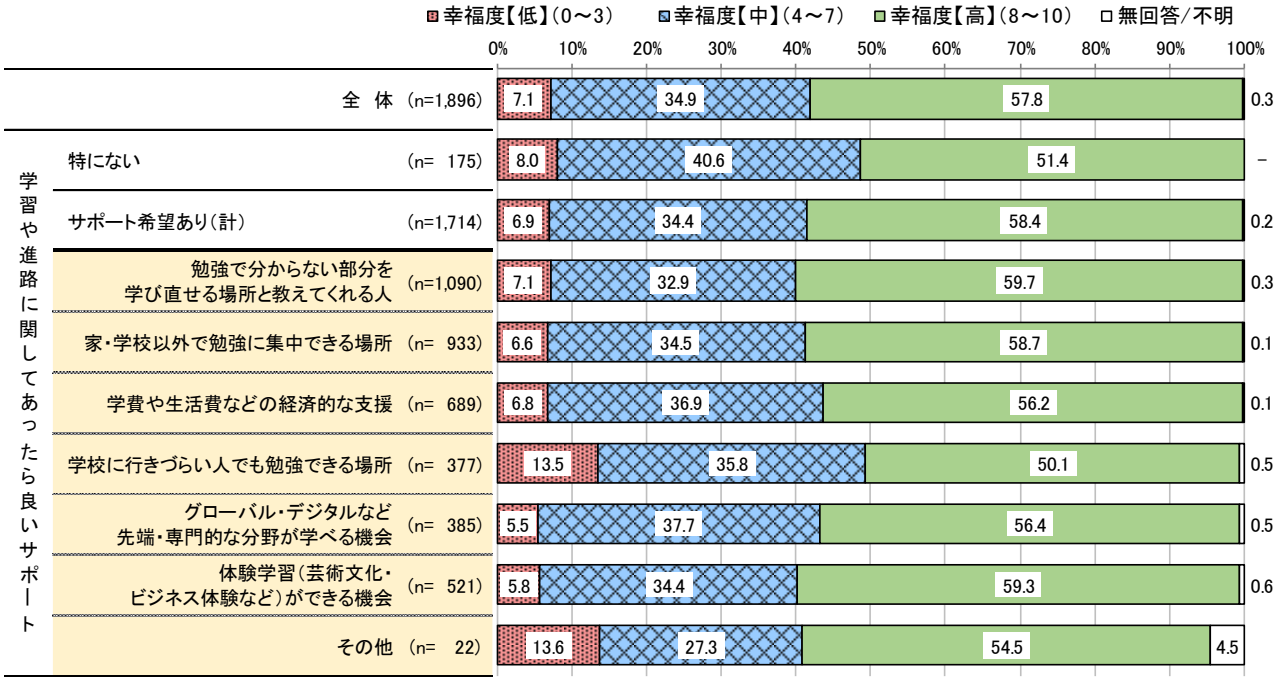
※サポート希望あり（計）は「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」～「体験学習（芸術文化・ビジネス体験など）ができる機会」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「学習や進路に関してあったら良いサポート」の回答別に子供の幸福度をみると、「サポート希望あり(計)」の子供では幸福度【高】(8～10)が 58.4%である。

図表 1-66　子供の幸福度(「学習や進路に関してあったら良いサポート」の回答別)



【自由記述】

その他（学習や進路に関してあったら良いサポート）
病気の人でも高校に行けるサポート（子供・中2）
自分のやる気をだしてくれるサポート（子供・中2）
良い先生に教えてもらう（子供・中2）
落ちこぼれを救ってくれる場所（子供・中2）
休息（子供・中2）
都立中高一貫学校への受験コーナーの設置、開発（子供・中2）
留学支援（子供・17 歳）
無料で個人、または友人と勉強できる場所（子供・17 歳）
特別支援学校を卒業した後に、さらに学べる場所が欲しい（子供・17 歳）
留学へのサポート、行きたい国に（子供・17 歳）
社会のことについて学べる場（子供・17 歳）
体調管理を手伝ってくれる機関（子供・17 歳）
友達と話しながら楽しく勉強できる場所（子供・17 歳）
持病への配慮（子供・17 歳）
交通関係（子供・17 歳）
逆に自分が年下に教えた考えを深める所（子供・17 歳）
やる気を起こさせてくれる目標（子供・17 歳）
国学や税金に関する学生向け講座（子供・17 歳）
留学の支援をしてくれるところ（子供・17 歳）

（子供：17 歳）問 20. あなたは学校に所属または就労（アルバイトを含む）していますか。（1つだけ）
学校に所属しながら就労している場合は「学校に所属している」を選択してください。学校には通信制や定時制を含み、実際に登校している頻度は問いません。

【全体】

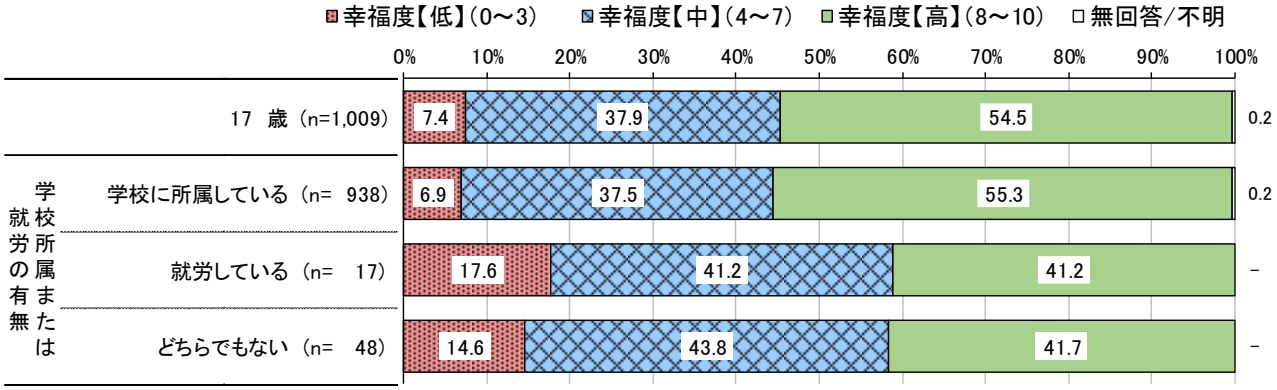
「学校に所属している」は 93.0%、「どちらでもない」が 4.8%、「就労している」が 1.7%である。

図表 1-67 学校（通信制や定時制を含む）所属または就労の有無 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「学校所属または就労の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、「学校に所属している」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 55.3%である。

図表 1-68　子供の幸福度(「学校(通信制や定時制を含む)所属または就労の有無」の回答別)



（子供：共通）問 21.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたは学校または職場が好きですか。（1つだけ）

【全体】

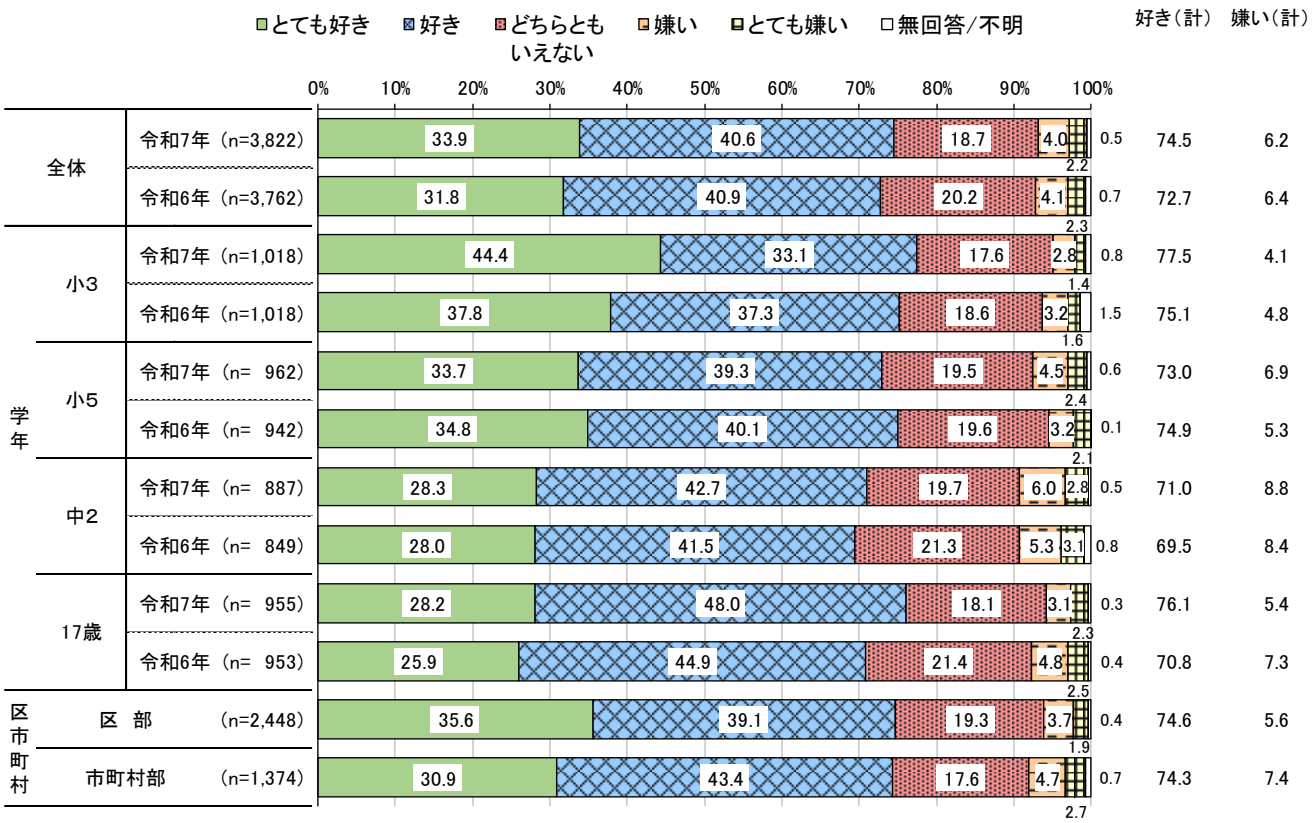
「好き」が 40.6％で最も高く、次いで「とても好き」が 33.9％であり、学校または職場が好き（「とても好き」と「好き」の割合）と回答した子供が 74.5％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「とても好き」は減少傾向である。

経年比較でみると、小3で「とても好き」が 6.6 ポイント増加しており、17 歳では「好き（計）」（「とても好き」と「好き」の割合）が 5.3 ポイント増加している。

図表 1-69 学校または職場が好きか ＜単一回答＞

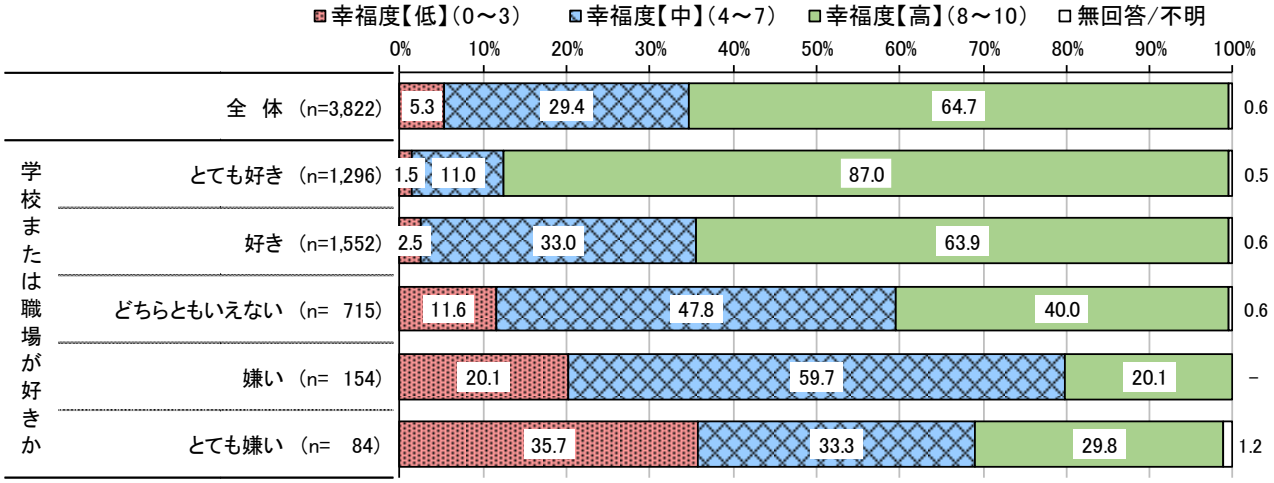


※好き（計）は「とても好き」及び「好き」の割合。
嫌い（計）は「とても嫌い」及び「嫌い」の割合。

【子供の幸福度】

「学校または職場が好きか」の回答別に幸福度をみると、「とても好き」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が87.0%で、「好き」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が63.9%である。「とても嫌い」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が35.7%である。

図表 1-70　子供の幸福度(「学校または職場が好きか」の回答別)



（子供：共通）問 22.【問 20 で「学校に所属している」と答えた方にお聞きします。】
学校について、不満に感じることはありますか。（いくつでも）

【全体】

学校について不満に感じることの中では、「友達や先輩・後輩との関係（友達関係のこと）（苦手な人がいる、仲の良い人がいないなど）」が 23.4％で最も高く、次いで「先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）」が 18.3％、「授業が難しい」が 16.9％、「校則など生活上のルールが厳しい」が 16.2％で続いている。「特にない」は 34.0％である。

【学年別】

小3、小5では「特にない」が最も高く、それぞれ 47.2％、39.9％である。何らか「学校への不満がある（計）」と回答した子供は学年が上がるにつれて増加傾向であり、中2では「友達や先輩・後輩との関係（友達関係のこと）（苦手な人がいる、仲の良い人がいないなど）」が 26.7％で最も高く、17 歳では「校則など生活上のルールが厳しい」が 27.7％で最も高い。

図表 1-71 学校について不満に感じること ＜複数回答＞

(%)

			n	授業が簡単すぎる	授業が難しい	先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）	友達や先輩・後輩との関係（友達関係のこと）（苦手な人がいる、仲が良い人がいないなど）	行事に関すること（行事のこと）（参加したくない行事があるなど）	雰囲気・居心地	校則など生活上のルールが厳しい
全体		令和7年	3,805	9.2	16.9	18.3	23.4	11.6	10.8	16.2
		令和6年	3,751	9.6	17.4	19.9	21.9	11.6	10.5	15.8
学年	小3	令和7年	1,018	14.0	15.9	9.0	18.6	10.1	5.0	7.8
		令和6年	1,018	14.1	15.2	11.5	17.3	8.6	6.5	8.4
	小5	令和7年	962	14.7	12.2	13.0	26.0	12.0	8.6	8.7
		令和6年	942	14.4	13.1	13.5	24.6	10.1	9.3	6.6
	中2	令和7年	887	3.8	19.2	26.6	26.7	11.8	15.0	21.9
		令和6年	849	4.4	19.7	26.7	25.0	13.1	12.5	21.4
	17歳	令和7年	938	3.4	20.6	26.1	22.8	12.5	15.4	27.7
		令和6年	942	4.7	21.9	29.4	21.2	15.0	14.2	28.0
区市町村	区部		2,440	9.8	15.5	18.0	22.6	10.8	10.9	16.4
	市町村部		1,365	8.2	19.4	18.9	24.8	13.0	10.6	15.8

			施設に関すること（施設のこと）（古い・狭い・暗い・使いづらいなど）	学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活（クラブ活動）で使う道具など）が高い	その他	特にない	無回答/不明	学校への不満がある（計）
全体		令和7年	12.6	8.1	2.4	34.0	1.0	65.0
		令和6年	11.7	8.2	2.1	35.0	1.3	63.7
学年	小3	令和7年	6.1	3.9	1.1	47.2	1.0	51.8
		令和6年	6.0	2.8	1.9	45.5	2.0	52.6
	小5	令和7年	8.8	4.3	2.3	39.9	1.2	58.8
		令和6年	5.0	3.1	2.2	43.0	1.2	55.8
	中2	令和7年	16.7	9.2	2.6	25.5	1.1	73.4
		令和6年	14.0	9.8	1.6	29.4	1.4	69.1
	17歳	令和7年	19.7	15.6	3.8	21.7	0.5	77.7
		令和6年	22.3	17.9	2.7	20.7	0.7	78.6
区市町村	区部		11.3	8.4	2.4	35.1	0.8	64.1
	市町村部		14.9	7.6	2.5	32.2	1.3	66.5

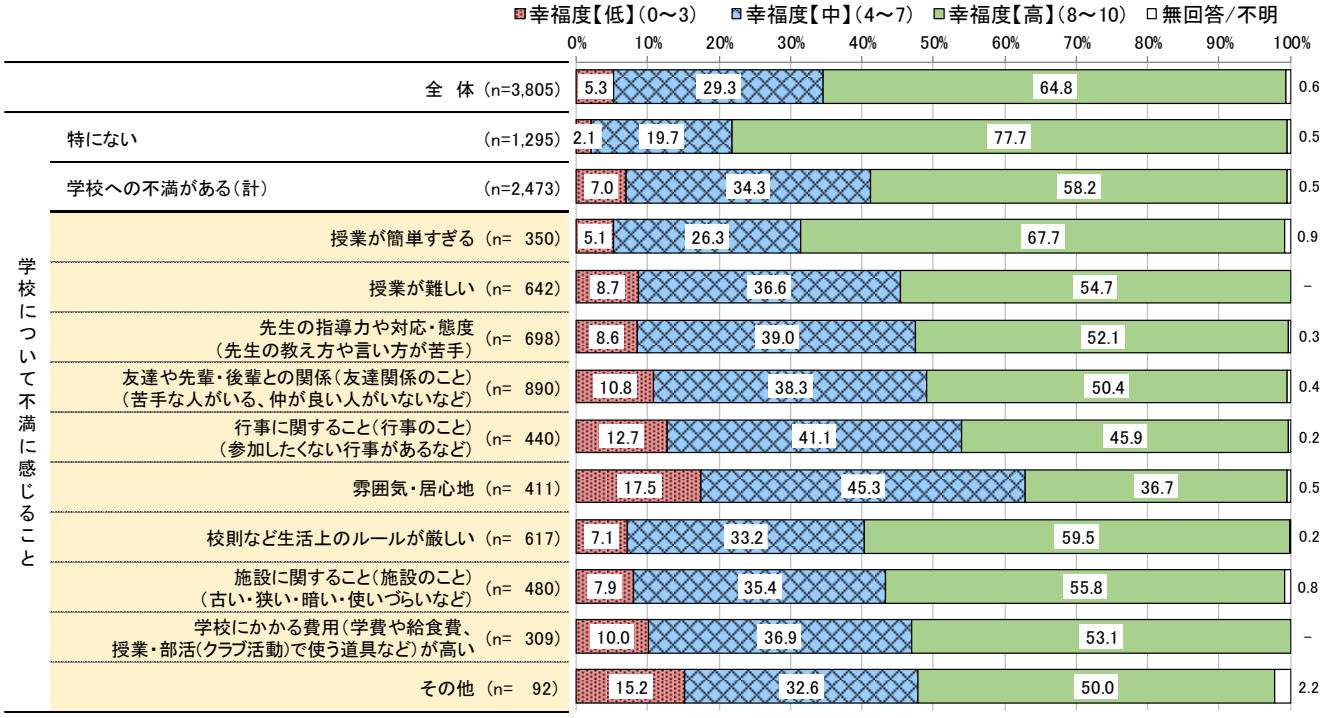
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※学校への不満がある（計）は、「授業が簡単すぎる」～「学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活で使う道具など）が高い」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「学校について不満に感じること」の回答別に子供の幸福度をみると、「特にない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 77.7%であるが、何らか「学校への不満がある(計)」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 58.2%である。

図表 1-72　子供の幸福度(「学校について不満に感じること」の回答別)



【自由記述】

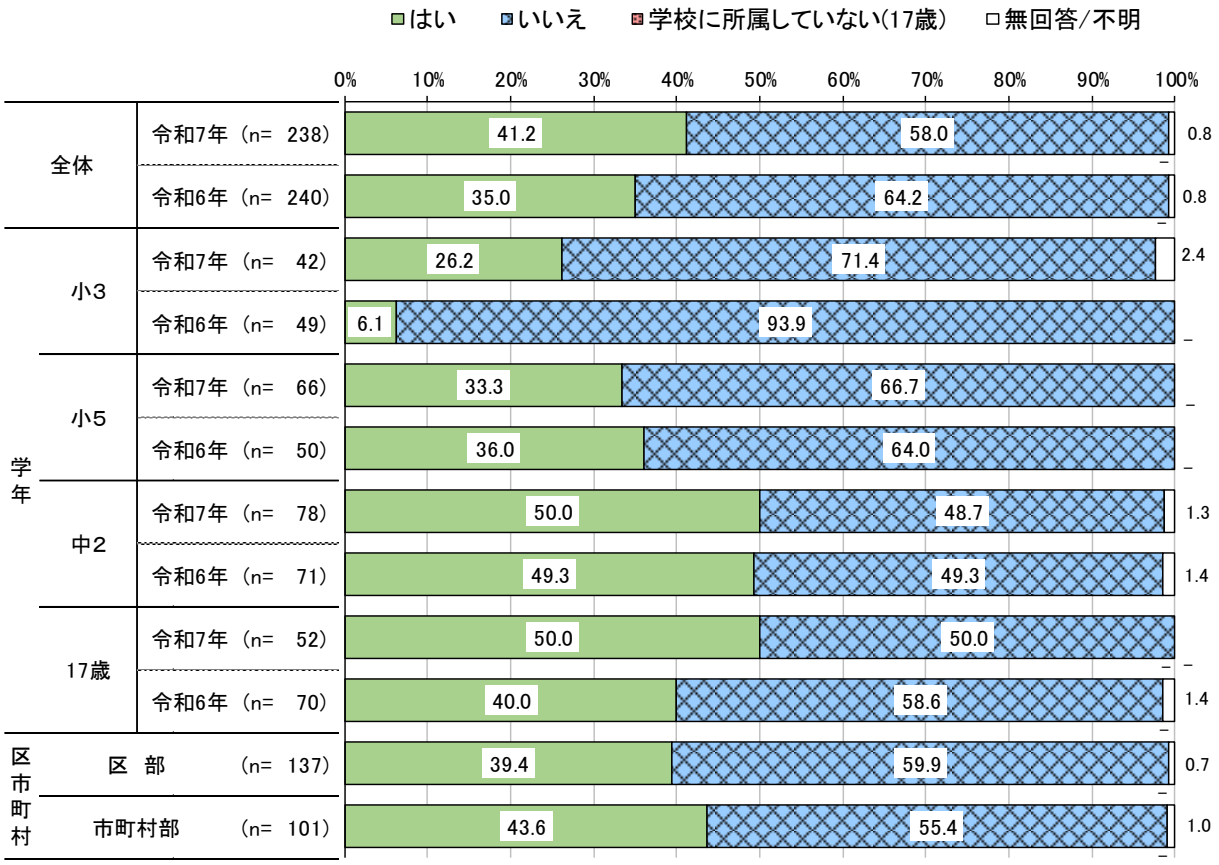
その他（学校について不満に感じること）
授業中、席についてじっとしているのが嫌(子供・小3)
宿題で先生しか見ないのに習ってない事を使ってはいけない事　約束を忘れられてしまう（子供・小3）
しゅくだいがにがて（子供・小3）
行くのがめんどくさい（子供・小3）
あおられる（子供・小3）
かえる時間がほかのクラスよりもおそい（子供・小3）
休み時間を1時間くらいにしてほしい（子供・小3）
お母さんとはなれたくない（子供・小3）
プライバシー保護がされていない（子供・小5）
発表が苦手（子供・小5）
休み時間が少ない。（子供・小5）
遠い（子供・小5）
おもしろくない。（子供・小5）
ぎゅうにゅうがいやでも、のむ（1口）（子供・小5）
前に出て発表する時間違えたら攻めてくるだから前に出て話したり運動会とかが恥ずかしい（子供・小5）
密集していて酸素が足りない（子供・小5）
勉強がめんどうくさい（子供・小5）
土曜日に授業がある（子供・中2）
遠い（子供・中2）
学校にお金がない（子供・中2）
特に社会活動に関する実践的な活動を増やしてほしい（子供・中2）
部活（子供・中2）
給食があまりおいしくない（子供・中2）
かなりつかれてしまう（子供・中2）
学校に行くこと。（子供・中2）
朝が早い（子供・中2）
駅からの距離が遠い（子供・17 歳）
週に休みが1日しかない。（子供・17 歳）
出される課題が多くて忙しい（子供・17 歳）
宿題が多い（子供・17 歳）
距離（毎日通うとなるとキツかった）（子供・17 歳）
満員電車での通学が辛い（子供・17 歳）
遠い（子供・17 歳）
部活（子供・17 歳）
連絡するタイミングが遅い（子供・17 歳）
学校方針がとんちんかん（子供・17 歳）
水泳　着衣泳を増やしてほしい（子供・17 歳）

（子供：共通）問 23.【問 21 で「嫌い」「とても嫌い」と答えた方にお聞きします。】
学校が嫌いで休むことはありますか。（1つだけ）

【全体】

「いいえ」が 58.0％で、「はい」が 41.2％である。

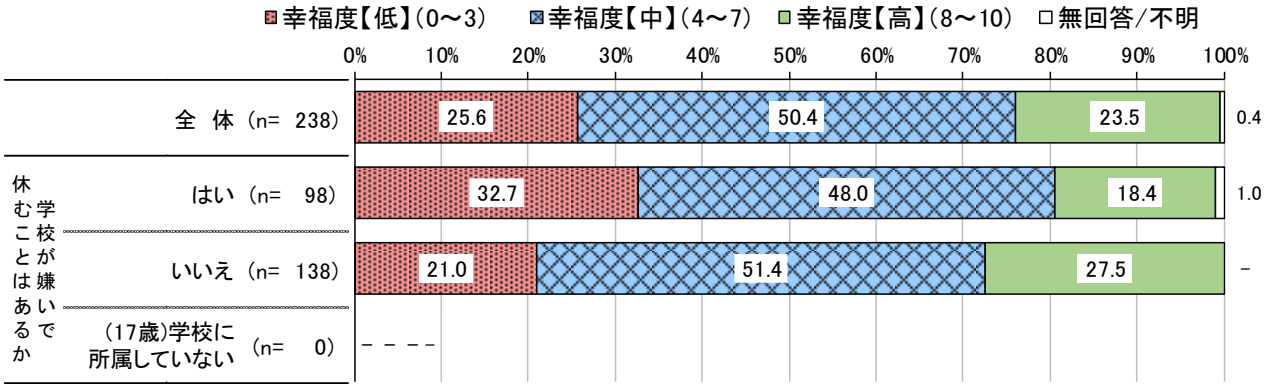
図表 1-73　学校が嫌いで休むことがあるか　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「学校が嫌いで休むことはあるか」の回答別に子供の幸福度をみると、幸福度【低】(0～3)は、「はい」と回答した子供では 32.7%、「いいえ」と回答した子供では 21.0%である。

図表 1-74 子供の幸福度(「学校が嫌いで休むことはあるか」の回答別)

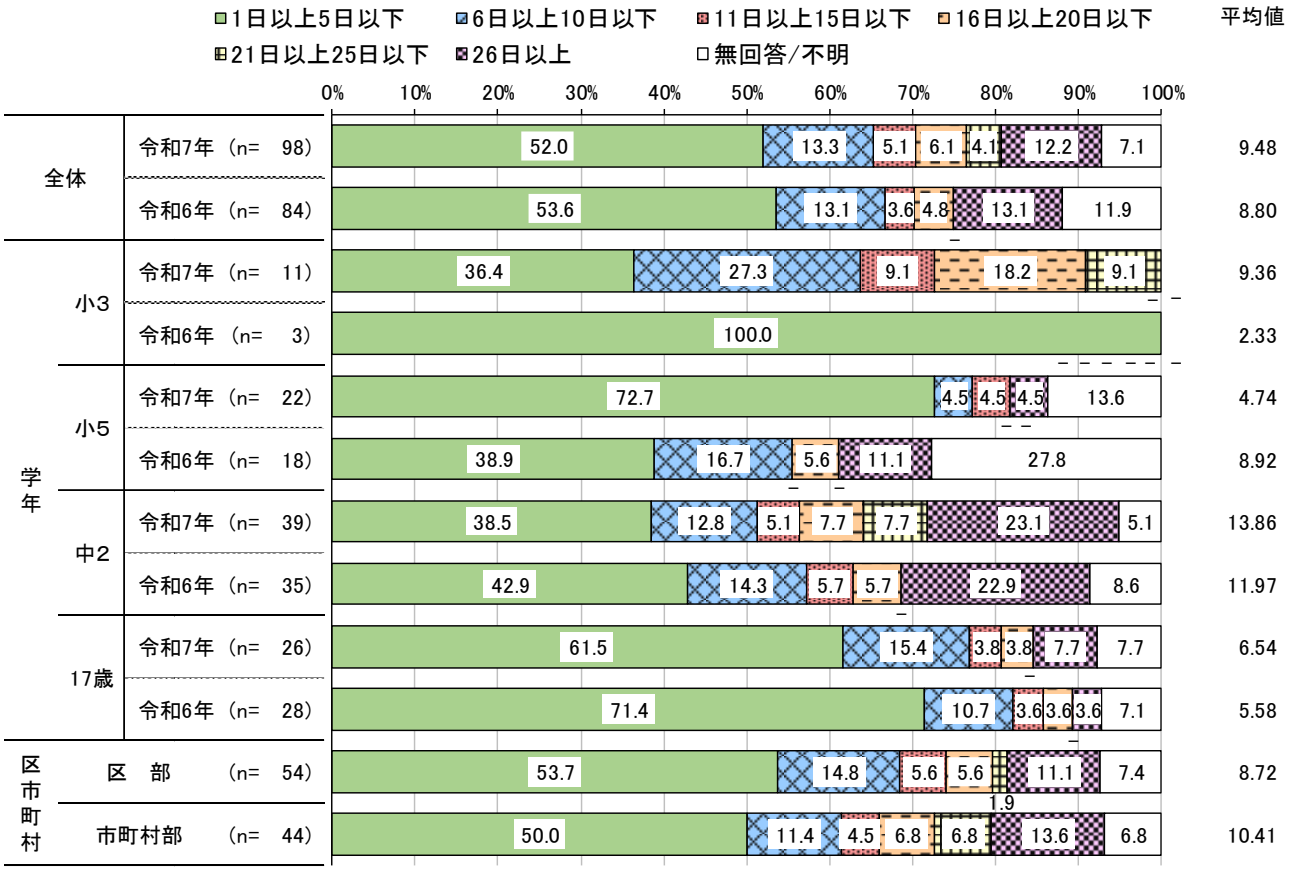


（子供：共通）問 24.【問 23 で「はい」と答えた方にお聞きします。】
1 か月のうち、学校に行かないで休む日はどれくらいありますか。カッコ内に数字を書いてください。

【全体】

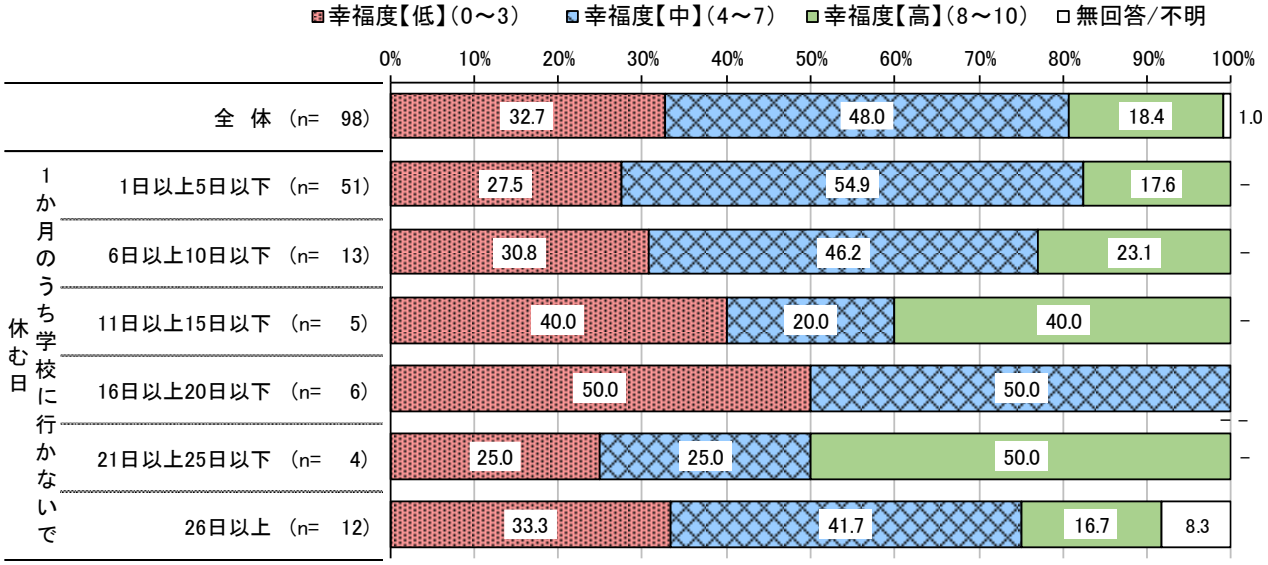
学校が嫌いで休むことがある人が学校を休む日数は、「1日以上5日以下」が 52.0％で最も高く、平均値は 9.48 日である。

図表 1-75 1 か月のうち学校に行かないで休む日 ＜実数回答＞



【子供の幸福度】

図表 1-76　子供の幸福度（「1 か月のうち学校に行かないで休む日」の回答別）



（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

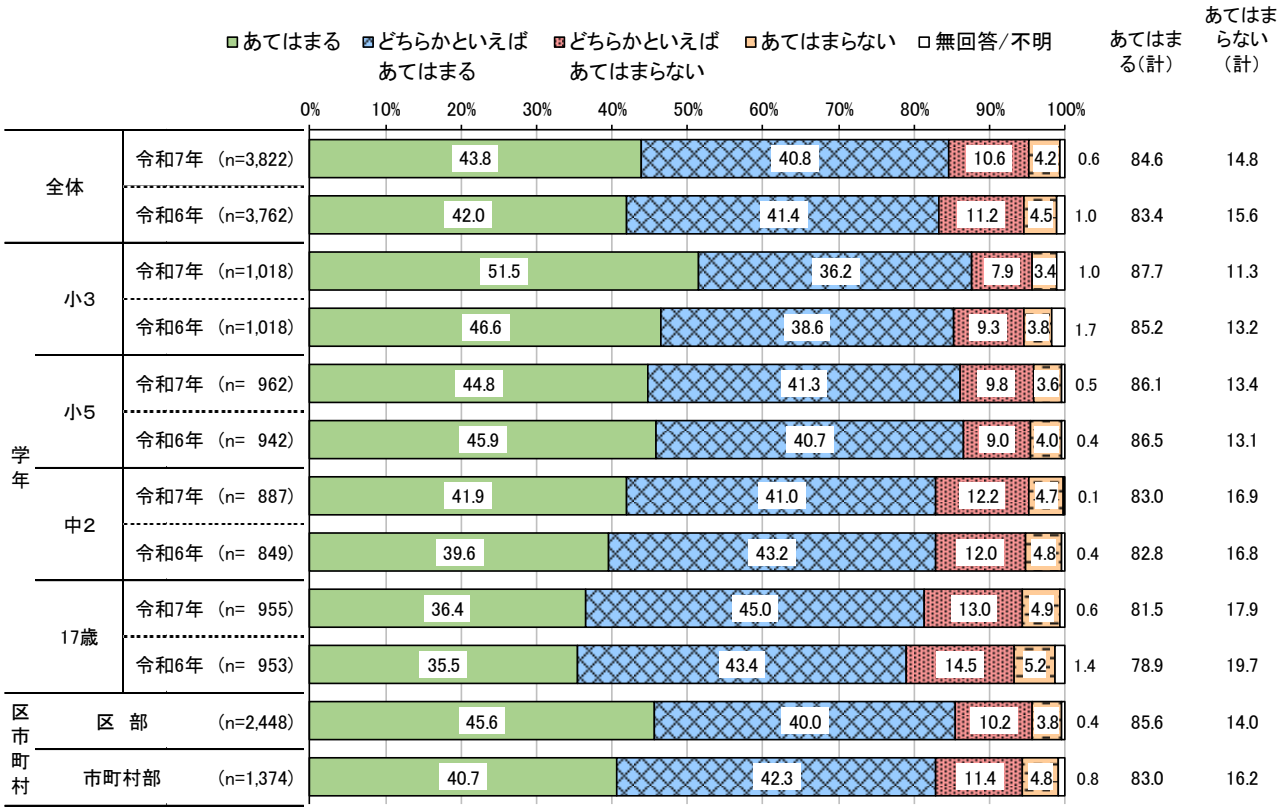
【全体】

「あてはまる」が 43.8％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 40.8％であり、学校や職場が自分にとって居心地が良いと感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 84.6％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「あてはまる」が減少傾向である。

図表 1-77　A　自分にとって居心地が良い　＜単一回答＞

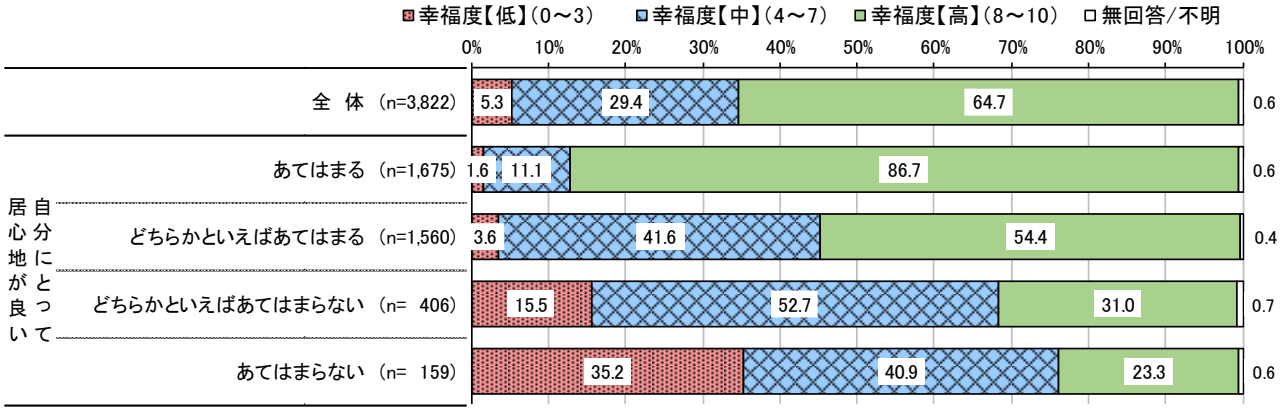


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分にとって居心地が良い」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 86.7%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 35.2%である。

図表 1-78　子供の幸福度(「自分にとって居心地が良い」の回答別)



（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

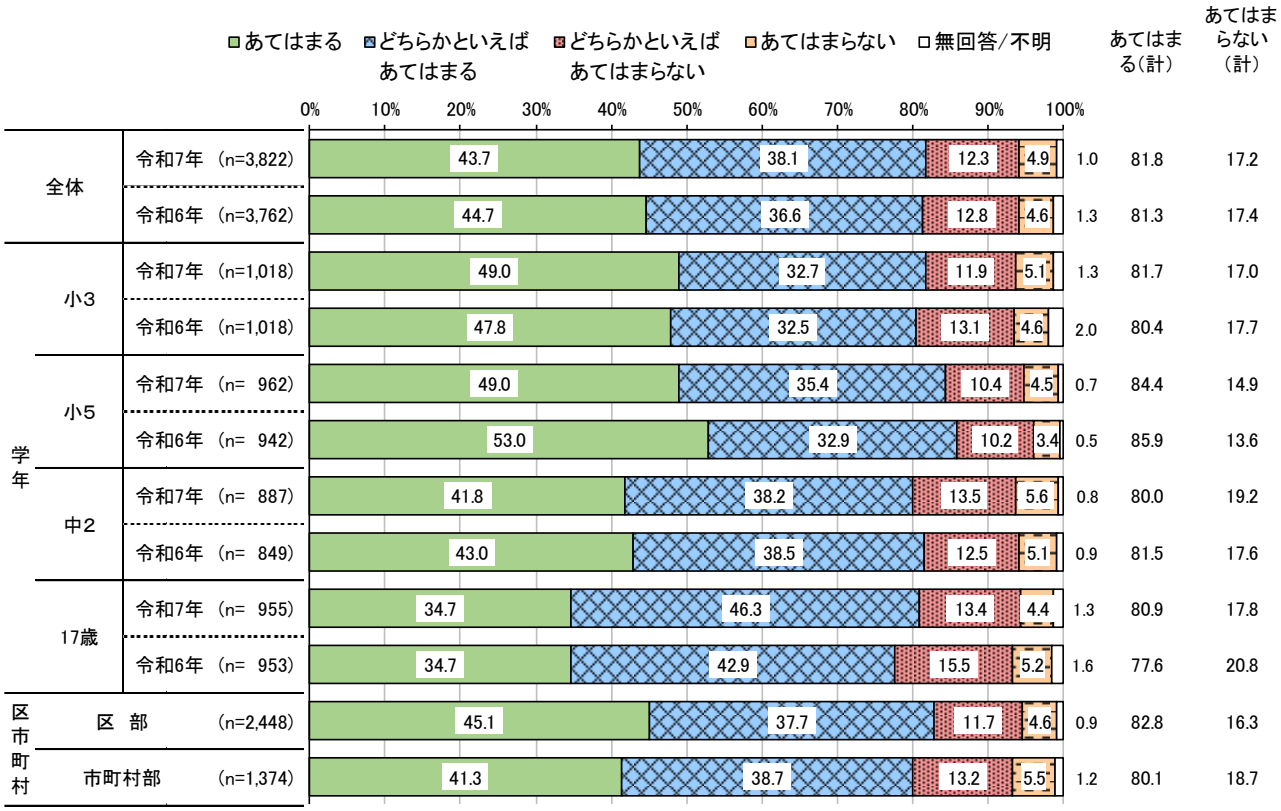
【全体】

「あてはまる」が 43.7％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 38.1％であり、学校や職場で自分の意見が言えると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 81.8％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「あてはまる」が最も高く、それぞれ 49.0％、49.0％、41.8％である。17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が 46.3％で最も高い。

図表 1-79　B　自分の意見が言える　＜単一回答＞

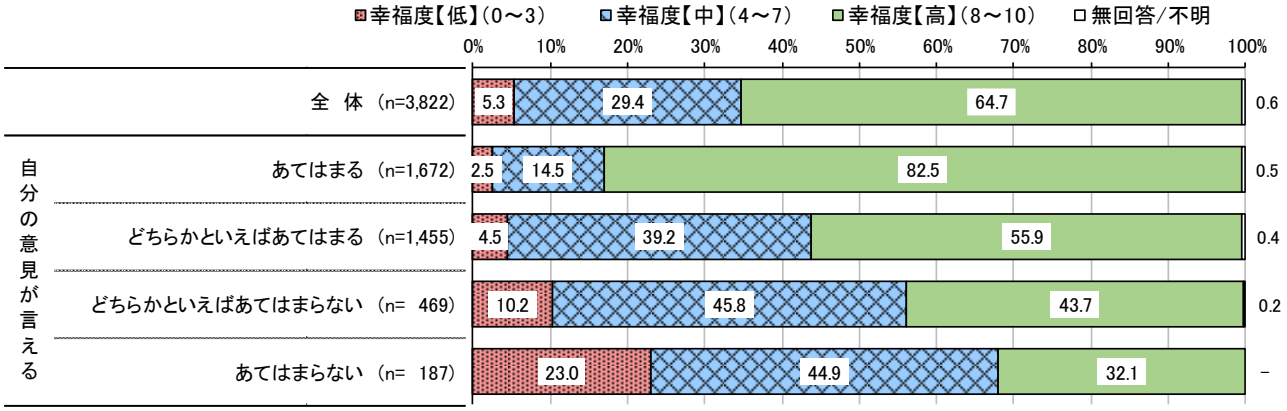


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の意見が言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 82.5%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 23.0%である。

図表 1-80　子供の幸福度(「自分の意見が言える」の回答別)



（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（C　自分の意見が採用される）

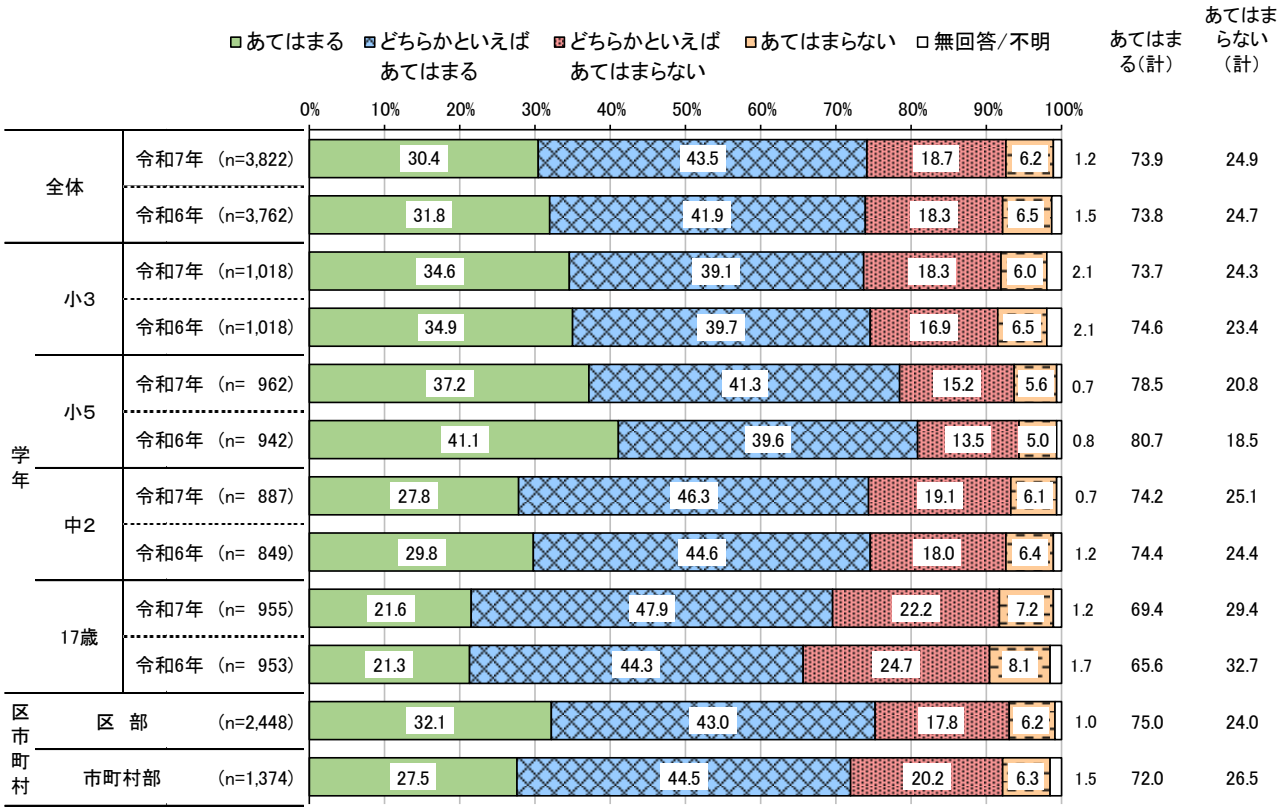
【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 43.5％で最も高く、次いで「あてはまる」が 30.4％であり、学校や職場で自分の意見が採用されると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 73.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。

図表 1-81　C 自分の意見が採用される ＜単一回答＞

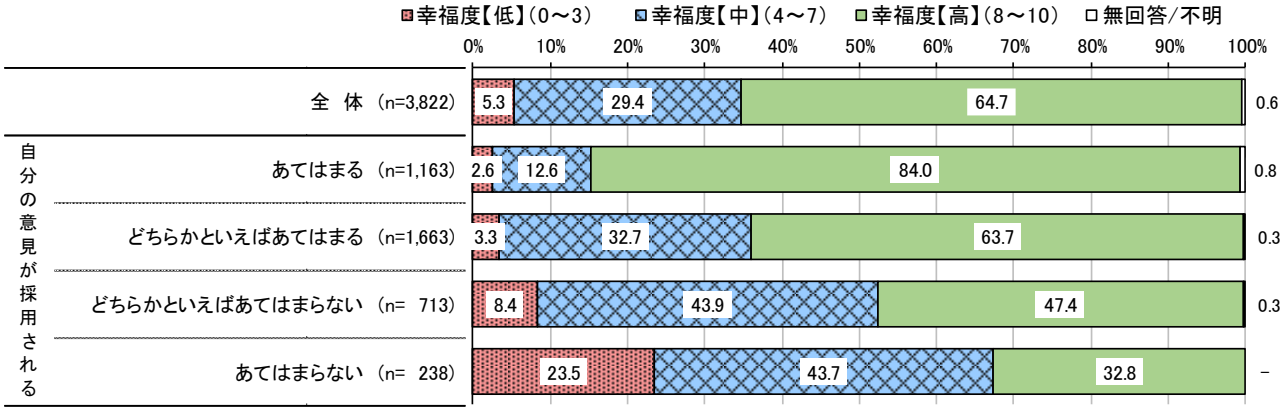


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の意見が採用される」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 84.0%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 23.5%である。

図表 1-82 子供の幸福度(「自分の意見が採用される」の回答別)



（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（D　自分のことを自分で決められる）

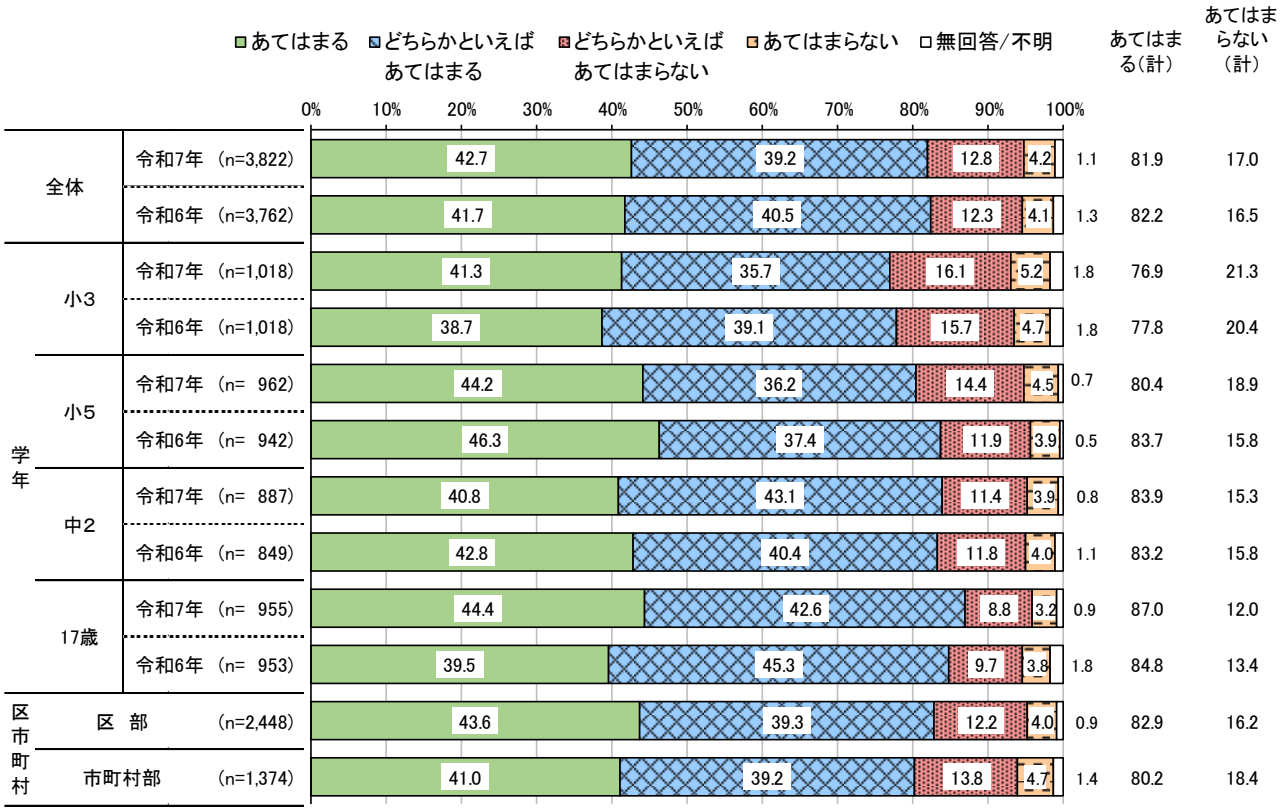
【全体】

「あてはまる」が 42.7％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」は 39.2％であり、学校や職場で自分のことを自分で決められると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 81.9％である。

【学年別】

学校や職場で自分のことを自分で決められると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」割合）は、学年が上がるにつれて、増加傾向である。

図表 1-83　D　自分のことを自分で決められる　＜単一回答＞

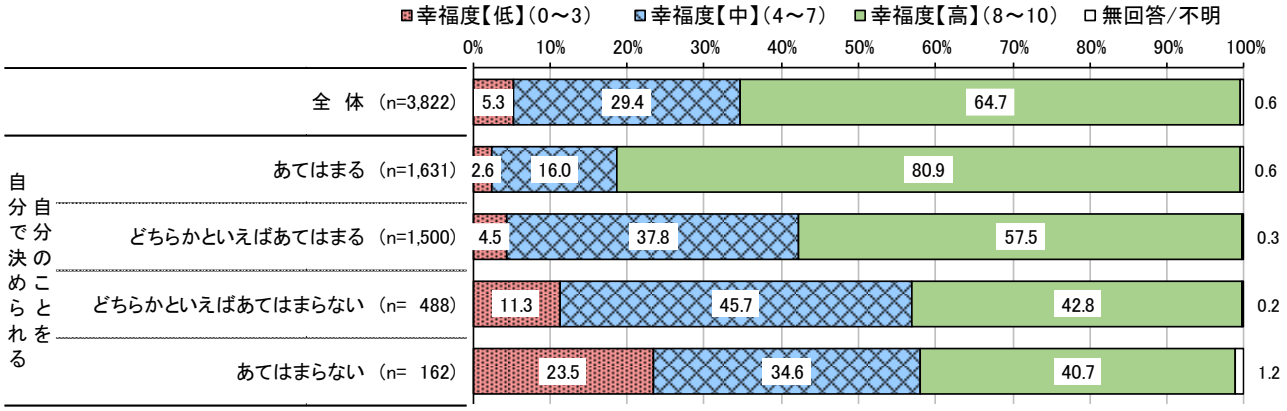


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分のことを自分で決められる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 80.9%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 23.5%である。

図表 1-84　子供の幸福度(「自分のことを自分で決められる」の回答別)



（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（E　安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる）

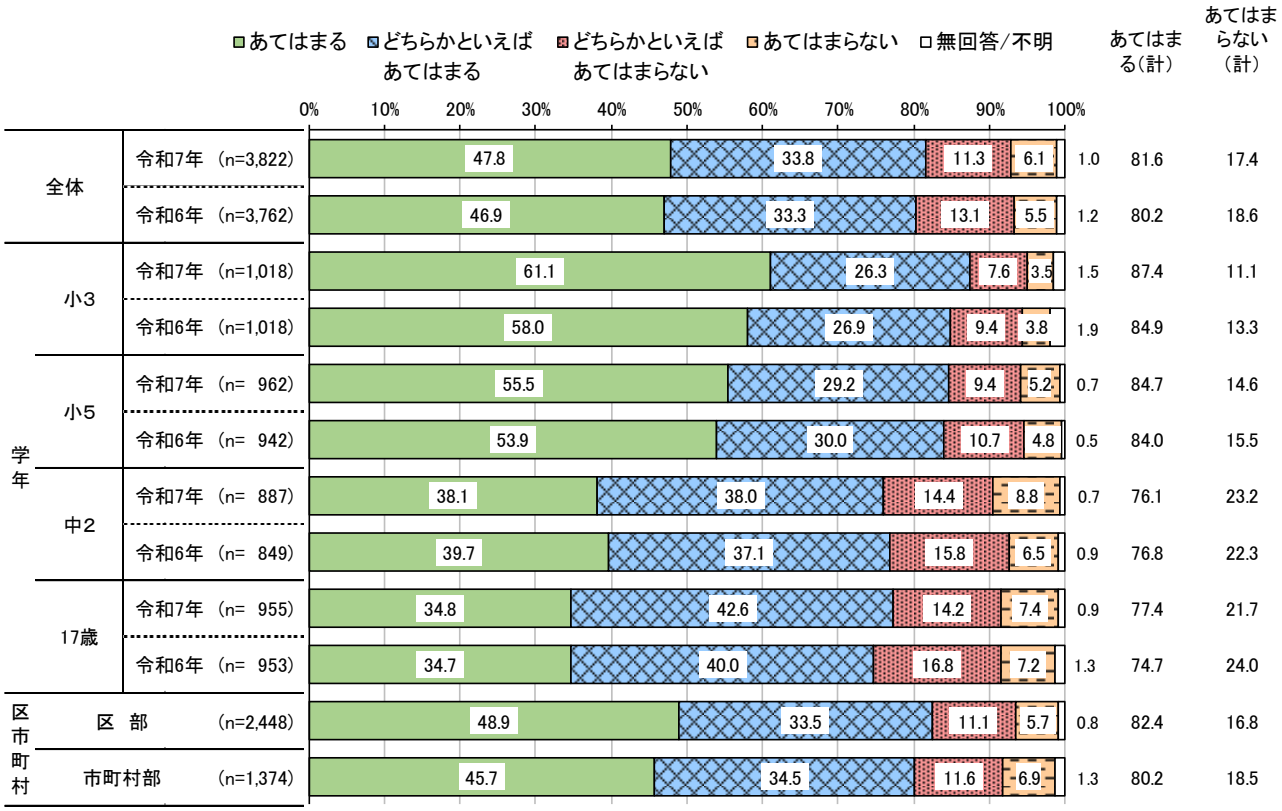
【全体】

「あてはまる」が 47.8％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 33.8％であり、学校や職場で安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 81.6％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「あてはまる」は減少傾向である。

図表 1-85　E 安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる ＜単一回答＞

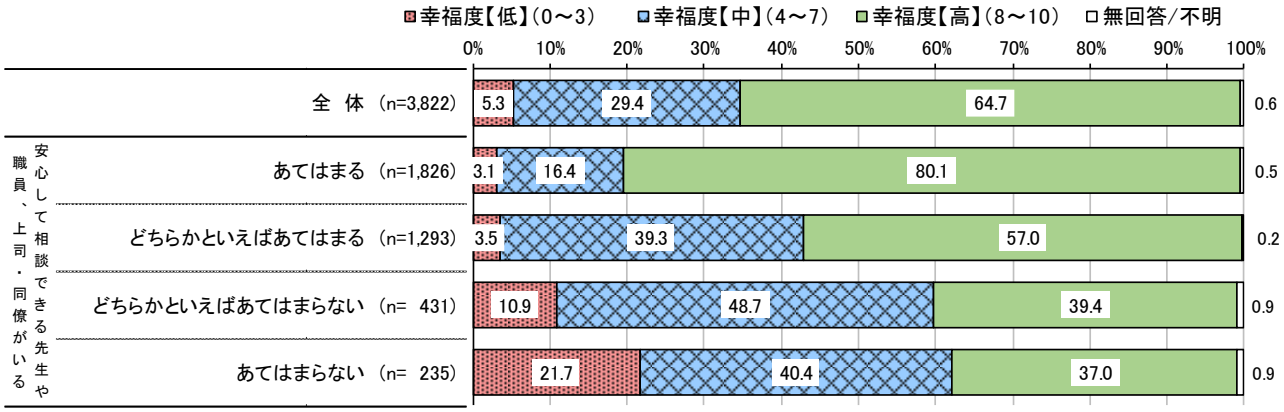


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 80.1%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 21.7%である。

図表 1-86　子供の幸福度(「安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」の回答別)



（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（F　規則や運営に対しても自分たちの意見を言える）

【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 37.2％で最も高く、次いで「あてはまる」が 33.4％であり、学校や職場で規則や運営に対しても自分たちの意見が言えると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 70.6％である。

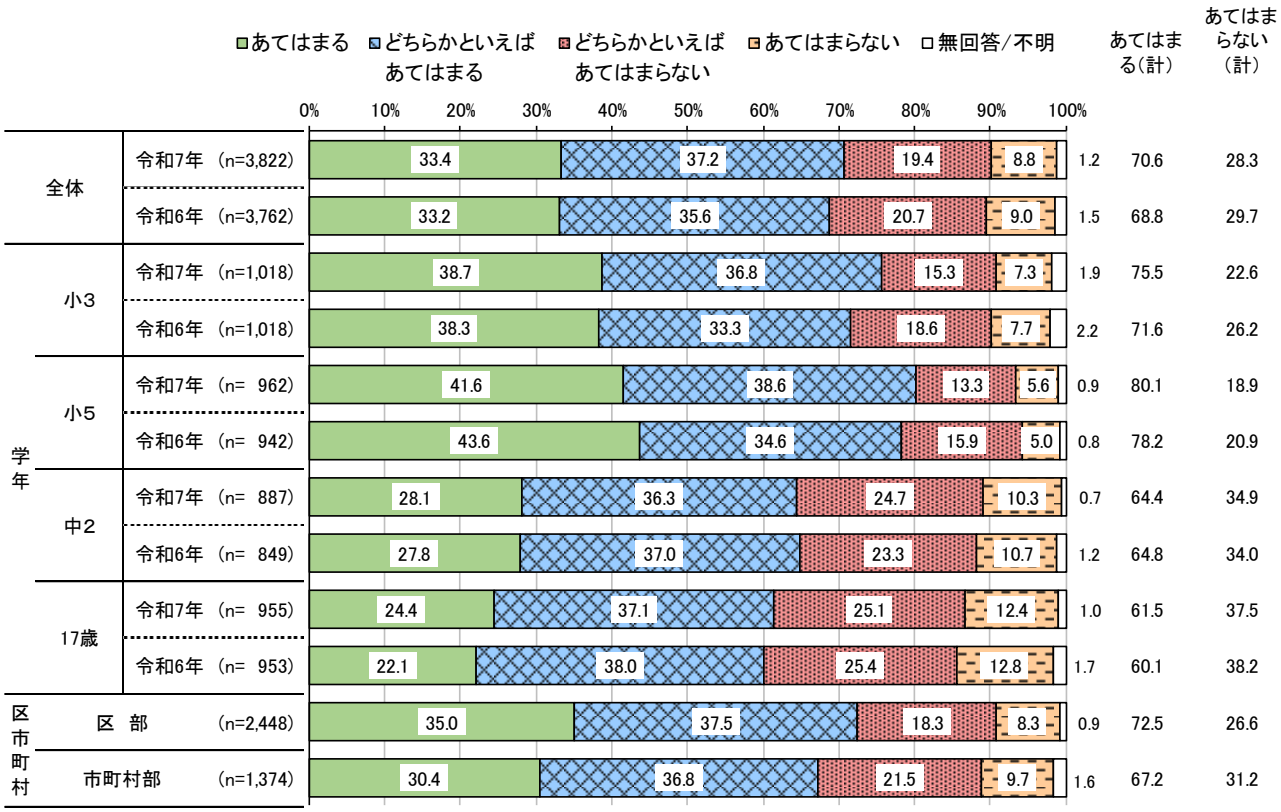
【学年別】

小3、小5では「あてはまる」が最も高く、中2、17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。

【区市町村別】

「あてはまる（計）」（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、区部が市町村部より 5.3 ポイント高い。

図表 1-87　F　規則や運営に対しても自分たちの意見を言える　＜単一回答＞

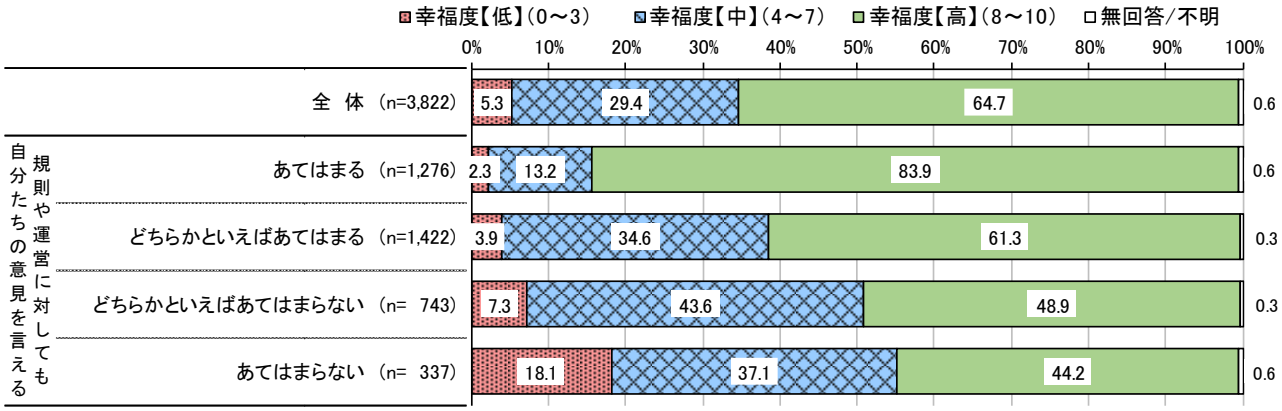


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「規則や運営に対しても自分たちの意見を言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 83.9%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 18.1%である。

図表 1-88　子供の幸福度(「規則や運営に対しても自分たちの意見を言える」の回答別)



（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（G　規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される）

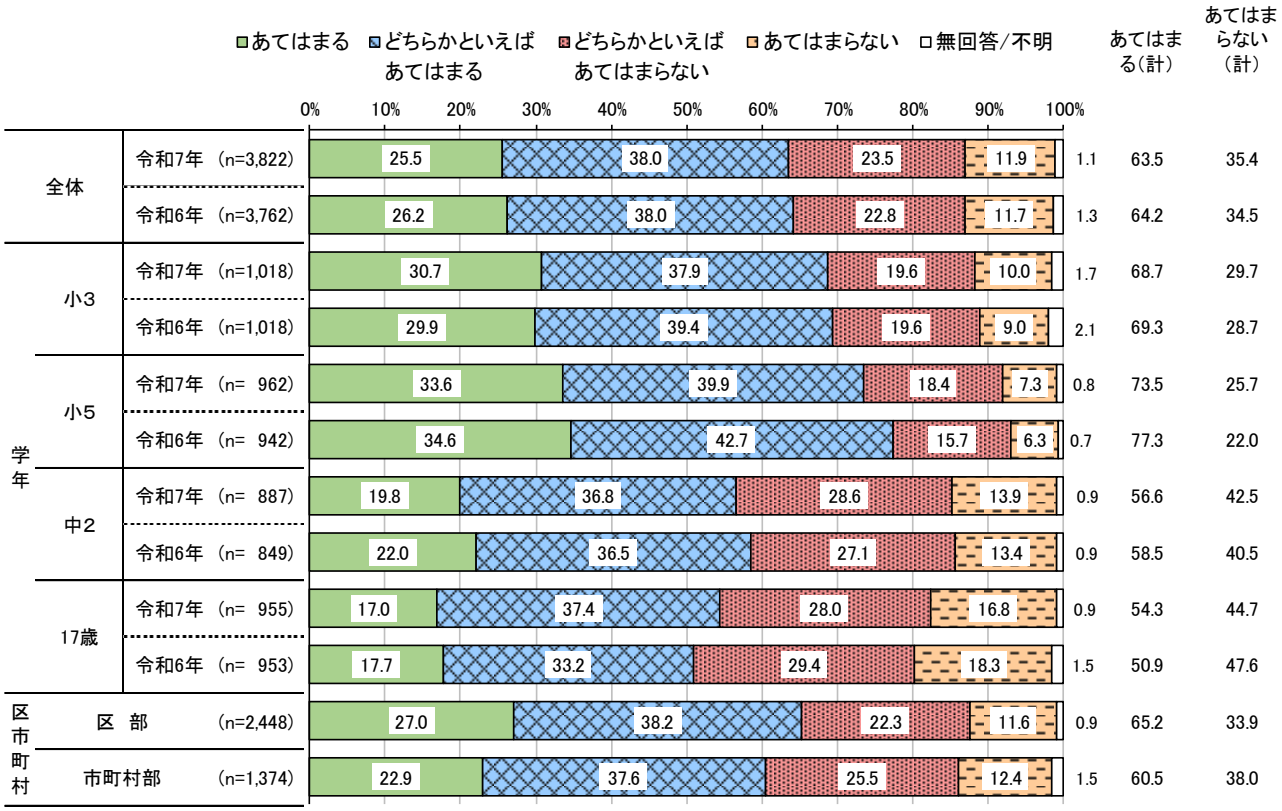
【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 38.0％で最も高く、次いで「あてはまる」が 25.5％である。学校や職場で規則や運営に対しても自分たちの意見が採用されると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 63.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。

図表 1-89　G　規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される　＜単一回答＞

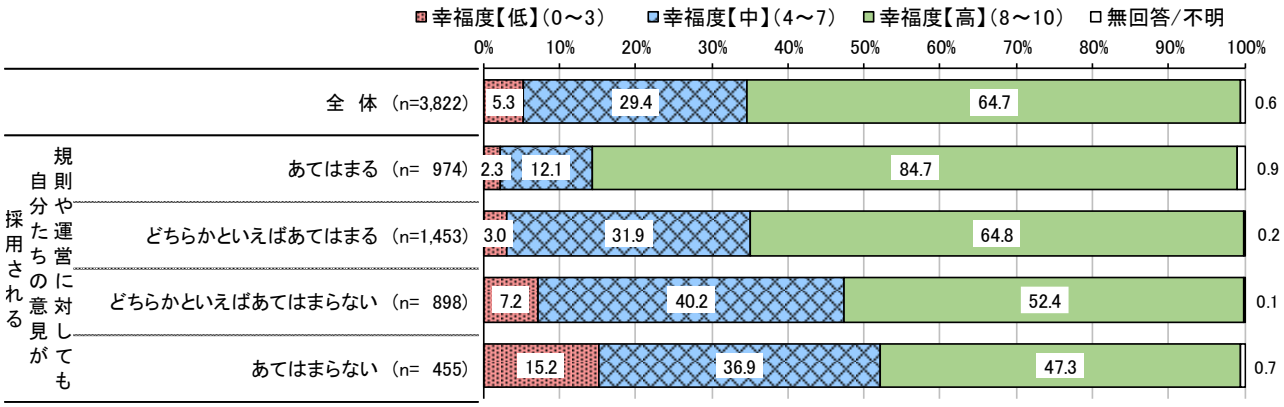


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 84.7%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 15.2%である。

図表 1-90　子供の幸福度(「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」の回答別)

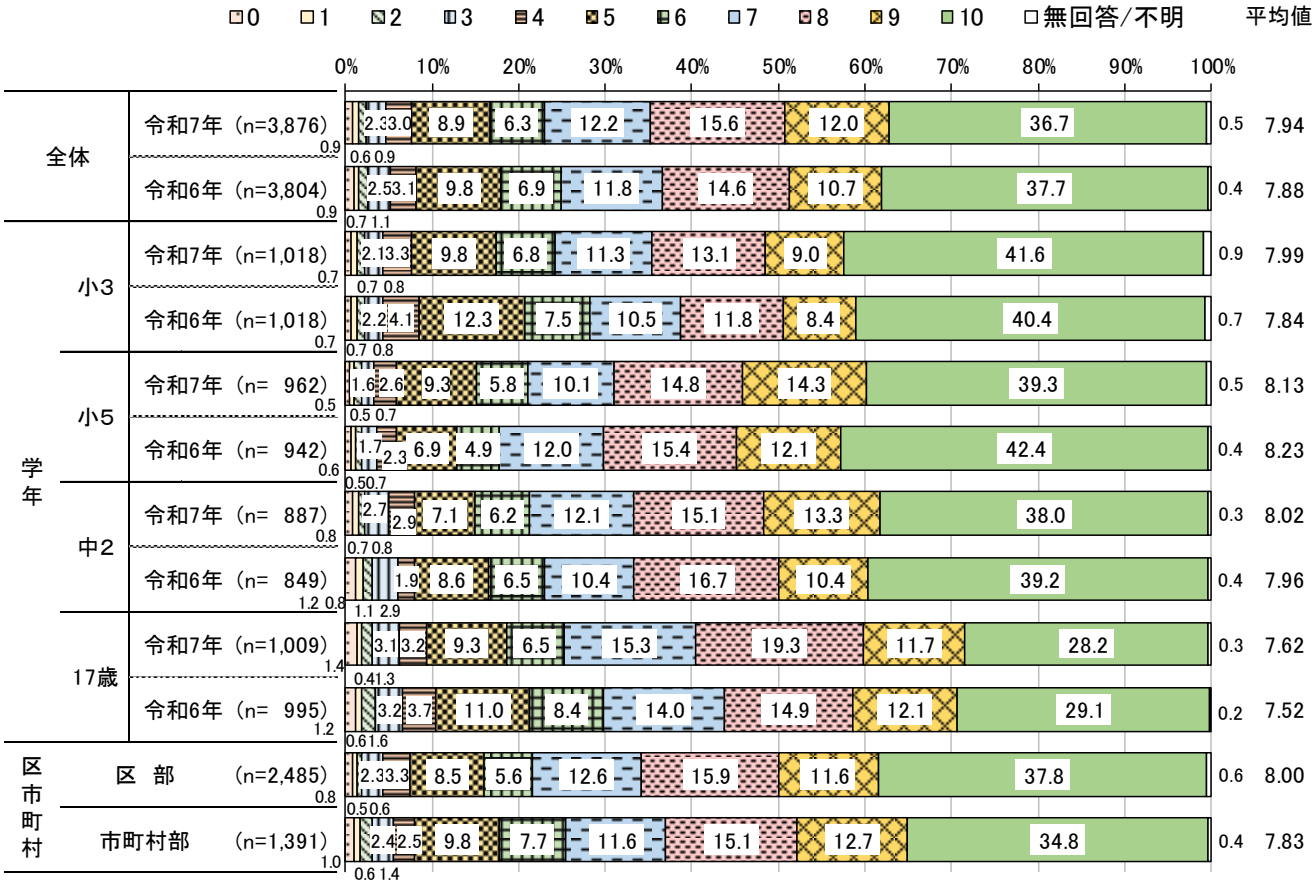


（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　毎日たくさん笑っている）

【全体】
「10」（とてもあてはまる）が 36.7％で最も高く、平均値は 7.94 である。

【学年別】
いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて、減少傾向である。平均値は、小3では 7.99、小5では 8.13、中2では 8.02、17 歳では 7.62 である。

図表 1-91　A　毎日たくさん笑っている　＜単一回答＞

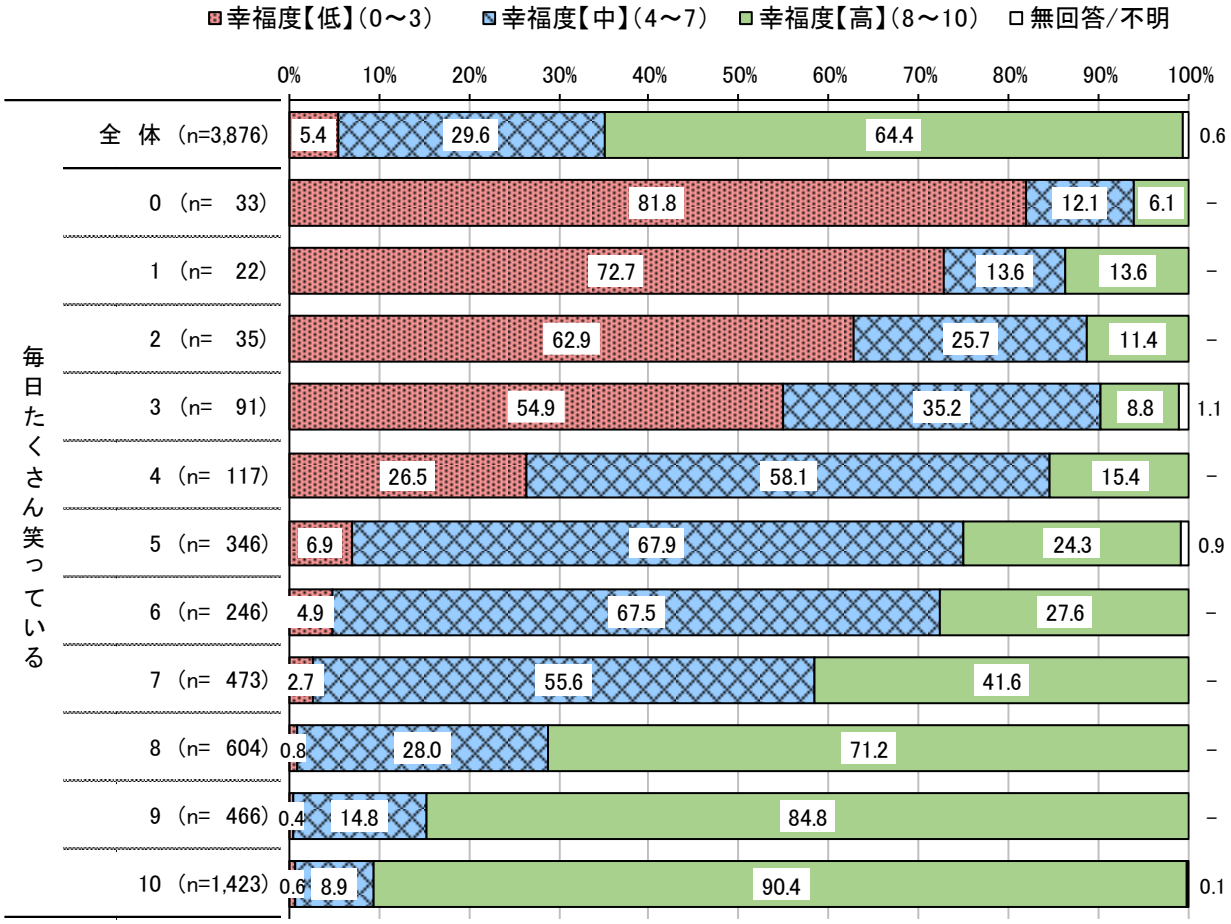


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「毎日たくさん笑っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 90.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-92　子供の幸福度(「毎日たくさん笑っている」の回答別)



（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　今の自分は幸せだ）

※上記の設問を、【子供の幸福度】別の集計軸としているため、【子供の幸福度】別は除いている。

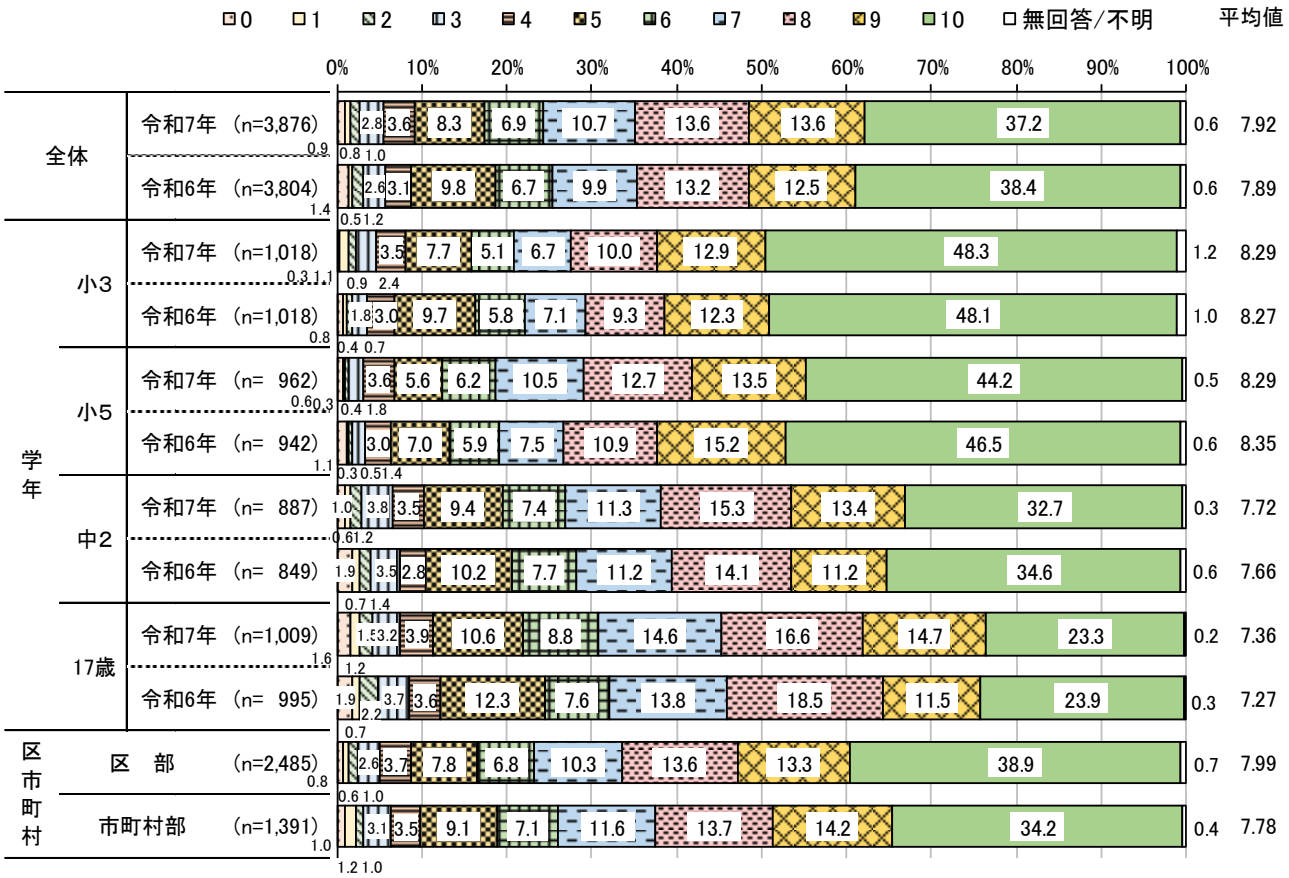
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 37.2％で最も高く、平均値は 7.92 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて、減少傾向である。平均値は小3、小5ではともに 8.29、中2では 7.72、17 歳では 7.36 である。

図表 1-93　B　今の自分は幸せだ　＜単一回答＞



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　今の自分の生活に満足している）

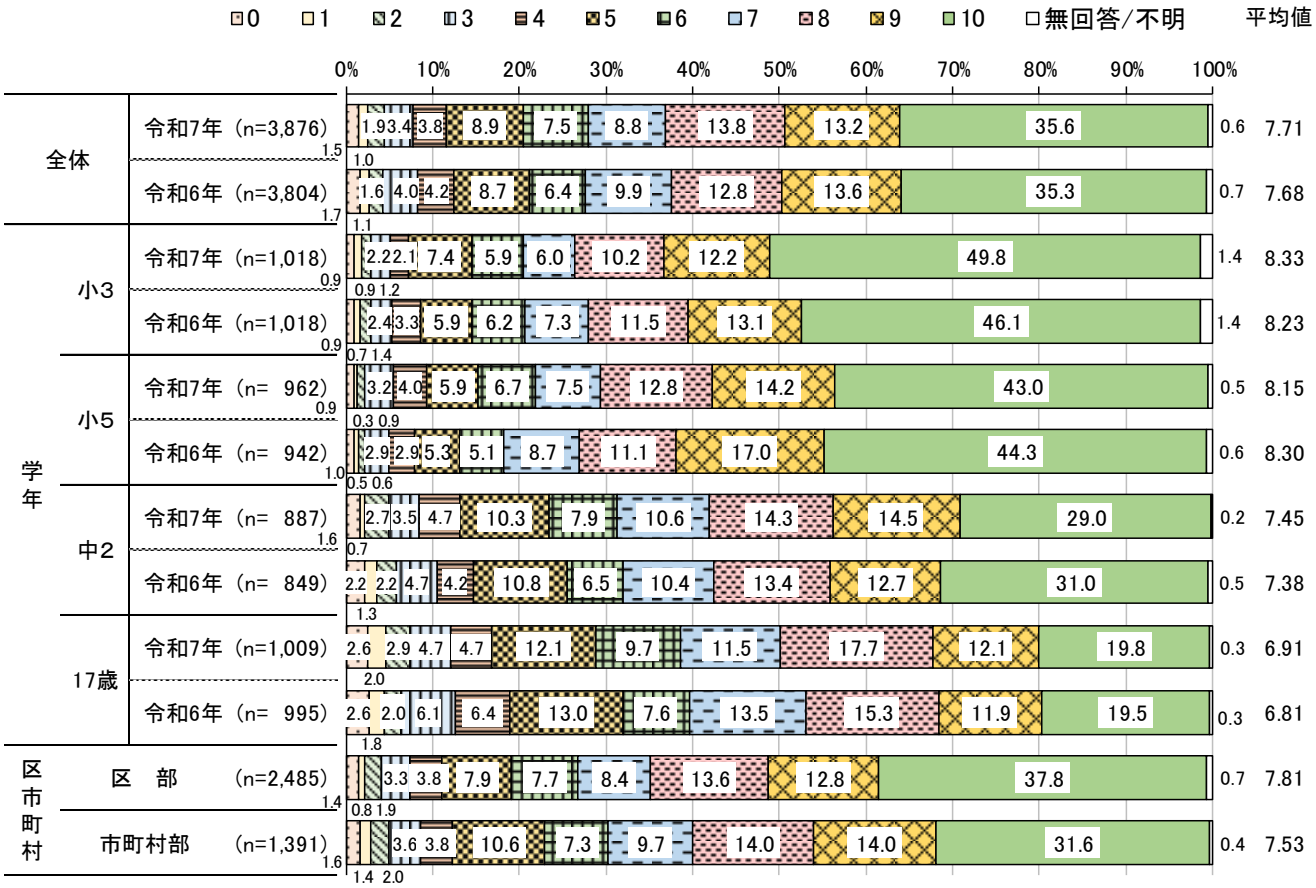
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 35.6％で最も高く、平均値は 7.71 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて、減少傾向である。平均値は小3では 8.33、小5では 8.15、中2では 7.45、17 歳では 6.91 である。

図表 1-94　C 今の自分の生活に満足している ＜単一回答＞

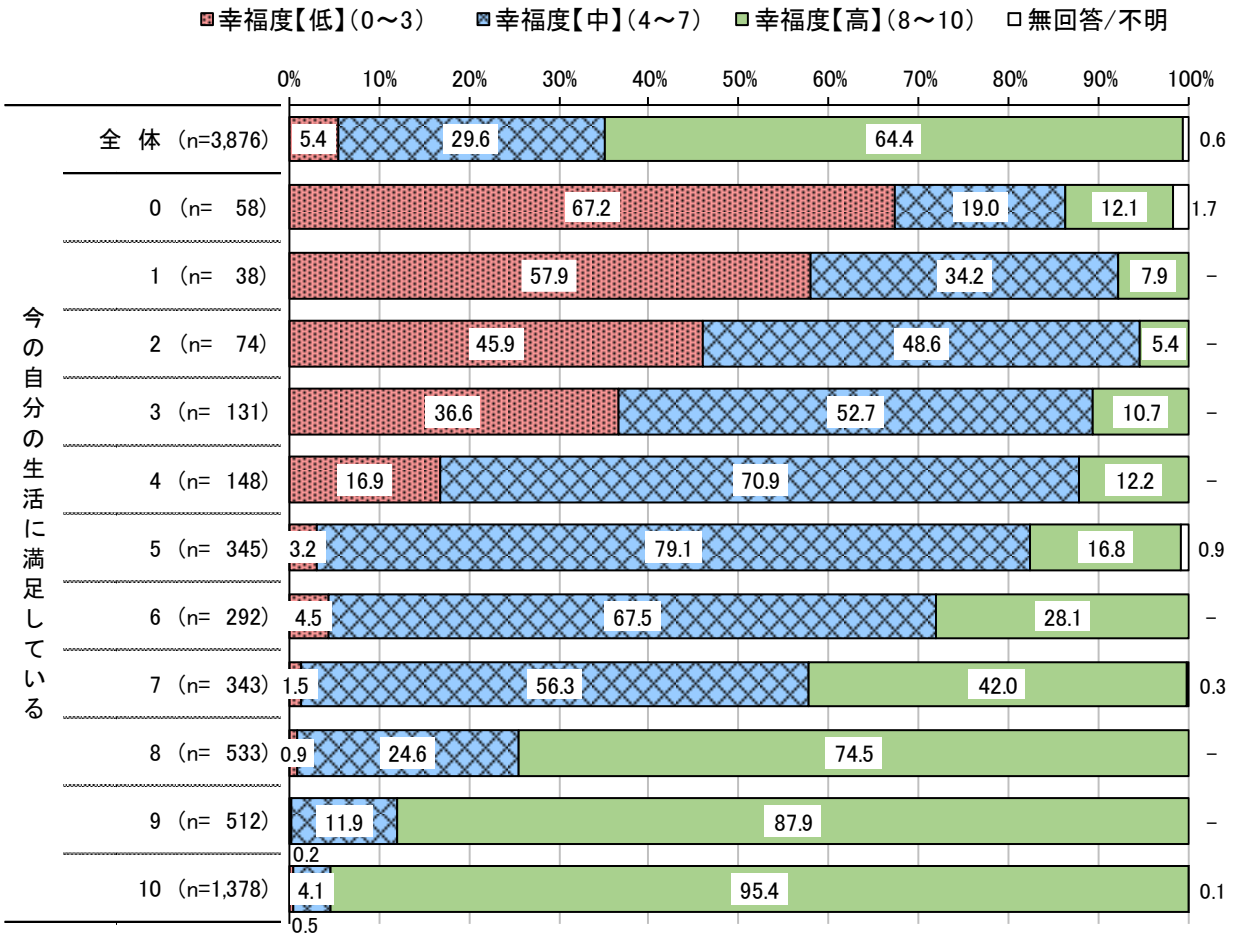


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分の生活に満足している」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の95.4%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 67.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-95　子供の幸福度(「今の自分の生活に満足している」の回答別)



（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

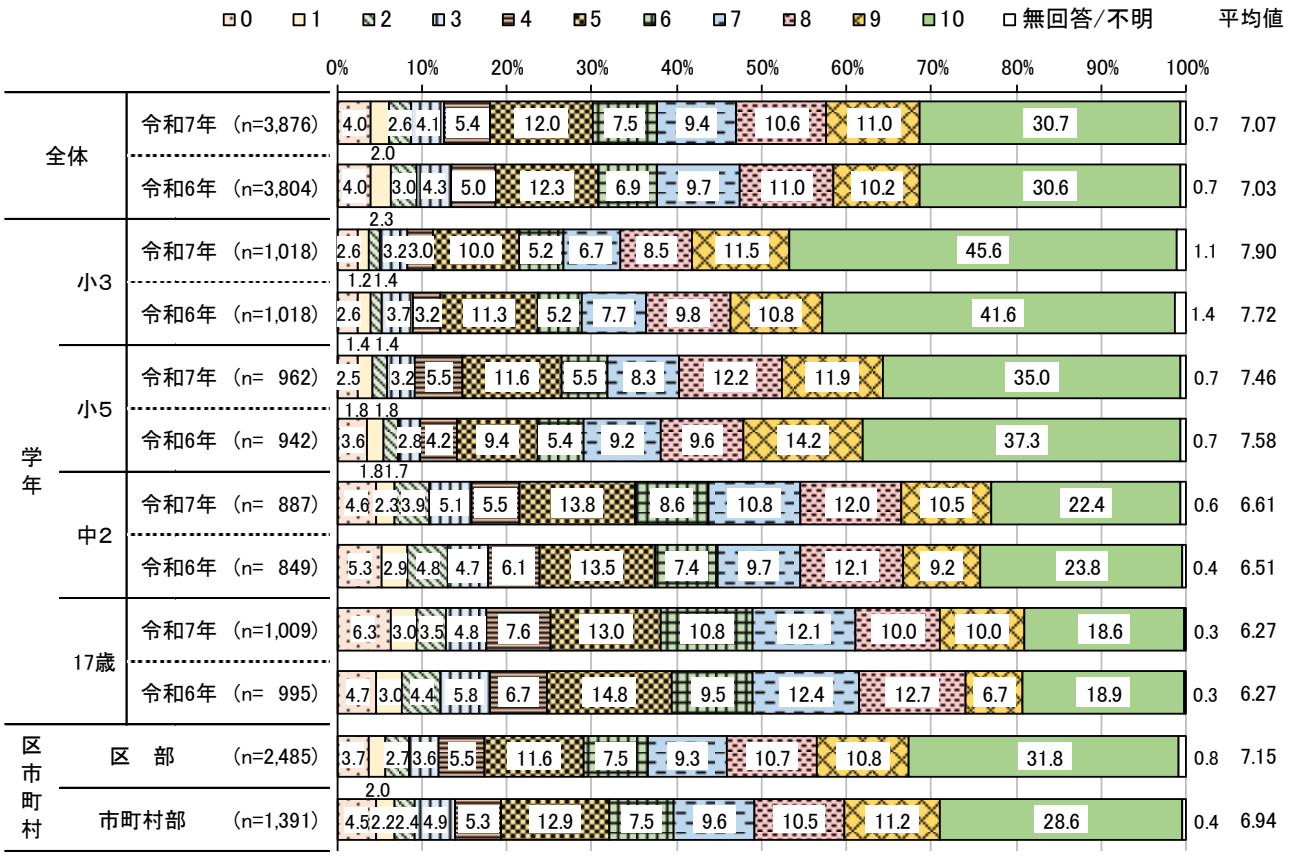
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 30.7％で最も高く、平均値は 7.07 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて、減少傾向である。平均値は小3では 7.90、小5では 7.46、中2では 6.61、17 歳では 6.27 である。

図表 1-96　D　今の自分が好きだ　＜単一回答＞

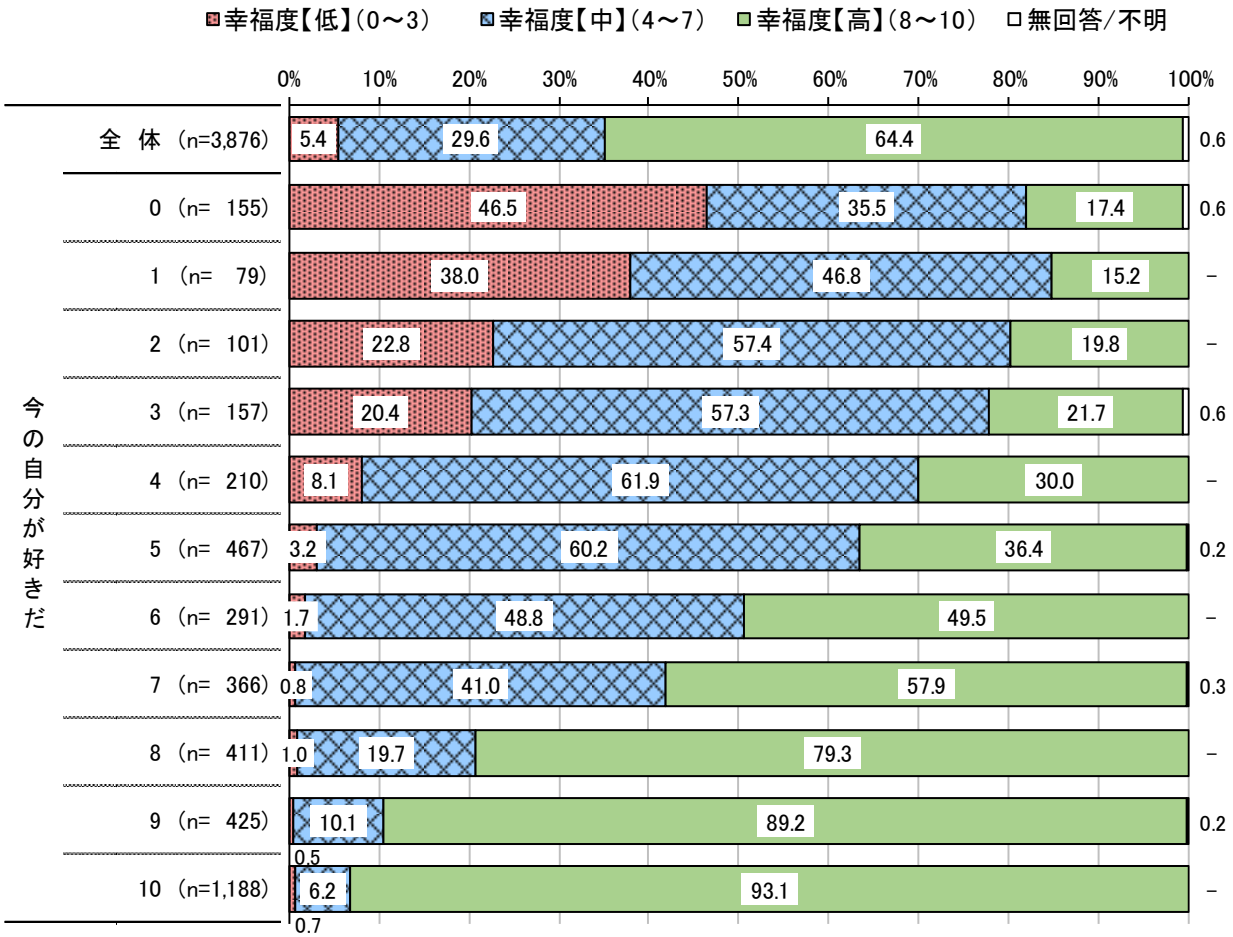


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分が好きだ」の回答別に幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 93.1%が、幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 46.5%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-97　子供の幸福度(「今の自分が好きだ」の回答別)



（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　人生を楽しんでいる）

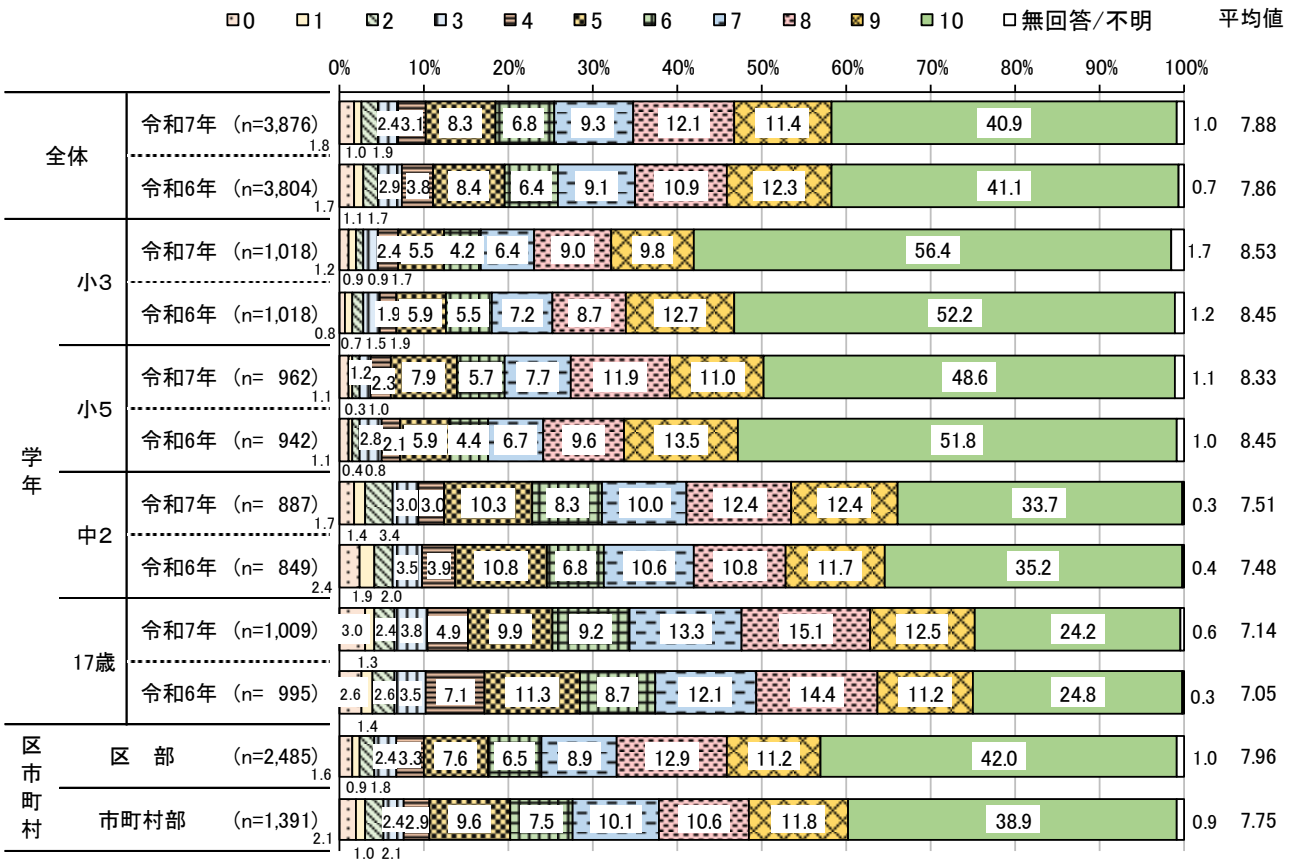
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 40.9％で最も高く、平均値は 7.88 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて、減少傾向である。平均値は小3では 8.53、小5では 8.33、中2では 7.51、17 歳では 7.14 である。

図表 1-98　E　人生を楽しんでいる　＜単一回答＞

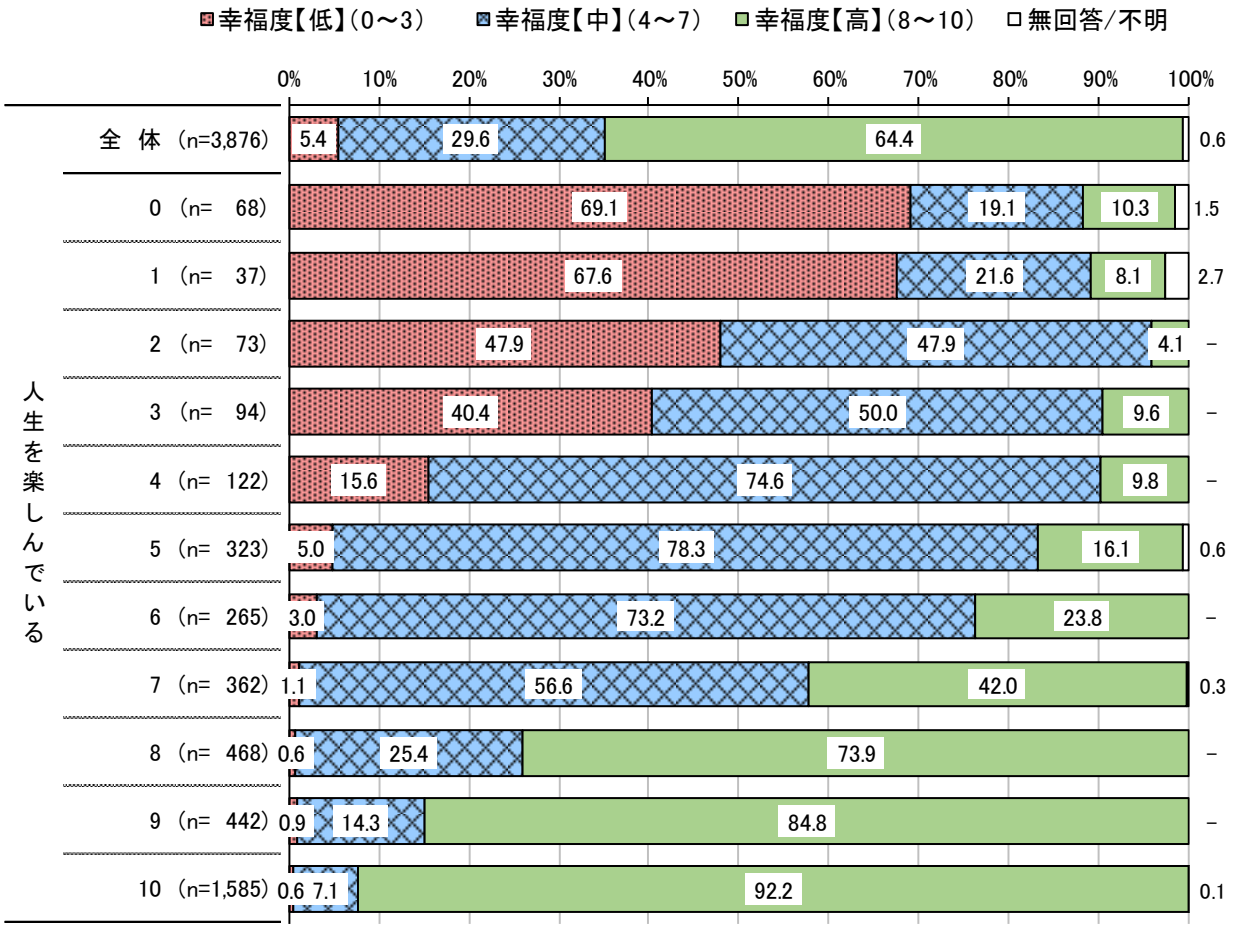


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「人生を楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 92.2%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 69.1%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-99 子供の幸福度(「人生を楽しんでいる」の回答別)



（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

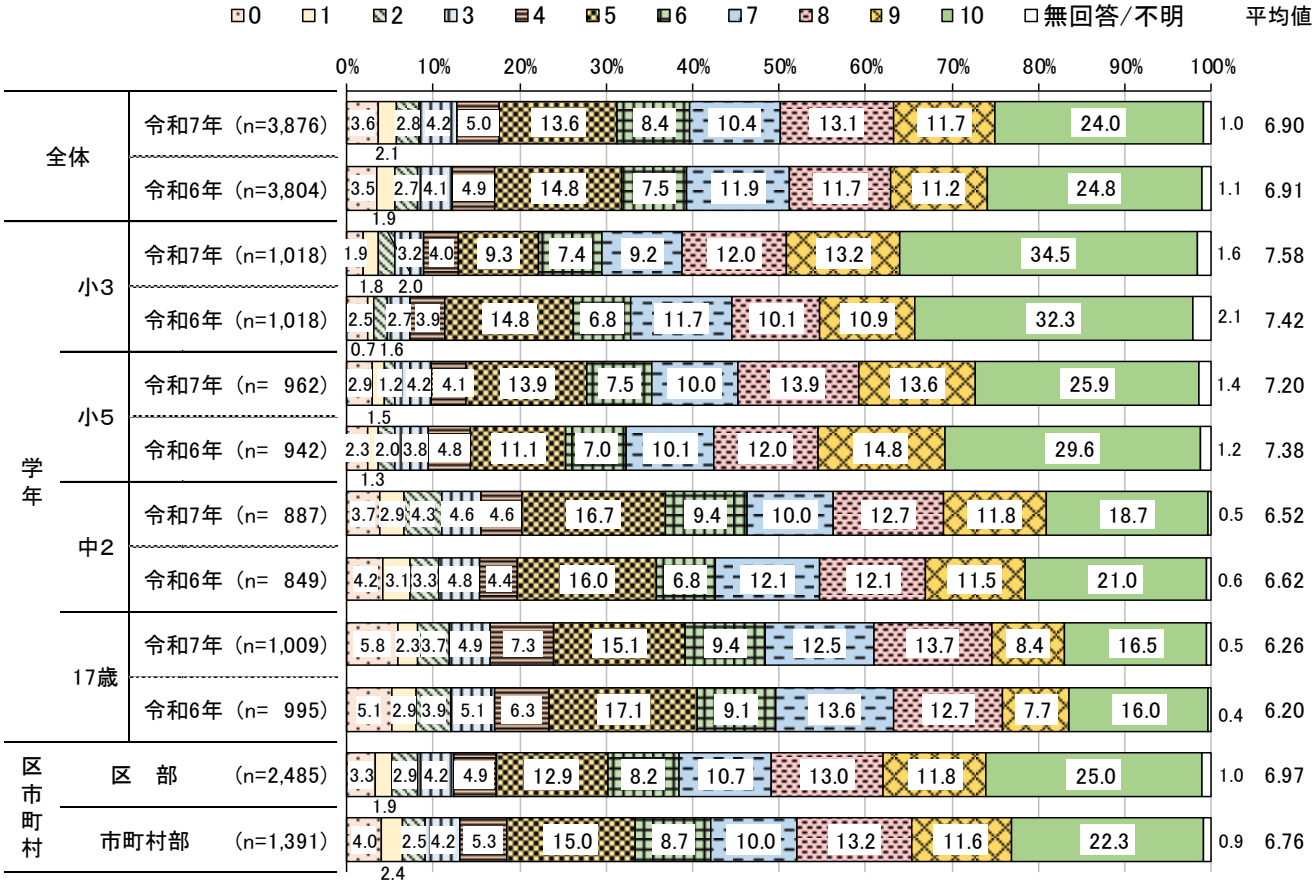
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 24.0％で最も高く、平均値は 6.90 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて、減少傾向である。平均値は小3では 7.58、小5では 7.20、中2では 6.52、17 歳では 6.26 である。

図表 1-100　F　自分は他人から必要とされている　＜単一回答＞

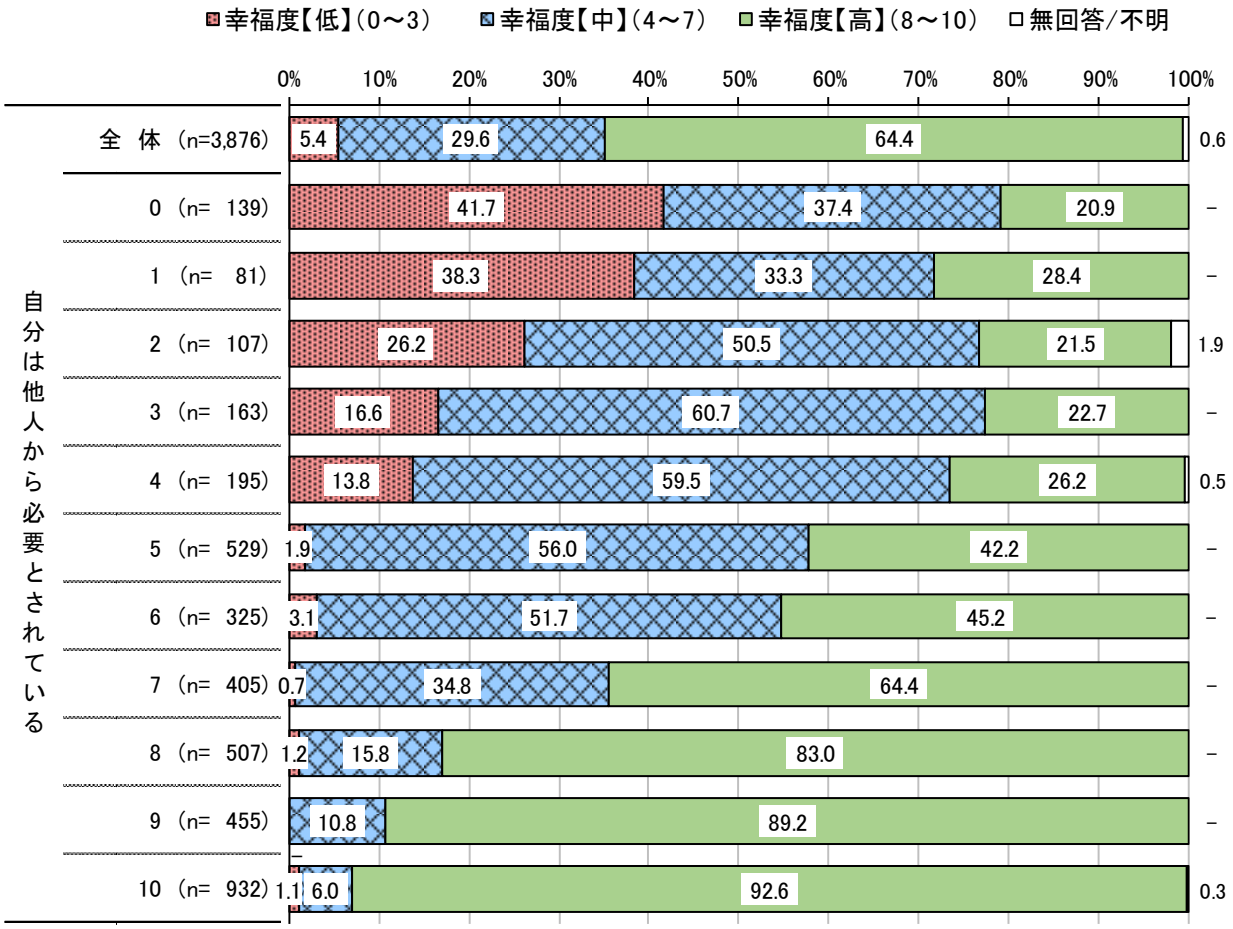


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分は他人から必要とされている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の92.6%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 41.7%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-101　子供の幸福度(「自分は他人から必要とされている」の回答別)



（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある）

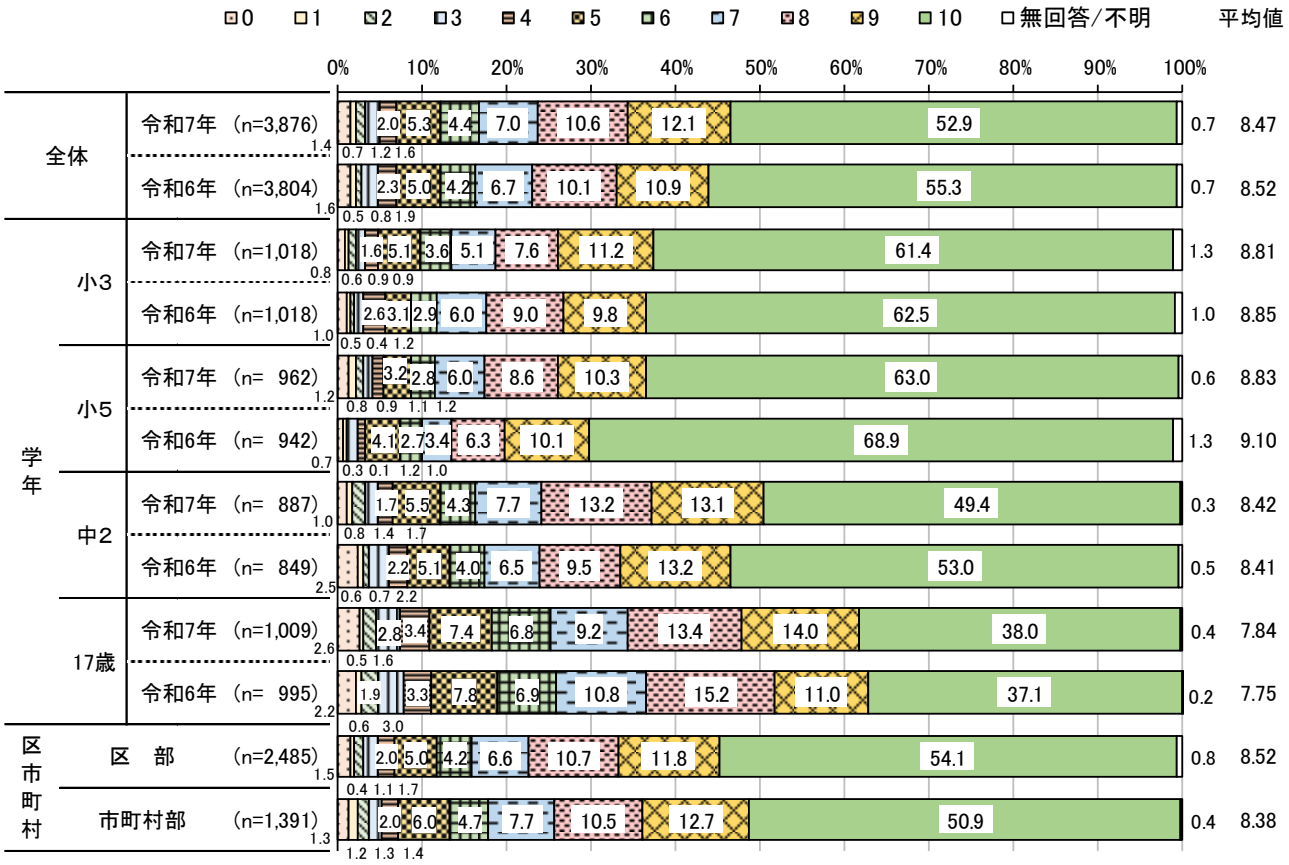
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 52.9％で最も高く、平均値は 8.47 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小5では 63.0％である。平均値は小3では 8.81、小5では 8.83、中2では 8.42、17 歳では 7.84 である。

図表 1-102 G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある ＜単一回答＞

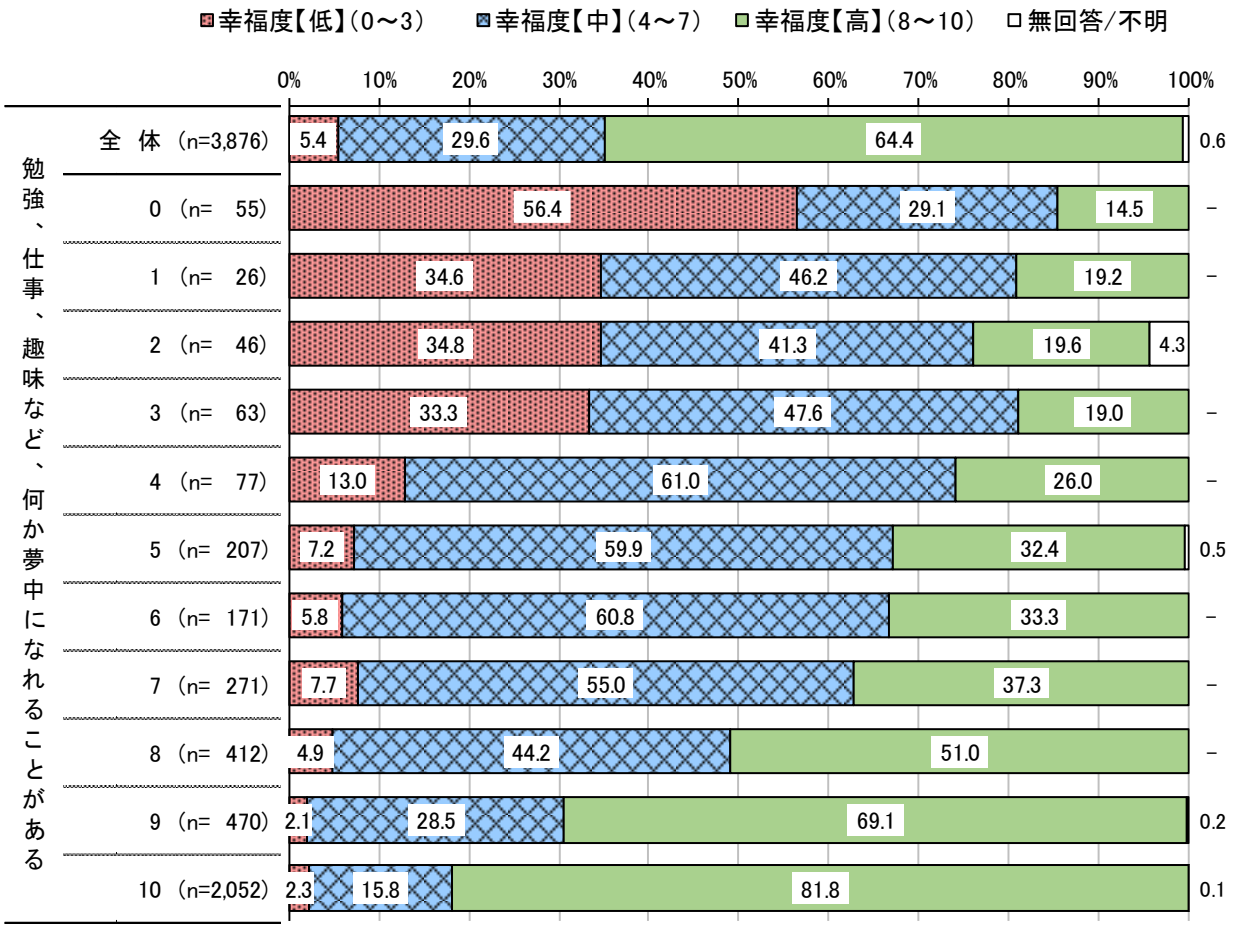


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 81.8%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 56.4%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-103　子供の幸福度(「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」の回答別)



（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　自分には、夢や目標がある）

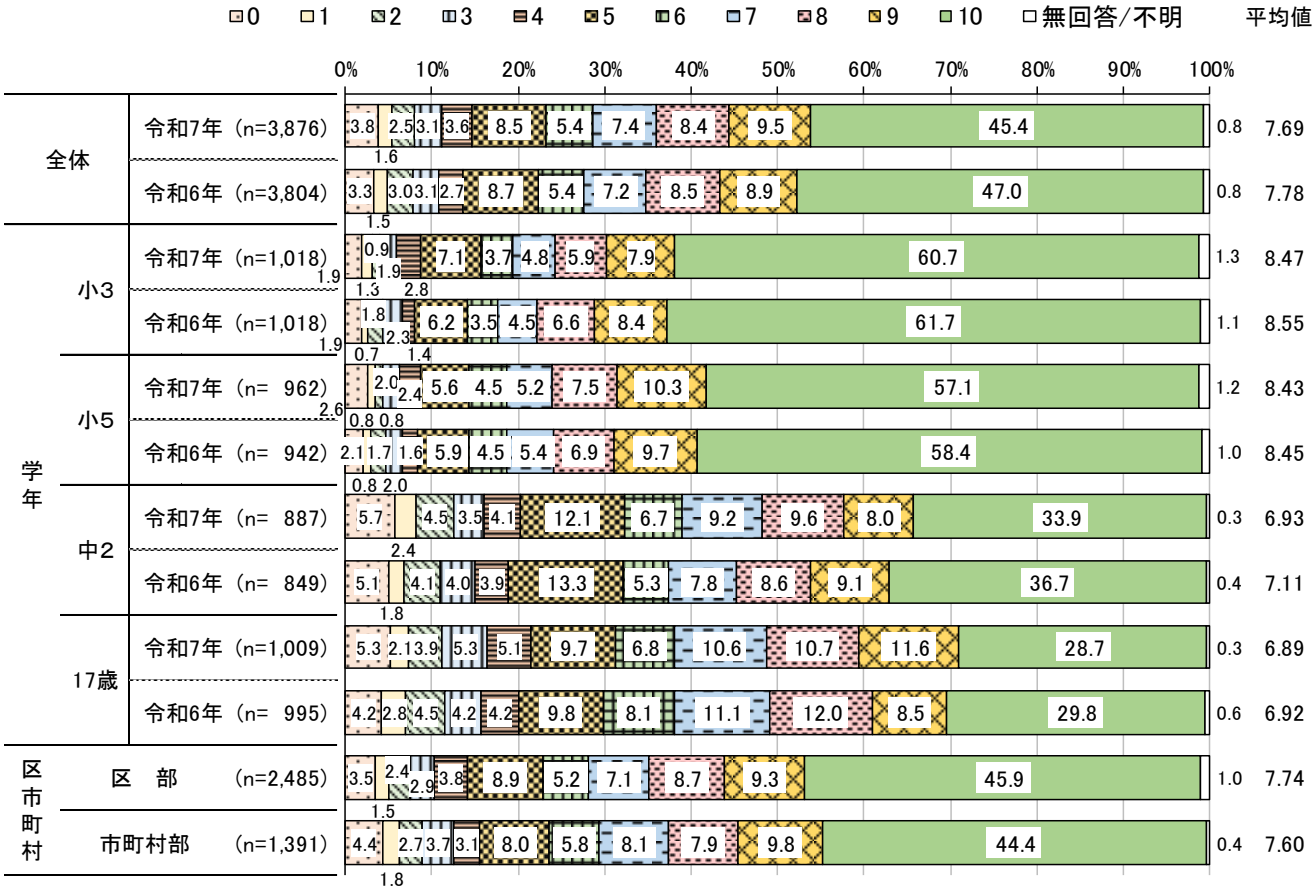
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 45.4％で最も高く、平均値は 7.69 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて、減少傾向である。平均値は小3では 8.47、小5では 8.43、中2では 6.93、17 歳では 6.89 である。

図表 1-104　H　自分には、夢や目標がある　＜単一回答＞

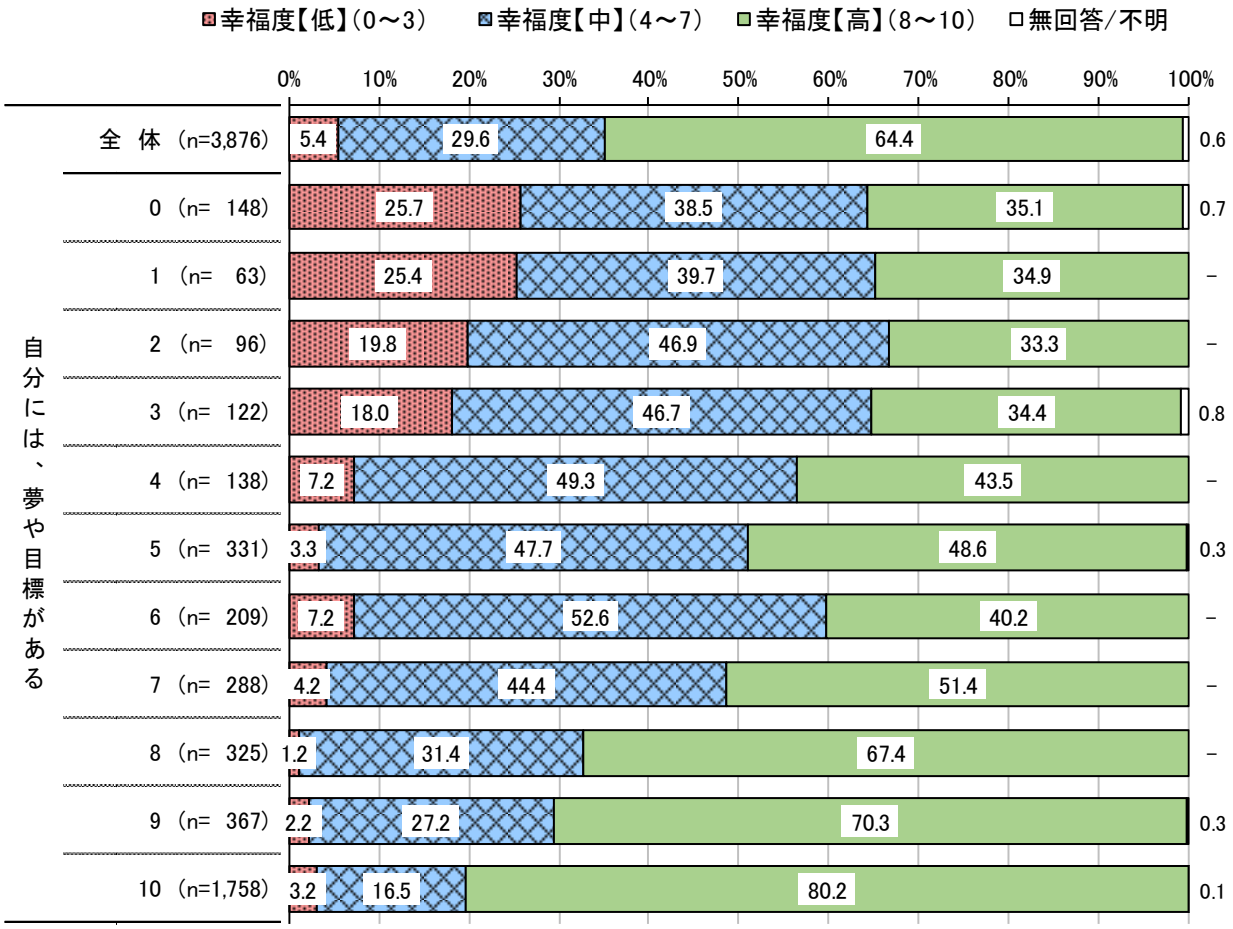


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分には、夢や目標がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の80.2%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 25.7%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-105　子供の幸福度(「自分には、夢や目標がある」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ）

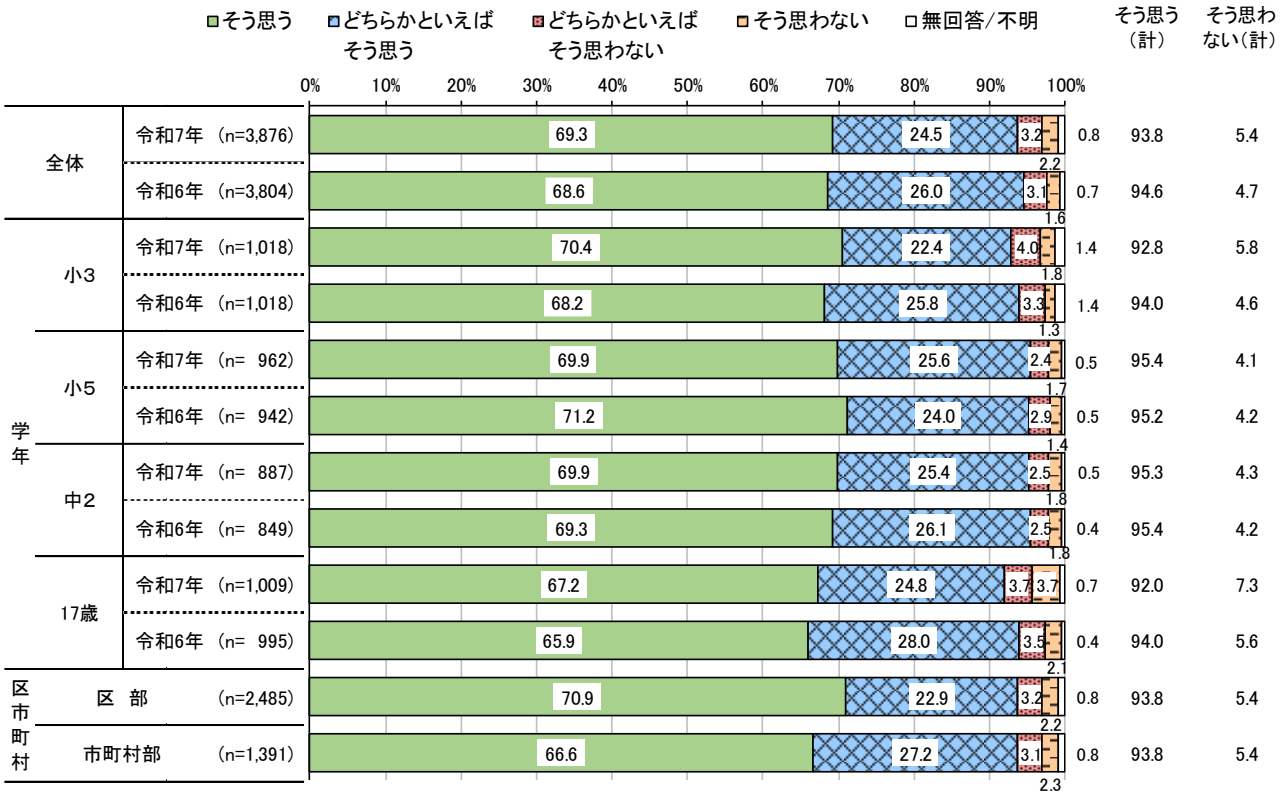
【全体】

「そう思う」が 69.3％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.5％であり、自分の考えをしっかり持つことは大事だと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 93.8％である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」の割合が最も高くなっており、小3では 70.4％である。

図表 1-106　A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ　＜単一回答＞

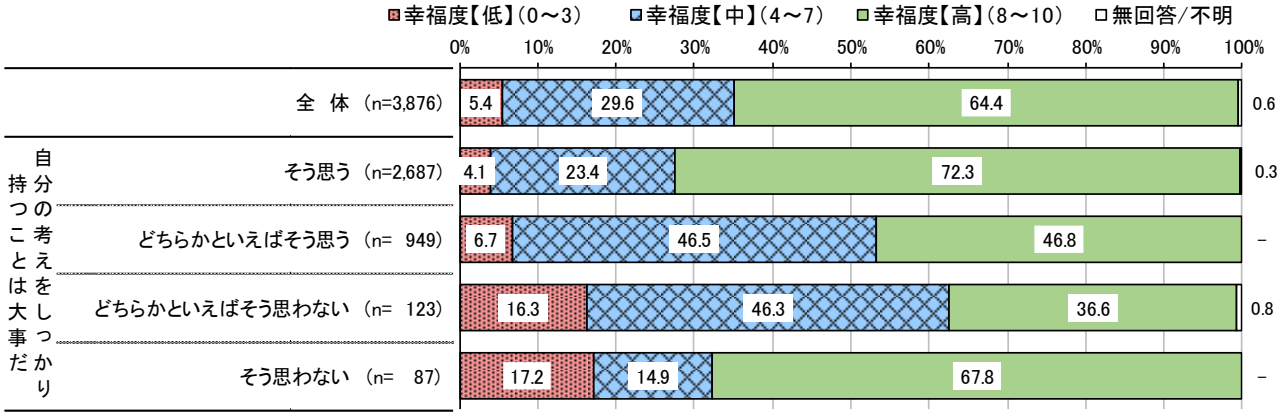


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の考えをしっかり持つことは大事だ」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 72.3%で、「そう思わない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 17.2%である。

図表 1-107　子供の幸福度(「自分の考えをしっかり持つことは大事だ」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

【全体】

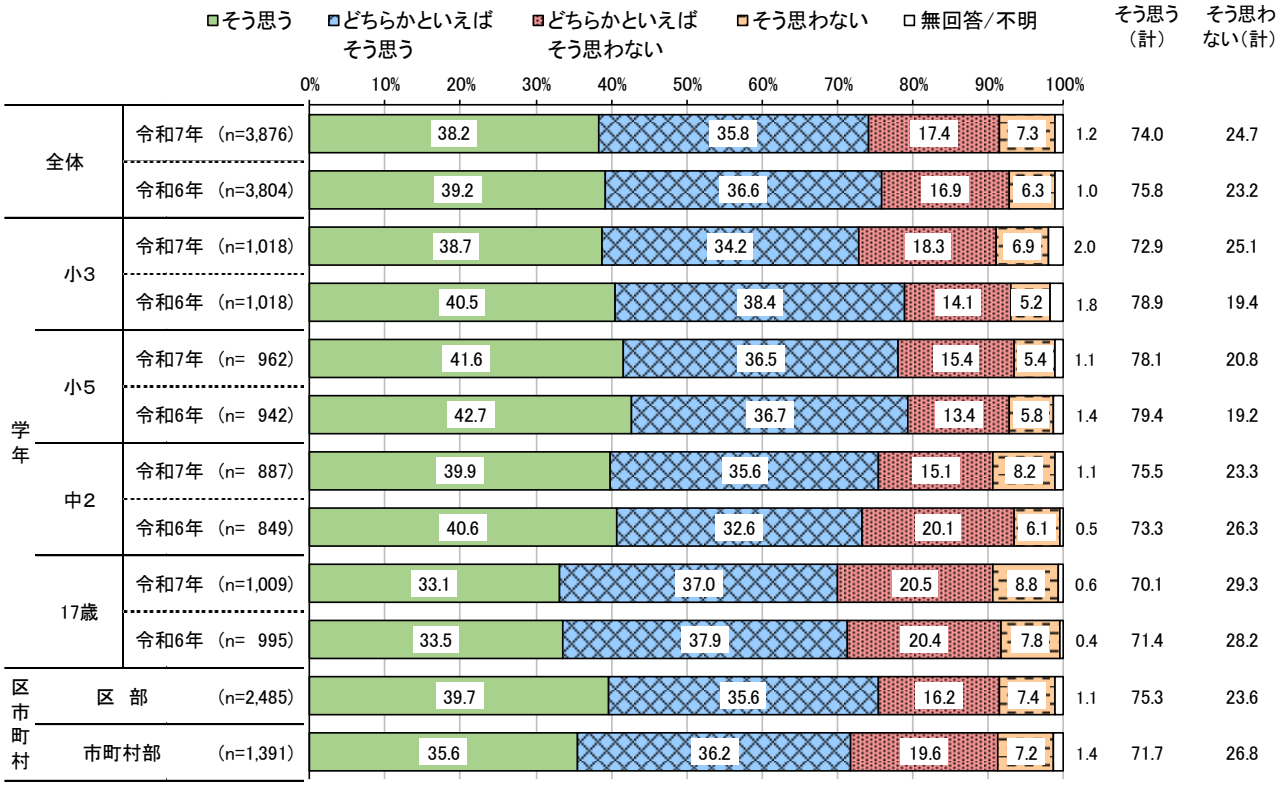
「そう思う」が 38.2％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.8％となっており、自分の考えを他の人にしっかりと言える（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 74.0％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「そう思う」の割合が最も高く、17 歳では「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高い。

経年比較でみると、小3で「そう思う（計）（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）」が 6.0 ポイント減少し、「そう思わない（計）（「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合）」は 5.7 ポイント増加している。また、中2では「どちらかといえばそう思わない」が 5.0 ポイント減少している。

図表 1-108　B　自分の考えを他の人にしっかりと言える　＜単一回答＞

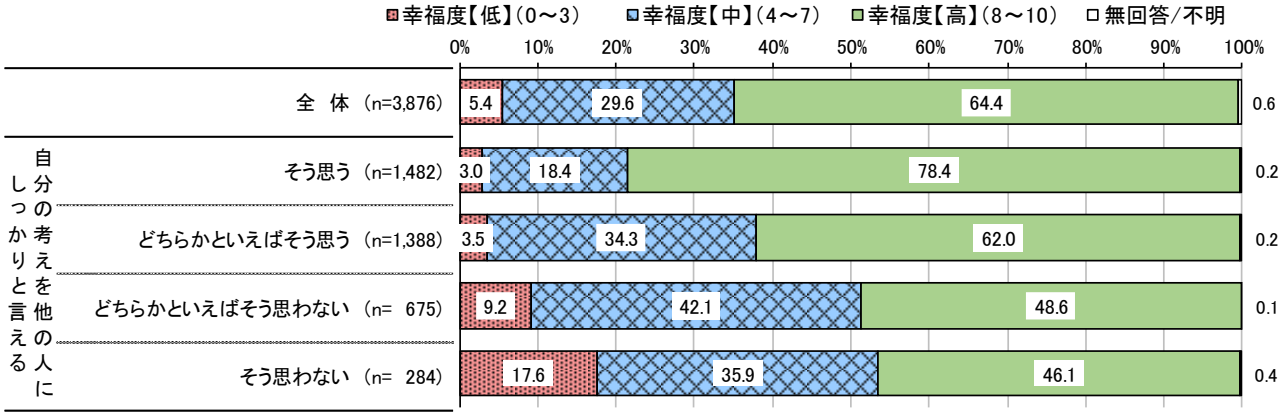


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の考えを他の人にしっかりと言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 78.4%で、「そう思わない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 17.6%である。

図表 1-109　子供の幸福度(「自分の考えを他の人にしっかりと言える」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（A　家事）

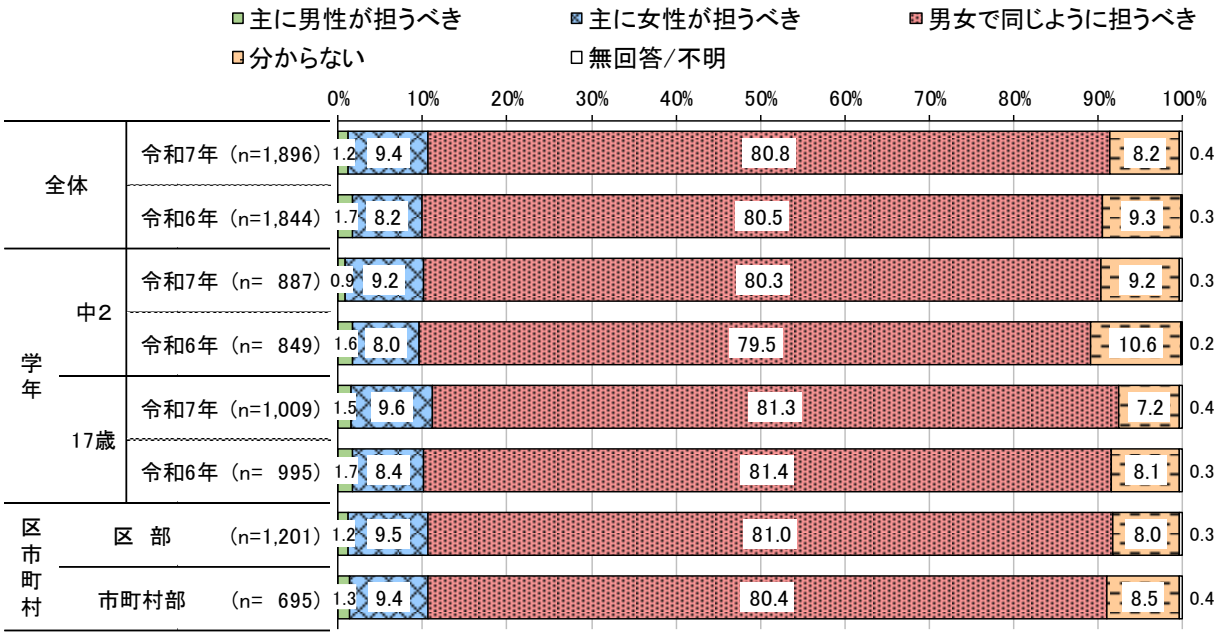
【全体】

家庭における家事分担について、「男女で同じように担うべき」が 80.8％で最も高く、「主に女性が担うべき」が 9.4％、「分からない」が 8.2％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 80.3％、17 歳では 81.3％である。

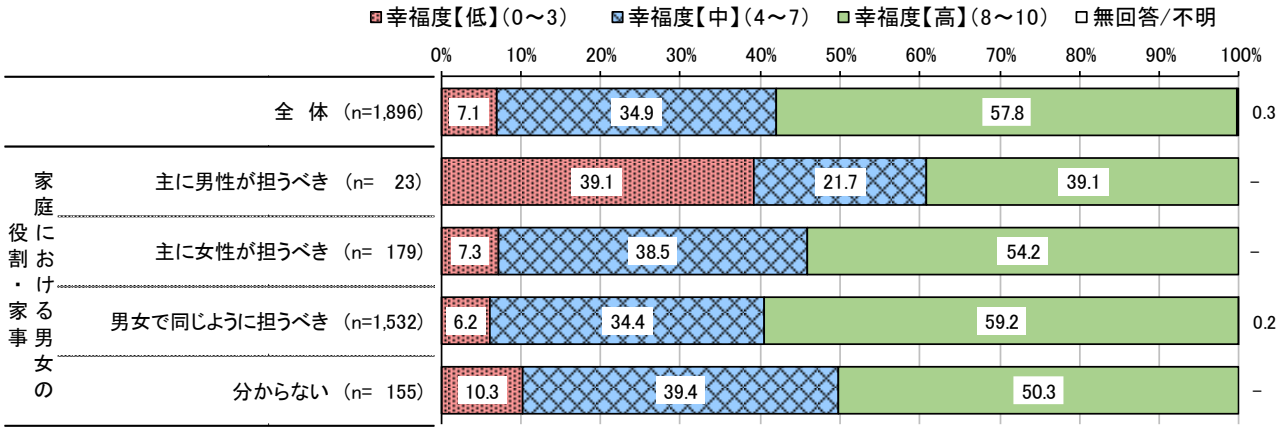
図表 1-110　A　家庭における男女の役割・家事　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・家事」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 59.2%である。

図表 1-111　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・家事」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（B　育児）

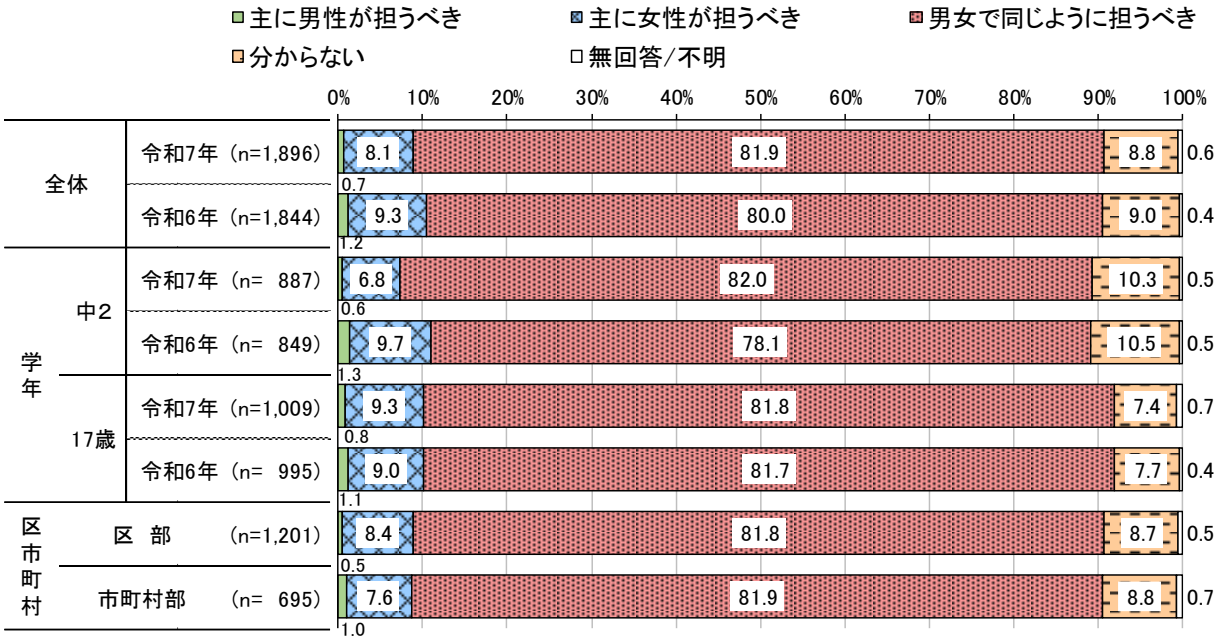
【全体】

家庭における育児分担について、「男女で同じように担うべき」が 81.9％で最も高く、「分からない」が 8.8％、「主に女性が担うべき」が 8.1％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 82.0％、17 歳では 81.8％である。

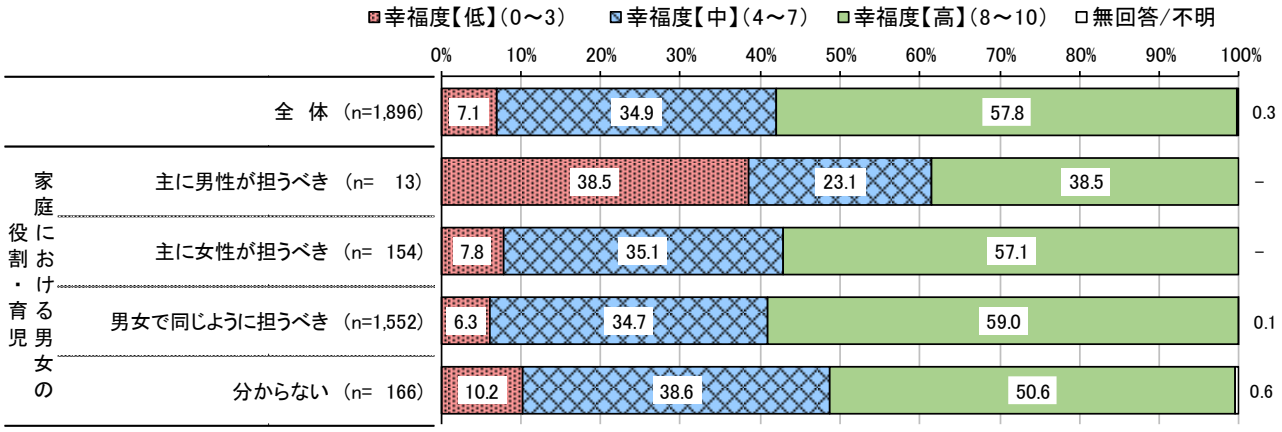
図表 1-112　B　家庭における男女の役割・育児　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・育児」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 59.0%である。

図表 1-113　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・育児」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（C　仕事）

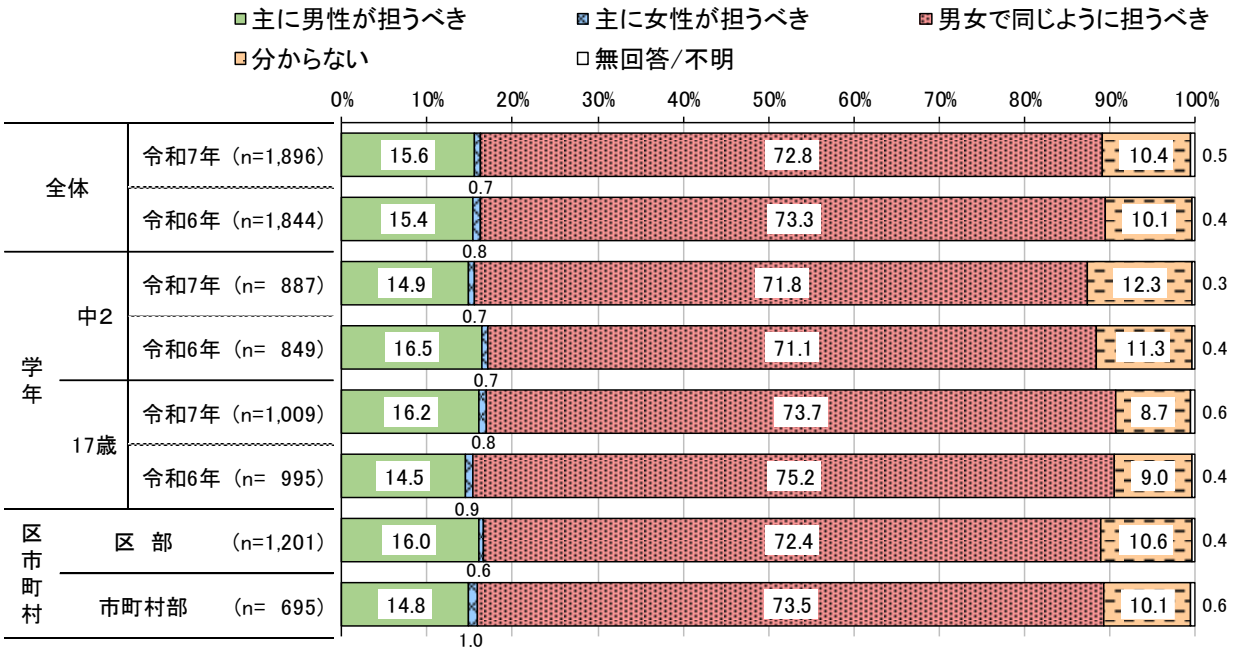
【全体】

家庭における仕事分担について、「男女で同じように担うべき」が 72.8％で最も高く、「主に男性が担うべき」が 15.6％、「分からない」が 10.4％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 71.8％、17 歳では 73.7％である。

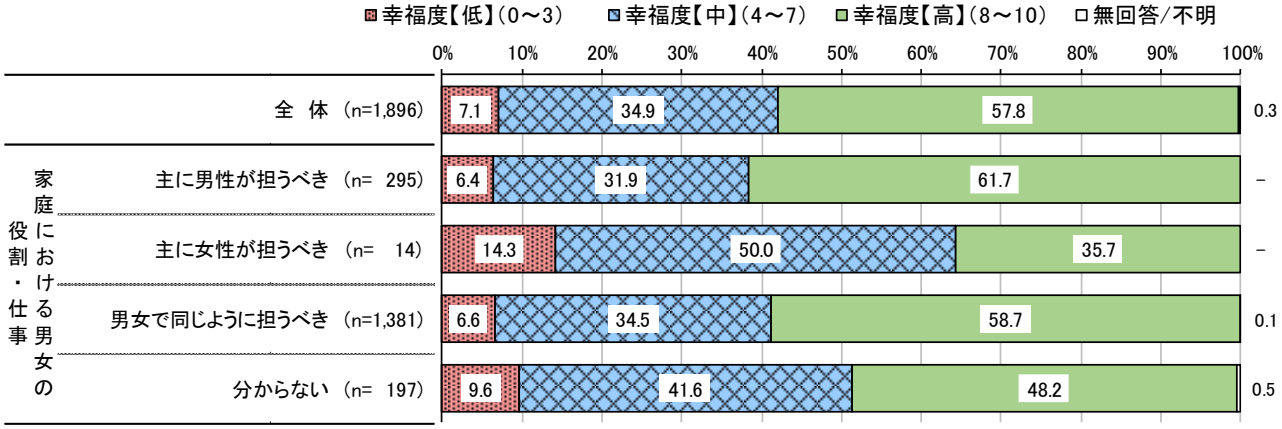
図表 1-114　C　家庭における男女の役割・仕事　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・仕事」の回答別に子供の幸福度をみると、「主に男性が担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 61.7%で、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 58.7%である。

図表 1-115　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・仕事」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（D　介護）

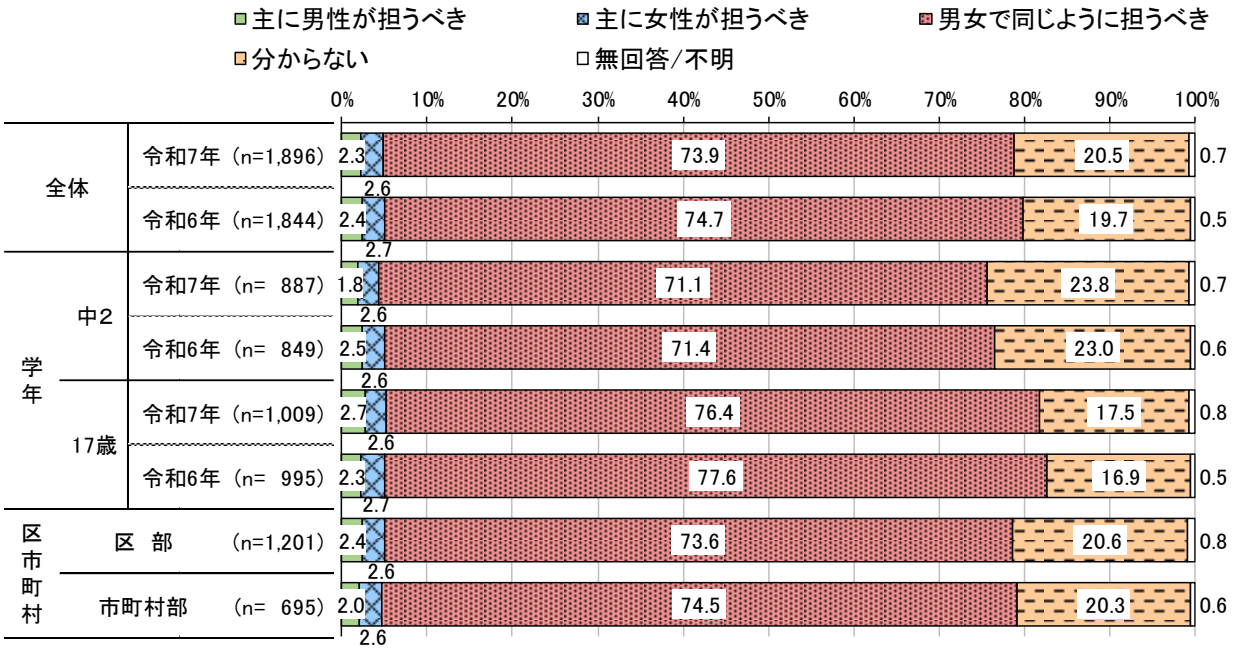
【全体】

家庭における介護分担について、「男女で同じように担うべき」が 73.9％で最も高く、「分からない」が 20.5％、「主に女性が担うべき」が 2.6％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中 2 では 71.1％、17 歳では 76.4％である。

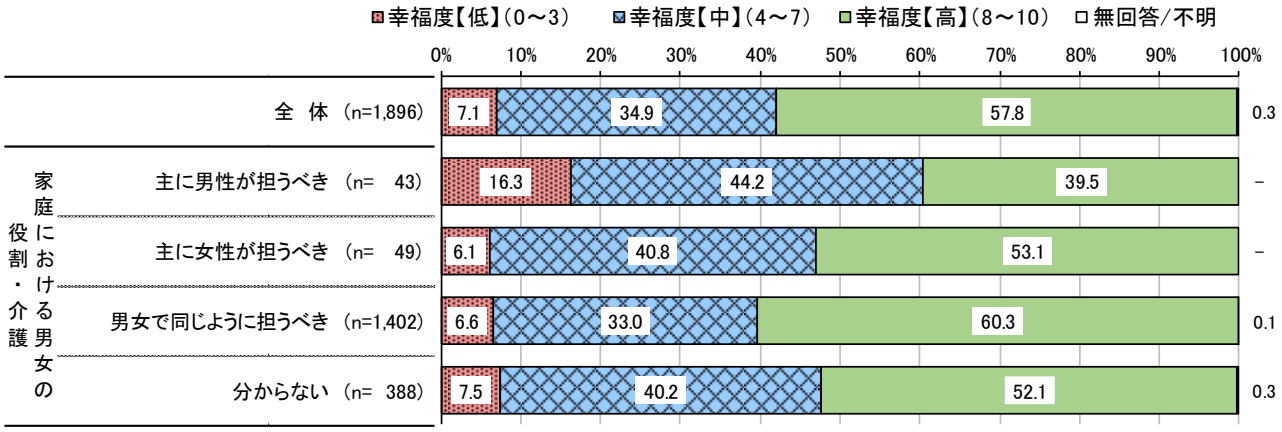
図表 1-116　D　家庭における男女の役割・介護　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・介護」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 60.3%である。

図表 1-117　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・介護」の回答別)



（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（A　パソコン）

【全体】

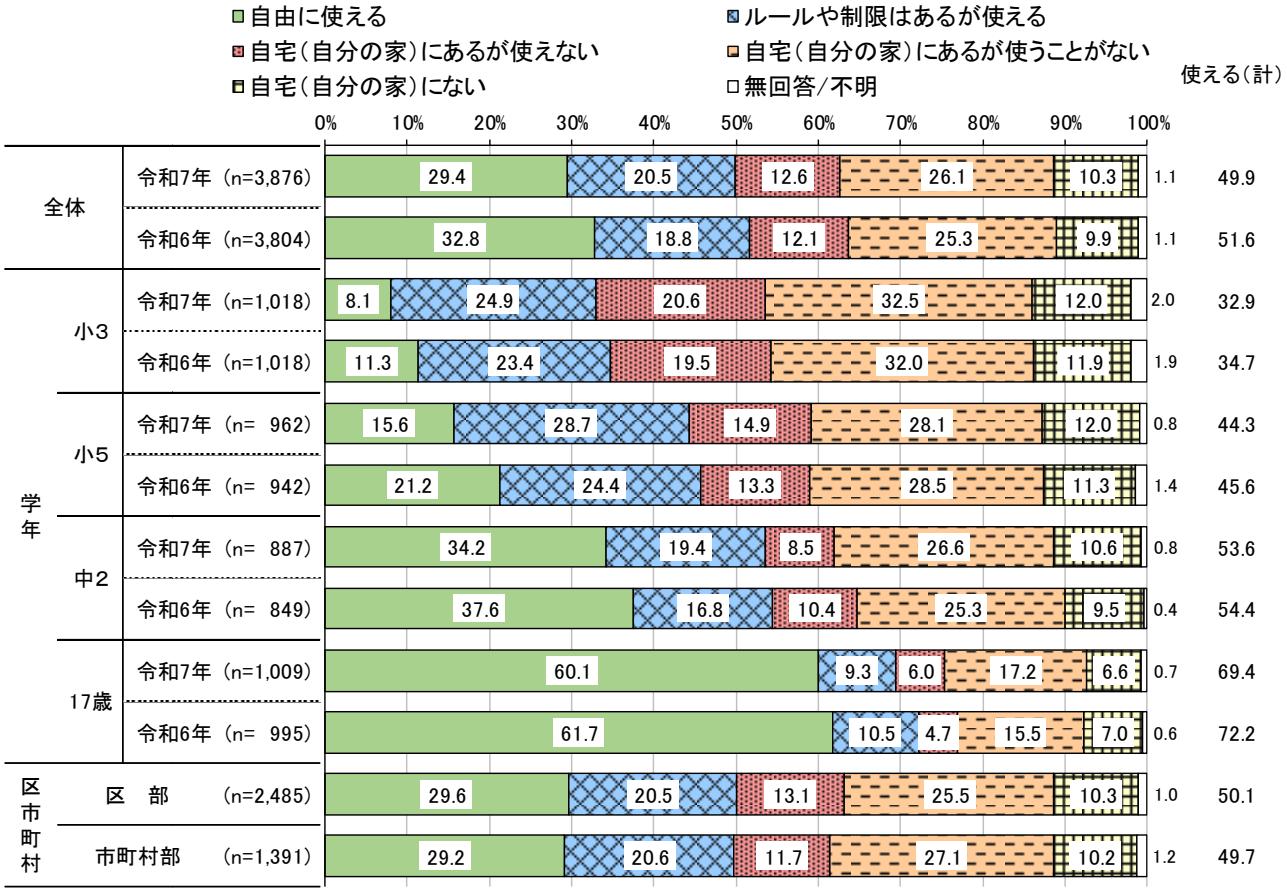
「自由に使える」が 29.4％で最も高く、次いで「自宅（自分の家）にあるが使うことがない」が 26.1％、「ルールや制限はあるが使える」が 20.5％であり、パソコンが使える（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）子供は 49.9％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」が増加傾向である。

経年比較でみると、小5で「自由に使える」が 5.6 ポイント減少している。

図表 1-118　A パソコンの有無・使用状況 ＜単一回答＞

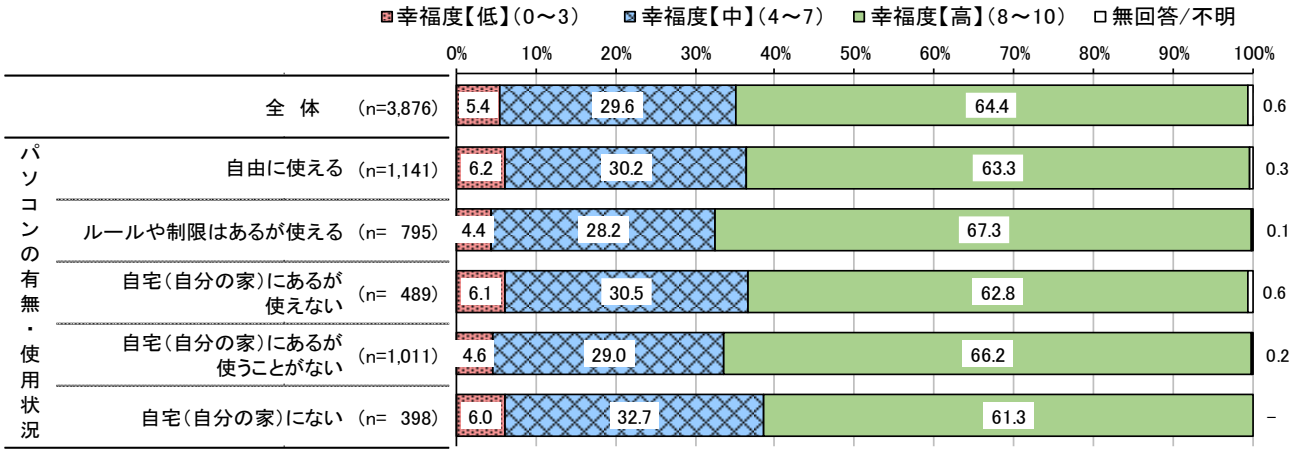


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」と回答した子供の割合。
※令和6年は、いずれの学年でも「ルールや制限はあるが使える」は「制限はあるが使える」という選択肢。

【子供の幸福度】

「パソコンの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にない」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 61.3％である。

図表 1-119　子供の幸福度（「パソコンの有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（B スマートフォン）

【全体】

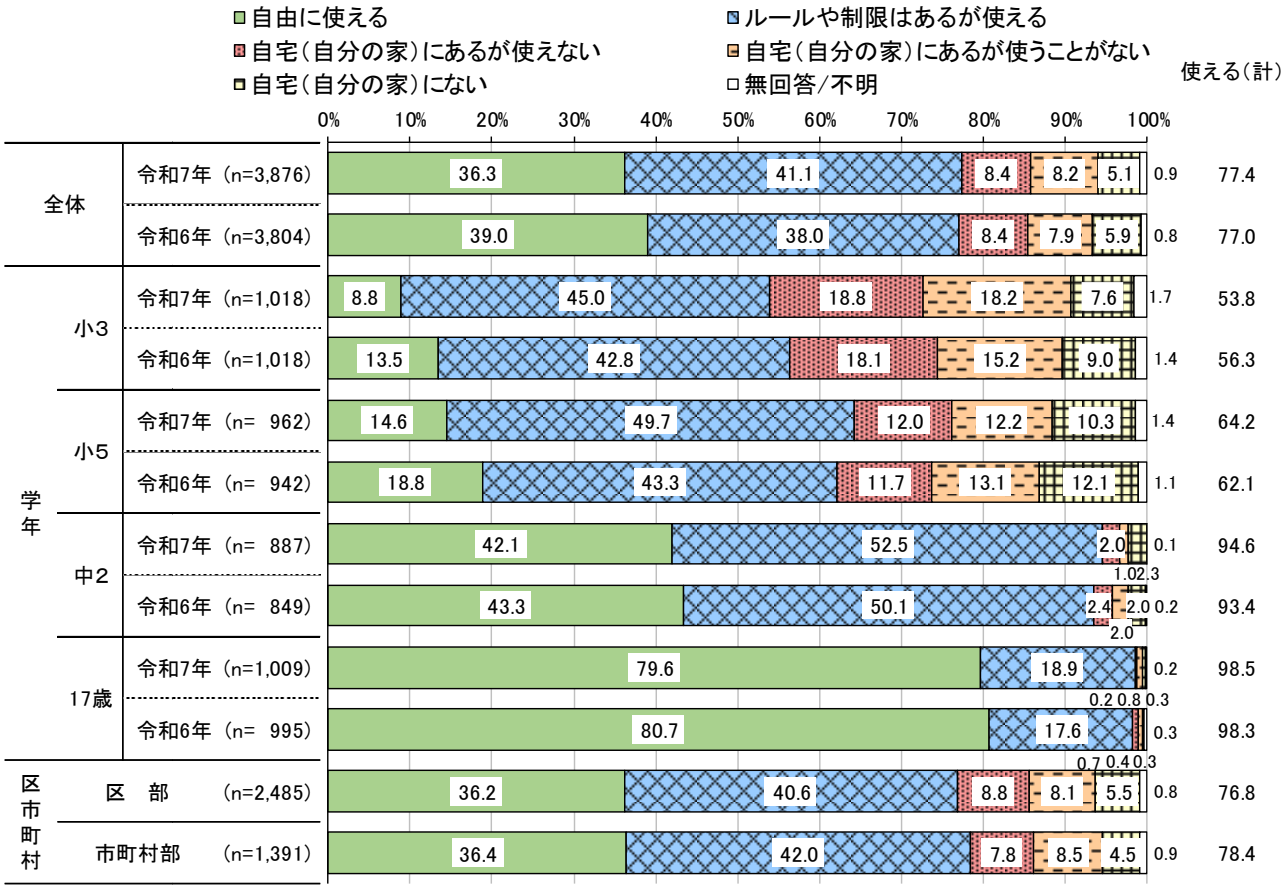
「ルールや制限はあるが使える」が 41.1％で最も高く、次いで「自由に使える」が 36.3％であり、スマートフォンが使える（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）子供は 77.4％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」が増加傾向である。

経年比較でみると、小5では「ルールや制限はあるが使える」が 6.4 ポイント増加している。

図表 1-120 B スマートフォンの有無・使用状況 ＜単一回答＞



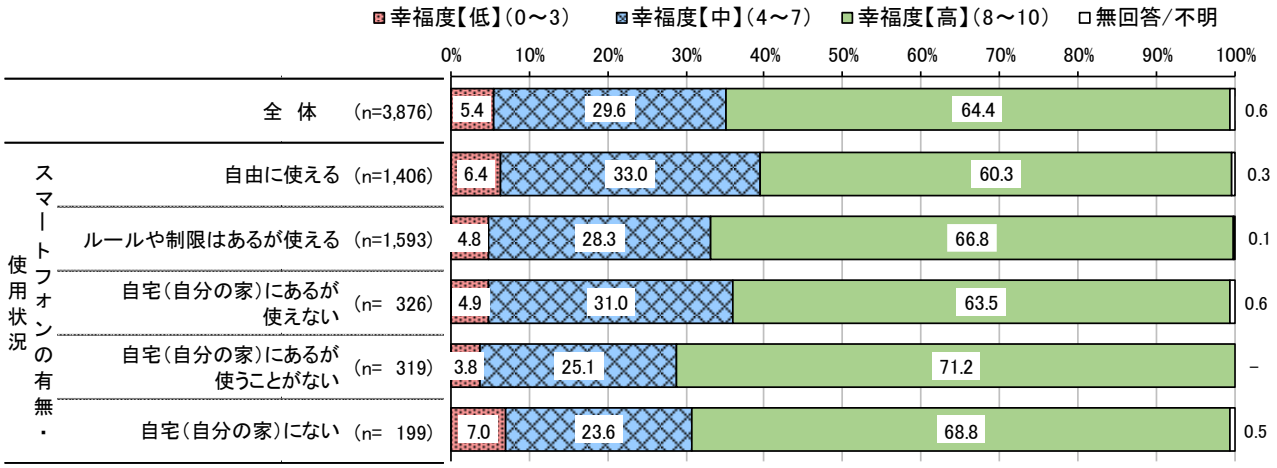
※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

※令和6年は、いずれの学年でも「ルールや制限はあるが使える」は「制限はあるが使える」という選択肢。

【子供の幸福度】

「スマートフォンの有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にあるが使うことがない」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 71.2％である。

図表 1-121　子供の幸福度（「スマートフォンの有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（C タブレット）

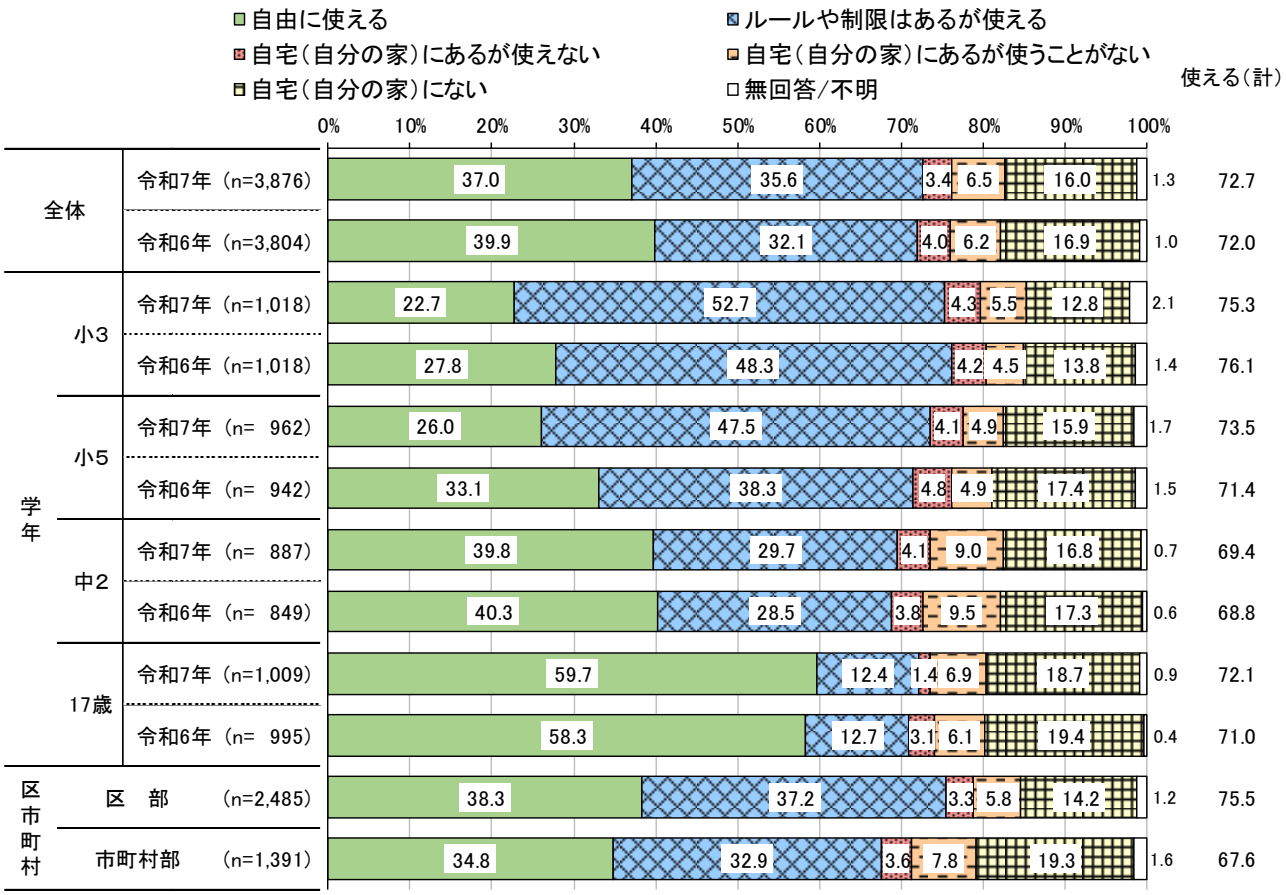
【全体】
「自由に使える」が 37.0％で最も高く、次いで「ルールや制限はあるが使える」が 35.6％である。

【学年別】
学年が上がるにつれ、「自由に使える」が増加傾向である。

経年比較でみると、「自由に使える」は小3で 5.1 ポイント、小5で 7.1 ポイント減少し、「ルールや制限はあるが使える」は小5で 9.2 ポイント増加している。

【区市町村別】
市町村部では区部に比べて「自宅（自分の家）にない」が 5.1 ポイント高い。区部では市町村部に比べて自宅でタブレットが使える（計）（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）が 7.9 ポイント高い。

図表 1-122 タブレットの有無・使用状況 ＜単一回答＞

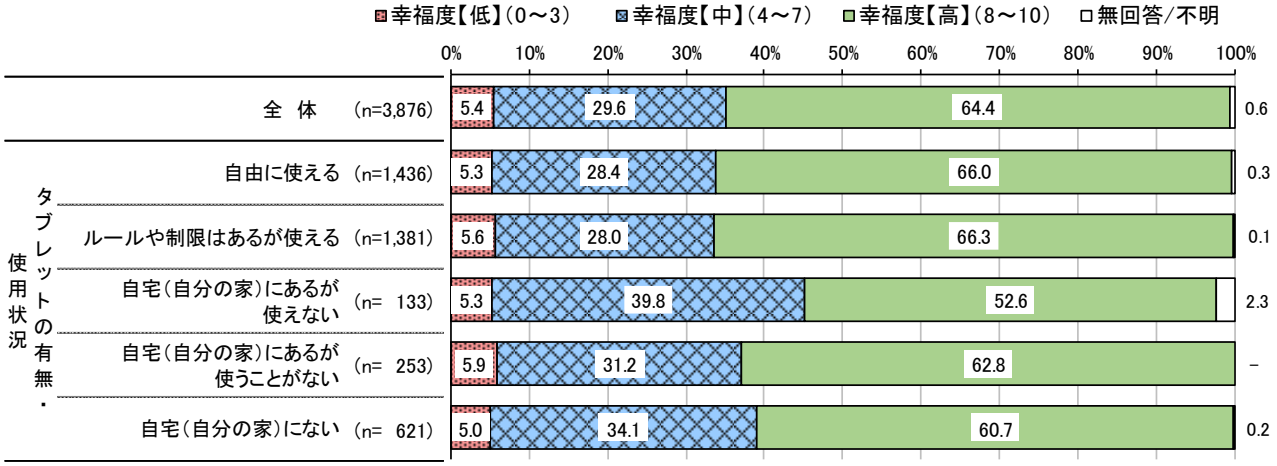


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。
※令和6年は、いずれの学年でも「ルールや制限はあるが使える」は「制限はあるが使える」という選択肢。

【子供の幸福度】

「タブレットの有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にあるが使えない」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 52.6％である。

図表 1-123　子供の幸福度（「タブレットの有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ 1 つ）
（D　インターネット接続（Wi-Fi など））

【全体】

「自由に使える」が 64.1％で最も高く、次いで「ルールや制限はあるが使える」が 23.7％で、インターネット接続（Wi-Fi など）を使うことができる（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）子供は 87.8％である。

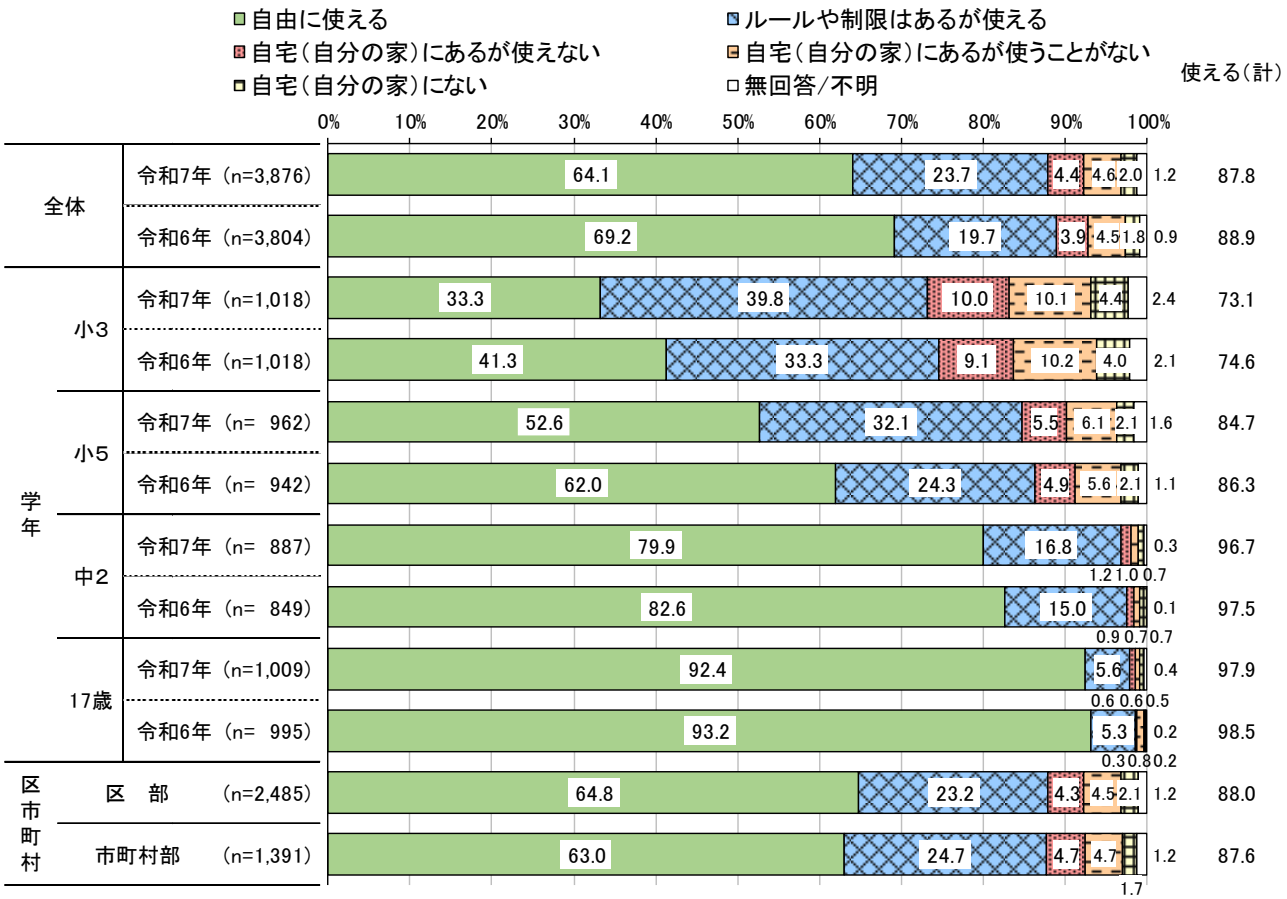
経年比較でみると、「自由に使える」は前回より 5.1 ポイント減少している。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」は増加傾向である。

経年比較でみると、「自由に使える」は小3で 8.0 ポイント、小5で 9.4 ポイント減少し、「ルールや制限はあるが使える」は小3で 6.5 ポイント、小5で 7.8 ポイント増加している。

図表 1-124　D　インターネット接続（Wi-Fi など）の有無・使用状況　＜単一回答＞



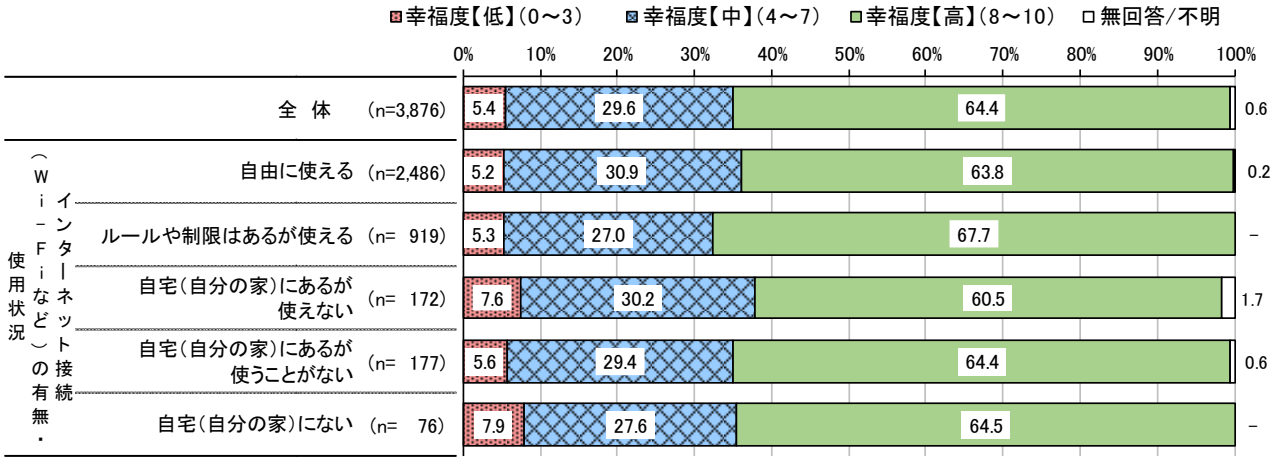
※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

※令和6年は、いずれの学年でも「ルールや制限はあるが使える」は「制限はあるが使える」という選択肢。

【子供の幸福度】

「インターネット接続(Wi-Fi など)の有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅(自分の家)にあるが使えない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 60.5%である。

図表 1-125　子供の幸福度(「インターネット接続(Wi-Fi など)の有無・使用状況」の回答別)



（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（E　家庭用ゲーム機）

【全体】

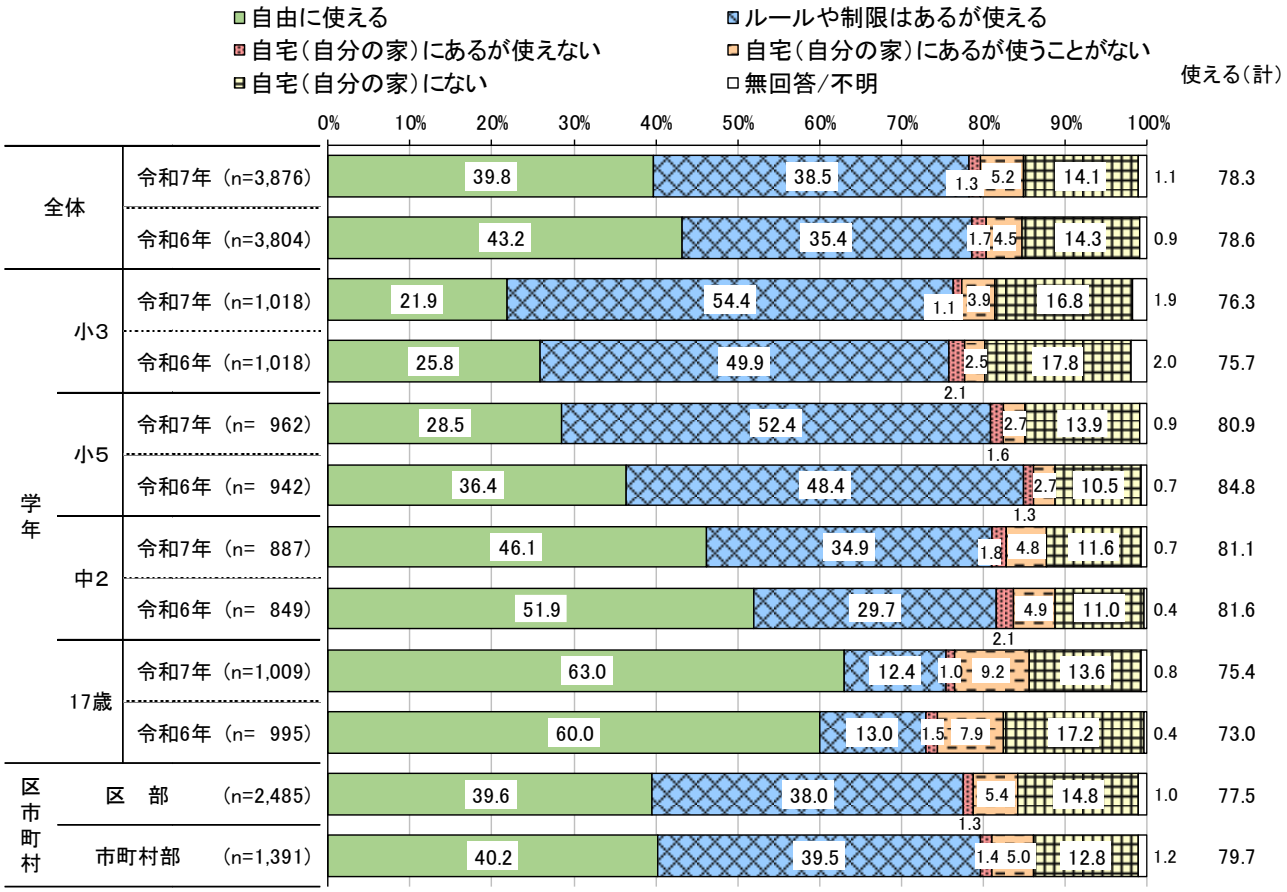
「自由に使える」が 39.8％で最も高く、次いで「ルールや制限はあるが使える」が 38.5％であり、家庭用ゲーム機を使うことができる（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）子供は 78.3％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」の割合が増加傾向である。

経年比較でみると、「自由に使える」は小5で 7.9 ポイント、中2で 5.8 ポイント減少しており、「ルールや制限はあるが使える」は中2で 5.2 ポイント増加している。

図表 1-126　E 家庭用ゲーム機の有無・使用状況　＜単一回答＞



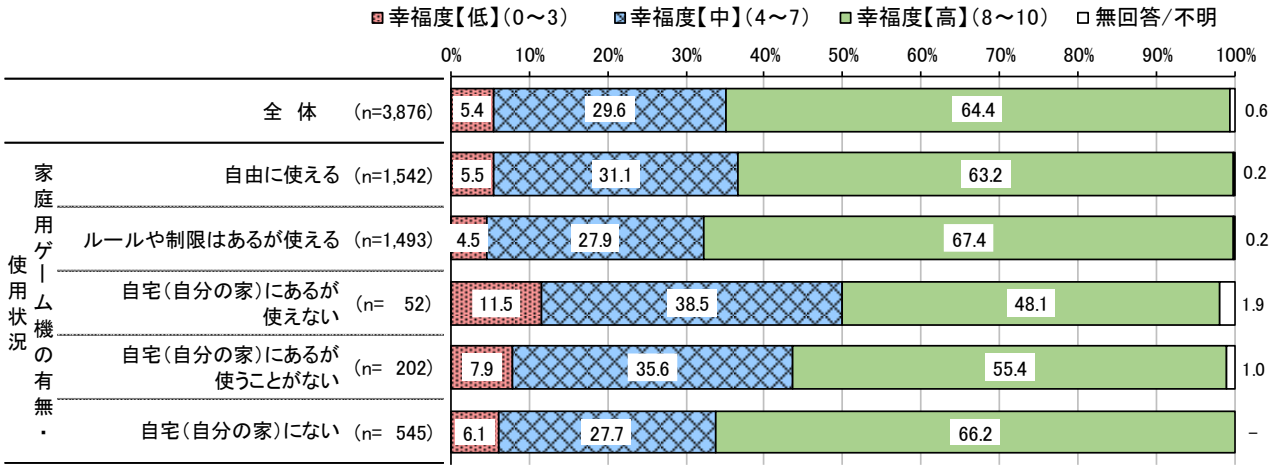
※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

※令和6年は、いずれの学年でも「ルールや制限はあるが使える」は「制限はあるが使える」という選択肢。

【子供の幸福度】

「家庭用ゲーム機の有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にあるが使えない」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 48.1％である。

図表 1-127　子供の幸福度（「家庭用ゲーム機の有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（F テレビ）

【全体】

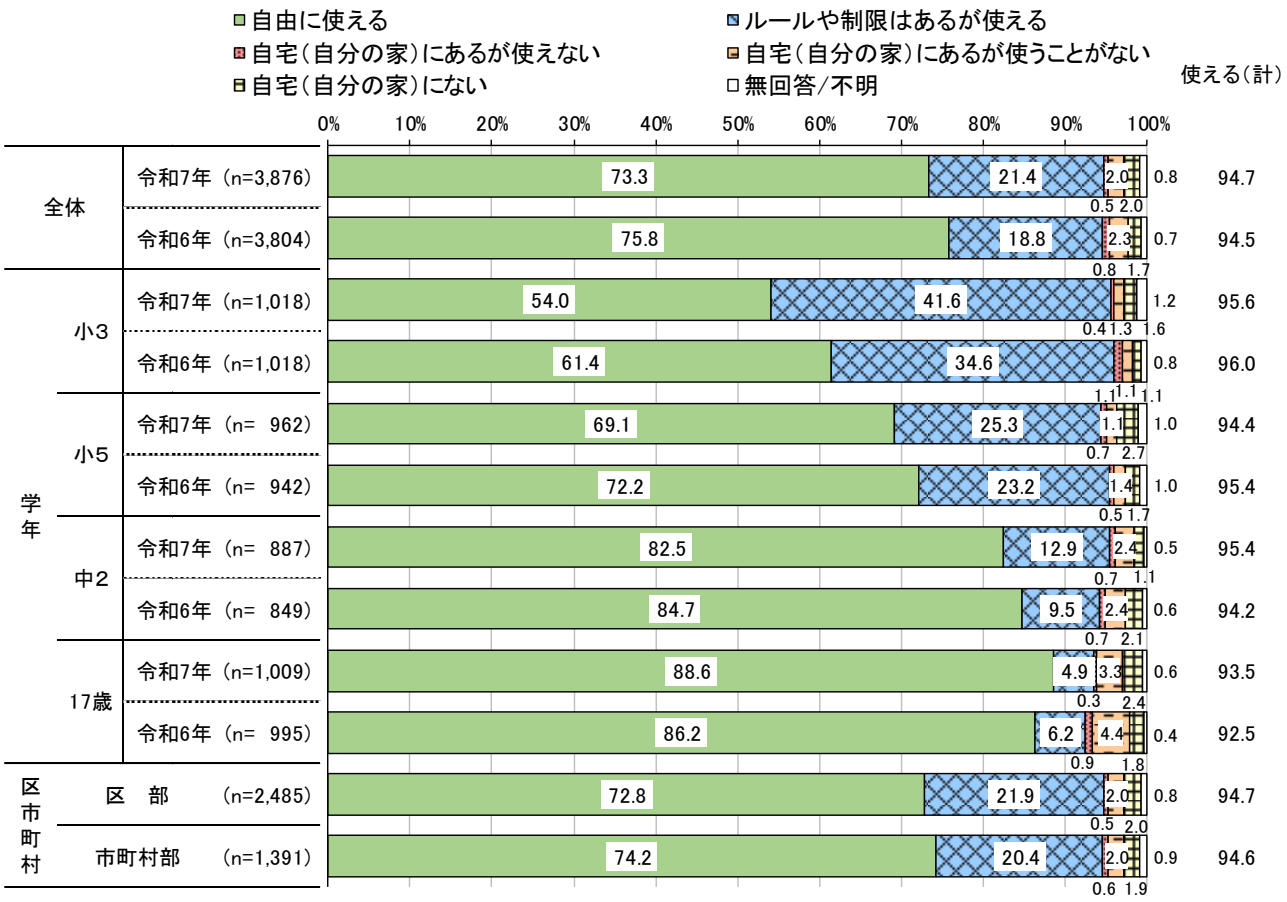
「自由に使える」が 73.3％で最も高く、次いで「ルールや制限はあるが使える」が 21.4％であり、テレビを使える（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）子供は 94.7％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」の割合が増加傾向である。

経年比較でみると、小3では「自由に使える」が 7.4 ポイント減少し、「ルールや制限はあるが使える」が 7.0 ポイント増加している。

図表 1-128　F テレビの有無・使用状況　＜単一回答＞



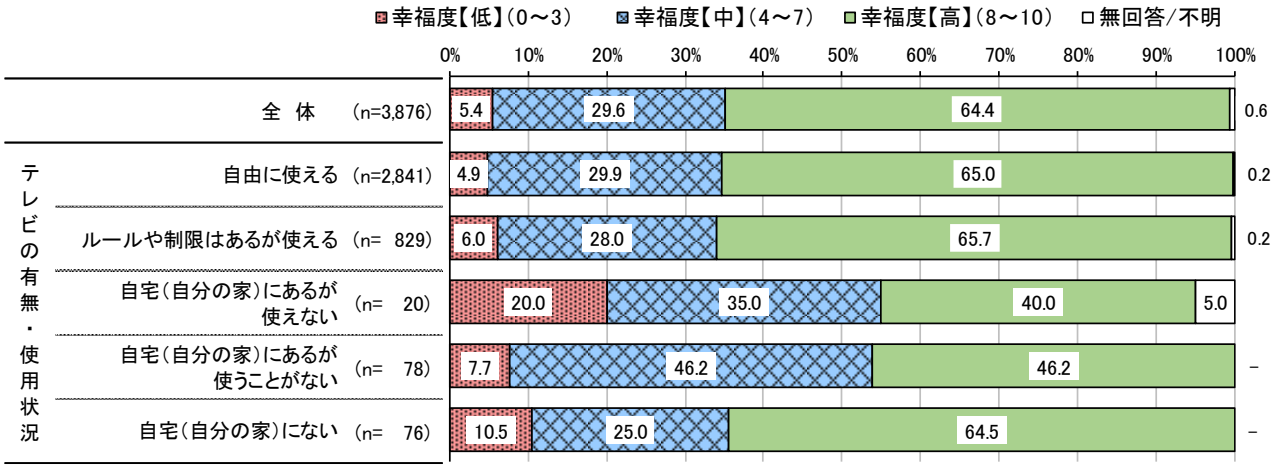
※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

※令和6年は、いずれの学年でも「ルールや制限はあるが使える」は「制限はあるが使える」という選択肢。

【子供の幸福度】

「テレビの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅(自分の家)にあるが使うことがない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 46.2%である。

図表 1-129　子供の幸福度(「テレビの有無・使用状況」の回答別)



（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

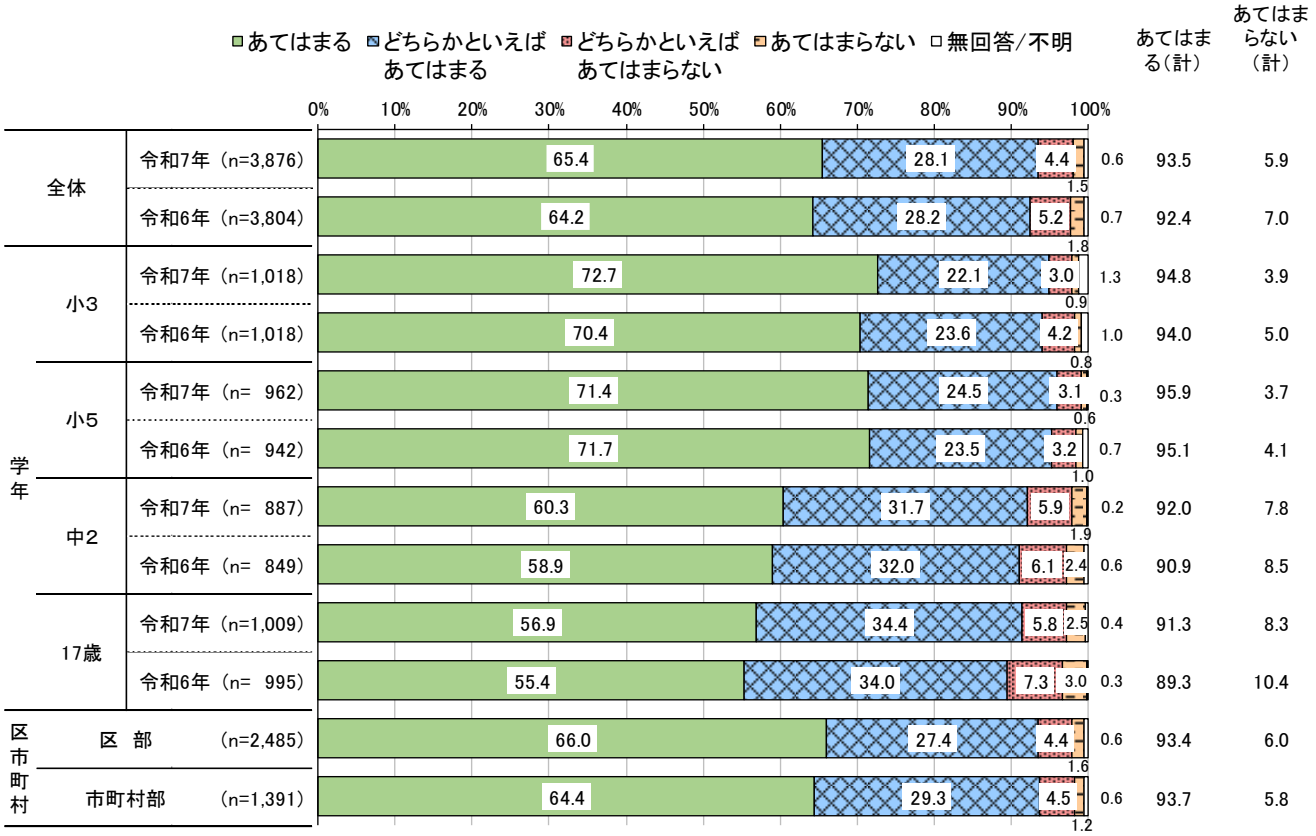
【全体】

「あてはまる」が 65.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 28.1％であり、家族と一緒に心地よい時間を過ごしていると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 93.5％である。

【学年別】

「あてはまる」の割合は学年が上がるにつれて、減少傾向である。

図表 1-130　A 家族と一緒に心地よい時間を過ごしている ＜単一回答＞

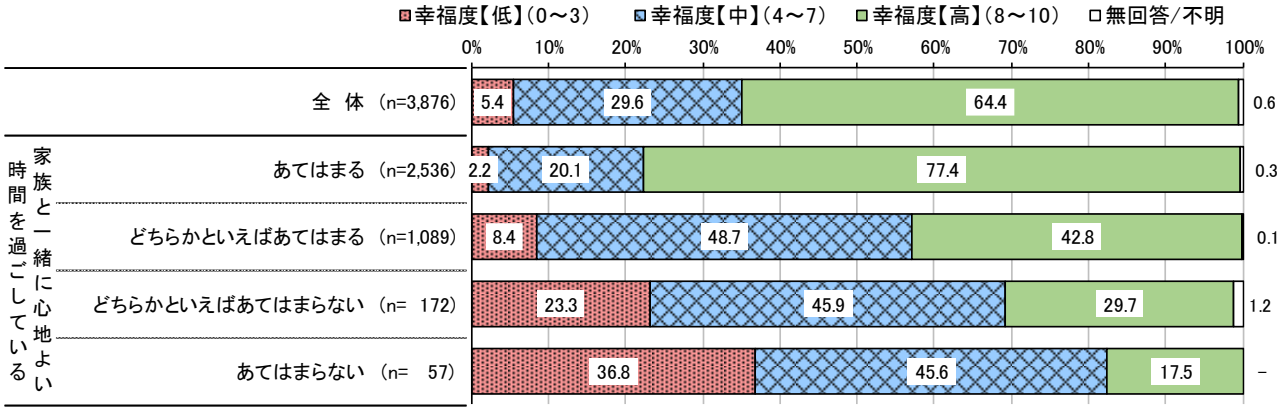


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 77.4%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 36.8%である。

図表 1-131　子供の幸福度(「家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別)



（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家では安心して過ごしている）

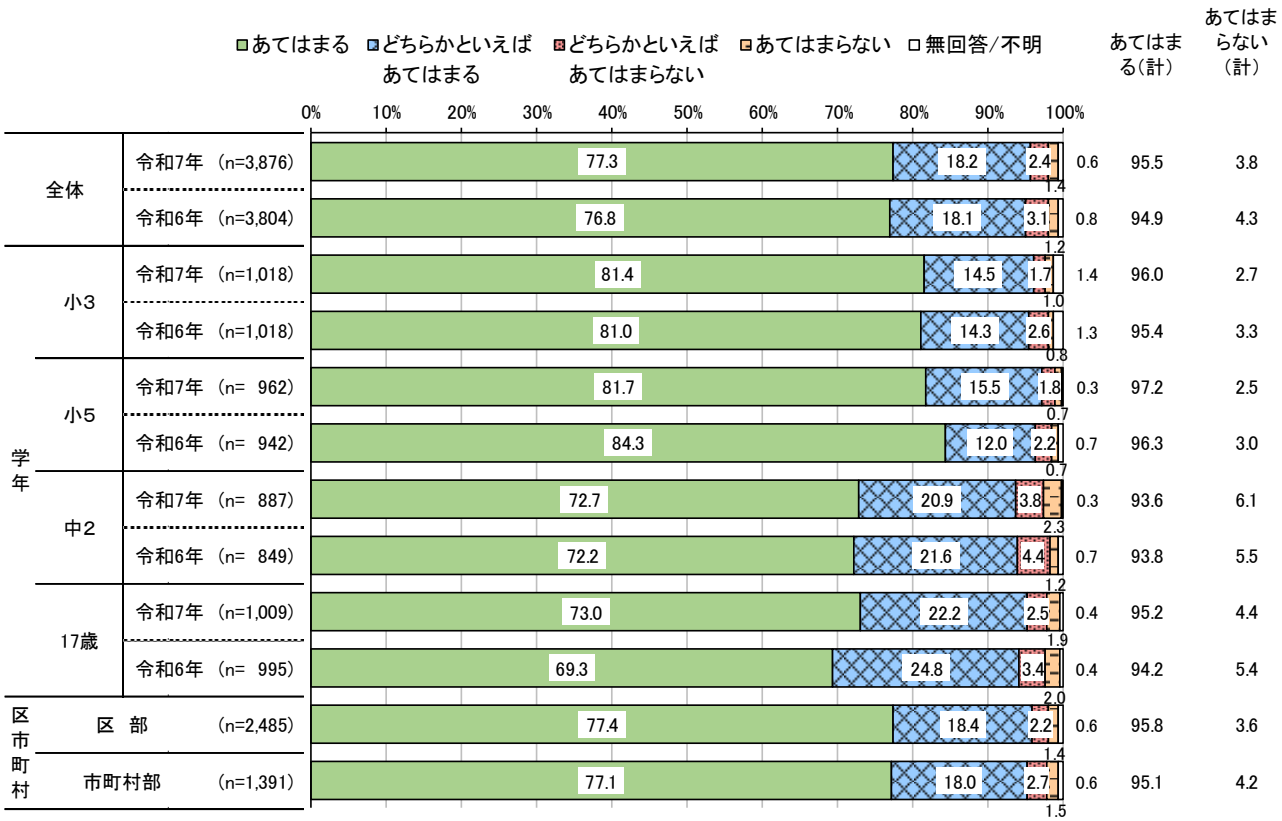
【全体】

「あてはまる」が 77.3％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 18.2％であり、家では安心して過ごしていると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 95.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」の割合が最も高くなっており、小5では 81.7％である。

図表 1-132　B 家では安心して過ごしている ＜単一回答＞

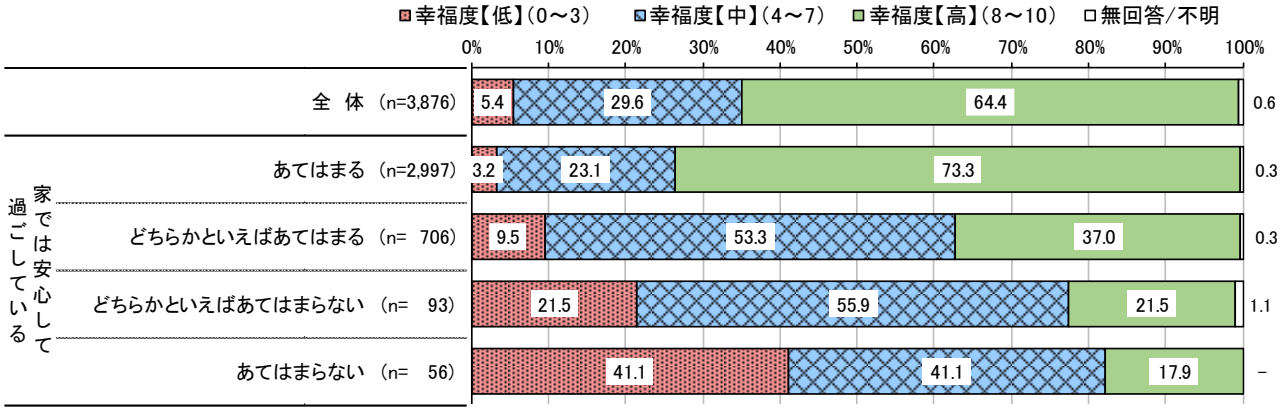


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「家では安心して過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 73.3%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 41.1%である。

図表 1-133　子供の幸福度(「家では安心して過ごしている」の回答別)



（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている）

【全体】

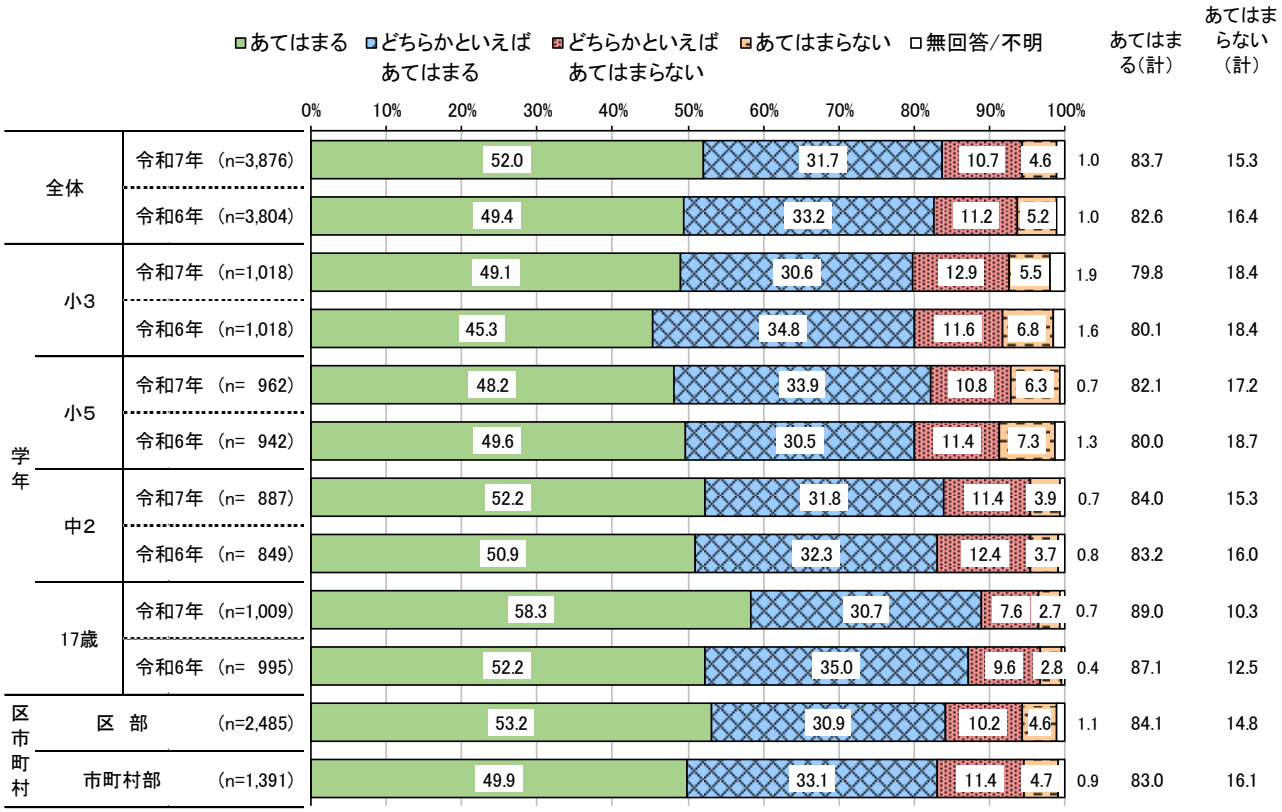
「あてはまる」が 52.0％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 31.7％であり、私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めていると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 83.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高く、17 歳では 58.3％である。

経年比較でみると、17 歳で「あてはまる」が 6.1 ポイント増加している。

図表 1-134　C 私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている ＜単一回答＞

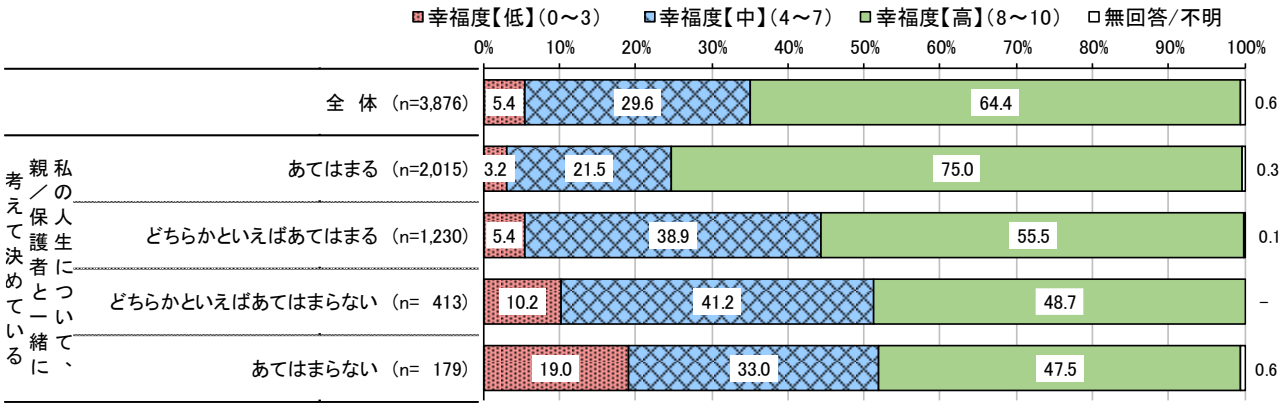


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 75.0％で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 19.0％である。

図表 1-135　子供の幸福度(「私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている」の回答別)



（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　親／保護者は私の話を聞いてくれる）

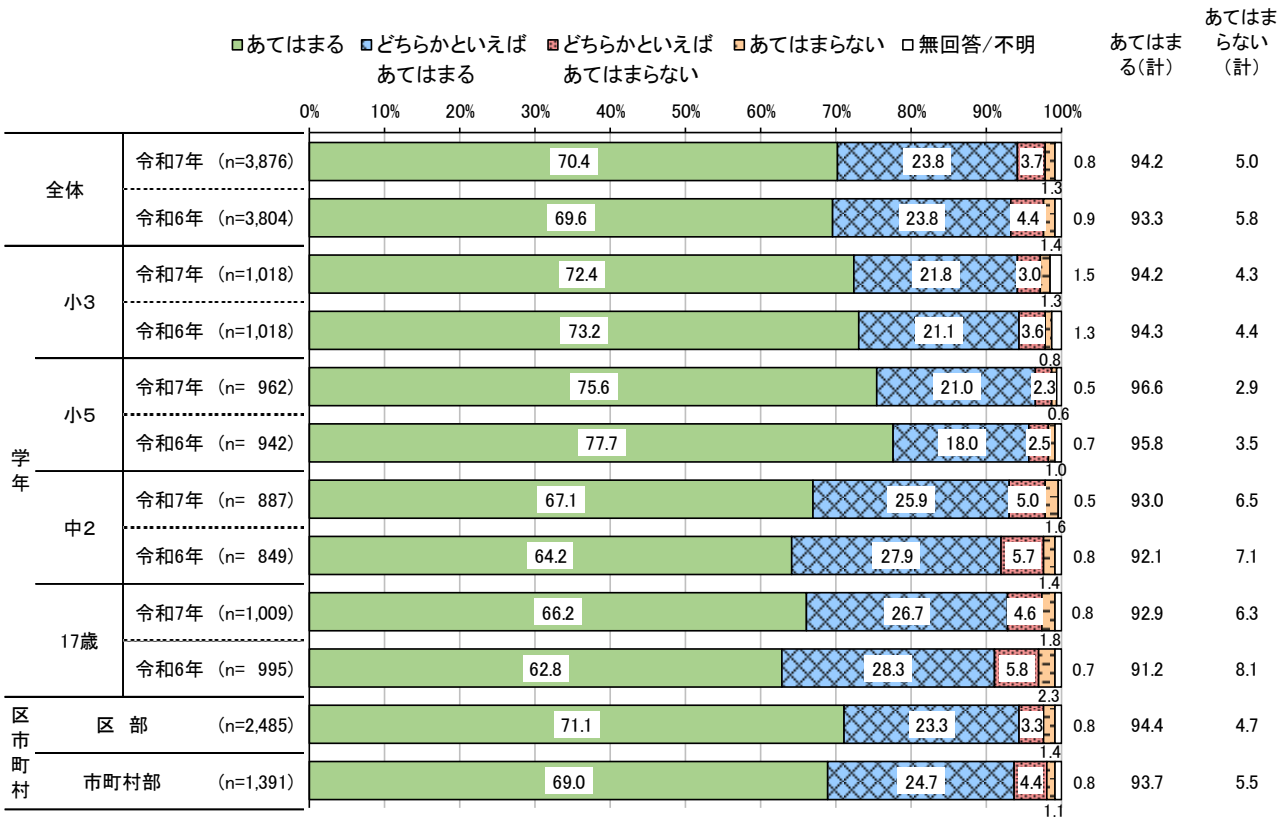
【全体】

「あてはまる」が 70.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 23.8％であり、親／保護者は私の話を聞いてくれると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 94.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高く、小5では 75.6％である。

図表 1-136　D 親／保護者は私の話を聞いてくれる ＜単一回答＞

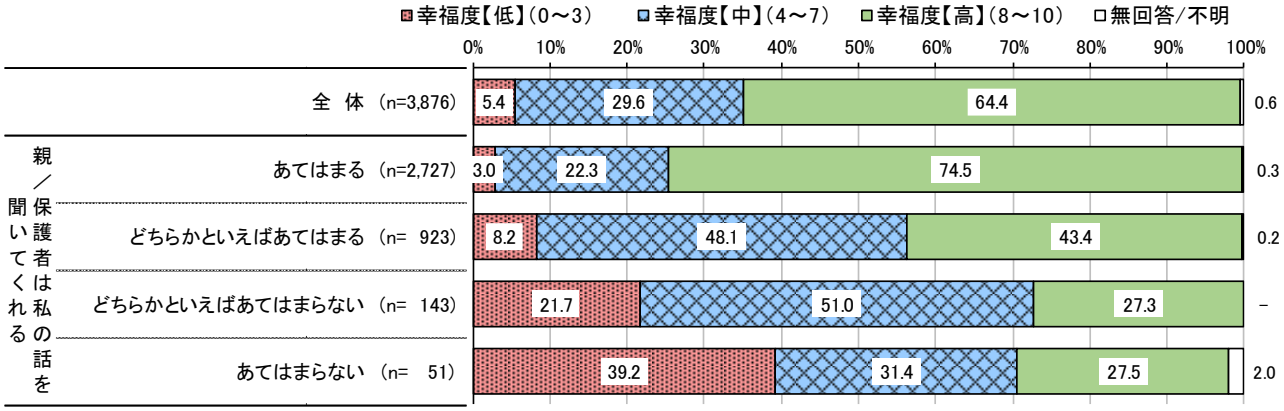


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「親／保護者は私の話を聞いてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 74.5%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 39.2%である。

図表 1-137　子供の幸福度(「親／保護者は私の話を聞いてくれる」の回答別)



（子供：共通）問 31.【問 30 の「D　親／保護者は私の話を聞いてくれる」で「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」と答えた方にお聞きします。】
「親／保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらないのは、なぜですか。（1つだけ）

【全体】

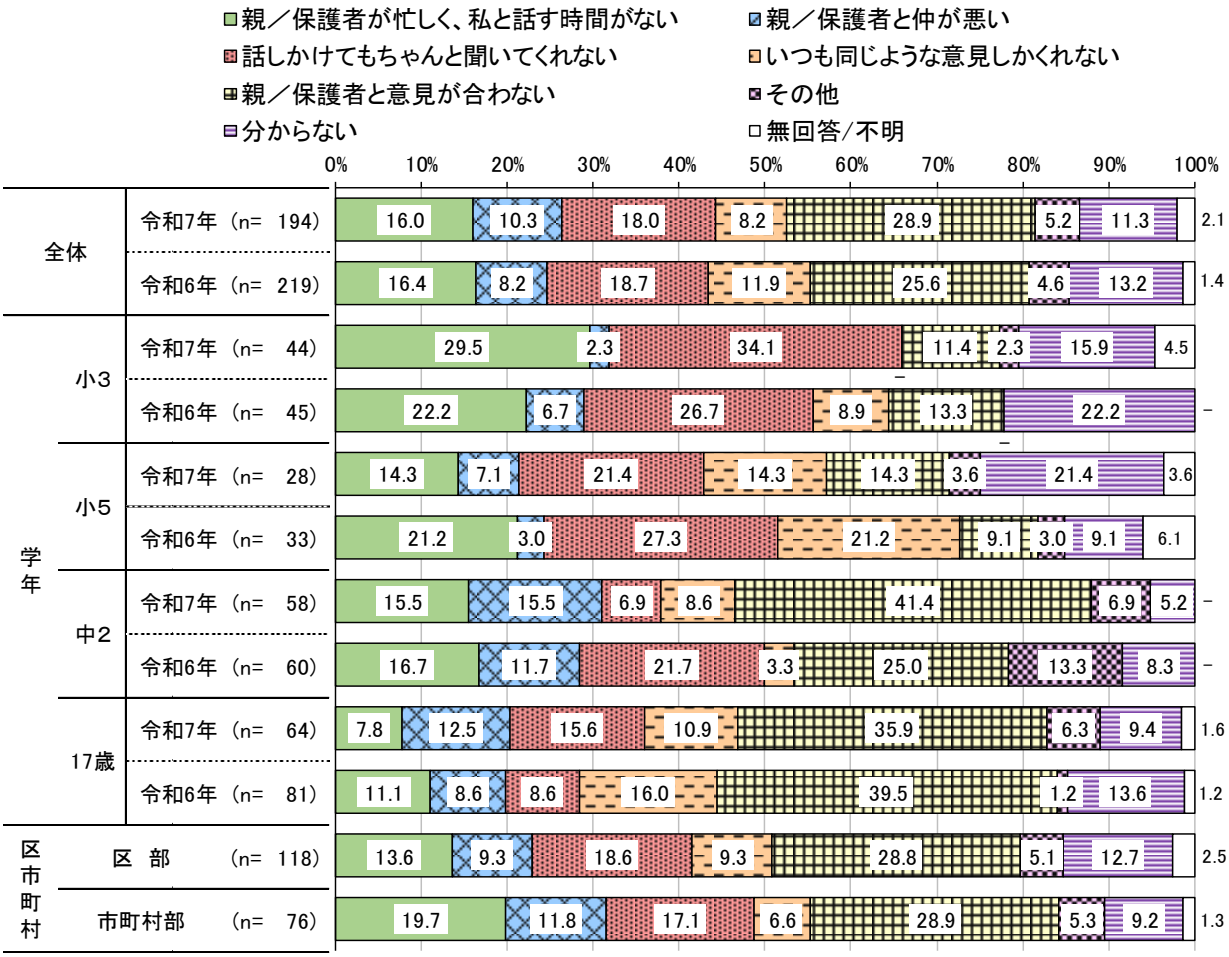
「親／保護者と意見が合わない」が 28.9％で最も高く、「話しかけてもちゃんと聞いてくれない」が 18.0％、「親／保護者が忙しく、私と話す時間がない」が 16.0％で続く。

【学年別】

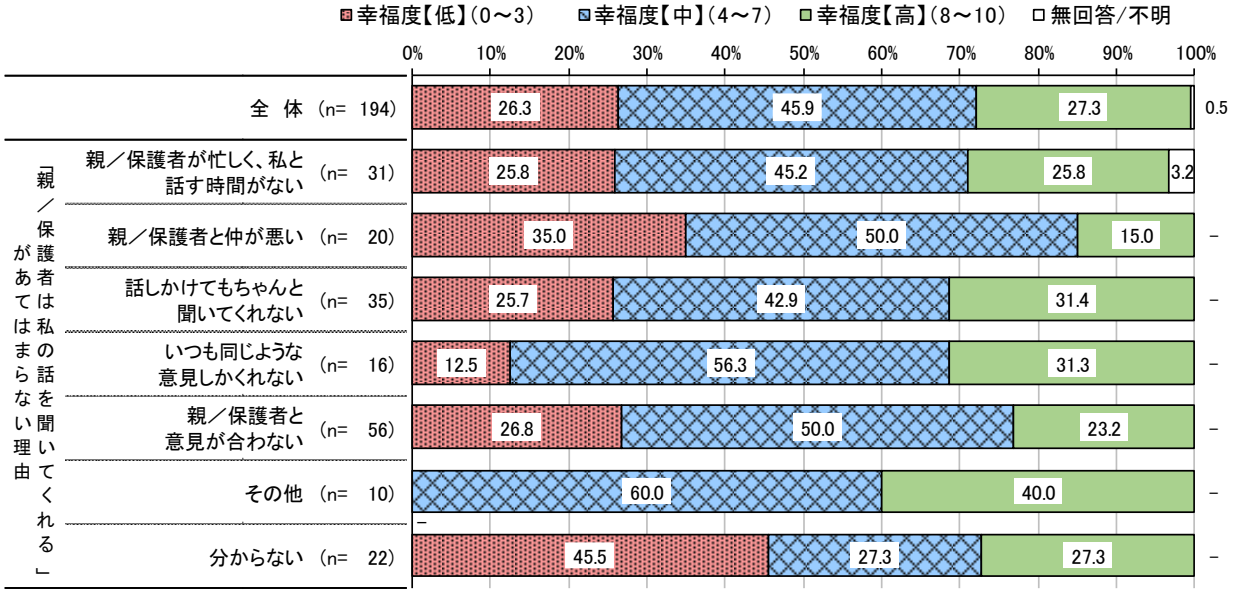
中2、17 歳では「親／保護者と意見が合わない」が最も高く、中2で 41.4％、17 歳で 35.9％である。

経年比較でみると、中2で「話しかけてもちゃんと聞いてくれない」が 14.8 ポイント減少している。

図表 1-138 「親／保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらない理由 ＜単一回答＞



図表 1-139　子供の幸福度（「『親／保護者は私の話を聞いてくれる』があてはまらない理由」の回答別）



【自由記述】

その他（「保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらない理由）
姉の話ばかり聞く（子供・小3）
話しかけずらい！！（子供・小5）
意見を言えない（子供・中2）
言いにくい（子供・中2）
話さない（子供・中2）
親の耳が悪いから（子供・17 歳）
喧嘩中だから（子供・17 歳）

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　友達との関係は良好である）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 46.3％で最も高く、平均値は 8.43 である。

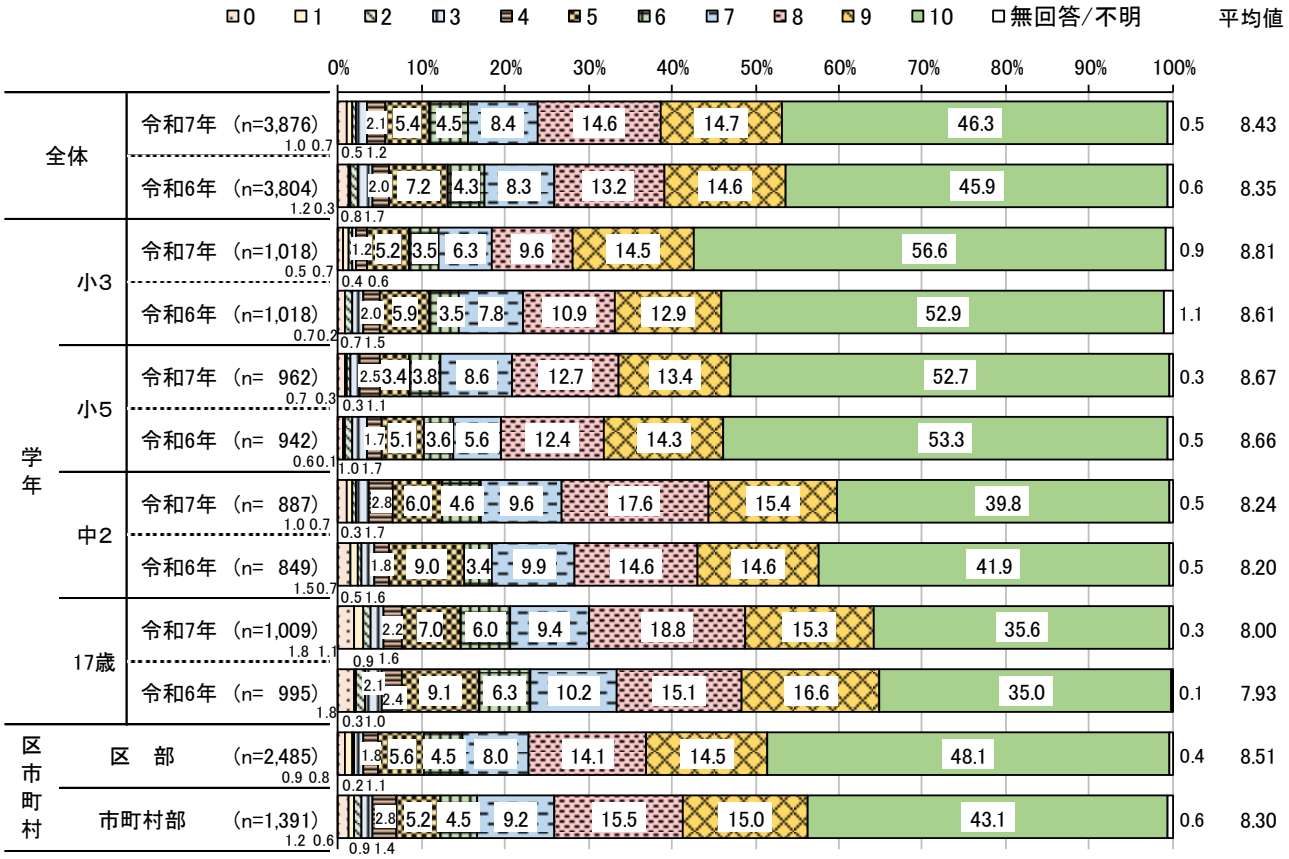
【学年別】

「10」（とてもあてはまる）は学年が上がるにつれ、減少傾向となっている。

【区市町村別】

「10」（とてもあてはまる）は、区部で市町村部に比べ 5.0 ポイント高い。

図表 1-140　A　友達との関係は良好である　＜単一回答＞

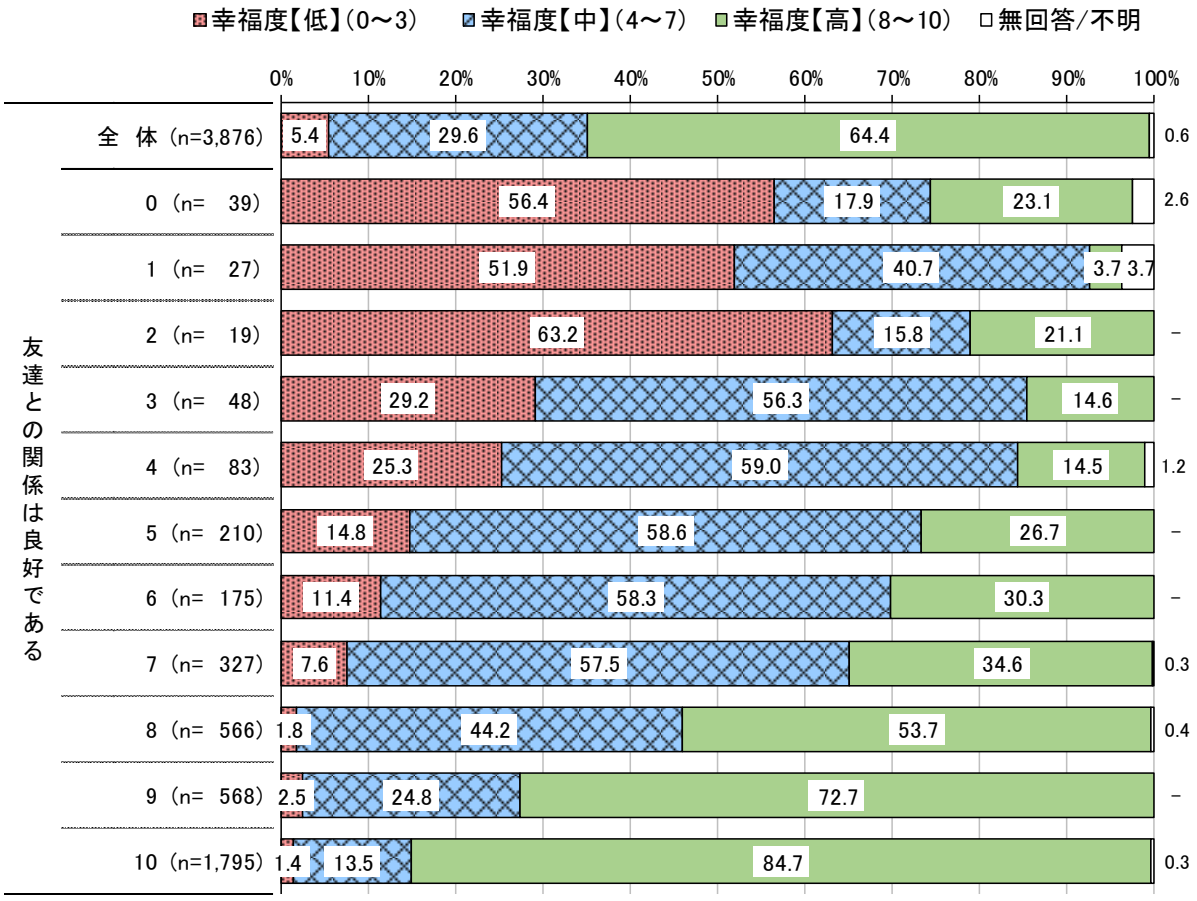


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「友達との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の84.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-141　子供の幸福度(「友達との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家族との関係は良好である）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 54.2%で最も高く、平均値は 8.74 である。

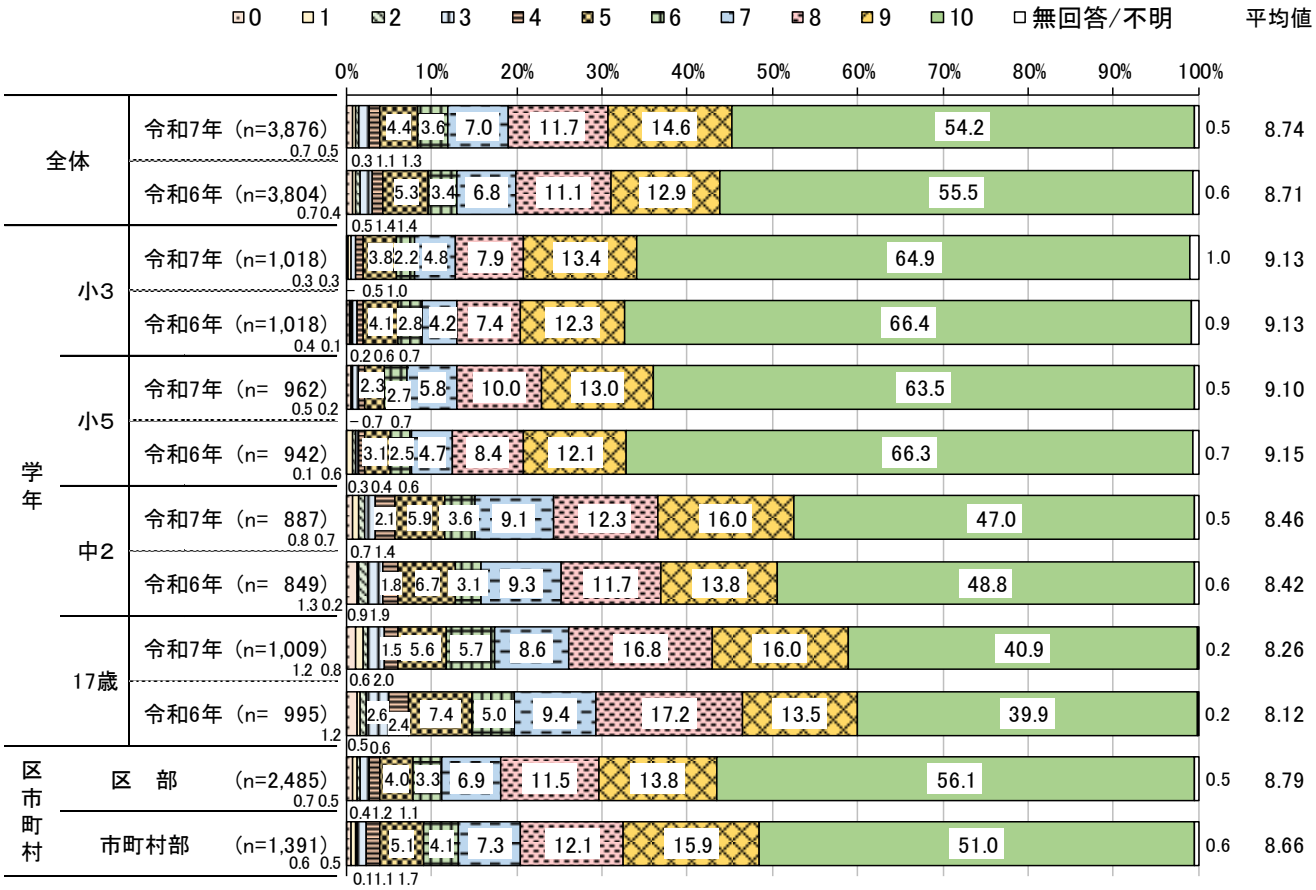
【学年別】

「10」（とてもあてはまる）は学年が上がるにつれて、減少傾向となっている。

【区市町村別】

「10」（とてもあてはまる）は、区部で市町村部に比べ 5.1 ポイント高くなっている。

図表 1-142　B　家族との関係は良好である　＜単一回答＞

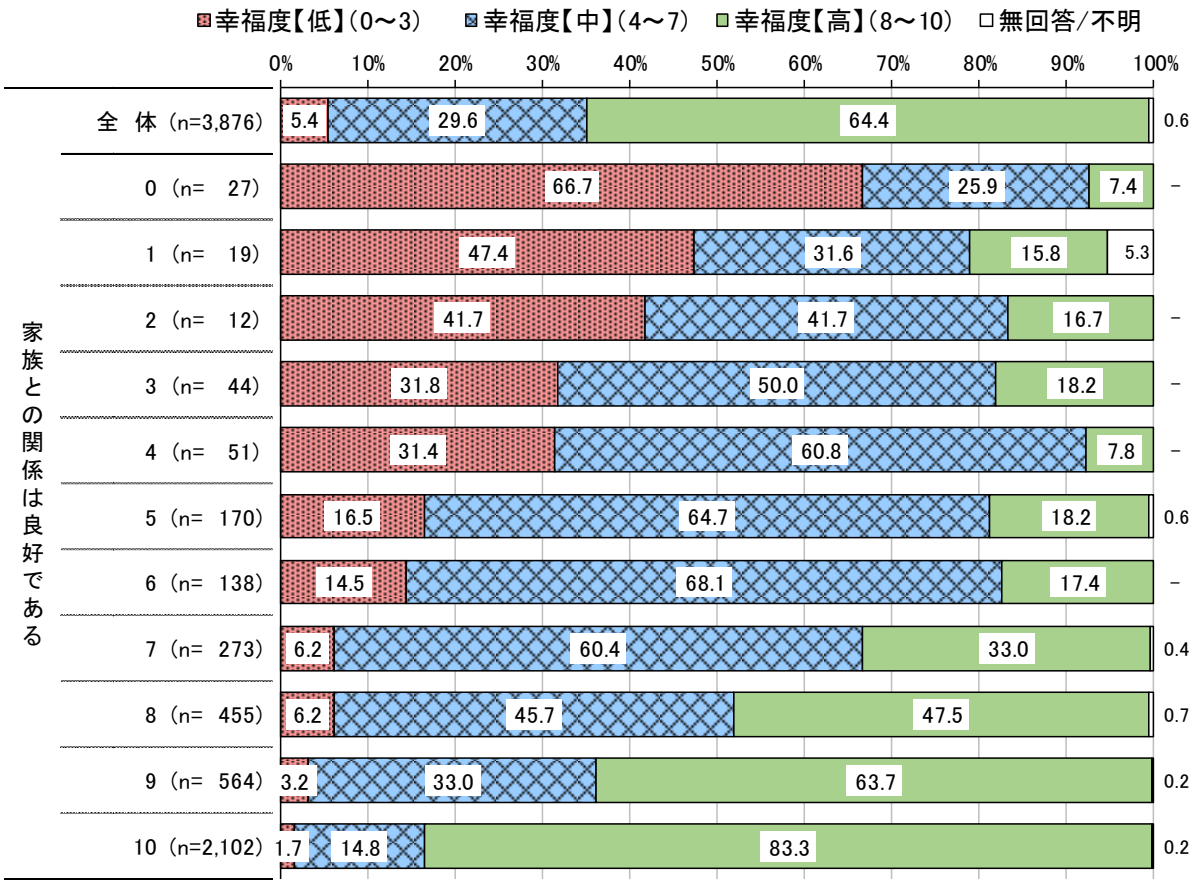


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「家族との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の83.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-143　子供の幸福度(「家族との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 33.6％で最も高く、平均値は 7.85 である。

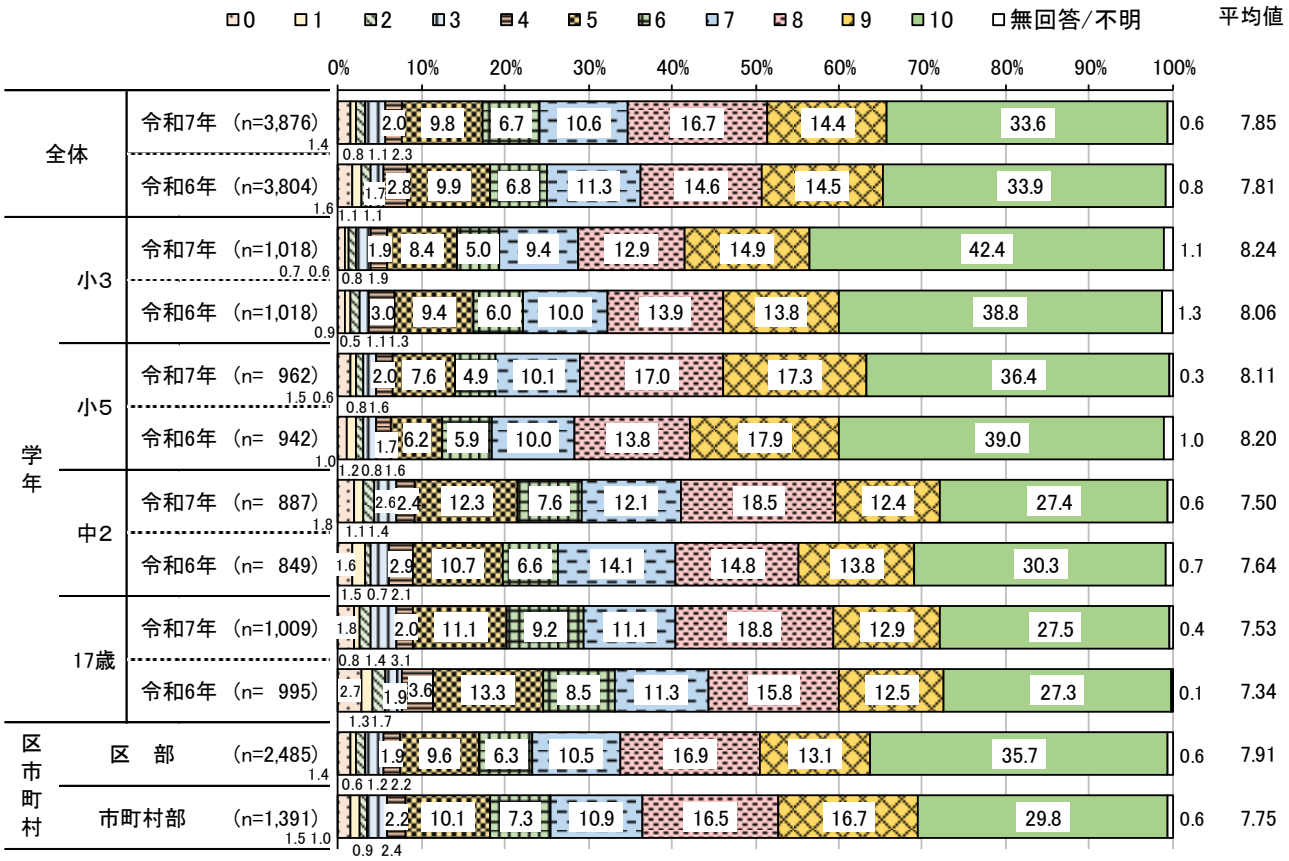
【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3では 42.4％である。

【区市町村別】

「10」（とてもあてはまる）は、区部で市町村部に比べ 5.9 ポイント高い。

図表 1-144　C 学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である ＜単一回答＞

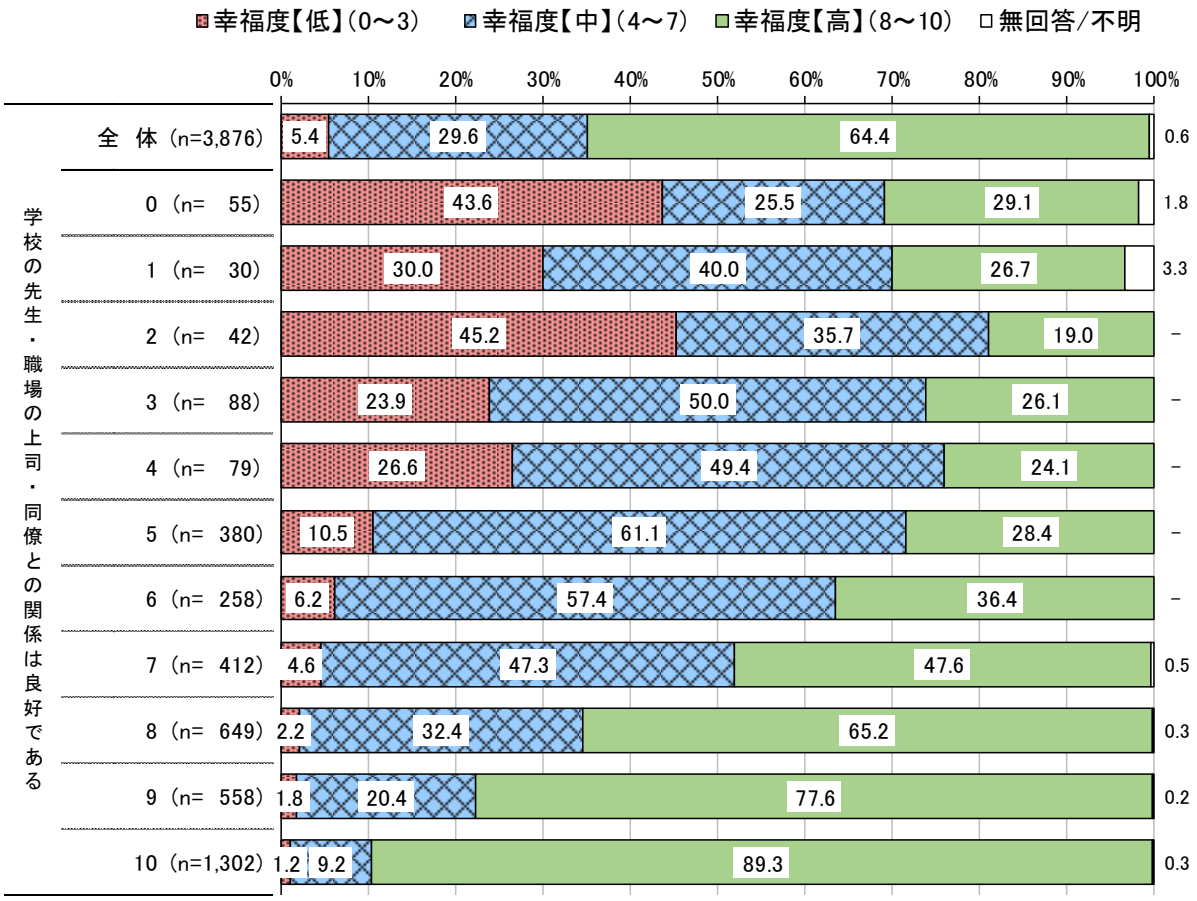


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 89.3%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 43.6%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-145　子供の幸福度(「学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

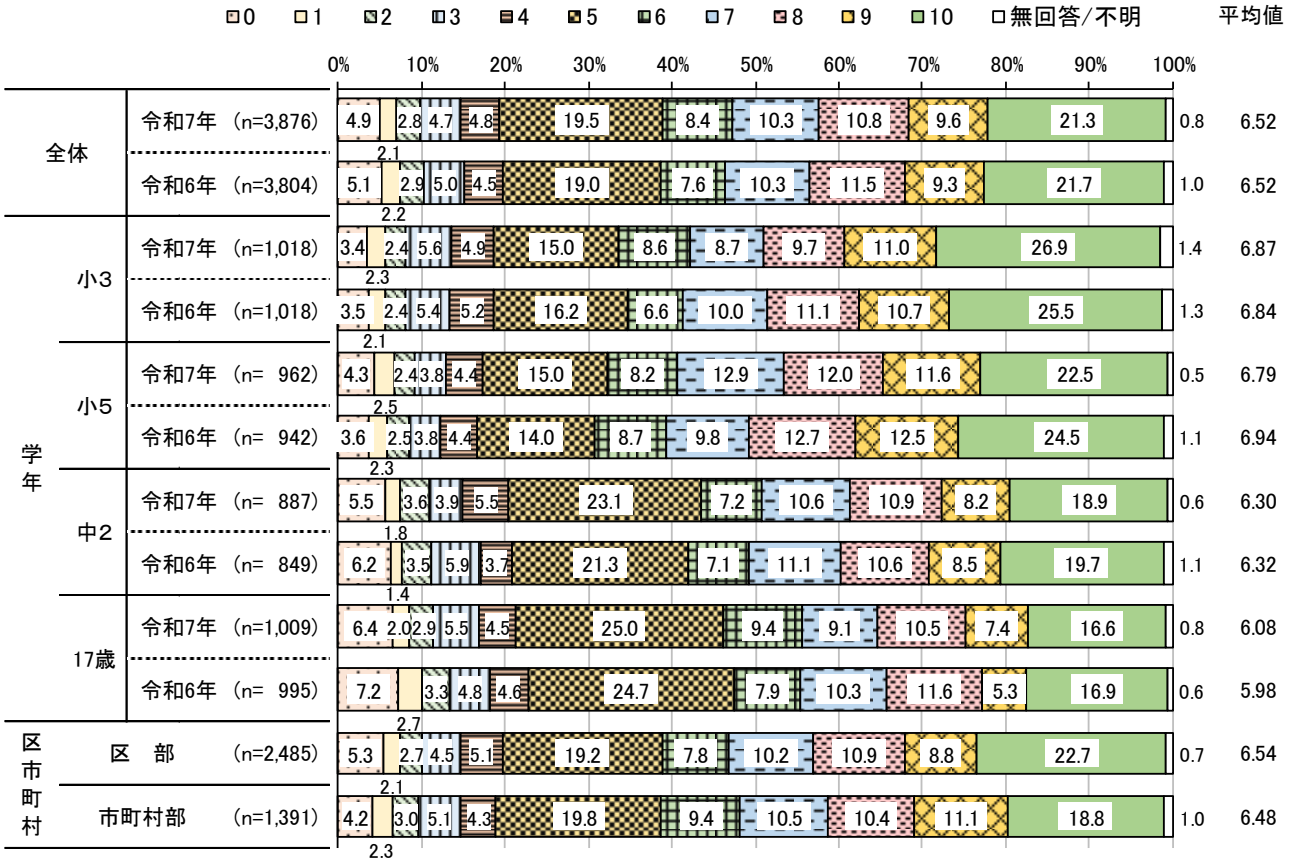
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 21.3％で最も高く、平均値は 6.52 である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「10」（とてもあてはまる）は減少傾向となっている。

図表 1-146　D　地域の人との関係は良好である　＜単一回答＞

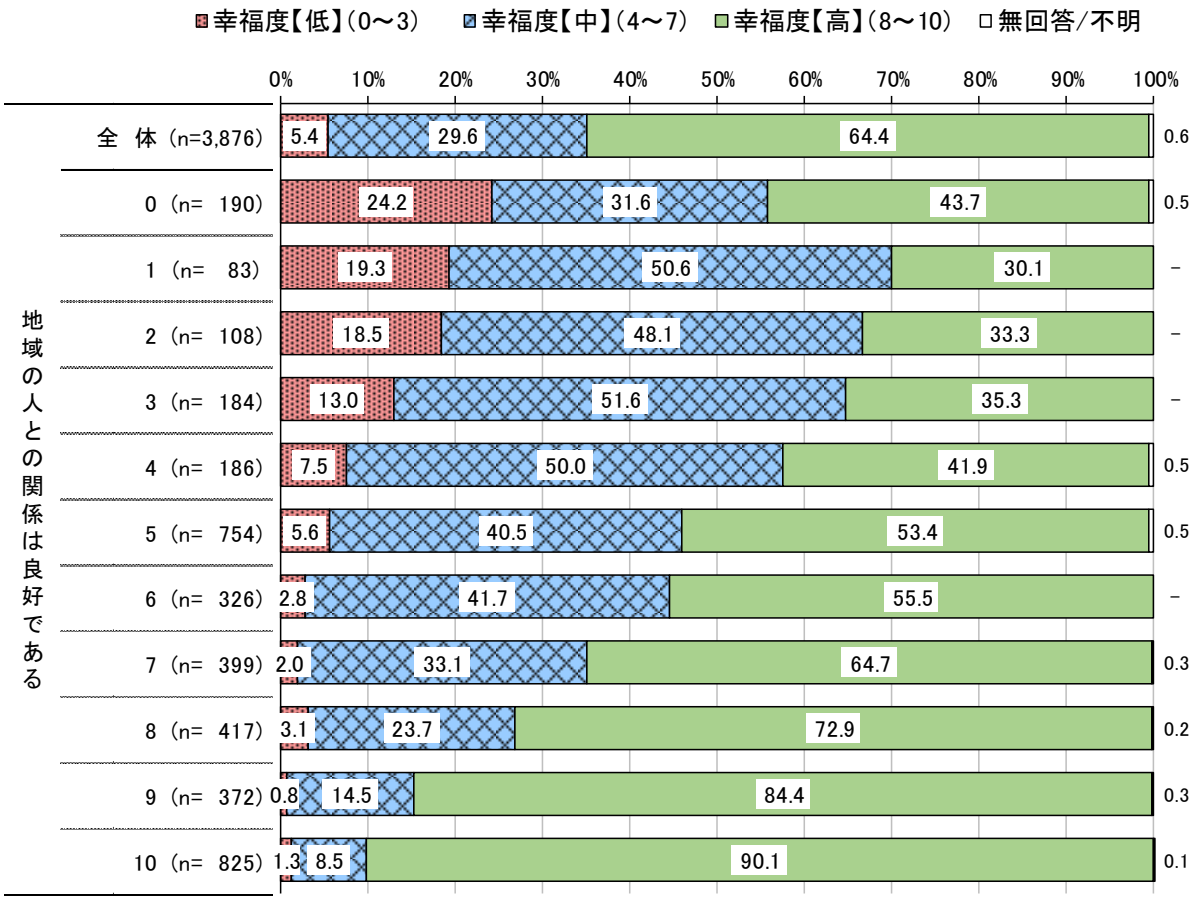


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「地域の人との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の90.1%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 24.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-147　子供の幸福度(「地域の人との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

【全体】

「自分の部屋以外の家の中」が 69.4％で最も高く、「自分の部屋」が 66.7％、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」が 50.3％と続く。

【学年別】

中2、17 歳では「自分の部屋」が最も高いが、小3、小5では「自分の部屋以外の家の中」が最も高い。

経年比較でみると、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」は小3で 7.4 ポイント増加しており、「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」は小5、中2でそれぞれ 5.3 ポイント、7.2 ポイント増加している。

図表 1-148 あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所） ＜複数回答＞

(%)

			n	自分の部屋	自分の部屋以外の家の中	祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家	友達の家	学校の教室	教室以外の学校内の場所	（17歳）職場・アルバイト先
全体		令和7年	3,876	66.7	69.4	50.3	27.7	38.2	25.0	0.7
		令和6年	3,804	67.6	71.6	46.4	27.5	38.4	26.1	0.8
学年	小3	令和7年	1,018	45.4	81.3	63.9	31.5	51.7	31.3	
		令和6年	1,018	45.7	80.8	56.5	31.9	49.9	28.1	
	小5	令和7年	962	57.4	74.0	59.4	35.4	45.4	29.1	
		令和6年	942	60.4	78.6	57.6	38.5	46.4	32.9	
	中2	令和7年	887	80.7	62.2	45.1	29.2	32.1	20.7	
		令和6年	849	80.4	64.4	41.9	25.3	31.4	22.9	
	17歳	令和7年	1,009	84.6	59.3	32.4	15.2	23.2	18.5	2.7
		令和6年	995	85.9	61.6	29.3	14.5	24.9	20.2	3.1
区市町村	区部		2,485	66.1	69.6	49.7	27.7	38.6	25.3	0.6
	市町村部		1,391	67.7	69.0	51.3	27.7	37.5	24.6	0.9

			地域（図書館・公民館・児童館・公園など）	学習塾・習い事の場所	インターネット空間（SNS・YouTube・オンラインゲームなど）	飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）	その他	居場所はない	無回答／不明	居場所がある（計）
全体		令和7年	29.5	22.0	23.2	15.3	2.1	0.3	1.1	98.6
		令和6年	29.7	22.0	23.8	11.2	1.9	0.6	0.7	98.7
学年	小3	令和7年	45.3	34.5	13.9	17.0	2.0	－	1.5	98.5
		令和6年	44.6	32.5	15.2	15.7	2.0	0.6	1.4	98.0
	小5	令和7年	38.6	30.8	20.7	15.2	1.8	0.3	2.4	97.3
		令和6年	40.1	31.0	20.2	9.9	1.7	0.1	0.8	99.0
	中2	令和7年	19.1	14.4	31.5	18.0	2.6	0.3	0.3	99.3
		令和6年	20.5	15.3	29.8	10.8	1.9	1.3	0.4	98.4
	17歳	令和7年	14.2	7.5	27.8	11.4	2.0	0.4	0.2	99.4
		令和6年	12.4	8.3	31.1	8.1	1.9	0.5	0.2	99.3
区市町村	区部		29.8	22.7	23.5	15.6	2.0	0.3	0.8	98.9
	市町村部		29.0	20.7	22.6	14.8	2.2	0.2	1.7	98.1

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

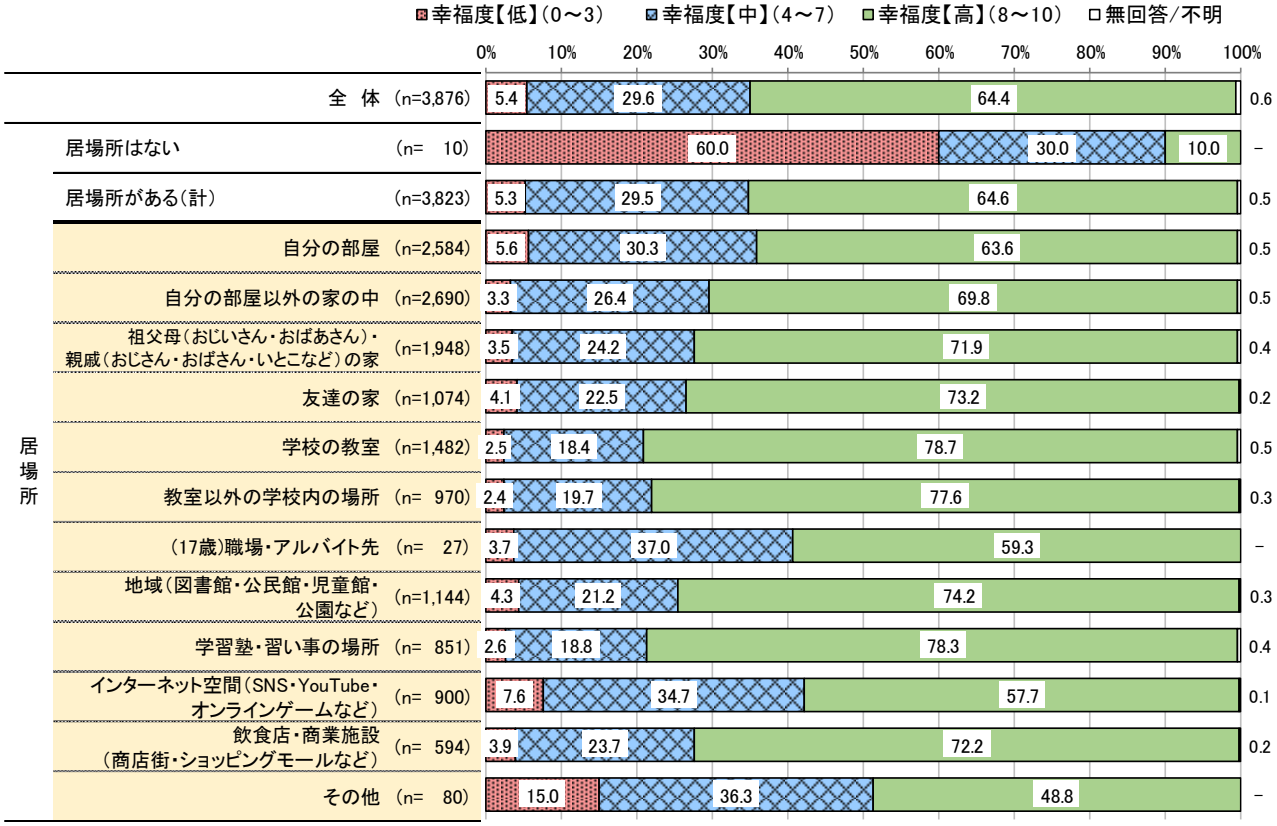
※居場所がある（計）は「自分の部屋」～「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

※令和6年調査は、いずれの学年でも「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」は「飲食店・商業施設」という選択肢、小3・小5では「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」は「祖父母・親戚の家」という選択肢。

【子供の幸福度】

「居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「居場所がある（計）」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 64.6％である。

図表 1-149 子供の幸福度（「居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）」の回答別）



【自由記述】

その他（居場所（ほっとできる場所、安心できる場所））
しぜんがたくさんある場所（子供・小3）
すこしにぎやかなばしょ（子供・小3）
動物園、水族館（子供・小3）
バスケができるばしょ（小さいゴール）（子供・小3）
親のちかく（子供・小3）
ゲーム時間（子供・小3）
人通りの多い場所にあるいすにすわっているとき（子供・小3）
野球場（子供・小5）
道（子供・小5）
家（子供・小5）
お母さんの近く（子供・小5）
ふとんの中（子供・小5）
電車の車内（子供・小5）
クレーンゲーム（子供・小5）
海（子供・中2）
自分の家。（子供・中2）
親友と過ごしている時間、またはその場所（子供・中2）
自然の中（子供・中2）
トイレ（子供・中2）
いろいろな所（子供・中2）
外ウロウロしてるのがいい（子供・中2）
路地裏（子供・中2）
弟と自分しかいない場所（子供・中2）
秋葉原（子供・中2）
ベット（子供・中2）
サッカーグラウンド（子供・中2）
お布団の中（子供・中2）
彼氏がいる所（子供・17 歳）
トイレ（子供・17 歳）
ボランティアをしている場所（子供・17 歳）
人が居ない神社仏閣（子供・17 歳）
自然の中（子供・17 歳）
家が遠い場所（子供・17 歳）
トイレ、お風呂場（子供・17 歳）
自然の中（子供・17 歳）

（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

※上記の設問で回答した選択肢の数を居場所の数として集計した。

【全体】

居場所の数は、「2カ所」が 19.4％で最も多く、次いで「3カ所」が 19.1％、「4カ所」が 15.1％である。

【学年別】

小3、小5、17 歳では「2カ所」、中2では「3カ所」が最も高い。

図表 1-150 居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）の数

(%)

		n	1カ所	2カ所	3カ所	4カ所	5カ所	6カ所	7カ所
全体		3,876	14.0	19.4	19.1	15.1	10.5	7.9	5.4
学年	小3	1,018	10.6	17.0	16.2	13.7	12.6	10.5	6.9
	小5	962	10.1	16.3	15.7	15.3	12.4	10.6	8.6
	中2	887	14.0	20.7	23.0	16.6	8.3	6.1	4.2
	17歳	1,009	21.3	23.7	22.0	15.0	8.6	4.5	1.9
区市町村	区部	2,485	14.2	19.5	19.2	14.4	10.9	8.7	4.7
	市町村部	1,391	13.7	19.3	19.0	16.2	9.9	6.7	6.5

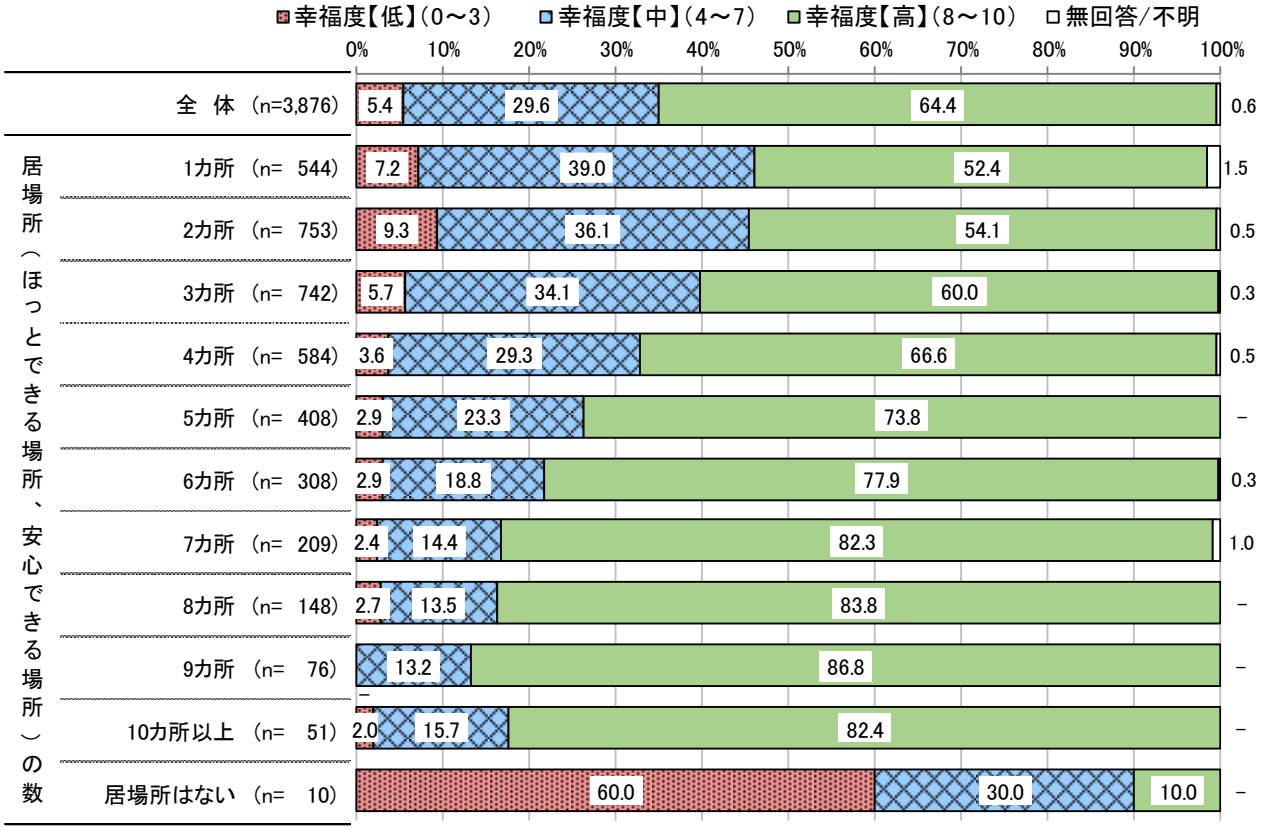
		8カ所	9カ所	10カ所以上	居場所はない	無回答/不明
全体		3.8	2.0	1.3	0.3	1.1
学年	小3	6.2	2.9	2.0	－	1.5
	小5	5.2	1.9	1.2	0.3	2.4
	中2	2.6	1.8	2.0	0.3	0.3
	17歳	1.2	1.2	0.1	0.4	0.2
区市町村	区部	3.9	2.1	1.3	0.3	0.8
	市町村部	3.6	1.8	1.4	0.2	1.7

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「居場所の数」別に子供の幸福度をみると、居場所の数が「9カ所」では幸福度【高】(8～10)の割合が 86.8%である。

図表 1-151　子供の幸福度(「居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)の数」の回答別)



（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

※上記の設問で回答した選択肢を、「自分の部屋」「自分の部屋以外の家の中」のいずれかのみを選択した子供を「自宅のみが居場所」、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこ）の家」～「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」「その他」のいずれかを選択した子供を「自宅以外の居場所がある」、「居場所はない」に分けて集計した。

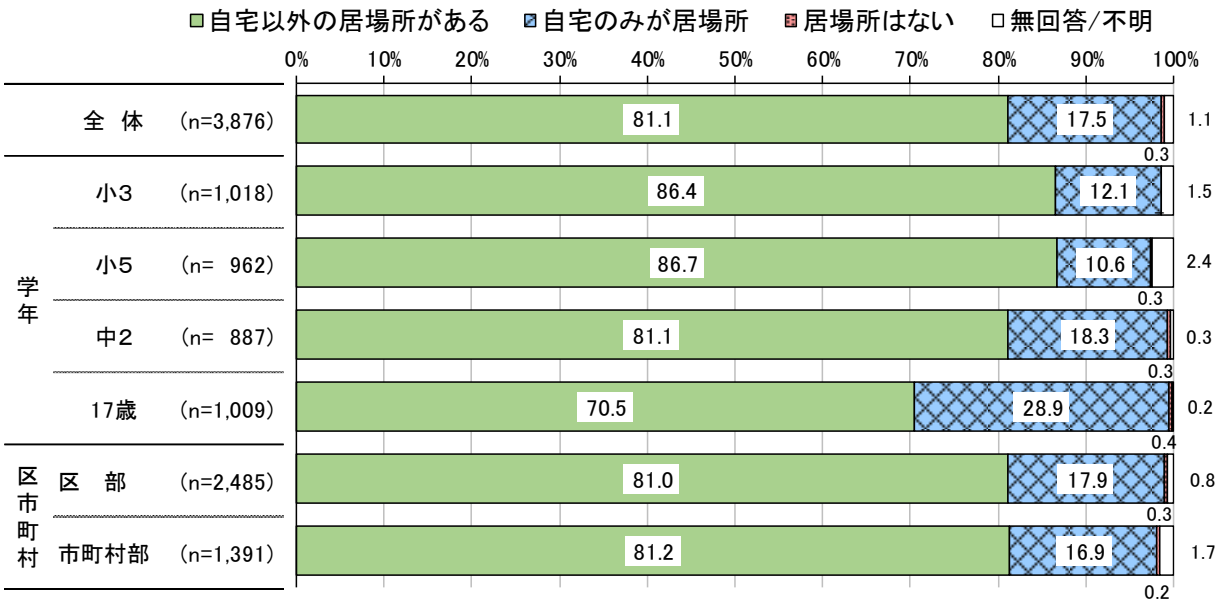
【全体】

「自宅以外の居場所がある」が 81.1%、「自宅のみが居場所」が 17.5%である。

【学年別】

いずれの学年でも「自宅以外の居場所がある」が最も高い。「自宅のみが居場所」は 17 歳で 28.9%と最も高い。

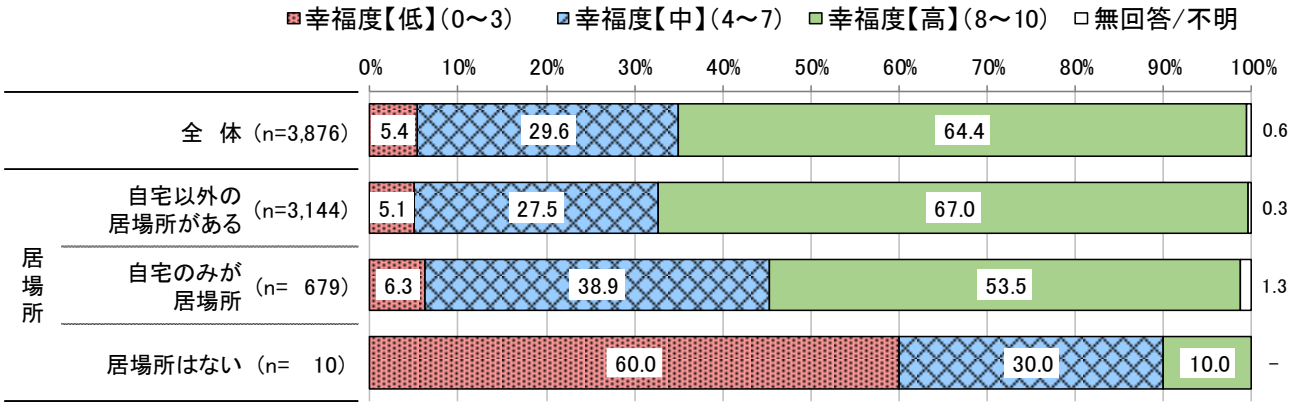
図表 1-152 居場所（自宅以外と自宅のみ）



【子供の幸福度】

「居場所（自宅以外と自宅のみ）」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅以外の居場所がある」子供では、幸福度【高】（8～10）の割合が 67.0％である。

図表 1-153　子供の幸福度（「居場所（自宅以外と自宅のみ）」の回答別）



（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）

【全体】

「いつも」が 35.1％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 32.0％であり、最近2週間を明るく、楽しい気分で過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 67.1％である。

【学年別】

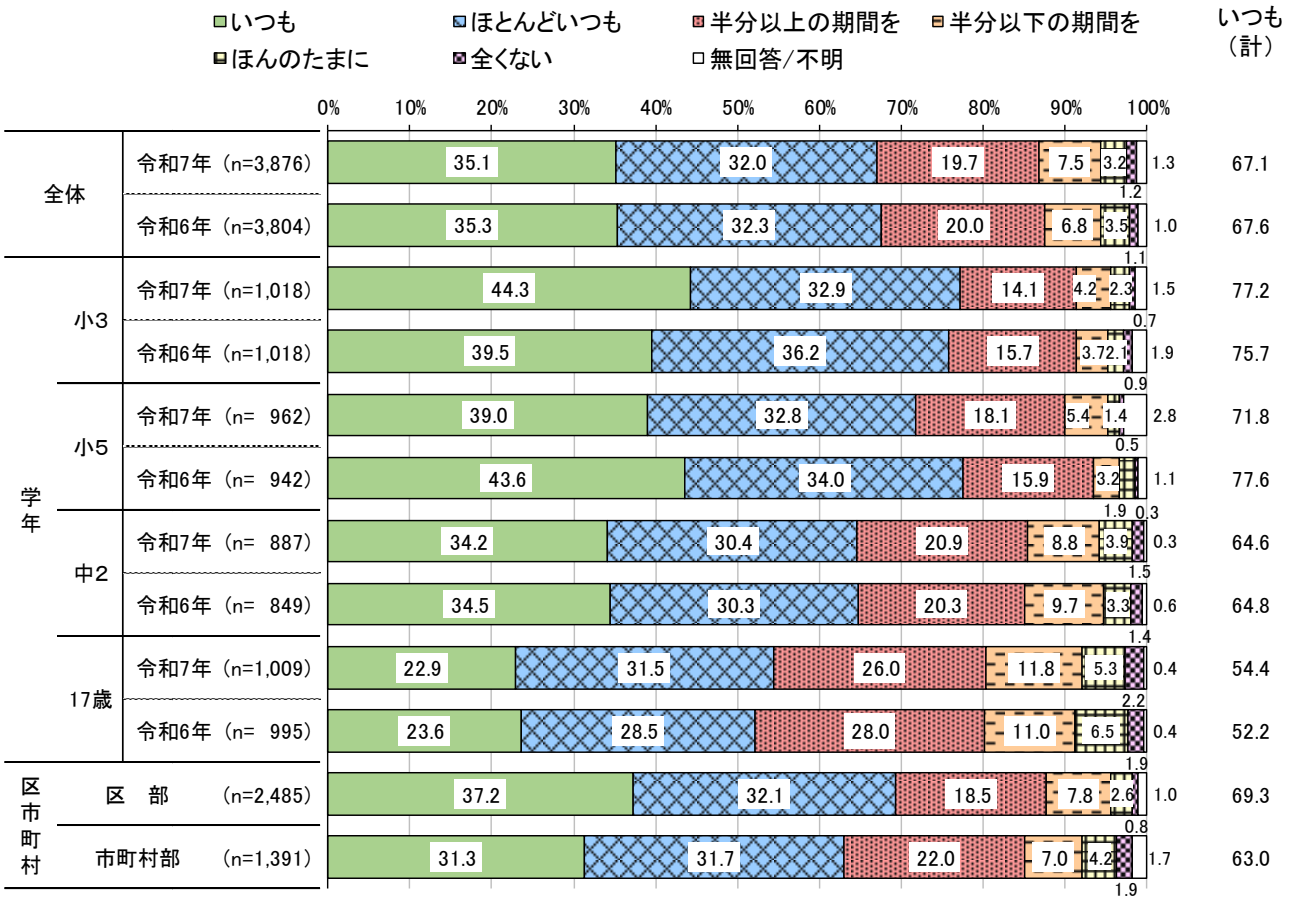
学年が上がるにつれて、「いつも」及び「いつも（計）」の割合は、ともに減少傾向である。

経年比較でみると、小5では「いつも（計）」（「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合）が 5.8 ポイント減少している。

【区市町村別】

「いつも」は区部で市町村部に比べて 5.9 ポイント高い。

図表 1-154　A　明るく、楽しい気分で過ごした　＜単一回答＞

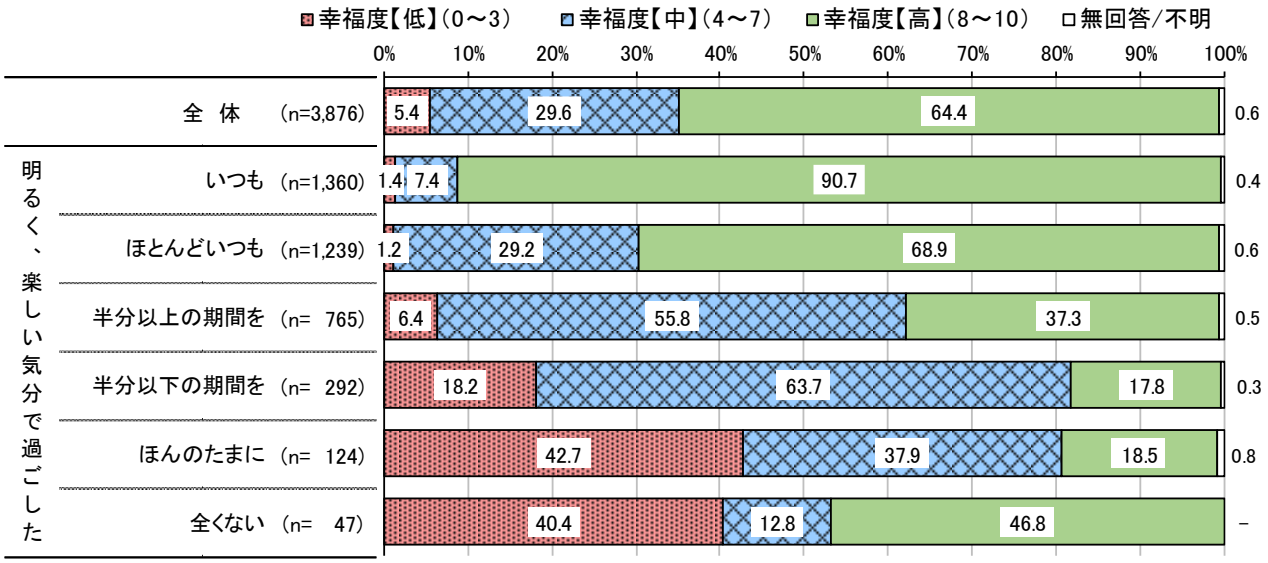


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 90.7%で、「ほんのたまに」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 42.7%である。

図表 1-155　子供の幸福度(「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別)



（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

【全体】

「ほとんどいつも」が 30.8％で最も高く、次いで「いつも」が 30.2％であり、最近2週間を落ち着いた、リラックスした気分で過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 61.0％である。

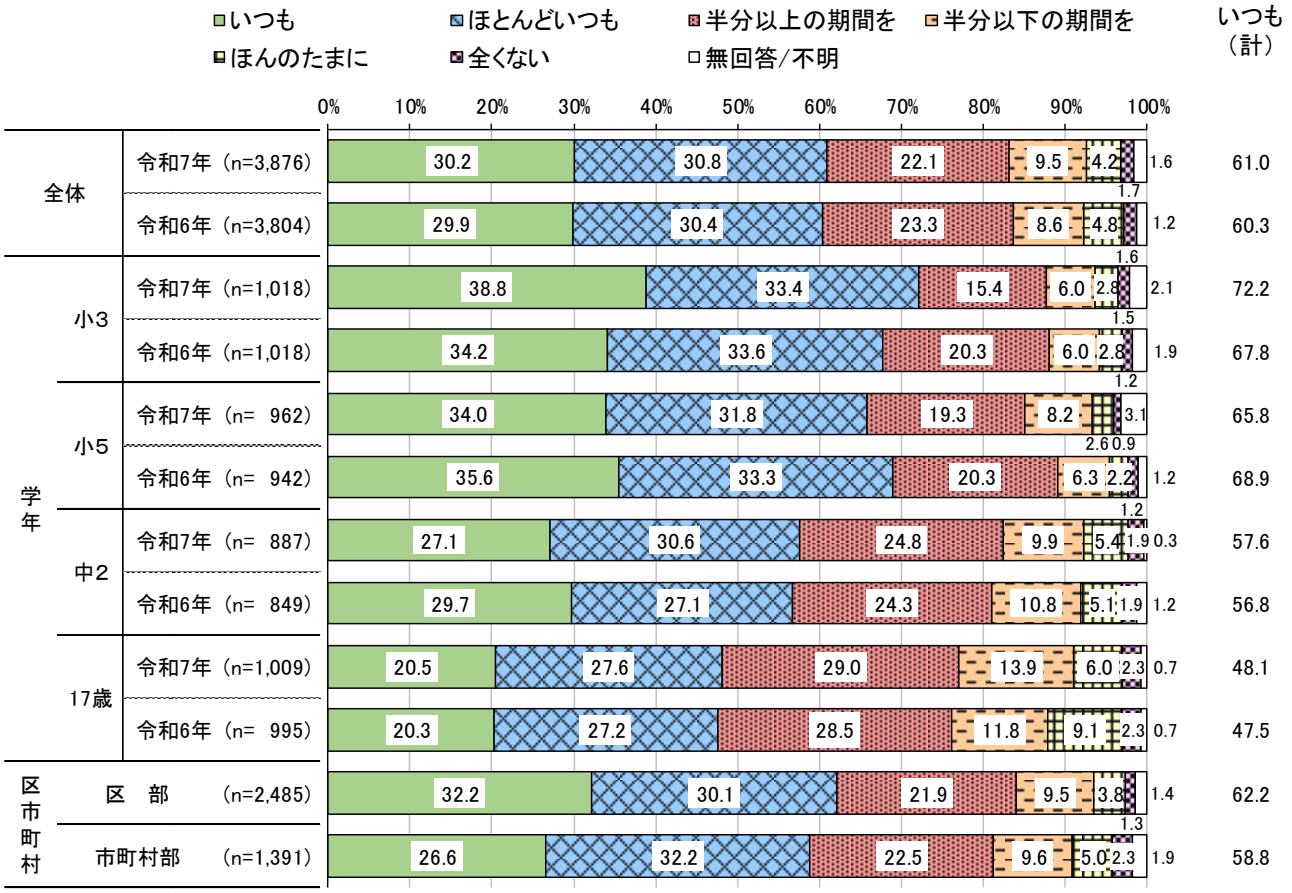
【学年別】

学年が上がるにつれて、「いつも」及び「いつも（計）」の割合は、ともに減少傾向である。

【区市町村別】

「いつも」は区部で市町村部に比べて 5.6 ポイント高い。

図表 1-156　B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした　＜単一回答＞

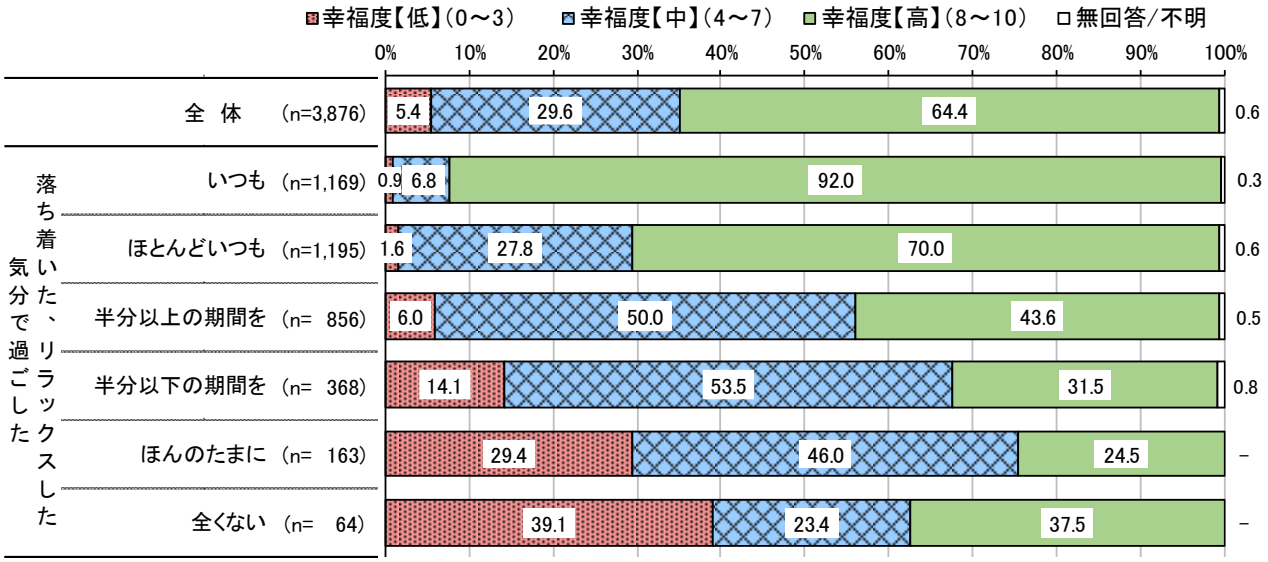


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 92.0%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 39.1%である。

図表 1-157　子供の幸福度(「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別)



（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）

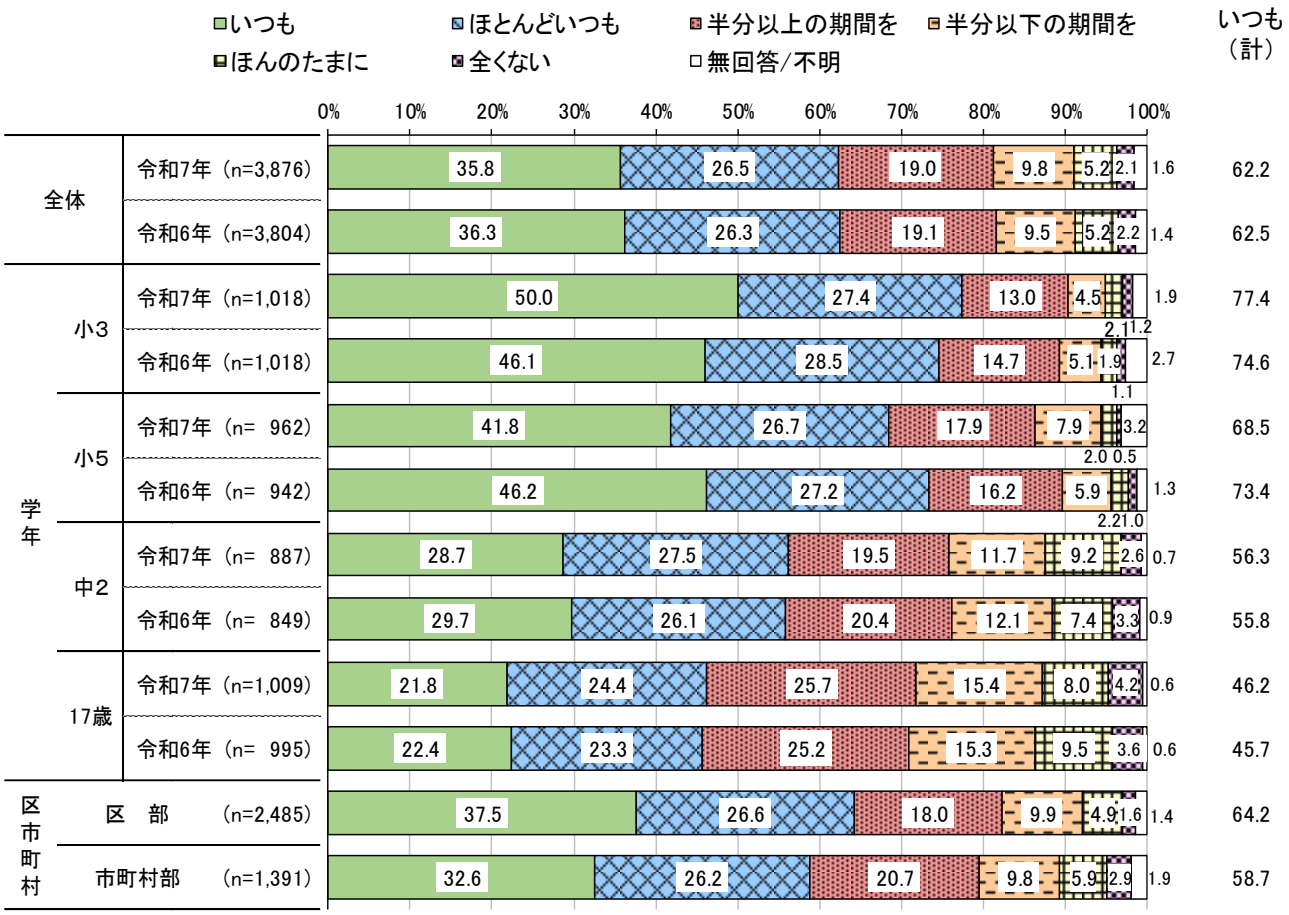
【全体】

「いつも」が 35.8％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 26.5％であり、最近2週間を意欲的で、活動的に過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 62.2％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「いつも」及び「いつも（計）」の割合は、ともに減少傾向である。

図表 1-158　C　意欲的で、活動的に過ごした　＜単一回答＞

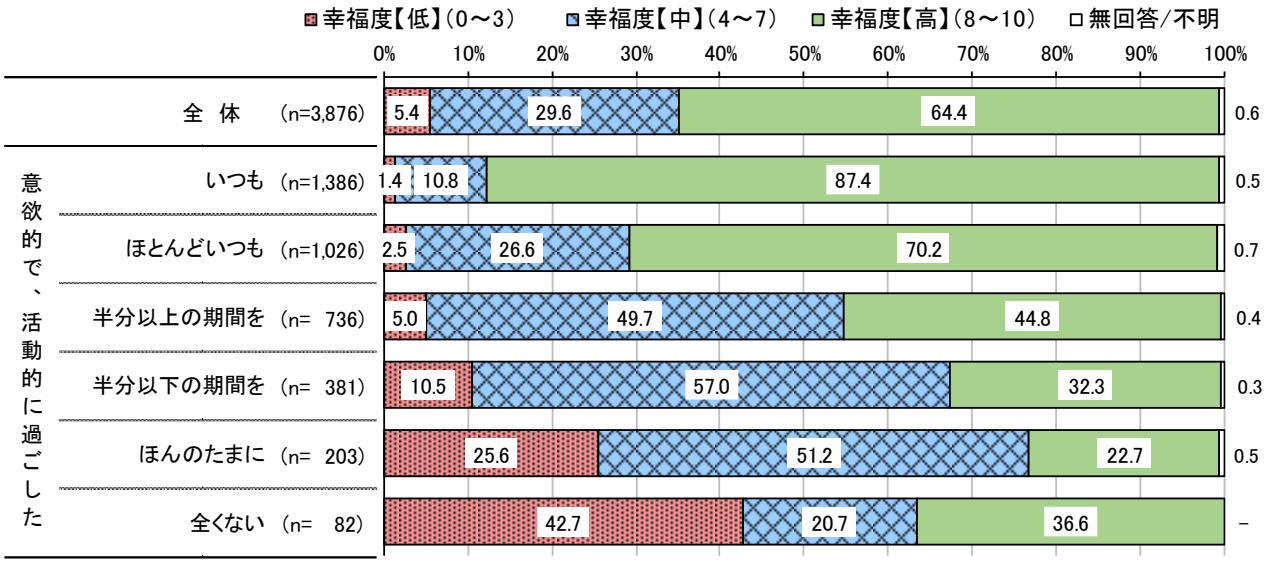


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 87.4%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 42.7%である。

図表 1-159　子供の幸福度(「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別)



（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

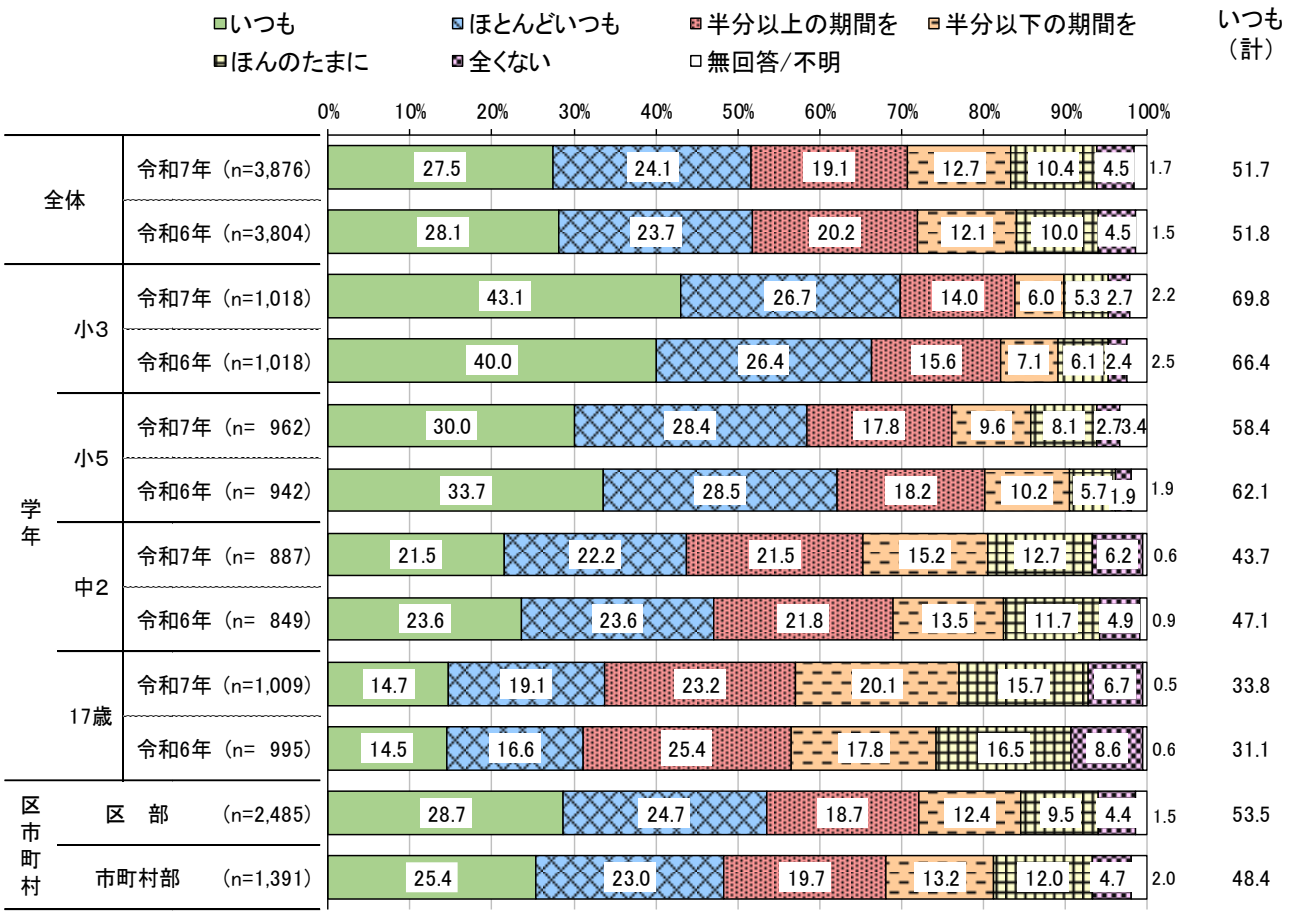
【全体】

「いつも」が 27.5％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 24.1％であり、最近2週間をぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 51.7％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「いつも」及び「いつも（計）」の割合は、ともに減少傾向である。

図表 1-160　D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた　＜単一回答＞

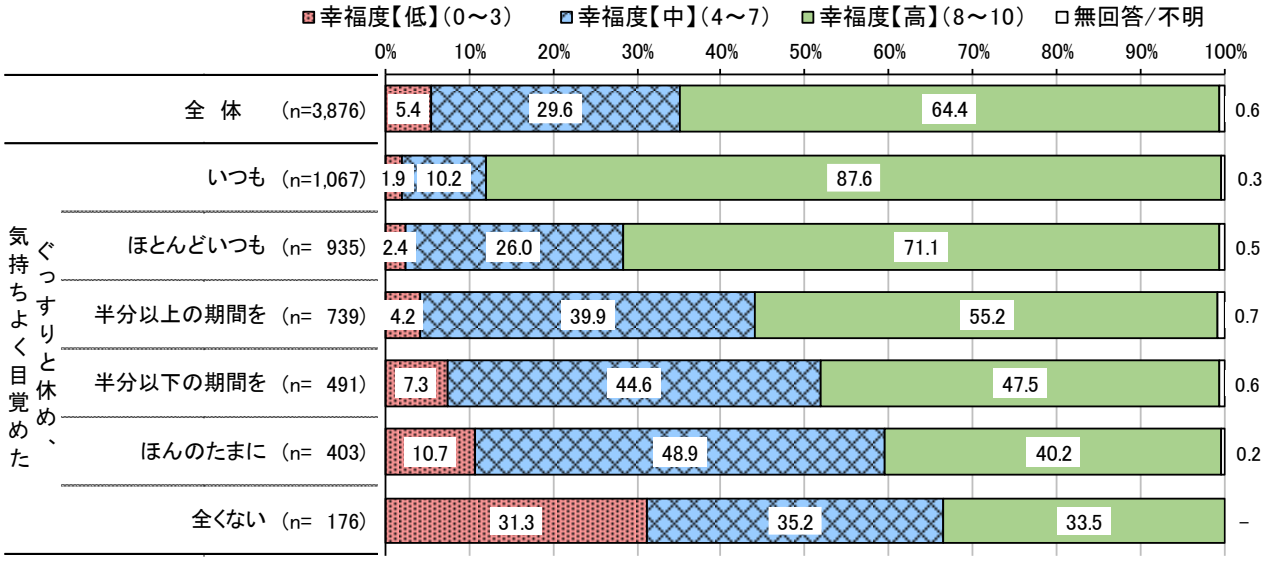


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 87.6%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 31.3%である。

図表 1-161　子供の幸福度(「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別)



（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

【全体】

「いつも」が 32.0％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 22.7％であり、最近2週間で、日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 54.7％である。

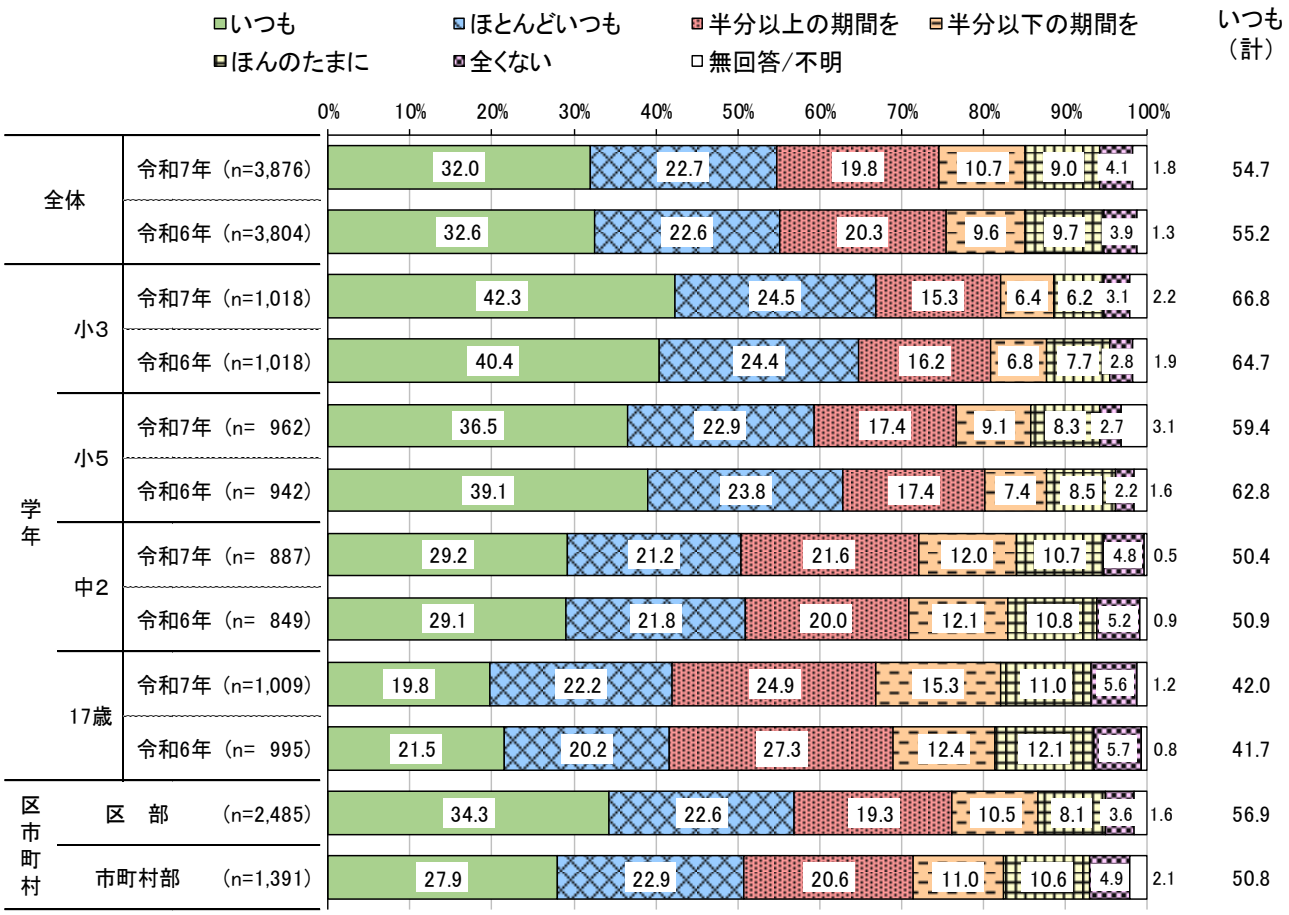
【学年別】

学年が上がるにつれて、「いつも」及び「いつも（計）」の割合は、ともに減少傾向である。

【区市町村別】

「いつも」は区部で市町村部に比べて 6.4 ポイント高い。

図表 1-162　E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった　＜単一回答＞

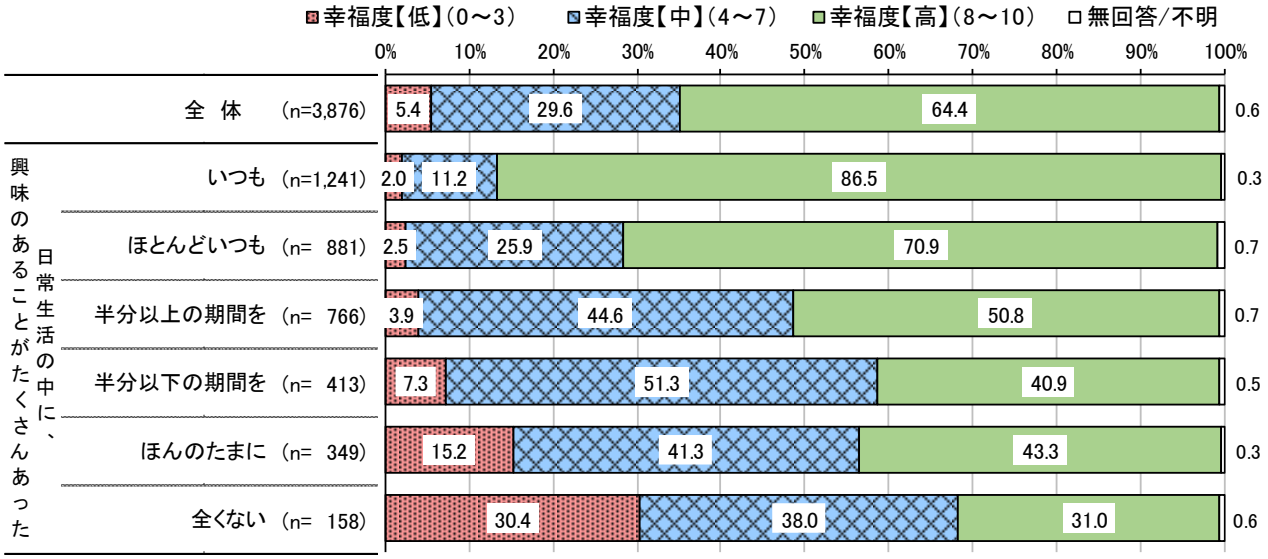


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 86.5%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 30.4%である。

図表 1-163　子供の幸福度(「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別)



（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問のＡからＥの各選択肢を0～5点で換算し（「いつも」：5点 「ほとんどいつも」：4点 「半分以上の期間を」：3点 「半分以下の期間を」：2点 「ほんのたまに」：1点 「全くない」：0点）、ＡからＥのいずれにも回答がある子供について、ＡからＥの合計点（5項目×5点満点）を精神的健康状態（WHO-5）として算出した。

【全体】

全体では、「20 点以上 25 点以下」が 45.5%で最も高く、平均値は 18.06 である。

【学年別】

学年が上がるにつれ平均値は減少傾向で、小3では平均値が 20.01 だが、17 歳では 15.92 である。

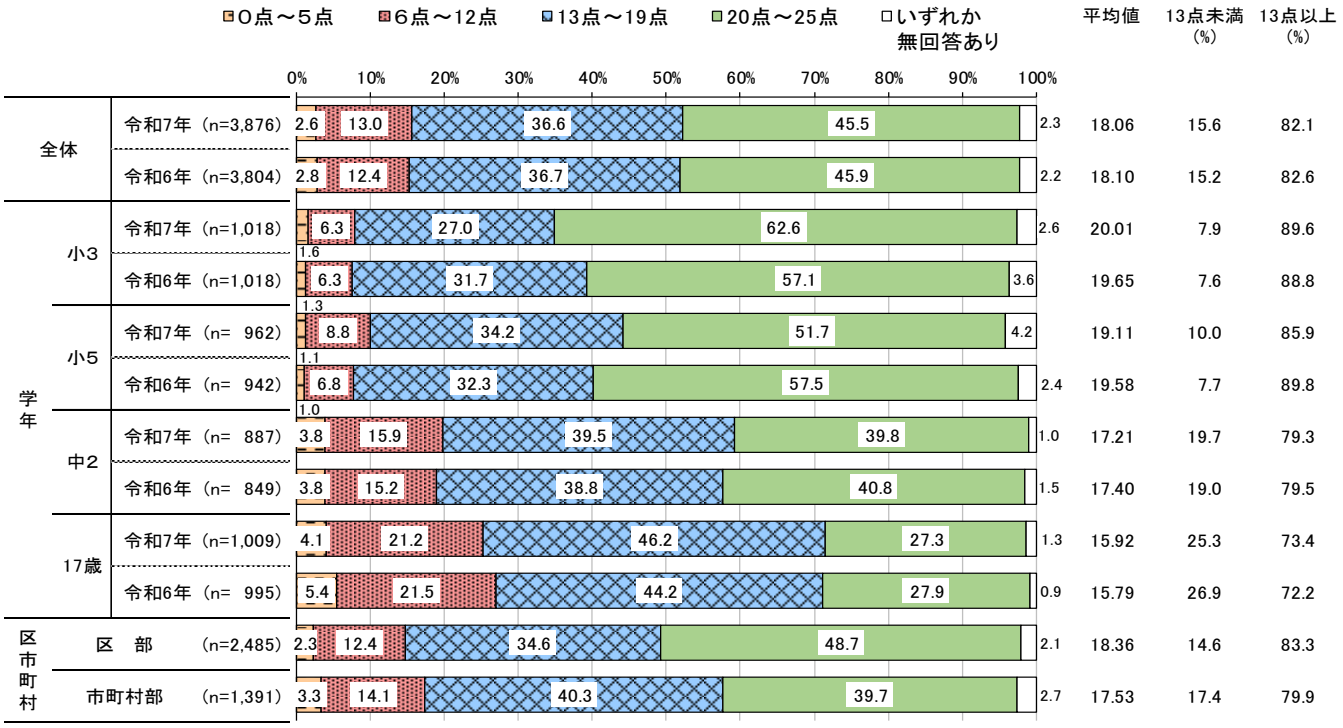
合計得点が 13 点未満は精神的健康状態が低いとされるが、17 歳では 13 点未満が 25.3%である。

経年比較でみると、「20 点以上 25 点以下」は、小3では 5.5 ポイント増加し、小5では 5.8 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部では、「20 点以上 25 点以下」が、市町村部より 9.0 ポイント高い。

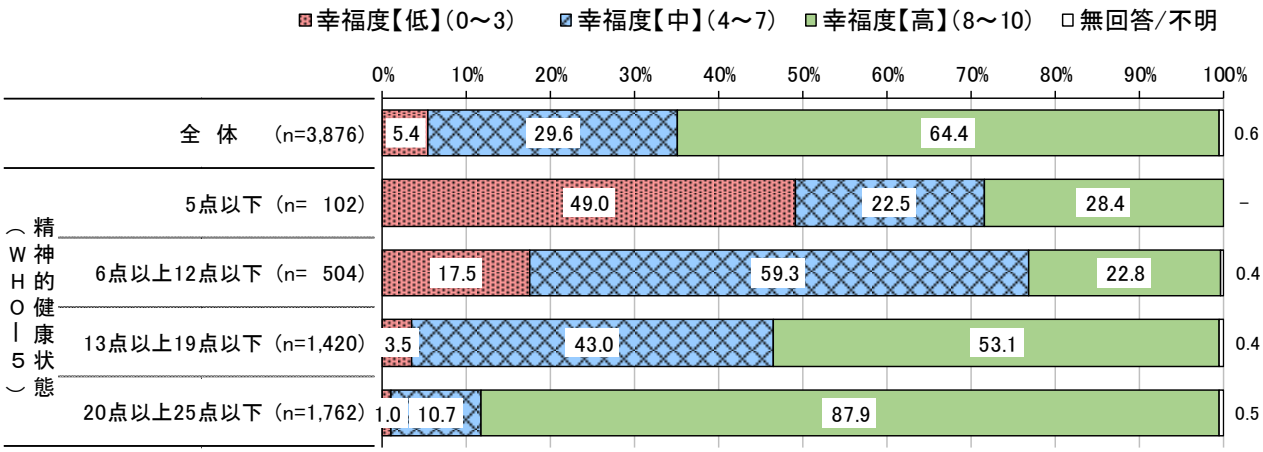
図表 1-164 精神的健康状態（WHO-5） ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

精神的健康状態（WHO-5）」別に子供の幸福度をみると、「20 点以上 25 点以下」では幸福度【高】（8～10）が 87.9％であり、「5 点以下」では、幸福度【低】（0～3）が 49.0％である。

図表 1-165　子供の幸福度（「精神的健康状態（WHO-5）」別）



（子供：共通）問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

【全体】

今、悩んでいることがある中では、「勉強に関すること」が 47.0％で最も高く、「将来に関すること」が 29.9％、「進学に関すること」が 28.1％と続く。一方、「悩みはない」は 24.6％である。

【学年別】

小3では「悩みはない」が 45.0％で最も高く、小5、中2、17 歳では「勉強に関すること」がそれぞれ 35.2％、63.0％、70.4％で最も高い。「悩んでいることがある（計）」は、学年が上がるにつれて増加している。

経年比較でみると、小5では、「悩みはない」が 7.7 ポイント減少し、「悩んでいることがある（計）」は 5.8 ポイント増加している。

図表 1-166 今、悩んでいること ＜複数回答＞

(%)

			n	勉強に関すること	(17歳)仕事に関すること	友達に関すること	家族に関すること	学校に関すること	(17歳、中2、小5)部活・クラブ活動に関すること	塾・習い事に関すること
全体		令和7年	3,876	47.0	3.5	22.0	8.0	16.1	11.8	13.2
		令和6年	3,804	44.9	3.9	22.0	8.3	15.0	11.1	13.7
学年	小3	令和7年	1,018	20.9		13.2	6.1	9.8		10.7
		令和6年	1,018	18.4		14.6	4.3	9.3		10.8
	小5	令和7年	962	35.2		19.3	5.1	11.9	4.0	18.2
		令和6年	942	32.7		20.6	6.4	10.4	1.8	16.9
	中2	令和7年	887	63.0		30.1	11.4	21.8	22.8	16.2
		令和6年	849	61.4		26.5	11.1	18.7	21.3	15.8
	17歳	令和7年	1,009	70.4	13.4	26.2	9.8	21.6	21.6	8.2
		令和6年	995	69.4	14.9	27.1	12.0	22.1	22.4	11.9
区市町村	区部		2,485	47.2	3.5	21.3	7.8	15.9	11.5	14.1
	市町村部		1,391	46.5	3.5	23.1	8.4	16.5	12.4	11.6

			進学に関すること	(17歳)就職に関すること	恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること	インターネットやSNSの人間関係に関すること	(戦争や事件などの)ニュースに関すること
全体		令和7年	28.1	5.4	12.7	18.9	11.1	29.9	3.2	14.0
		令和6年	27.5	5.6	11.6	17.7	9.8	28.3	3.2	12.0
学年	小3	令和7年	5.0		6.5	11.5	10.0	18.4	2.1	15.9
		令和6年	4.3		4.4	9.3	8.8	15.6	1.7	13.9
	小5	令和7年	14.8		9.6	14.4	10.6	25.4	2.4	19.0
		令和6年	12.8		9.9	12.2	7.4	20.0	2.4	13.9
	中2	令和7年	37.7		15.4	23.2	12.4	36.0	4.2	11.7
		令和6年	35.6		13.8	21.4	10.1	33.9	4.4	11.3
	17歳	令和7年	55.8	20.6	19.5	26.9	11.5	40.6	4.3	9.2
		令和6年	58.3	21.5	18.7	28.1	12.7	44.5	4.5	8.8
区市町村	区部		27.7	5.4	12.2	18.7	11.1	29.4	3.6	13.9
	市町村部		28.8	5.4	13.6	19.3	11.1	30.8	2.4	14.1

			その他	悩みはない	無回答/不明	悩んでいることがある(計)
全体		令和7年	1.6	24.6	1.6	73.8
		令和6年	1.4	28.4	1.1	70.5
学年	小3	令和7年	0.9	45.0	2.3	52.8
		令和6年	1.0	48.1	1.8	50.1
	小5	令和7年	1.9	28.8	3.1	68.1
		令和6年	1.6	36.5	1.2	62.3
	中2	令和7年	1.9	15.4	0.6	84.0
		令和6年	1.4	19.2	0.7	80.1
	17歳	令和7年	1.8	8.1	0.3	91.6
		令和6年	1.6	8.4	0.7	90.9
区市町村	区部		1.4	25.7	1.3	73.0
	市町村部		1.9	22.6	2.0	75.3

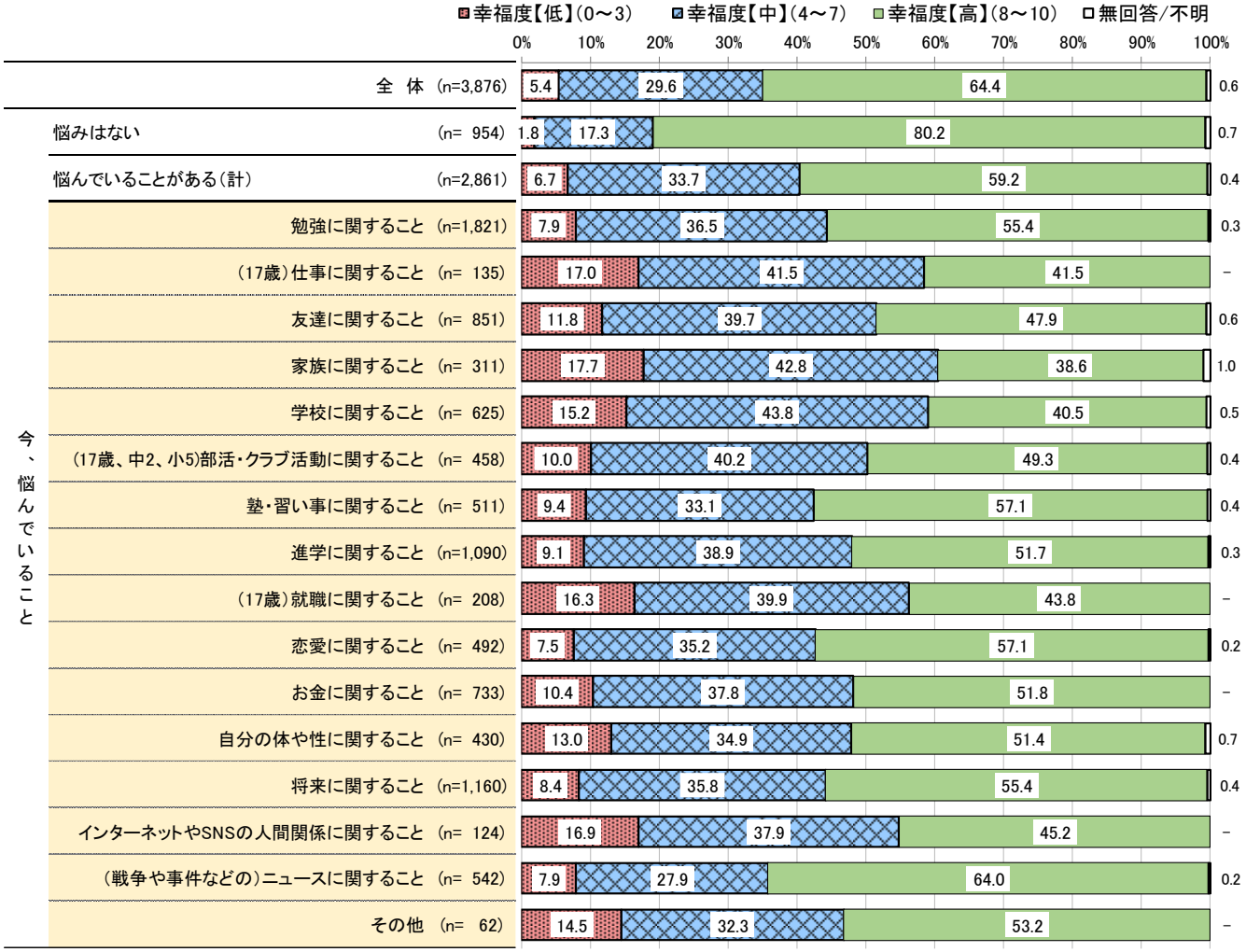
※悩んでいることがある(計)は、「勉強に関すること」～「(戦争や事件などの)ニュースに関すること」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「今、悩んでいること」の回答別に幸福度をみると、「悩みはない」と回答した子供は、幸福度【高】(8～10)が 80.2%である。何らか「悩んでいることがある(計)」と回答した子供は、幸福度【高】(8～10)が 59.2%である。

図表 1-167　子供の幸福度(「今、悩んでいること」の回答別)



【自由記述】

その他（今、悩んでいること）
米のこと（子供・小3）
バスケのこと（子供・小3）
ポイすてやらくがき（子供・小3）
わからない（子供・小3）
欲しい物のこと（子供・小3）
自分の性格のこと（子供・小3）
ゲーム（子供・小5）
1 つの物に集中しすぎて、他の事ができない（子供・小5）
地しんのこと（子供・小5）
自分がニワトリ頭だということ（子供・小5）
ゲームのかいかた（子供・小5）
怖い事があるとトラウマになってしまうこと（子供・小5）
自分の心がばくはつする事（子供・小5）
よくわすれる（子供・小5）
性差別を目げきした事（子供・小5）
電車に乗りたい（子供・小5）
自己欲の抑制（子供・中2）
LINE いじめに関すること（子供・中2）
自分の好きなようにアプリが入れられないこと、（子供・中2）
ADHD（子供・中2）
政治（子供・中2）
地球温暖化（子供・中2）
誕生日プレゼントに何をもらうか（子供・中2）
悩みがないことが悩み（子供・中2）
漫画に関すること（子供・中2）
睡眠に関すること（子供・中2）
これからの日本政治（子供・17 歳）
自分に関すること（子供・17 歳）
日本の未来が暗すぎるかな～あんま期待できない（子供・17 歳）
自分の性格（子供・17 歳）
精神疾患について（子供・17 歳）
門限（子供・17 歳）
自分の性格に関すること（子供・17 歳）
人生のこと・自分の容姿のこと（子供・17 歳）
社会問題、環境問題（子供・17 歳）
今後起きる災害（子供・17 歳）
睡眠（子供・17 歳）

（子供：共通）問 36. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

【全体】

「特に嫌な経験はしていない」が 67.8％で最も高い。嫌な経験をしたことがある中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 23.0％で最も高く、「無視をされた、仲間外れにされた」が 11.9％、「暴力を受けた」が 7.9％、「いじめを受けた」が 6.7％で続く。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験をしていない」の割合が最も高く、学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-168　過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）＜複数回答＞

(%)

			n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験
全　体		令和7年	3,876	23.0	11.9	6.7	1.9	0.6	7.9	1.8
		令和6年	3,804	23.1	13.0	7.4	2.1	0.3	8.2	2.7
学年	小3	令和7年	1,018	28.0	16.1	11.8	2.5	0.6	13.9	2.0
		令和6年	1,018	27.4	17.6	13.2	3.0	－	13.1	3.0
	小5	令和7年	962	28.8	15.1	7.4	2.9	0.4	10.9	2.1
		令和6年	942	27.8	16.5	10.1	2.5	－	10.8	2.7
	中2	令和7年	887	20.5	10.4	5.2	1.4	0.2	5.0	1.7
		令和6年	849	21.3	10.4	3.9	1.8	0.7	6.5	2.6
	17歳	令和7年	1,009	14.5	5.9	2.3	0.7	1.0	1.6	1.5
		令和6年	995	15.9	7.2	2.1	0.8	0.7	2.2	2.4
区市町村	区　部		2,485	22.2	11.0	6.3	1.5	0.6	7.5	1.7
	市町村部		1,391	24.3	13.5	7.4	2.4	0.5	8.6	1.9

			特に嫌な経験はしていない	無回答／不明	嫌な経験をしたことがある（計）
全　体		令和7年	67.8	2.3	30.0
		令和6年	66.6	2.0	31.4
学年	小3	令和7年	59.9	2.4	37.7
		令和6年	58.6	2.1	39.3
	小5	令和7年	60.5	3.2	36.3
		令和6年	59.9	2.3	37.8
	中2	令和7年	71.3	1.7	27.1
		令和6年	71.4	1.5	27.1
	17歳	令和7年	79.5	1.8	18.7
		令和6年	77.2	1.9	20.9
区市町村	区　部		69.1	2.1	28.8
	市町村部		65.3	2.7	32.1

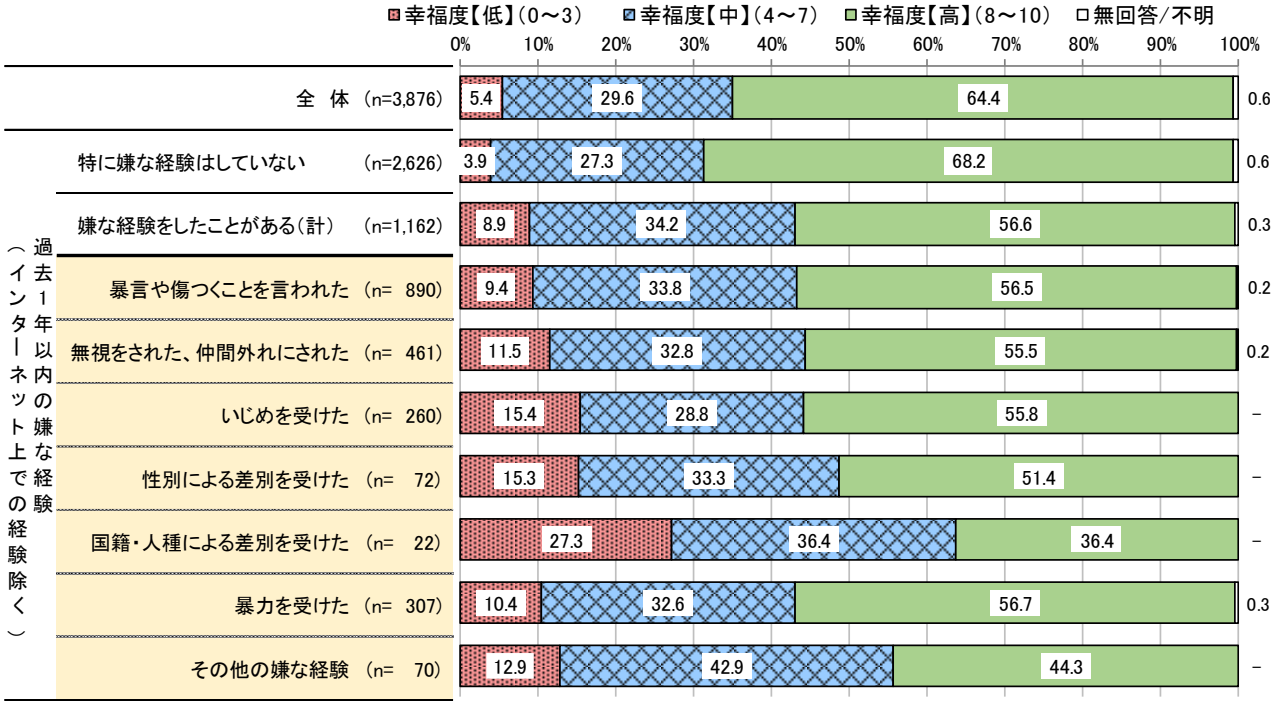
※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「暴力を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験除く）」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に嫌な経験はしていない」子供では幸福度【高】（8～10）が 68.2％で、何らか「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）は 56.6％である。

図表 1-169 子供の幸福度（「過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験除く）」の回答別）



【自由記述】

その他（過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く））
おとうとがムカツクことをしました。（子供・小3）
捕まえたい虫に逃げられた。（子供・小3）
友達とけんかした（子供・小3）
スマホのカメラをむけられた（子供・小3）
インフルエンザでねるときつらかった（子供・小3）
自分のものを友だちに盗まれた。（きちんと返してもらった）（子供・小3）
学校に行きたくない時に先生に無理やりがっこうにつれていかれた（子供・小3）
ズボンを下ろされた（子供・小3）
えん罪、名誉棄損（子供・小3）
誰かにノートの名前を黒くぬられた。（子供・小3）
ぬれぎぬをきせられた（子供・小5）
先生がうざい（子供・小5）
おやにいろいろちゅういされるのがいや（子供・小5）
しつこくされる（子供・小5）
相手がわるいのにつみをおしつけられた（子供・小5）
学校めんどくさい（子供・小5）
ちかん（子供・小5）
去年の担任が高圧的で嫌だった。信頼できなかった（子供・小5）
自分の家にめいわくピンポンをされた（子供・小5）
いやなあだ名をつけられた（子供・小5）
友達を取られた（子供・小5）
友達のお父さんに脅された（子供・中2）
友達、先生、親などに関わらず話を理解してもらえないこと（子供・中2）
電話がたくさん（子供・中2）
人の悪口を言ってくる（子供・中2）
親友が異性なので、体育等で男女別になると話し相手がいなくなる（子供・中2）
痴漢にあったことがある（子供・中2）
ゲームいがいしたくないのに親が歯をみがけとか早く寝ろとかじゃまをしてくる。（子供・中2）
兄弟げんか（子供・中2）
人の悪口を聞かされた、けんかを見た（子供・中2）
あおられた（子供・17 歳）
クレーマー（子供・17 歳）
お金をとられた（子供・17 歳）
トラブルに巻き込まれそうになった（子供・17 歳）
中学の先生が助けてくれなかった（子供・17 歳）
他の人の悪口をずっと聞かされた。（子供・17 歳）
精神的虐待（子供・17 歳）

（子供：共通）問 37. あなたは過去 1 年以内に、インターネット上で次のような経験をしたことがありますか。
（いくつでも）

【全体】

過去1年以内にインターネット上で、「特に嫌な経験はしていない」が 90.4％で最も高い。嫌な経験をしたことがある中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 3.8％である。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験をしていない」が最も高い。

図表 1-170 過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験 ＜複数回答＞

(%)

			n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	ネット詐欺に遭った（金銭や個人情報などを求められた）（お金を求められたり、個人情報を聞かれた）	会ったことのない人から会うことを求められた	勝手に自分の写真をアップされた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない
全体		令和7年	3,876	3.8	1.8	0.7	1.1	1.1	0.6	90.4
		令和6年	3,804	4.3	2.0	0.5	1.0	1.0	0.7	90.2
学年	小3	令和7年	1,018	2.1	1.9	0.6	0.3	0.2	0.5	92.4
		令和6年	1,018	2.2	2.2	0.3	－	0.1	0.2	93.0
	小5	令和7年	962	2.9	1.4	0.5	0.6	0.4	1.0	90.6
		令和6年	942	3.1	1.5	0.5	0.2	0.1	0.6	91.8
	中2	令和7年	887	4.5	2.1	0.7	1.2	2.7	0.7	89.7
		令和6年	849	6.8	2.7	1.1	1.6	1.9	1.3	87.4
	17歳	令和7年	1,009	5.9	1.7	0.9	2.4	1.2	0.4	88.5
		令和6年	995	5.4	1.7	0.3	2.1	2.1	0.6	88.1
区市町村	区部		2,485	3.3	1.5	0.5	0.9	1.0	0.7	91.3
	市町村部		1,391	4.7	2.2	0.9	1.5	1.3	0.6	88.7

			無回答／不明	嫌な経験をしたことがある（計）
全体		令和7年	3.1	6.5
		令和6年	3.0	6.8
学年	小3	令和7年	3.5	4.0
		令和6年	3.4	3.5
	小5	令和7年	4.7	4.7
		令和6年	3.8	4.4
	中2	令和7年	2.3	8.0
		令和6年	2.7	9.9
	17歳	令和7年	2.1	9.4
		令和6年	1.9	9.9
区市町村	区部		2.9	5.9
	市町村部		3.7	7.6

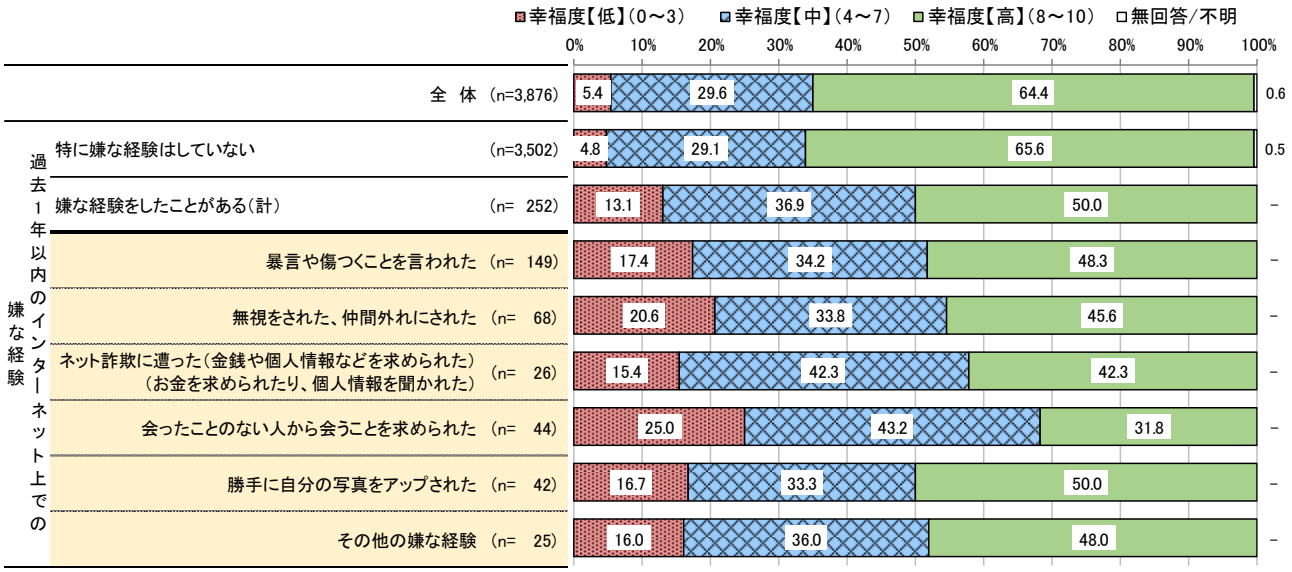
※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「勝手に自分の写真をアップされた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に嫌な経験はしていない」子供では幸福度【高】(8～10)が 65.6%で、何らか「嫌な経験をしたことがある(計)」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 50.0%である。

図表 1-171 子供の幸福度(「過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験」の回答別)



【自由記述】

その他（過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験）
ゲームで詐欺られた（子供・小3）
友だちから「○日以内にこの写真をだれか（○人）におくらないと…」という写真がおくられてきた。（子供・小5）
あやしいメールが届いた（子供・小5）
嫌な行動をされた（子供・小5）
オンラインゲームでいやなこういをされた。（子供・小5）
ゲームをやっている時に煽られた（子供・小5）
あおられた（子供・小5）
知らない人から電話がかかってきた→電話しちゃった（子供・小5）
SNS のコメントで実名を出された（子供・小5）
インスタで最初は良かったけどどんどん話したくない話に変わっていってずっと返信くる（子供・中2）
詐欺にあいそうになった（子供・中2）
LINE のアイコンにされた（子供・中2）
変なメールが幾つか届いた（子供・17 歳）
自分の名前を使って嫌なことを書かれた（子供・17 歳）

（子供：共通）問 38. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。（いくつでも）

【全体】

「母親（お母さん）」が 81.1％で最も高く、「友達や先輩」が 63.6％、「父親（お父さん）」が 56.9％と続く。

【学年別】

小3、小5、中2では「母親（お母さん）」が最も高く、17 歳では「友達や先輩」が最も高い。また、学年が上がるにつれて「友達や先輩」は増加傾向であり、「母親（お母さん）」「父親（お父さん）」は減少傾向である。

図表 1-172　困ったり悩んだりしたときの相談相手　＜複数回答＞

(%)

			n	友達や先輩	きょうだい	母親（お母さん）	父親（お父さん）	祖父母（おじいさん、おばあさん）	親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）	近所の人	学校の先生・職場の上司	保健室の先生
全体		令和7年	3,876	63.6	25.6	81.1	56.9	25.7	11.1	3.6	37.7	10.6
		令和6年	3,804	63.1	28.3	82.8	56.0	25.4	10.2	3.8	38.1	10.0
学年	小3	令和7年	1,018	45.3	25.7	92.1	72.4	35.3	16.1	6.1	53.4	16.7
		令和6年	1,018	46.9	30.6	93.2	74.8	38.0	13.5	6.4	54.8	16.3
	小5	令和7年	962	60.7	28.2	87.4	64.1	34.5	16.2	4.5	44.4	15.3
		令和6年	942	60.8	32.1	89.7	64.6	32.8	14.2	5.1	43.3	13.6
	中2	令和7年	887	73.5	23.2	74.0	50.4	21.9	7.7	2.7	30.6	7.6
		令和6年	849	71.6	26.5	77.6	47.0	18.0	8.1	2.2	32.4	7.2
	17歳	令和7年	1,009	76.1	25.1	70.2	40.0	11.2	4.1	1.1	21.7	2.8
		令和6年	995	74.6	23.7	69.9	36.2	12.0	4.8	1.1	21.1	2.4
区市町村	区部		2,485	64.3	25.0	81.4	57.3	25.4	10.8	3.1	37.2	10.1
	市町村部		1,391	62.4	26.7	80.5	56.1	26.5	11.5	4.5	38.6	11.5

			相談員（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど）	放課後児童クラブ（学童保育）・児童館の職員	塾や習い事の先生	インターネットやSNSで知り合った人	NPO法人、ボランティアの人	その他	相談できる人はいない	無回答／不明	相談する人がいる（計）
全体		令和7年	11.1	4.9	8.5	2.7	1.6	1.5	2.7	0.6	96.7
		令和6年	10.6	4.9	8.4	2.8	1.0	1.2	3.0	0.5	96.5
学年	小3	令和7年	10.6	11.5	10.3	0.1	3.4	0.9	0.9	0.8	98.3
		令和6年	11.0	11.7	11.1	0.3	1.1	0.5	1.0	0.5	98.5
	小5	令和7年	19.9	5.6	10.4	1.6	0.9	1.8	1.8	0.7	97.5
		令和6年	17.8	5.3	9.6	1.5	1.4	1.3	1.7	0.2	98.1
	中2	令和7年	9.9	1.8	8.5	4.8	1.8	1.8	3.6	0.2	96.2
		令和6年	9.9	1.5	7.8	3.9	0.6	1.6	4.0	0.6	95.4
	17歳	令和7年	4.4	0.2	4.8	4.4	0.1	1.7	4.6	0.8	94.6
		令和6年	4.0	0.4	5.2	5.5	0.8	1.5	5.5	0.6	93.9
区市町村	区部		10.9	4.4	8.4	2.7	1.5	1.7	2.3	0.5	97.2
	市町村部		11.4	5.7	8.6	2.6	1.7	1.2	3.5	0.9	95.7

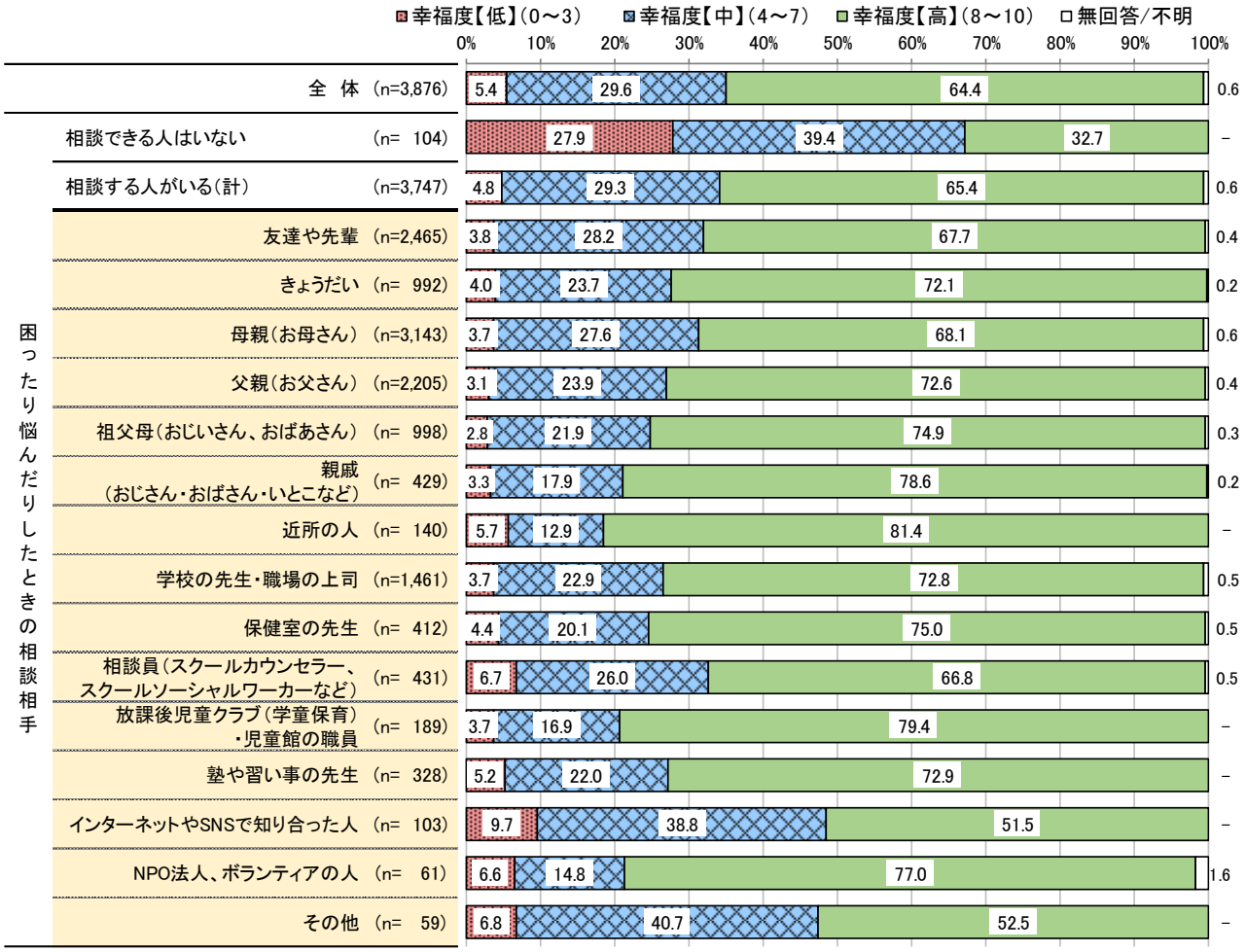
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※相談する人がいる（計）は「友達や先輩」～「NPO 法人、ボランティアの人」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「困ったり悩んだりしたときの相談相手」の回答別に子供の幸福度をみると、「相談できる人はいない」子供では幸福度【低】(0～3)が 27.9%、誰か「相談する人がいる(計)」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 65.4%である。

図表 1-173　子供の幸福度(「困ったり悩んだりしたときの相談相手」の回答別)



【自由記述】

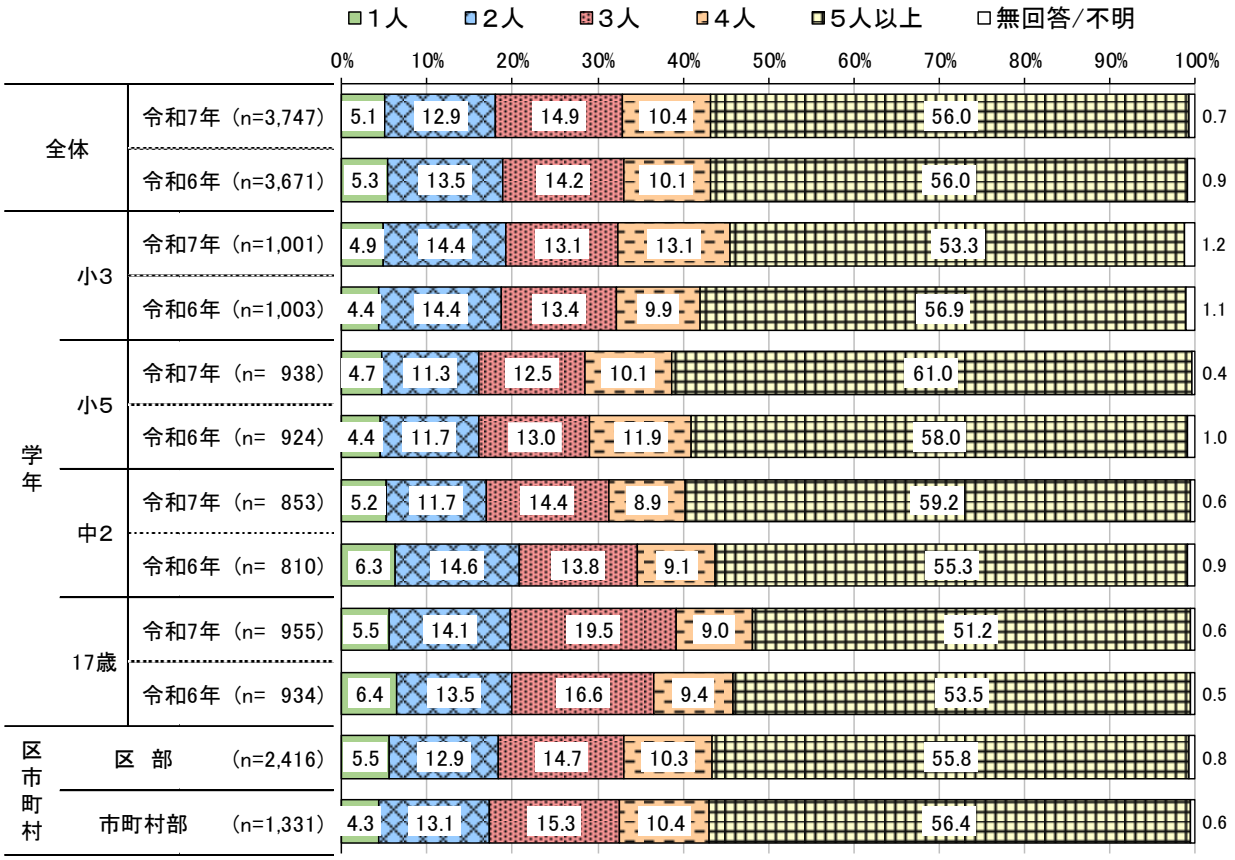
その他（困ったり悩んだりしたときの相談相手）
ぬいぐるみ（子供・小3）
ペットの犬（子供・小3）
相談することない。（子供・小3）
かぞく（子供・小3）
こまったことない（子供・小3）
友達の親（子供・小3）
ほがらかの先生など（子供・小3）
悩みがない（子供・小3）
Line の相談窓口（子供・小5）
相談しない（子供・小5）
けいさつ（子供・小5）
とくに困ったり悩んでない（子供・小5）
犬（子供・小5）
相談できる人はいるけど、しない（子供・小5）
ノート（子供・小5）
とうこうサポートスタッフの人（子供・小5）
ぬいぐるみ（子供・小5）
犬（子供・小5）
そもそもこまったりしない（子供・小5）
ペット（子供・小5）
ままの友だち（子供・中2）
チャットGPT（子供・中2）
相談しない（子供・中2）
自分（子供・中2）
地域の大学の相談員（学生さん）（子供・中2）
相談しない（子供・中2）
そのような出来事は経験していない（子供・中2）
チャット AI（子供・17 歳）
トレーナー（子供・17 歳）
精神科の先生（子供・17 歳）
ChatGPT（子供・17 歳）
恋人（子供・17 歳）
Google Gemini（子供・17 歳）
かかりつけ医（子供・17 歳）

（子供：共通）問 39.【問 38 で「友達や先輩」～「NPO 法人、ボランティアの人」「その他」と答えた方にお聞きします。】
あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。（1つだけ）

【全体】
「5人以上」が 56.0%で最も高く、次いで、「3人」が 14.9%、「2人」が 12.9%である。

【学年別】
いずれの学年でも「5人以上」が最も高い。

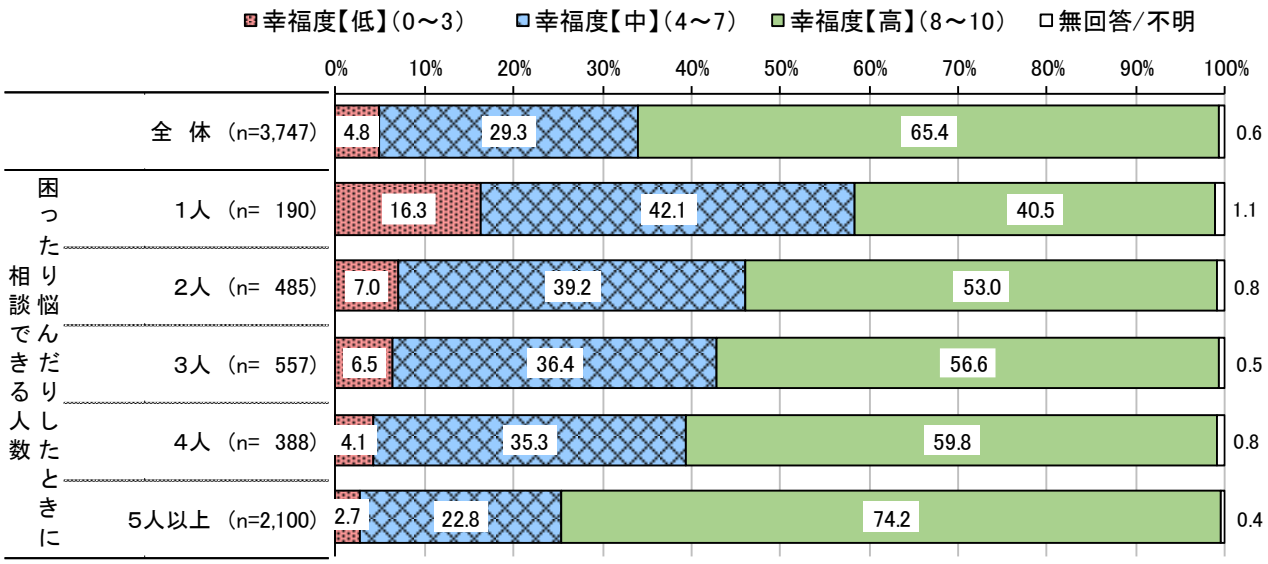
図表 1-174　困ったり悩んだりしたときに相談できる人数　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「困ったり悩んだりしたときに相談できる人数」の回答別に子供の幸福度をみると、相談できる人数が増えるほど幸福度【高】(8～10)は増加傾向である。

図表 1-175 子供の幸福度(「困ったり悩んだりしたときに相談できる人数」の回答別)



（子供：共通）問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。

（それぞれ1つ）

（A　起きる時間）

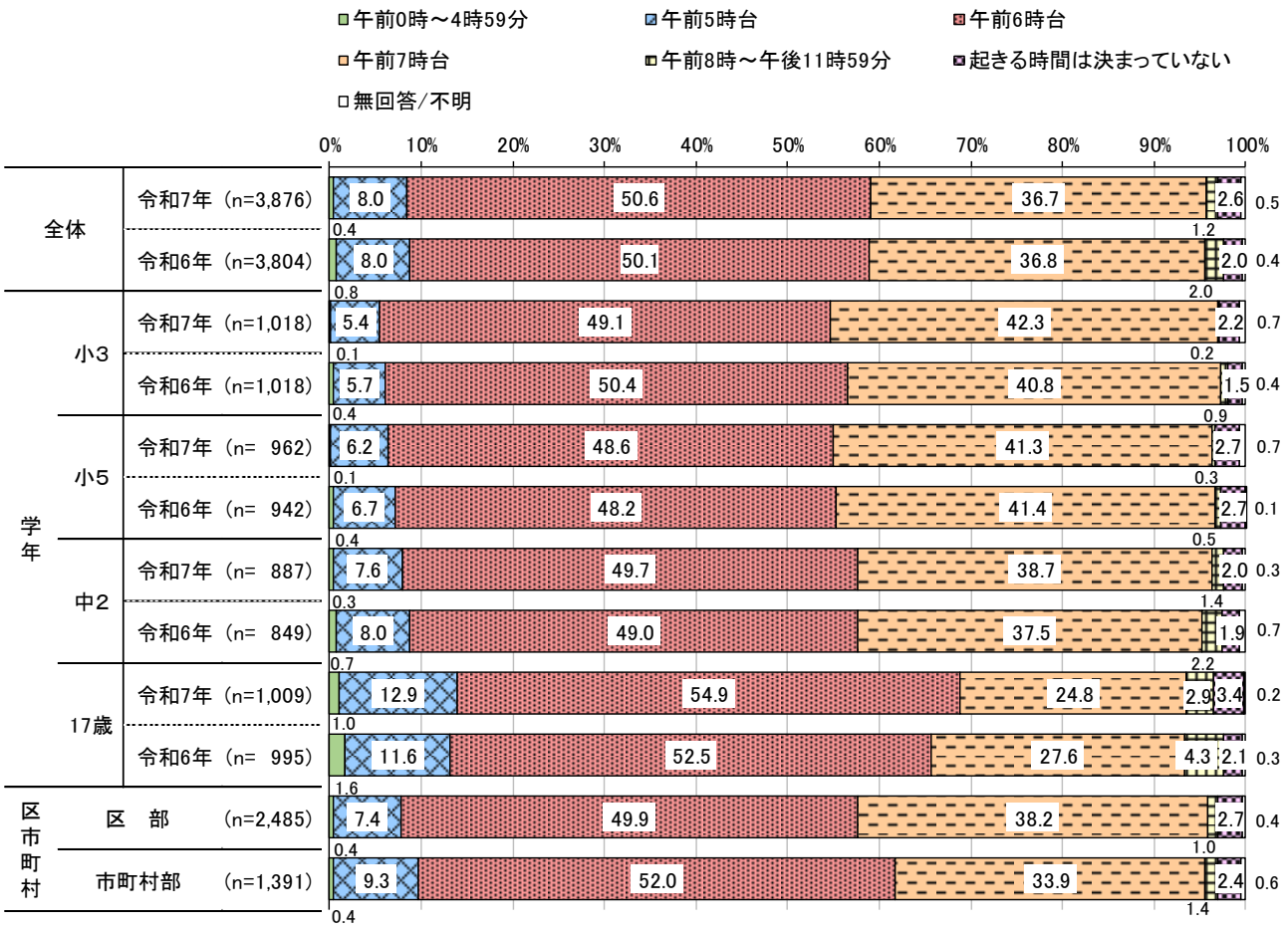
【全体】

「午前6時台」が 50.6％で最も高く、次いで「午前7時台」が 36.7％、「午前5時台」が 8.0％である。

【学年別】

いずれの学年でも「午前6時台」が最も高く、17 歳では 54.9％である。

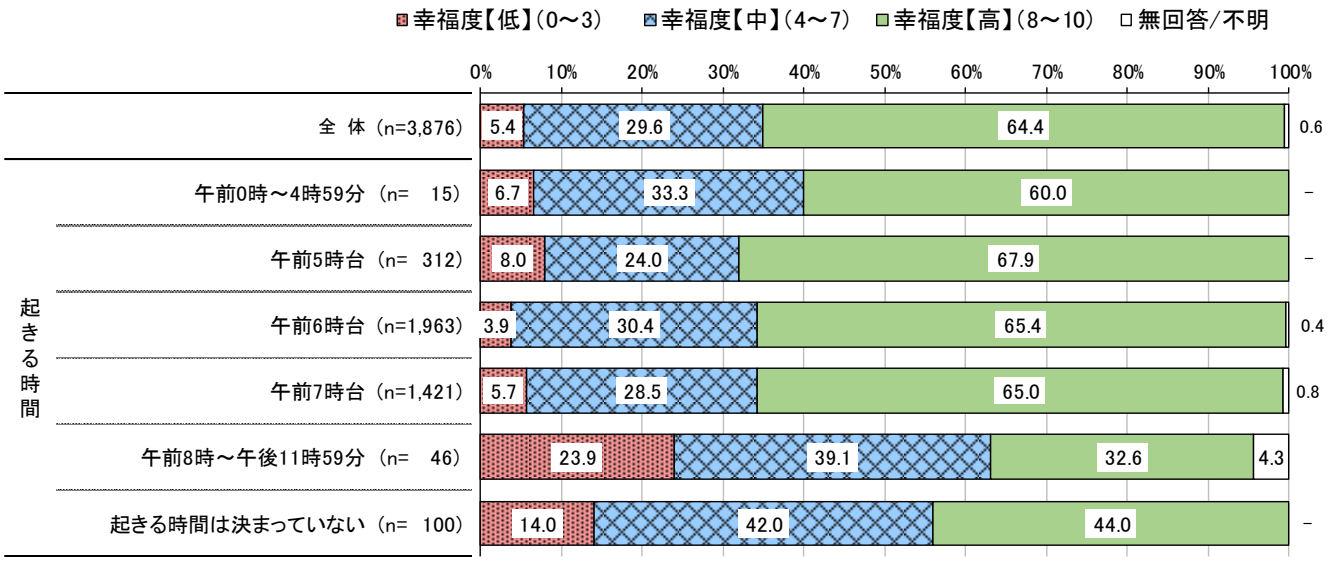
図表 1-176　A　起きる時間　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「起きる時間」の回答別に子供の幸福度をみると、幸福度【高】(8～10)が「午前5時台」で 67.9%である。「起きる時間は決まっていない」では、幸福度【高】(8～10)が 44.0%である。

図表 1-177　子供の幸福度(「起きる時間」の回答別)



（子供：共通）問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）

（B　寝る時間）

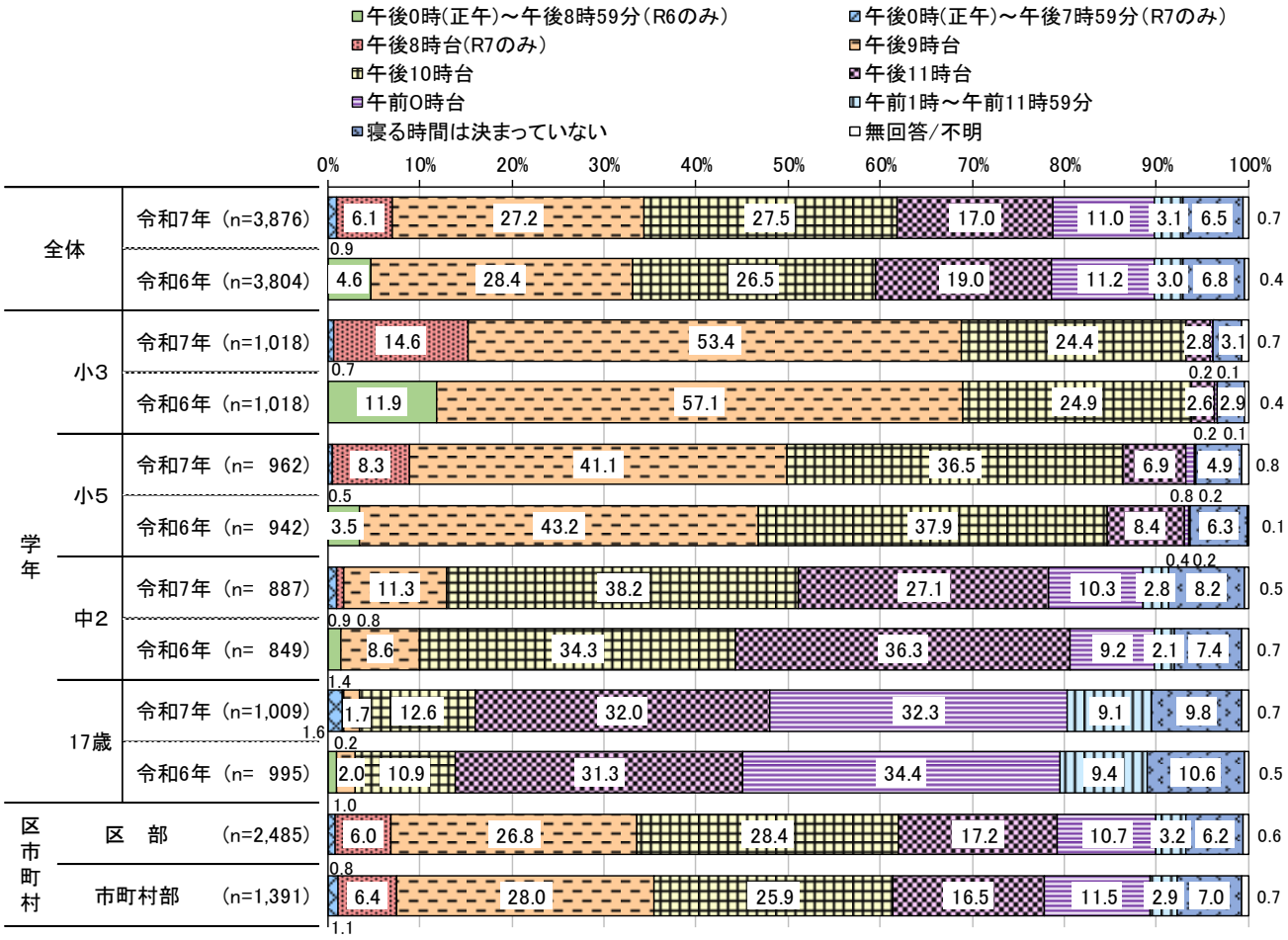
【全体】

「午後 10 時台」が 27.5％で最も高く、次いで「午後9時台」が 27.2％、「午後 11 時台」が 17.0％である。

【学年別】

小3、小5では「午後9時台」がそれぞれ 53.4％、41.1％で最も高く、中2では「午後 10 時台」が 38.2％、17 歳では「午前0時台」が 32.3％でそれぞれ最も高い。

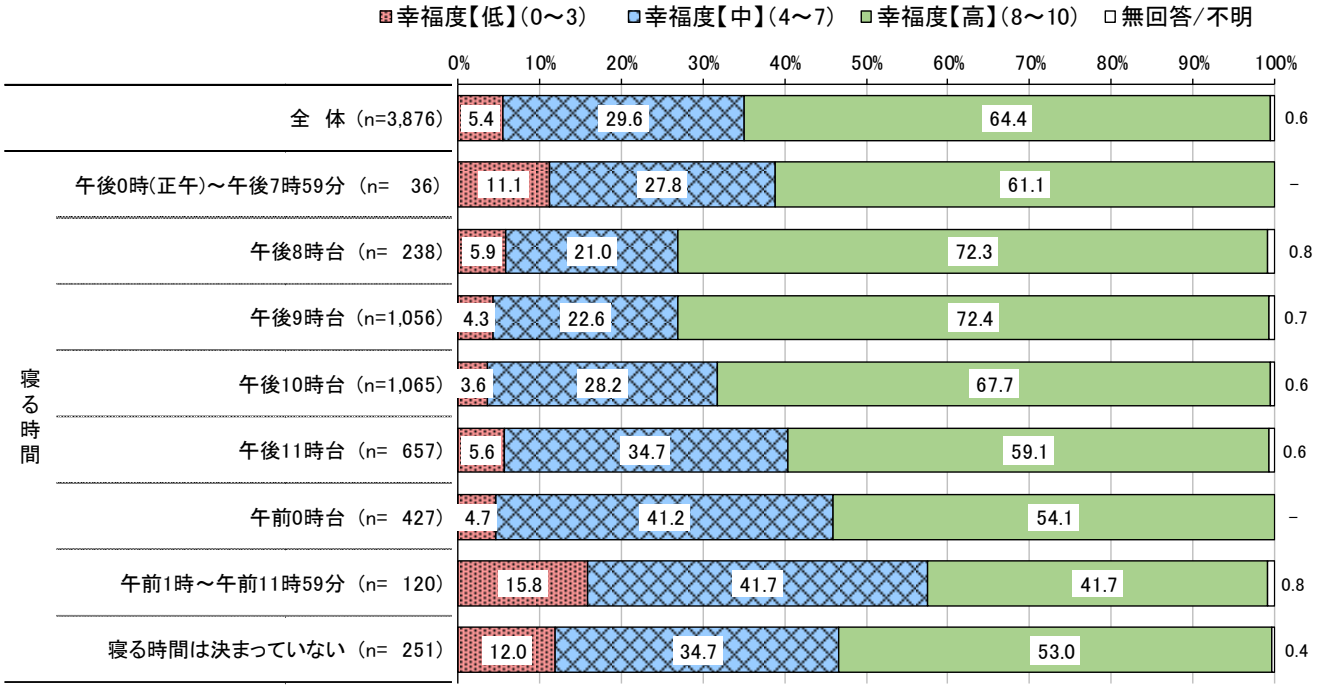
図表 1-178　B　寝る時間　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「寝る時間」の回答別に子供の幸福度をみると、午後9時台からは就寝時間が遅くなるほど、幸福度【高】(8～10)が減少傾向である。

図表 1-179　子供の幸福度(「寝る時間」の回答別)



（子供：共通）問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を参考に算出した。

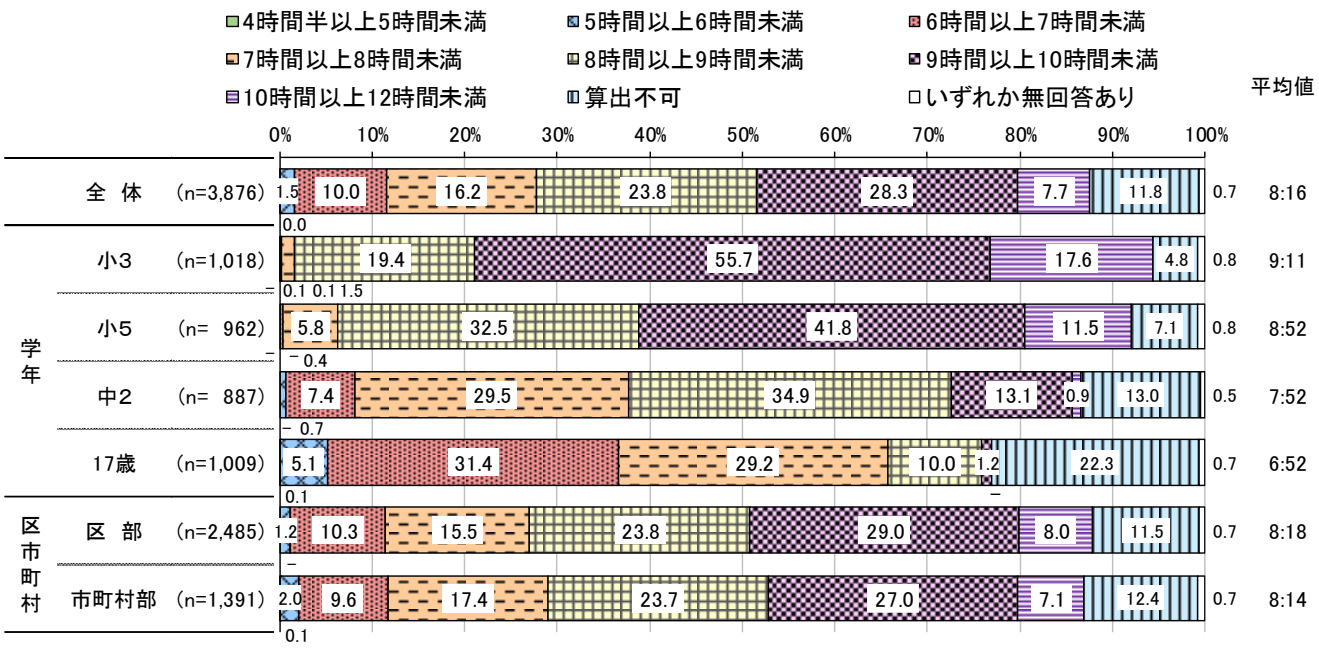
【全体】

睡眠時間は、「9時間以上 10 時間未満」が 28.3%、「8時間以上9時間未満」が 23.8%である。平均値は 8:16 である。

【学年別】

小3、小5では「9時間以上 10 時間未満」が、中2では「8時間以上9時間未満」が、17 歳では「6時間以上7時間未満」が、それぞれ最も高い。睡眠時間の平均値は、学年が上がるにつれて短くなる傾向がある。

図表 1-180 睡眠時間 ＜単一回答＞



※睡眠時間は、「A 起きる時間」の「午前5時～5時 29 分」～「午前8時 30 分～8時 59 分」と、「B 寝る時間」の「午後8時～8時 29 分」～「午前0時 30 分～0時 59 分」の双方のいずれにも回答がある子供について、それぞれ選択肢の中間値を設定し、差分をとって算出した。

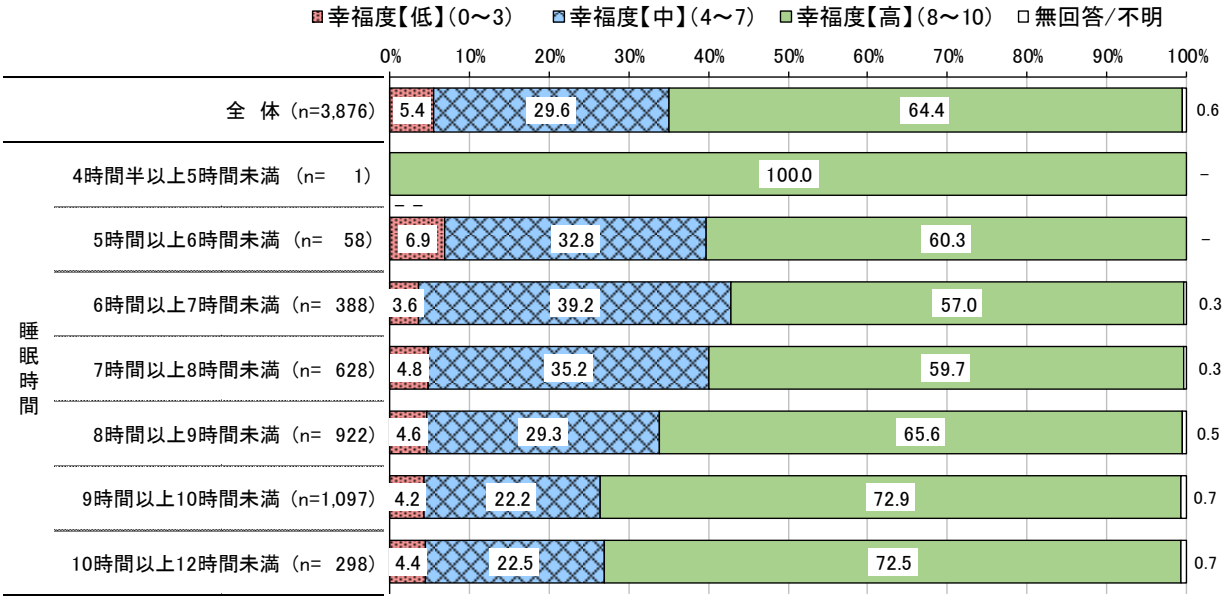
（例）B 寝る時間：午後9時～9時 29 分＝21 時 15 分
A 起きる時間：午前6時～6時 29 分＝6時 15 分
→睡眠時間9時間

なお、時間の幅が他の選択肢に比べて大きく中間値を設定できないため、「A 起きる時間」の「午前0時～4時 59 分」「午前9時～午前 11 時 59 分」～「起きる時間は決まっていない」と、「B 寝る時間」の「午後0時(正午)～午後7時 59 分」「午前1時～午前 11 時 59 分」「寝る時間は決まっていない」のいずれかを選択した子供は、「算出不可」としている。

【子供の幸福度】

「睡眠時間」の回答別に子供の幸福度をみると、睡眠時間が「9 時間以上 10 時間未満」である子供では幸福度【高】(8～10)が 72.9%である。

図表 1-181 子供の幸福度(「睡眠時間」の回答別)



（子供：共通）問 41. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

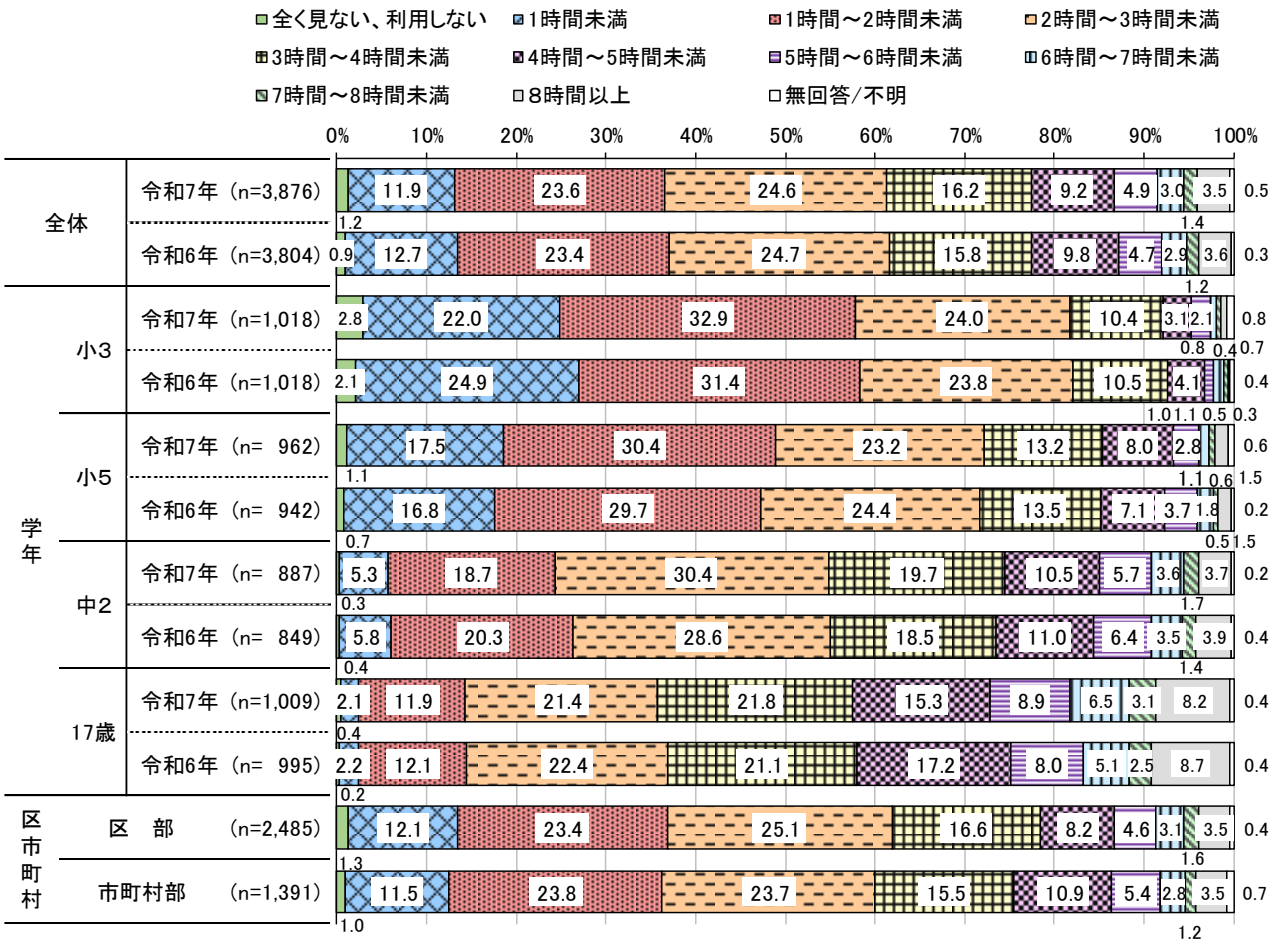
【全体】

「2時間～3時間未満」が 24.6％で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が 23.6％、「3時間～4時間未満」が 16.2％である。

【学年別】

小3、小5では「1時間～2時間未満」がそれぞれ 32.9％、30.4％で最も高い。中2では「2時間～3時間未満」が 30.4％、17 歳では「3時間～4時間未満」が 21.8％でそれぞれ最も高い。

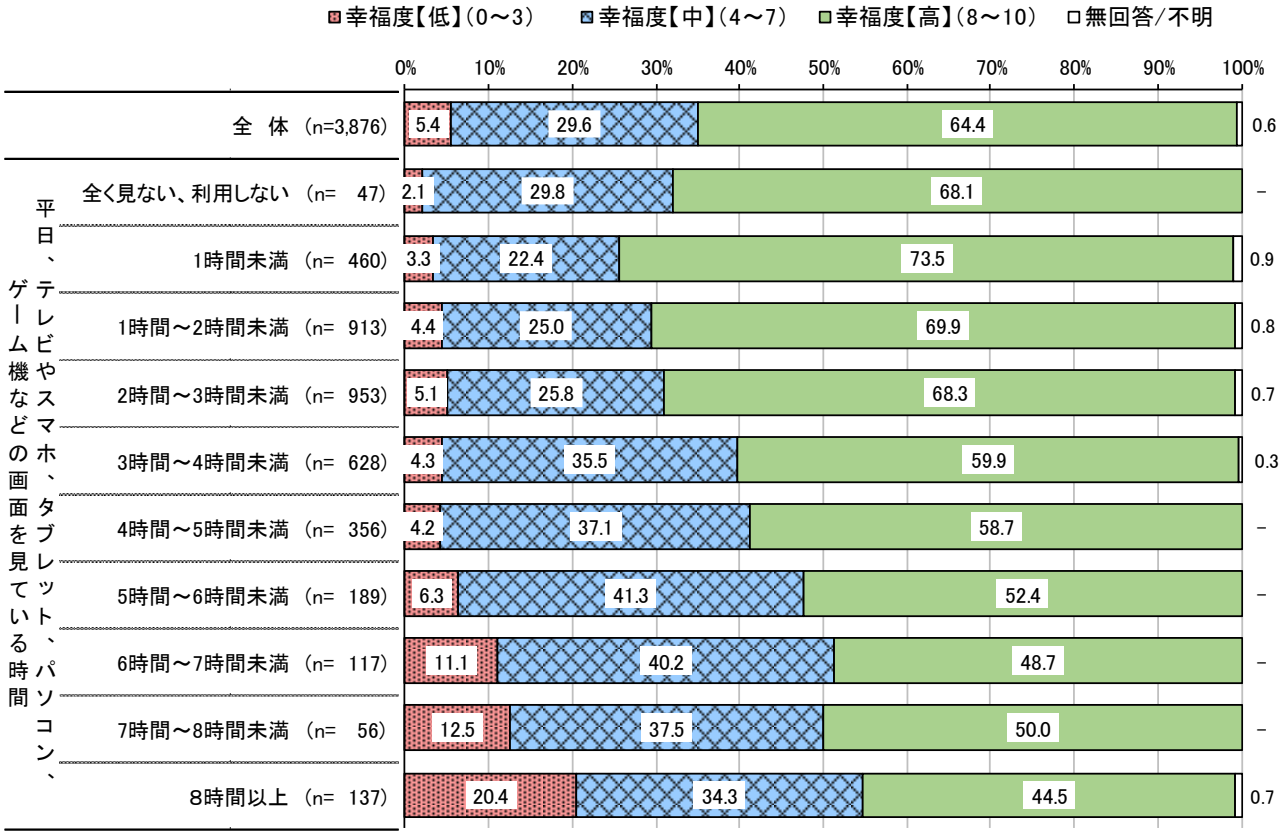
図表 1-182　平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「1時間未満」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 73.5%で、「8時間以上」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)は 44.5%、幸福度【低】(0～3)が 20.4%である。

図表 1-183 子供の幸福度(「平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別)



（子供：共通）問 42. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。

（1つだけ）

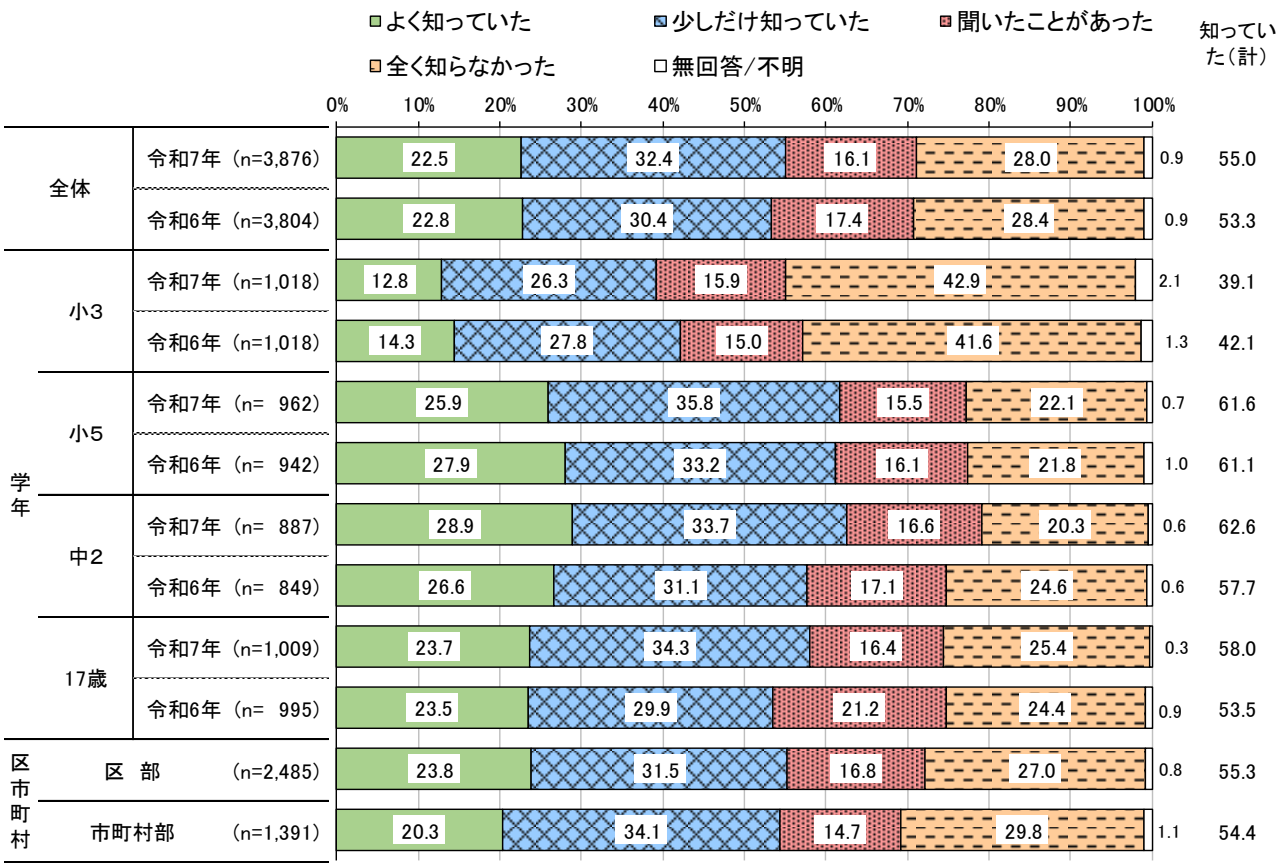
【全体】

「少しだけ知っていた」が 32.4％で最も高く、「全く知らなかった」が 28.0％、「よく知っていた」が 22.5％で続く。子供が権利の主体であることを「知っていた（「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合）」は 55.0％である。

【学年別】

小3では「全く知らなかった」が 42.9％で最も高く、小5、中2、17 歳では「少しだけ知っていた」が最も高い。

図表 1-184 子供が権利の主体であることの認知度 ＜単一回答＞

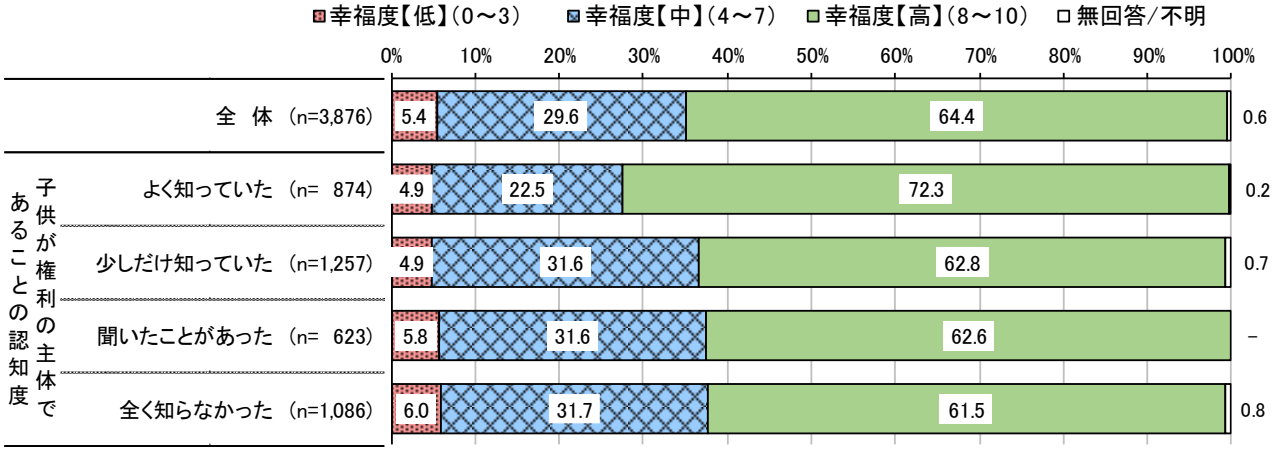


※知っていた（計）は「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「よく知っていた」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 72.3%である。

図表 1-185　子供の幸福度(「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別)



（子供：共通）問 43. 東京都では、子供の権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように「東京都こども基本条例」を定めています。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。（1つだけ）

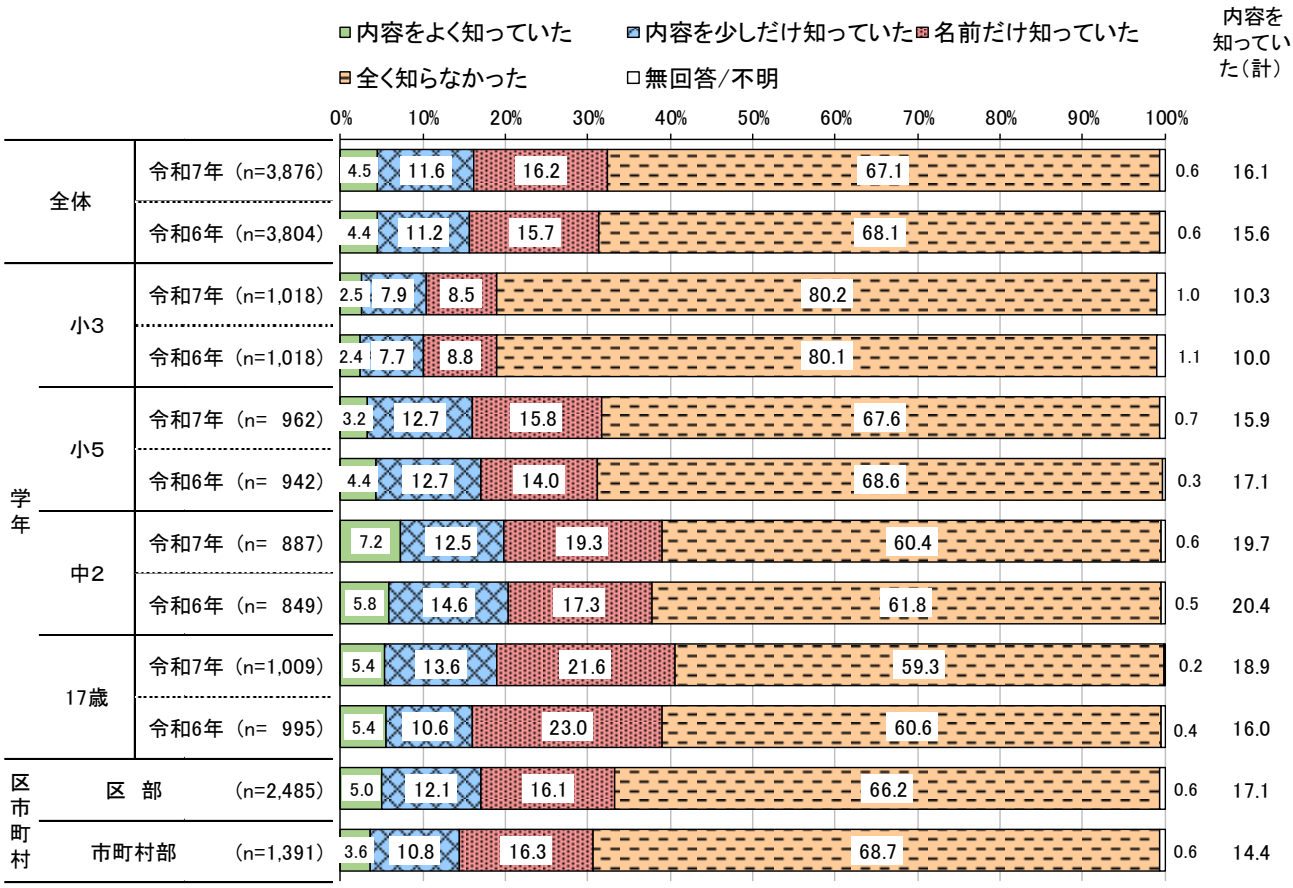
【全体】

内容を知っていた(「内容をよく知っていた」と「内容を少しだけ知っていた」の割合の合計）子供は、16.1％である。「全く知らなかった」が 67.1％であり、次いで「名前だけ知っていた」が 16.2％である。

【学年別】

いずれの学年も「全く知らなかった」が最も高いが、学年が上がるにつれて減少傾向である。

図表 1-186　東京都こども基本条例の認知度　＜単一回答＞

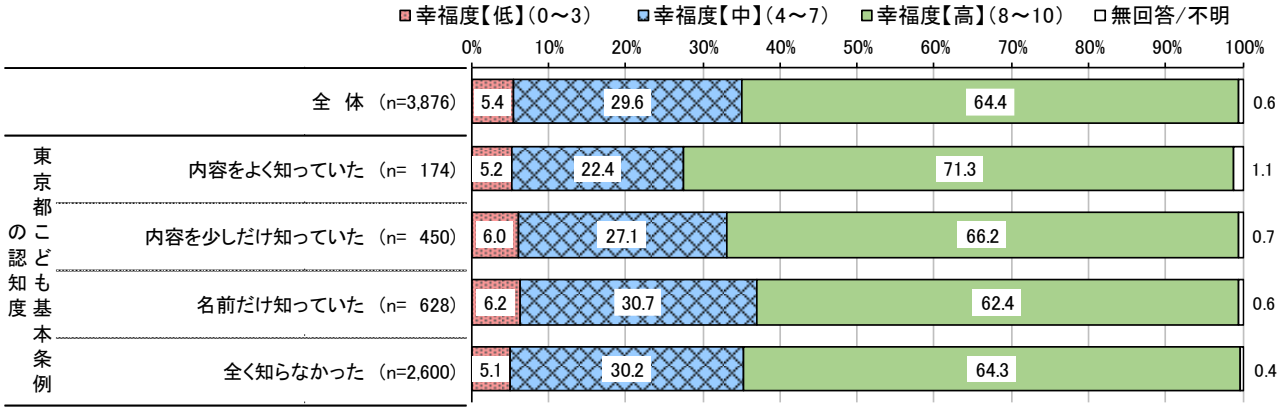


※内容を知っていた（計）は「内容をよく知っていた」及び「内容を少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「東京都こども基本条例の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「内容をよく知っていた」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 71.3%である。

図表 1-187　子供の幸福度(「東京都こども基本条例の認知度」の回答別)



（子供：共通）問 44. あなたは、生成 AI（※）を使用していますか。（1つだけ）
※画像や音声、文章などを学習して、実際に存在するものに似た新しいデータをつくりだす人工知能のこと。ChatGPT や DeepL 翻訳など。

【全体】

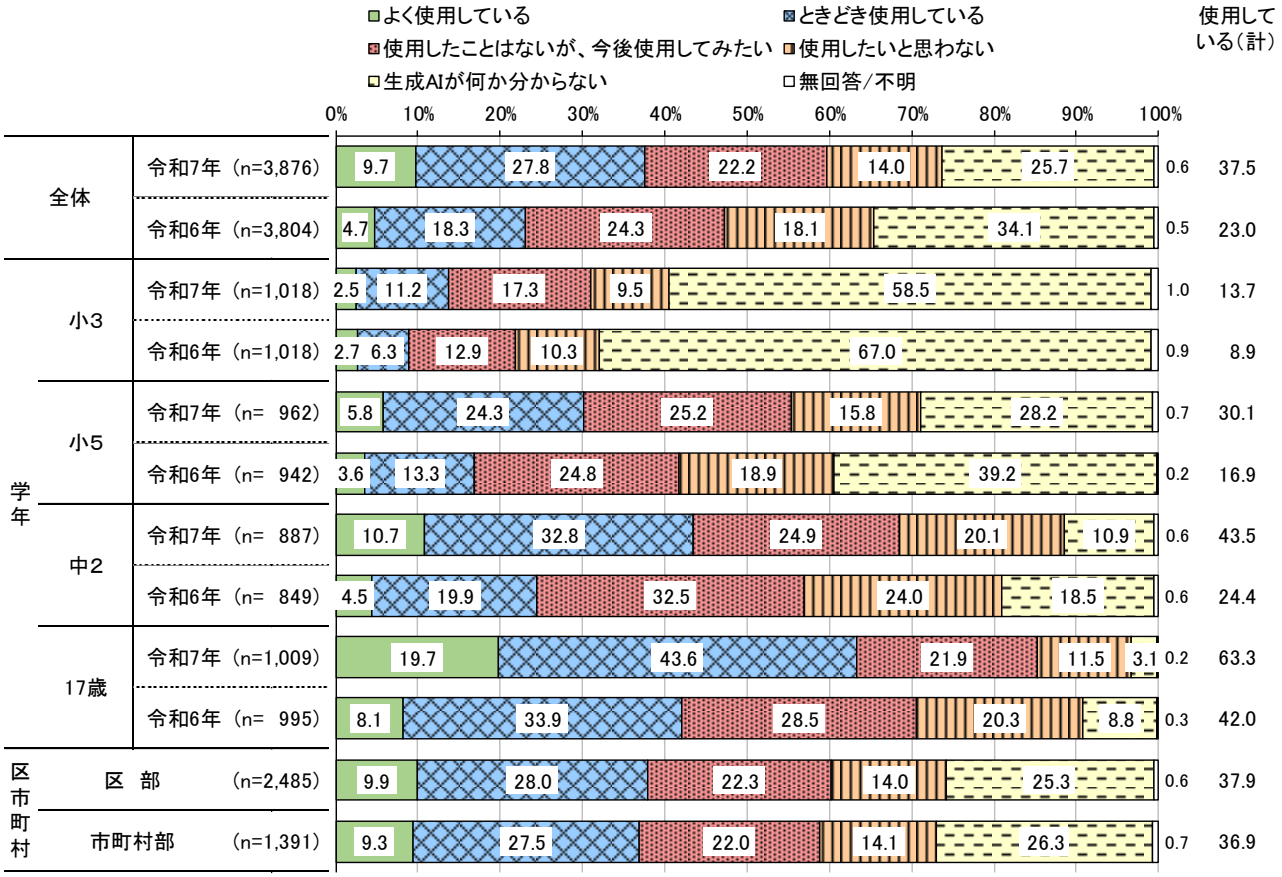
「ときどき使用している」が 27.8％で最も高く、次いで「生成AIが何か分からない」が 25.7％、「使用したことはないが、今後使用してみたい」が 22.2％で続く。使用している（「よく使用している」と「ときどき使用している」の割合）子供は 37.5％である。

【学年別】

小3、小5では「生成AIが何か分からない」がそれぞれ 58.5％、28.2％で最も高く、中2、17 歳では「ときどき使用している」がそれぞれ 32.8％、43.6％で最も高い。また、使用している（「よく使用している」と「ときどき使用している」の割合）は、学年が上がるにつれて増加傾向である。

経年比較でみると、「使用している（計）」は、小5、中2、17 歳ではそれぞれ 13.2 ポイント、19.1 ポイント、21.3 ポイント増加している。また、「生成AIが何か分からない」はすべての学年で減少傾向である。

図表 1-188　生成AIの使用経験　＜単一回答＞

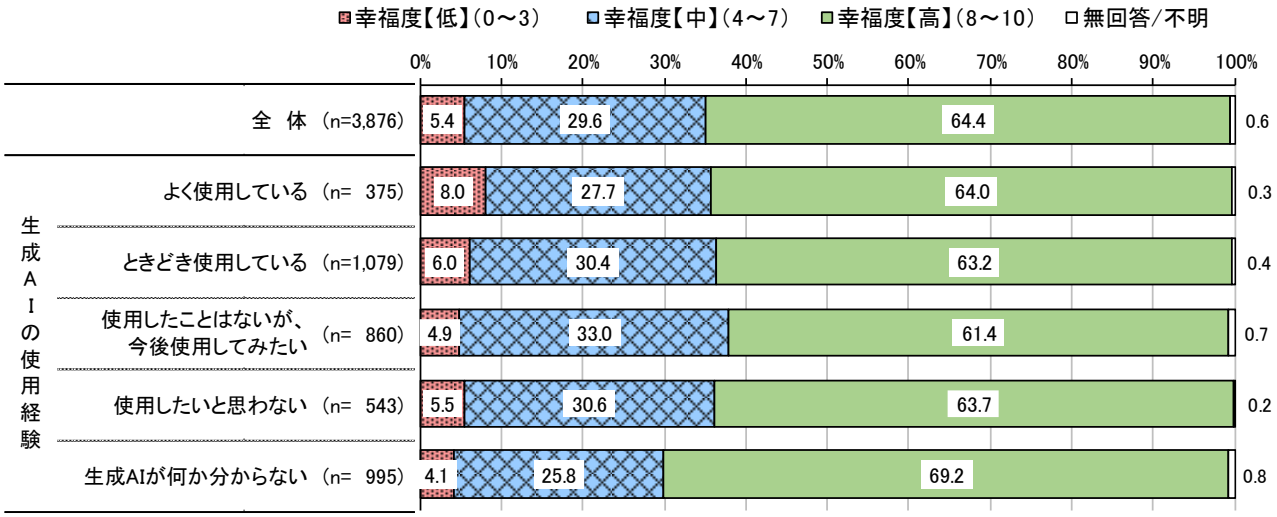


※使用している（計）は「よく使用している」及び「ときどき使用している」の割合。

【子供の幸福度】

「生成AIの使用経験」の回答別に子供の幸福度をみると、「生成AIが何か分からない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 69.2%である。

図表 1-189　子供の幸福度(「生成AIの使用経験」の回答別)



（子供：共通）問 45. あなたは次の言葉についてどれくらい知っていますか。（それぞれ1つ）
（A　性自認）

【全体】

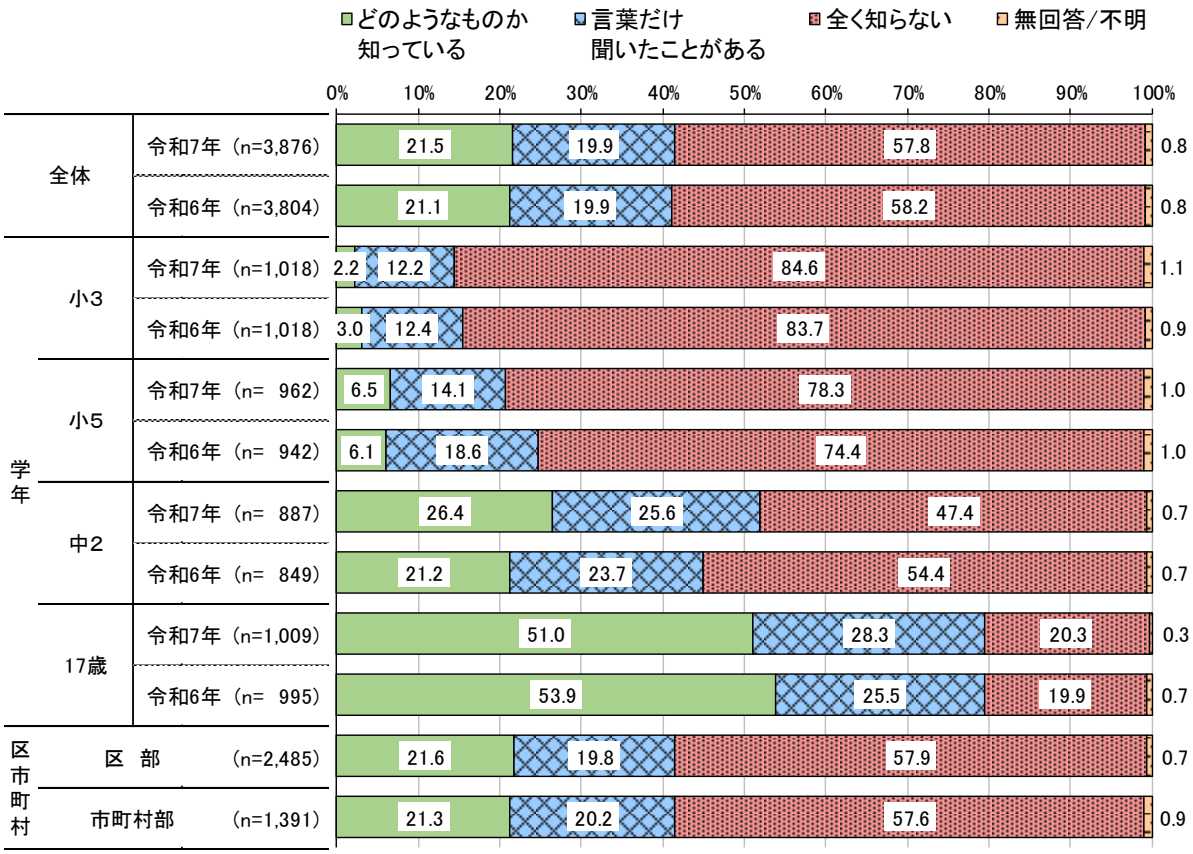
「全く知らない」が 57.8％で最も高く、「どのようなものか知っている」が 21.5％、「言葉だけ聞いたことがある」は 19.9％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「全く知らない」が最も高いが、17 歳では「どのようなものか知っている」が最も高い。また、「どのようなものか知っている」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

経年比較でみると、中2では「どのようなものか知っている」が 5.2 ポイント増加し、「全く知らない」が 7.0 ポイント減少している。

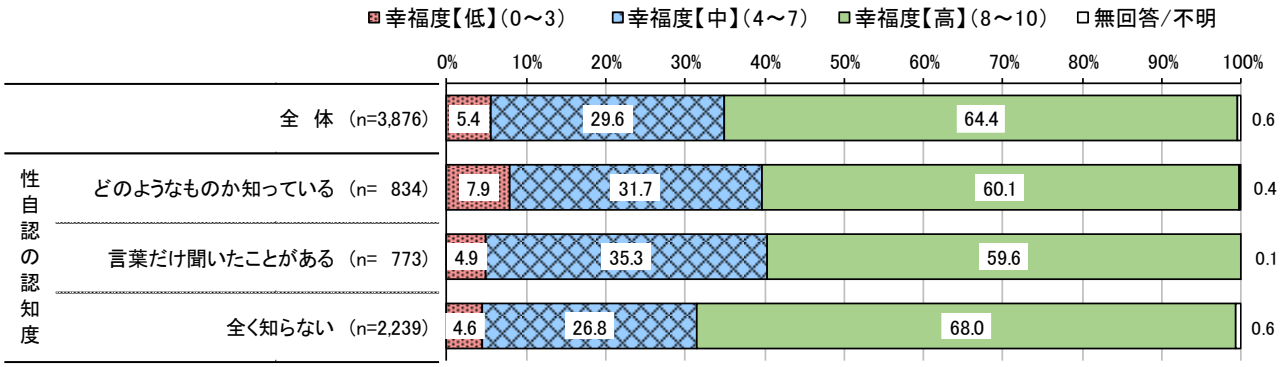
図表 1-190　A 性自認の認知度 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「性自認の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「全く知らない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が68.0%である。

図表 1-191　子供の幸福度(「性自認の認知度」の回答別)



（子供：共通）問 45. あなたは次の言葉についてどれくらい知っていますか。（それぞれ1つ）
（B　性的指向）

【全体】

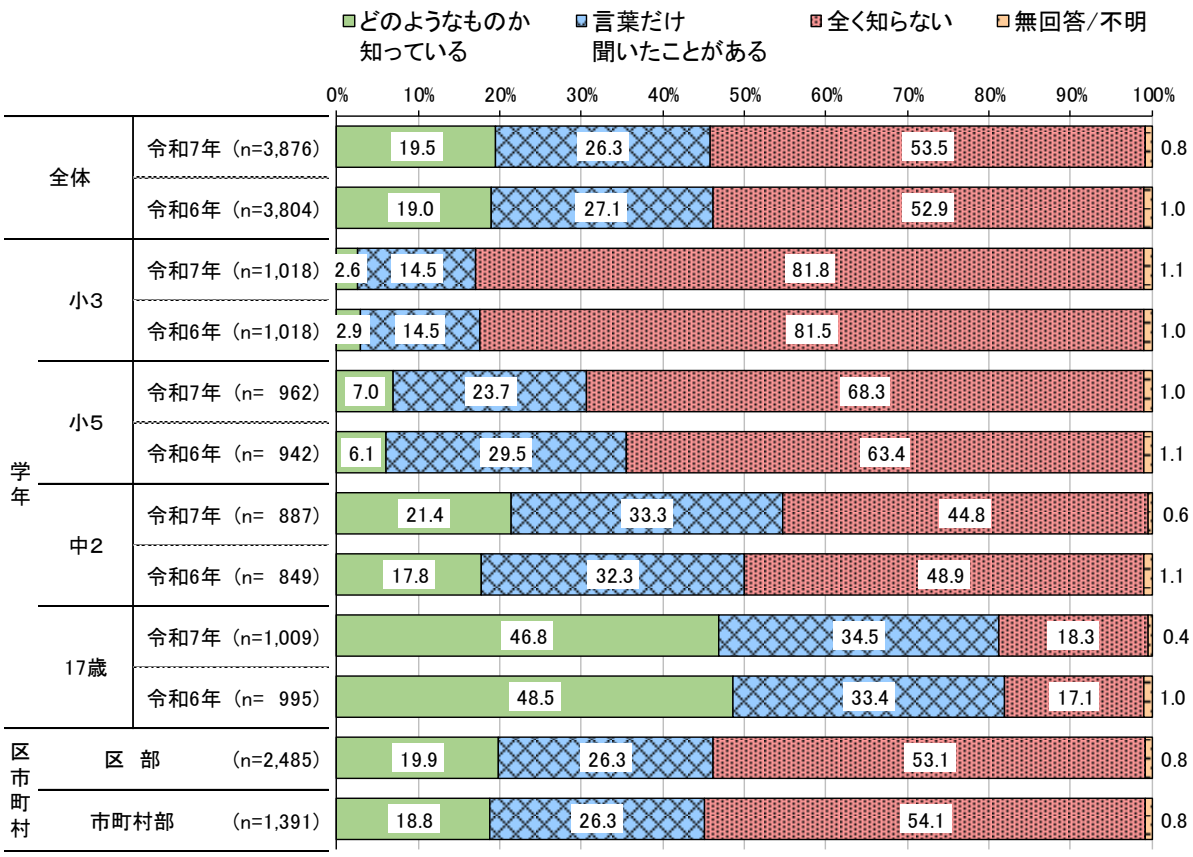
「全く知らない」が 53.5％で最も高く、「言葉だけ聞いたことがある」が 26.3％、「どのようなものか知っている」が 19.5％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「全く知らない」が最も高いが、17 歳では「どのようなものか知っている」が最も高い。また、「どのようなものか知っている」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

経年比較でみると、小5では「言葉だけ聞いたことがある」が 5.8 ポイント減少している。

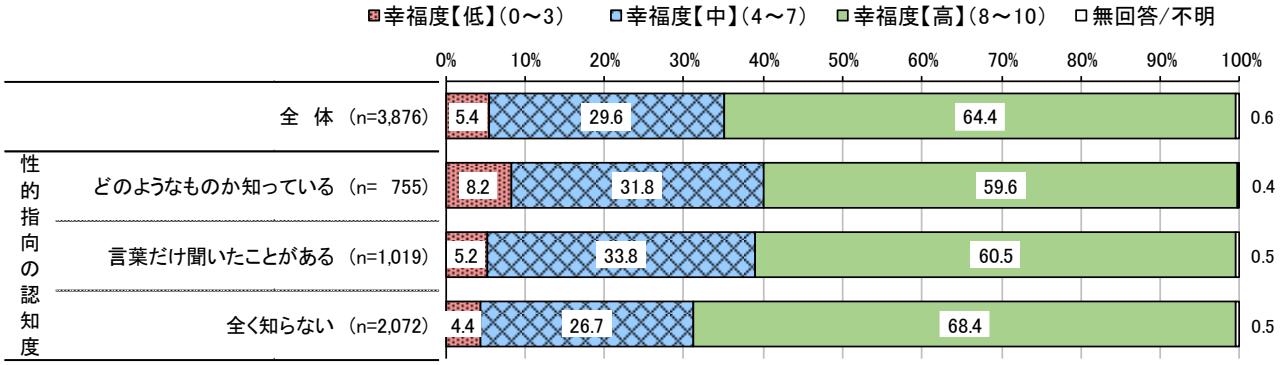
図表 1-192　B 性的指向の認知度 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「性的指向の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「全く知らない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 68.4%である。

図表 1-193　子供の幸福度(「性的指向の認知度」の回答別)



（子供：共通）問 45. あなたは次の言葉についてどれくらい知っていますか。（それぞれ1つ）
（C　LGBTQ）

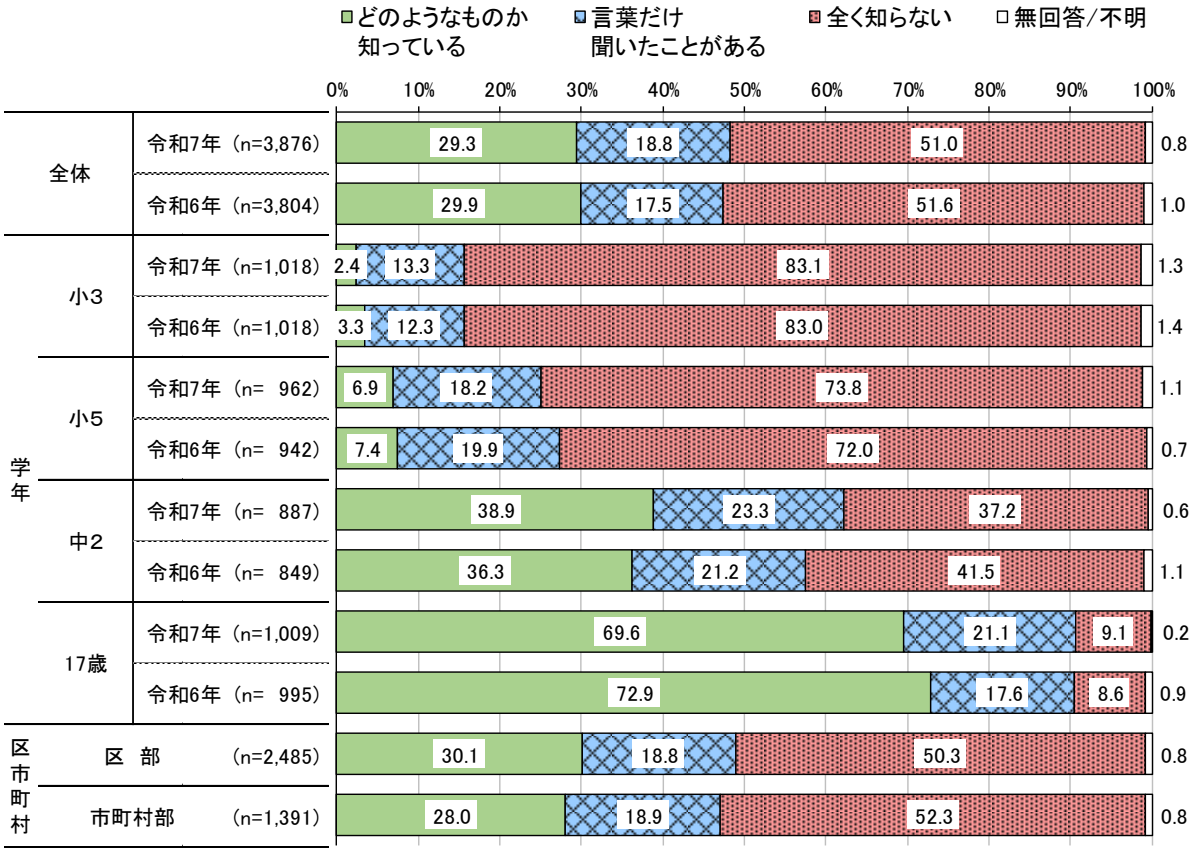
【全体】

「全く知らない」が 51.0％で最も高く、「どのようなものか知っている」が 29.3％、「言葉だけ聞いたことがある」が 18.8％である。

【学年別】

小3、小5では「全く知らない」が最も高いが、中2、17 歳では「どのようなものか知っている」が最も高い。「どのようなものか知っている」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

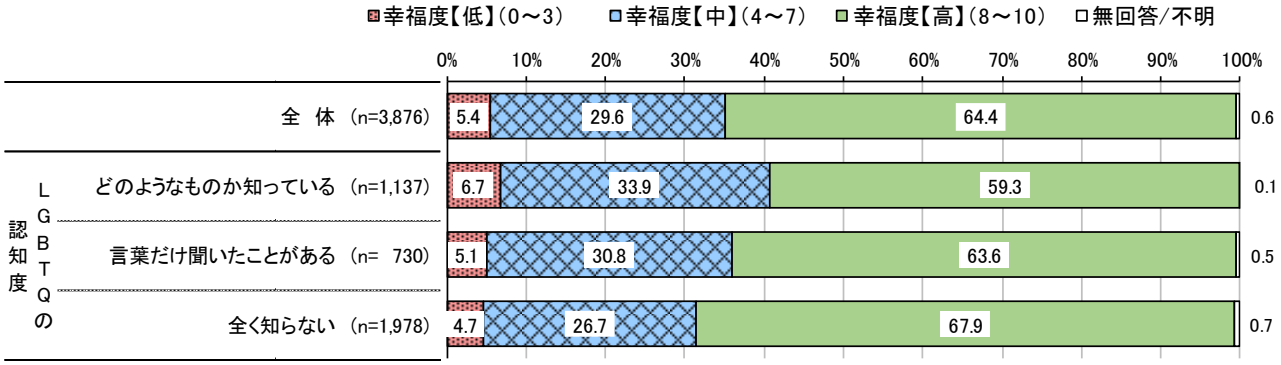
図表 1-194　C　LGBTQの認知度　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「LGBTQの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「全く知らない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 67.9%である。

図表 1-195　子供の幸福度(「LGBTQの認知度」の回答別)



2. 保護者編

（保護者：共通）問1．あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか。（1 つだけ）

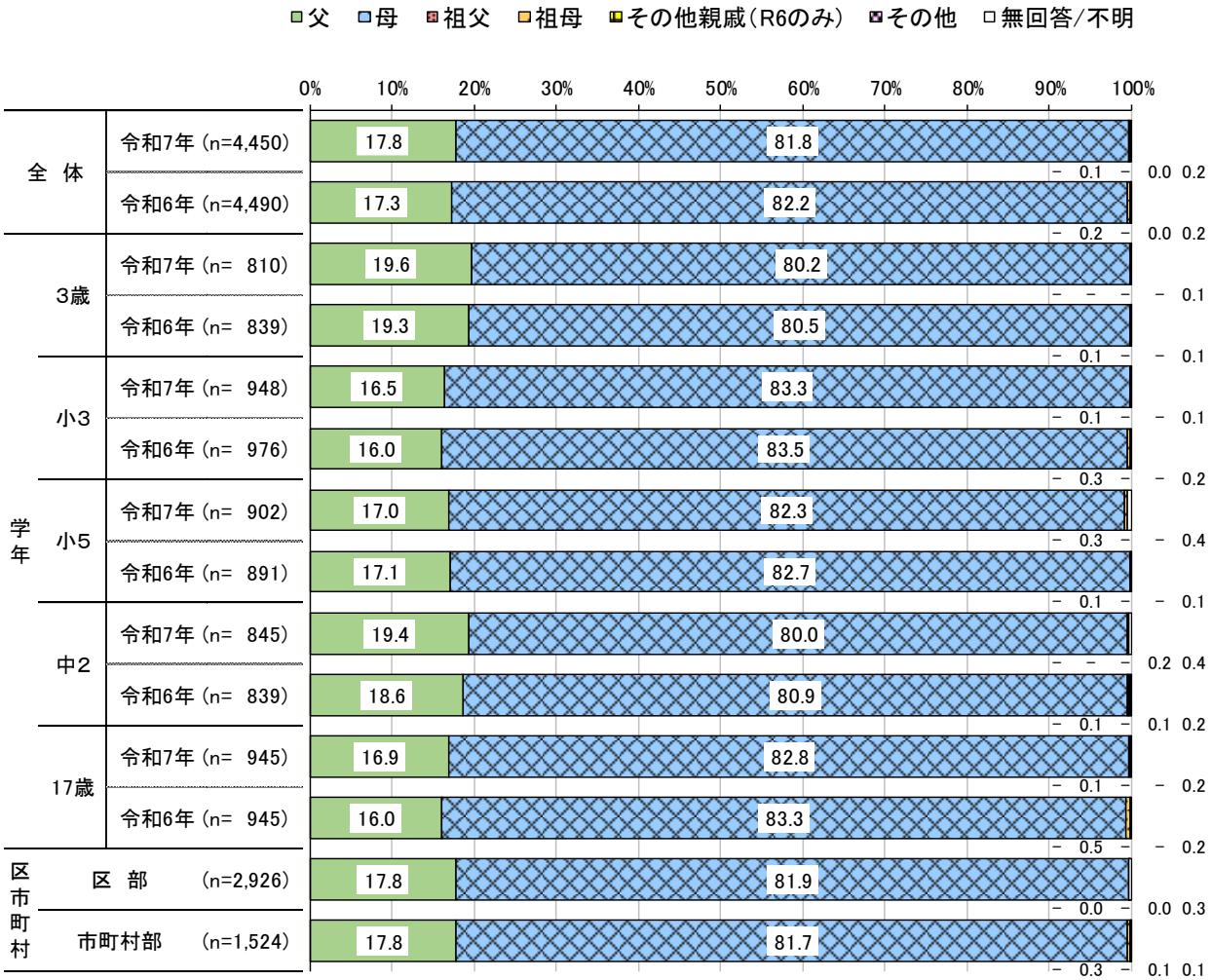
【全体】

「母」が 81.8％で最も高く、次いで「父」が 17.8％である。

【学年別】

いずれの学年でも「母」が 80.0％以上で、最も高い。

図表 2-1 あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか ＜単一回答＞



（保護者：共通）問2（1）．お子様と同居している方を教えてください。（いくつでも）
選択肢は調査対象のお子様から見た続柄で回答してください。

【全体】

「父」が 88.3%、「母」が 87.9%であり、「きょうだい」が 70.8%で続く。

【学年別】

3歳では、「父」が 93.3%で最も高く、次いで「母」が 87.3%である。学年が上がるにつれて「父」が少しずつ低くなり、17 歳では 82.6%。

経年比較でみると、3歳で 6.8 ポイント、小3で 6.1 ポイント「きょうだい」が減少している。

【区市町村別】

市町村部は「きょうだい」が 75.1%で、区部に比べて 6.6 ポイント高い。

図表 2-2 お子様と同居している方 ＜複数回答＞

(%)

			n	父	母	祖父	祖母	きょうだい	その他	無回答/不明
全体		令和7年	4,450	88.3	87.9	4.1	7.0	70.8	1.4	0.6
		令和6年	4,490	88.0	88.3	4.6	7.7	74.9	1.3	0.7
学年	3歳	令和7年	810	93.3	87.3	2.0	4.0	55.2	1.1	0.4
		令和6年	839	93.2	86.7	3.8	6.0	62.0	0.8	0.2
	小3	令和7年	948	90.8	89.3	4.0	7.3	73.1	1.3	0.7
		令和6年	976	90.4	90.0	5.0	7.7	79.2	1.6	0.8
	小5	令和7年	902	88.7	89.2	5.4	7.6	74.5	2.1	0.7
		令和6年	891	88.6	87.5	3.8	8.3	78.6	0.8	0.7
	中2	令和7年	845	86.7	86.5	5.4	8.8	74.4	1.4	0.7
		令和6年	839	86.1	89.0	4.9	8.0	77.4	1.5	0.5
	17歳	令和7年	945	82.6	87.0	3.4	7.0	74.9	1.2	0.4
		令和6年	945	82.3	88.1	5.3	8.4	76.1	1.6	1.2
区市町村	区部		2,926	88.6	86.9	3.5	6.6	68.5	1.4	0.6
	市町村部		1,524	87.8	89.8	5.1	7.7	75.1	1.4	0.5

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【自由記述】

その他（お子様と同居している方）
おじ　（保護者・3歳）
叔母　（保護者・3歳）
曾祖父　（保護者・3歳）
いとこ　（保護者・3歳）
伯母　（保護者・小3）
おじ　（保護者・小3）
従兄弟家族　（保護者・小3）
伯父　（保護者・小5）
継母　義妹　（保護者・小5）
叔母　（保護者・小5）
伯母　（保護者・小5）
曾祖母　（保護者・小5）
養父　（保護者・小5）
曾祖母　（保護者・小5）
姪　（保護者・中2）
母の姉　（保護者・中2）
叔母　（保護者・中2）
母のパートナー　（保護者・中2）
伯母　（保護者・中2）
叔父　（保護者・中2）
学校の寮　（保護者・17 歳）
伯父　（保護者・17 歳）
叔父・叔母　（保護者・17 歳）
叔父　（保護者・17 歳）
母のパートナー　（保護者・17 歳）
叔母　（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問2（1）．また、お子様のきょうだいが同居している場合は、その人数を選択肢5のカッコ内に数字で記入してください。

【全体】

同居のきょうだい人数は、「1人」が 70.3％で最も高く、平均値は 1.38 人である。

【学年別】

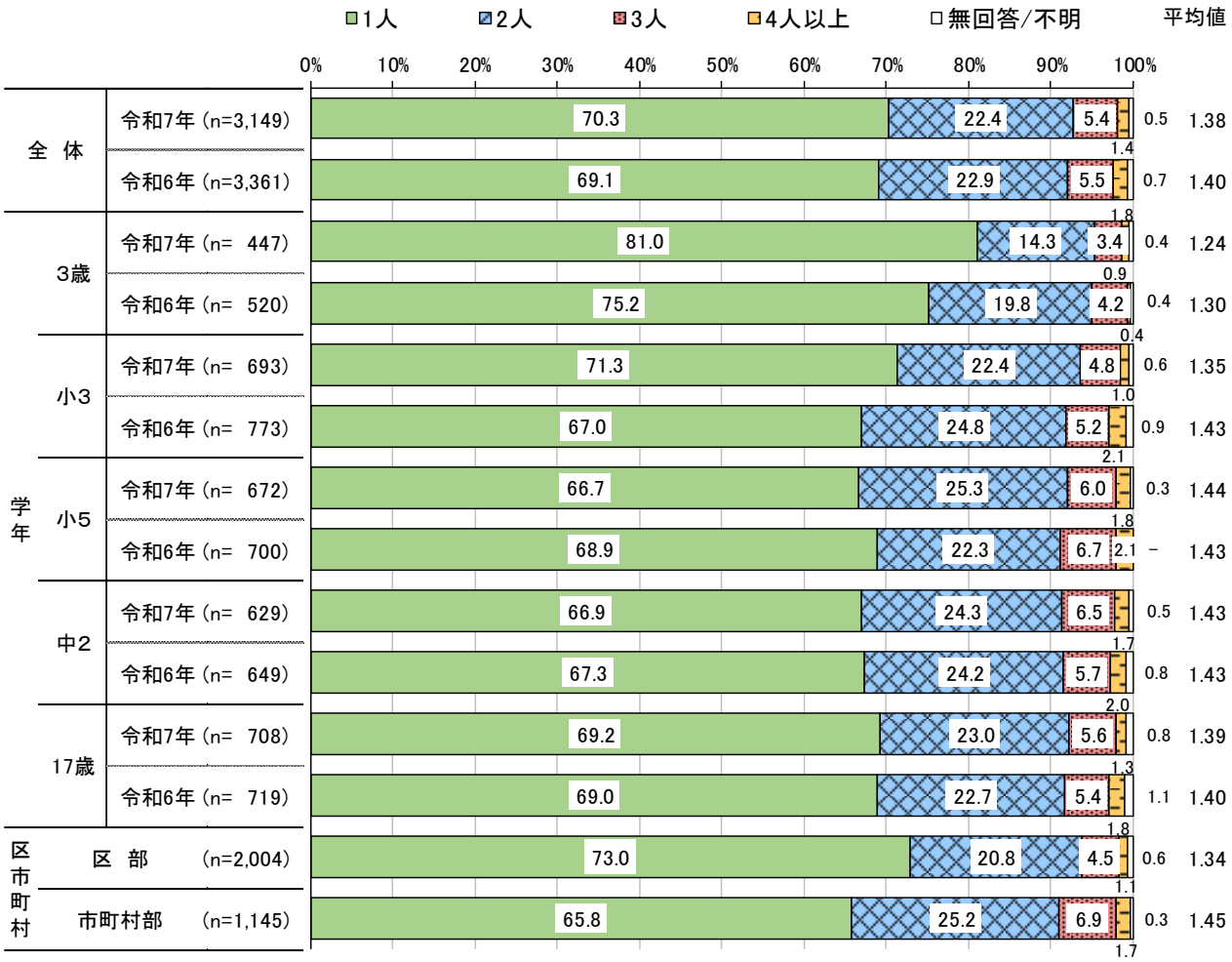
3歳では「1人」が 81.0％で最も高く、平均値は 1.24 人である。

経年比較でみると、3歳で「1人」が 5.8 ポイント増加している。

【区市町村別】

区部は「1人」が 73.0％で、市町村部に比べて 7.2 ポイント高い。

図表 2-3 同居しているきょうだいの人数 ＜数値回答＞



（保護者：共通）問2（2）．お子様と同居している方は、お子様自身とあなたを含めて合計で何人か、カッコ内に数字で記入してください。

【全体】

同居している人数は、「4人」が 44.6％で最も高く、平均値は 3.98 人である。

【学年別】

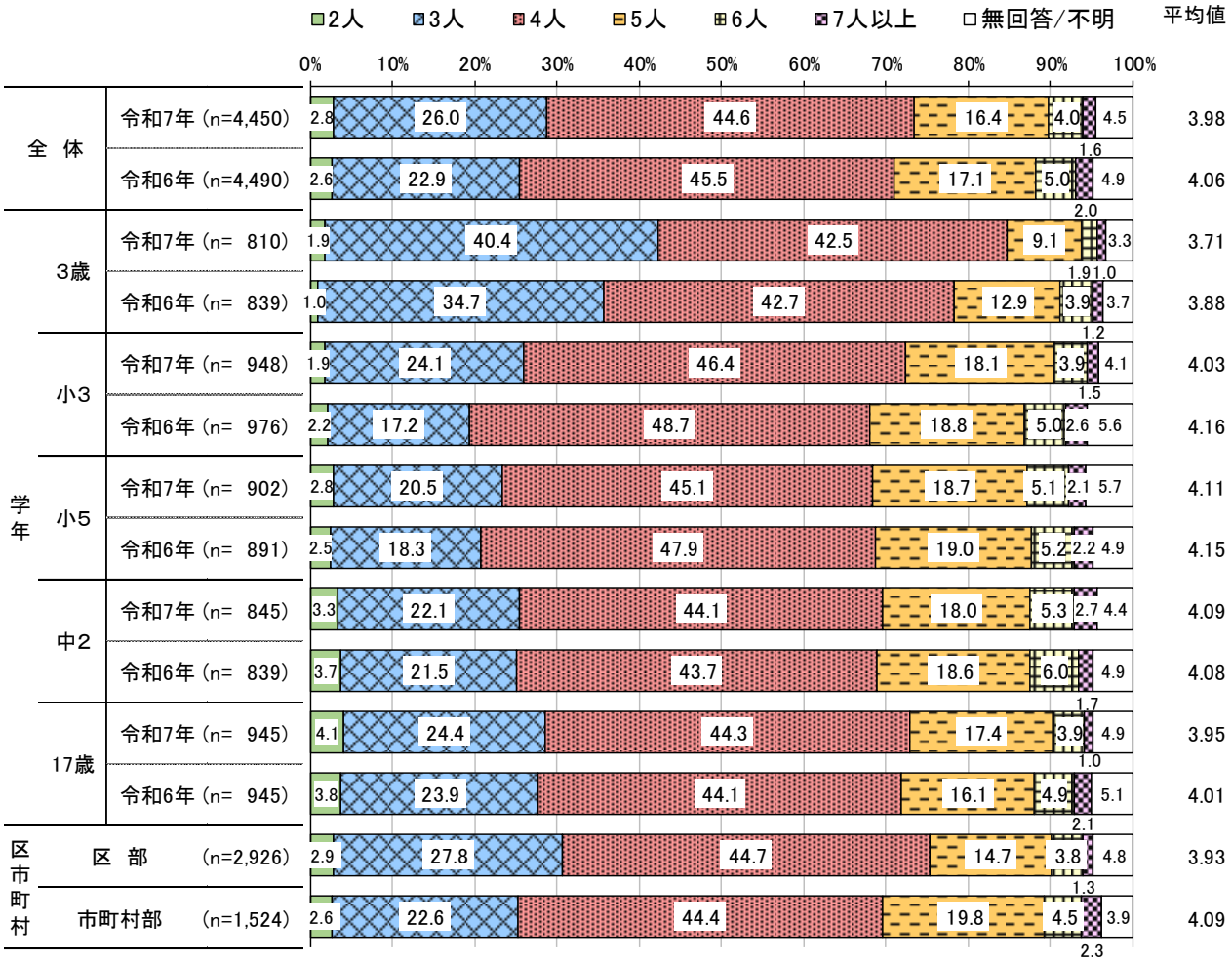
いずれの学年でも「4人」が最も高い。3歳では、「3人」が 40.4％で、他の学年より 16 ポイント以上高い。

経年比較でみると、3歳で「3人」が 5.7 ポイント増加している。

【区市町村別】

区部は「3人」が市町村部に比べて 5.2 ポイント高く、市町村部は「5人」が区部に比べて 5.1 ポイント高い。

図表 2-4 お子様と同居している人数 ＜数値回答＞



（保護者：共通）問3.　あなたとお子様が現在住んでいるお住まいを教えてください。（1 つだけ）

【全体】

「持ち家・一戸建」が 45.9％で最も高く、次いで「持ち家・集合住宅」が 24.7％、「賃貸・集合住宅」が 23.7％と続く。

【学年別】

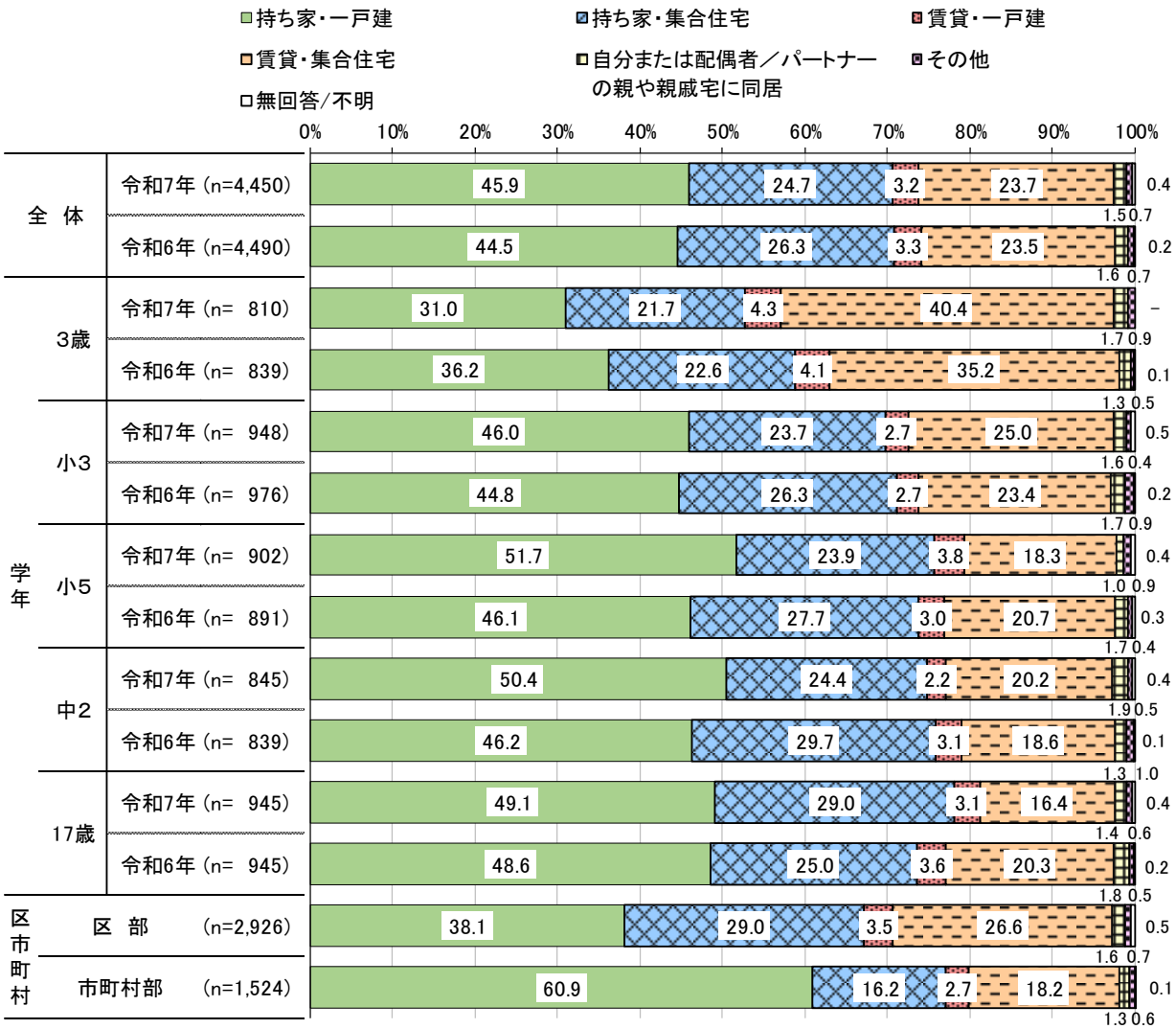
3歳では「持ち家・一戸建」が 31.0％で、他の学年より 15 ポイント以上低いが、「賃貸・集合住宅」は 40.4％で、他の学年より 15 ポイント以上高い。

経年比較でみると、3歳で「持ち家・一戸建」が 5.2 ポイント減少し、「賃貸・集合住宅」が 5.2 ポイント増加している。小5で「持ち家・一戸建」が 5.6 ポイント増加、中2で「持ち家・集合住宅」が 5.3 ポイント減少している。

【区市町村別】

「持ち家・一戸建」は、市町村部の方が区部より 22.8 ポイント高い。「持ち家・集合住宅」は、区部の方が市町村部より 12.8 ポイント高い。また、「賃貸・集合住宅」は、区部の方が市町村部より 8.4 ポイント高い。

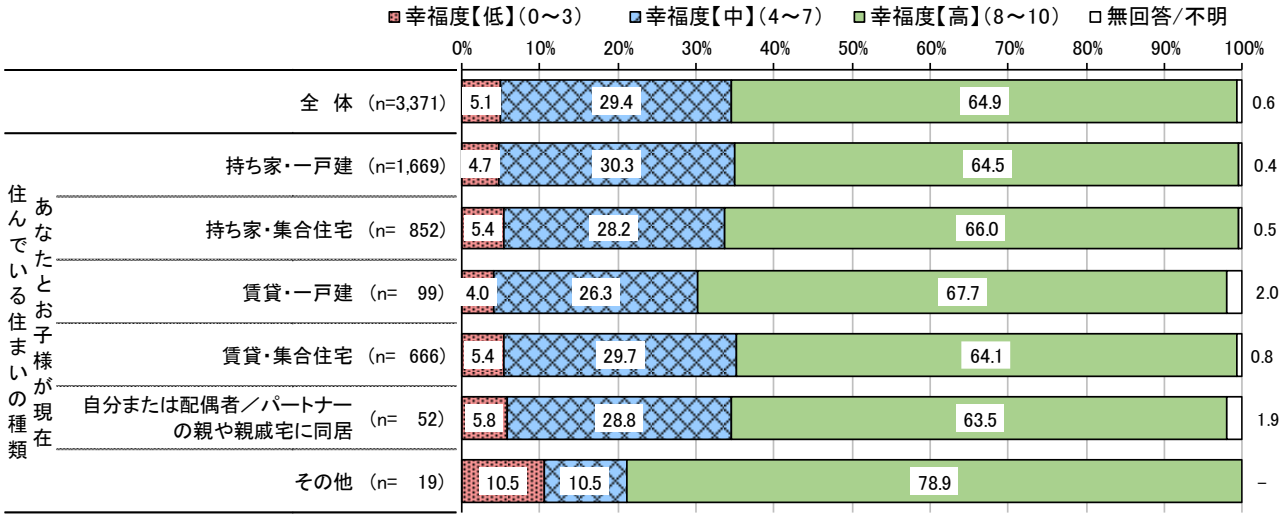
図表 2-5　あなたとお子様が現在住んでいるお住まいの種類　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたとお子様が現在住んでいる住まいの種類」の回答別に子供の幸福度をみると、「賃貸・一戸建」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 67.7%である。

図表 2-6 子供の幸福度(「あなたとお子様が現在住んでいる住まいの種類」の回答別)



【自由記述】

その他（現在住んでいるお住まいの種類）
社宅（保護者・3歳）
社宅（保護者・小3）
官舎（保護者・小3）
親名義の持ち家　集合住宅（保護者・小5）
社宅（保護者・小5）
配偶者の親族所有（保護者・小5）
舎宅（保護者・小5）
親族の持ち家（保護者・小5）
社宅（保護者・中2）
官舎（保護者・中2）
社宅（保護者・17 歳）
官舎（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問4．　現在のお住まいに、お子様の部屋はありますか。（1つだけ）

【全体】

「専用の子供部屋（個室）がある」が 46.0％で最も高く、次いで「子供部屋はない」が 28.0％、「きょうだいと共有の子供部屋がある」は 25.6％である。

【学年別】

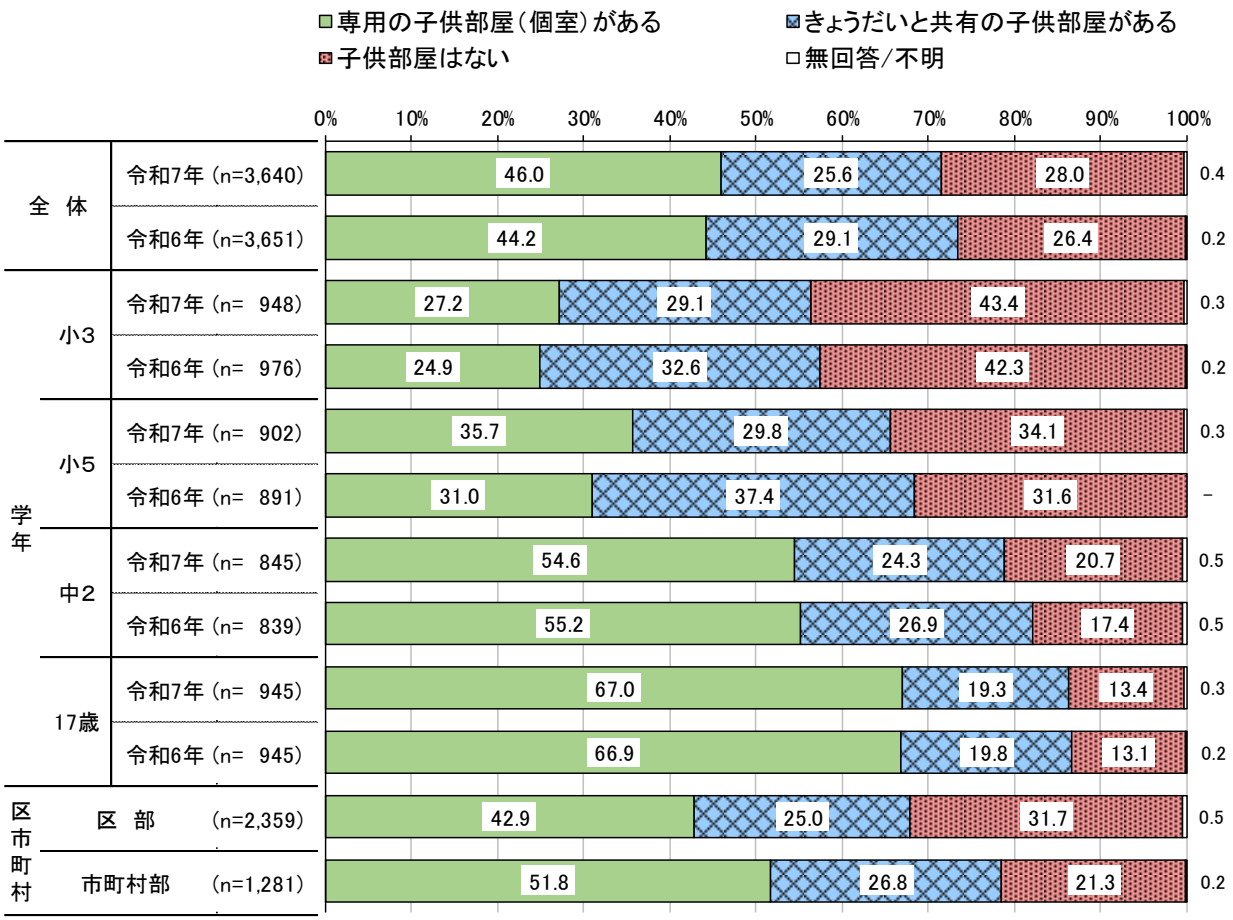
「専用の子供部屋（個室）がある」については、小3では 27.2％、小5では 35.7％、中2では 54.6％、17 歳では 67.0％であり、学年が上がるにつれて高くなる。また、「子供部屋はない」は学年が上がるにつれて低くなる。

経年比較でみると、小5で「きょうだいと共有の子供部屋がある」が 7.6 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部では、「専用の子供部屋（個室）がある」は 42.9％で、市町村部に比べて 8.9 ポイント低く、「子供部屋はない」が市町村部に比べて 10.4 ポイント高い。

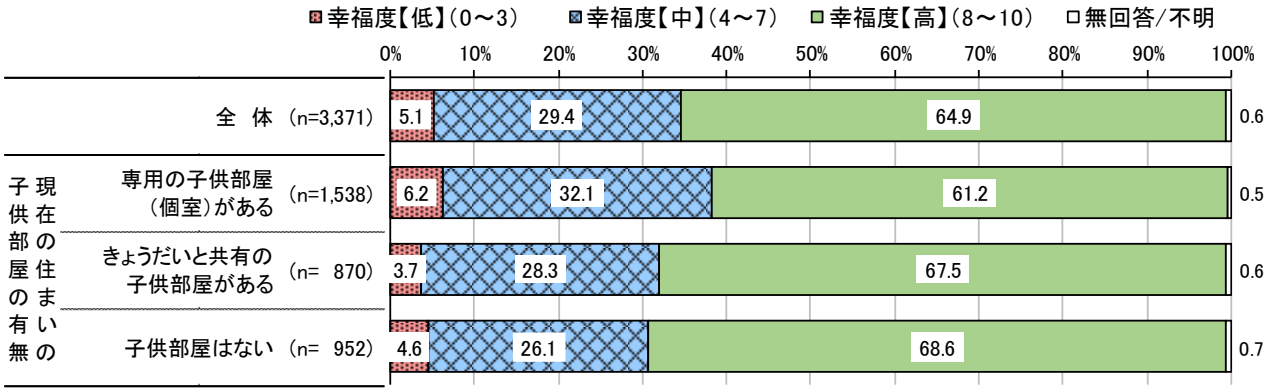
図表 2-7　現在の住まいの子供部屋の有無　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「現在の住まいの子供部屋の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供部屋はない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が最も高く、68.6%である。

図表 2-8 子供の幸福度(「現在の住まいの子供部屋の有無」の回答別)



（保護者：共通）問5．現在、あなたは配偶者／パートナーと同居していますか。（1つだけ）

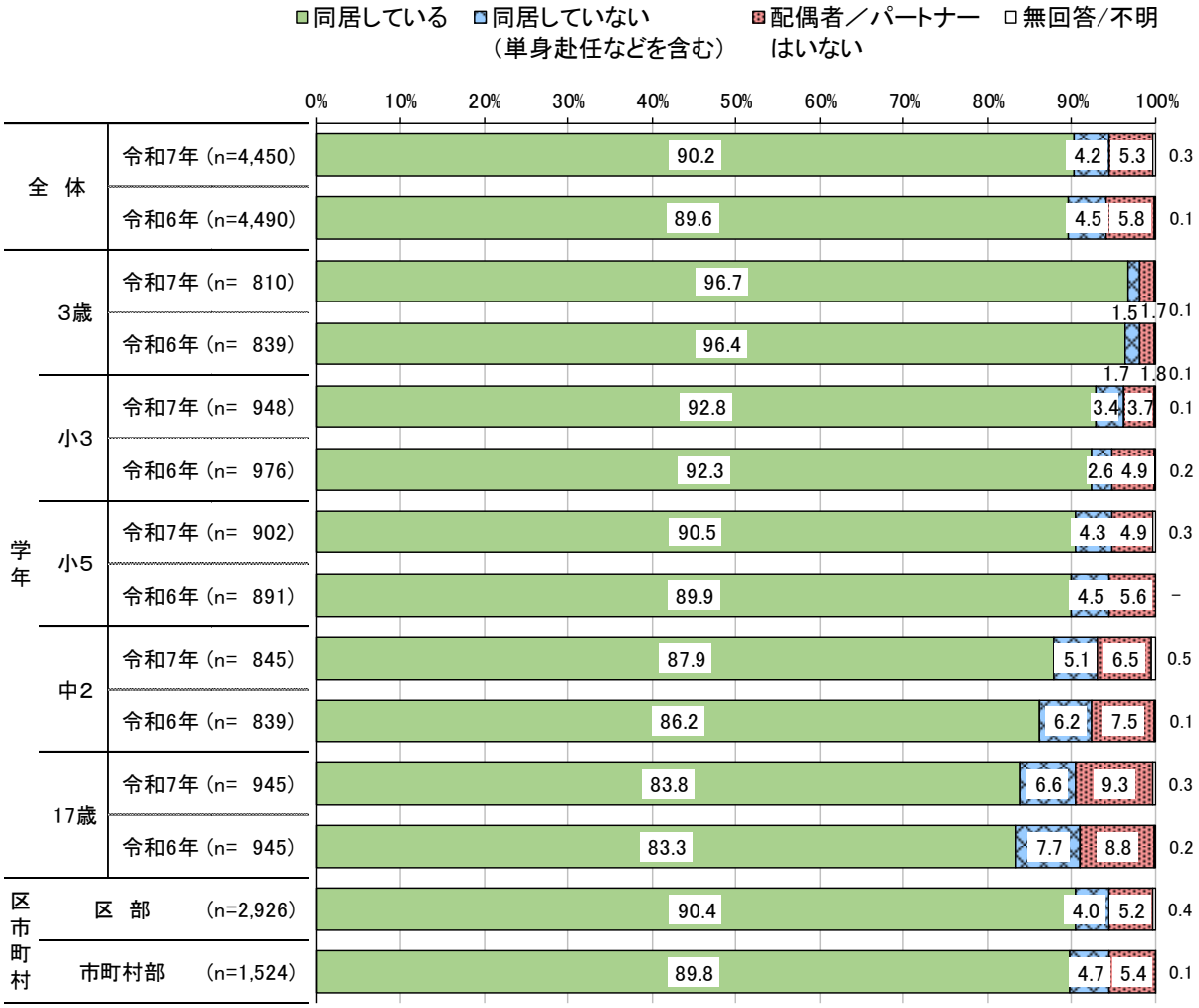
【全体】

「同居している」が 90.2%、「同居していない（単身赴任などを含む）」が 4.2%で、「配偶者／パートナーはいない」は 5.3%である。

【学年別】

学年が上がるにつれて「同居している」は減少傾向にあり、3歳では 96.7%であるが、17 歳では 83.8%である。

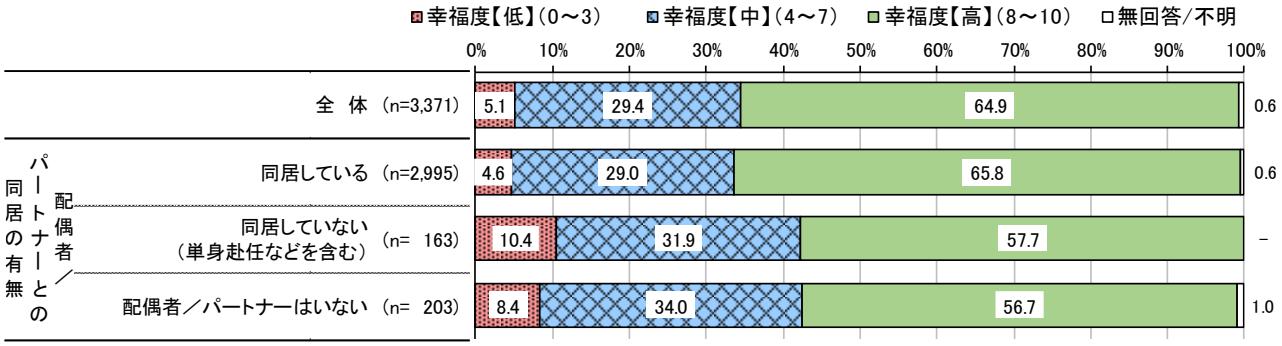
図表 2-9 配偶者／パートナーとの同居の有無 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーとの同居の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーと「同居している」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 65.8%、配偶者／パートナーと「同居していない(単身赴任などを含む)」保護者の子供では 57.7%、「配偶者／パートナーはいない」保護者の子供では 56.7%である。

図表 2-10 子供の幸福度(「配偶者／パートナーとの同居の有無」の回答別)



（保護者：共通）問6．あなたの年齢を教えてください。（1つだけ）

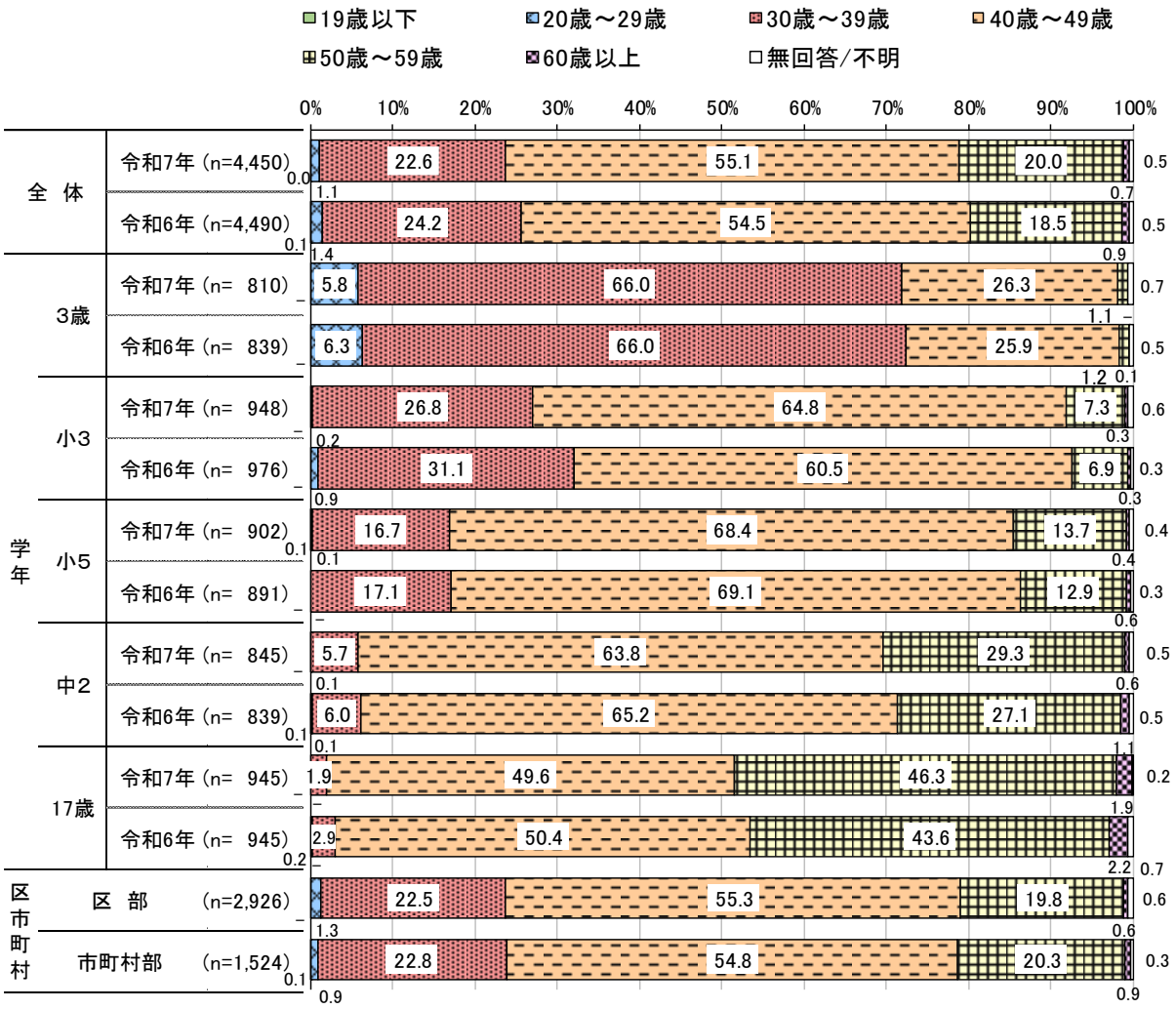
【全体】

「40～49 歳」が 55.1％で最も高く、次いで「30～39 歳」が 22.6％である。

【学年別】

3歳では「30 歳～39 歳」が、小3、小5、中2、17 歳では「40 歳～49 歳」が最も高い。

図表 2-11 あなたの年齢 ＜単一回答＞



（保護者：共通）問7．あなたの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。（1つだけ）
副業・兼業をしている方は、主たる職業を回答してください。

【全体】

「正規の職員・従業員」が 46.5％で最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」が 22.1％である。

【学年別】

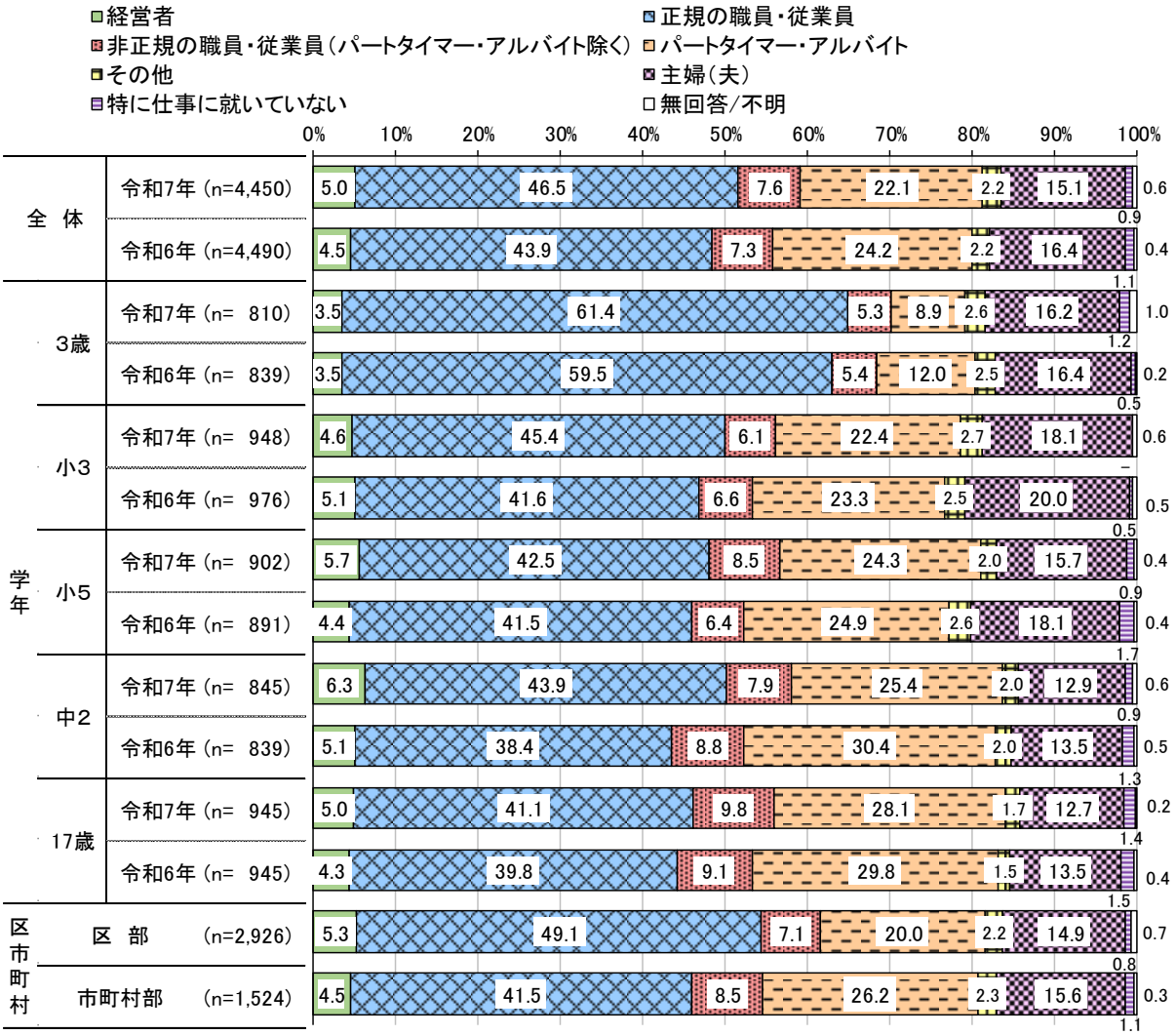
いずれの学年でも「正規の職員・従業員」が最も高いが、3歳では 61.4％で、他の学年より 16 ポイント以上高い。

経年比較でみると、中2で「正規の職員・従業員」が 5.5 ポイント増加し、「パートタイマー・アルバイト」が 5.0 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部では「正規の職員・従業員」が 49.1％で、市町村部に比べて 7.6 ポイント高い。

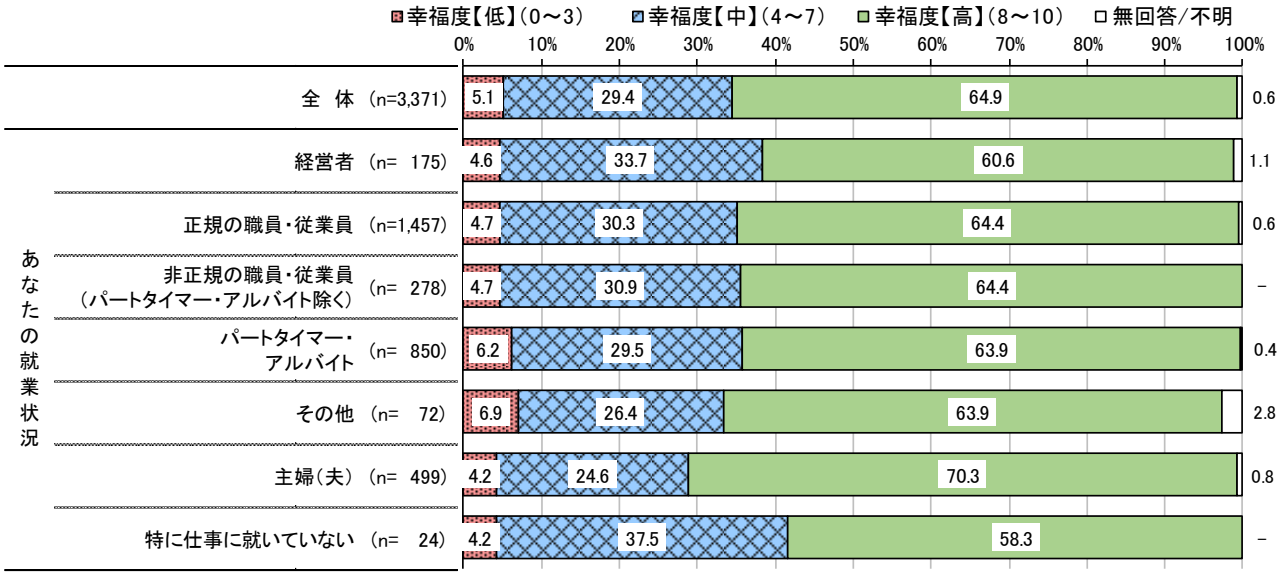
図表 2-12 あなたの就業状況 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの就業状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「主婦（夫）」と回答した保護者の子供では幸福度【高】（8～10）が 70.3％、「正規の職員・従業員」または「非正規の職員・従業員」と回答した保護者の子供では 64.4％である。

図表 2-13 子供の幸福度（「あなたの就業状況」の回答別）



【自由記述】

その他（あなたの就業状況）
フリーランス（保護者・3歳）
個人事業主（保護者・3歳）
専従者（保護者・3歳）
自由業（保護者・3歳）
学振 rpd（保護者・3歳）
不動産賃貸業（保護者・3歳）
医師　非常勤（保護者・3歳）
業務委託（保護者・3歳）
育休中（保護者・3歳）
医者（保護者・小3）
個人事業主（保護者・小3）
フリーランス（保護者・小3）
自営業、専問職（保護者・小3）
自由業（保護者・小3）
音楽制作（保護者・小3）
専門職　自営（保護者・小5）
フリーランス（保護者・小5）
町の放課後子ども教室の手伝（保護者・小5）
個人事業主（保護者・小5）
団体職員（保護者・小5）
豆営業（保護者・中2）
リモートでのAI絵作成（保護者・中2）
夫が経営者、専従者（保護者・中2）
専従者（保護者・中2）
自営業手伝い（保護者・中2）
フリーランス（保護者・中2）
自宅音楽教室（保護者・中2）
個人事業主（保護者・中2）
業務委託（保護者・17 歳）
自営ネイリスト。（保護者・17 歳）
フリーランス（保護者・17 歳）
個人事業主（保護者・17 歳）
会計士（保護者・17 歳）
貸家業（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問8.【問7で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】あなたの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（A　1週間あたりの平均就業日数）

【全体】

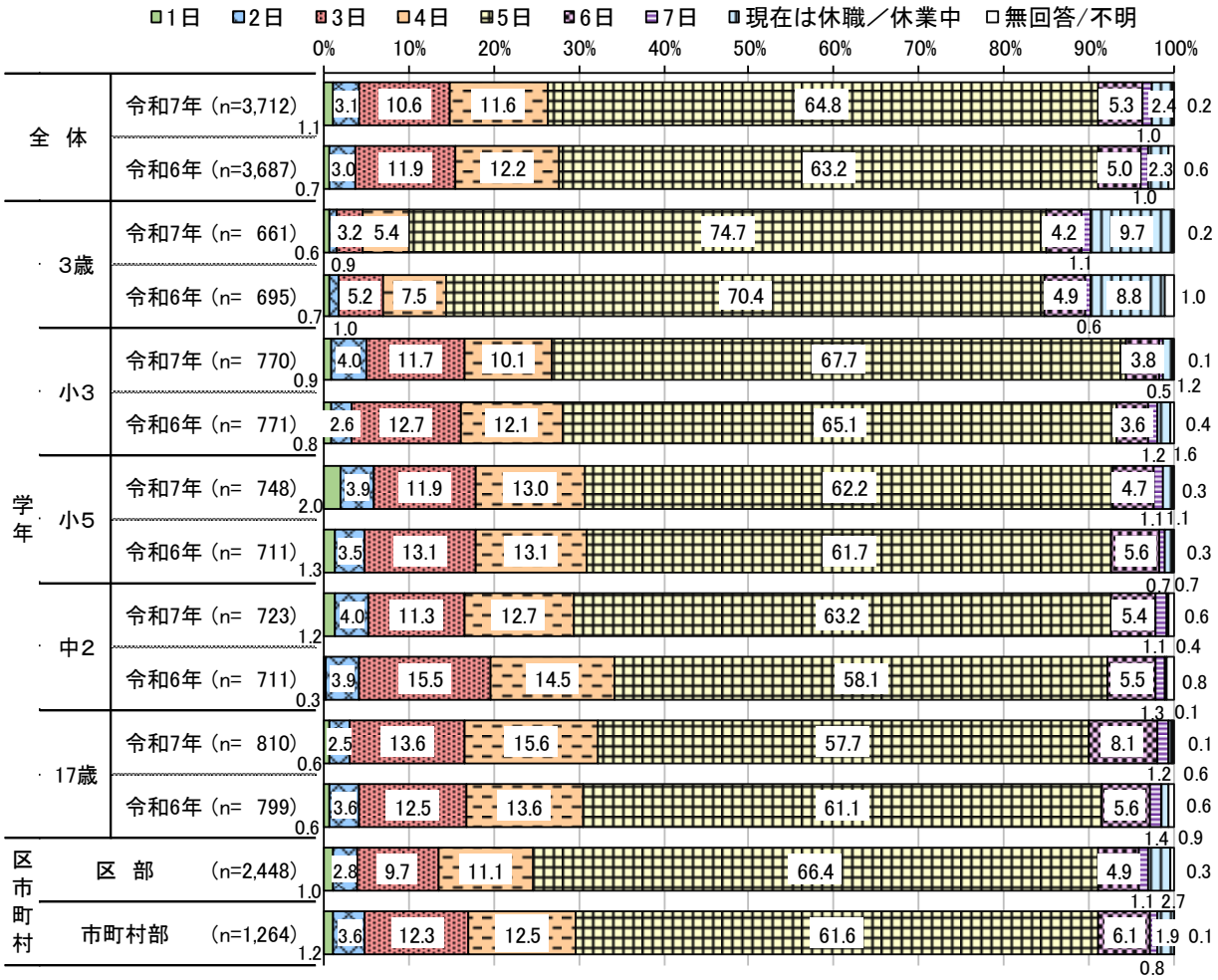
「5日」が 64.8％で最も高く、次いで「4日」が 11.6％、「3日」が 10.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「5日」が最も高く、3歳では 74.7％で、他の学年より 7 ポイント以上高い。また、「現在は休職／休業中」については、3歳では 9.7％であり、他の学年より 8 ポイント以上高い。

経年比較でみると、中2で「5日」が 5.1 ポイント増加している。

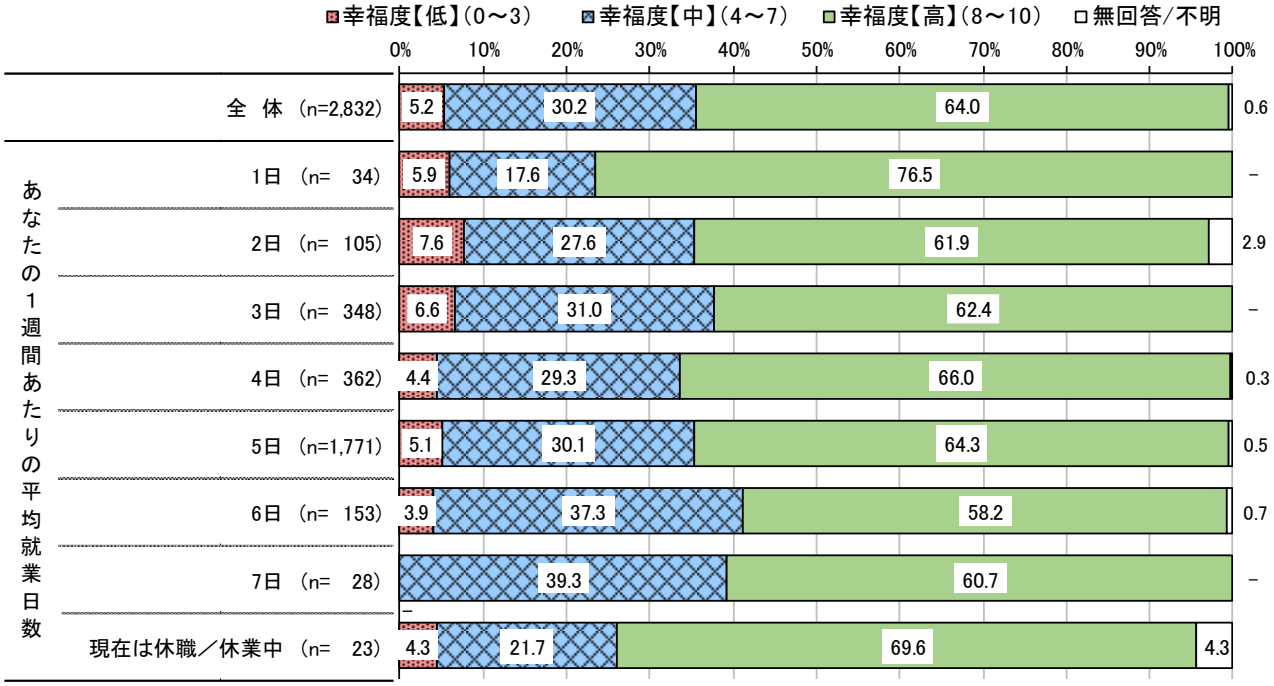
図表 2-14　あなたの1週間あたりの平均就業日数　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1週間あたりの平均就業日数」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の平均就業日数が 5 日以内の場合、就業日数にかかわらず幸福度【高】(8～10)は 61.9%以上である。

図表 2-15 子供の幸福度(「あなたの1週間あたりの平均就業日数」の回答別)



（保護者：共通）問8.【問7で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】あなたの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（B　1日あたりの平均就業時間）

【全体】

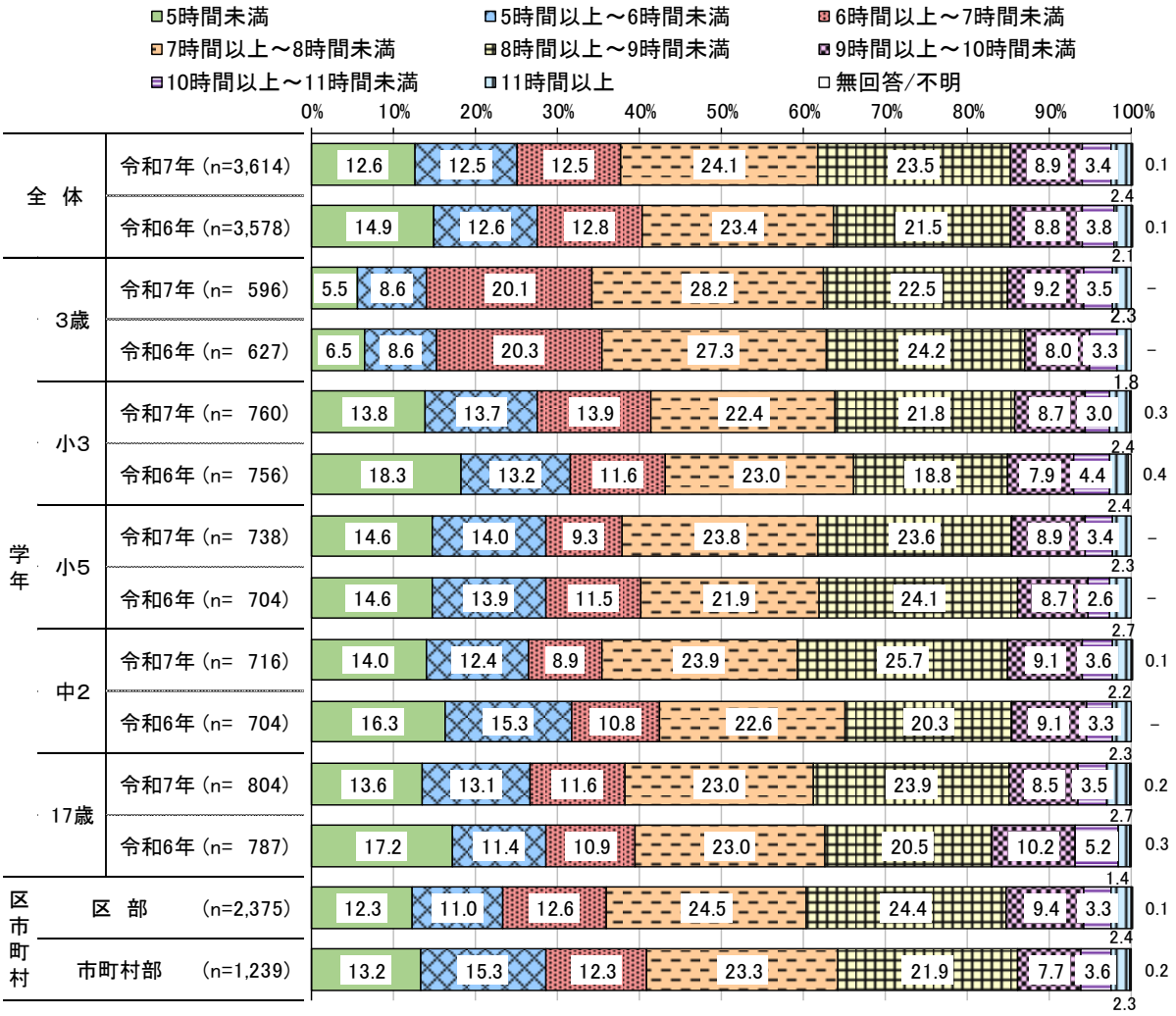
「7時間以上～8時間未満」が 24.1％で最も高く、次いで「8時間以上～9時間未満」が 23.5％である。

【学年別】

「7時間以上～8時間未満」は3歳で 28.2％、小3で 22.4％、小5で 23.8％と最も高く、「8時間以上～9時間未満」は中2で 25.7％、17 歳で 23.9％と最も高い。3歳では「6時間以上～7時間未満」が 20.1％で、他の学年より 6 ポイント以上高い。

経年比較でみると、中2で「8時間以上～9時間未満」が 5.4 ポイント増加した。

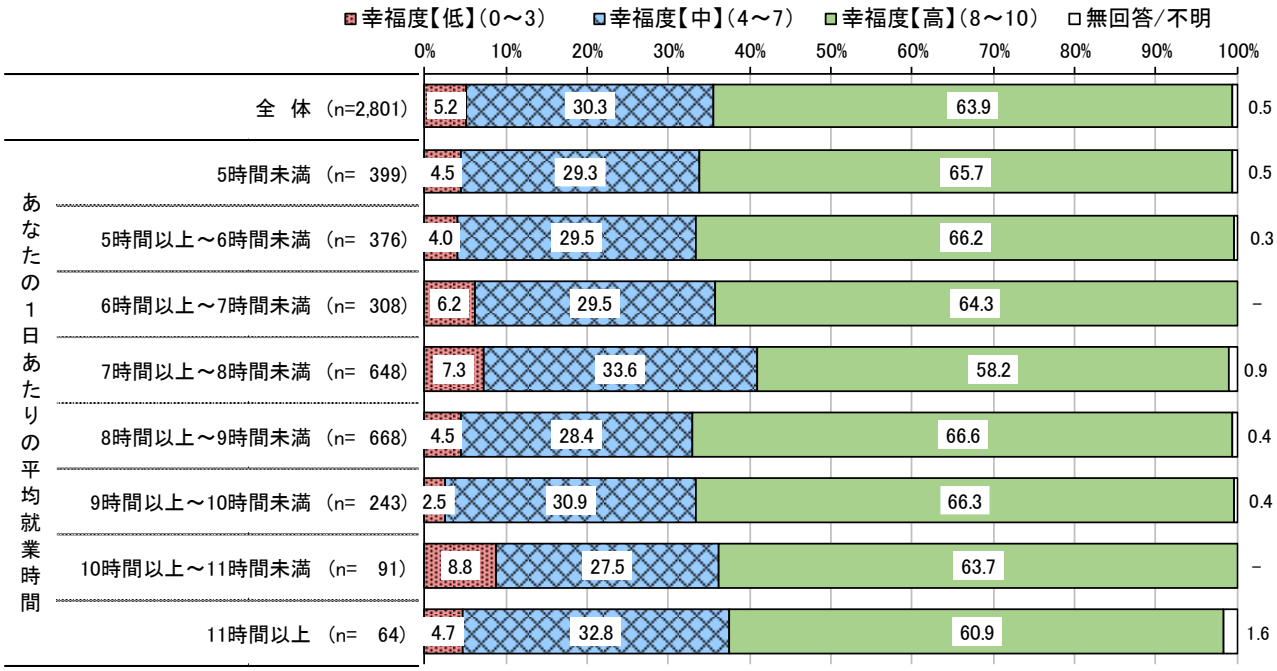
図表 2-16　あなたの1日あたりの平均就業時間　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1日あたりの平均就業時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「7 時間以上～8 時間未満」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.2%で、他の平均就業時間と比べて低い。

図表 2-17 子供の幸福度(「あなたの1日あたりの平均就業時間」の回答別)



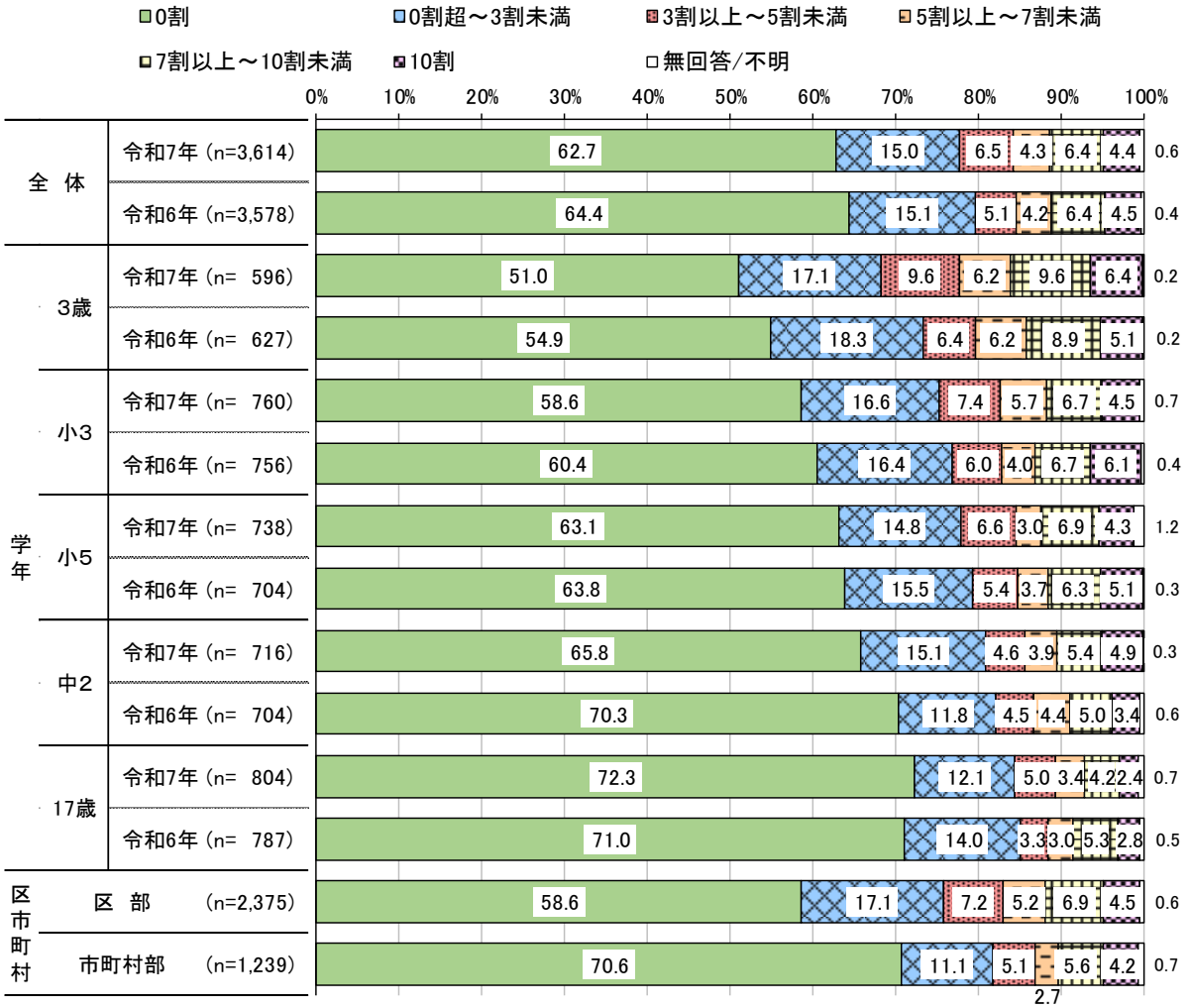
（保護者：共通）問9.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（A　1週間の在宅勤務時間割合）

【全体】
「0割」が 62.7％で最も高く、次いで「0割超～3割未満」が 15.0％である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高いが、学年が上がるほど高い傾向にあり、3歳では 51.0％であるのに対して、17歳では 72.3％である。

【区市町村別】
市町村部では「0割」が 70.6％で、区部より 12.0 ポイント高い。

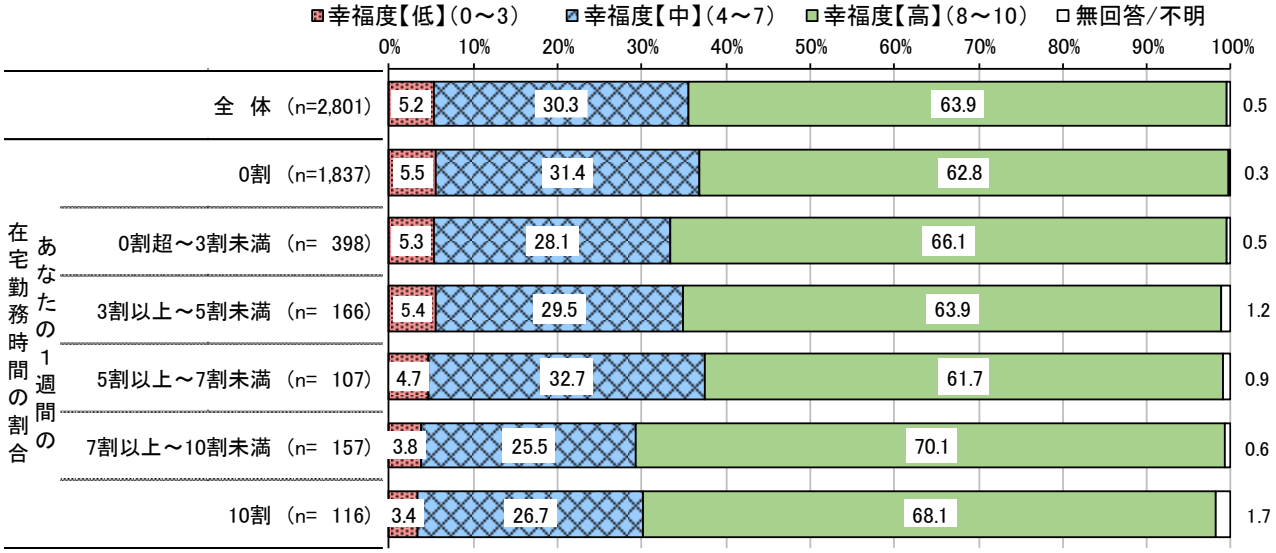
図表 2-18　あなたの1週間の在宅勤務時間の割合　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1週間の在宅勤務時間の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「7 割以上～10 割未満」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 70.1%で最も高い。

図表 2-19 子供の幸福度(「あなたの1週間の在宅勤務時間の割合」の回答別)



（保護者：共通）問9.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（B　1日あたりの往復の平均通勤時間）

【全体】

「1分以上～30 分未満」が 33.3％で最も高く、次いで「30 分以上～1時間未満」が 29.2％、「1時間以上～1時間 30 分未満」が 14.8％である。

【学年別】

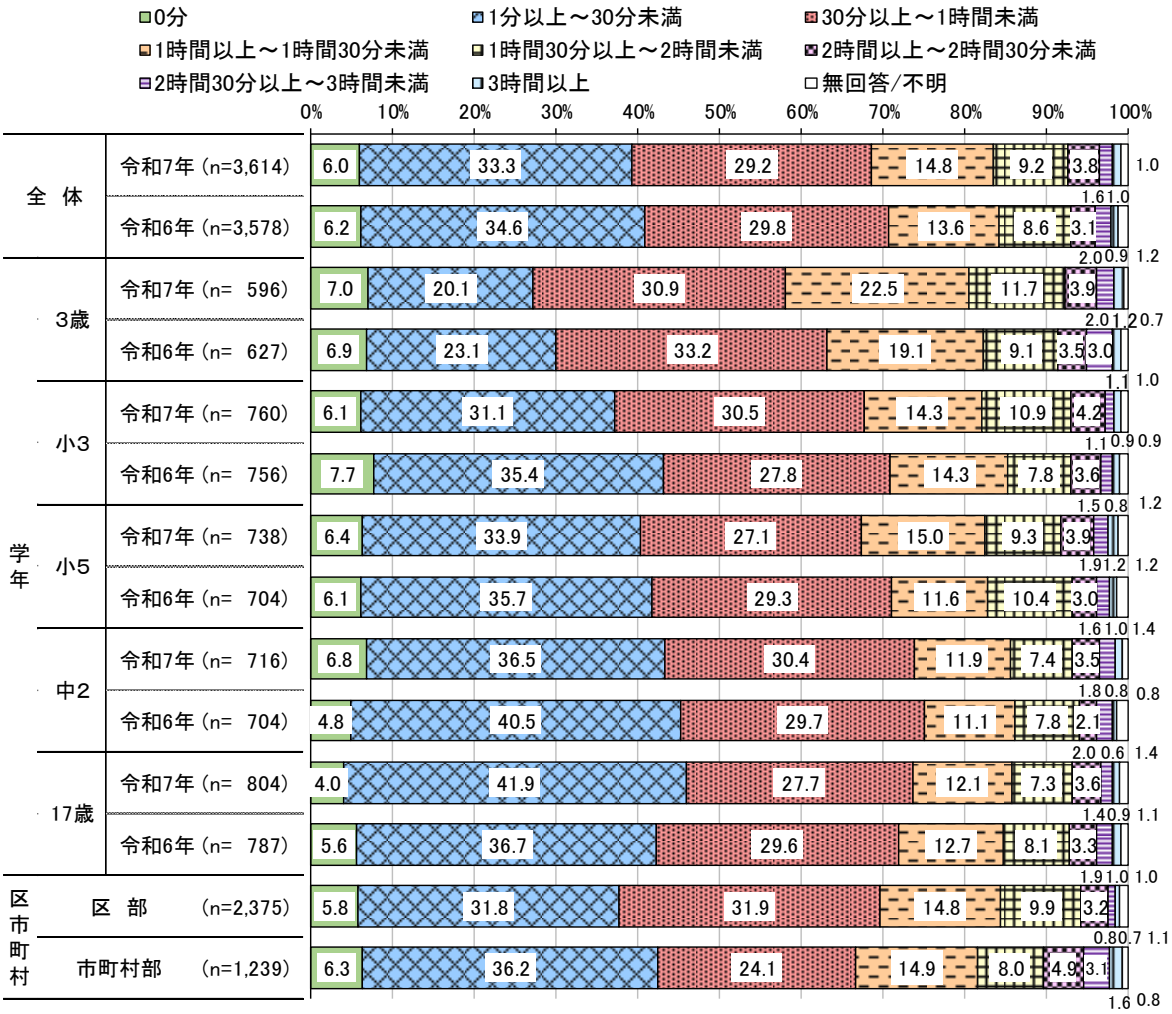
3歳では「1時間以上～1時間 30 分未満」が 22.5％で、他の学年に比べて高い。「1分以上～30 分未満」は学年が上がるほど高く、3歳では 20.1％だが 17 歳では 41.9％である。

経年比較でみると、17 歳で「1 分以上～30 分未満」が 5.2 ポイント増加している。

【区市町村別】

「30 分以上～1時間未満」は、区部が市町村部より 7.8 ポイント高い。

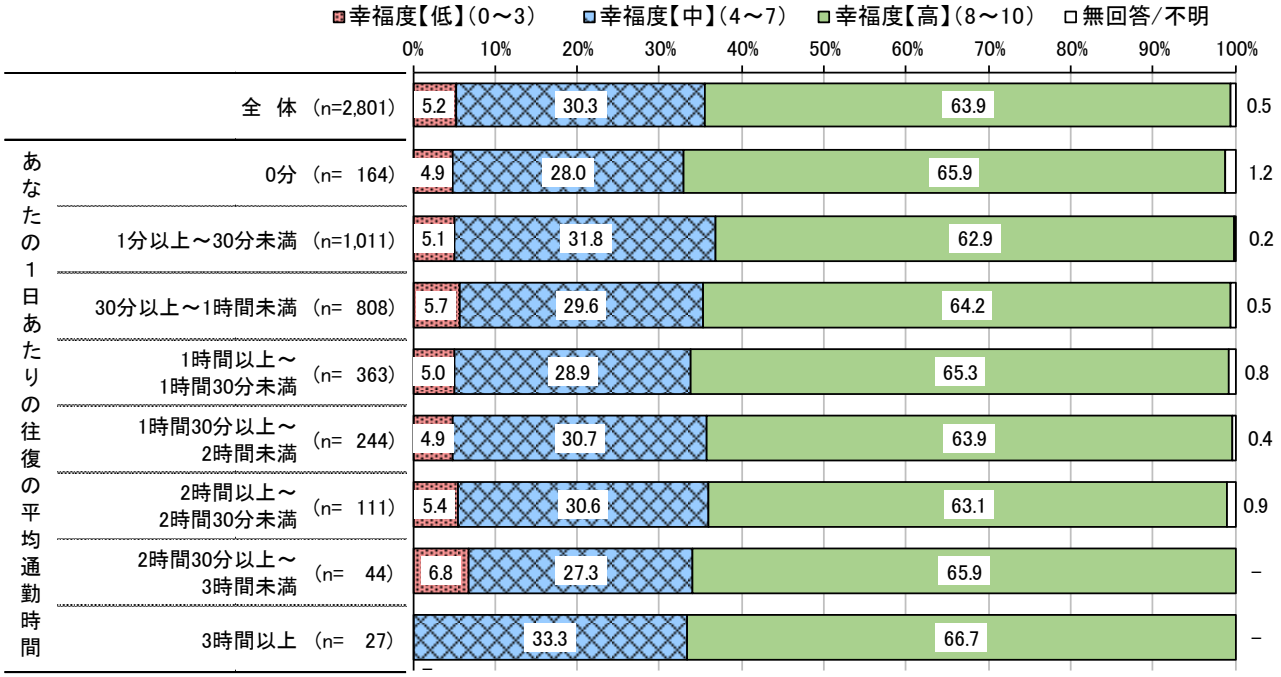
図表 2-20　あなたの1日あたりの往復の平均通勤時間　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「0 分」の保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 65.9%である。

図表 2-21 子供の幸福度(「あなたの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別)



（保護者：共通）問 10.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。（1つだけ）

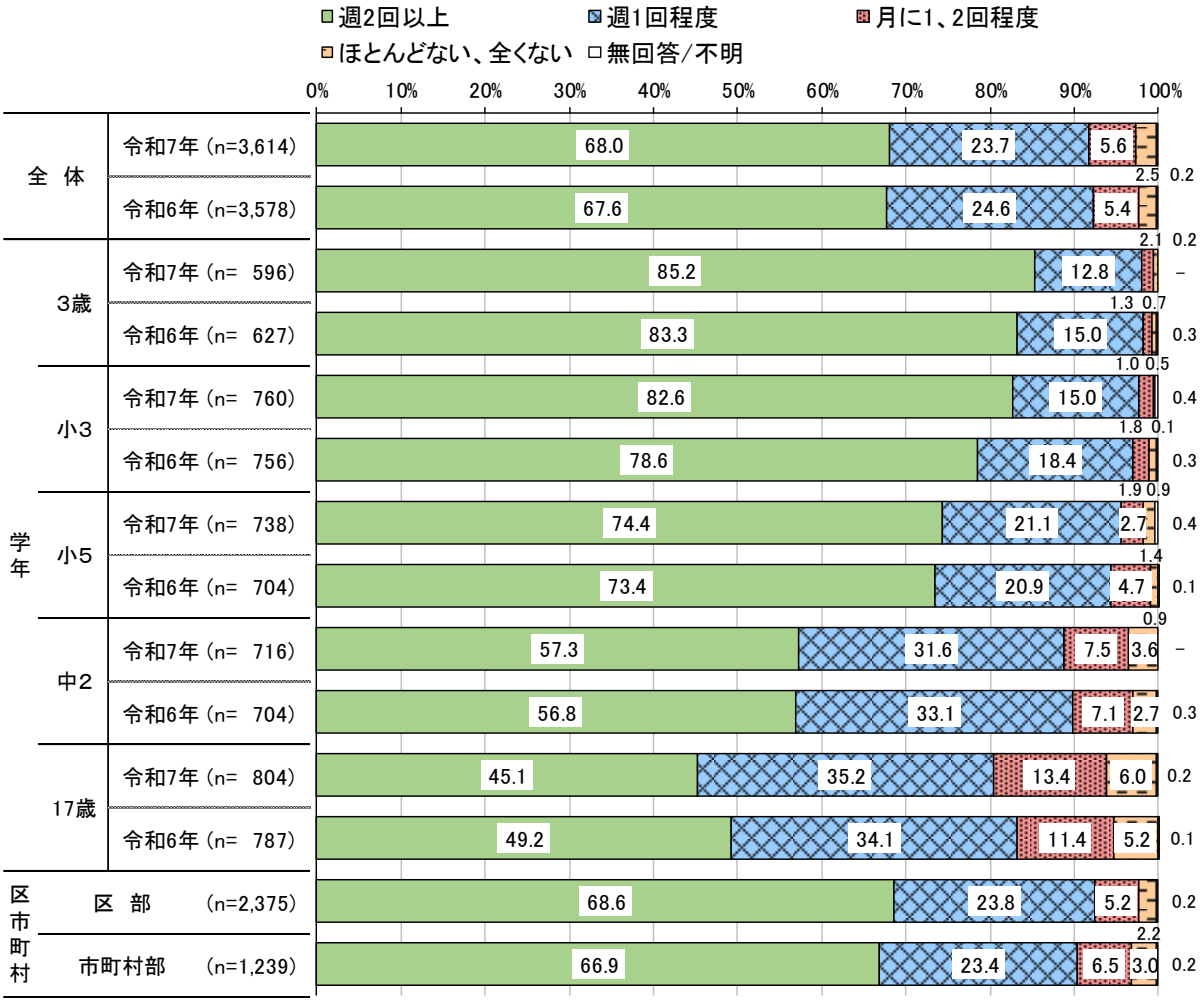
【全体】

「週2回以上」が 68.0％で最も高く、次いで「週1回程度」が 23.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「週2回以上」が最も高く、3歳では「週2回以上」が 85.2％である。学年が上がるにつれて減少傾向にあり、17 歳では 45.1％である。

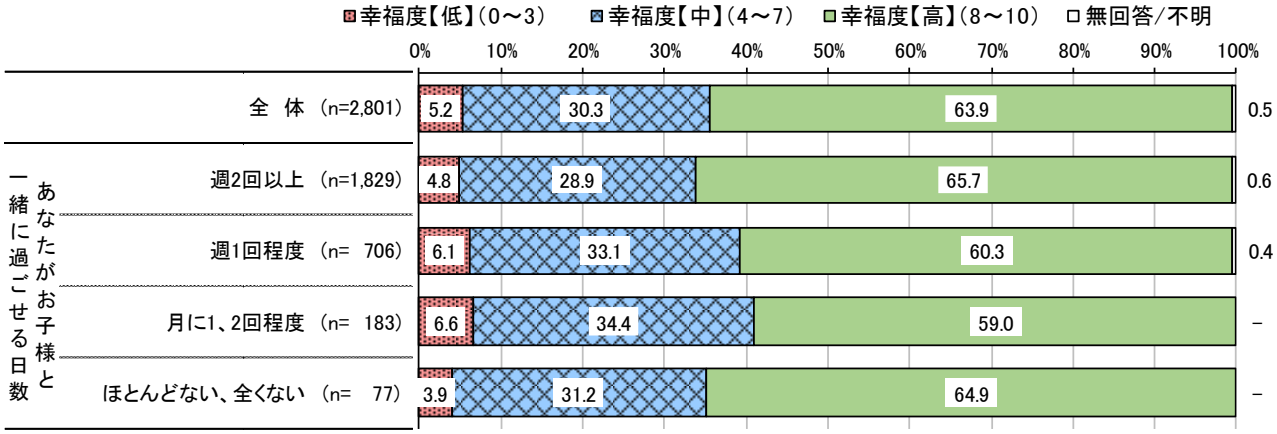
図表 2-22 あなたがお子様と一緒に過ごせる日数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別に子供の幸福度をみると、「週2回以上」と回答した保護者の子供では 65.7%である。

図表 2-23 子供の幸福度(「あなたがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別)



（保護者：共通）問 11.【配偶者/パートナーがいる（問5で「同居している」、「同居していない（単身赴任などを含む）」と回答された）方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの年齢を教えてください。（1つだけ）

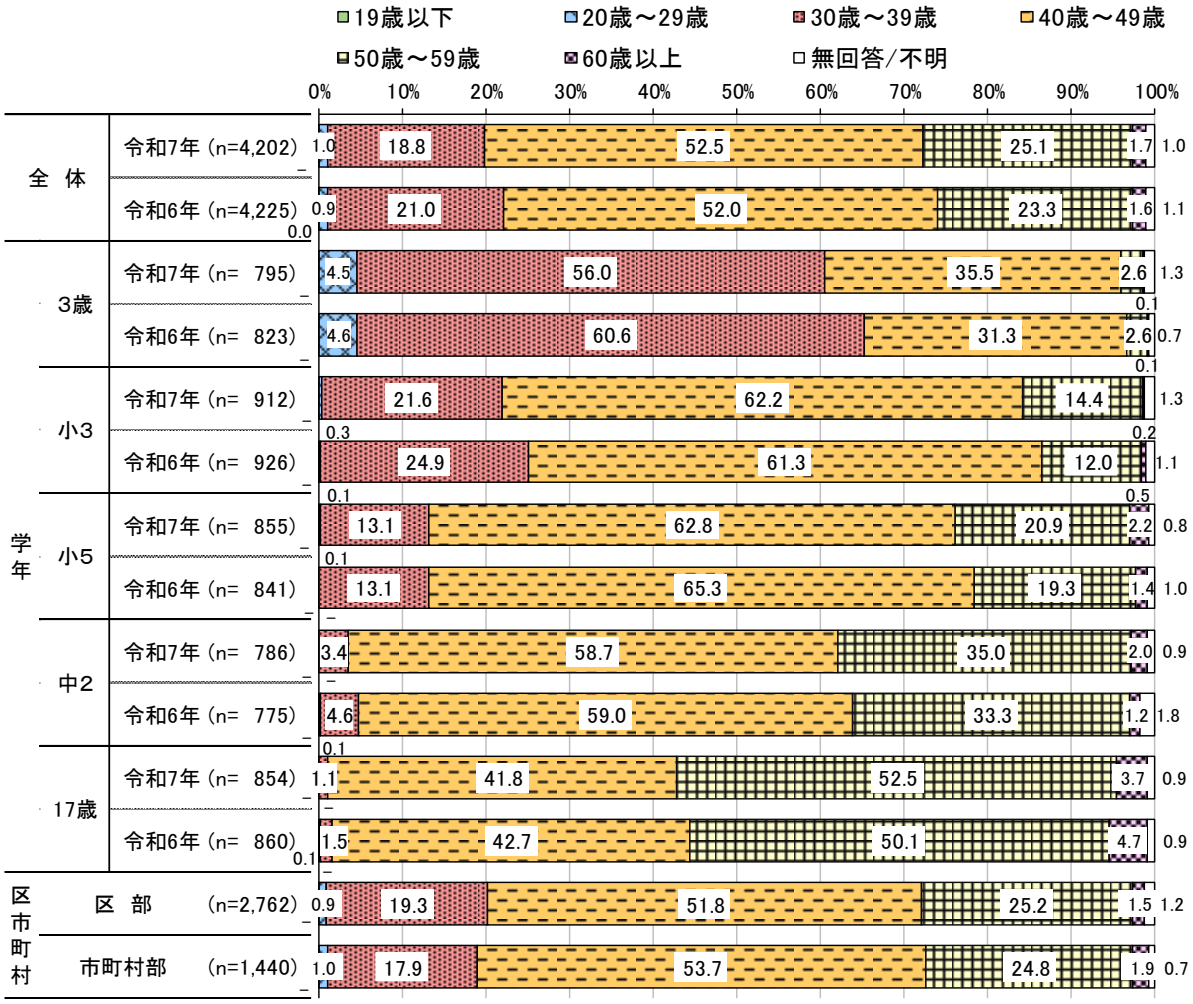
【全体】

「40 歳～49 歳」が 52.5%で最も高く、次いで「50 歳～59 歳」が 25.1%、「30 歳～39 歳」が 18.8%と続く。

【学年別】

3歳では「30 歳～39 歳」が、小3、小5、中2では「40 歳～49 歳」が、17 歳では「50 歳～59 歳」が最も高い。

図表 2-24 配偶者／パートナーの年齢 ＜単一回答＞



（保護者：共通）問 12.【配偶者/パートナーがいる（問5で「同居している」、「同居していない（単身赴任などを含む）」と回答された）方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。（1つだけ）
副業・兼業をしている方は、主たる職業を回答してください。

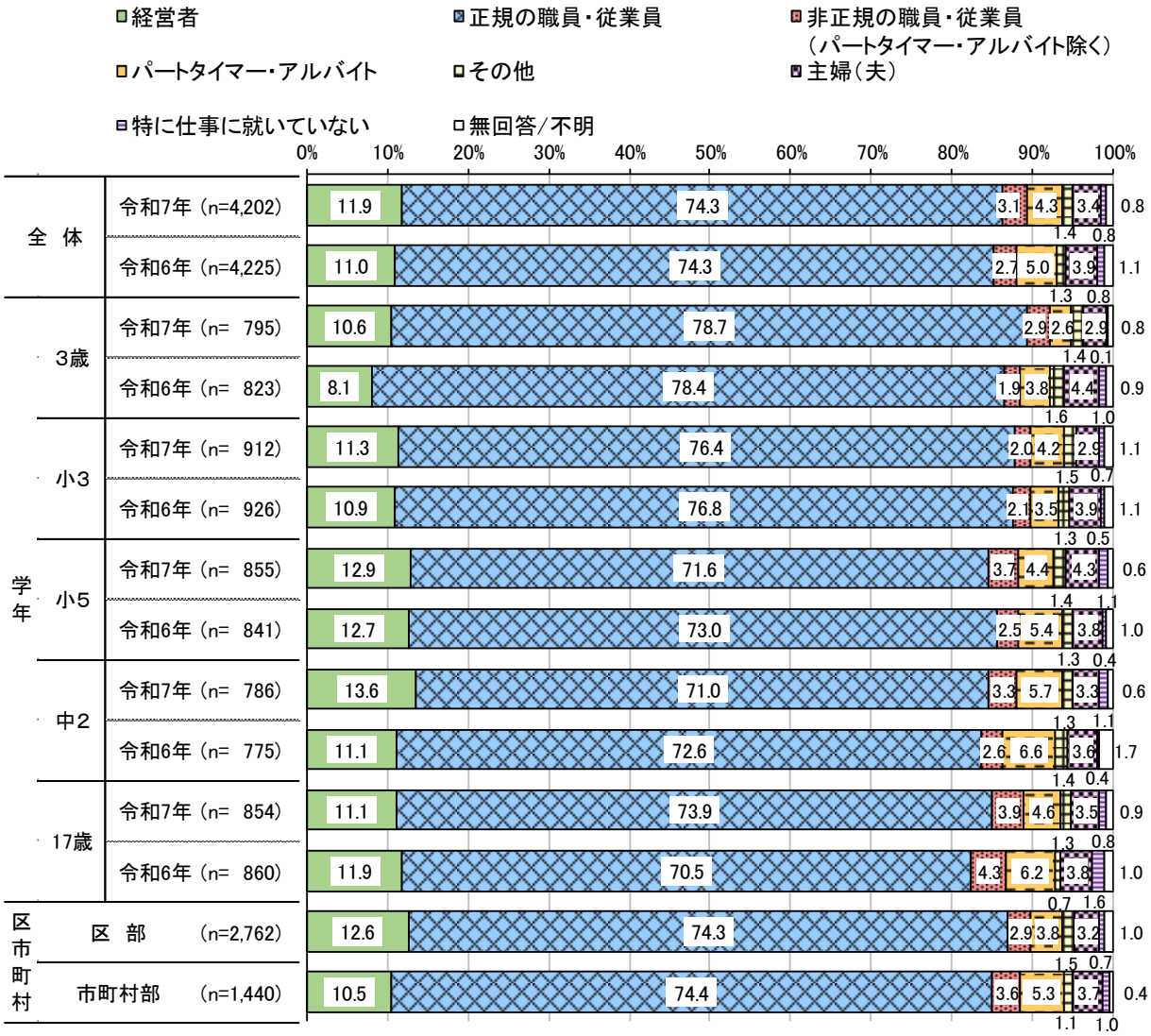
【全体】

「正規の職員・従業員」が 74.3％で最も高く、次いで「経営者」が 11.9％である。

【学年別】

いずれの学年も「正規の職員・従業員」が最も高く、71.0％以上である。

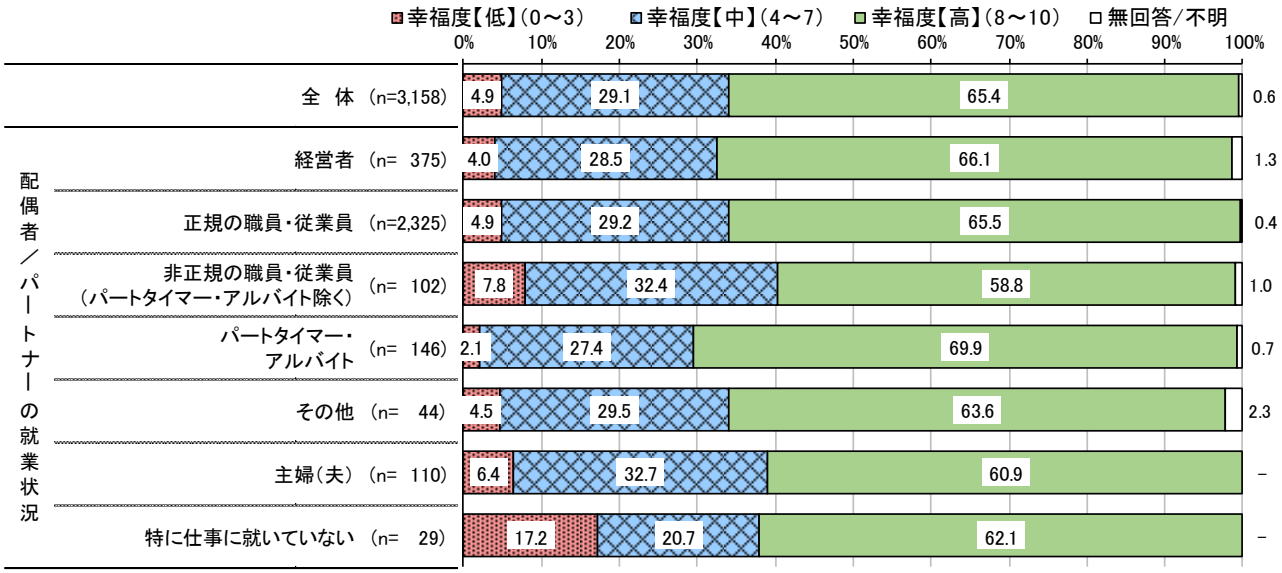
図表 2-25 配偶者／パートナーの就業状況 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの就業状況」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーが「パートタイマー・アルバイト」である保護者の子供は、幸福度【高】(8～10)が 69.9%であり、「非正規の職員・従業員」である保護者の子供は、幸福度【高】(8～10)が 58.8%である。

図表 2-26 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの就業状況」の回答別)



【自由記述】

その他（配偶者／パートナーの就業状況）
個人事業主（保護者・3歳）
育休中（保護者・3歳）
フリーランス（保護者・3歳）
農家（保護者・3歳）
医者（保護者・小3）
フリーランス（保護者・小3）
個人事業主（保護者・小3）
父の仕事を一緒にやっている（保護者・小3）
自由業（保護者・小3）
専門職　自営（保護者・小5）
学生（保護者・小5）
フリーランス（保護者・小5）
フリー舞台俳優（自営業）（保護者・小5）
個人事業主（保護者・小5）
自営・役者（保護者・小5）
個人事業主（保護者・中2）
自由業（保護者・中2）
フリーランス（保護者・中2）
個人自業主（保護者・17 歳）
フリーランス（保護者・17 歳）

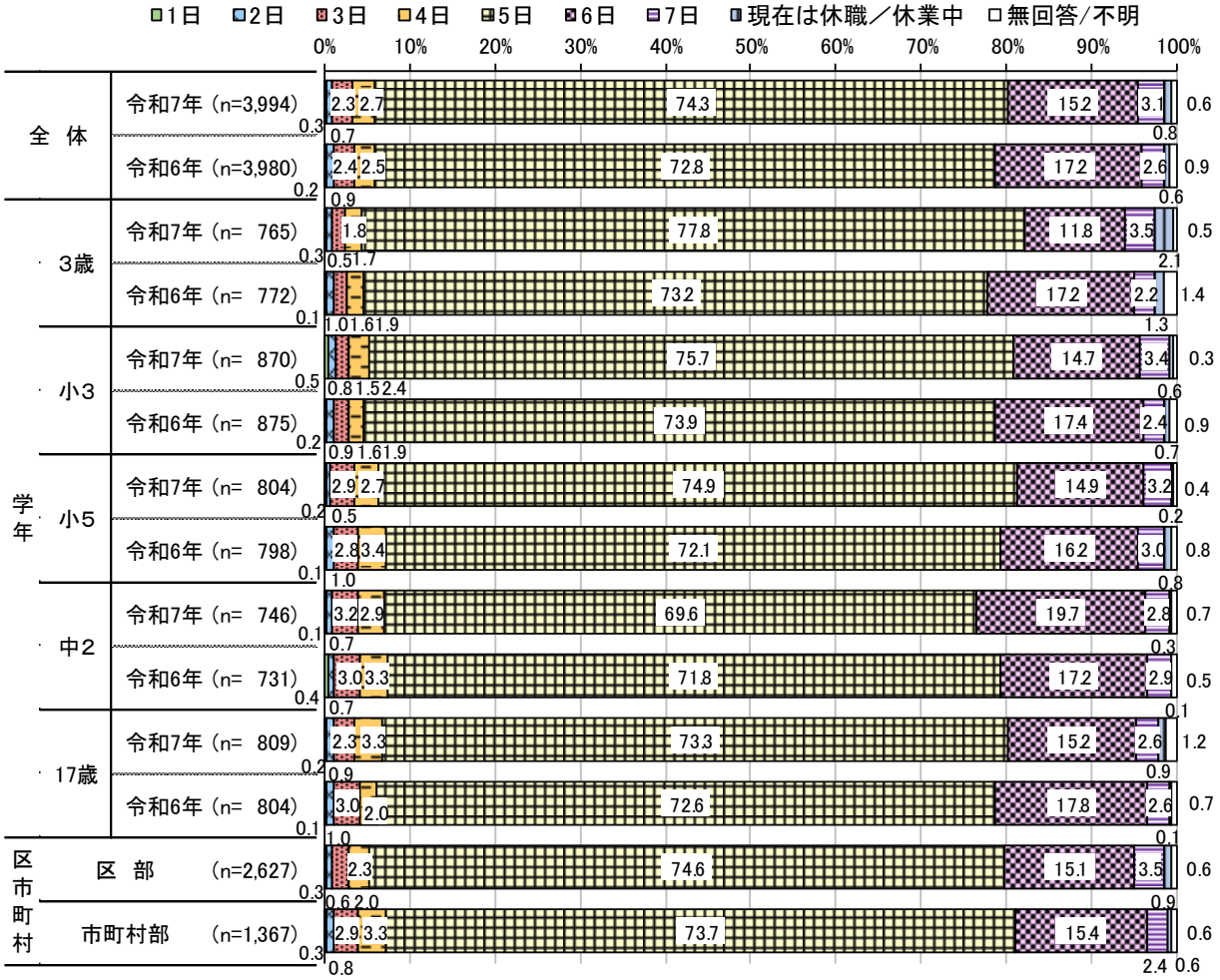
（保護者：共通）問 13.【問 12 で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの１週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「１日」～「７日」と答えた方は、１日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ１つ）
（A　１週間あたりの平均就業日数）

【全体】
「５日」が 74.3％で最も高く、次いで「６日」が 15.2％である。

【学年別】
いずれの学年でも「５日」が 69.6％以上で最も高く、次いで「６日」が 11.8％以上である。

経年比較でみると、3歳で「６日」が 5.4 ポイント減少している。

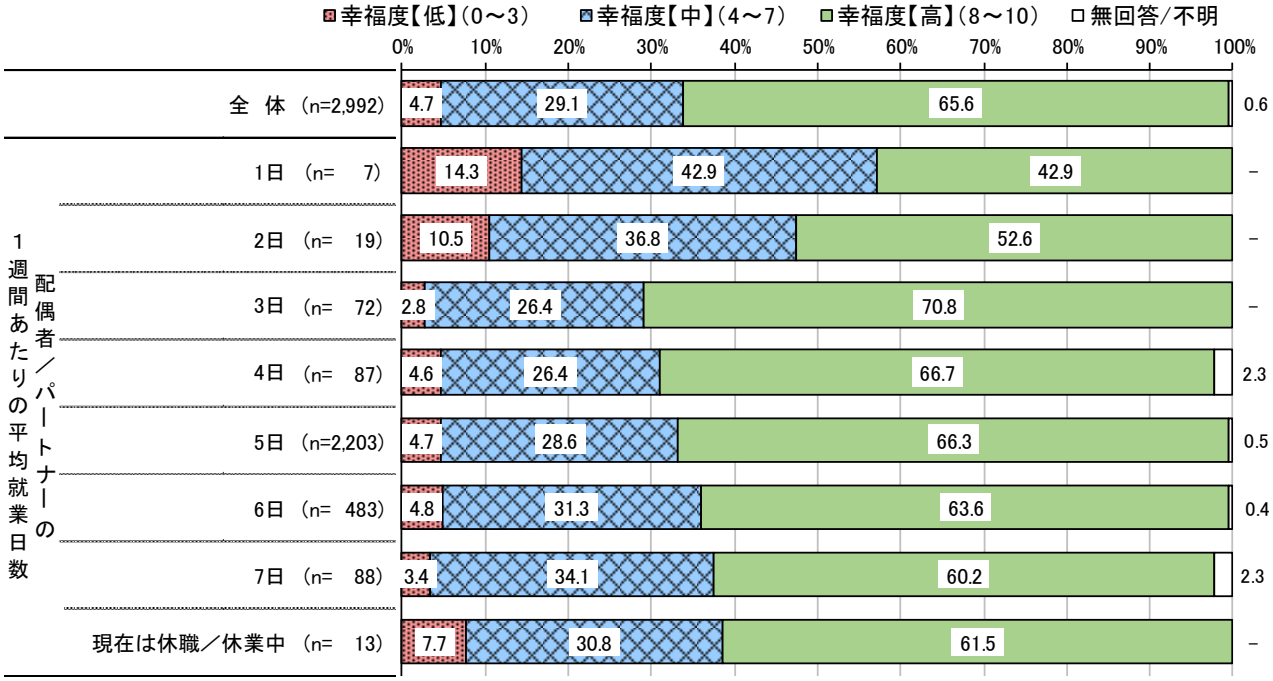
図表 2-27 配偶者／パートナーの１週間あたりの平均就業日数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1週間あたりの平均就業日数」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの平均就業日数が「3日」～「7日」の場合は、子供の幸福度【高】(8～10)が 60.2%～70.8%である。

図表 2-28 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの1週間あたりの平均就業日数」の回答別)



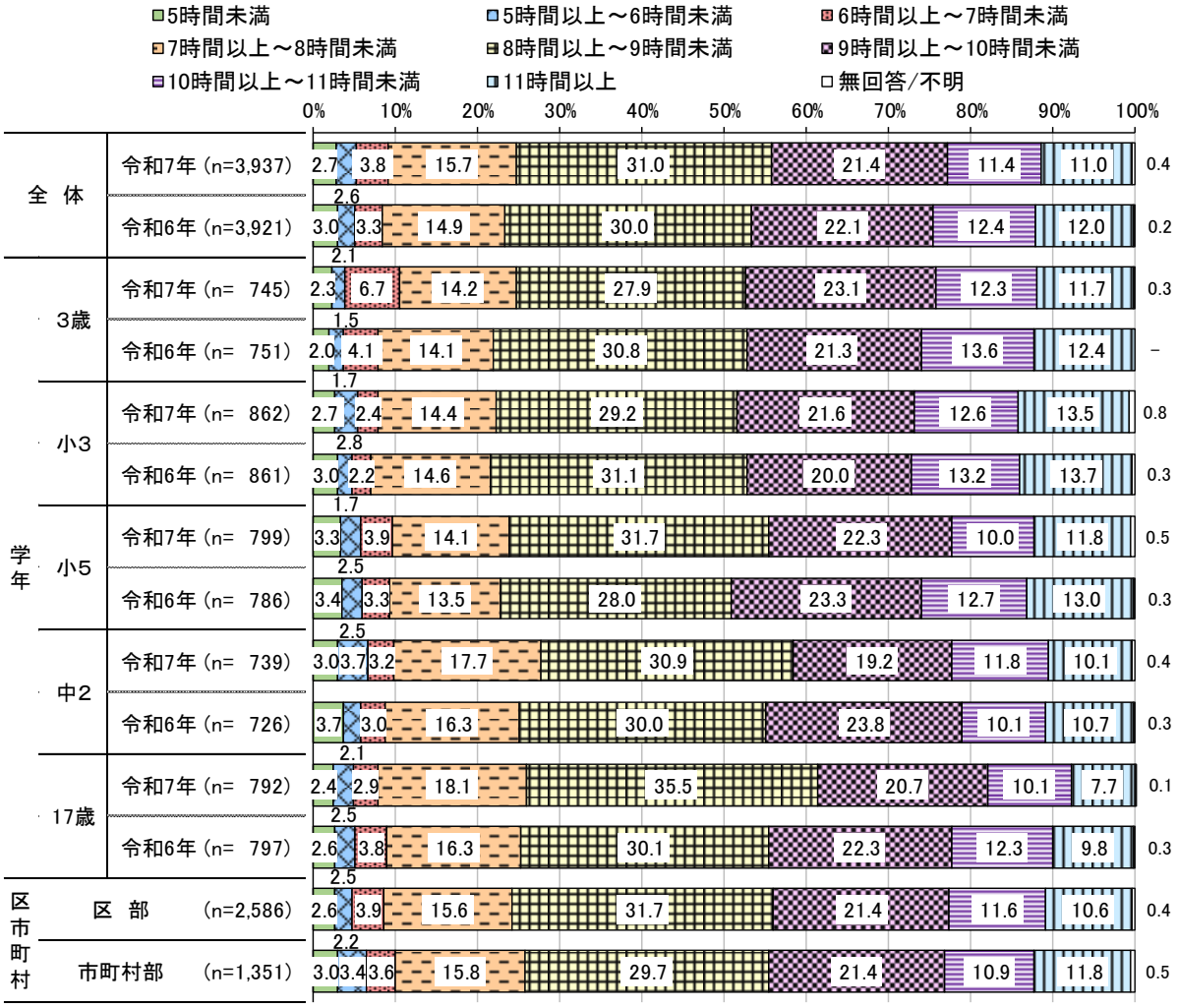
（保護者：共通）問 13.【問 12 で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】
配偶者／パートナーの１週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「１日」～「７日」と答えた方は、１日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（B　１日あたりの平均就業時間）

【全体】
「8時間以上～9時間未満」が 31.0％で最も高く、次いで「9時間以上～10 時間未満」が 21.4％である。

【学年別】
いずれの学年でも「8時間以上～9時間未満」が 27.9％以上で最も高く、次いで「9時間以上～10 時間未満」が 19.2％以上である。

経年比較でみると、17 歳で「8時間以上～9時間未満」が 5.4 ポイント増加している。

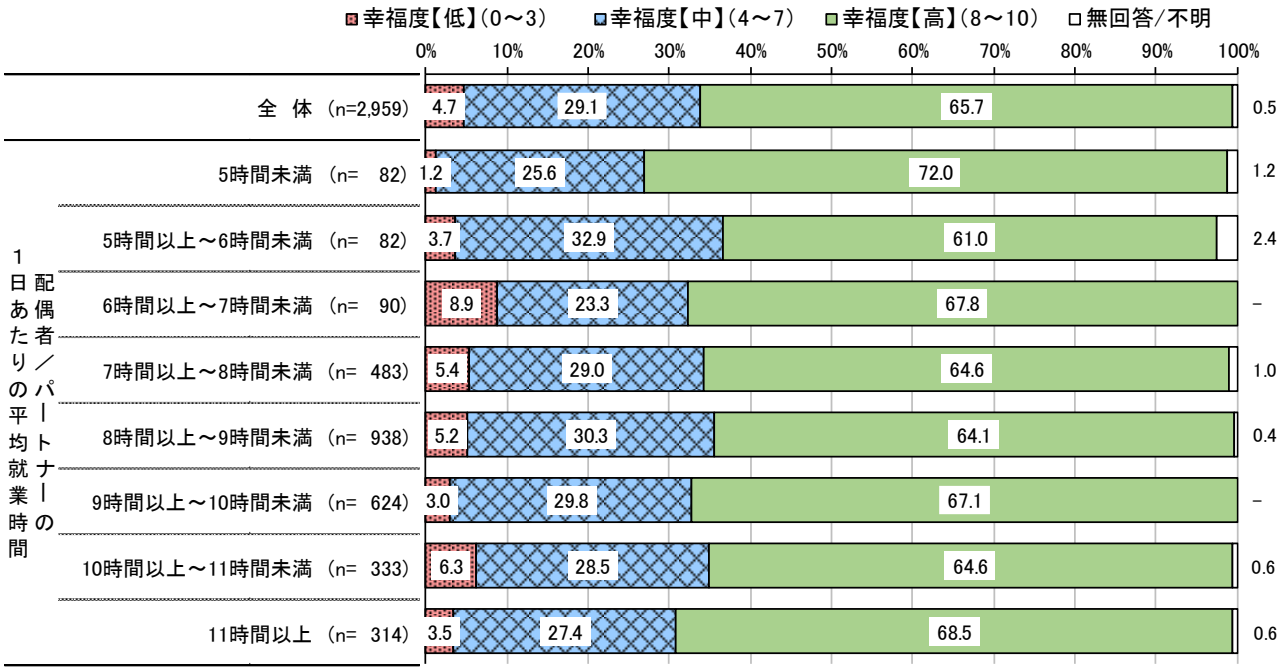
図表 2-29 配偶者／パートナーの１日あたりの平均就業時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1日あたりの平均就業時間」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの1日あたりの平均就業時間が「5時間未満」の場合は、子供の幸福度【高】(8～10)が 72.0%である。

図表 2-30 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの1日あたりの平均就業時間」の回答別)



（保護者：共通）問 14.【問 13A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（A　1週間の在宅勤務時間割合）

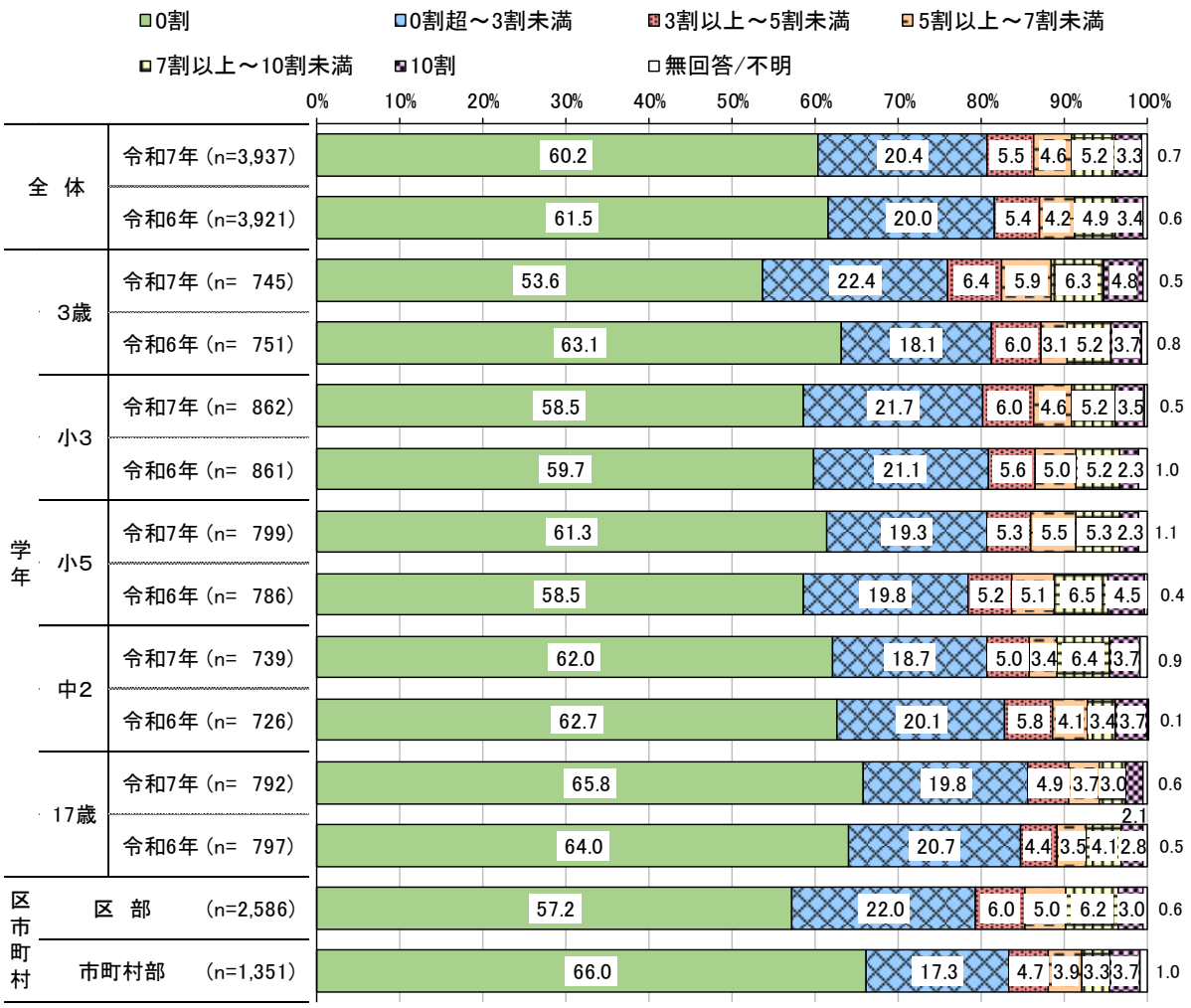
【全体】
「0割」が 60.2％で最も高く、次いで「0割超～3割未満」が 20.4％である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高く、次いで「0割超～3割未満」が続いている。

経年比較でみると、3歳で「0割」が 9.5 ポイント減少している。

【区市町村別】
市町村部では「0割」が 66.0％で、区部より 8.8 ポイント高い。

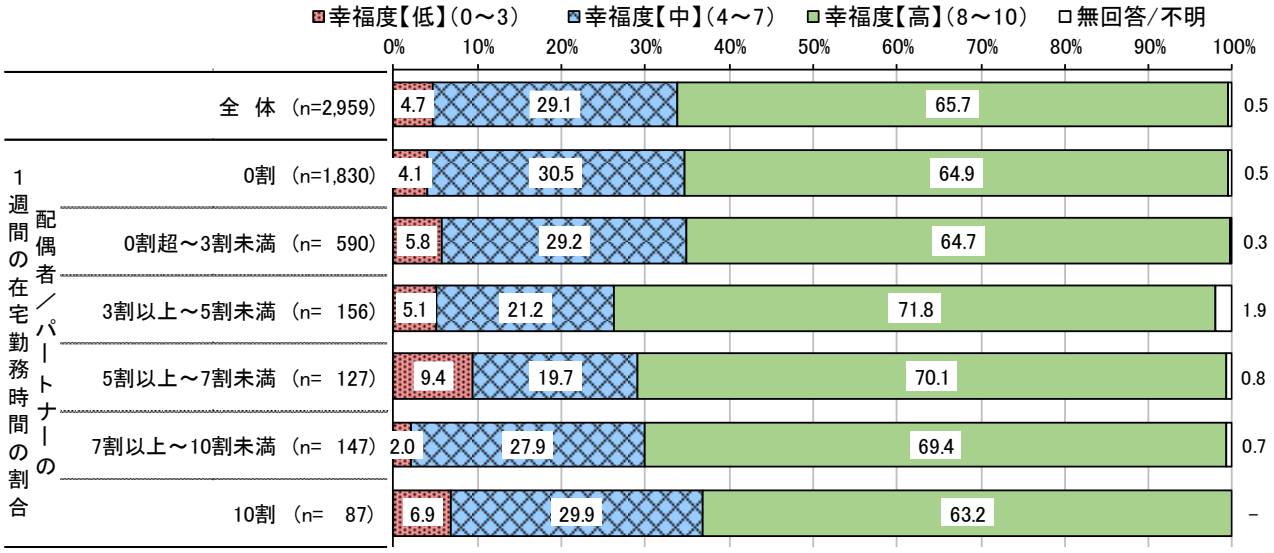
図表 2-31　配偶者／パートナーの1週間の在宅勤務時間の割合　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1週間の在宅勤務時間の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「3割以上～5割未満」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 71.8%である。

図表 2-32 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの1週間の在宅勤務時間の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 14.【問 13A で「1 日」～「7 日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、1 日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（B　1日あたりの往復の平均通勤時間）

【全体】

「30 分以上～1時間未満」が 30.3％で最も高く、次いで「1時間以上～1時間 30 分未満」が 22.8％、「1分以上～30 分未満」が 17.7％である。

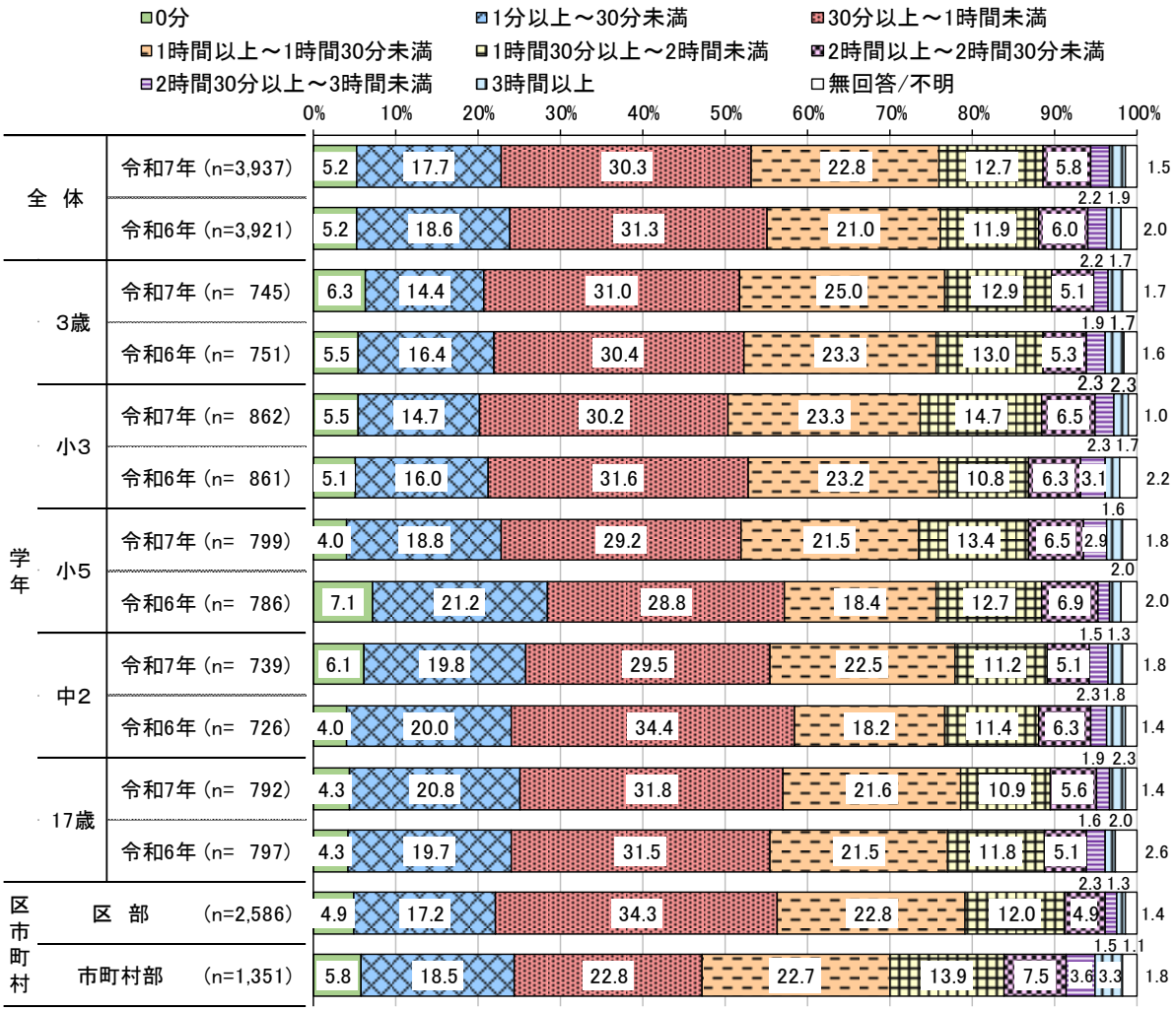
【学年別】

いずれの学年でも「30 分以上～1時間未満」の割合が最も高い。

【区市町村別】

いずれも「30 分以上～1時間未満」が最も高く、区部が 34.3％と、市町村部より 11.5 ポイント高い。

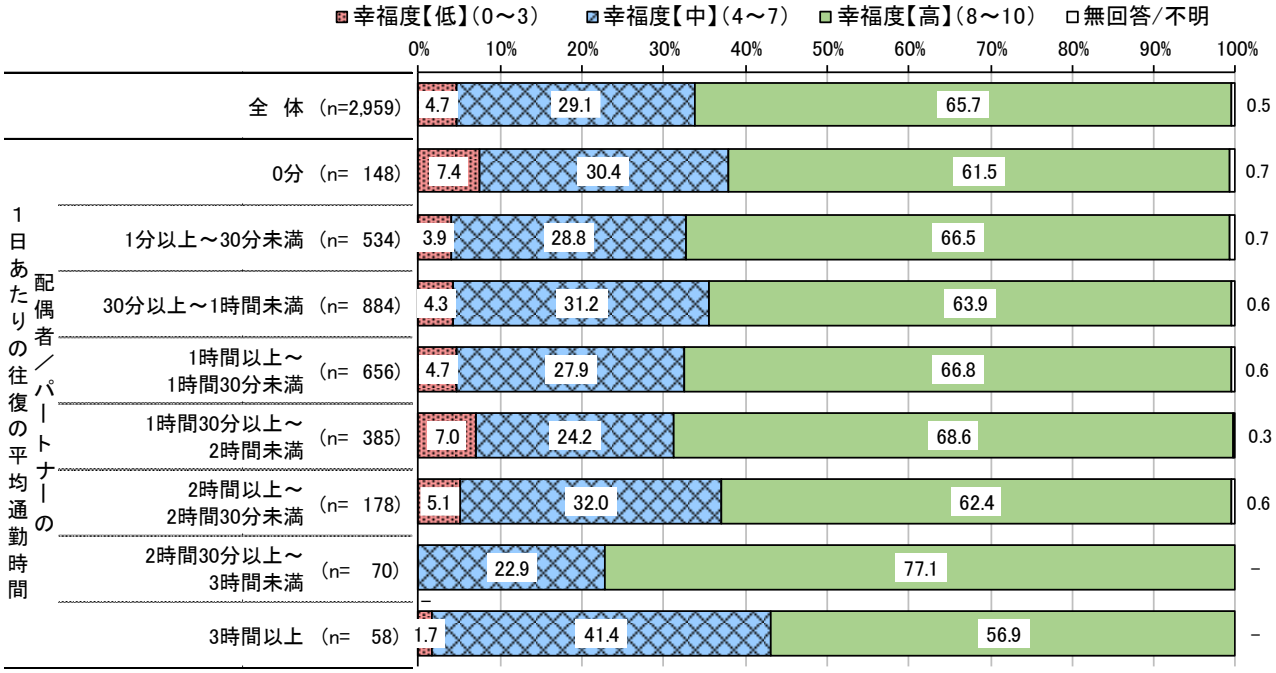
図表 2-33 配偶者／パートナーの1日あたりの往復の平均通勤時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「2 時間 30 分以上～3 時間未満」の保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 77.1%である。

図表 2-34 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別)



（保護者：共通）問 15.【問 13A で「１日」～「７日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。（１つだけ）

【全体】

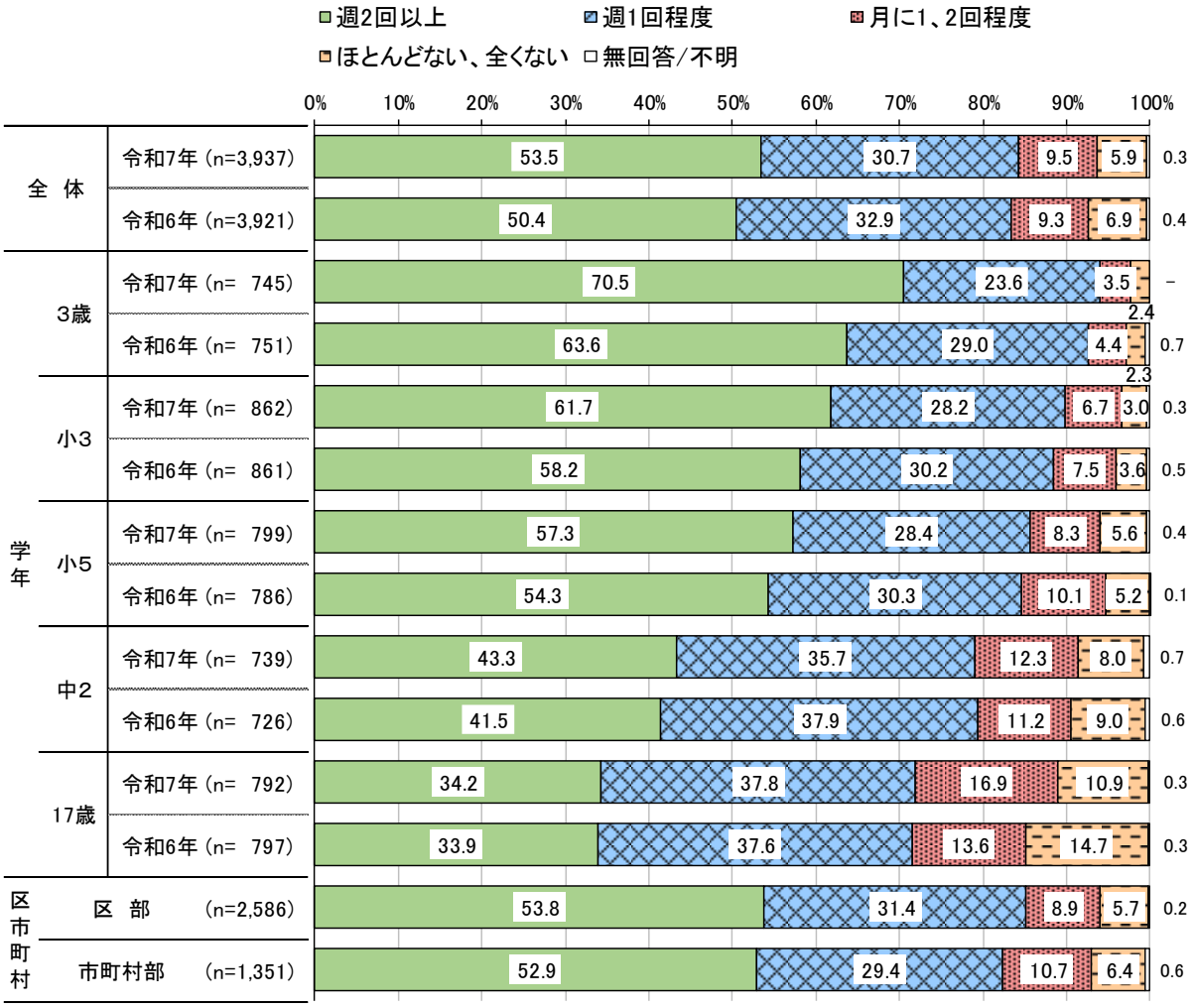
「週2回以上」が 53.5％で最も高く、次いで「週1回程度」が 30.7％である。

【学年別】

3歳では、「週2回以上」が 70.5％で最も高い。「週2回以上」は学年が上がるにつれて低くなり、17 歳では「週1回程度」が 37.8％で最も高い。

経年比較でみると、3歳で「週2回以上」が 6.9 ポイント増加している。

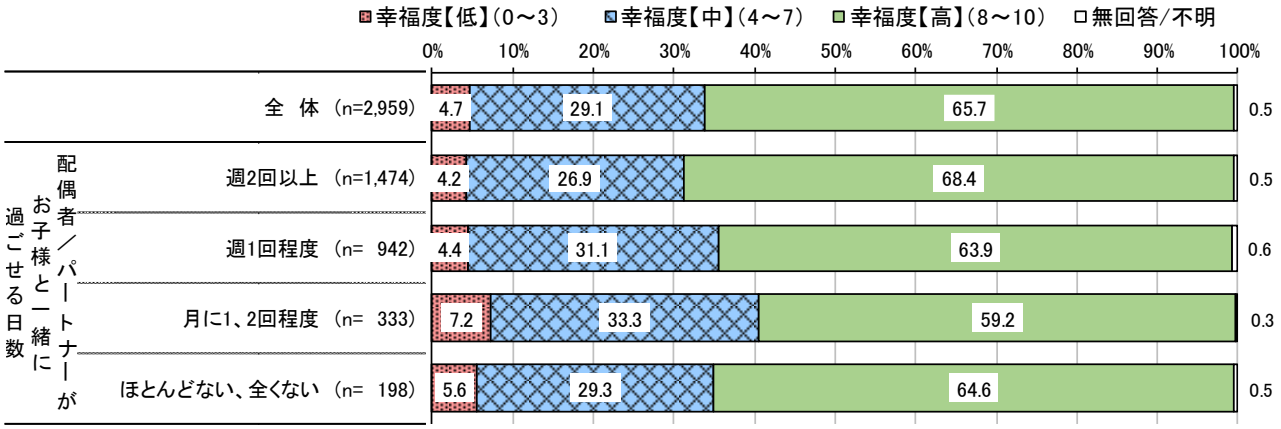
図表 2-35 配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別に子供の幸福度をみると、「月に1、2 回程度」から「週 2 回以上」までは、過ごせる日数が多いほど子供の幸福度【高】(8～10)が増加する傾向があり、「週2回以上」と回答した保護者の子供では 68.4%である。

図表 2-36 子供の幸福度(「配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別)



（保護者：共通）問 16.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者/パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　配偶者/パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる）

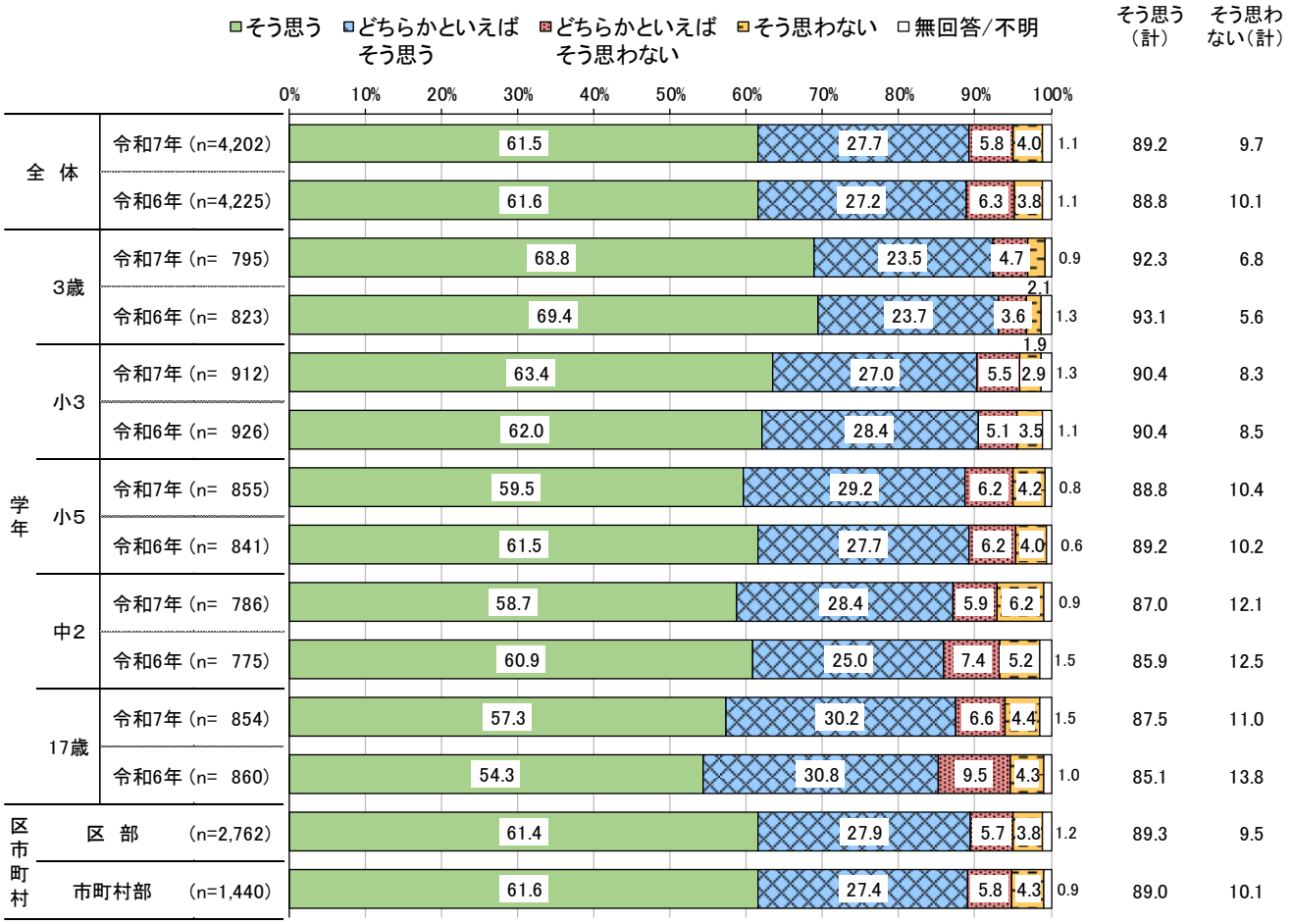
【全体】

「そう思う」が 61.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.7%と続く。配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、89.2%である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」が最も高く、3歳では 68.8%である。学年が上がるにつれて「そう思う」が低くなり、17 歳では 57.3%だが、「そう思う（計）」はどの学年も 87.0%以上である。

図表 2-37　A 配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる　＜単一回答＞

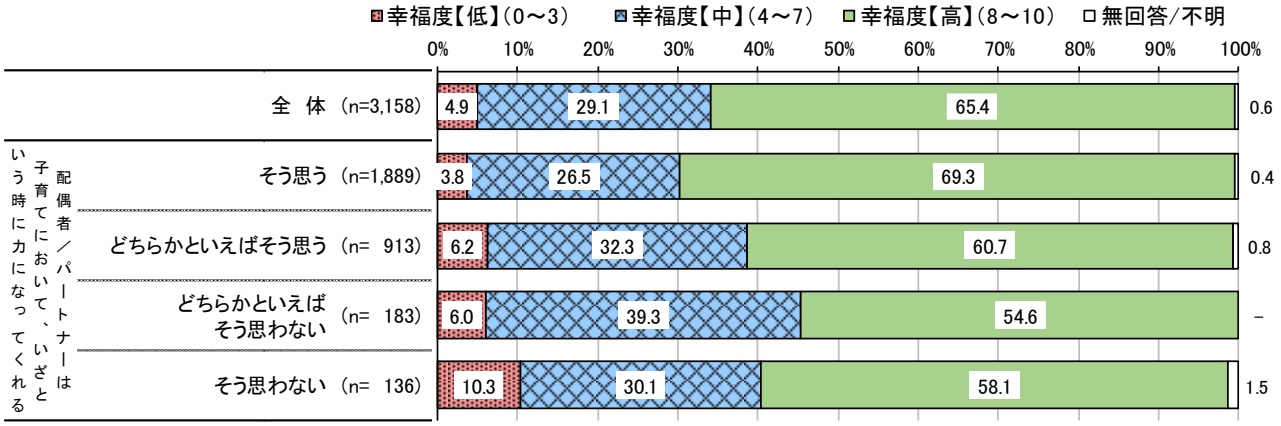


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 69.3%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では幸福度【低】(0～3)が 10.3%である。

図表 2-38 子供の幸福度(「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」の回答別)



（保護者：共通）問 16.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者/パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　配偶者/パートナーのことを信頼している）

【全体】

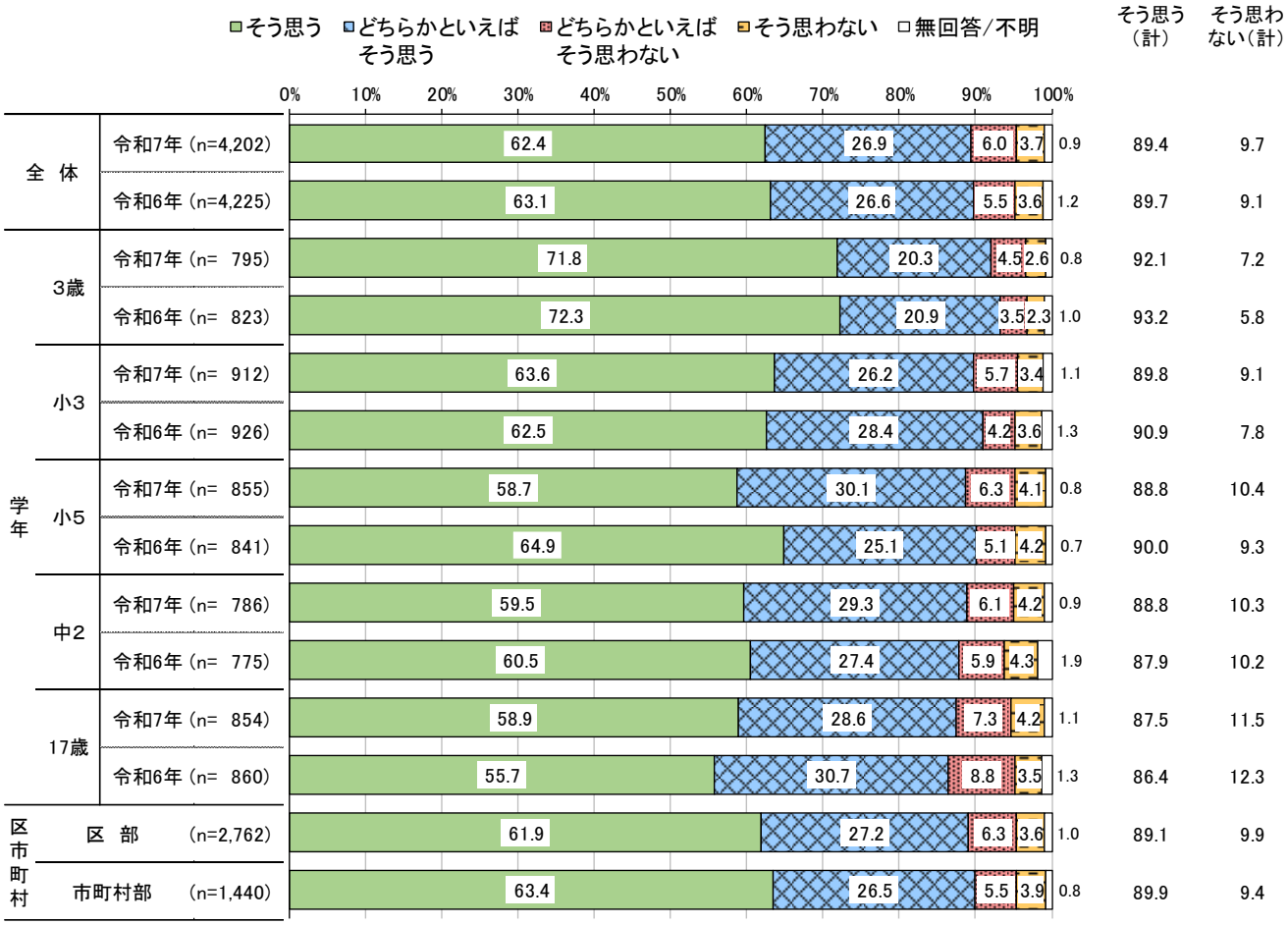
「そう思う」が 62.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.9%である。配偶者／パートナーのことを信頼している（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 89.4%である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」が最も高く、3歳では 71.8%、17 歳では 58.9%である。

経年比較でみると、小5で「そう思う」が 6.2 ポイント減少している。

図表 2-39　B 配偶者／パートナーのことを信頼している　＜単一回答＞

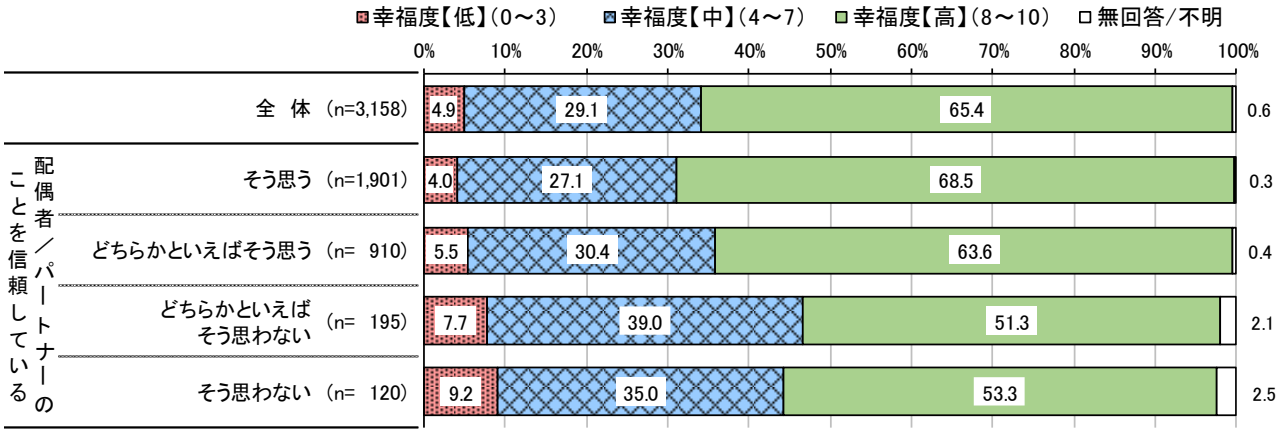


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーのことを信頼している」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 68.5%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では幸福度【低】(0～3)が9.2%である。

図表 2-40 子供の幸福度(「配偶者／パートナーのことを信頼している」の回答別)



（保護者：共通）問 17.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者/パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会はどれくらいありますか。（1つだけ）

【全体】

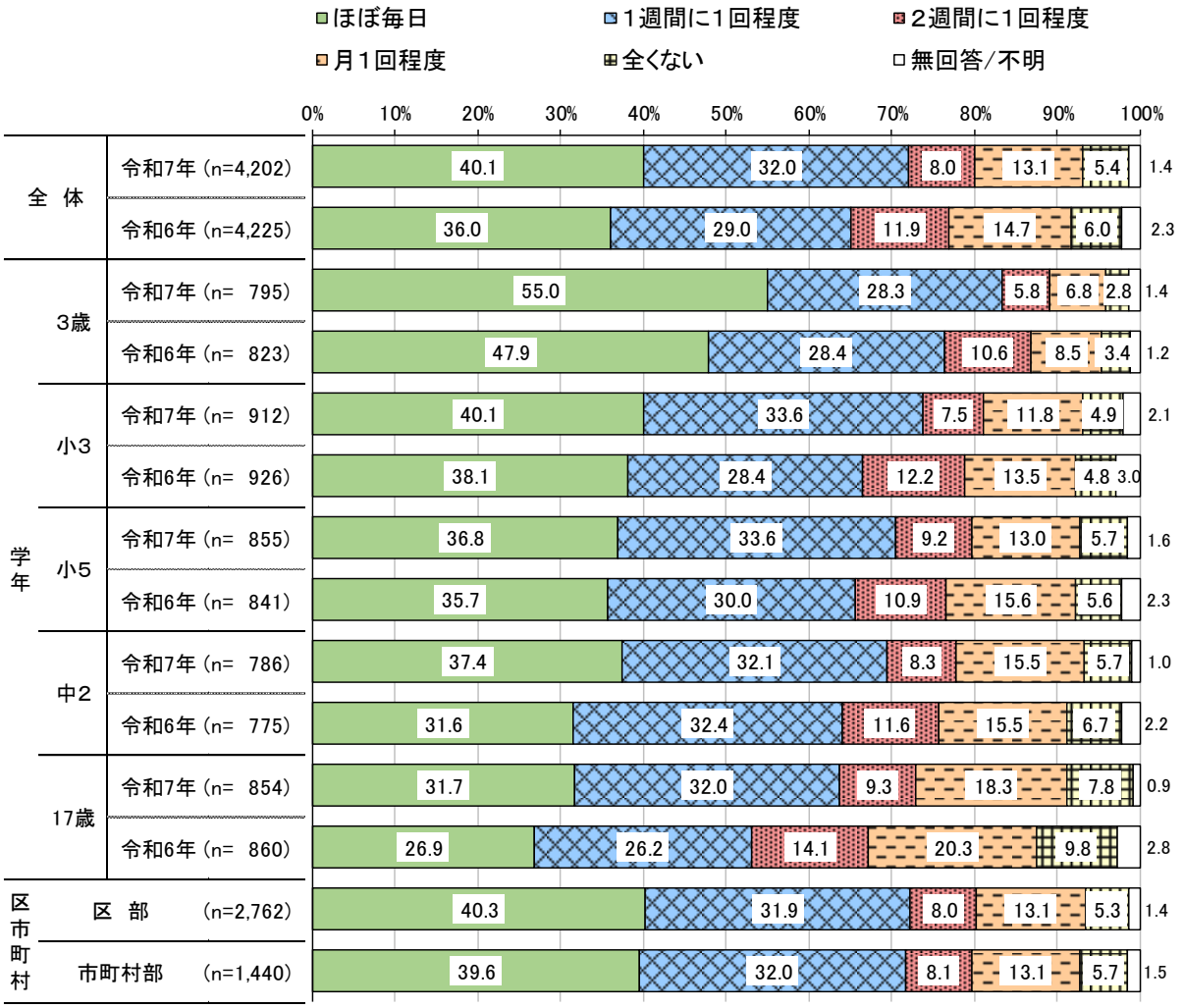
「ほぼ毎日」が 40.1%で最も高く、次いで「1週間に1回程度」が 32.0%である。

【学年別】

学年が上がるにつれて「ほぼ毎日」は減少傾向にあり、3歳の 55.0%に対して 17 歳では 31.7%である。

経年比較でみると、「ほぼ毎日」が3歳で 7.1 ポイント、中2で 5.8 ポイント増加している。

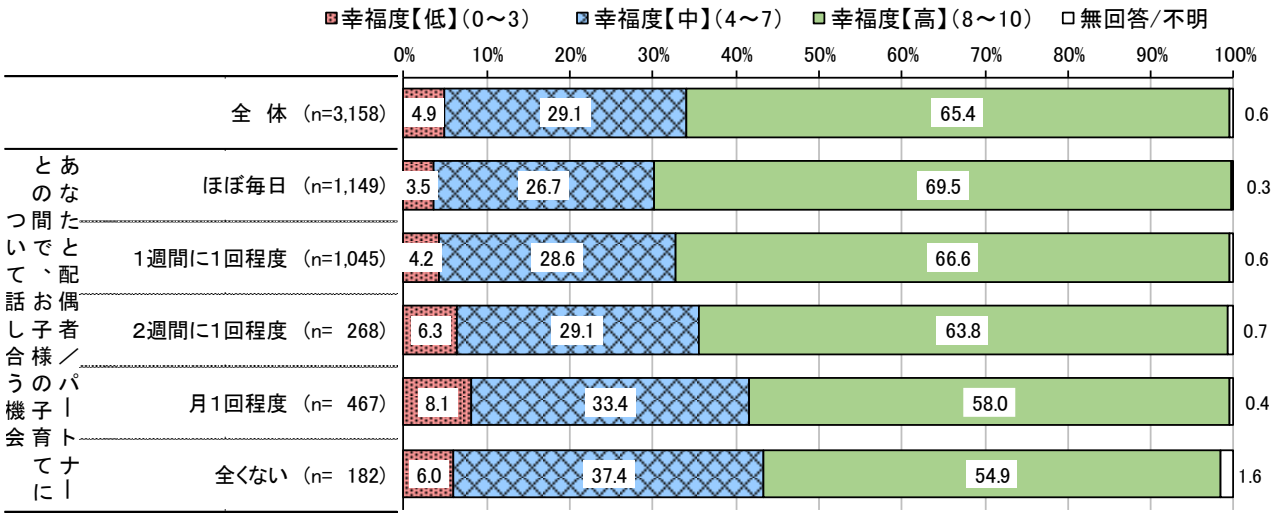
図表 2-41 あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会」の回答別に子供の幸福度をみると、話し合う機会が多い保護者の子供ほど幸福度【高】(8～10)が高い傾向で、「全くない」と回答した保護者の子供では 54.9%であるのに対して、「ほぼ毎日」と回答した保護者の子供では 69.5%である。

図表 2-42 子供の幸福度(「あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会」の回答別)

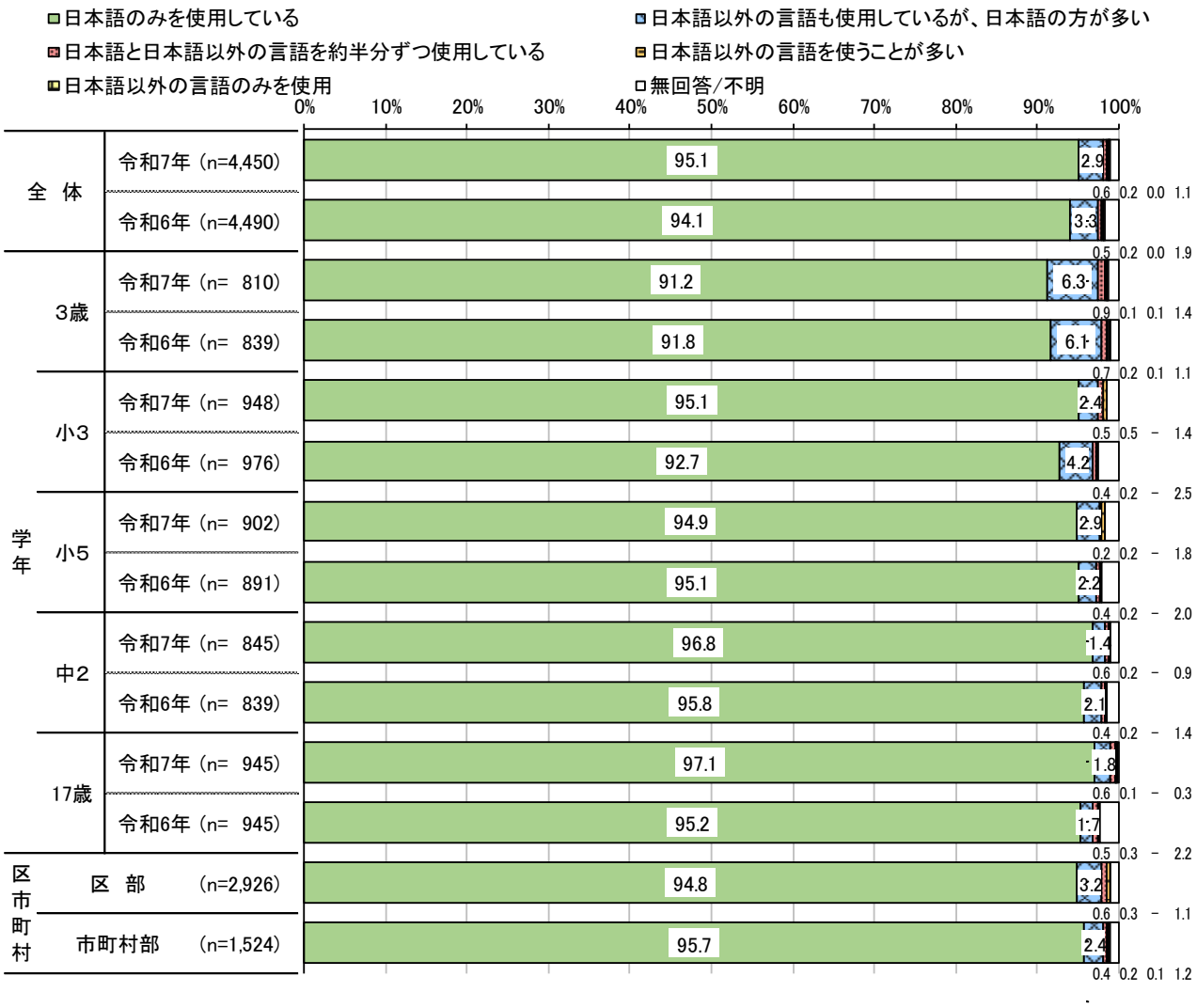


（保護者：共通）問 18. ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合はどれくらいですか。（1つだけ）

【全体】

「日本語のみを使用している」が 95.1％で最も高い。

図表 2-43 ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合 ＜単一回答＞



（保護者：共通）問 19.【問 18 で「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」～「日本語以外の言語のみを使用」と回答された方にお聞きします。】
使用している日本語以外の言語について、全てお答えください。（いくつでも）

【全体】

「英語」が 73.5％で最も高く、次いで「中国語」が 19.9％、「韓国語」が 5.4％である。

【学年別】

3歳では、「英語」が 83.3％で最も高い。

図表 2-44 使用している日本語以外の言語について ＜複数回答＞

(%)

			n	英語	中国語	韓国語	スペイン語	フィリピン語	ベトナム語	その他	無回答/不明
全体		令和7年	166	73.5	19.9	5.4	1.2	2.4	1.8	7.2	1.2
		令和6年	180	73.9	13.9	6.7	1.7	3.3	2.2	8.3	1.7
学年	3歳	令和7年	60	83.3	13.3	3.3	－	－	1.7	6.7	－
		令和6年	60	83.3	6.7	8.3	－	1.7	3.3	5.0	－
	小3	令和7年	33	69.7	27.3	9.1	－	－	3.0	9.1	3.0
		令和6年	47	68.1	17.0	4.3	2.1	4.3	－	10.6	2.1
	小5	令和7年	30	66.7	23.3	3.3	3.3	－	－	6.7	3.3
		令和6年	26	73.1	3.8	7.7	3.8	－	3.8	11.5	3.8
	中2	令和7年	19	63.2	21.1	10.5	5.3	5.3	5.3	－	－
		令和6年	23	69.6	21.7	4.3	－	4.3	－	8.7	4.3
	17歳	令和7年	24	70.8	20.8	4.2	－	12.5	－	12.5	－
		令和6年	24	66.7	29.2	8.3	4.2	8.3	4.2	8.3	－
区市町村	区部		120	71.7	22.5	6.7	0.8	1.7	－	6.7	1.7
	市町村部		46	78.3	13.0	2.2	2.2	4.3	6.5	8.7	－

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【自由記述】

その他（家庭内で使用している日本語以外の言語）
モンゴル（保護者・3歳）
インドネシア（保護者・3歳）
ドイツ語（保護者・3歳）
タイ語（保護者・3歳）
アラビア語（保護者・小3）
ロシア語（保護者・小3）
フランス語（保護者・小3）
イタリア語（保護者・小5）
ロシア語（保護者・小5）
イタリア語（保護者・17 歳）
フランス語（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（1. あなたの割合）

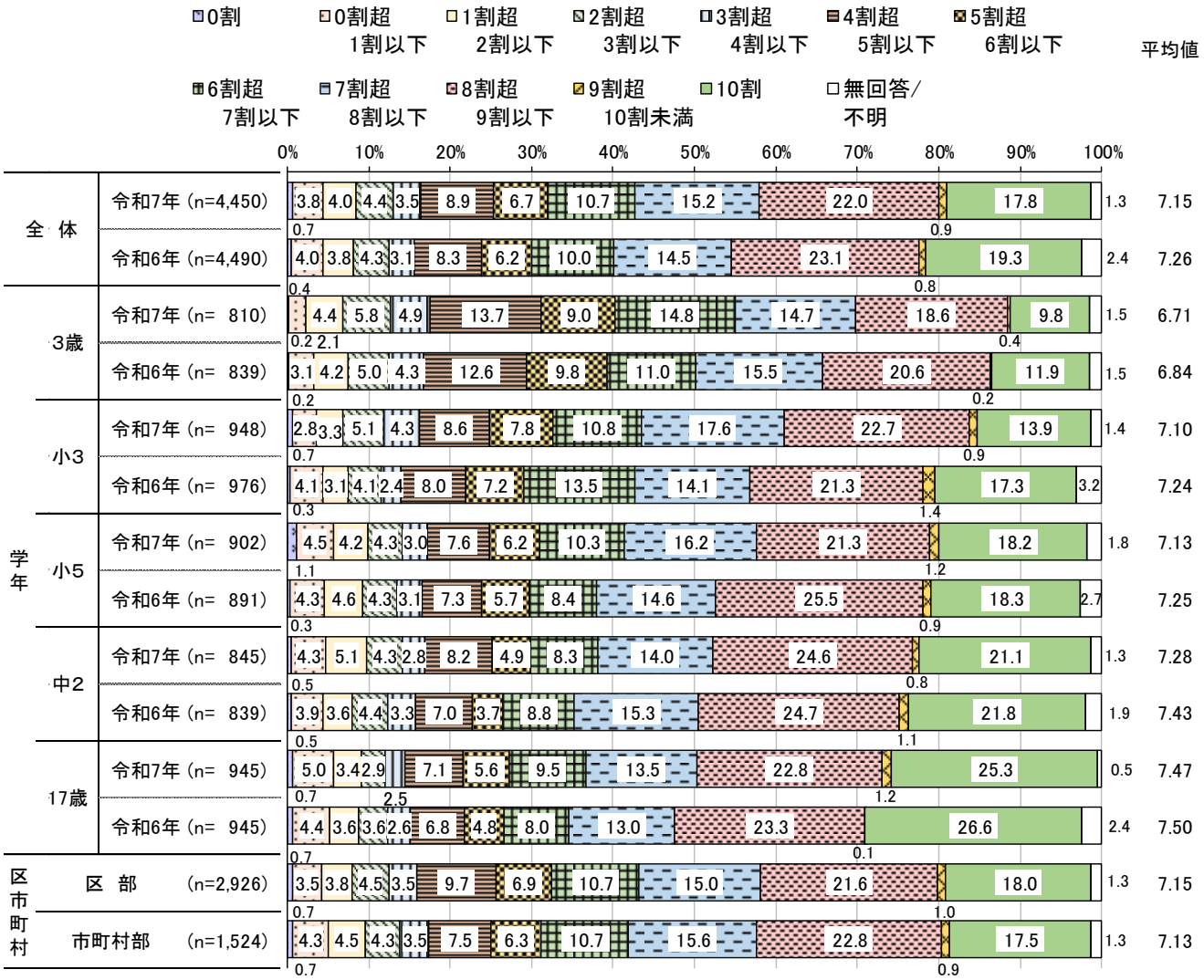
【全体】

「8割超9割以下」が 22.0％で最も高く、次いで「10 割」が 17.8％である。平均値は 7.15 割である。

【学年別】

17 歳では、「10 割」が 25.3％で最も高い。その他の学年では、「8割超9割以下」が最も高い。平均値は学年が上がるにつれて高くなる傾向にあり、3歳は 6.71 割に対し、17 歳では 7.47 割である。

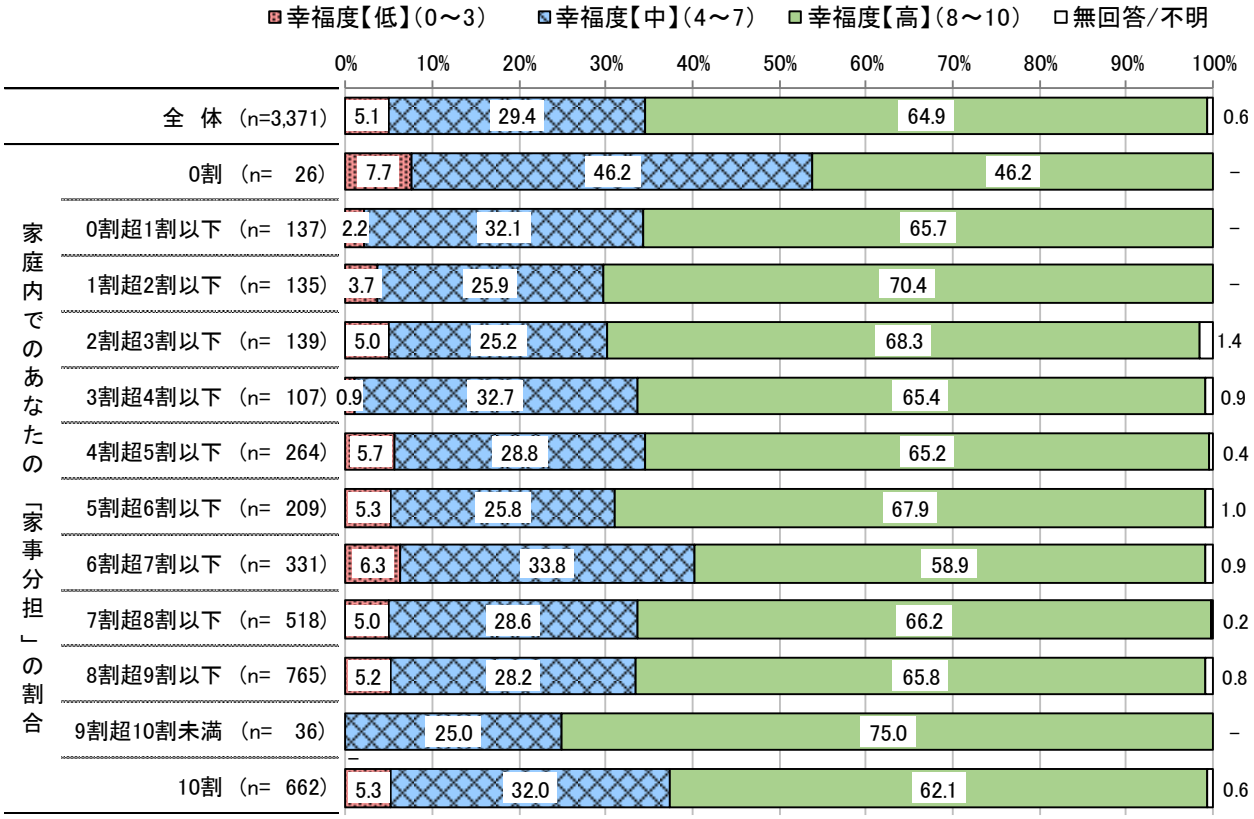
図表 2-45 家庭内でのあなたの「家事分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内でのあなたの『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、自身の家事分担は「10 割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 62.1%である。

図表 2-46 子供の幸福度(「家庭内でのあなたの『家事分担』の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（2. 配偶者/パートナーの割合）

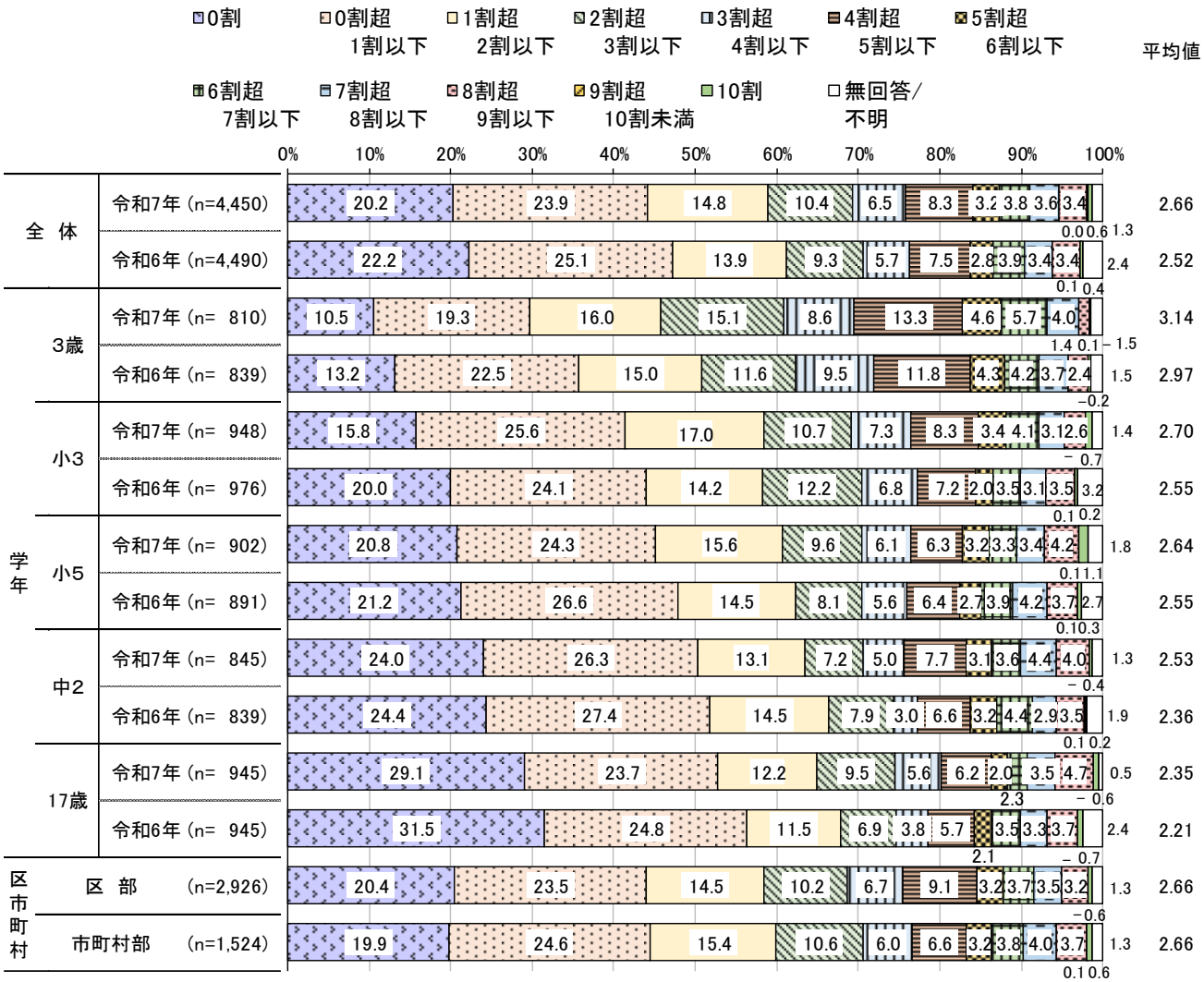
【全体】

「0割超1割以下」が 23.9%で最も高く、次いで「0割」が 20.2%である。平均値は 2.66 割である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「0割」が増加傾向にあり、3歳では 10.5%であるのに対して、17 歳では 29.1%である。平均値は、3歳では 3.14 割で、17 歳では 2.35 割である。

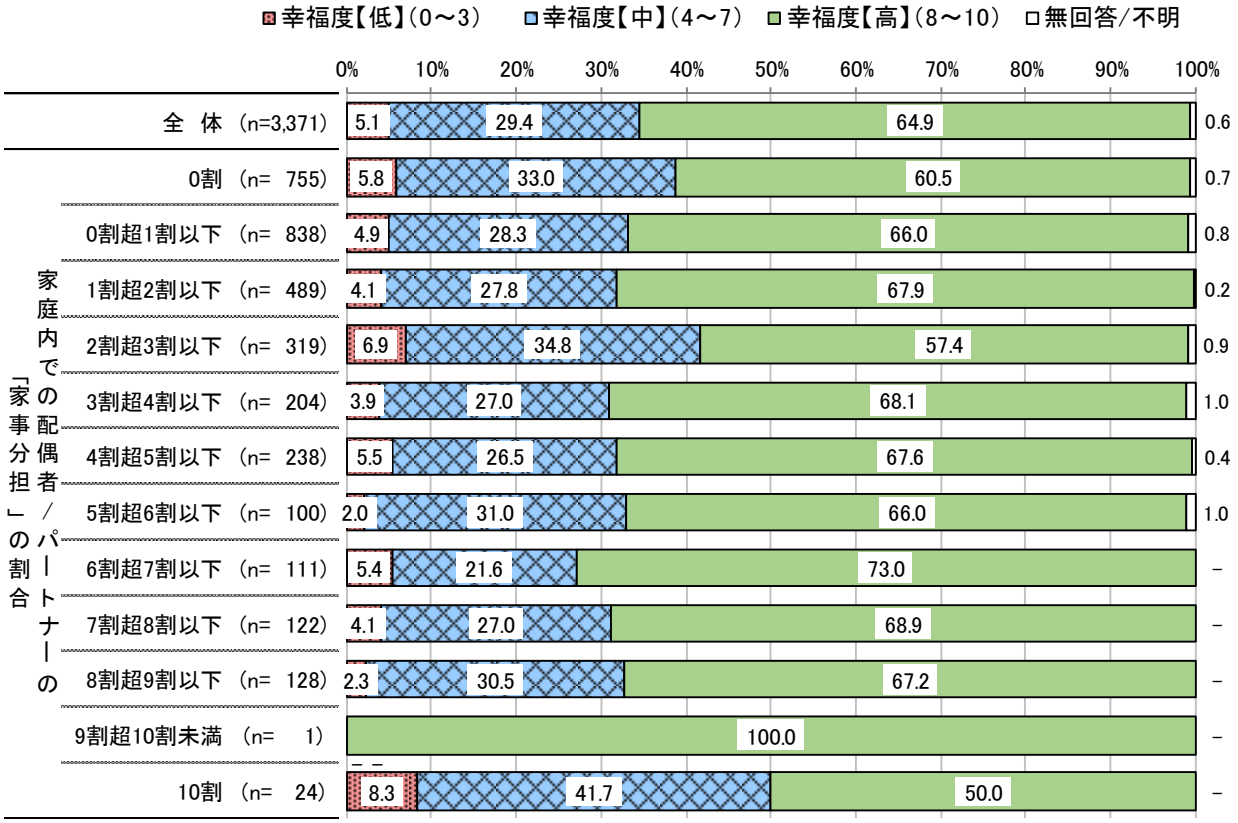
図表 2-47 家庭内での配偶者／パートナーの「家事分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内での配偶者／パートナーの『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの家事分担は「0割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.5%である。

図表 2-48 子供の幸福度(「家庭内での配偶者／パートナーの『家事分担』の割合」の回答別)

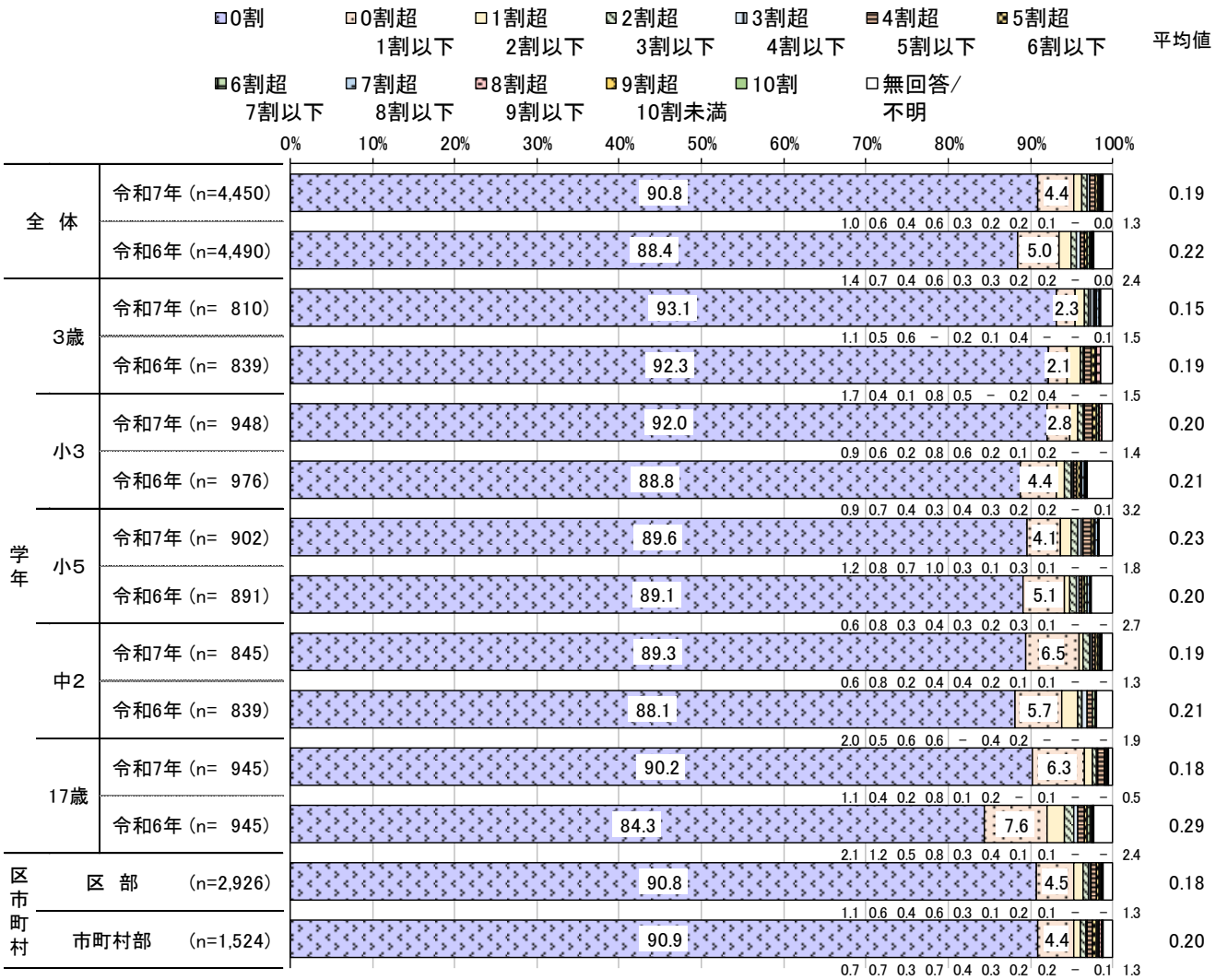


（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（3. その他の割合）

【全体】
「0割」が 90.8％で最も高く、平均値は 0.19 割である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高く、89.3％以上である。平均値は小5では 0.23 割で最も高く、3歳では 0.15 割で最も低い。

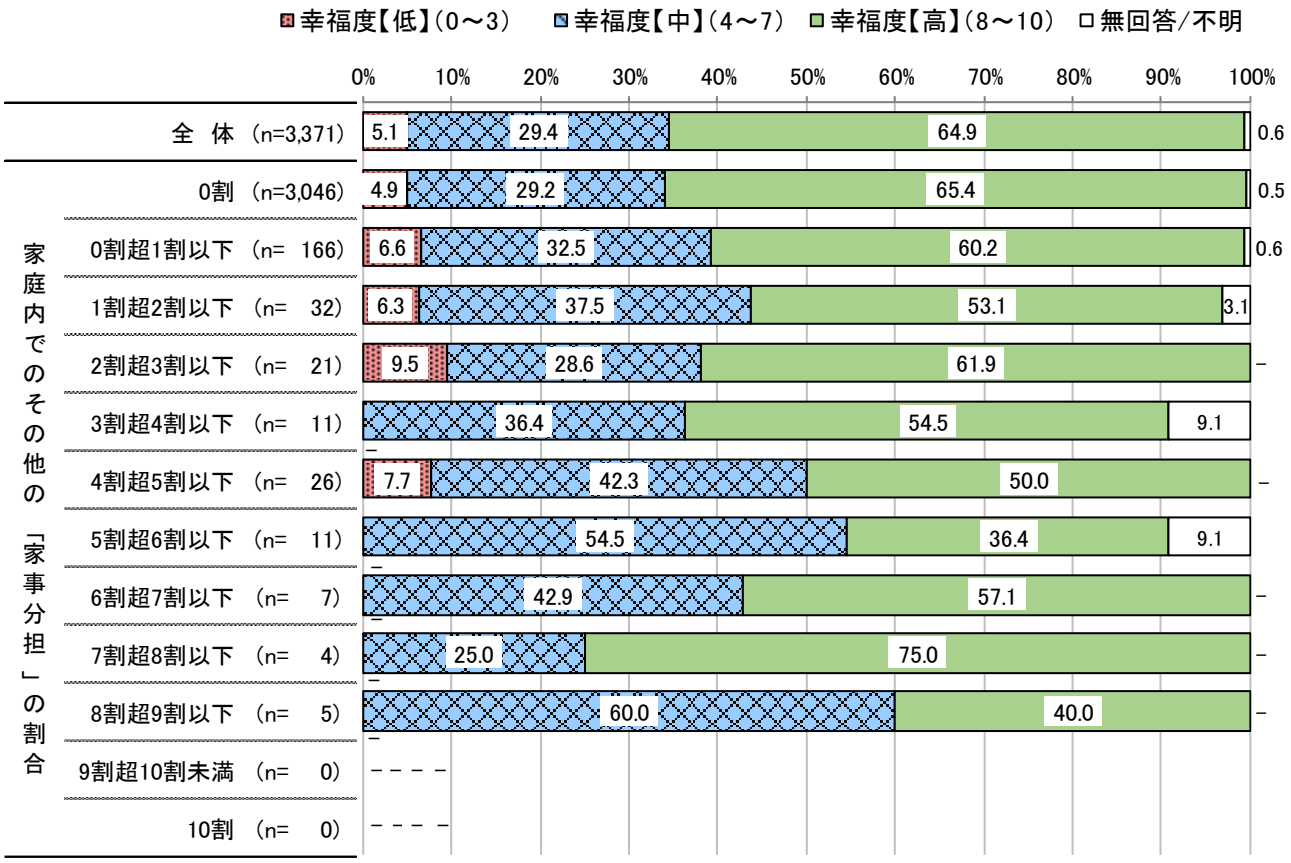
図表 2-49 家庭内でのその他の「家事分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内でのその他の『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、その他の家事分担が「0割」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 65.4%である。

図表 2-50 子供の幸福度(「家庭内でのその他の『家事分担』の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（1. あなたの割合）

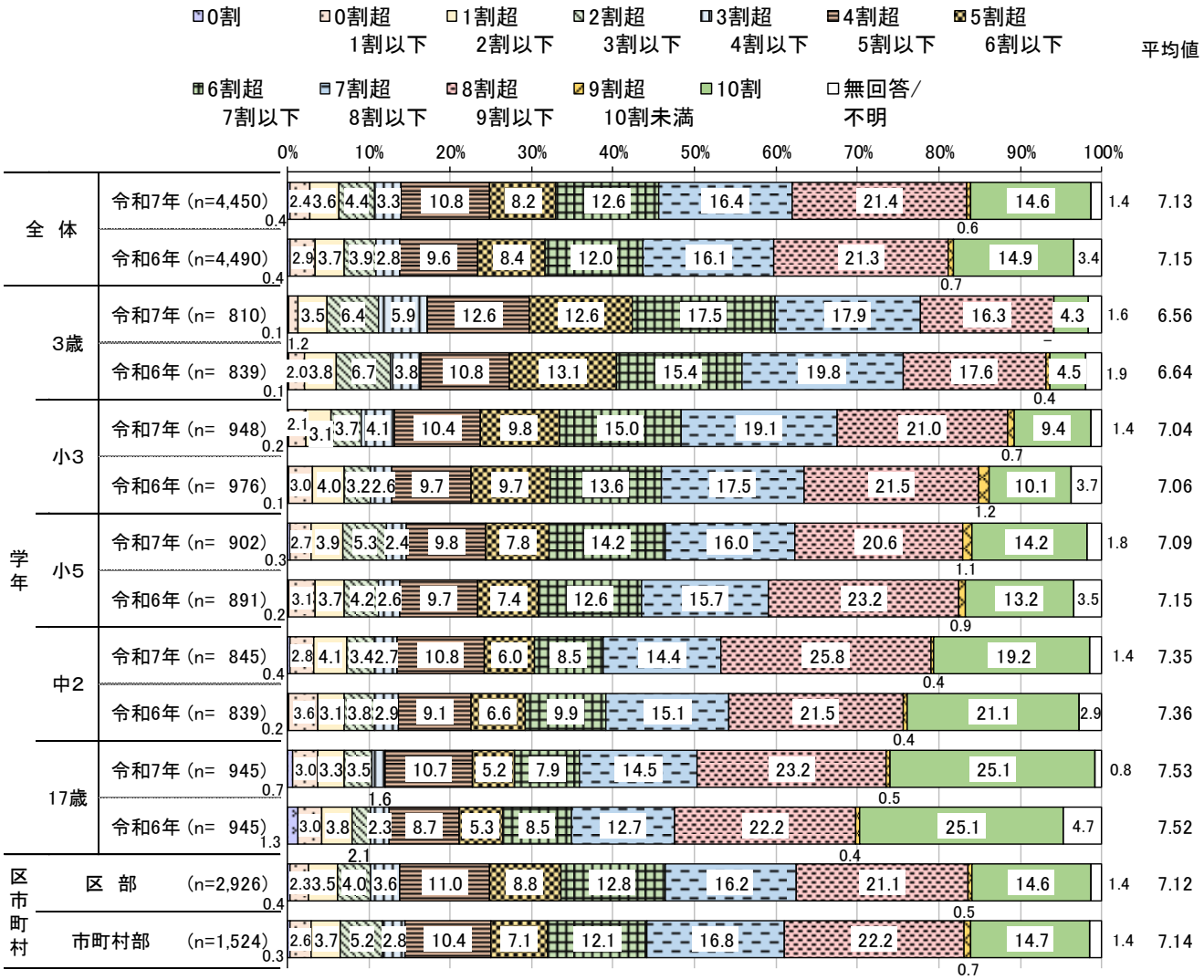
【全体】

「8割超9割以下」が 21.4％で最も高く、次いで「7割超8割以下」が 16.4％である。平均値は 7.13 割である。

【学年別】

3歳では「7割超8割以下」が 17.9％で最も高く、平均値は 6.56 割である。17 歳では「10 割」が 25.1％で最も高く、平均値は 7.53 割である。

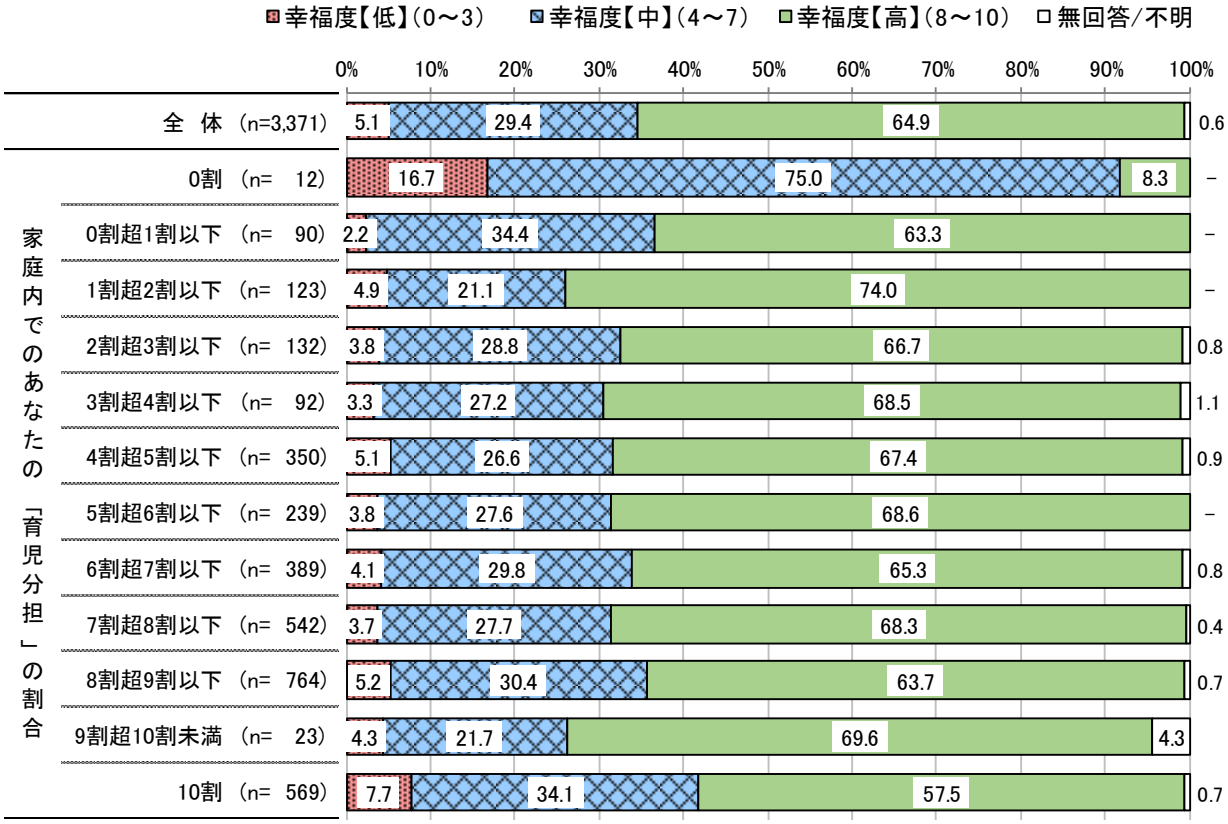
図表 2-51 家庭内でのあなたの「育児分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内でのあなたの『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、自身の育児分担は「10 割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 57.5%である。

図表 2-52 子供の幸福度(「家庭内でのあなたの『育児分担』の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（2. 配偶者/パートナーの割合）

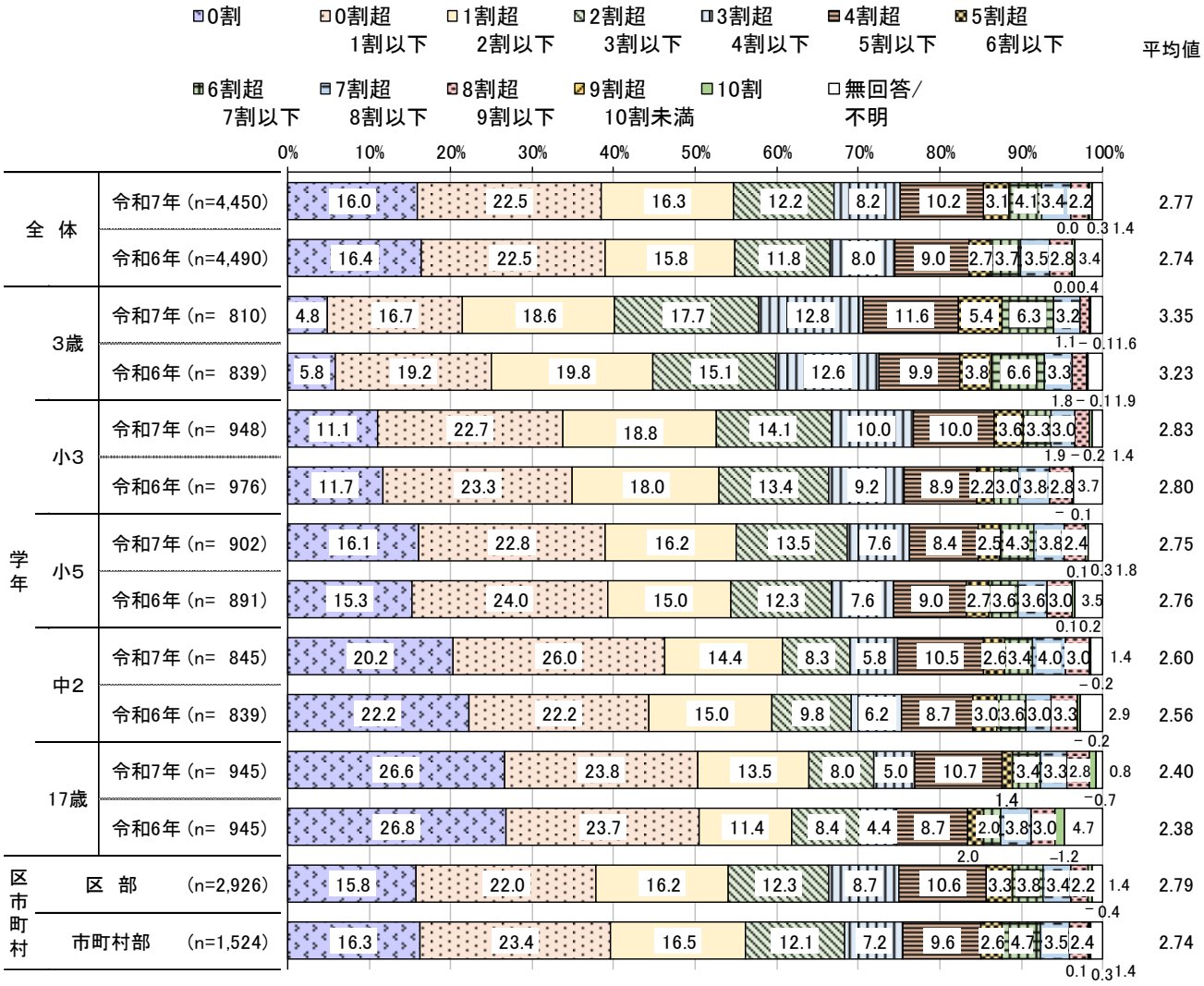
【全体】

「0割超1割以下」が 22.5%で最も高く、次いで「1割超2割以下」が 16.3%、「0割」が 16.0%で、平均値は 2.77 割である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「0割」が増加傾向にあり、3歳では 4.8%であるが、17 歳では 26.6%である。平均値は、3歳では 3.35 割、17 歳では 2.40 割である。

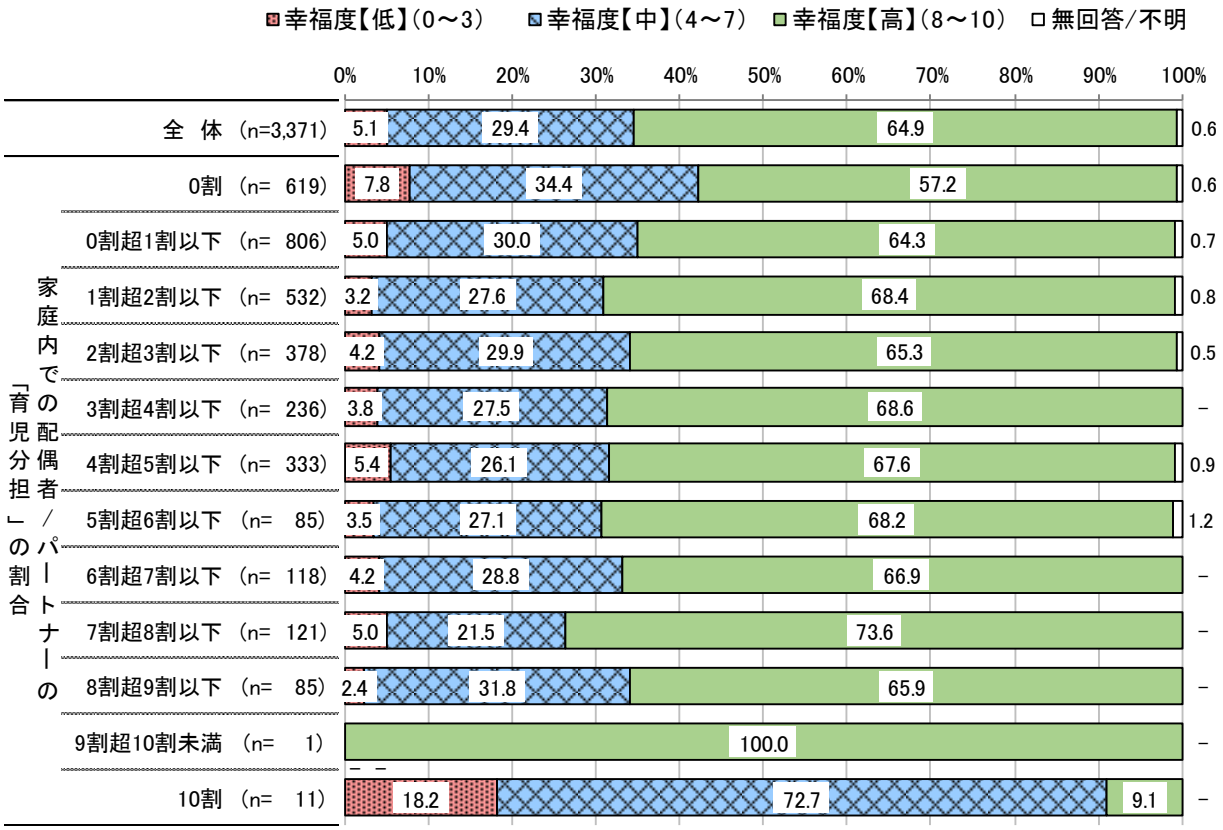
図表 2-53 ご家庭内での配偶者／パートナーの「育児分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内での配偶者／パートナーの『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの育児分担は「0割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.2%である。

図表 2-54 子供の幸福度(「家庭内での配偶者／パートナーの『育児分担』の割合」の回答別)

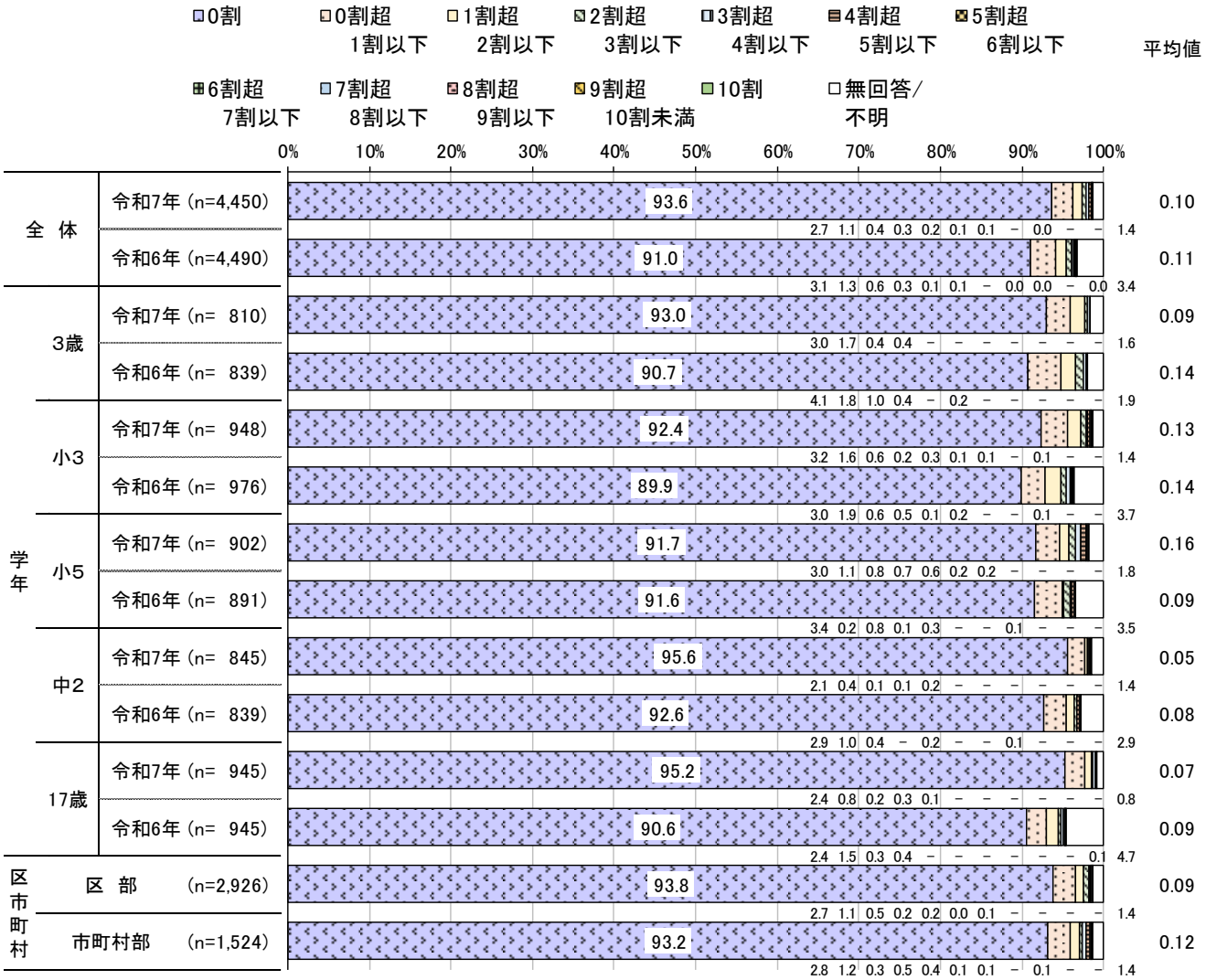


（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（3. その他の割合）

【全体】
「0割」が 93.6％で最も高く、平均値は 0.10 割である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高い。

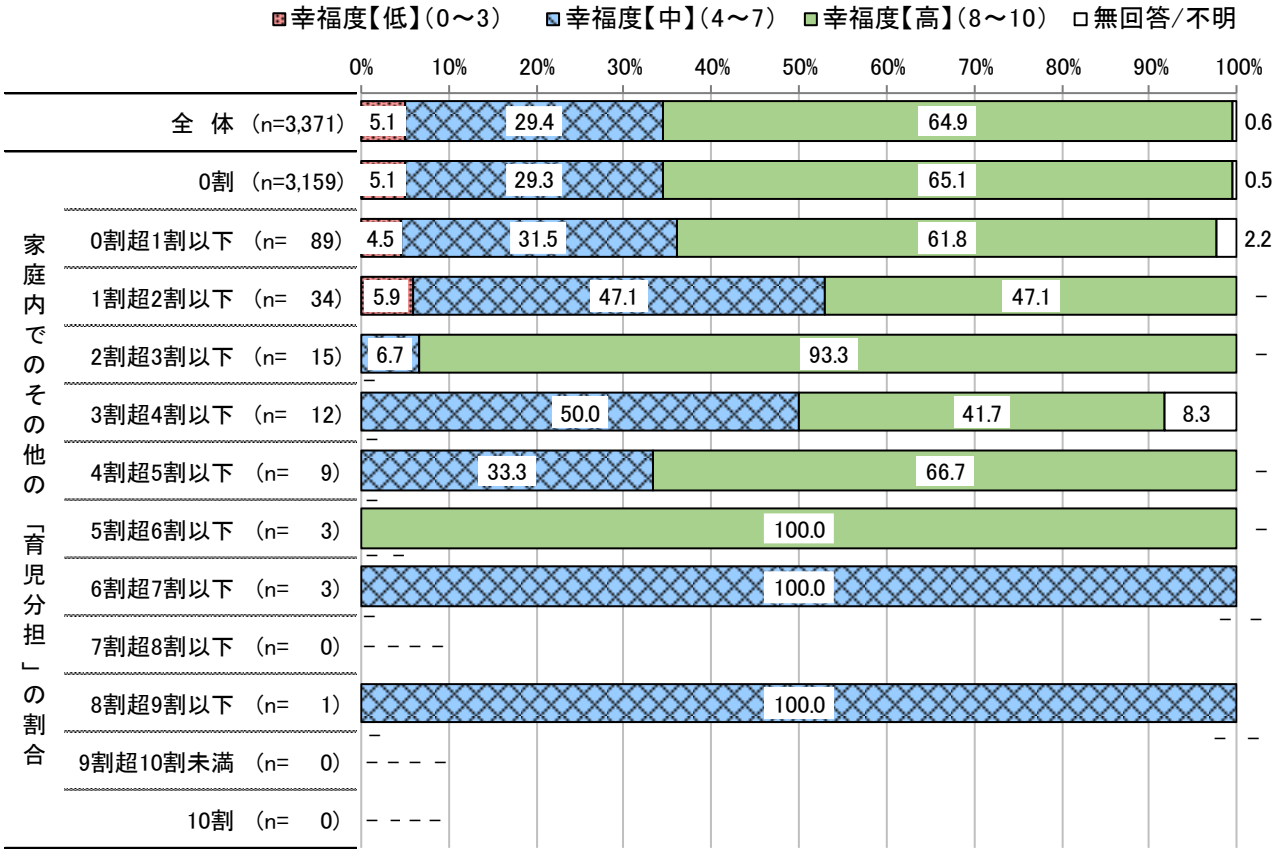
図表 2-55 ご家庭内でのその他の「育児分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内でのその他の『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、その他の育児分担は「0割」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 65.1%である。

図表 2-56 子供の幸福度(「家庭内でのその他の『育児分担』の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 21A.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足していますか。（1つだけ）

【全体】

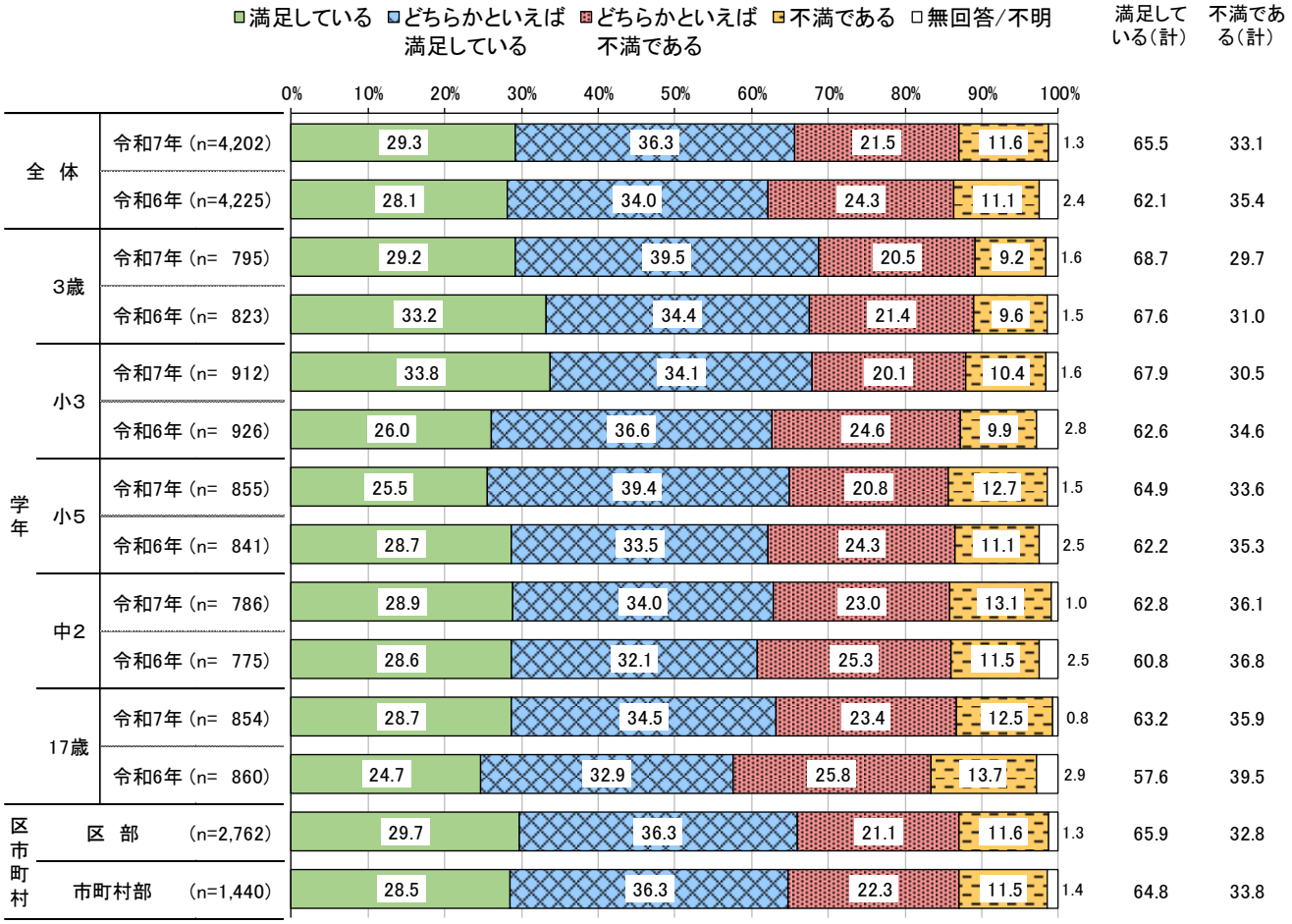
「どちらかといえば満足している」は 36.3％で最も高く、自身と配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は 65.5％である。

【学年別】

自身と配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は、3歳が 68.7％で最も高く、学年が上がるにつれて減少傾向である。

経年比較でみると、自身と配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は、小3で 5.3 ポイント、17 歳で 5.6 ポイント増加している。

図表 2-57 ご家庭内での家事分担の満足度 ＜単一回答＞

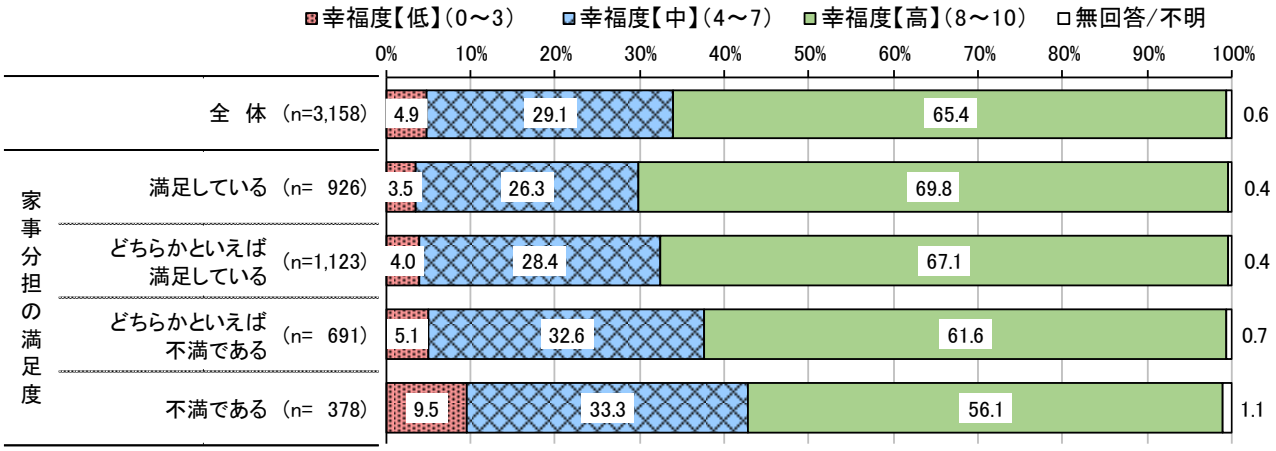


※満足している（計）は「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合。
不満である（計）は「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の割合。

【子供の幸福度】

「ご家庭内での家事分担の満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、満足度が高い保護者の子供ほど幸福度【高】(8～10)が高い傾向であり、「満足している」と回答した保護者の子供では 69.8%である。

図表 2-58 子供の幸福度(「ご家庭内での家事分担の満足度」の回答別)



（保護者：共通）問 21B.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

【全体】

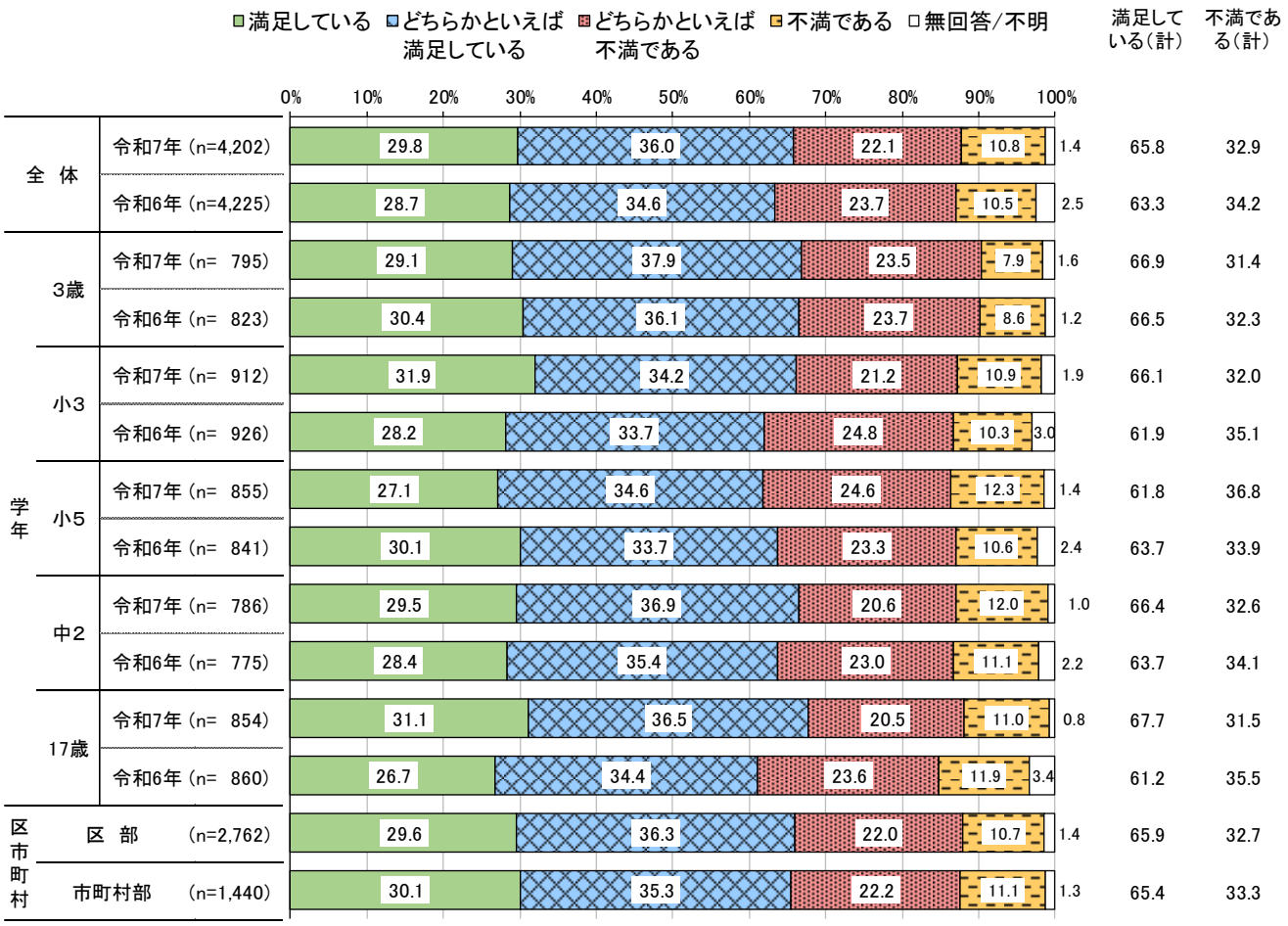
「どちらかといえば満足している」が 36.0％で最も高く、自身と配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は 65.8％である。

【学年別】

自身と配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は、小5が 61.8％と低く、3歳、小3、中2、17 歳はいずれも 66.1％以上である。

経年比較でみると、自身と配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は、17 歳で 6.5 ポイント増加している。

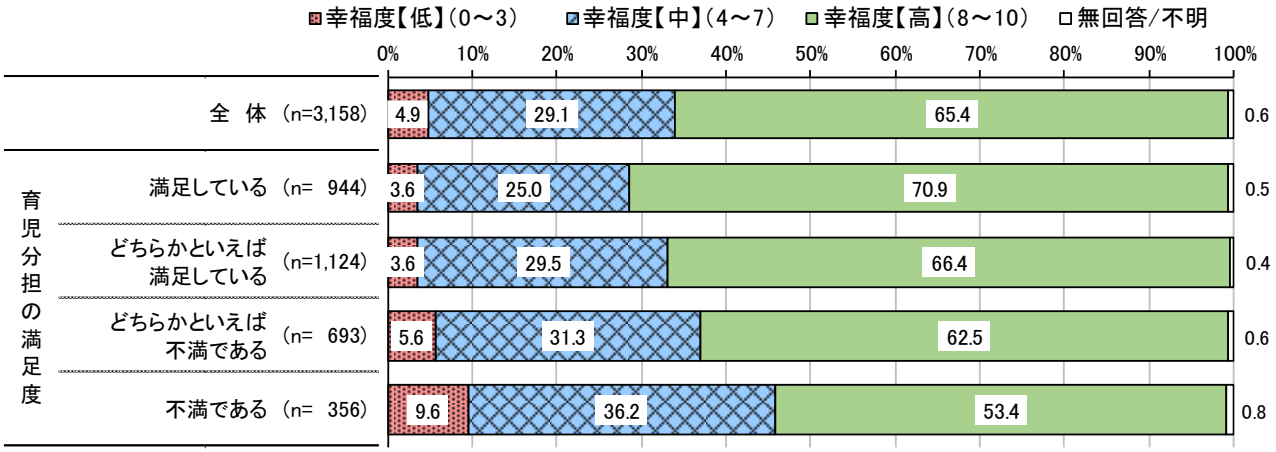
図表 2-59 ご家庭内での育児分担の満足度 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内での育児分担の満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、満足度が高い保護者の子供ほど幸福度【高】(8～10)が増加傾向にあり、「満足している」と回答した保護者の子供では 70.9%である。

図表 2-60 子供の幸福度(「家庭内での育児分担の満足度」の回答別)



（保護者：共通）問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。

（いくつでも）

（A 介護・補助が必要な方）

【全体】

「介護や補助が必要な人がいる」の中では「祖父母」が 3.6％で最も高く、次いで「父母（養継父／養継母含む）」が 1.3％、「お子様のきょうだい」が 1.2％と続く。「介護や補助が必要な人はいない」は 88.3％である。

【学年別】

「介護や補助が必要な人はいない」は、いずれの学年でも 86％以上である。介護・補助が必要な方の中では、いずれの学年でも「祖父母」が最も高い。

図表 2-61 A 介護・補助が必要な方 ＜複数回答＞

(%)

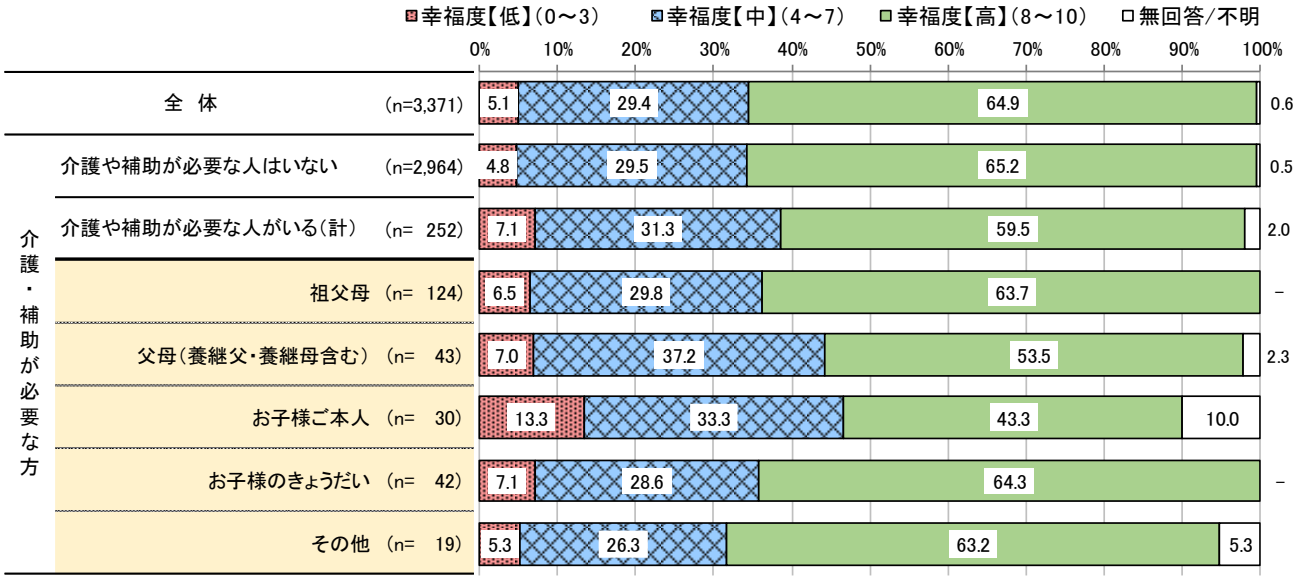
			n	祖父母	父母（養継父・養継母含む）	お子様ご本人	お子様のきょうだい	その他	介護や補助が必要な人はいない	無回答／不明	介護や補助が必要な人がいる（計）
全体		令和7年	4,450	3.6	1.3	1.1	1.2	0.5	88.3	4.3	7.4
		令和6年	4,490	3.4	1.3	1.1	1.5	0.3	85.7	7.1	7.2
学年	3歳	令和7年	810	3.1	0.6	1.2	1.2	0.2	90.2	4.1	5.7
		令和6年	839	2.0	1.3	1.0	1.4	0.2	88.7	5.7	5.6
	小3	令和7年	948	2.1	0.6	1.1	1.1	0.2	90.7	4.3	5.0
		令和6年	976	2.4	1.1	1.2	1.4	－	86.4	7.8	5.8
	小5	令和7年	902	3.4	1.1	1.0	1.3	0.4	86.8	5.9	7.3
		令和6年	891	4.4	1.2	1.0	1.8	0.3	84.7	7.0	8.3
	中2	令和7年	845	4.5	1.7	0.9	1.5	0.8	87.3	3.4	9.2
		令和6年	839	3.7	1.0	1.5	1.7	0.2	85.7	7.0	7.3
	17歳	令和7年	945	5.0	2.2	1.2	1.1	0.6	86.3	3.9	9.7
		令和6年	945	4.7	1.9	0.8	1.4	0.5	83.4	7.7	8.9
区市町村	区部		2,926	3.5	1.2	1.0	1.3	0.4	88.6	4.2	7.2
	市町村部		1,524	3.9	1.3	1.2	1.1	0.5	87.7	4.6	7.7

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「介護・補助が必要な方」の回答別に子供の幸福度をみると、「介護や補助が必要な人はいない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 65.2%である。「介護や補助が必要な人がいる(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.5%である。

図表 2-62 子供の幸福度(「介護・補助が必要な方」の回答別)



（保護者：共通）問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。

（いくつでも）

（B 主に介護・補助をされている方）※A で「祖父母」～「お子様のきょうだい」「その他」と回答された方

【全体】

「父母（養継父／養継母含む）」が 60.2％で最も高く、次いで「祖父母」が 28.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「父母（養継父／養継母含む）」が最も高く、次いで「祖父母」が続いている。

経年比較でみると、小3では「父母（養継父／養継母含む）」が 20.1 ポイント低くなっている。

図表 2-63 B 主に介護・補助をされている方 ＜複数回答＞

(%)

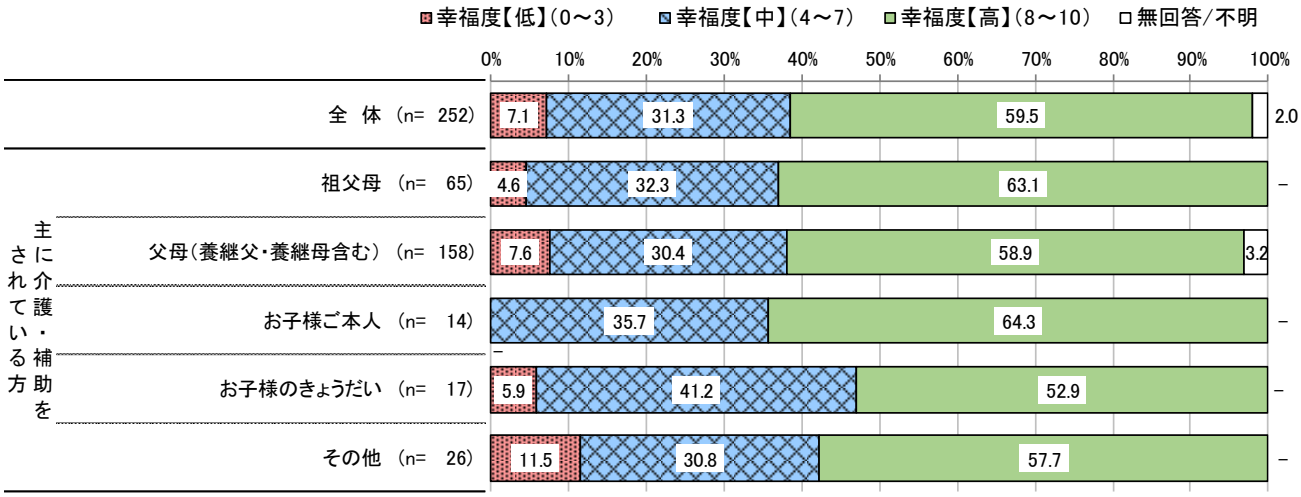
			n	祖父母	父母（養継父・養継母含む）	お子様ご本人	お子様のきょうだい	その他	無回答/不明
全体		令和7年	329	28.3	60.2	5.5	6.4	9.4	1.2
		令和6年	323	23.2	67.2	4.0	4.3	8.0	2.5
学年	3歳	令和7年	46	43.5	47.8	－	8.7	6.5	2.2
		令和6年	47	29.8	59.6	2.1	10.6	6.4	2.1
	小3	令和7年	47	25.5	55.3	4.3	10.6	8.5	2.1
		令和6年	57	14.0	75.4	5.3	1.8	5.3	1.8
	小5	令和7年	66	25.8	66.7	3.0	1.5	9.1	－
		令和6年	74	20.3	68.9	2.7	6.8	9.5	1.4
	中2	令和7年	78	25.6	53.8	7.7	6.4	14.1	1.3
		令和6年	61	23.0	65.6	3.3	3.3	11.5	3.3
	17歳	令和7年	92	26.1	69.6	8.7	6.5	7.6	1.1
		令和6年	84	28.6	65.5	6.0	1.2	7.1	3.6
区市町村	区部		211	30.3	56.9	5.2	6.6	10.4	1.4
	市町村部		118	24.6	66.1	5.9	5.9	7.6	0.8

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「主に介護・補助をされている方」の回答別に子供の幸福度をみると、「父母（養継父／養継母含む）」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 58.9％である。「祖父母」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 63.1％である。

図表 2-64 子供の幸福度（「主に介護・補助をされている方」の回答別）



【自由記述】

その他（家庭内で介護・補助が必要な方）
曽祖母（保護者・3歳）
叔父（保護者・3歳）
曽祖父（保護者・小3）
曽祖母（保護者・小5）
ひいおばあちゃん（保護者・中2）
義妹（保護者・中2）
同居していない祖父母（保護者・中2）
従兄弟（保護者・中2）
叔父（保護者・中2）

【自由記述】

その他（介護・補助に関わっている方）
介護施設（保護者・3歳）
ヘルパー（保護者・3歳）
病院（保護者・小3）
訪問看護師（保護者・小5）
兄（保護者・小5）
叔母（保護者・小5）
介護施設の方（保護者・中2）
おじ（保護者・中2）
義姉（保護者・中2）
叔父（保護者・中2）
おば（保護者・中2）
兄夫婦（保護者・中2）
ヘルパー（保護者・中2）
おじ（保護者・中2）
施設、病院スタッフ（保護者・17 歳）
叔母（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　毎日たくさん笑っている）

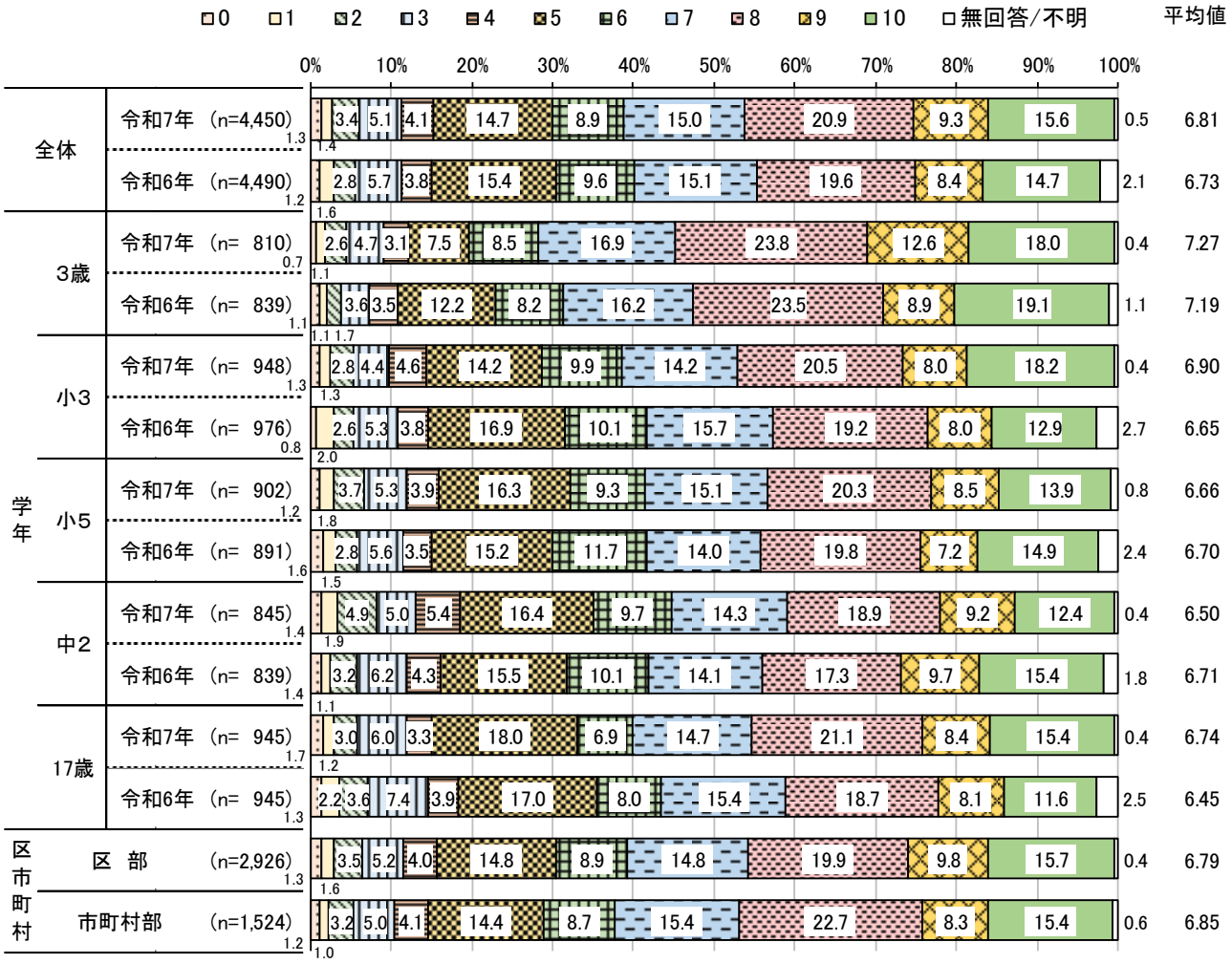
【全体】

「8」が 20.9％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.3％、「10」（とてもあてはまる）は 15.6％で、平均値は 6.81 である。

【学年別】

いずれの学年でも「8」が最も高い。平均値は、3歳が 7.27 で最も高い。

図表 2-65　A 毎日たくさん笑っている　＜単一回答＞

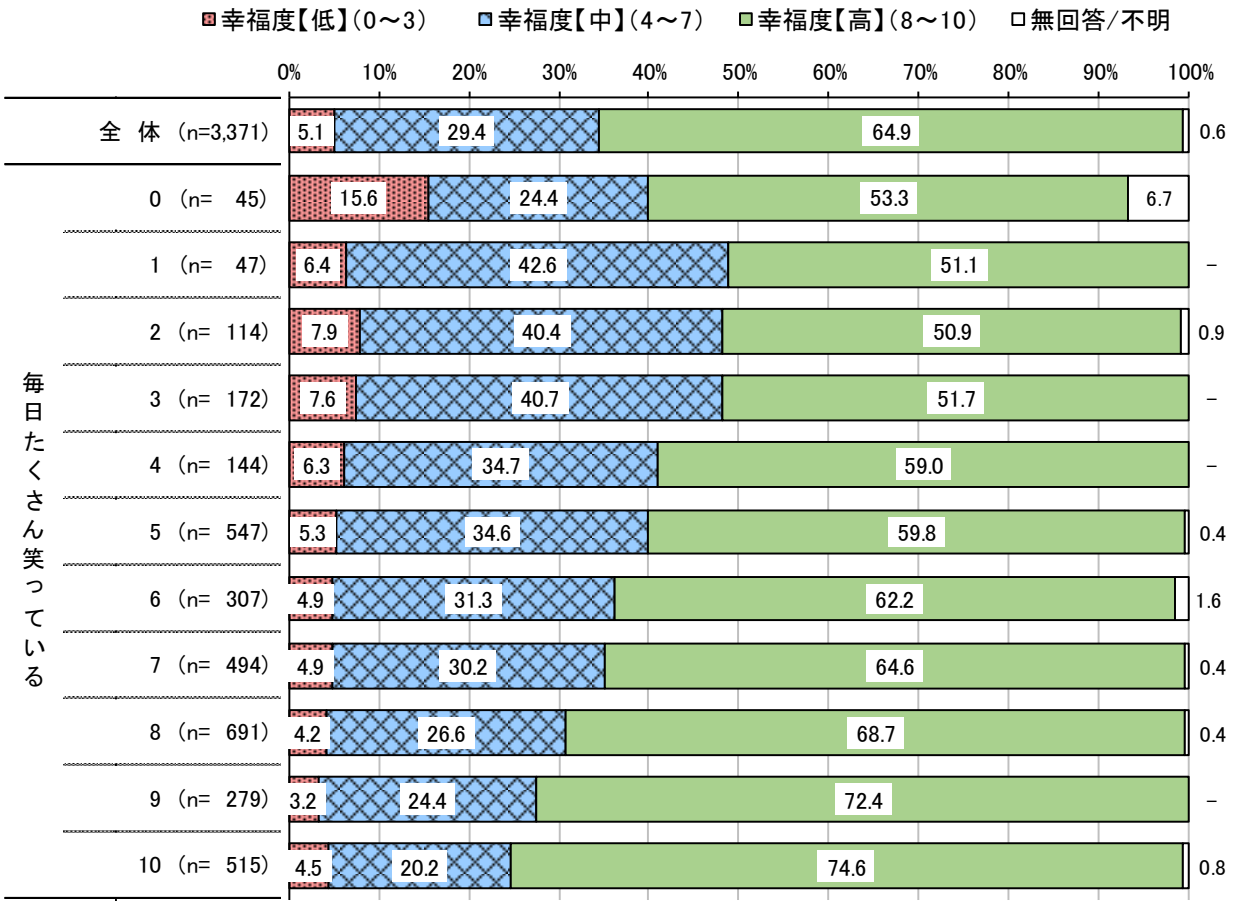


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「毎日たくさん笑っている」の回答別に子供の幸福度をみると、毎日たくさん笑っていると思う保護者の子供ほど幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.6%である。

図表 2-66 子供の幸福度(「毎日たくさん笑っている」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　今の自分は幸せだ）

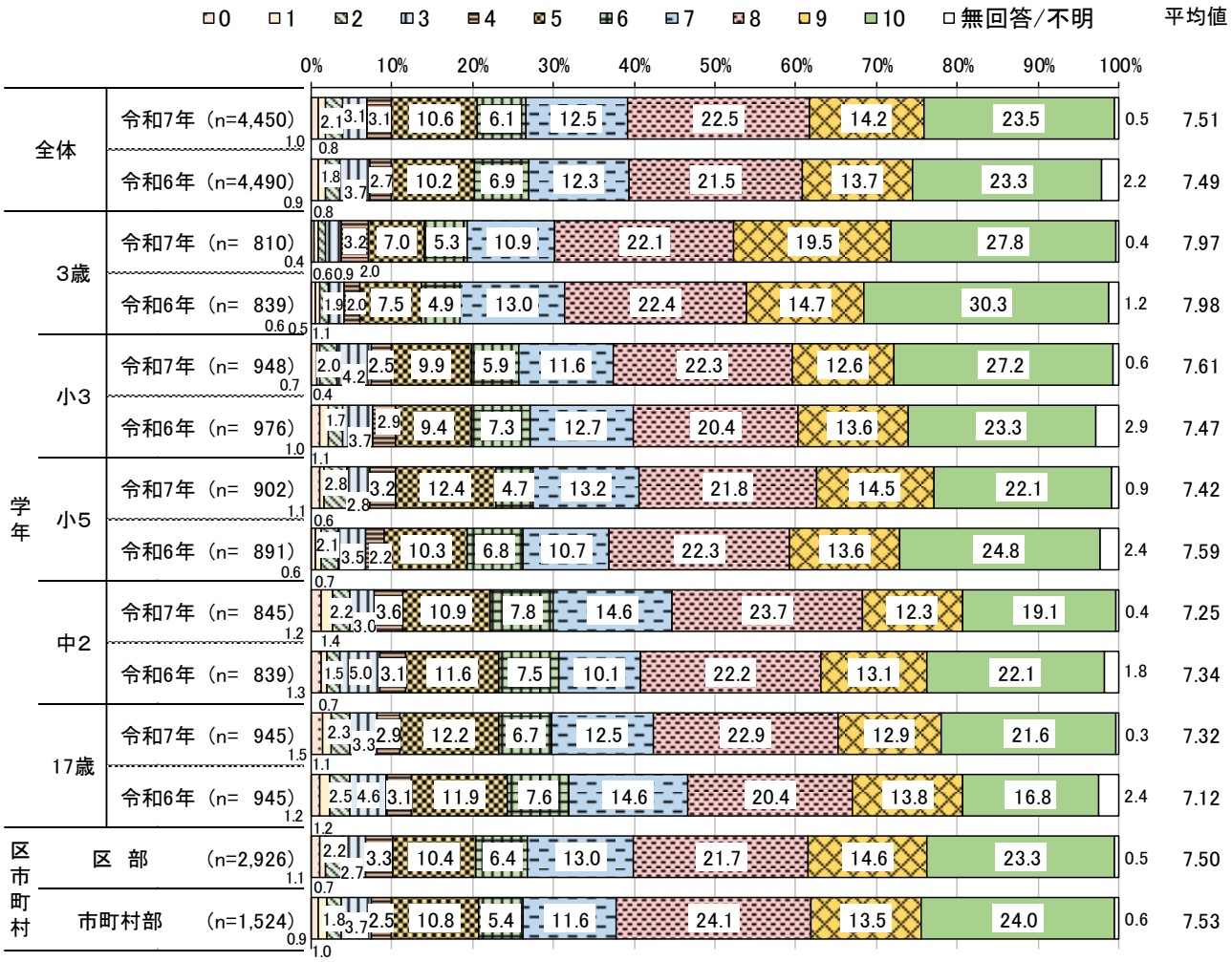
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 23.5％で最も高い。平均値は 7.51 である。

【学年別】

3歳、小3、小5では、「10」（とてもあてはまる）が最も高く、中2と 17 歳では「8」が最も高い。3歳では平均値が 7.97、17 歳では平均値が 7.32 である。

図表 2-67 B 今の自分は幸せだ ＜単一回答＞

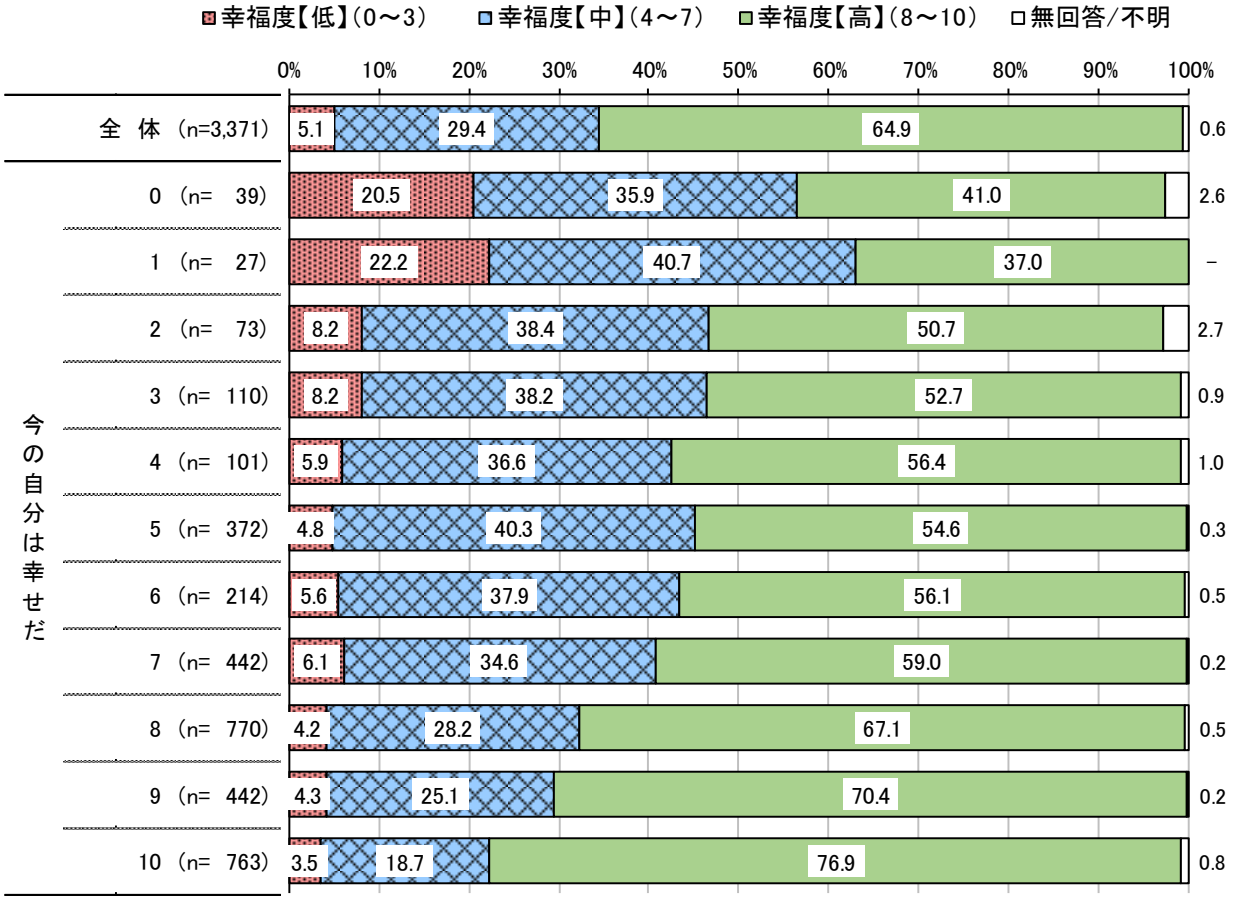


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分は幸せだ」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の幸福度が高いほど子供の幸福度も高くなる傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 76.9%である。

図表 2-68 子供の幸福度(「今の自分は幸せだ」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　今の自分の生活に満足している）

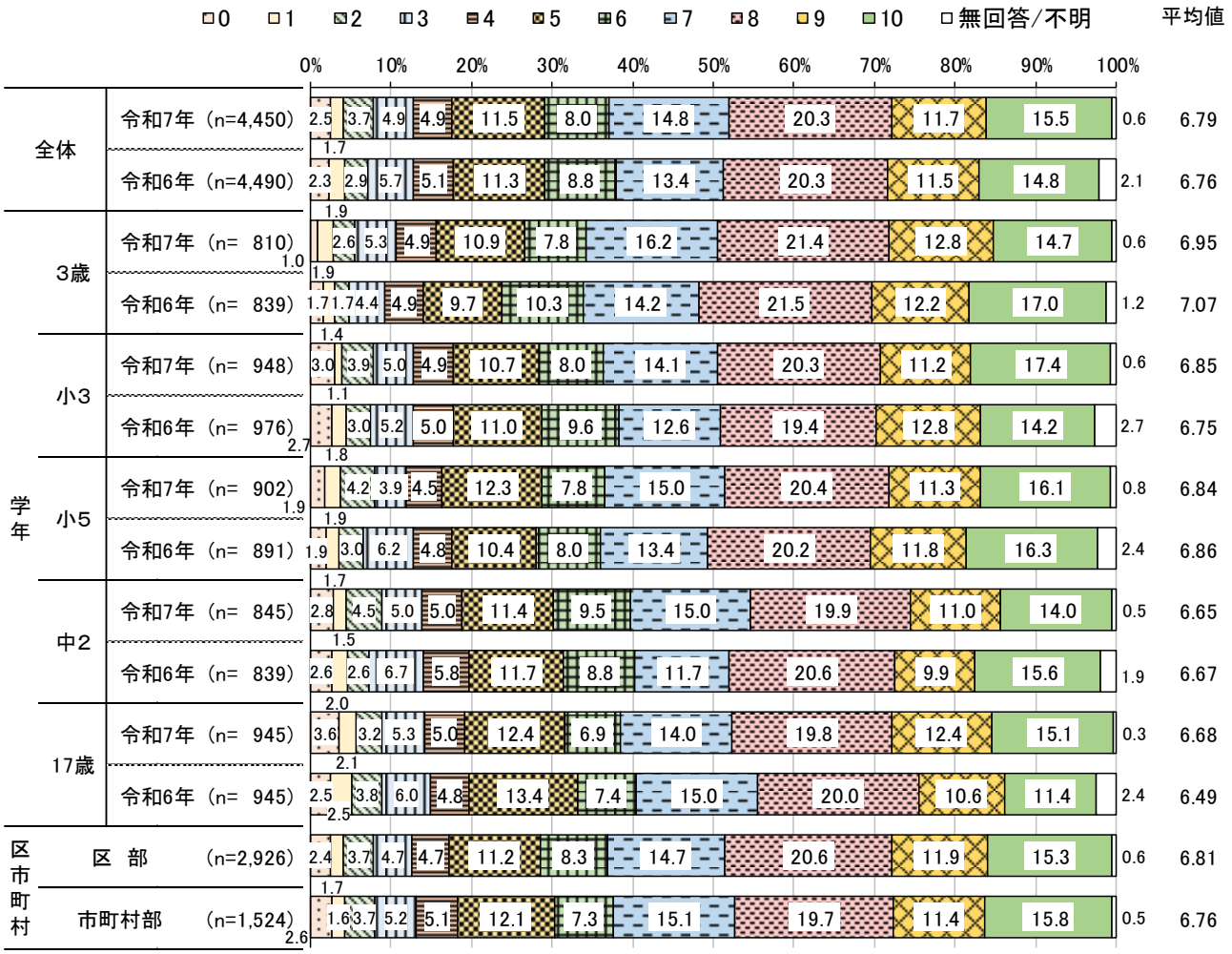
【全体】

「8」が 20.3%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.5%、「10」（とてもあてはまる）は 15.5%で、平均値は 6.79 である。

【学年別】

いずれの学年でも「8」が最も高い。

図表 2-69　C 今の自分の生活に満足している　＜単一回答＞

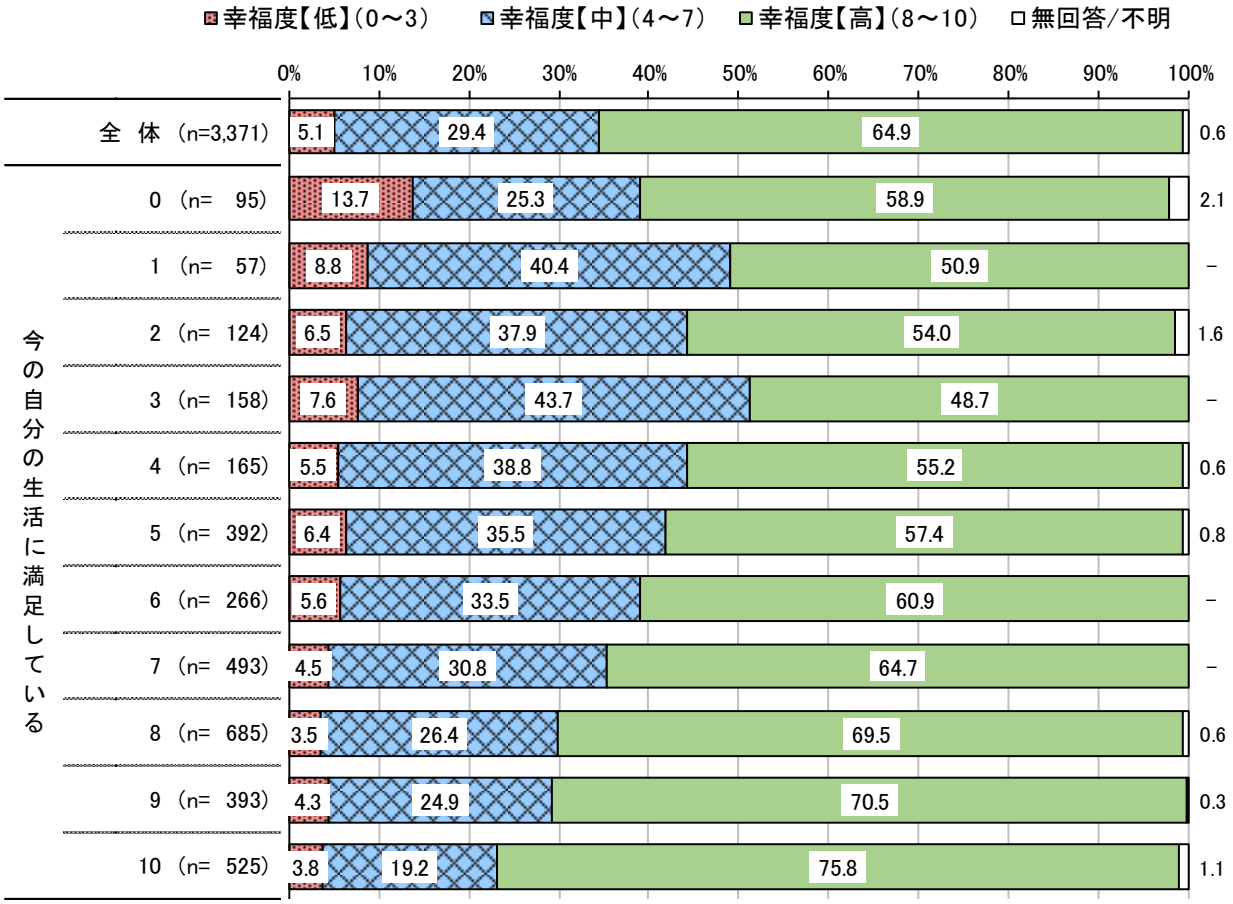


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分の生活に満足している」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 75.8%である。

図表 2-70 子供の幸福度(「今の自分の生活に満足している」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

※本調査では、上記の設問を「自己肯定感」と定義している。

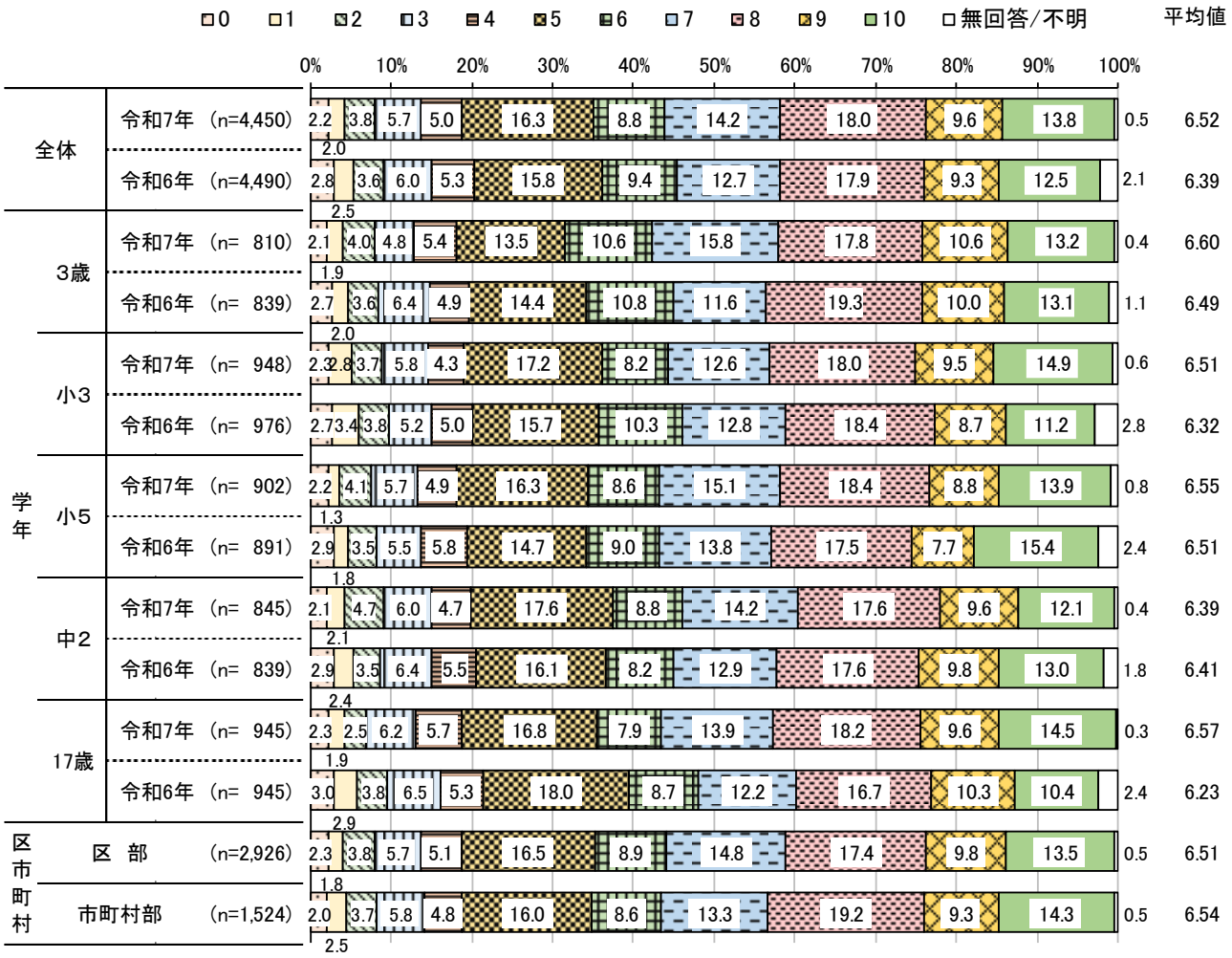
【全体】

「8」が 18.0%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.2%、「10」（とてもあてはまる）は 13.8%で、平均値は 6.52 である。

【学年別】

3歳、小3、小5、17 歳では「8」が最も高く、中2では「5」と「8」が並んで最も高い。

図表 2-71　D 今の自分が好きだ　＜単一回答＞

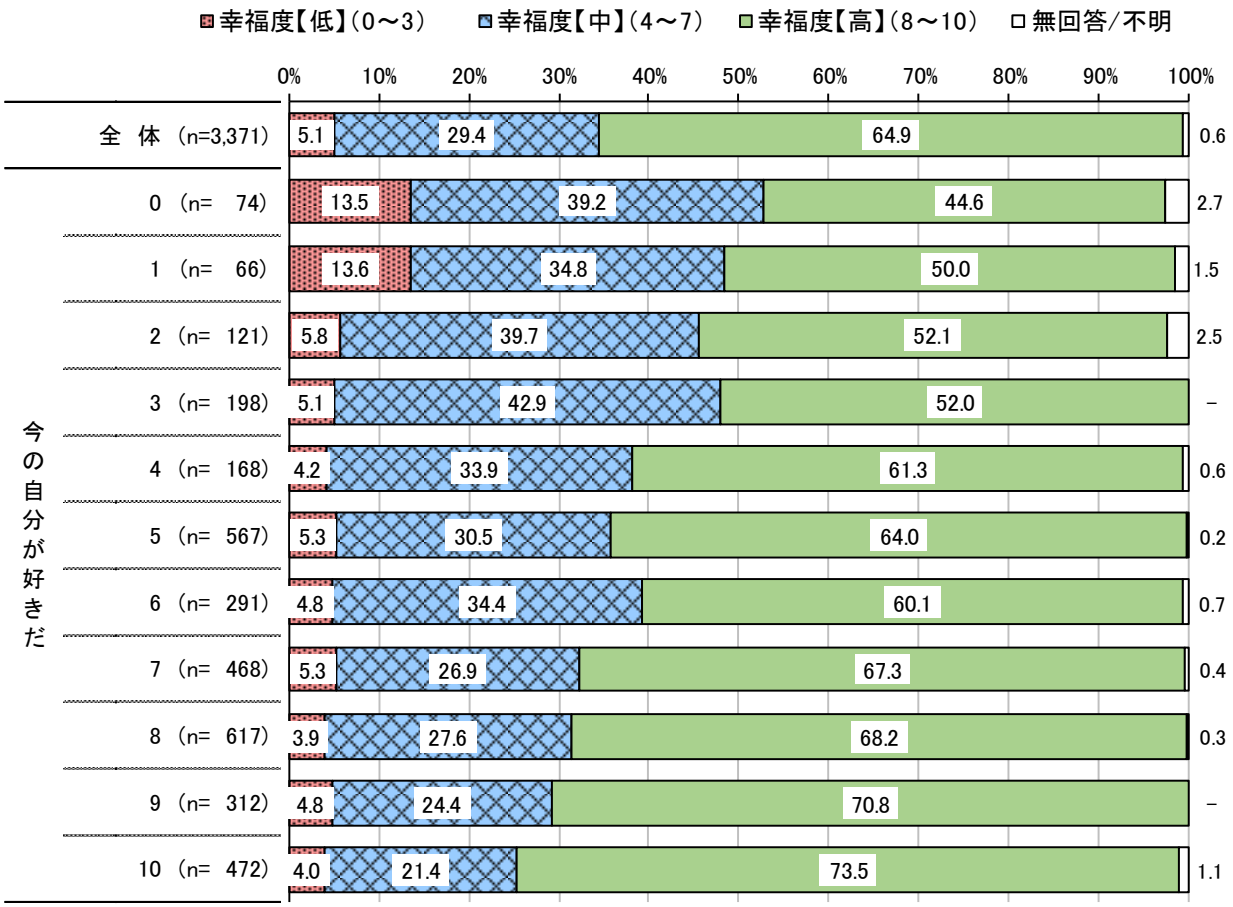


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分が好きだ」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の自己肯定感が高いほど子供の幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.5%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 44.6%である。

図表 2-72 子供の幸福度(「今の自分が好きだ」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　人生を楽しんでいる）

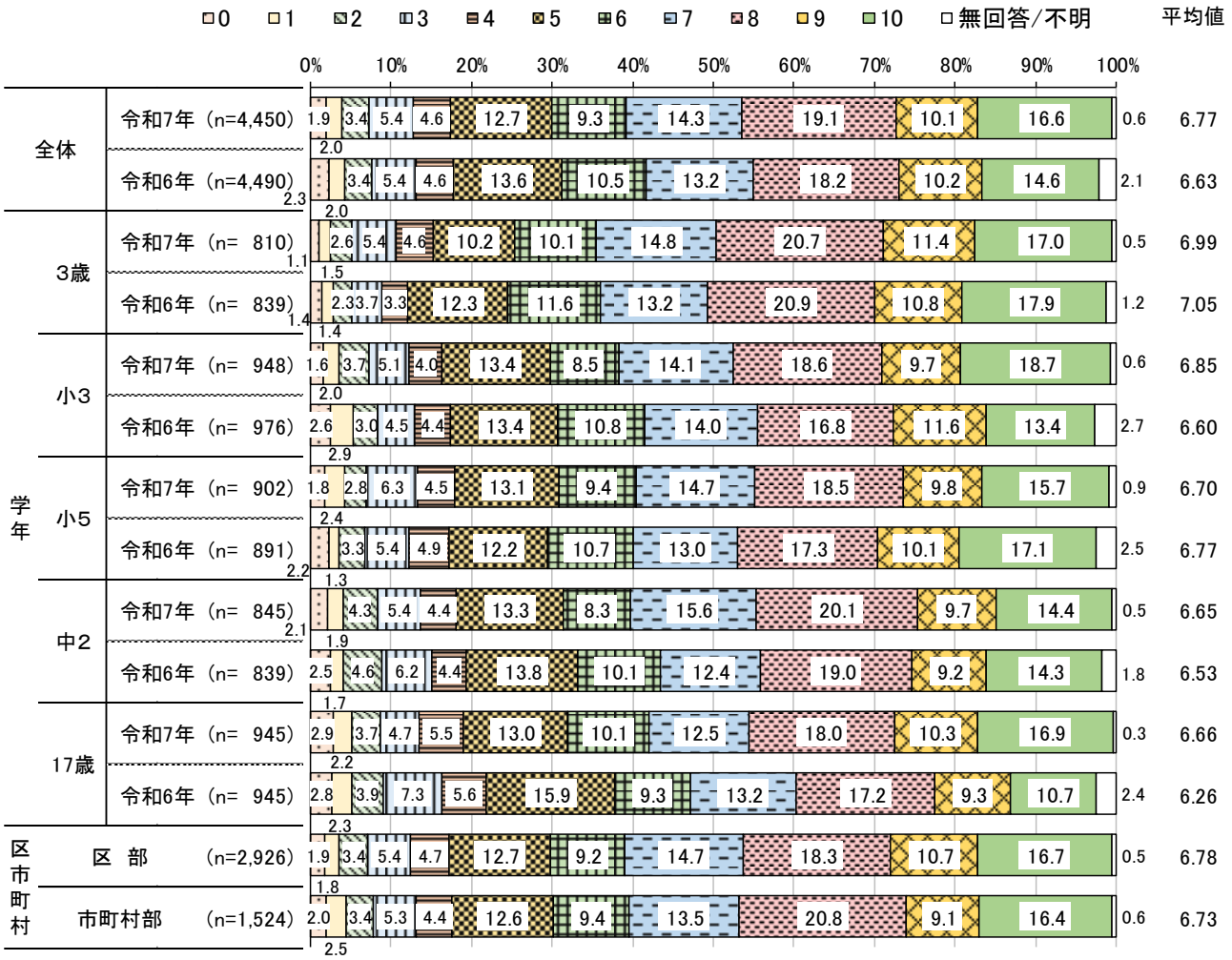
【全体】

「8」が 19.1％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.9％、「10」（とてもあてはまる）は 16.6％で、平均値は 6.77 である。

【学年別】

小3以外の全ての学年で「8」が最も高い。小3は「10」が 18.7％で最も高く、「8」が 18.6％である。

図表 2-73 E 人生を楽しんでいる ＜単一回答＞

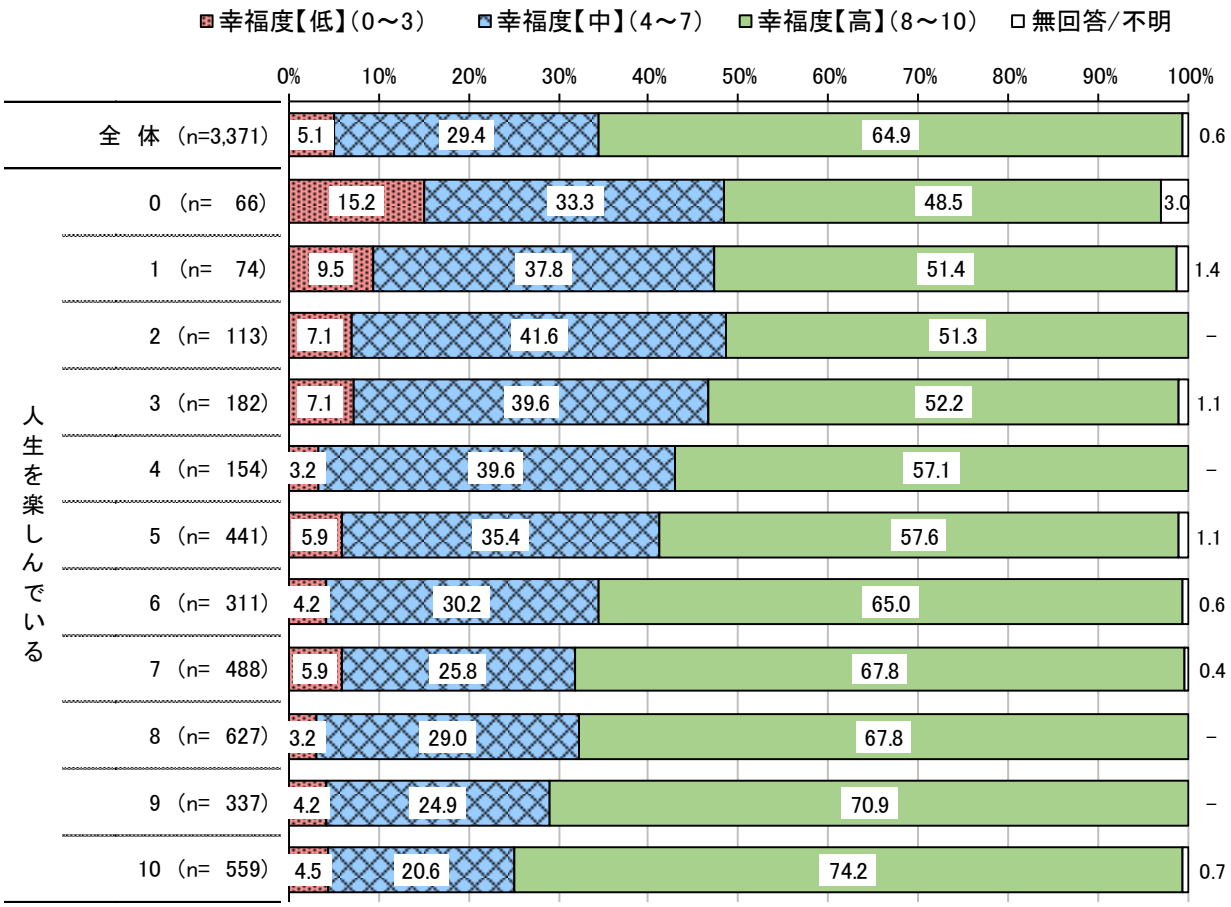


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「人生を楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、人生を楽しんでいると思う保護者の子供ほど幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.2%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では 48.5%である。

図表 2-74 子供の幸福度(「人生を楽しんでいる」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

※本調査では、上記の設問を「自己有用感」と定義している。

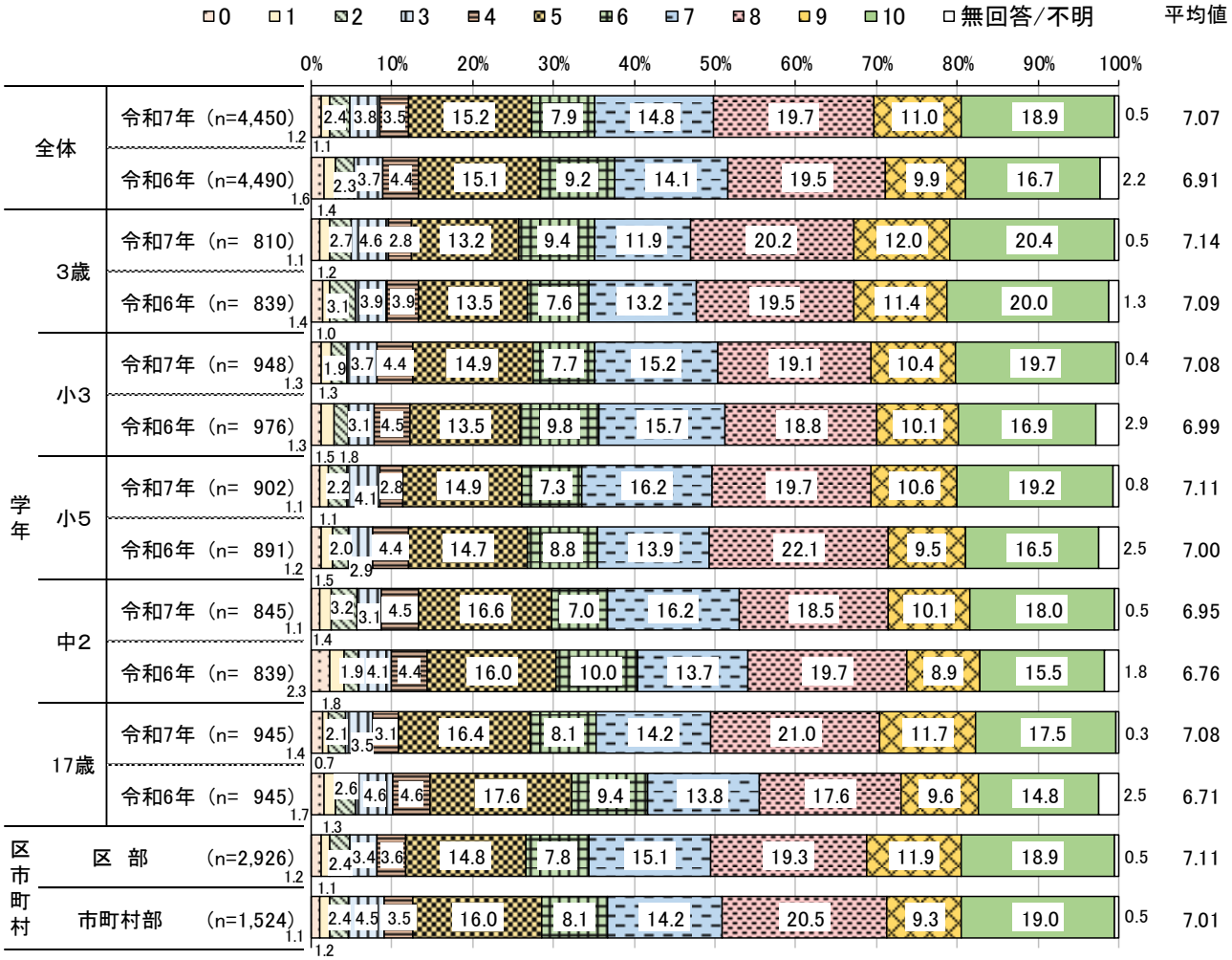
【全体】

「8」が 19.7％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.2％、「10」（とてもあてはまる）は 18.9％で、平均値は 7.07 である。

【学年別】

3歳と小3では「10」（とてもあてはまる）が最も高い。その他の学年では「8」が最も高い。

図表 2-75 F 自分は他人から必要とされている ＜単一回答＞

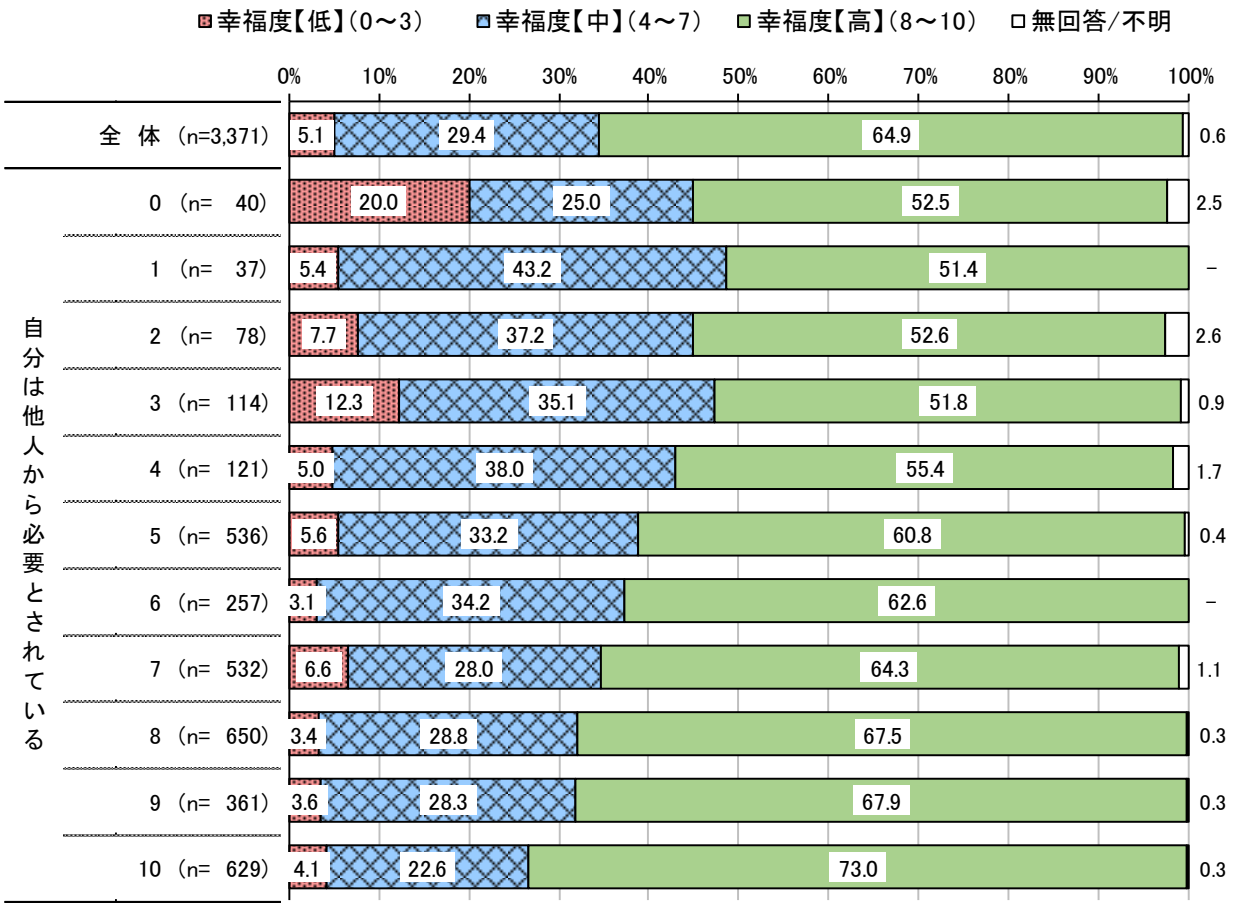


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分は他人から必要とされている」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の自己有用感が高いほど子供の幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.0%である。

図表 2-76 子供の幸福度(「自分は他人から必要とされている」の回答別)



保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　自分には夢や目標がある）

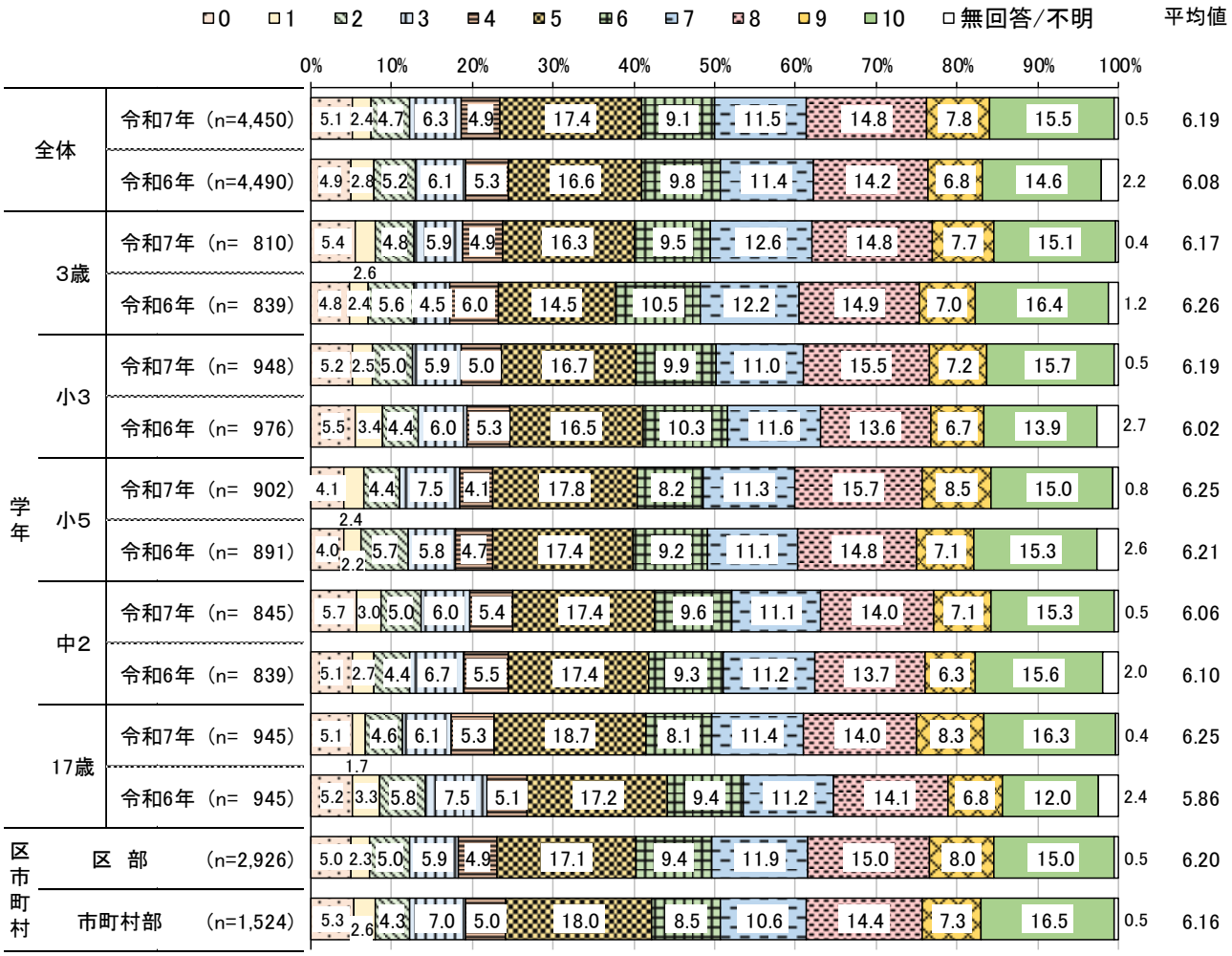
【全体】

「5」が 17.4％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 5.1％、「10」（とてもあてはまる）は 15.5％である。平均値は 6.19 である。

【学年別】

どの学年も「5」が最も高い。次いで小5は「8」が、そのほかの学年は「10」（とてもあてはまる）が高い。

図表 2-77　G 自分には夢や目標がある　＜単一回答＞

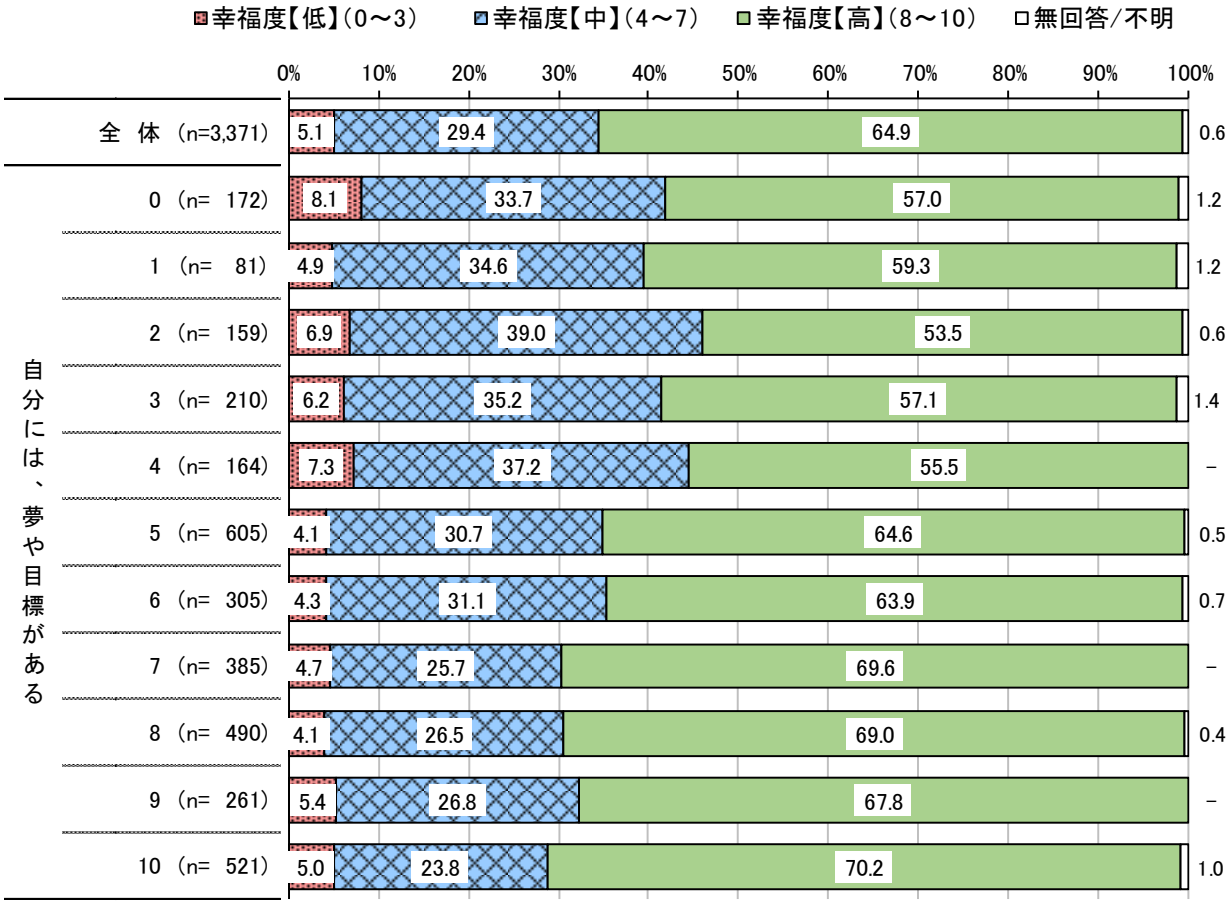


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分には夢や目標がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 70.2%である。

図表 2-78 子供の幸福度(「自分には夢や目標がある」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　子育てを楽しんでいる）

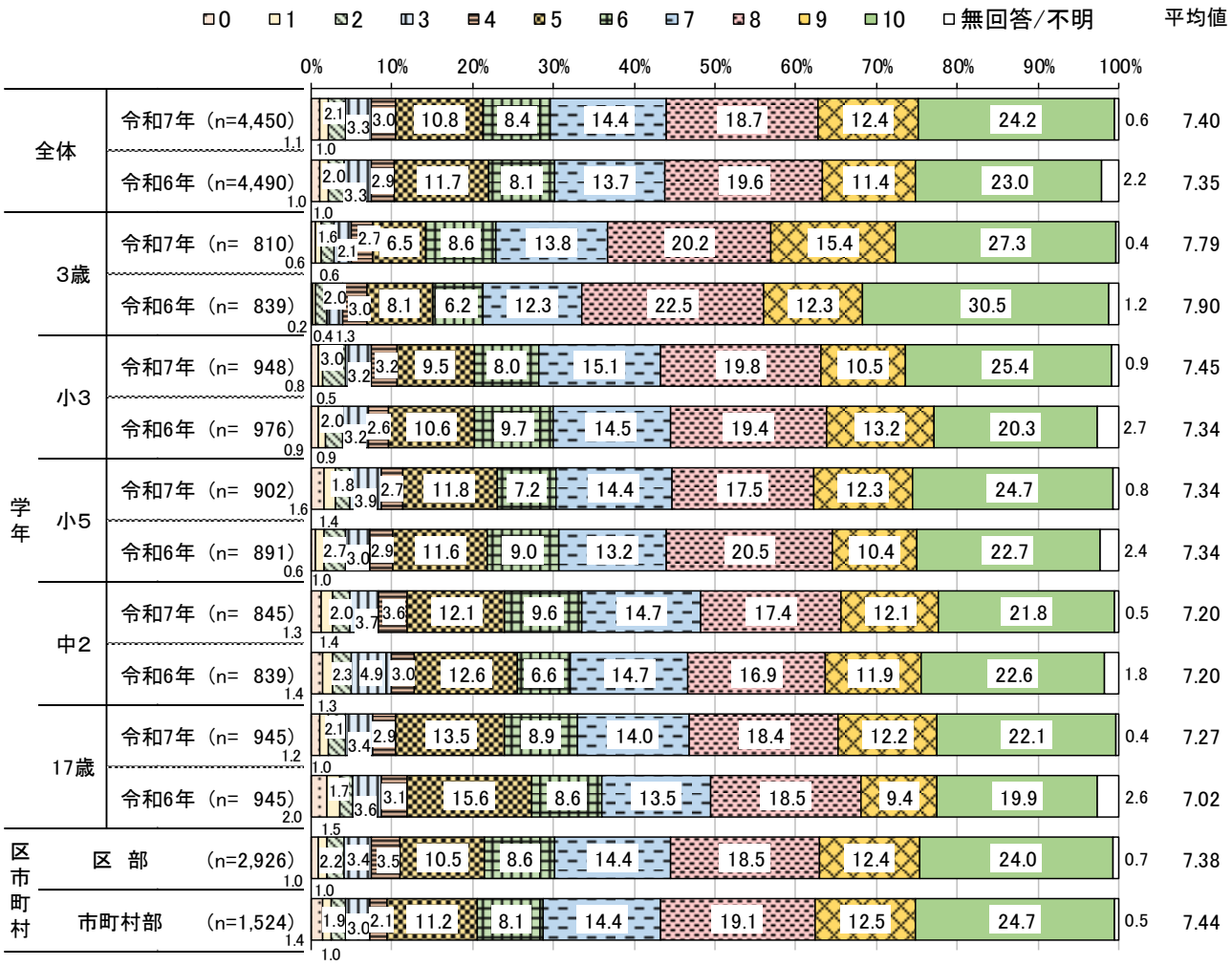
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 24.2％であり最も高い。平均値は 7.40 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高い。

図表 2-79　H 子育てを楽しんでいる　＜単一回答＞

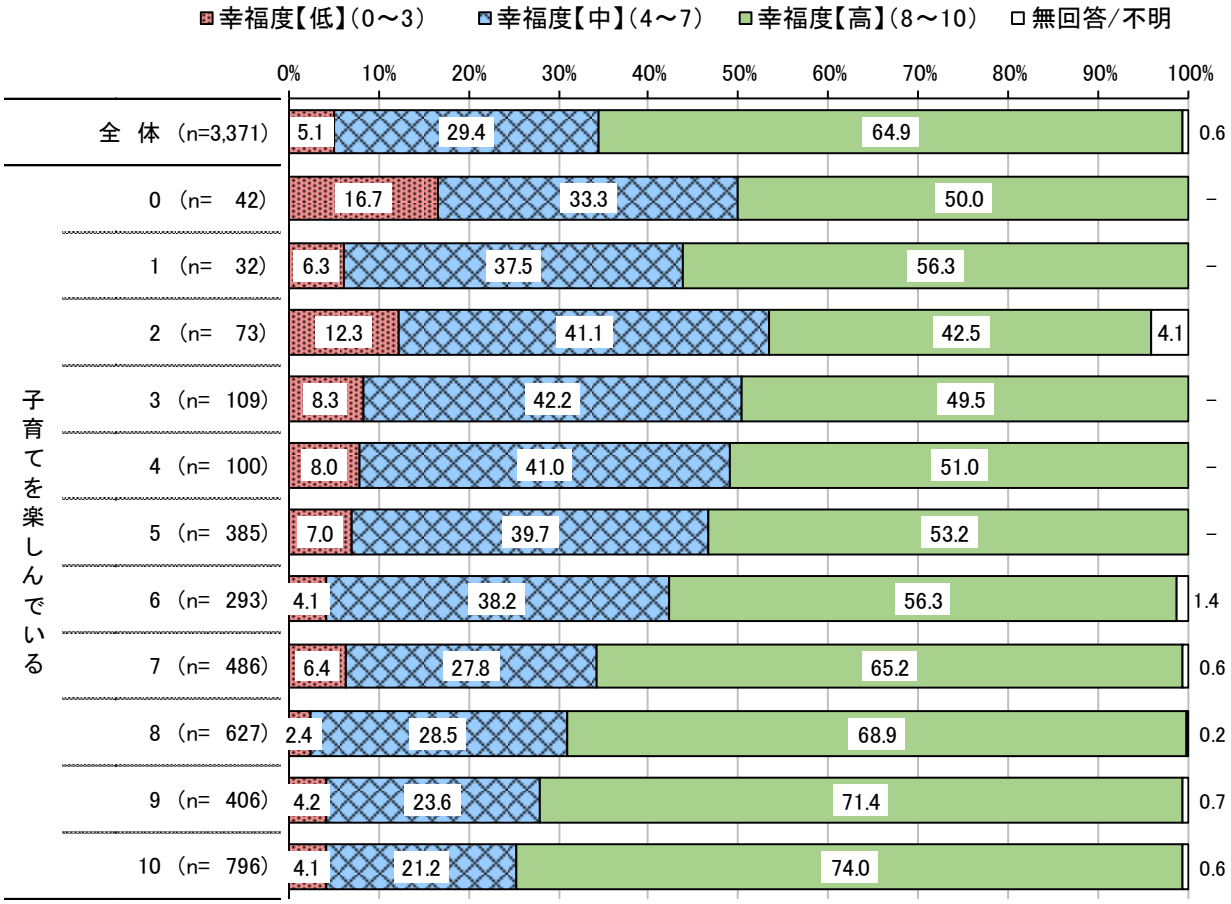


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「子育てを楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、子育てを楽しんでいると思う保護者の子供ほど幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.0%である。

図表 2-80 子供の幸福度(「子育てを楽しんでいる」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）

【全体】

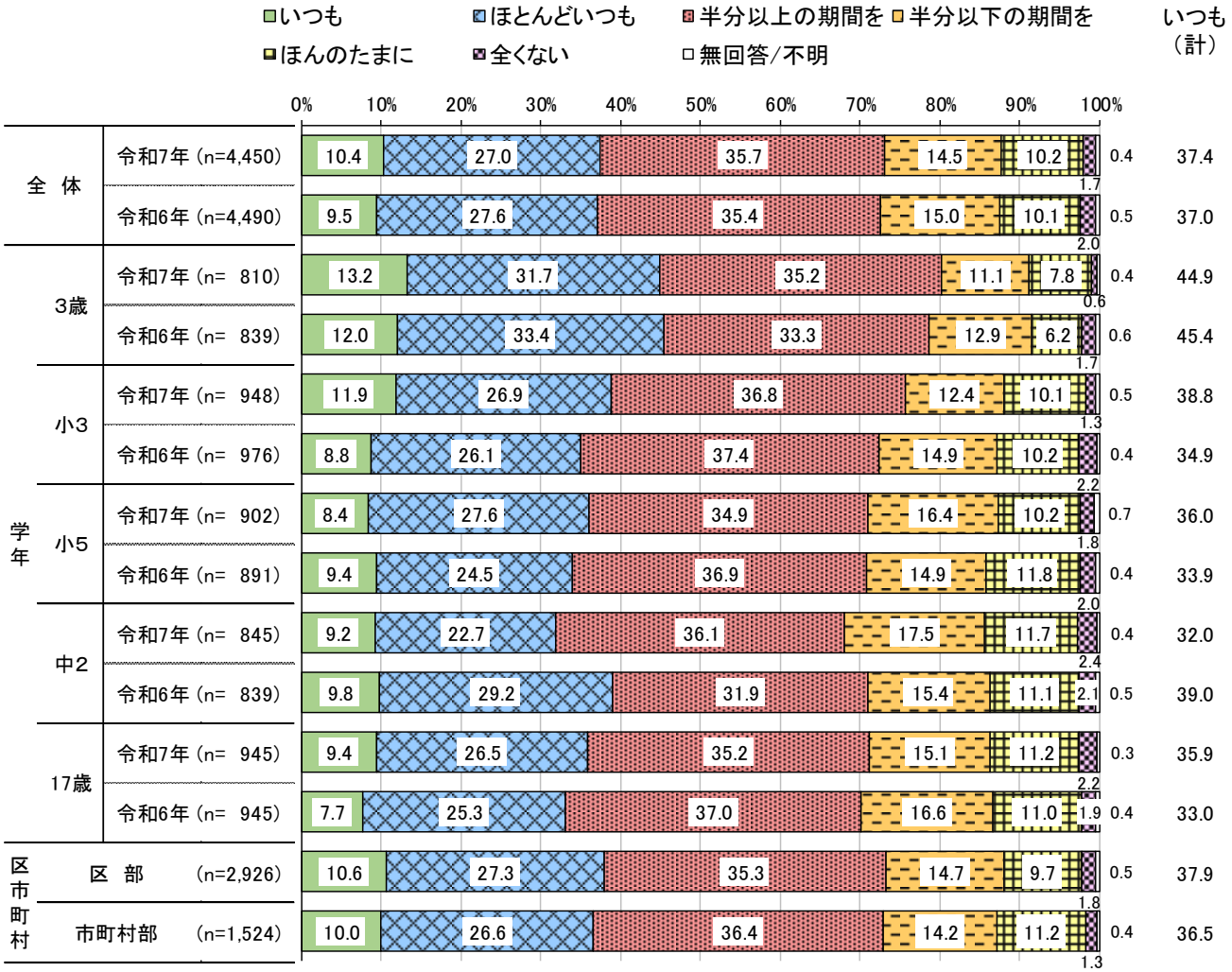
「半分以上の期間を」が 35.7％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 27.0％である。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高く、次いで「ほとんどいつも」が高い。

経年比較でみると中2で「ほとんどいつも」が 6.5 ポイント減少している。

図表 2-81　A 明るく、楽しい気分で過ごした　＜単一回答＞

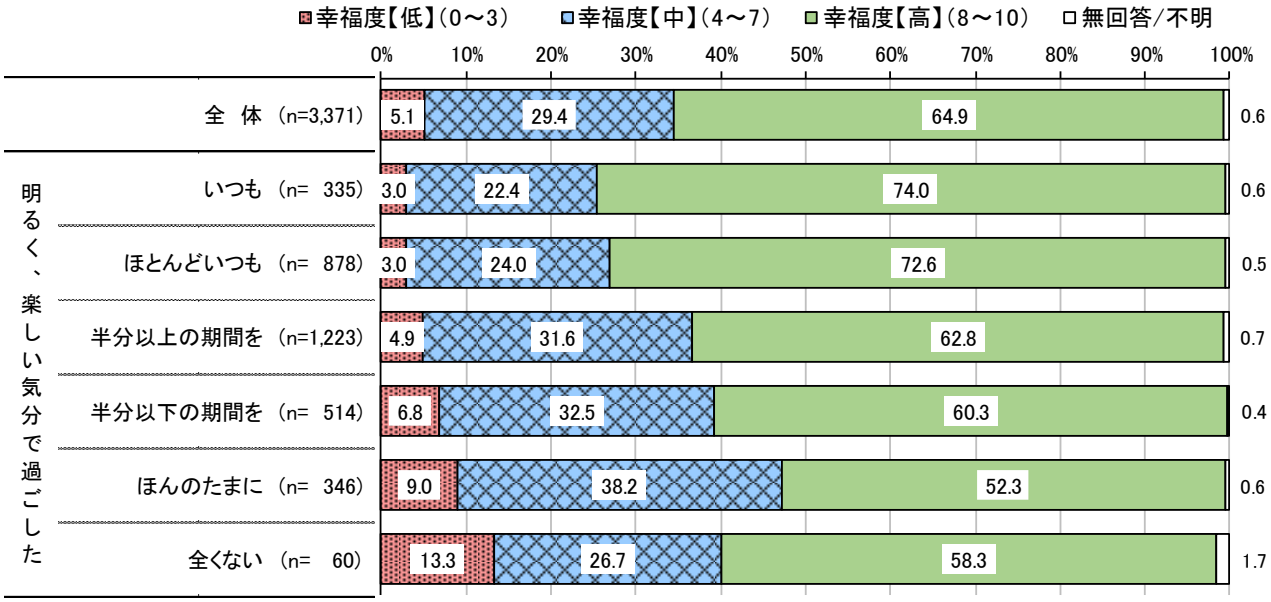


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が明るく、楽しい気分で過ごした頻度が高いほど、子供の幸福度【高】(8～10)が高くなる傾向があり、「いつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 74.0%である。「全くない」と回答した保護者の子供では幸福度【低】(0～3)が 13.3%である。

図表 2-82 子供の幸福度(「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

【全体】

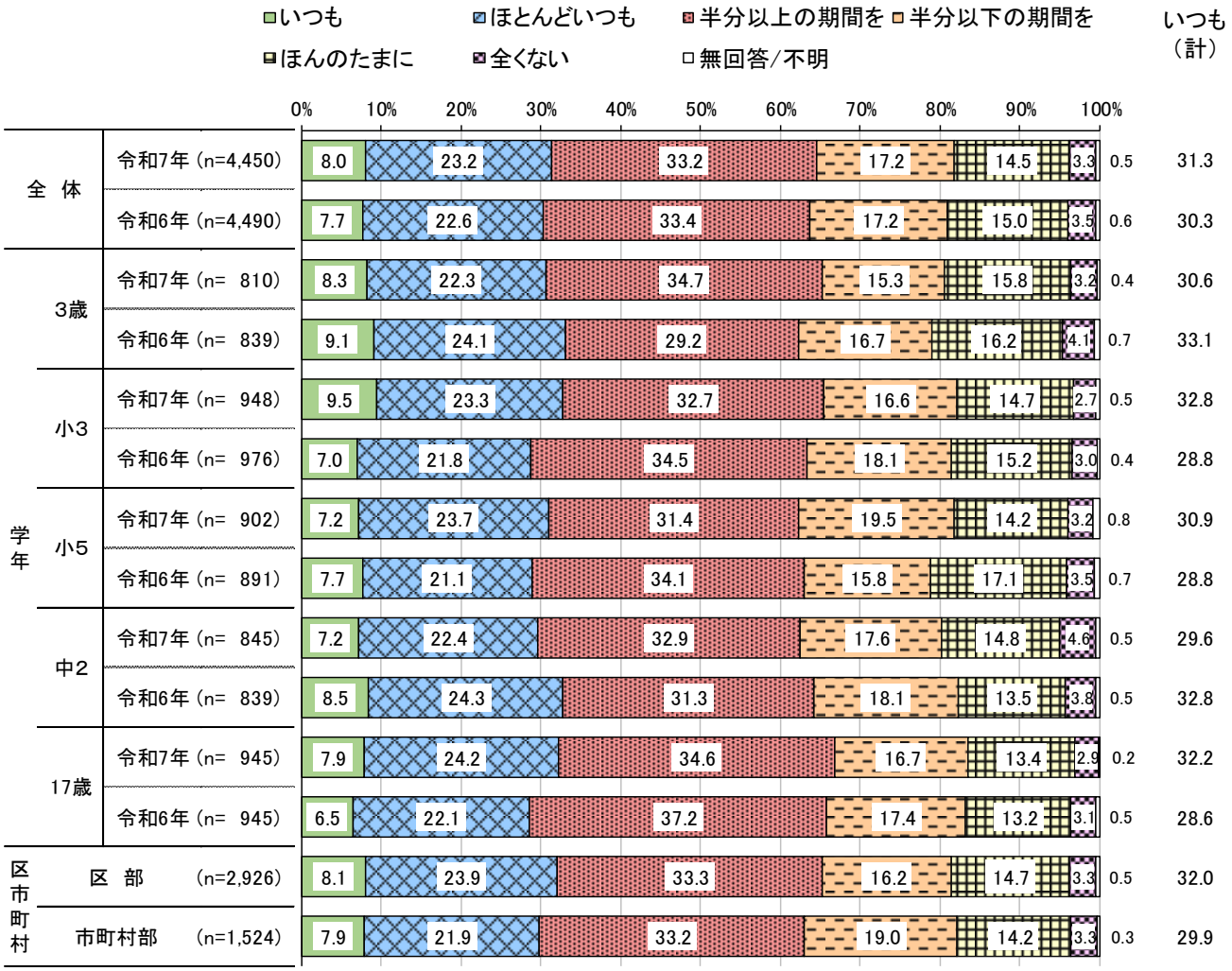
「半分以上の期間を」が 33.2%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 23.2%である。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高く、次いで「ほとんどいつも」が続いている。

経年比較でみると、3歳で「半分以上の期間を」が 5.5 ポイント高くなっている。

図表 2-83　B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした　＜単一回答＞

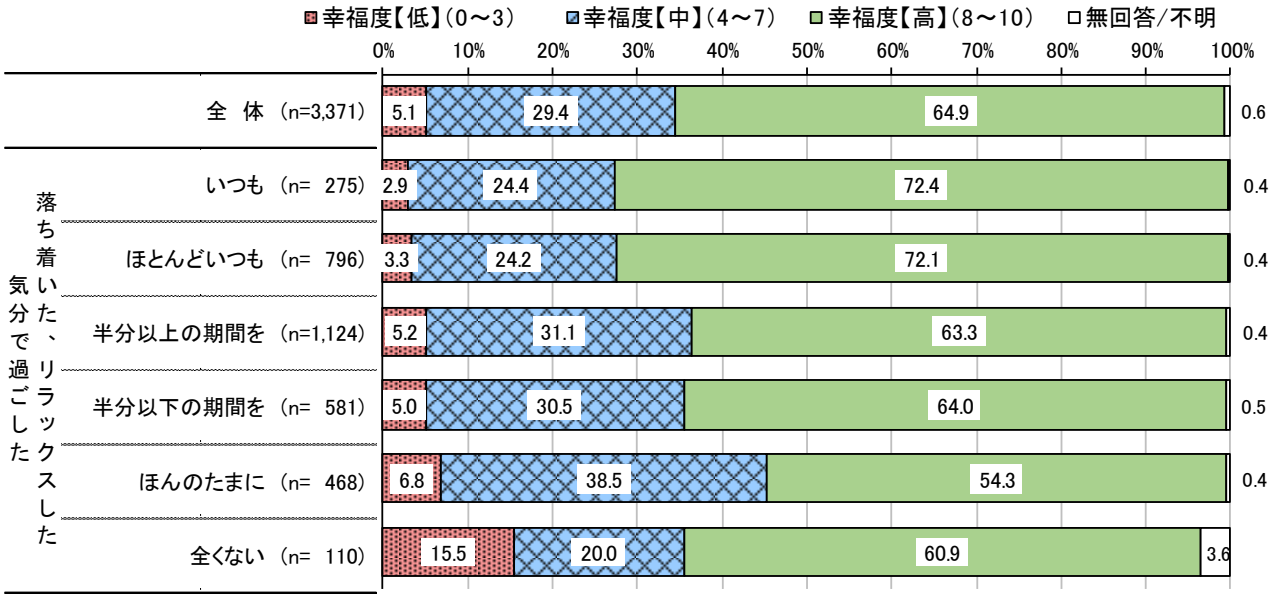


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が落ち着いた、リラックスした気分で過ごした頻度が高いほど、子供の幸福度が高くなる傾向があり、「いつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 72.4%である。「全くない」と回答した保護者の子供では幸福度【低】(0～3)が 15.5%である。

図表 2-84 子供の幸福度(「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）

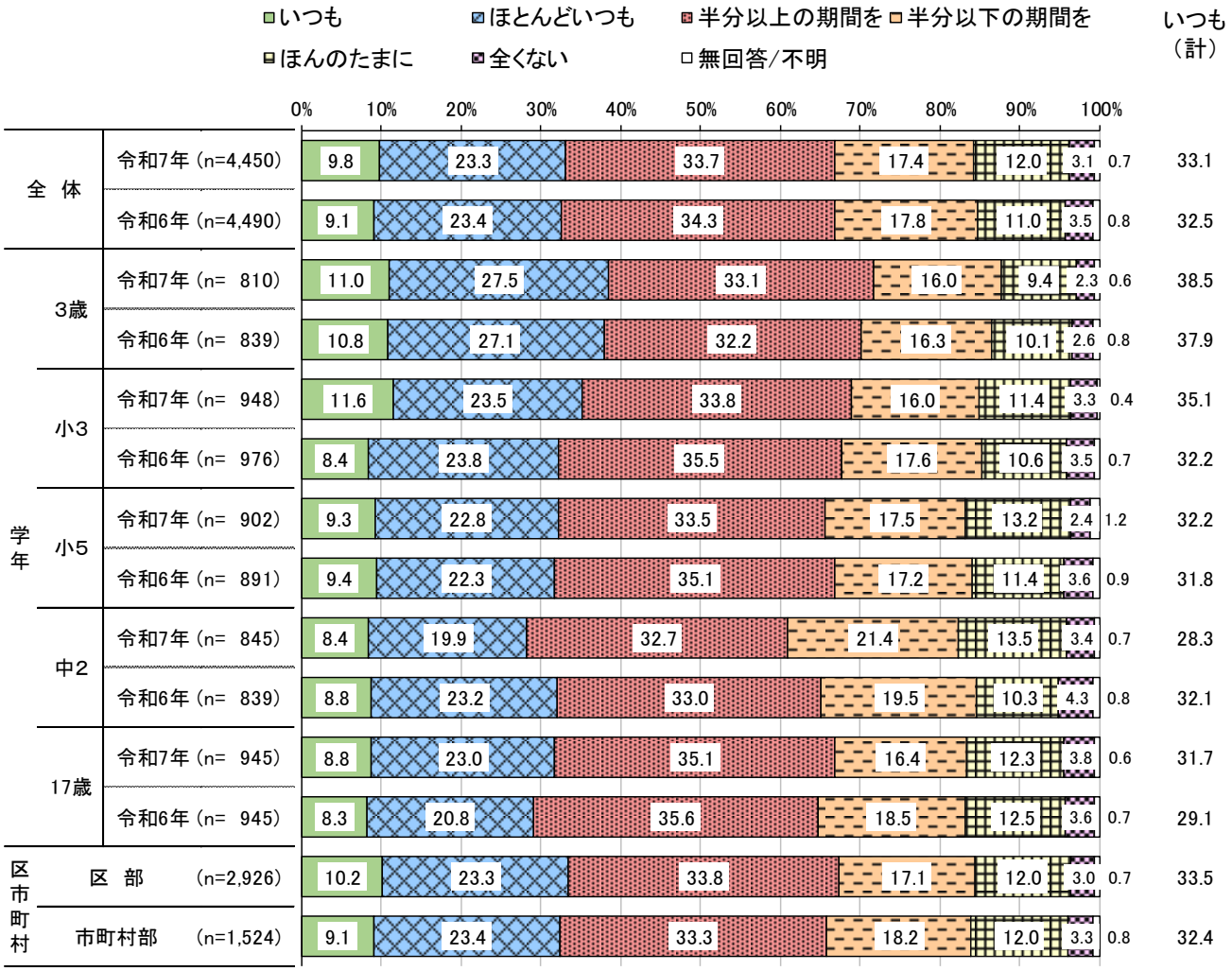
【全体】

「半分以上の期間を」が 33.7％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 23.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高く、次いで、中2以外の学年では「ほとんどいつも」が、中 2 は「半分以下の期間を」が続いている。

図表 2-85 C 意欲的で、活動的に過ごした ＜単一回答＞

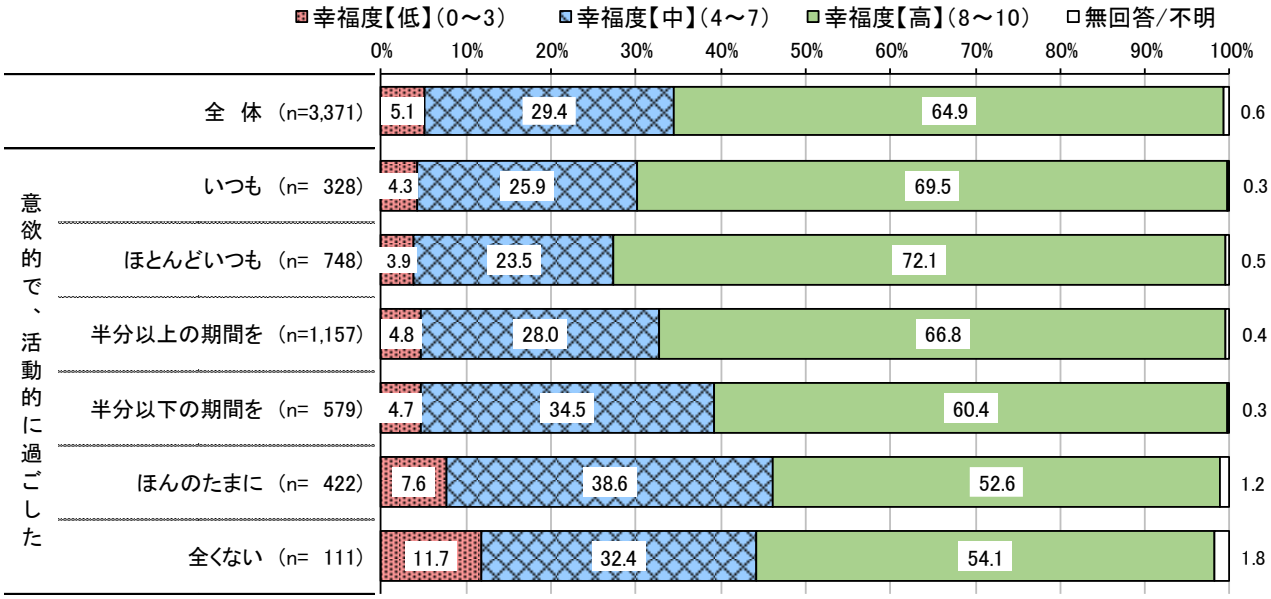


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が意欲的で、活動的に過ごした頻度が高いほど、子供の幸福度が高くなる傾向が見られ、「いつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が69.5%、「ほとんどいつも」と回答した保護者の子供では 72.1%である。「全くない」と回答した保護者の子供では幸福度【低】(0～3)が 11.7%である。

図表 2-86 子供の幸福度(「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

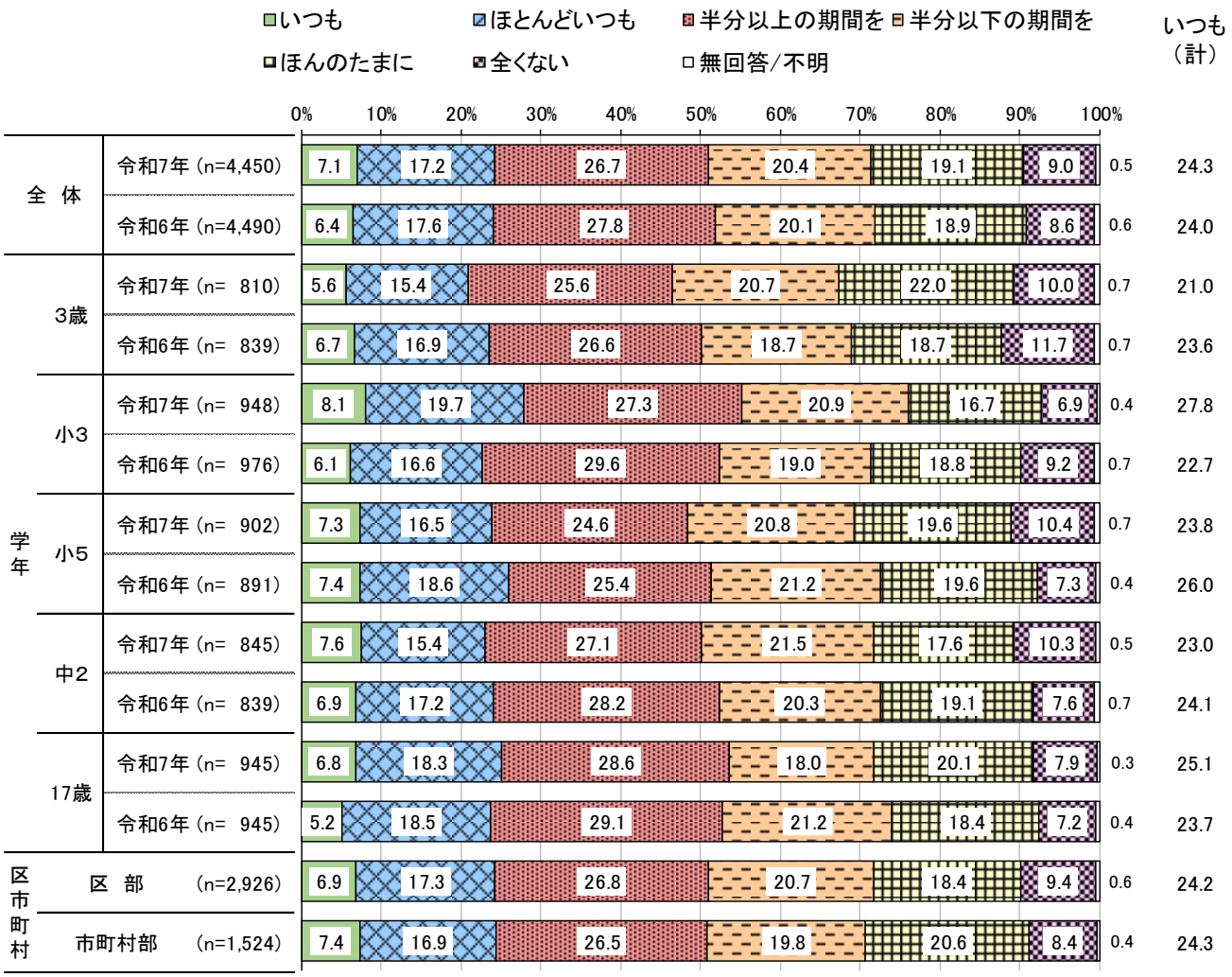
【全体】

「半分以上の期間を」が 26.7％で最も高く、次いで「半分以下の期間を」が 20.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高い。次いで3歳と 17 歳以外の学年では「半分以下の期間を」が続いている。3歳と 17 歳では「ほんのたまに」がそれぞれ 22.0％と 20.1％で、「半分以下の期間を」を上回る。

図表 2-87 D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた ＜単一回答＞

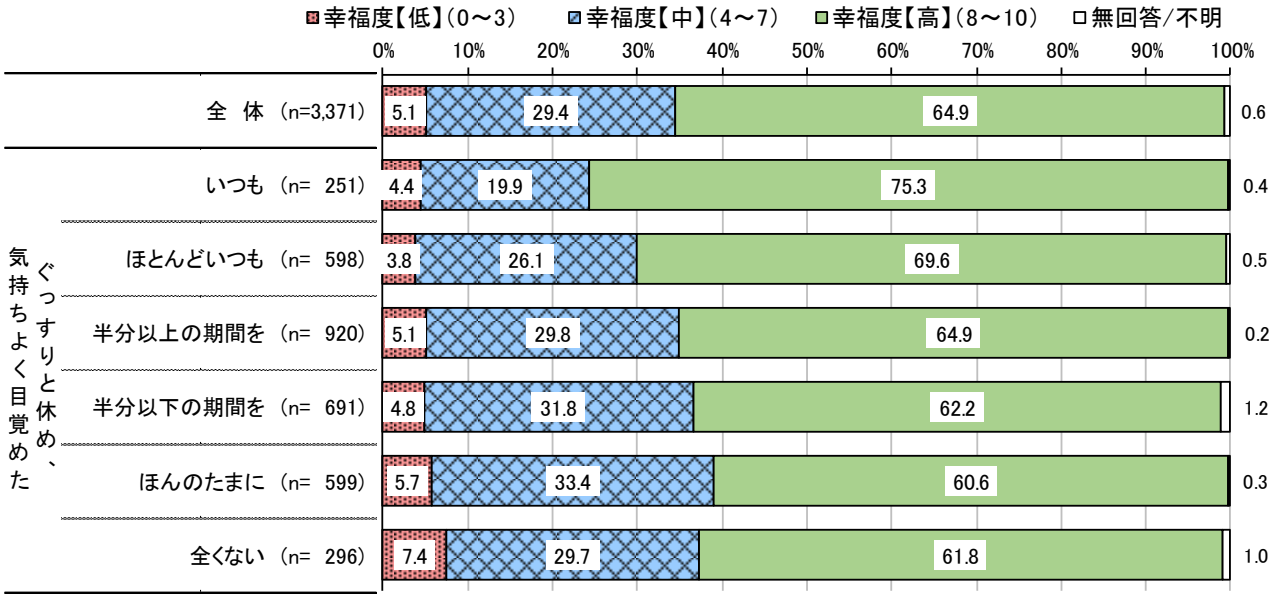


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者がぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた頻度が高いほど、子供の幸福度が高い傾向があり、「全くない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 61.8%であるが、「いつも」と回答した保護者の子供では 75.3%である。

図表 2-88 子供の幸福度(「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

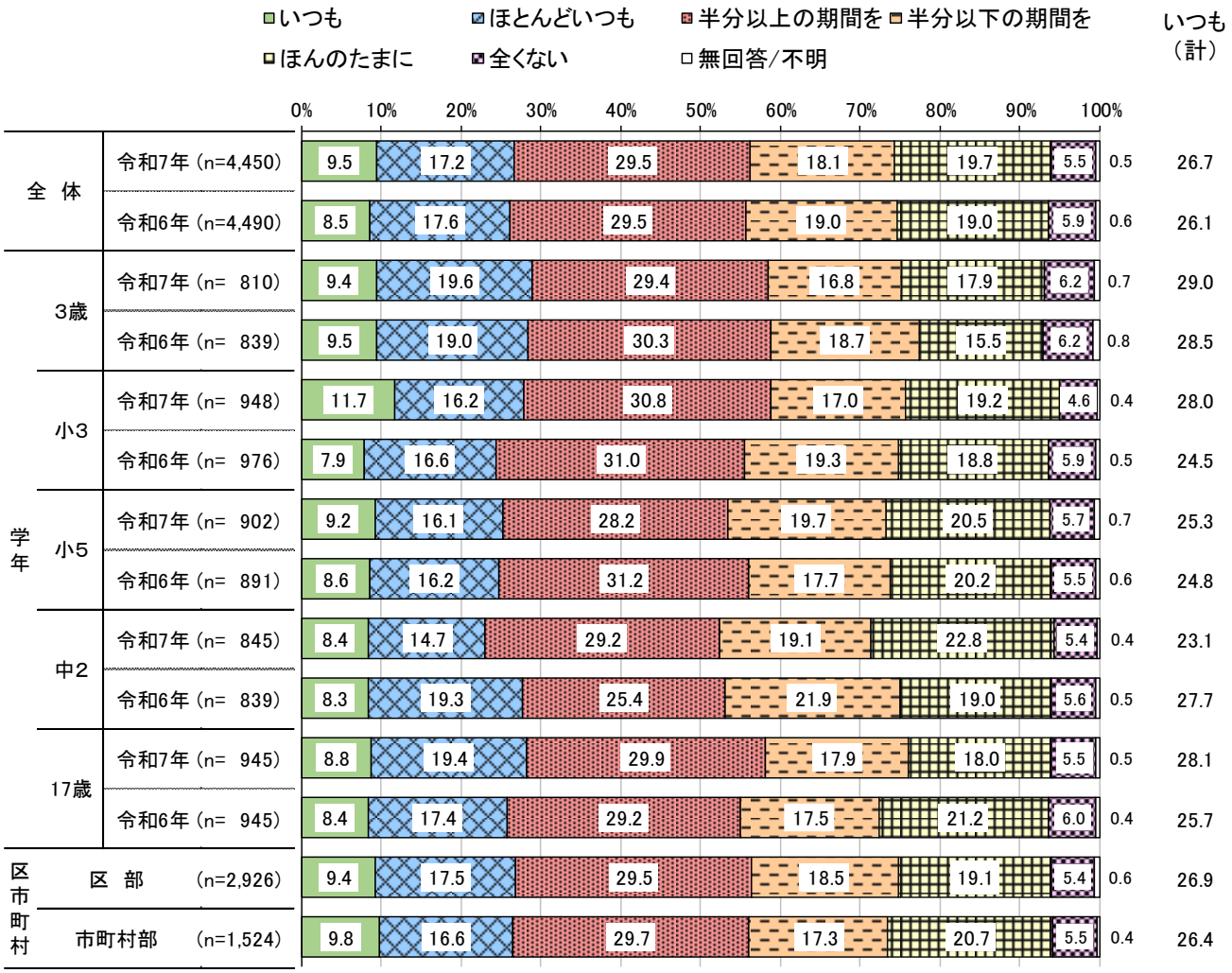
【全体】

「半分以上の期間を」が 29.5％で最も高く、次いで「ほんのたまに」が 19.7％で続いている。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高い。

図表 2-89　E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった　＜単一回答＞

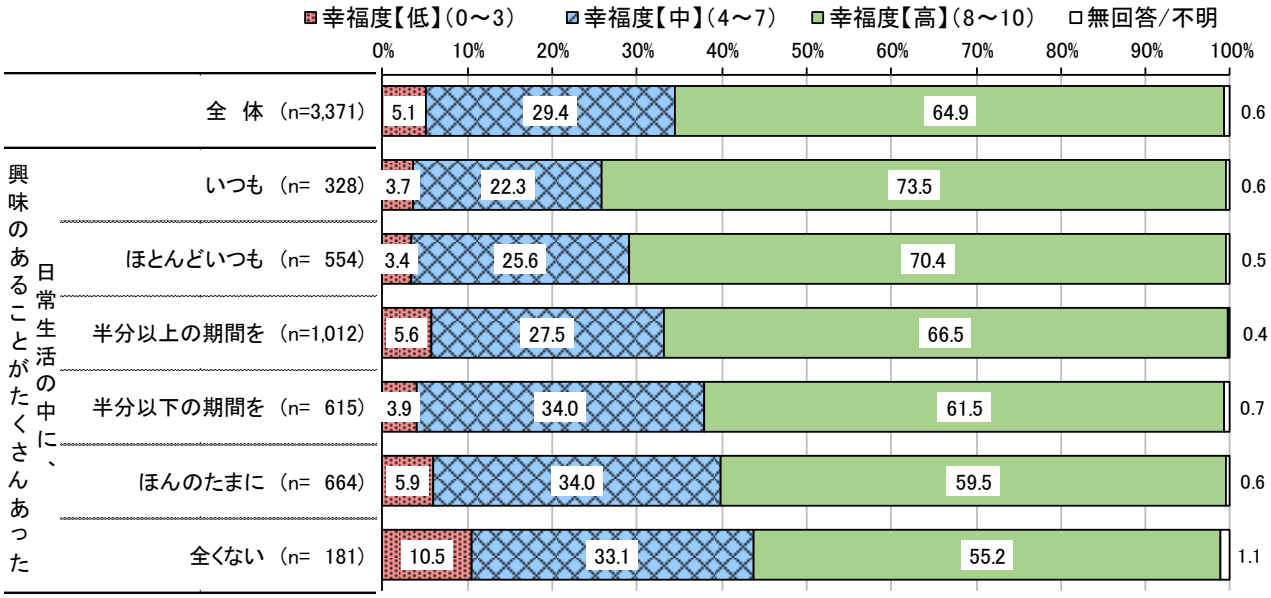


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった頻度が高いほど、子供の幸福度が高い傾向があり、「いつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 73.5%である。「全くない」と回答した保護者の子供では 55.2%である。

図表 2-90 子供の幸福度(「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し（「いつも」：5点 「ほとんどいつも」：4点 「半分以上の期間を」：3点 「半分以下の期間を」：2点 「ほんのたまに」：1点 「全くない」：0点）、A から E のいずれにも回答がある保護者について、A から E の合計点（5項目×5点満点）を精神的健康状態（WHO-5）として算出した。

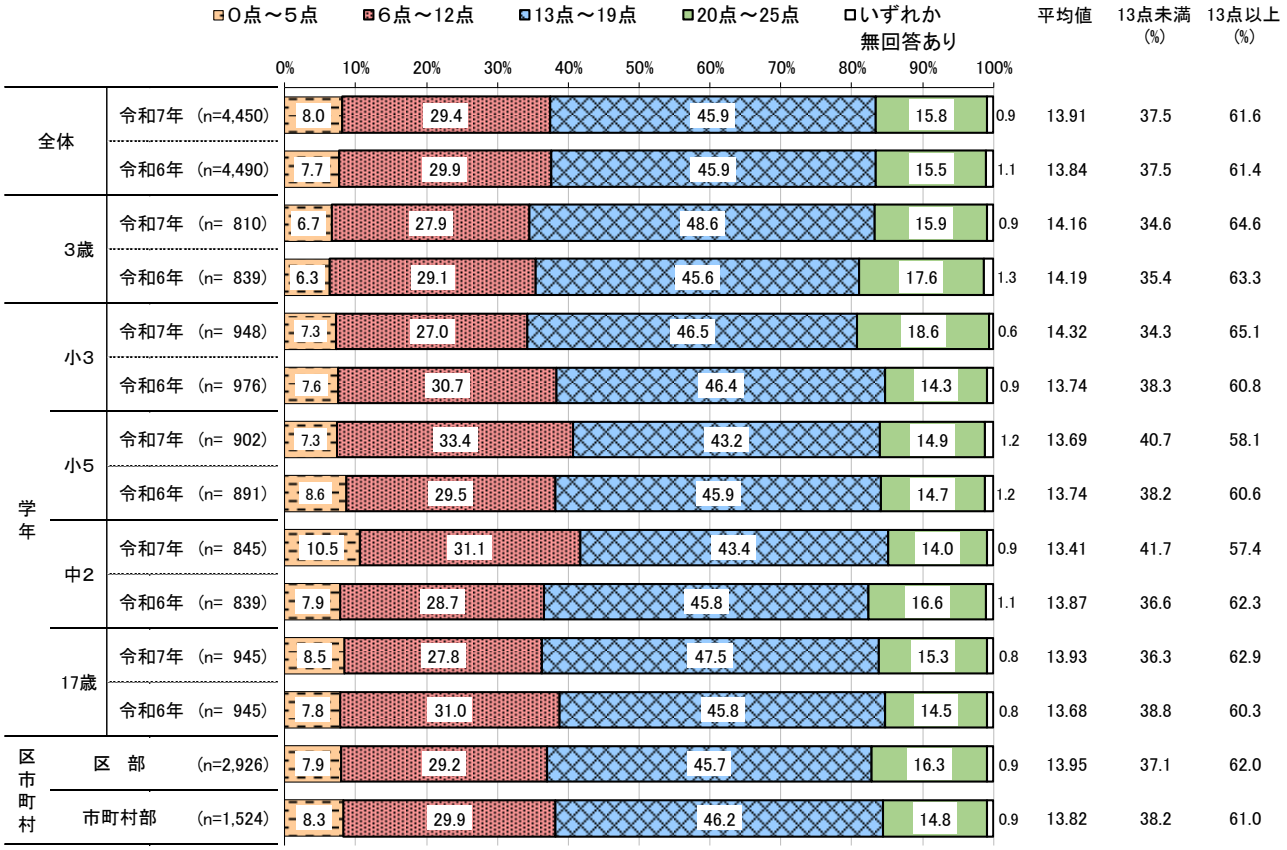
【全体】

全体では「13 点～19 点」が 45.9％で最も高く、平均値は 13.91 である。

【学年別】

いずれの学年でも「13 点～19 点」が 43％以上で最も高い。平均値は小3が 14.32 で最も高く、中2が 13.41 で最も低い。

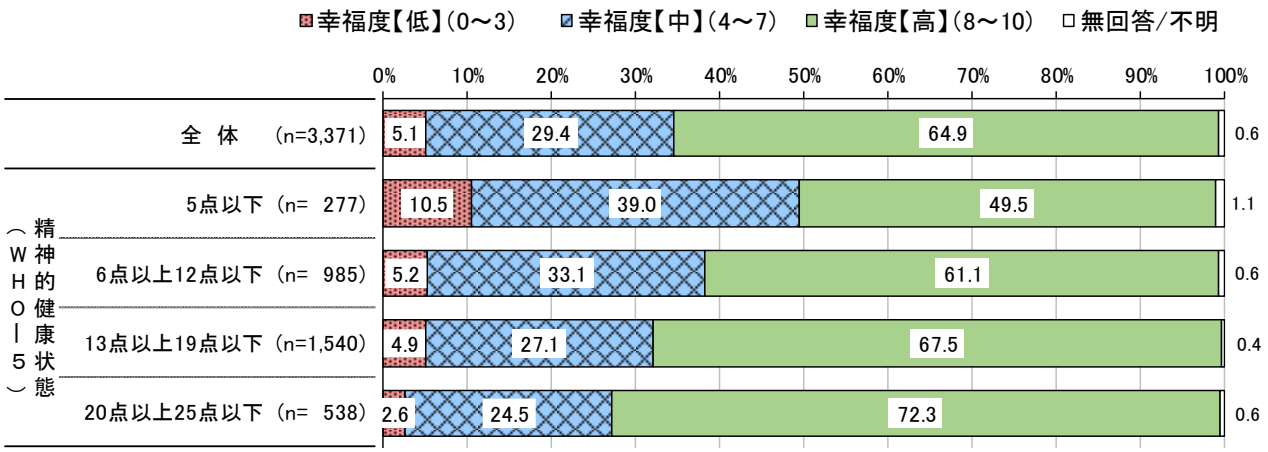
図表 2-91 精神的健康状態（WHO-5） ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「精神的健康状態（WHO-5）」の回答別に子供の幸福度をみると、精神的健康状態（WHO-5）の点数が高いほど、子供の幸福度が高い傾向があり、「20点以上25点以下」だった保護者の子供では幸福度【高】（8～10）が72.3％である。「5点以下」と回答した保護者の子供では 49.5％で、幸福度【低】（0～3）が 10.5％である。

図表 2-92 子供の幸福度（「精神的健康状態（WHO-5）」別）



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（A　時間的なゆとり）

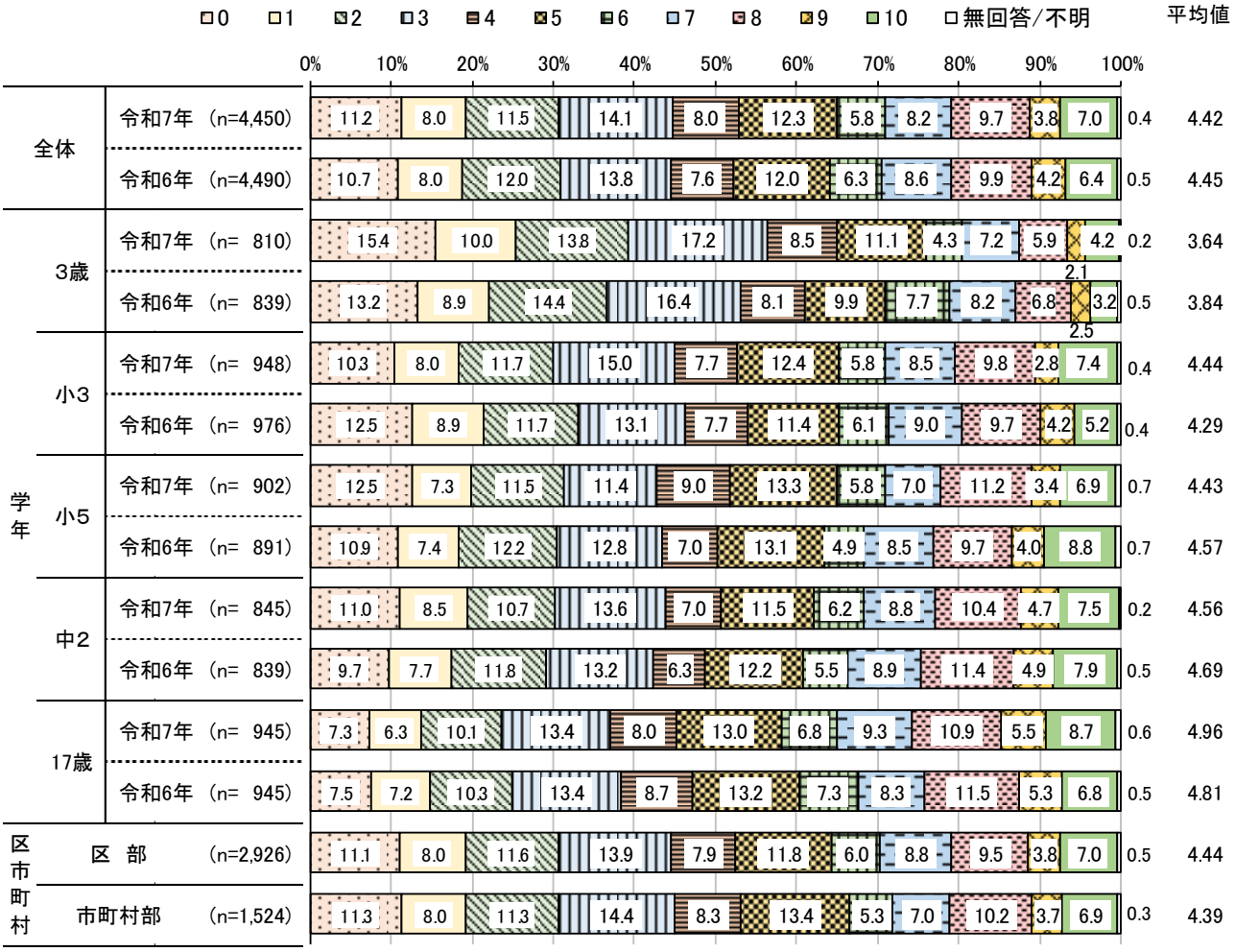
【全体】

「3」が 14.1％で最も高い。平均値は 4.42 である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、平均値は高くなり、3歳では 3.64、小3では 4.44、小5では 4.43、中2では 4.56、17 歳では 4.96 である。

図表 2-93　A「時間的なゆとり」を感じられる　＜単一回答＞

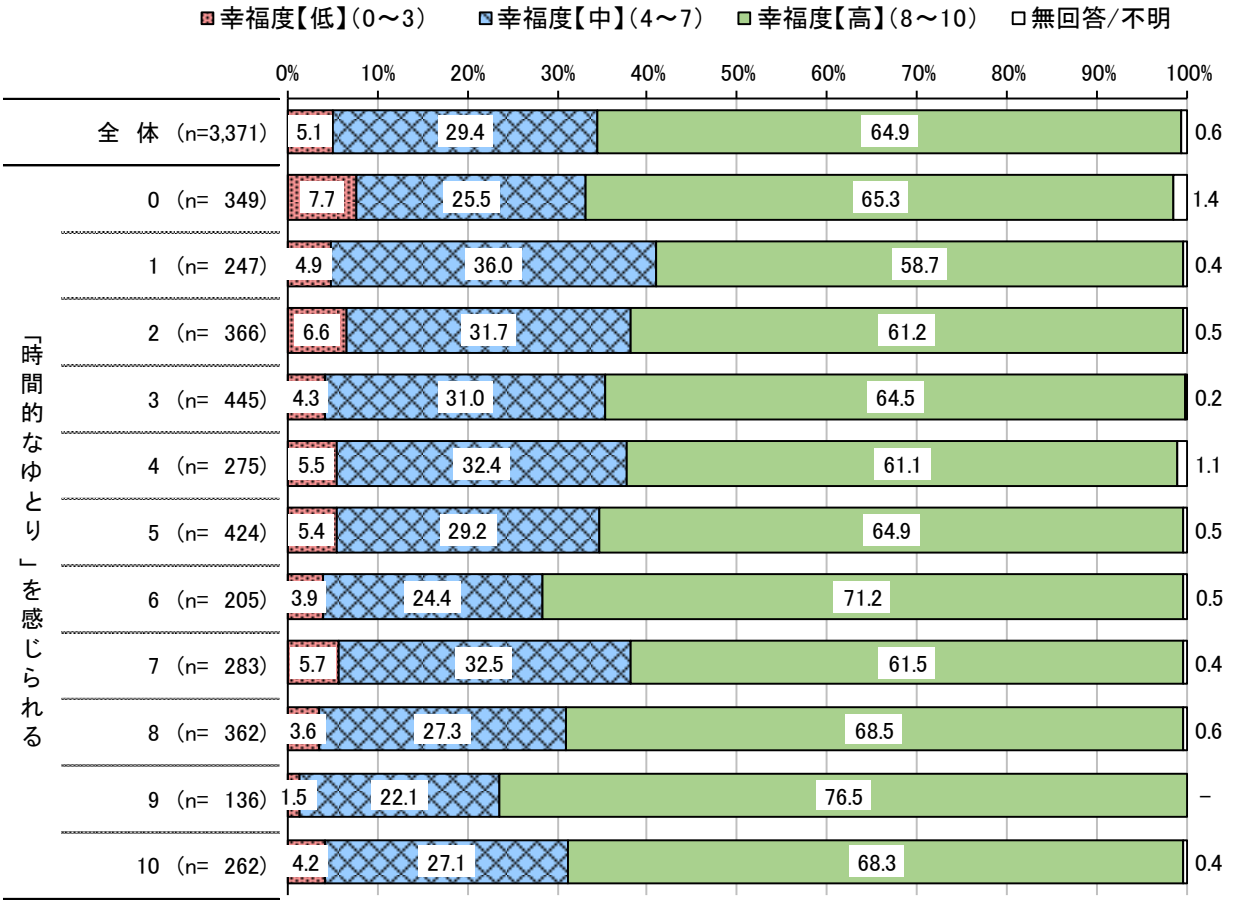


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『時間的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 68.3%、「9」と回答した保護者の子供では 76.5%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 65.3%、「1」と回答した保護者の子供では 58.7%である。

図表 2-94 子供の幸福度(「『時間的なゆとり』を感じられる」)の回答別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（B　経済的なゆとり）

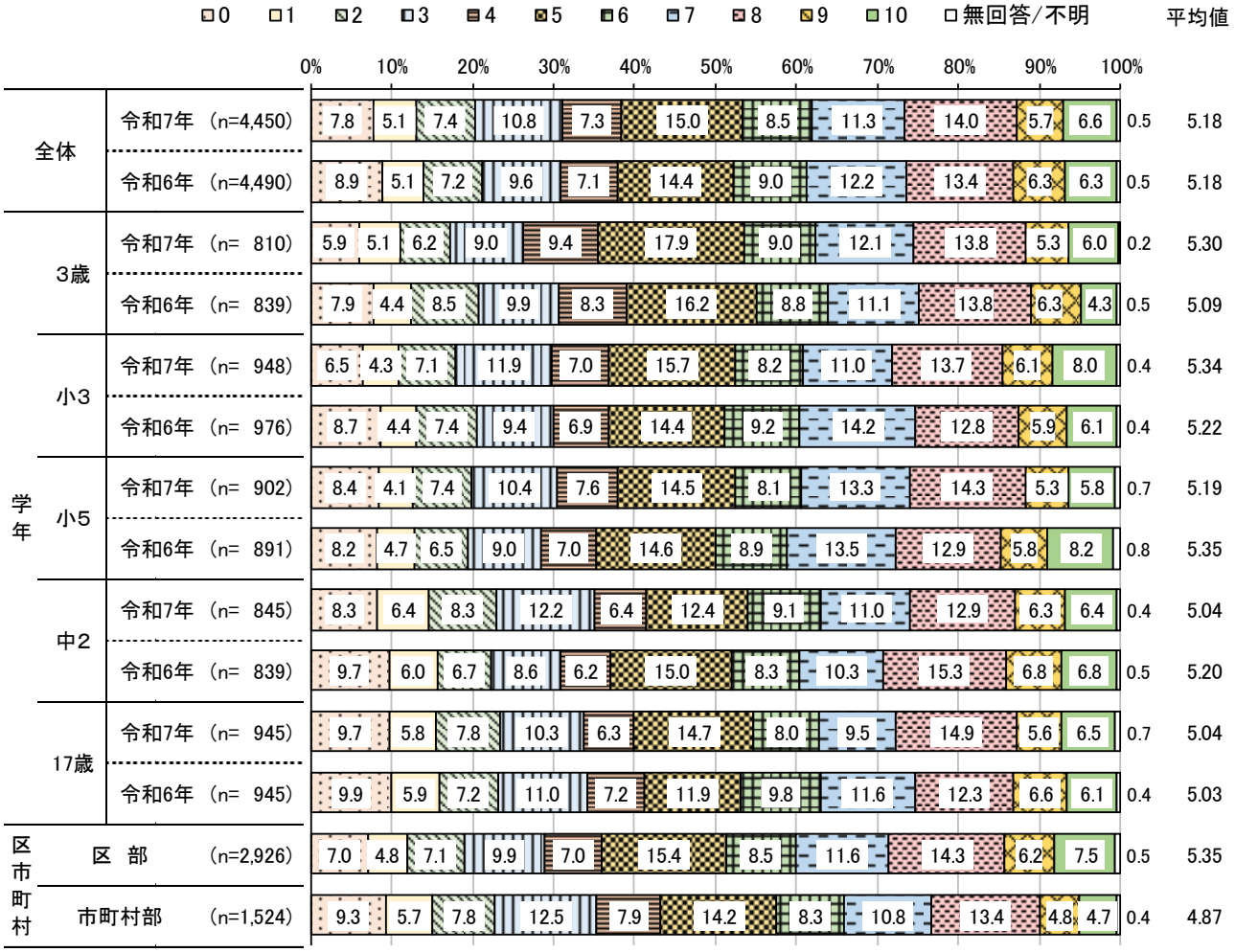
【全体】

「5」が 15.0％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 7.8％、「10」（とてもあてはまる）は 6.6％で、平均値は 5.18 である。

【学年別】

3歳、小3、小5は「5」が、中2と 17 歳は「8」が最も高い。平均値は、3歳では 5.30、小3では 5.34、小5では 5.19、中2では 5.04、17 歳では 5.04 である。

図表 2-95 B「経済的なゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

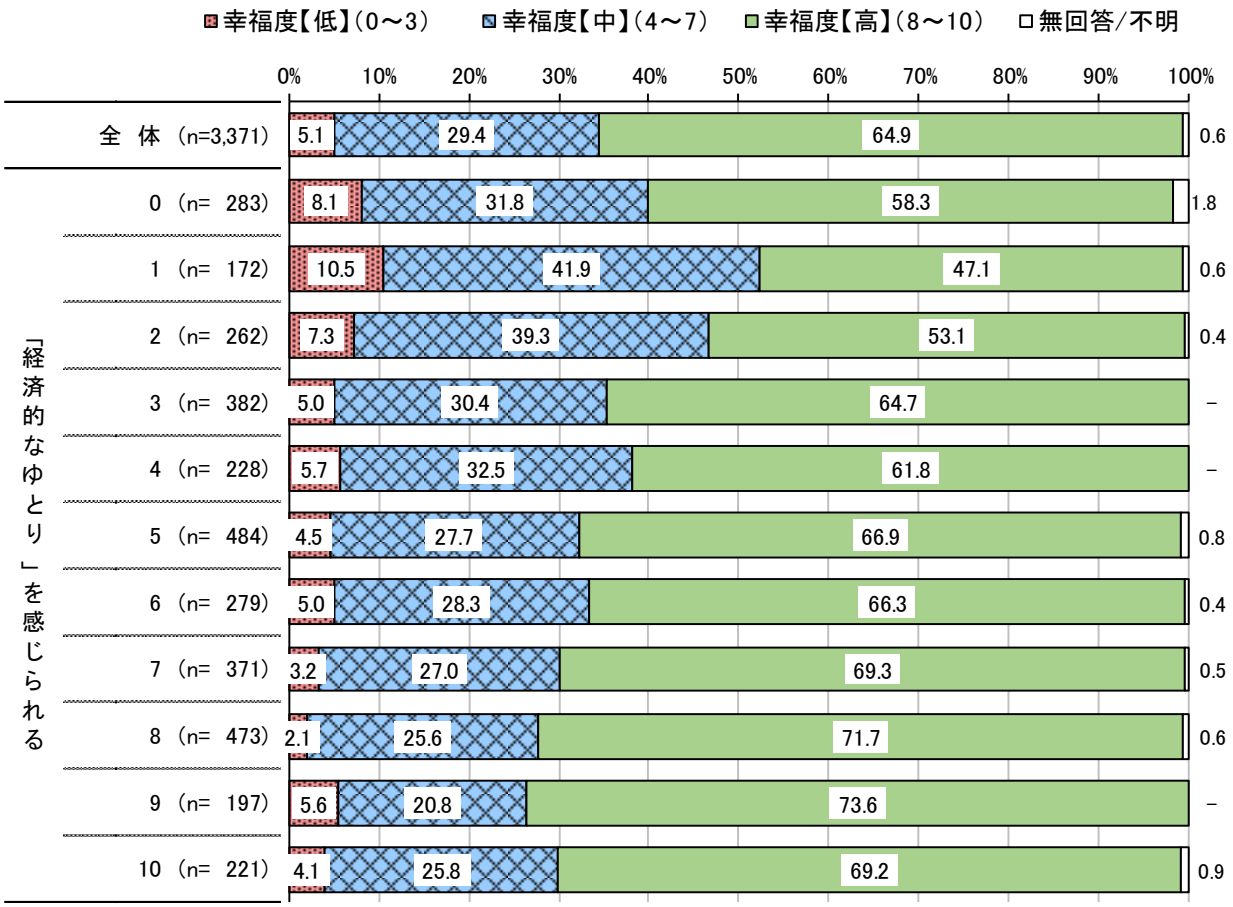


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『経済的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.2%、「9」と回答した保護者の子供では 73.6%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 58.3%、「1」と回答した保護者の子供では 47.1%である。

図表 2-96 子供の幸福度(「『経済的なゆとり』を感じられる」の回答別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（C　体力的なゆとり）

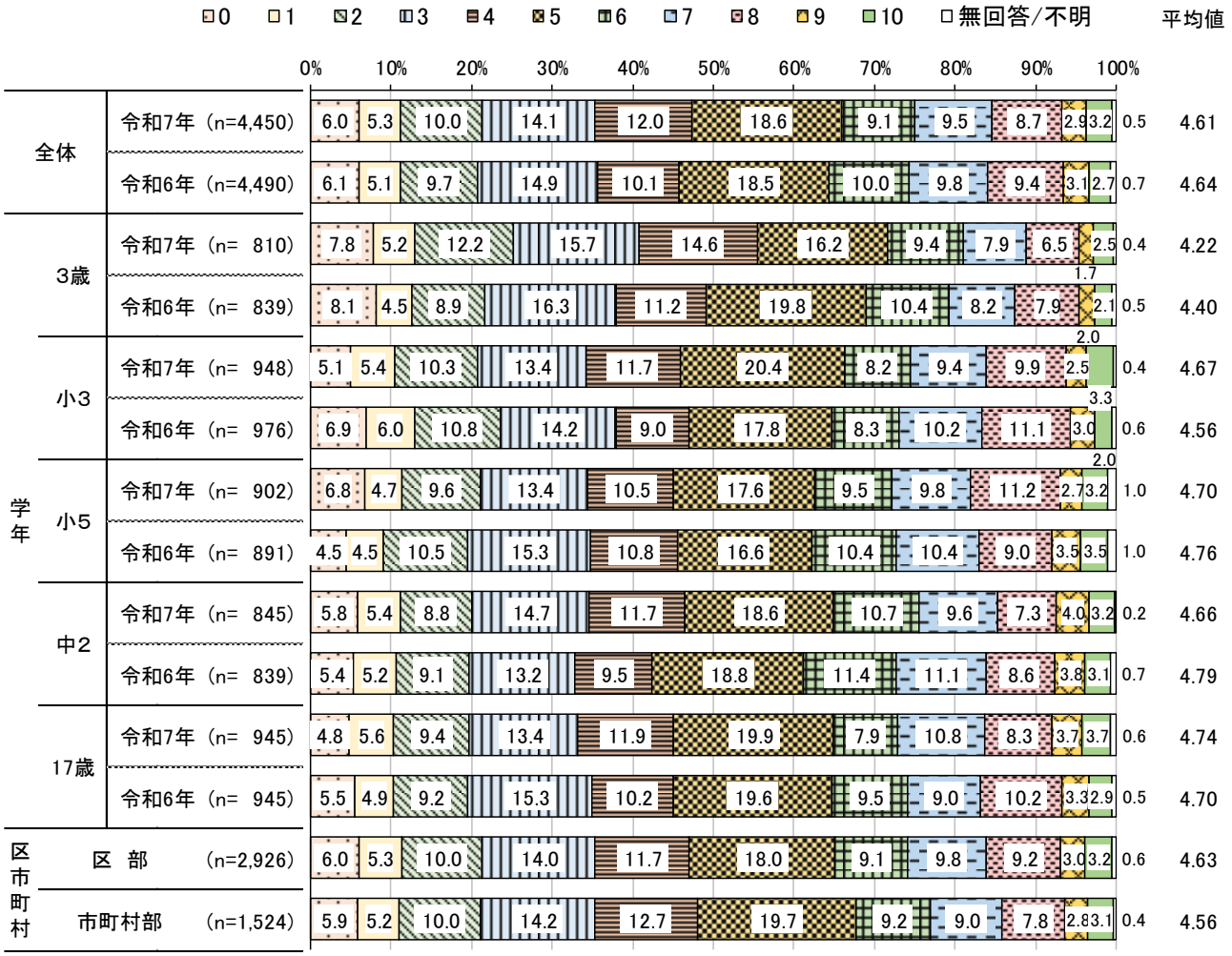
【全体】

「5」が 18.6％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 6.0％、「10」（とてもあてはまる）は 3.2％で、平均値は 4.61 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高い。平均値は、3歳では 4.22、小3では 4.67、小5では 4.70、中2では 4.66、17 歳では 4.74 である。

図表 2-97　C「体力的なゆとり」を感じられる　＜単一回答＞

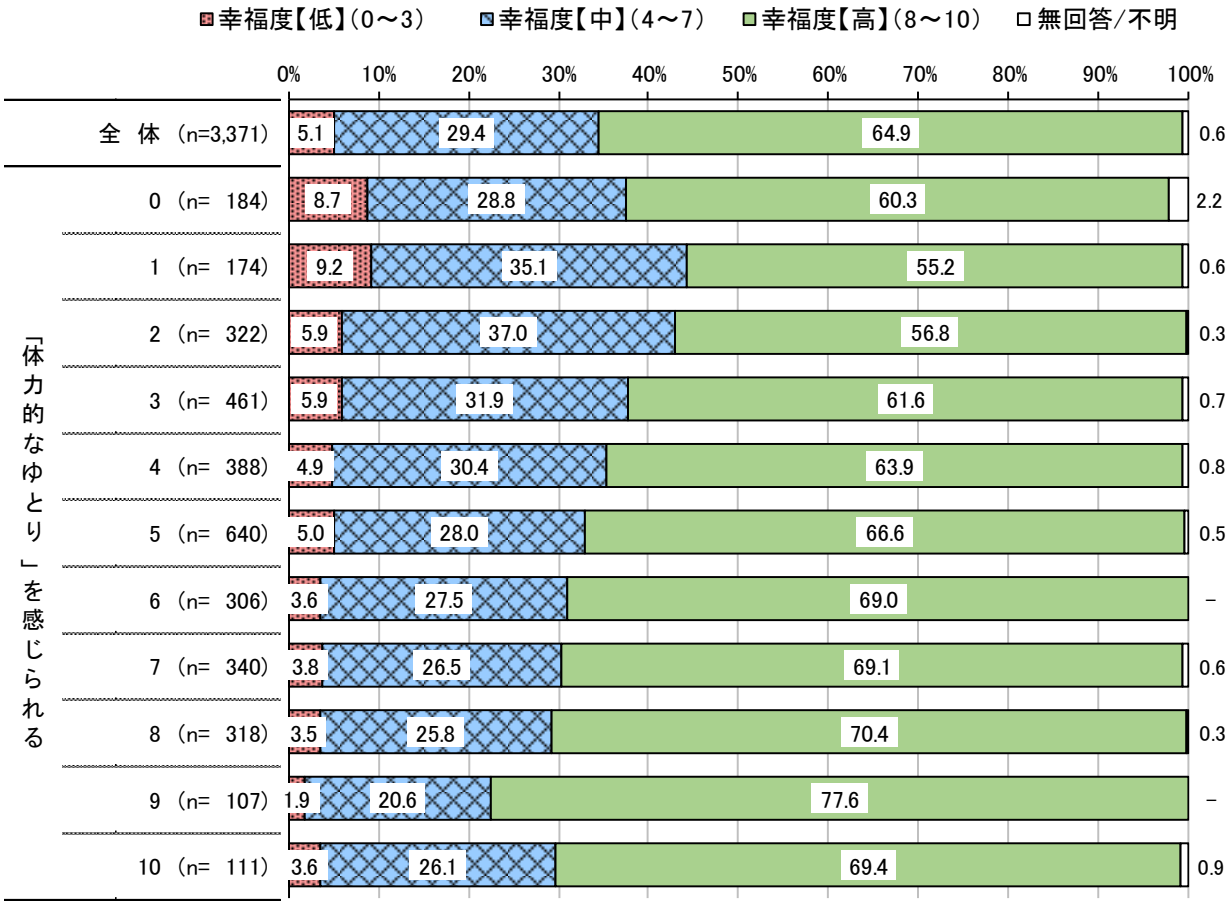


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『体力的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.4%、「9」と回答した保護者の子供では 77.6%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.3%である。

図表 2-98 子供の幸福度(「『体力的なゆとり』を感じられる」の回答別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（D　精神的なゆとり）

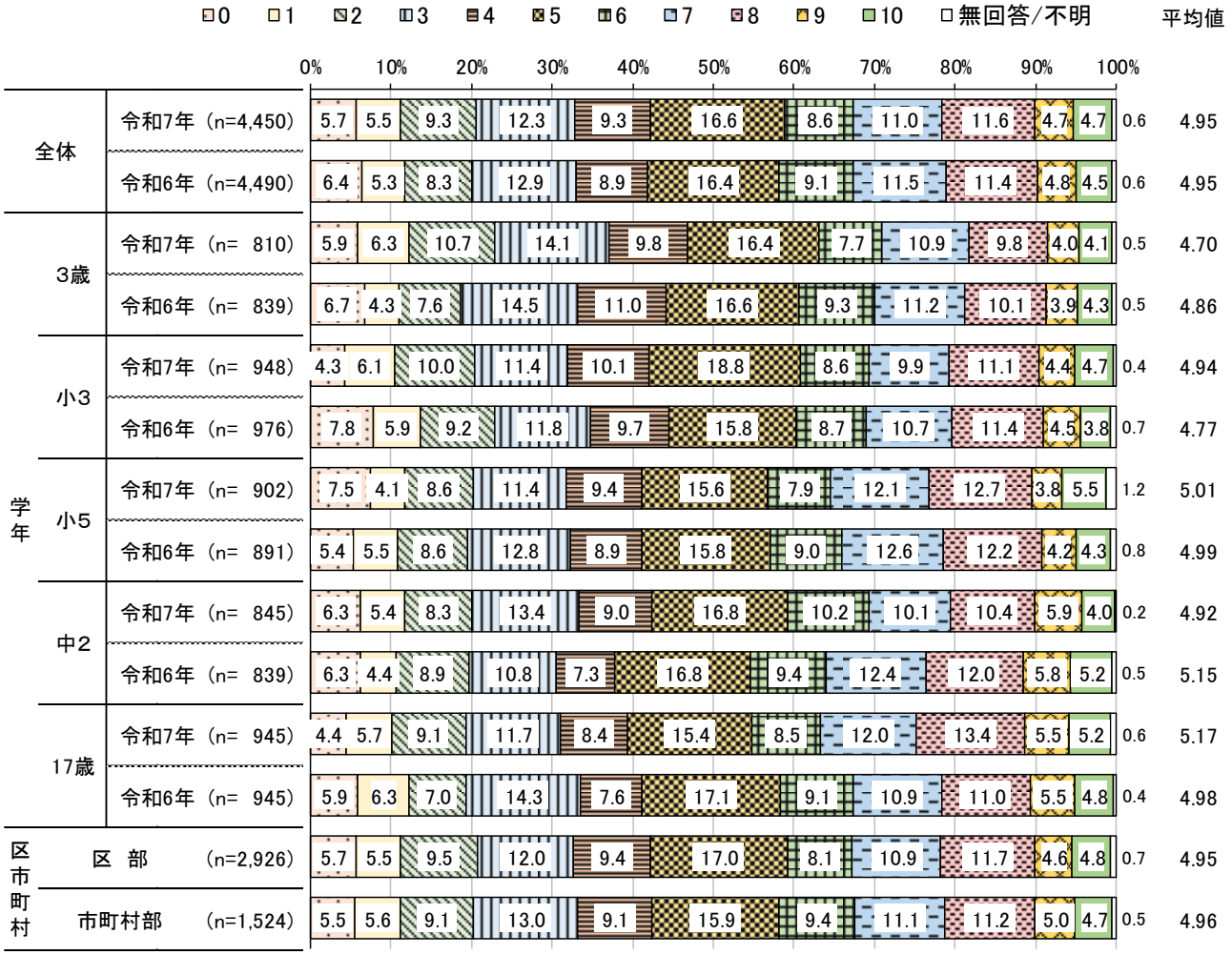
【全体】

「5」が 16.6％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 5.7％、「10」（とてもあてはまる）は 4.7％で、平均値は 4.95 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高く、15.4％以上である。

図表 2-99 D「精神的なゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

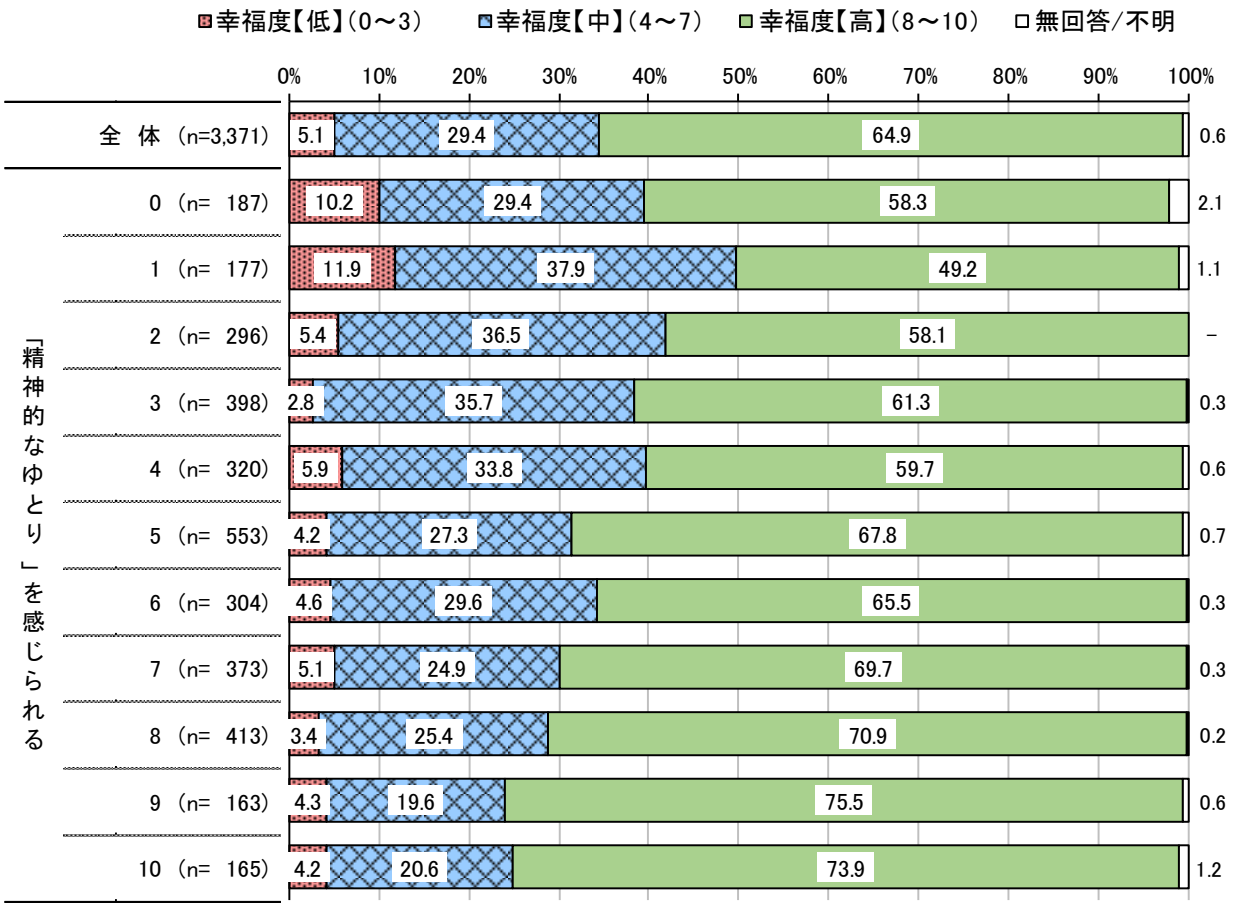


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『精神的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.9%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 58.3%である。

図表 2-100 子供の幸福度(「『精神的なゆとり』を感じられる」の回答別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（E　生活全般のゆとり）

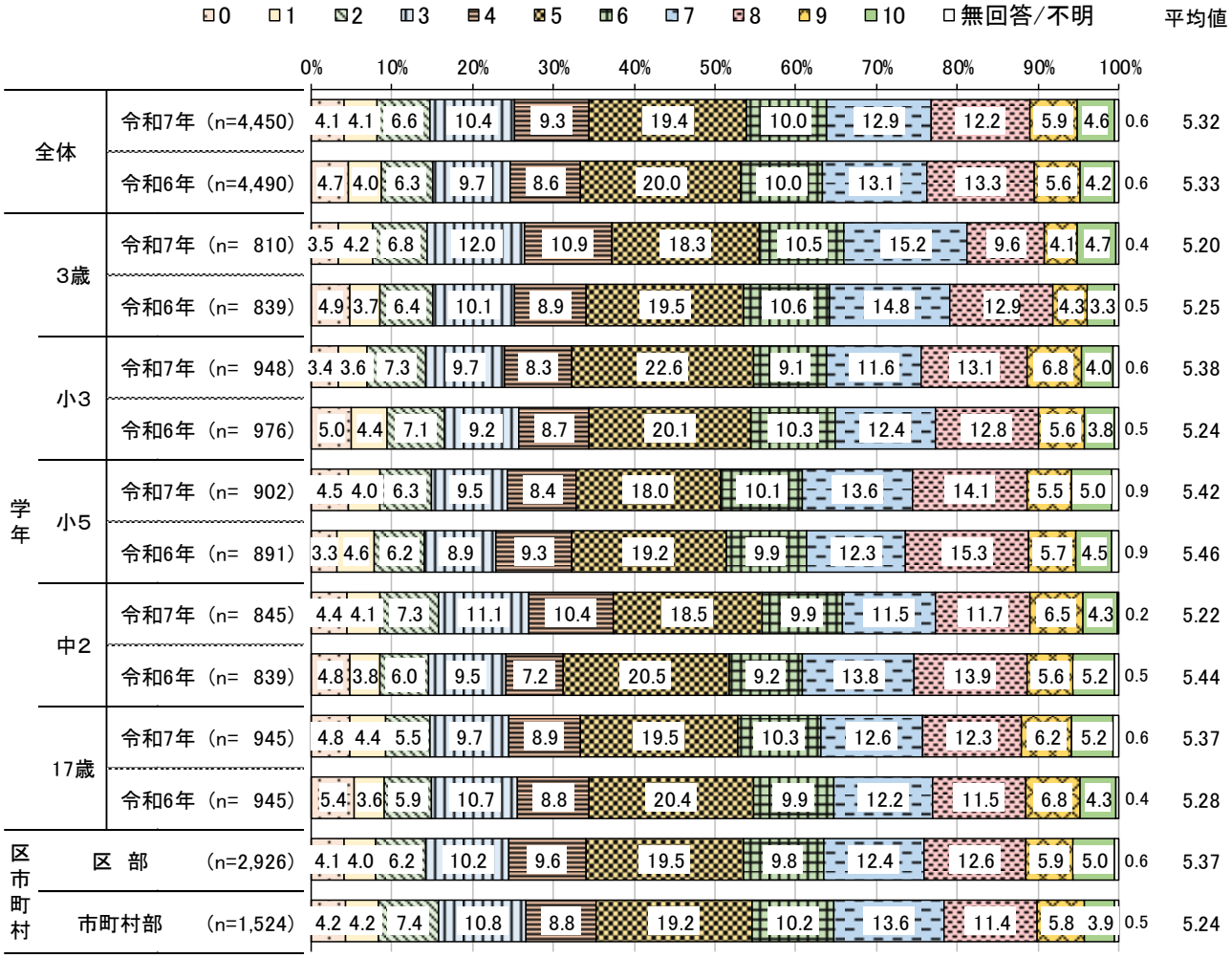
【全体】

「5」が 19.4%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 4.1%、「10」（とてもあてはまる）は 4.6%で、平均値は 5.32 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高い。

図表 2-101 E「生活全般のゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

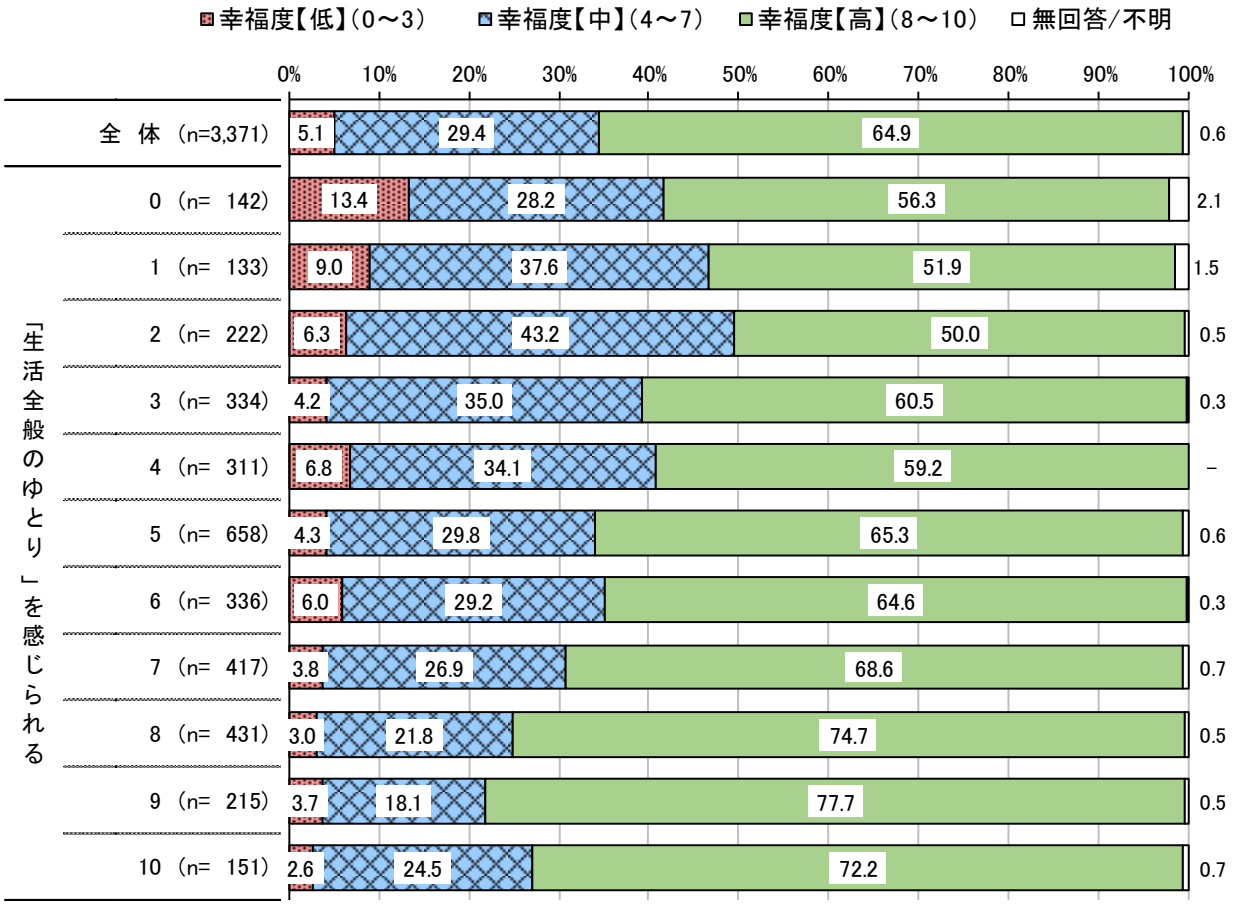


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『生活全般のゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 72.2%、「9」と回答した保護者の子供では 77.7%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 56.3%、「1」と回答した保護者の子供では 51.9%である。

図表 2-102 子供の幸福度（「『生活全般のゆとり』を感じられる」の回答別）



（保護者：共通）問 26. あなたが今、子育てに関して楽しいと感じていることは何ですか。（いくつでも）

【全体】

「子供の成長を感じられる」が 90.2％で最も高く、次いで「子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）」が 83.6％、「子供が笑ってくれる」が 81.1％で続き、「楽しいと感じていることがある（計）」は 98.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも、「子供の成長を感じられる」が最も高く、「子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）」と「子供が笑ってくれる」が上位3位に入っている。

経年比較でみると、3歳で「子供を通して、親も成長できる」が 6.2 ポイント減少している。

図表 2-103 今、子育てに関して楽しいと感じていること ＜複数回答＞

(%)

			n	子供の成長を感じられる	子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）	子供が愛情表現をくれる（言葉や手紙など）	子供が笑ってくれる	子供が自分を頼ってくれる、甘えてくれる	子供を通して、親も成長できる	子供を通して、新しい情報が得られる
全体		令和7年	4,450	90.2	83.6	61.9	81.1	64.2	62.5	53.9
		令和6年	4,490	90.3	84.3	61.0	80.3	63.1	62.6	53.4
学年	3歳	令和7年	810	95.4	91.5	79.6	94.9	75.6	60.1	42.8
		令和6年	839	95.4	93.6	80.9	94.3	77.8	66.3	45.3
	小3	令和7年	948	90.6	83.3	74.5	87.2	71.2	63.6	50.7
		令和6年	976	92.5	83.9	71.5	87.3	70.0	62.7	51.6
	小5	令和7年	902	89.6	82.7	66.0	83.5	66.1	63.1	53.9
		令和6年	891	90.3	84.1	64.8	80.5	62.4	60.3	49.5
	中2	令和7年	845	88.6	81.3	49.1	72.9	55.9	64.4	57.9
		令和6年	839	86.9	80.6	47.8	73.1	55.1	64.5	57.8
	17歳	令和7年	945	87.3	80.2	41.5	68.4	53.2	61.4	62.9
		令和6年	945	86.6	80.2	40.5	67.1	50.9	59.8	62.3
区市町村	区部		2,926	89.9	83.9	62.6	80.7	65.2	62.4	52.7
	市町村部		1,524	90.7	83.1	60.4	82.0	62.3	62.7	56.0

			子供を通して、新しいコミュニティ（友人・学校・部活・幼稚園・保育園など）ができる	その他	特にない	無回答／不明	楽しいと感じていることがある（計）
全体		令和7年	40.6	1.6	1.2	0.4	98.4
		令和6年	39.2	1.2	1.3	0.6	98.1
学年	3歳	令和7年	38.8	1.5	0.2	0.2	99.5
		令和6年	39.1	1.2	0.5	0.5	99.0
	小3	令和7年	48.0	1.4	0.5	0.4	99.1
		令和6年	45.4	1.2	1.0	0.6	98.4
	小5	令和7年	41.5	1.6	2.1	0.7	97.2
		令和6年	38.6	0.8	1.3	0.8	97.9
	中2	令和7年	39.2	1.8	1.4	0.2	98.3
		令和6年	37.2	1.1	1.8	0.5	97.7
	17歳	令和7年	35.2	1.6	1.8	0.2	98.0
		令和6年	35.2	1.9	1.9	0.7	97.4
区市町村	区部		40.2	1.4	1.2	0.4	98.4
	市町村部		41.3	1.8	1.4	0.3	98.4

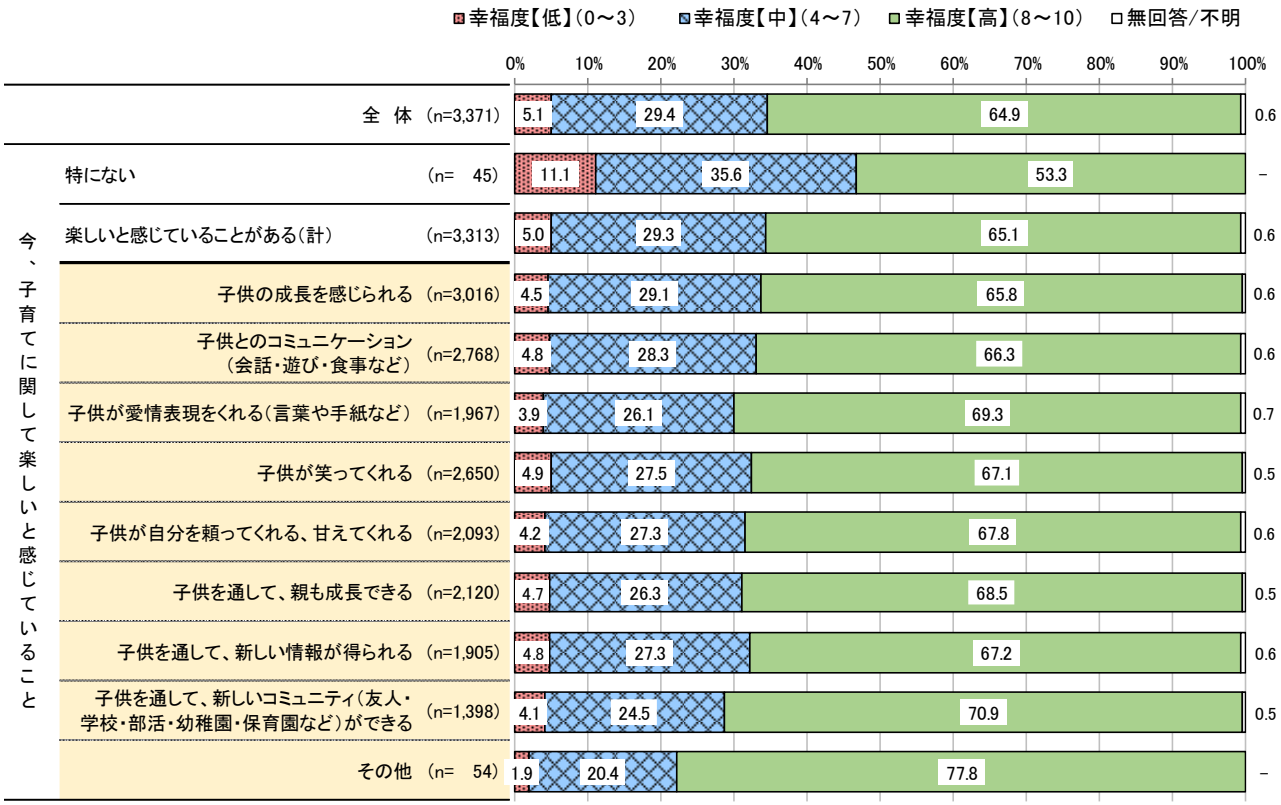
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※楽しいと感じていることがある（計）は「子供の成長を感じられる」～「子供を通して、新しいコミュニティ（友人、学校、部活、幼稚園、保育園など）ができる」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「今、子育てに関して楽しいと感じていること」の回答別に子供の幸福度をみると、「楽しいと感じていることがある（計）」保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 65.1％である。

図表 2-104 子供の幸福度（「今、子育てに関して楽しいと感じていること」の回答別）



【自由記述】

その他（今、子育てに関して楽しいと感じていること）
祖父母との関係がより深くなり、家族みんなで過ごす時間が楽しい。（保護者・3歳）
寝かしつけの時にすぐ寝てくれないときも楽しく感じる！（保護者・3歳）
自分の父や母と会話をすることがある（保護者・3歳）
自分を振り返るキッカケをくれる。許すこと、耐えること、おしえてくれる。（保護者・3歳）
子供を通して周囲の人が楽しんでくれている事を感じる幸せ（保護者・3歳）
姉妹で仲良く楽しそうにしている（保護者・3歳）
子供時代を生き直しているような気持ちになること（保護者・3歳）
一緒に生活する今全てが楽しいです（保護者・小3）
フリースクールに通えること（保護者・小3）
小学校のイベントを企画、運営をしています。その活動を通して多くの子供達と交流が出来て楽しいです。（保護者・小3）
日々、子供たちの新しい発見を共有してもらえる（保護者・小3）
子供が夢中になる事を見つけて応援するのが楽しい（保護者・小3）
生活にメリハリをつけてくれる（保護者・小3）
子供に産んだ事を感謝された（保護者・小3）
手をつないで寝られる（保護者・小5）
子供が自分の好きなことを見つける様子を見ていられること。（保護者・小5）
子供との旅行などの計画づくり（保護者・小5）
兄弟で性格の違いがあっておもしろい（保護者・小5）
明るい希望が持てる（保護者・中2）
元気に楽しく学校生活を送っていること（保護者・中2）
子どもが作る作品を見ることができる（保護者・中2）
子供のスポーツの応援（保護者・中2）
私が同じ年代の頃に考えていたこと、失敗したこと、チャレンジしたことを伝えられる。また自分が失敗したと思っていたりネガティブにとらえていたことをポジティブにとらえて教えてくれる、私とは違う視点や気付きを話してくれる。（保護者・中2）
子供が私の話を聞いてくれて、はげましてくれる（保護者・中2）
子供が他の人を助けようとしていること（保護者・中2）
子供を通して自らの親との関係も見直すきっかけになる（保護者・中2）
子供を通して様々な感情になれる←子供がいないとできない体験（保護者・17 歳）
子供が相談にのってくれたり、逆にのったりできる（保護者・17 歳）
子どもに関することが今の自分にとってエネルギーの源となっています（保護者・17 歳）
栄養について学んでおり、子供への実践で成果を見てとれる（保護者・17 歳）
子供が小・中学生だった時代のママ友とランチをして子供の話をする（保護者・17 歳）
子どもの部活応援・サポート（保護者・17 歳）
2023年12月から「子離れ親離れプロジェクト」を進行中！（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子育てや教育の費用）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 36.1％で最も高く、次いで「そう思う」が 36.0％である。子育てや教育の費用に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、72.1％である。

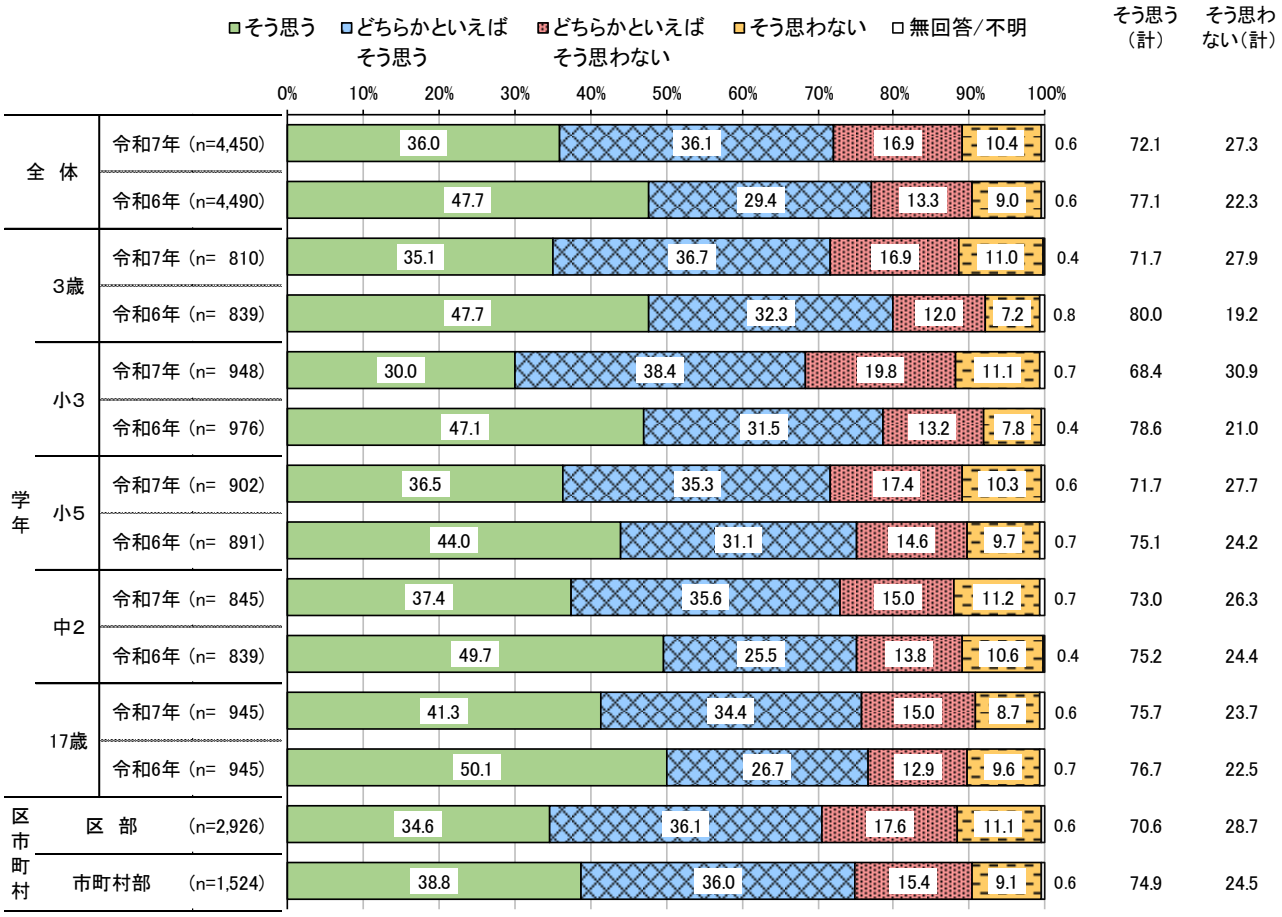
経年比較でみると、「そう思う」が 11.7 ポイント減少し、子育てや教育の費用に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 5.0 ポイント減少した。

【学年別】

3歳と小3では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、小5、中2、17 歳では「そう思う」が最も高い。

経年比較でみると、いずれの学年でも「そう思う」が 7.5～17.1 ポイント減少した。

図表 2-105　A「子育てや教育の費用」の悩み　＜単一回答＞

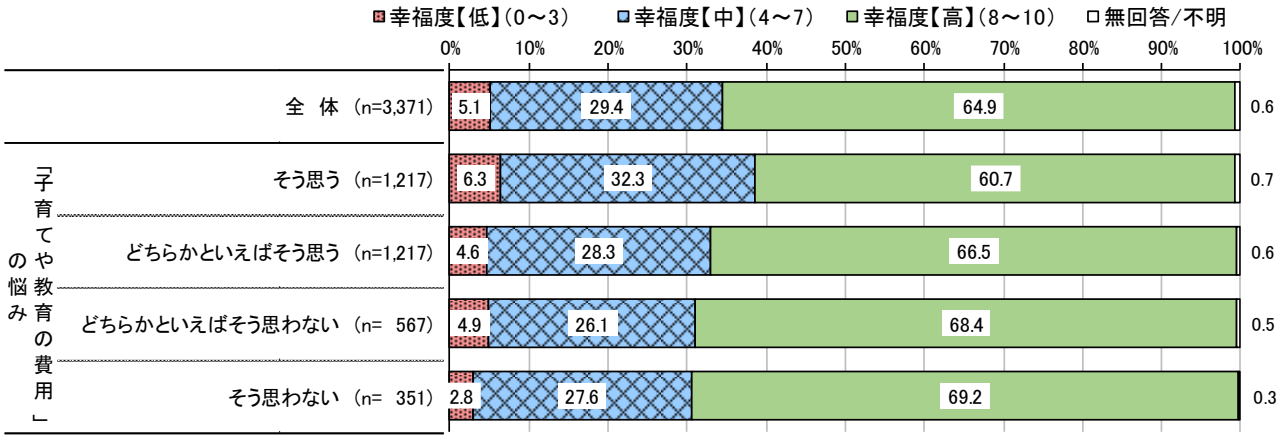


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育てや教育の費用』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.7%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.2%である。

図表 2-106 子供の幸福度(「『子育てや教育の費用』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　子育ての相談相手の不足）

【全体】

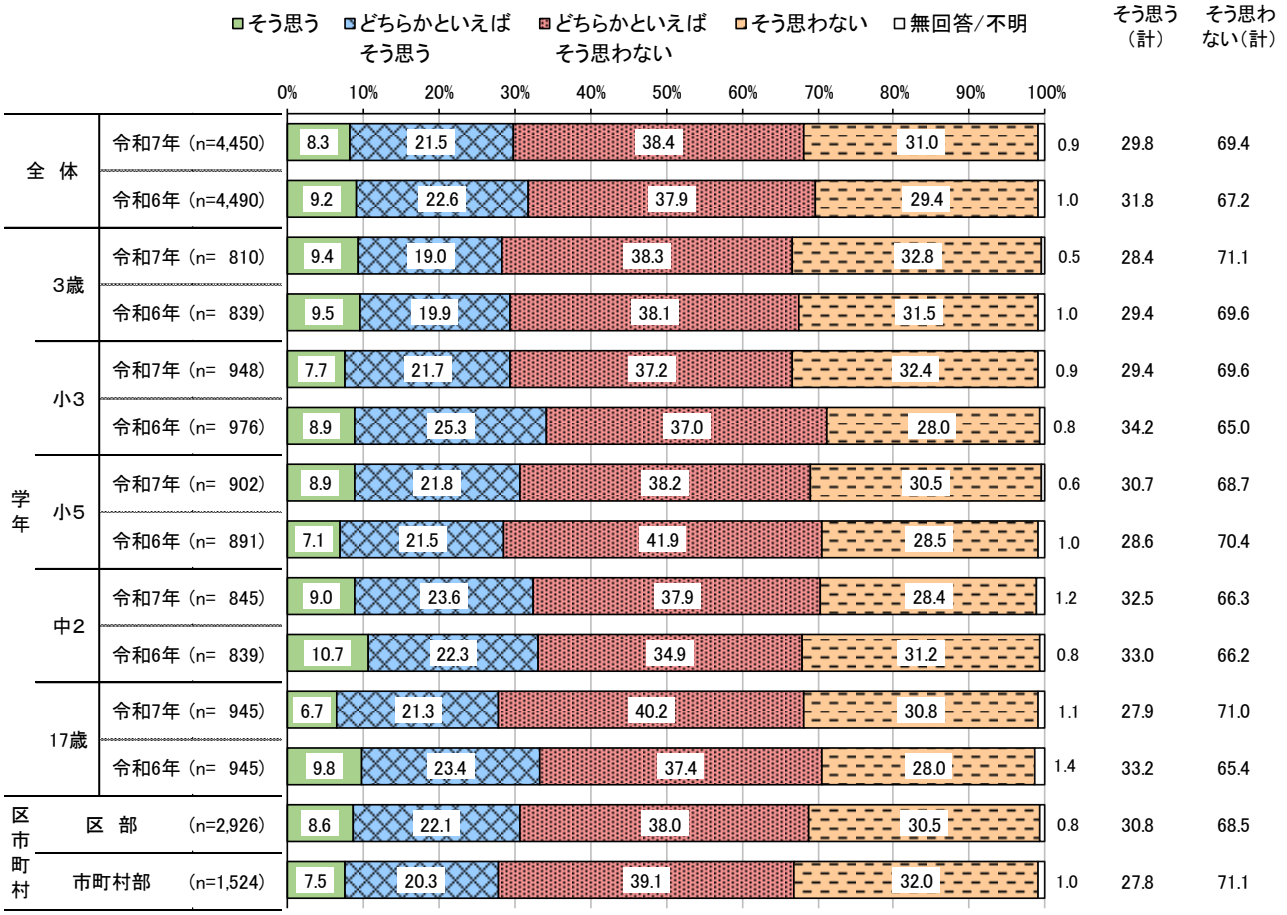
「どちらかといえばそう思わない」が 38.4％で最も高く、次いで「そう思わない」が 31.0％である。子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 29.8％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、27.9％～32.5％である。

経年比較でみると、子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、17 歳で 5.3 ポイント低くなっている。

図表 2-107　B「子育ての相談相手の不足」の悩み　＜単一回答＞

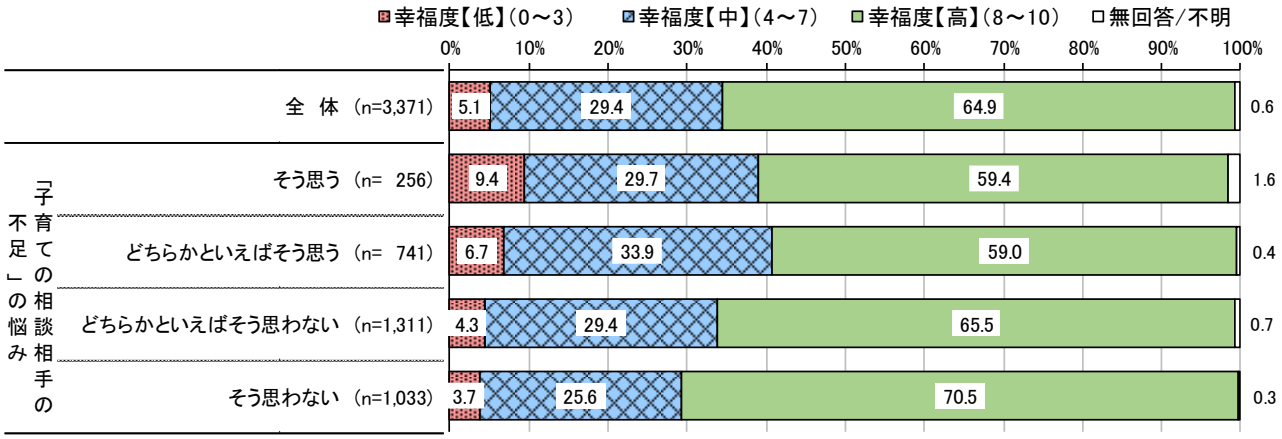


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育ての相談相手の不足』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.4%で、幸福度【低】(0～3)が 9.4%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 70.5%である。

図表 2-108 子供の幸福度(「『子育ての相談相手の不足』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　子供の健康や発達・発育）

【全体】

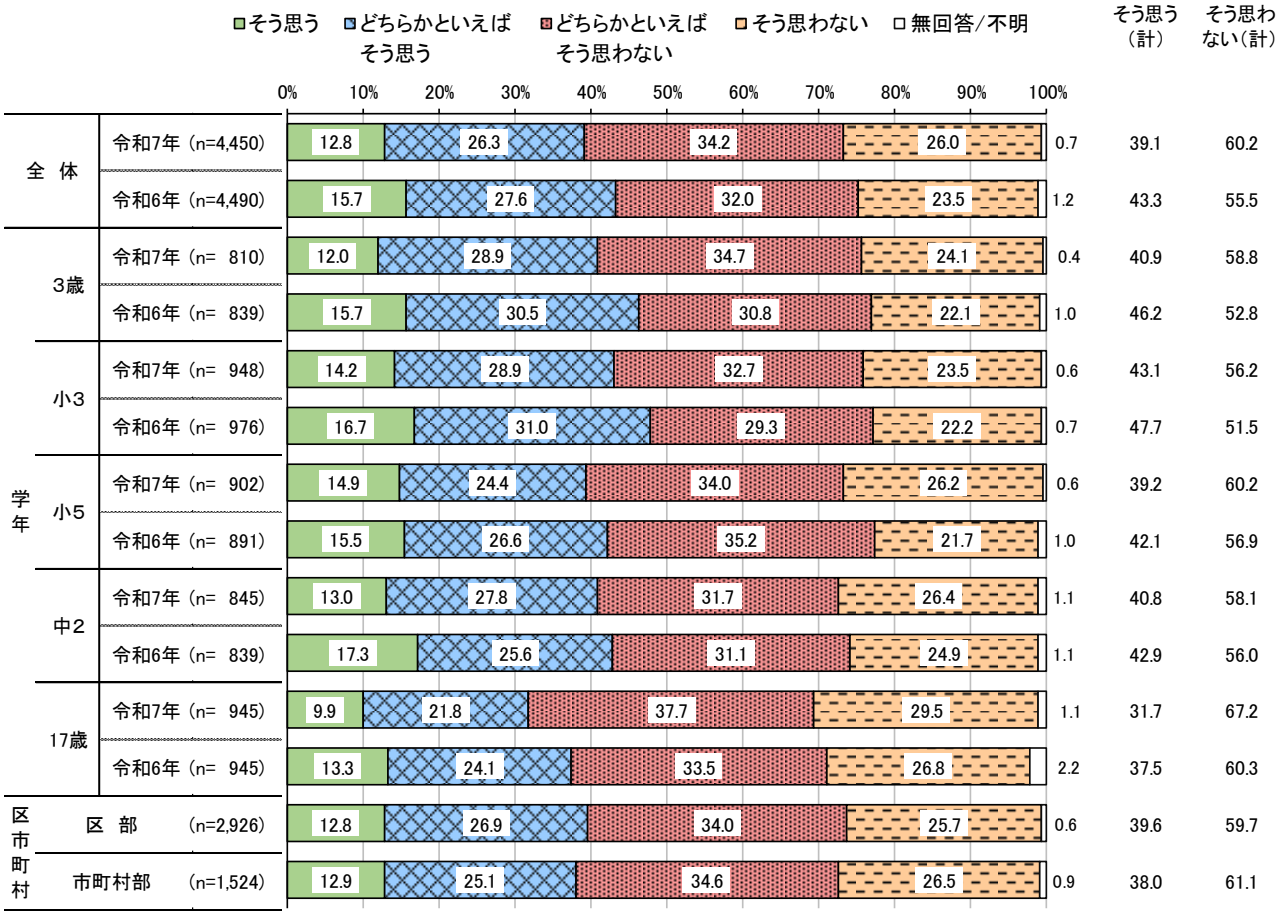
「どちらかといえばそう思わない」が 34.2％で最も高い。子供の健康や発達・発育に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 39.1％である。

【学年別】

子供の健康や発達・発育に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 17 歳が 31.7％と低く、その他の学年は 39.2％～43.1％である。

経年比較でみると、子供の健康や発達・発育に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、3歳で 5.3 ポイント、17 歳で 5.8 ポイント減少している。

図表 2-109　C「子供の健康や発達・発育」の悩み　＜単一回答＞

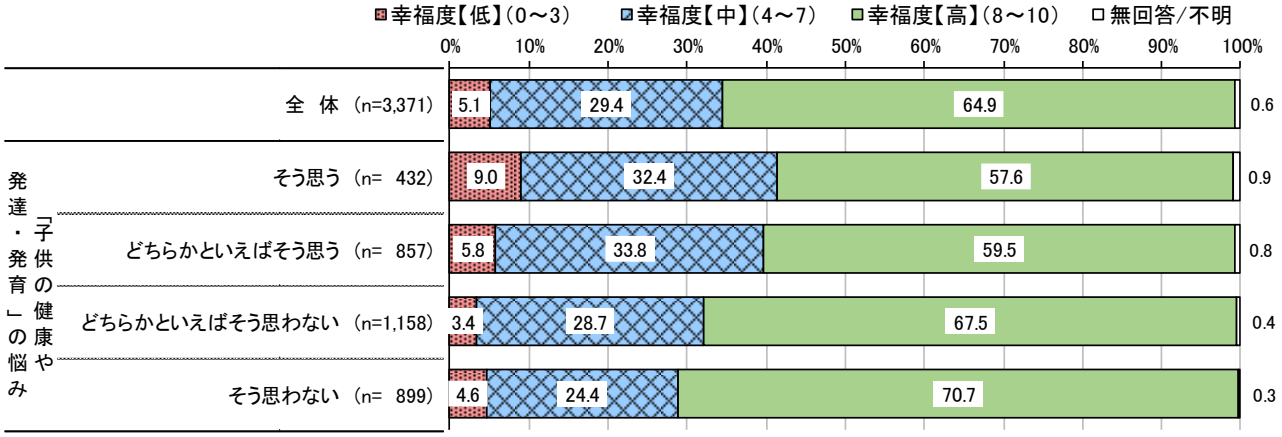


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の健康や発達・発育』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.6%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 70.7%である。

図表 2-110 子供の幸福度(「『子供の健康や発達・発育』の悩み」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 子供の成績や学力）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 36.7％で最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が 26.6％で、子供の成績や学力に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 58.8％である。

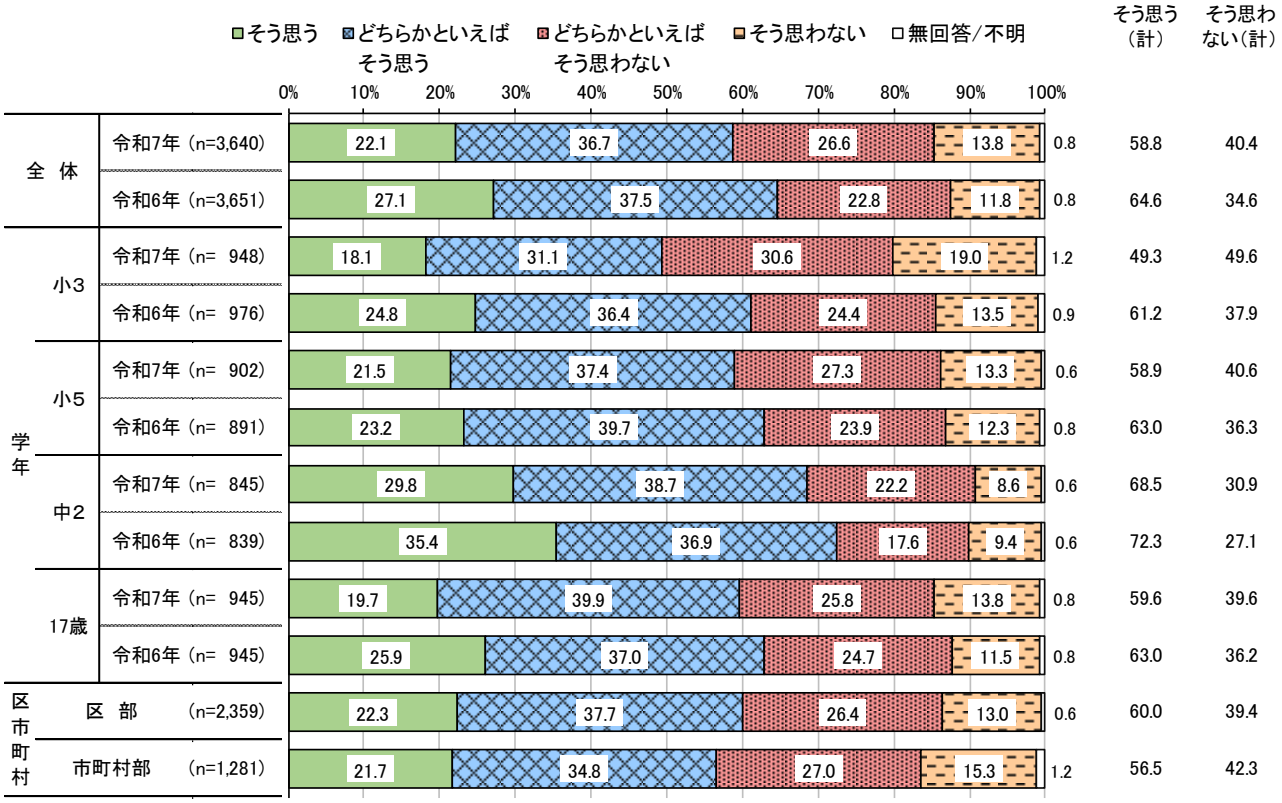
経年比較でみると、子供の成績や学力に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者が 5.8 ポイント減少している。

【学年別】

中2で「そう思う」が 29.8％で、子供の成績や学力に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 68.5％と、他の学年より 8 ポイント以上高い。

経年比較でみると、子供の成績や学力に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者が小3で 11.9 ポイント減少している。

図表 2-111 D 「子供の成績や学力」の悩み ＜単一回答＞

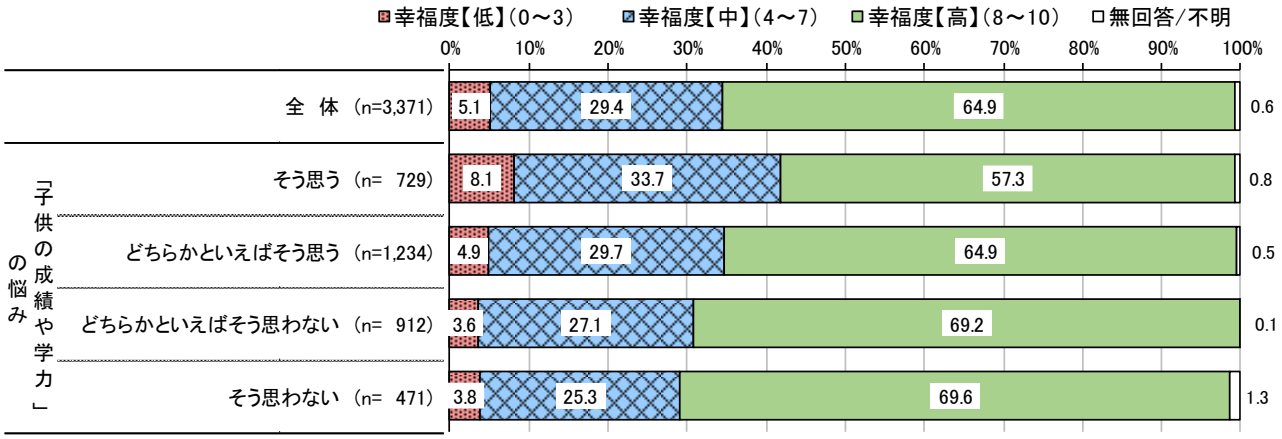


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の成績や学力』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.3%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 69.6%である。

図表 2-112 子供の幸福度(「『子供の成績や学力』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　子供の進学や就職）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 37.0％で最も高く、次いで「そう思う」が 25.3％で、 子供の進学や就職で悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 62.3％である。

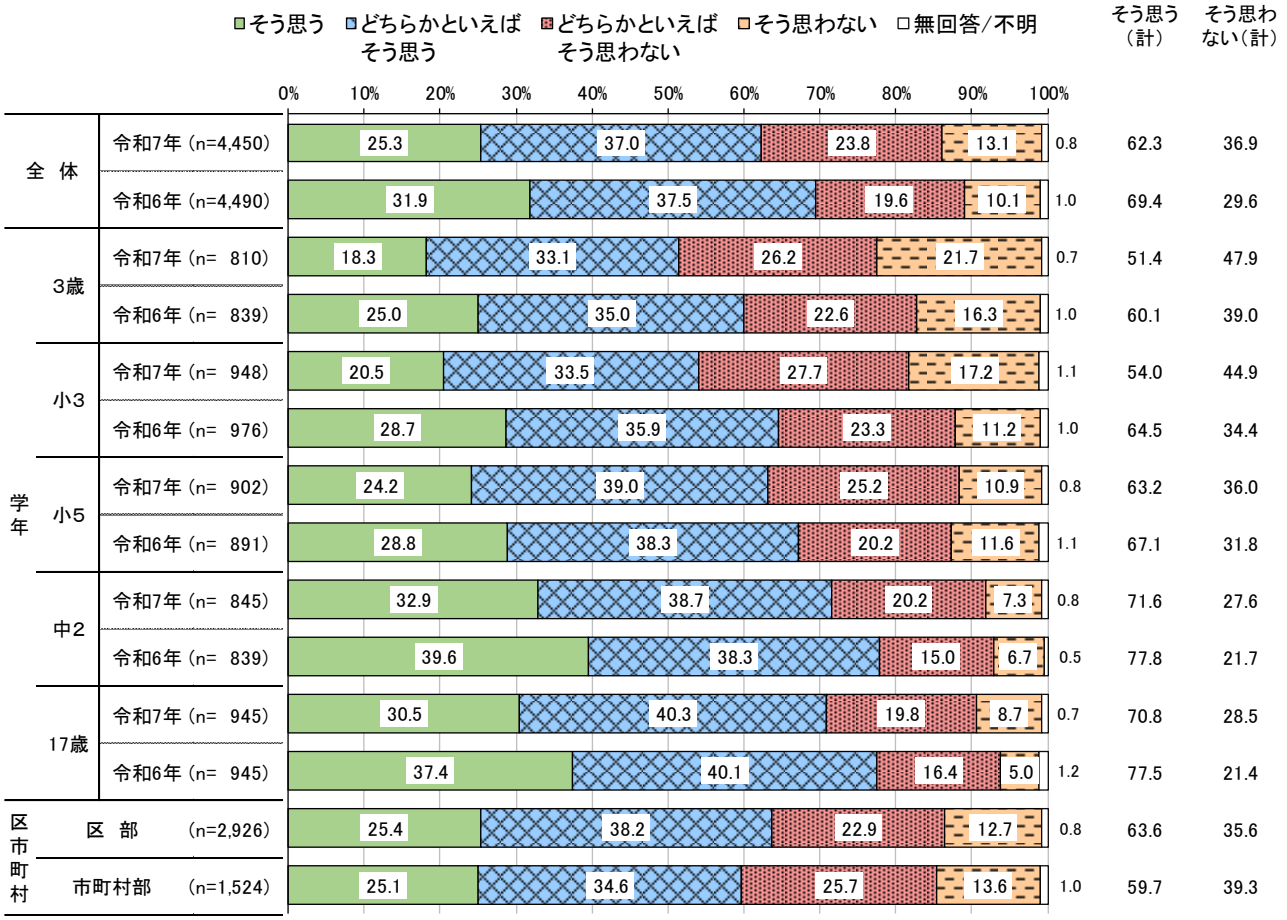
経年比較でみると、子供の進学や就職で悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者が 7.1 ポイント減少している。

【学年別】

子供の進学や就職で悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、学年が上がるにつれて増加傾向にあり、3歳では 51.4％であるが、中2では 71.6％、17 歳では 70.8％である。

経年比較でみると、子供の進学や就職で悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者が、3歳で 8.7 ポイント、小3で 10.5 ポイント、中2で 6.2 ポイント、17 歳で 6.7 ポイント減少している。

図表 2-113 E「子供の進学や就職」の悩み ＜単一回答＞

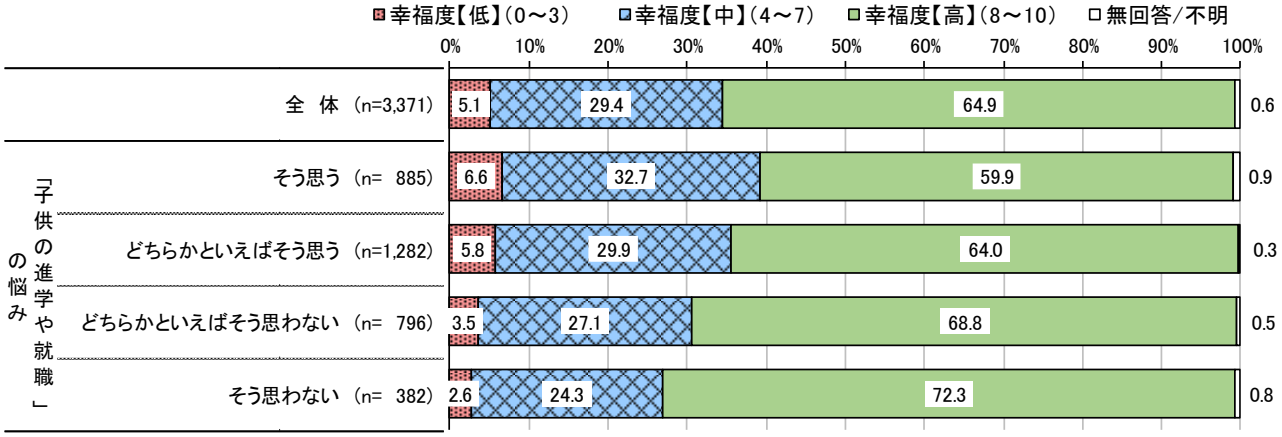


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の進学や就職』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.9%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 72.3%である。

図表 2-114 子供の幸福度(「『子供の進学や就職』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　子供の問題行動）

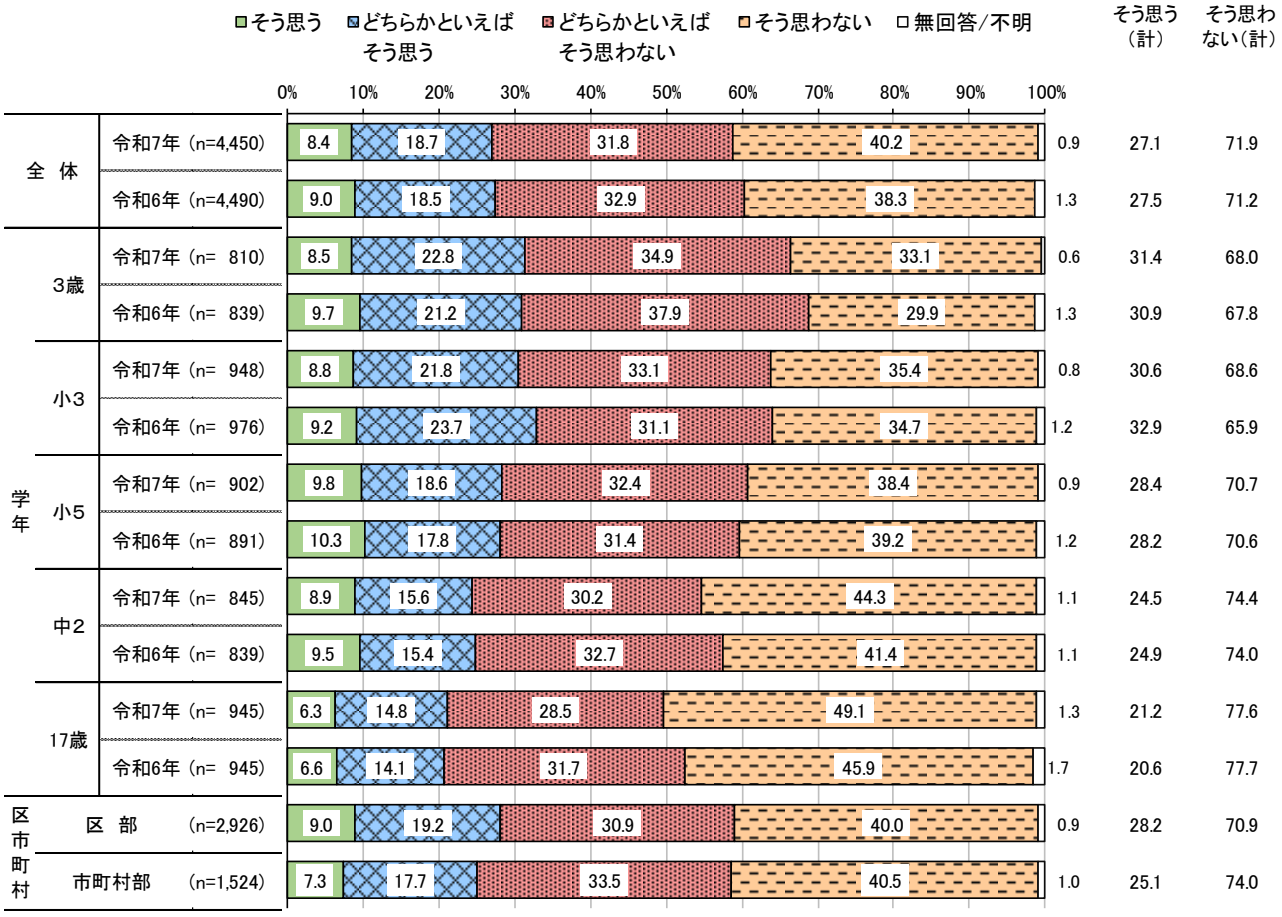
【全体】

「そう思わない」が 40.2％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 31.8％である。子供の問題行動に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 27.1％である。

【学年別】

子供の問題行動に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、3歳では 31.4％、小3では 30.6％で、小5以上になると学年が上がるにつれて減少傾向にあり、17 歳では 21.2％である。

図表 2-115 F「子供の問題行動」の悩み ＜単一回答＞

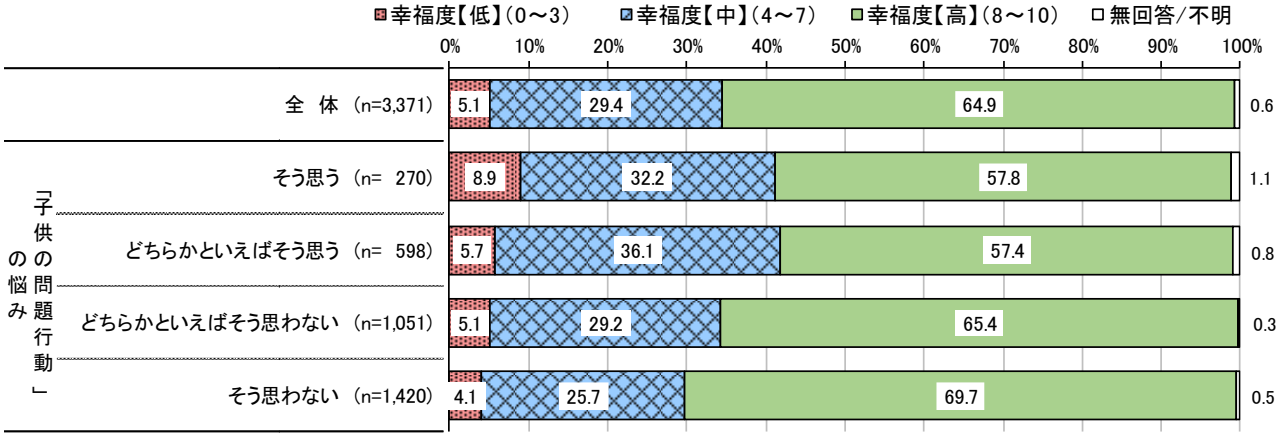


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の問題行動』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.8%で、幸福度【低】(0～3)が 8.9%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 69.7%である。

図表 2-116 子供の幸福度(「『子供の問題行動』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　子育てと仕事や家事の両立）

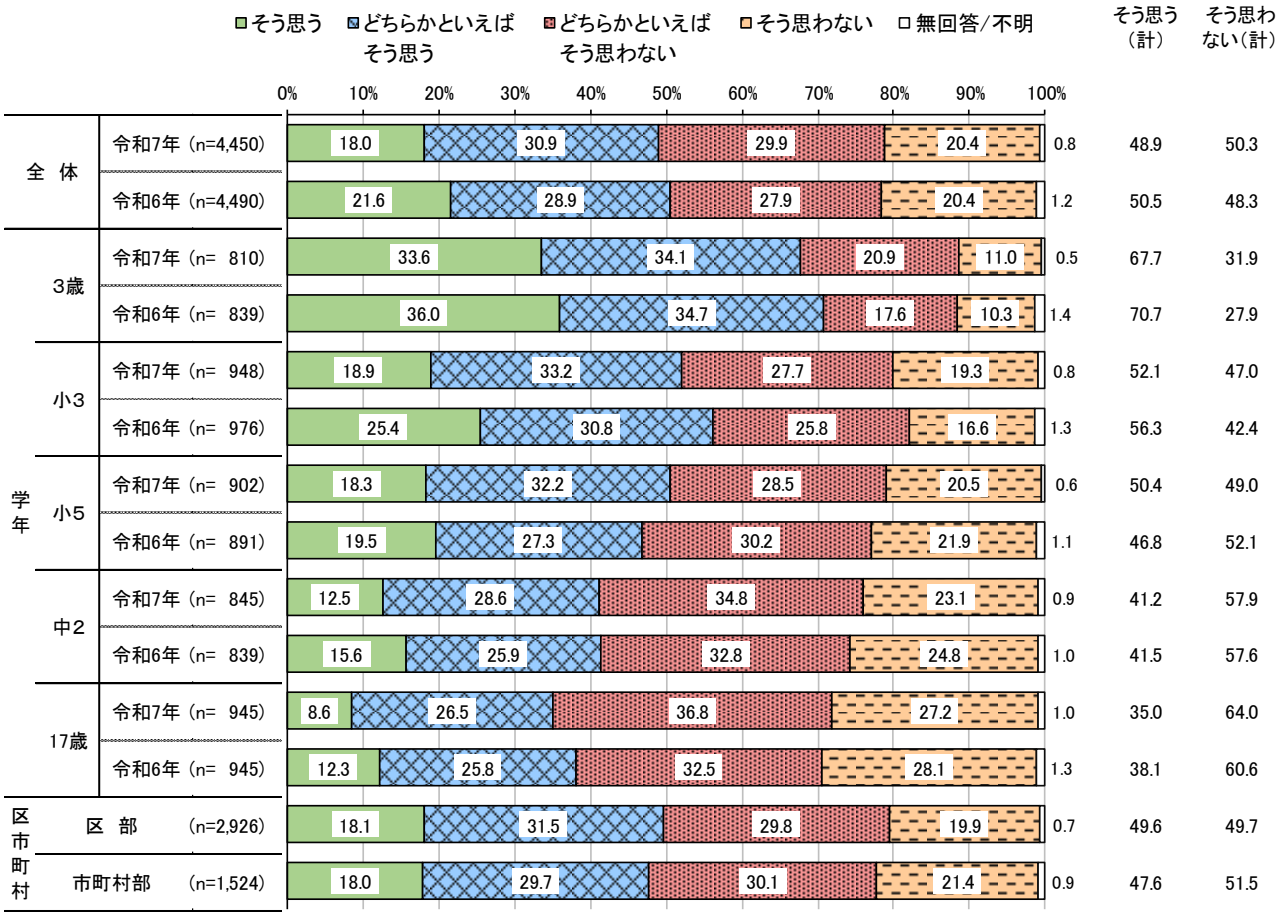
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 30.9％で最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が 29.9％。子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 48.9％である。

【学年別】

3歳では「そう思う」が 33.6％で、他の学年に比べて 14 ポイント以上高い。子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、3歳では 67.7％であるが、17 歳では 35.0％である。

図表 2-117　G「子育てと仕事や家事の両立」の悩み　＜単一回答＞

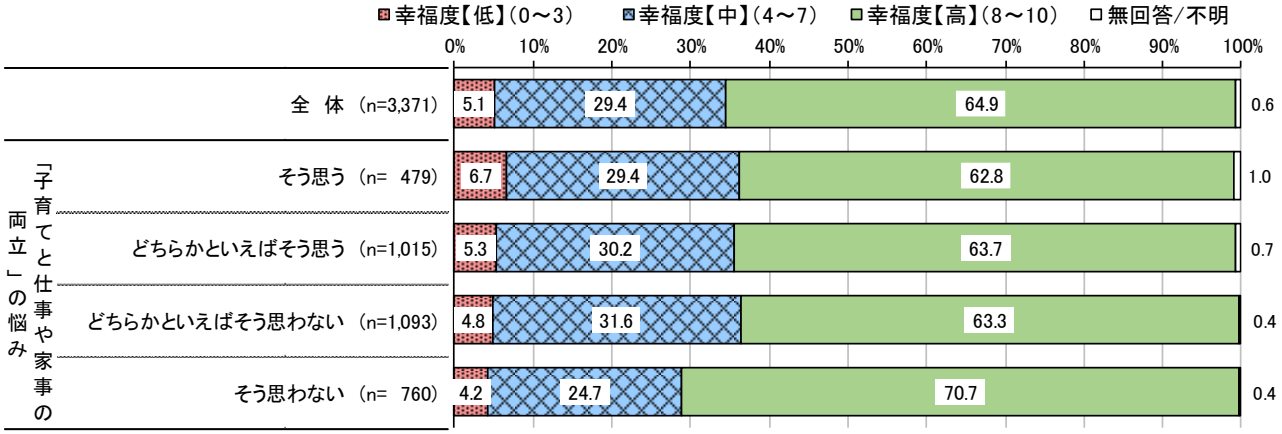


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育てと仕事や家事の両立』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 62.8%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は70.7%である。

図表 2-118 子供の幸福度(「『子育てと仕事や家事の両立』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 28. あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。（いくつでも）

【全体】

「友人・知人」が 67.2％で最も高く、次いで「テレビ」が 42.4％、「上記以外のオンライン情報（インターネット検索など）」が 39.9％、「お子様の学校／学校の先生」が 38.4％と続く。

経年比較でみると、「自分または配偶者／パートナーの親や親戚」が 9.0 ポイント減少している。

【学年別】

いずれの学年でも「友人・知人」が最も高い。3歳では、次いで「お子様の学校／学校の先生(※)」が 61.0％、「Instagram」が 55.9％、「自分の配偶者／パートナー」が 46.0％と続く。小5では、「上記以外のオンライン情報（インターネット検索など）」が 41.8％、「テレビ」が 40.9％の順。

（※）3歳児保護者調査票では、「お子様の幼稚園・こども園・保育園の先生」

経年比較でみると、「自分または配偶者／パートナーの親や親戚」が3歳で 12.4 ポイント、小3で 11.3 ポイント、小5で 6.1 ポイント、17 歳で 9.5 ポイント減少している。

【区市町村別】

市町村部で「職場関係の人」が 31.4％で、区部に比べて 7.7 ポイント高い。

図表 2-119 あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか ＜複数回答＞

(%)

			n	テレビ	Facebook	X(旧Twitter)	Instagram	LINE	YouTube	上記以外のオンライン情報(インターネット検索など)	新聞
全体		令和7年	4,450	42.4	2.7	15.2	29.7	7.4	23.5	39.9	11.6
		令和6年	4,490	43.3	3.2	15.1	26.1	8.6	20.4	42.4	13.3
学年	3歳	令和7年	810	40.4	1.6	28.0	55.9	7.8	36.7	34.6	4.3
		令和6年	839	42.2	3.3	27.2	52.8	9.4	36.7	36.0	5.2
	小3	令和7年	948	41.8	3.6	15.7	34.4	8.3	22.4	39.3	10.9
		令和6年	976	42.4	3.6	13.7	27.7	8.7	20.1	43.6	12.3
	小5	令和7年	902	40.9	3.4	13.1	28.4	7.0	23.8	41.8	11.2
		令和6年	891	43.9	2.6	15.3	21.8	9.2	15.9	44.7	13.8
	中2	令和7年	845	44.5	2.1	11.5	16.6	7.2	18.9	41.9	15.4
		令和6年	839	44.6	3.5	10.5	19.1	9.5	16.8	43.7	15.7
	17歳	令和7年	945	44.4	2.3	8.9	15.3	6.6	16.9	41.6	15.7
		令和6年	945	43.4	3.2	9.6	11.3	6.6	13.8	43.5	18.8
区市町村	区部		2,926	41.4	2.9	16.6	29.3	7.2	23.0	40.7	12.1
	市町村部		1,524	44.4	2.2	12.5	30.4	7.7	24.4	38.4	10.8

			育児・教育雑誌	育児書や教育書	自分の配偶者／パートナー	自分または配偶者／パートナーの親や親戚	友人・知人	学校・学校の先生、幼稚園・こども園・保育園の先生	(17歳、中2、小5、小3)相談員(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど)	放課後児童クラブ・児童館の職員	塾や習い事の先生
全体		令和7年	10.0	14.4	37.5	27.8	67.2	38.4	5.5	4.1	19.1
		令和6年	10.8	13.8	39.2	36.8	68.5	43.9	5.4	4.4	20.8
学年	3歳	令和7年	14.7	20.6	46.0	38.6	65.3	61.0		9.6	6.8
		令和6年	15.0	19.4	47.1	51.0	66.5	60.9		9.4	9.4
	小3	令和7年	11.7	17.8	36.9	27.7	69.9	35.1	7.6	7.1	20.3
		令和6年	13.1	18.0	40.2	39.0	73.1	40.2	6.7	8.1	23.1
	小5	令和7年	9.8	15.2	36.5	28.0	68.1	29.6	7.8	3.2	23.6
		令和6年	11.4	12.7	38.6	34.1	70.3	38.5	7.0	3.4	25.9
	中2	令和7年	8.8	10.7	35.6	25.1	67.8	34.7	7.1	0.9	24.3
		令和6年	8.2	11.1	39.5	30.0	65.2	41.7	8.1	0.7	25.6
	17歳	令和7年	5.8	8.5	33.4	21.0	64.6	34.2	4.4	0.2	19.6
		令和6年	6.1	7.8	31.4	30.5	67.0	39.9	5.2	0.4	19.5
区市町村	区部		10.3	15.0	37.5	27.1	67.8	38.3	5.6	4.4	20.1
	市町村部		9.5	13.3	37.5	29.3	65.9	38.6	5.3	3.7	17.1

			職場関係の人	(小5、小3、3歳)ベビーシッター	行政機関の広報誌	その他	どこからも情報は得ていない	無回答/不明	子育てに関する情報を得ている(計)
全体		令和7年	26.3	0.6	8.1	2.2	2.3	0.4	97.3
		令和6年	25.4	0.6	7.6	1.9	1.8	0.4	97.8
学年	3歳	令和7年	23.6	2.6	8.8	2.1	0.5	0.4	99.1
		令和6年	22.9	2.4	8.0	1.2	0.6	0.6	98.8
	小3	令和7年	27.2	0.3	7.7	2.0	1.3	0.5	98.2
		令和6年	25.9	0.5	7.7	1.2	1.0	0.3	98.7
	小5	令和7年	24.8	0.2	9.2	2.4	2.0	0.6	97.5
		令和6年	24.0	0.2	7.7	2.1	2.1	0.6	97.3
	中2	令和7年	27.8		6.6	1.8	3.2	0.2	96.6
		令和6年	28.1		7.5	2.4	2.6	0.5	96.9
	17歳	令和7年	27.8		8.1	2.5	4.3	0.4	95.2
		令和6年	26.0		7.0	2.6	2.4	0.2	97.4
区市町村	区部		23.7	0.8	7.8	2.2	2.4	0.4	97.2
	市町村部		31.4	0.2	8.6	2.2	2.2	0.5	97.4

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

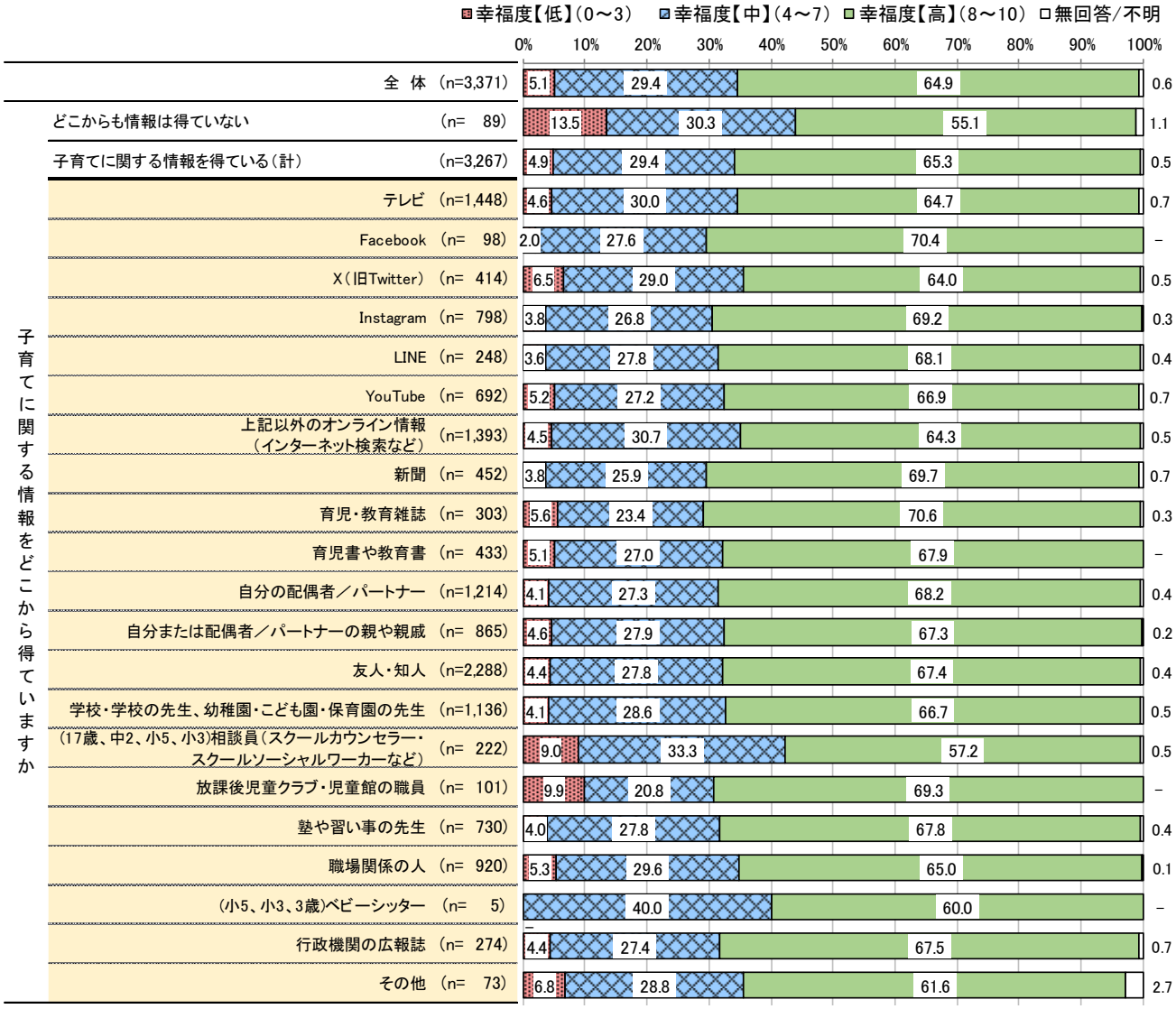
※子育てに関する情報を得ている(計)は「テレビ」～「行政機関の広報誌」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

※令和6年調査は「自分または配偶者/パートナーの親や親戚」は「自分の親や親戚」という選択肢

【子供の幸福度】

「子育てに関する情報をどこから得ていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「どこからも情報は得ていない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 55.1%である。「子育てに関する情報を得ている(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 65.3%である。

図表 2-120 子供の幸福度(「子育てに関する情報をどこから得ていますか」の回答別)



【自由記述】

その他（子育てに関する情報をどこから得ているか）
言語聴覚士（病児療育訪問看護支援）（保護者・3歳）
かかりつけの小児科の先生（保護者・3歳）
支援センターやNPO法人の子育て施設の職員さん（保護者・3歳）
子育てひろばの職員やママさん達（保護者・3歳）
ヘルパー（保護者・3歳）
市の訪問職員、発達支援施設の職員（保護者・3歳）
自治体の育児相談（保護者・3歳）
自身の通うサロン等で（保護者・3歳）
放課後等デイサービスの先生（保護者・小3）
ラジオ（保護者・小3）
論文、療育スタッフ（保護者・小3）
オルタナの先生（保護者・小3）
児童精神科医師（保護者・小3）
掲示板（保護者・小3）
学会誌、学術論文（保護者・小5）
起業家育成スクール（保護者・小5）
専門家、医者やST、OT等（保護者・小5）
発達障害に関するセミナー（保護者・小5）
療育（保護者・小5）
小児科の先生（保護者・小5）
往診の主治医、訪問看護師（保護者・小5）
保育園の先生、公共の相談施設の相談員（保護者・小5）
子育てメンター（保護者・小5）
社協（保護者・中2）
ラジオ（保護者・中2）
所属する子育て勉強会（保護者・中2）
仕事を通じて（保護者・中2）
不登校の子のフリースペースで（保護者・中2）
自身の仕事の勉強、ブログ等（保護者・中2）
病院（保護者・17 歳）
自己哲発の勉強会（保護者・17 歳）
娘(保育士）教会（保護者・17 歳）
療育センター医師（保護者・17 歳）
海外文献、友人等の自学自習（保護者・17 歳）
カウンセラー（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 29. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は誰ですか。（いくつでも）

【全体】

「地域の友人・知人」が 51.1％で最も高く、次いで「親戚」が 49.0％、「地域以外の友人（学生時代の友人など）」が 35.8％と続く。

【学年別】

3歳では、「親戚」が 55.6％で最も高く、次いで「学校の先生／職員（※）」が 51.1％である。小3、小5、中2、17 歳では、「地域の友人・知人」が最も高い。

（※）3歳児保護者調査票では、「幼稚園・こども園・保育園の先生／職員」

【区市町村別】

市町村部で「職場関係の人」が 30.5％で、区部に比べて 5.5 ポイント高い。

図表 2-121 困ったときに家族以外で頼れる相談相手 ＜複数回答＞

(%)

			n	親戚	地域の友人・知人	地域以外の友人（学生時代の友人など）	学校の先生・職員、幼稚園・こども園・保育園の先生・職員	塾や習い事の先生	職場関係の人	行政の相談機関
全体		令和7年	4,450	49.0	51.1	35.8	30.9	12.8	26.9	7.4
		令和6年	4,490	49.1	51.8	34.4	30.8	13.1	26.4	6.7
学年	3歳	令和7年	810	55.6	38.0	42.3	51.1	5.7	24.0	9.1
		令和6年	839	55.3	39.1	40.4	48.7	7.0	24.3	7.3
	小3	令和7年	948	53.9	55.8	37.9	28.8	14.3	27.4	7.6
		令和6年	976	48.9	59.9	35.8	27.5	14.2	25.3	6.5
	小5	令和7年	902	48.7	55.4	32.7	27.2	14.9	27.7	7.1
		令和6年	891	48.8	54.0	35.0	26.9	17.6	25.9	6.7
	中2	令和7年	845	44.6	52.9	34.7	26.6	15.9	25.8	7.5
		令和6年	839	45.6	57.0	31.1	26.2	15.1	29.6	6.0
	17歳	令和7年	945	42.9	51.7	32.0	23.0	12.6	29.1	6.1
		令和6年	945	47.3	48.3	30.1	26.2	11.2	27.0	7.1
区市町村	区部		2,926	49.1	50.8	36.5	30.8	13.5	25.0	7.2
	市町村部		1,524	48.8	51.6	34.4	31.1	11.4	30.5	7.8

			子供関係のNPO法人・公益法人・ボランティア	インターネットやSNS上の相談サービス・知人	その他	頼れる相談相手はいない	無回答/不明	頼れる相談相手がいる（計）
全体		令和7年	1.8	3.8	1.9	8.8	0.5	90.6
		令和6年	2.0	3.5	1.6	8.5	0.5	91.0
学年	3歳	令和7年	2.0	5.6	2.2	6.3	0.5	93.2
		令和6年	1.2	3.9	1.2	7.5	0.8	91.7
	小3	令和7年	2.2	3.9	2.0	8.0	0.6	91.4
		令和6年	1.7	2.6	1.7	8.2	0.3	91.5
	小5	令和7年	2.0	3.2	2.1	8.6	0.6	90.8
		令和6年	2.0	3.4	1.6	7.9	0.2	91.9
	中2	令和7年	1.8	3.4	1.3	11.1	0.4	88.5
		令和6年	2.1	4.1	1.4	8.5	0.6	90.9
	17歳	令和7年	1.3	3.1	1.8	9.9	0.6	89.4
		令和6年	2.8	3.7	1.9	10.3	0.6	89.1
区市町村	区部		2.0	3.9	2.0	9.4	0.5	90.1
	市町村部		1.5	3.7	1.7	7.7	0.5	91.7

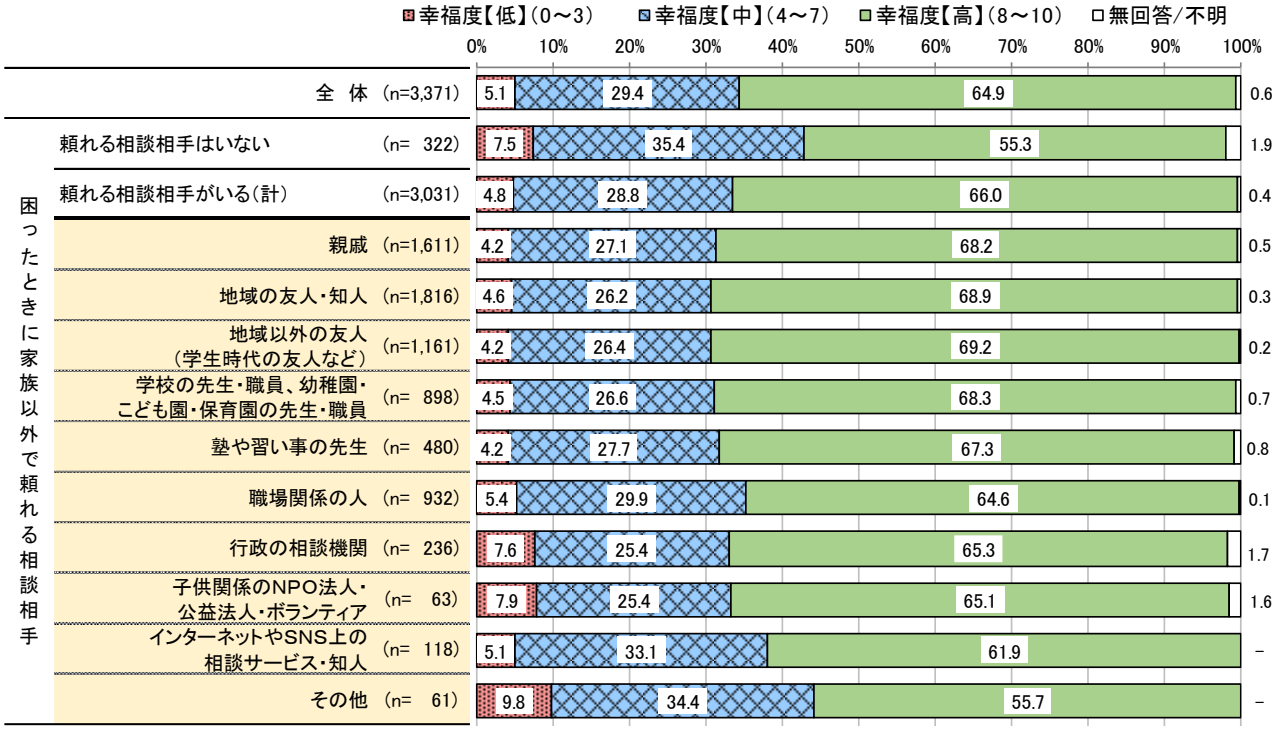
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※頼れる相談相手がいる（計）は、「親戚」～「インターネットやSNS上の相談サービス・知人」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「困ったときに家族以外で頼れる相談相手」の回答別に子供の幸福度をみると、「頼れる相談相手はいない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 55.3%で、幸福度【低】(0～3)が 7.5%である。「頼れる相談相手がいる(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 66.0%である。

図表 2-122 子供の幸福度(「困ったときに家族以外で頼れる相談相手」の回答別)



【自由記述】

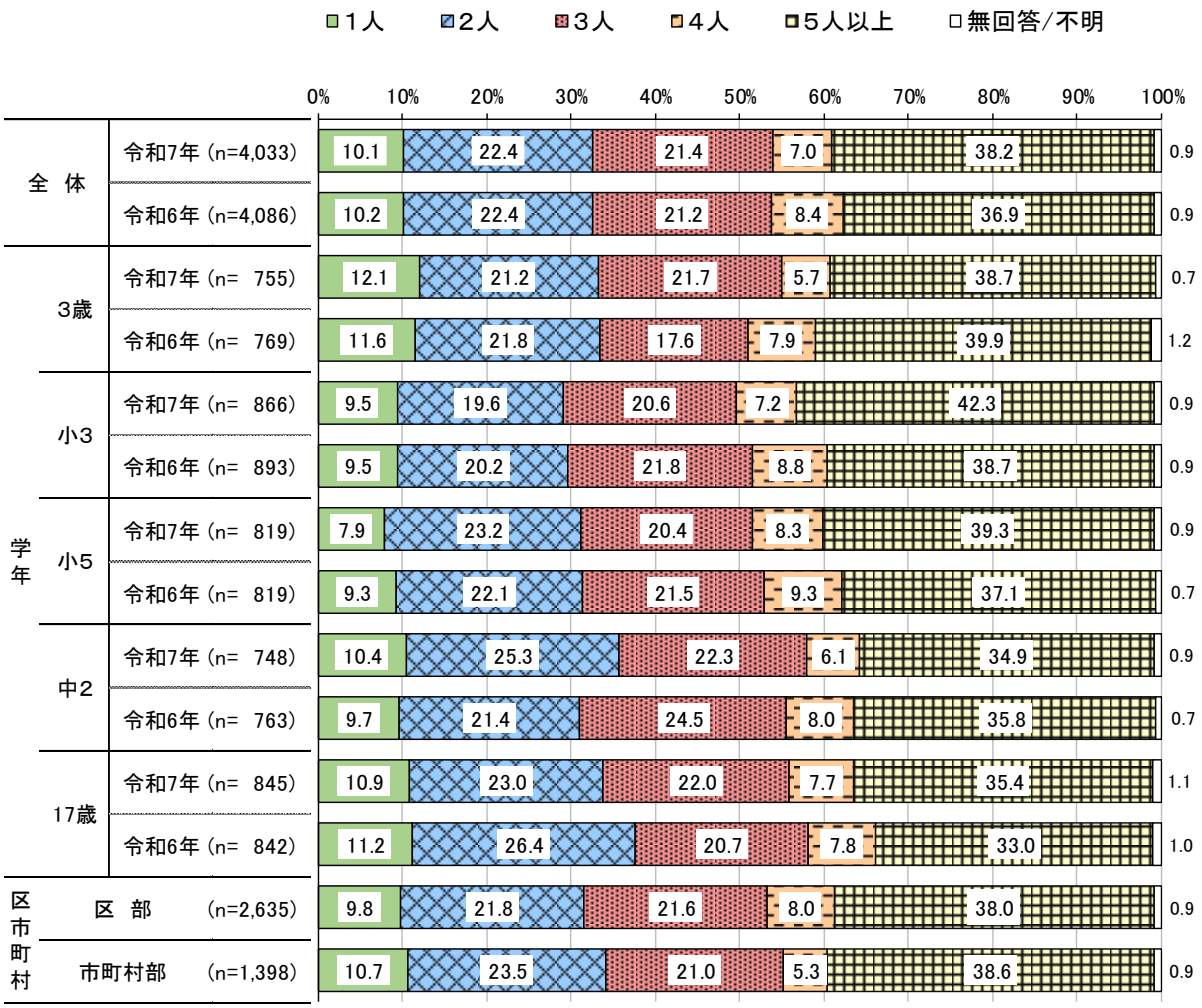
その他（相談相手）
かかりつけ医（小児科）（保護者・3歳）
区議会議員さん（保護者・3歳）
信頼できる子どもの整体師さん、歯医者さん←子どもの発達に詳しい（保護者・3歳）
児童館の職員さん（保護者・3歳）
療育の担当療法士（保護者・3歳）
母乳外来の助産師さん（保護者・3歳）
託児所（保護者・3歳）
ベビーシッター（保護者・3歳）
保育園時の園長や担任の先生方（保護者・小3）
小児科の先生、看護士、学童の先生（保護者・小3）
元夫（保護者・小3）
放課後等デイサービスの先生（保護者・小3）
学童（民間）（保護者・小3）
趣味の習い事の仲間（保護者・小3）
児童精神科の医師（保護者・小3）
シルバー人材センター（保護者・小3）
民間のカウンセラー（臨床心理士）（保護者・小5）
ママ友（保護者・小5）
放課後デイサービス・スクールカウンセリング（保護者・小5）
往診主治医、訪問看護師（保護者・小5）
療育の先生（保護者・小5）
スクールカウンセラー（保護者・小5）
通っていた保育園の先生（保護者・小5）
相談支援事業所の方、放課後等デイサービスの先生（保護者・小5）
子育てメンター（保護者・小5）
ママ友（保護者・中2）
スクールソーシャルワーカー（保護者・中2）
病院の先生（保護者・中2）
精神科医（保護者・中2）
地域の大学のカウンセリングサービス（保護者・中2）
キャリアアップの講師・仲間（保護者・17 歳）
ママ友（保護者・17 歳）
弁護士（保護者・17 歳）
医療機関（保護者・17 歳）
信仰団体（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 30.【問 29 で「親戚」～「インターネットやSNS上の相談サービス・知人」「その他」と回答された方にお聞きします。】
あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は何人いますか。（1つだけ）

【全体】
「5人以上」が 38.2%、次いで「2人」が 22.4%、「3人」が 21.4%と続く。

【学年別】
いずれの学年でも「5人以上」が 34.9%以上で最も高い。

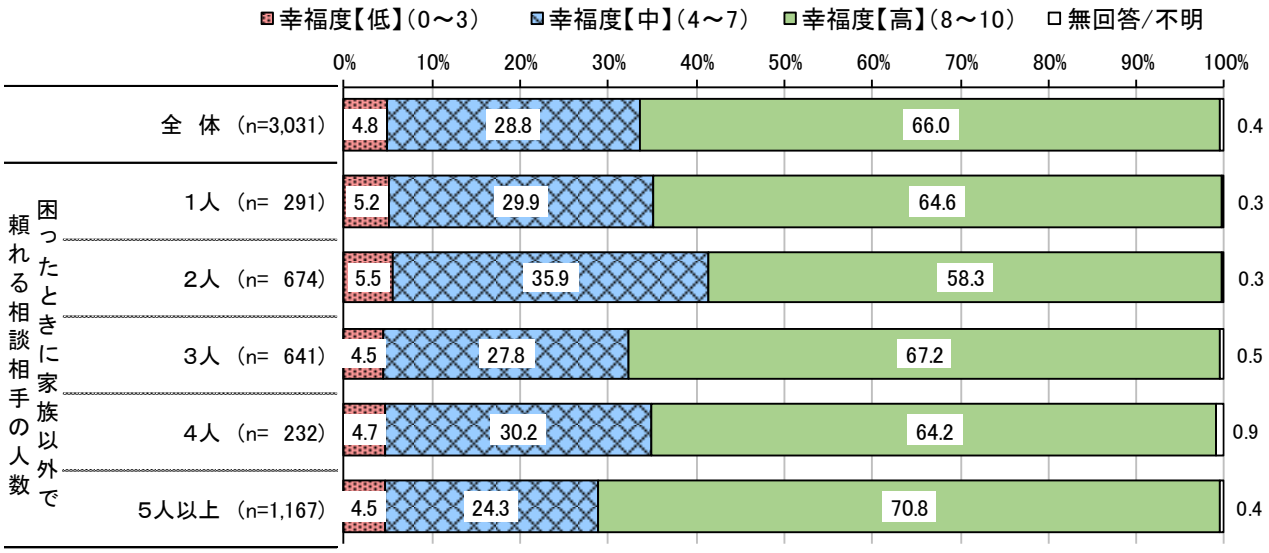
図表 2-123 困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数」の回答別に子供の幸福度をみると、相談できる人が「5人以上」いる保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.8%である。相談できる人が「2人」の保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.3%である。

図表 2-124 子供の幸福度(「困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数」の回答別)



（保護者：共通）問 31. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思いましたか。（1つだけ）

【全体】

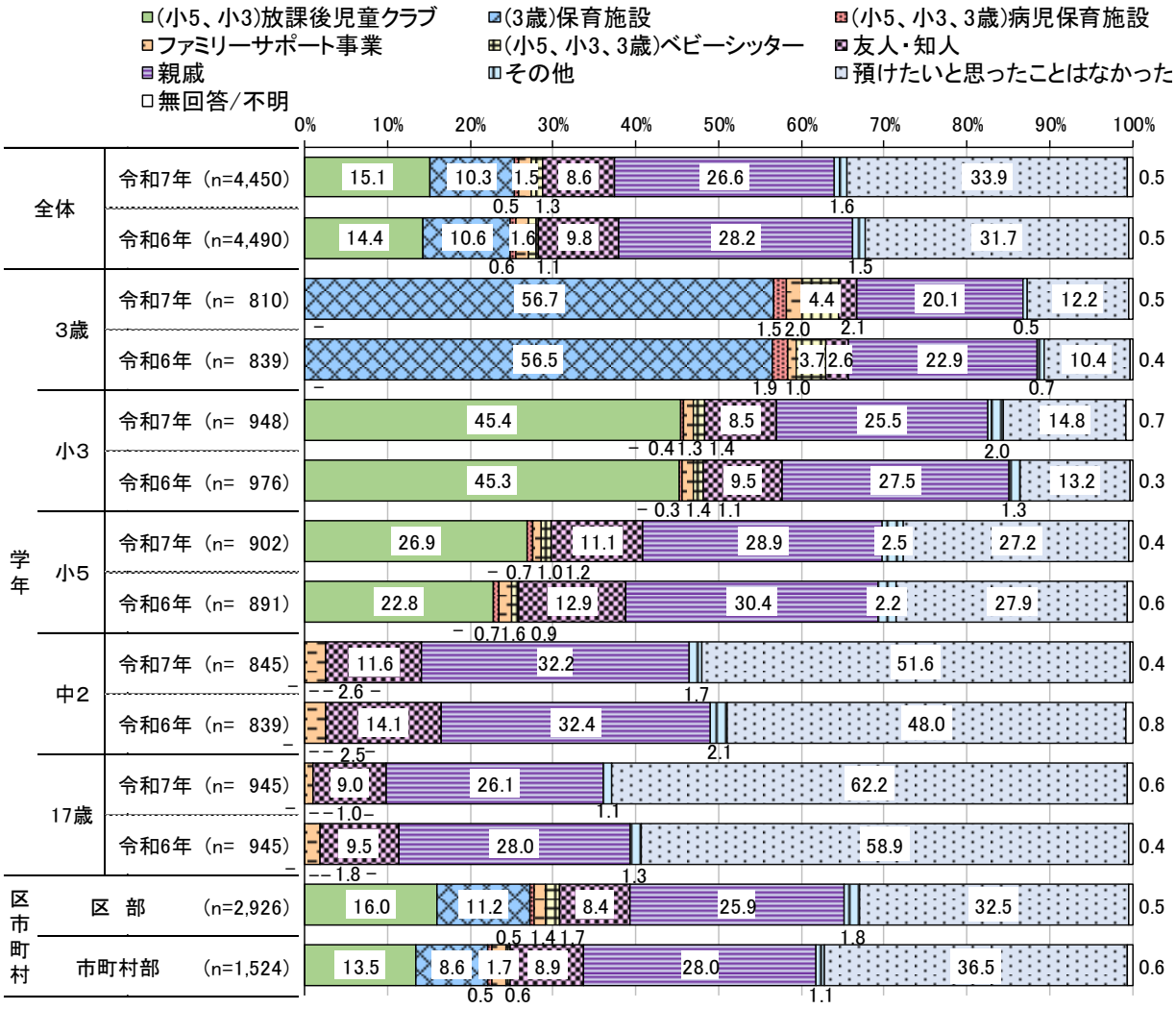
全体では「預けたいと思ったことはなかった」が 33.9％で、最も高い。

【学年別】

3歳では、「保育施設」が 56.7％で最も高く、次いで「親戚」が 20.1％である。小3では、「放課後児童クラブ」が 45.4％で最も高く、次いで「親戚」が 25.5％であるが、小5では「親戚」が 28.9％、「放課後児童クラブ」が 26.9％の順である。中2と 17 歳では、「預けたいと思ったことはなかった」が最も高く、中2では 51.6％、17 歳では 62.2％である。

図表 2-125 お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思ったか

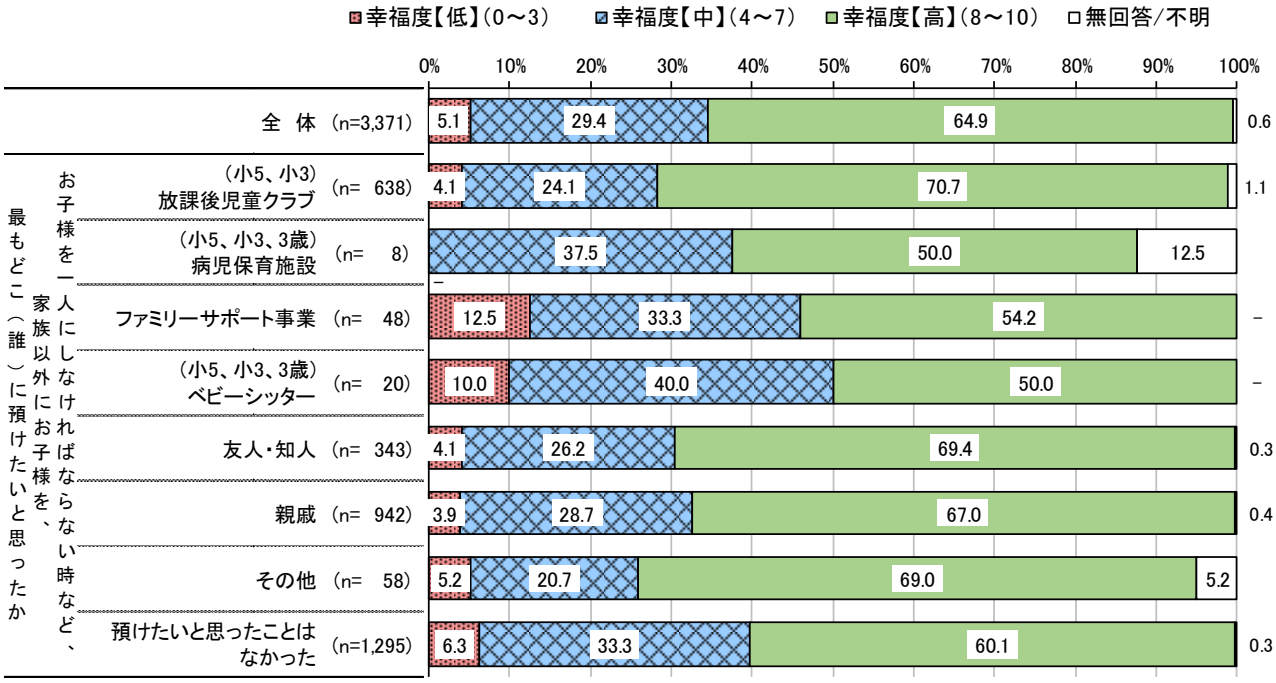
＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ(誰)に預けたいと思ったか」の回答別に子供の幸福度をみると、小3と小5で「放課後児童クラブ」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が70.7%である。

図表 2-126 子供の幸福度(「お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ(誰)に預けたいと思ったか」の回答別)



【自由記述】

その他 （お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思ったか）
託児施設（保護者・3歳）
民間一時預かり所（保護者・3歳）
預けたいが気兼ねなく安心して預けられるところが近くにない。（保護者・3歳）
小学校内で放課後あずかってもらえる場所（保護者・小3）
放課後等デイサービス（保護者・小3）
学童保育（保護者・小3）
児童館（保護者・小3）
一時保育専用託児所（保護者・小3）
放課後等デイサービス（保護者・小5）
あそビバ（保護者・小5）
学童（保護者・小5）
子供を見て欲しいことはあるが、該当先が見つからない（保護者・小5）
児童館（足立区のランドセルで児童館に登録）（保護者・小5）
卒園した幼稚園（保護者・小5）
習い事の教室（保護者・小5）
塾（保護者・小5）
児童館や図書館に行かせる（保護者・小5）
民間の預かり事業者（保護者・小5）
放課後等デイサービス、短期入所施設（保護者・小5）
レスパイト（保護者・中2）
インフルの看護ができるところ（保護者・中2）
ヘルパーさん（保護者・17 歳）
医療機関のショートステイ（保護者・17 歳）
ディサービス（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 32.【問 31 で「ファミリーサポート事業」～「親戚」「その他」と回答された方にお聞きします。】
あなたは、直近１年間の普段の生活で、お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことはありましたか。（１つだけ）

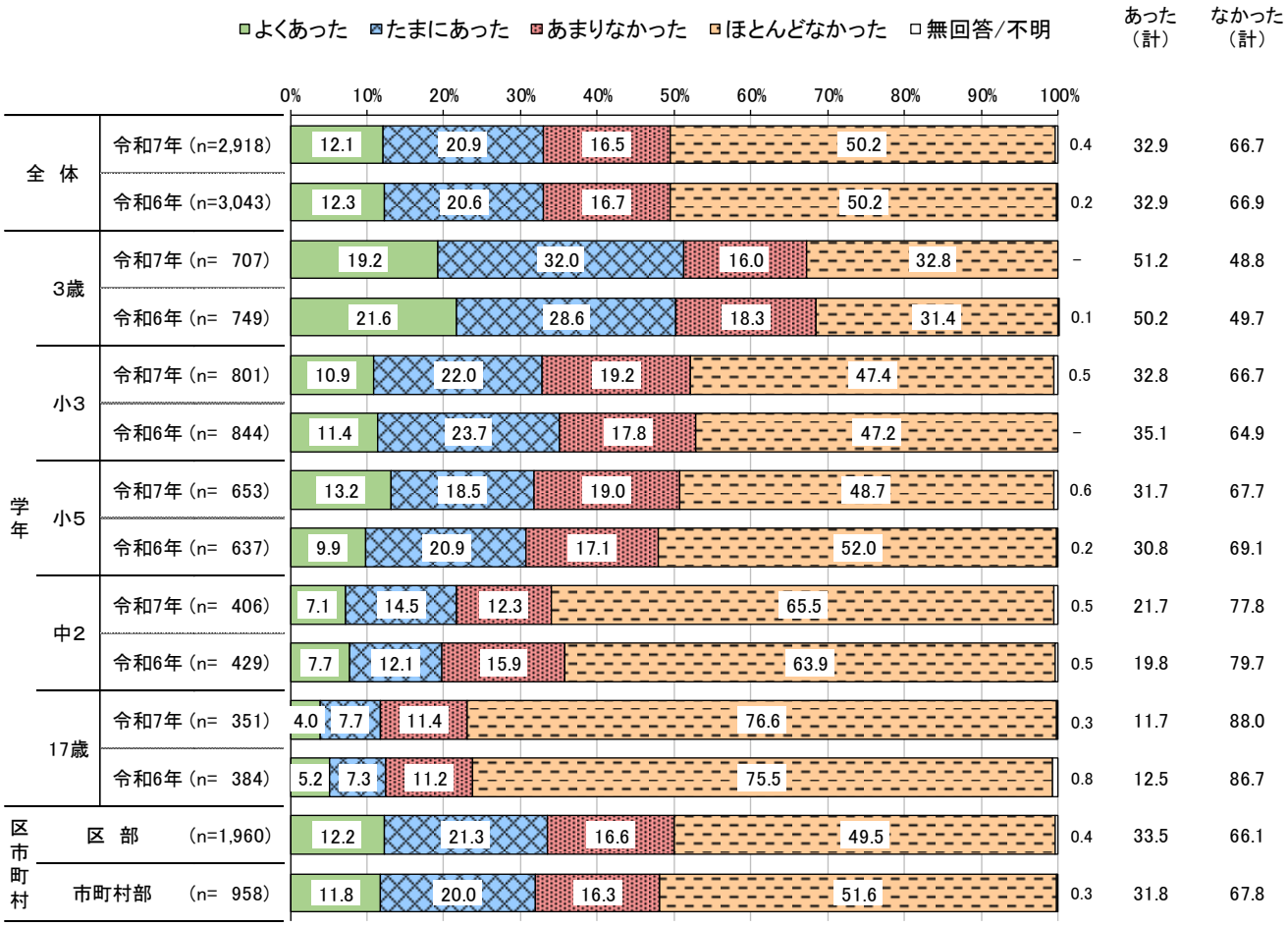
【全体】

「ほとんどなかった」が 50.2％で最も高い。次いで「たまにあった」が 20.9％、「あまりなかった」が 16.5％、である。

【学年別】

3歳では、「よくあった」が 19.2％で、「たまにあった」は 32.0％となっており、子供を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことがあった（「よくあった」と「たまにあった」の割合）と回答している保護者は 51.2％である。預けられなかったことがあった（「よくあった」と「たまにあった」の割合）保護者は、学年が上がるにつれて減少傾向にある。

図表 2-127 お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと ＜単一回答＞

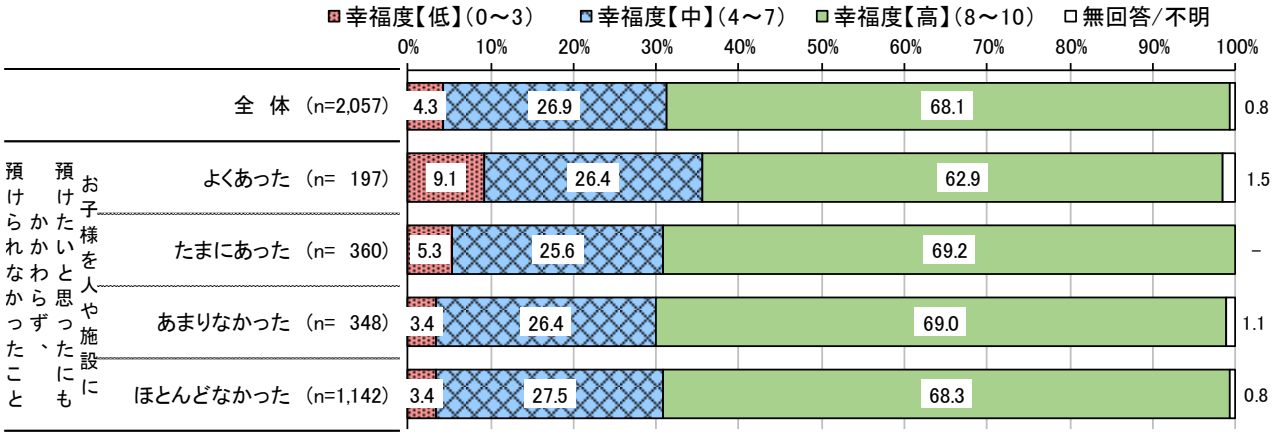


※あった（計）は、「よくあった」及び「たまにあった」の割合。
なかった（計）は「ほとんどなかった」及び「あまりなかった」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「よくあった」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 62.9%である。「ほとんどなかった」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 68.3%である。

図表 2-128 子供の幸福度(「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと」の回答別)



（保護者：共通）問 33. この中から、お子様についてあてはまるものをお選びください。（いくつでも）

【全体】

あてはまるものとしては、「最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている」が14.7％で最も高く、次いで「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他の子供より多く必要としたり利用している」が 11.9％、「同年齢のほとんどの子供ができることができない、あるいは部分的にしかできないことがある」が9.6％である。「この中にあてはまるものはない」が 71.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「この中にあてはまるものはない」が、最も高い。あてはまるものとしては、「最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている」が最も高い。これに次ぐのは、3歳では「同年齢のほとんどの子供ができることができない、あるいは部分的にしかできないことがある」で、他の学年では「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他の子供より多く必要としたり利用している」である。

図表 2-129 お子様についてあてはまる症状・状況 ＜複数回答＞

(%)

			n	医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他の子供より多く必要としたり利用している	最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている	同年齢のほとんどの子供ができることができない、あるいは部分的にしかできないことがある	理学療法、作業療法、言語療法などの特別な治療を必要としている	感情、発達、行動の問題のためにカウンセリングを必要としている	この中にあてはまるものはない	無回答/不明	あてはまるものがある（計）
全体		令和7年	4,450	11.9	14.7	9.6	2.7	7.8	71.2	1.8	27.0
		令和6年	4,490	11.6	14.4	9.7	2.4	7.9	71.0	1.7	27.3
学年	3歳	令和7年	810	5.9	15.8	9.4	3.3	4.1	72.6	1.5	25.9
		令和6年	839	4.4	13.3	8.3	1.9	3.1	75.7	1.1	23.2
	小3	令和7年	948	13.8	14.1	11.1	3.2	9.6	69.8	1.6	28.6
		令和6年	976	12.3	15.2	11.2	2.9	9.5	68.0	2.3	29.7
	小5	令和7年	902	13.5	13.7	9.4	2.1	10.8	71.1	1.9	27.1
		令和6年	891	11.3	13.0	10.2	2.9	8.8	71.0	1.6	27.4
	中2	令和7年	845	13.7	15.4	10.1	3.0	7.7	69.7	1.7	28.6
		令和6年	839	16.3	13.3	11.8	2.5	11.8	68.5	2.0	29.4
	17歳	令和7年	945	11.7	14.8	8.0	1.9	6.7	72.8	2.5	24.7
		令和6年	945	13.1	16.7	7.0	2.0	6.1	72.2	1.5	26.3
区市町村	区部		2,926	11.4	14.9	9.4	2.8	7.5	71.4	1.8	26.8
	市町村部		1,524	12.7	14.4	10.0	2.4	8.5	70.7	2.0	27.3

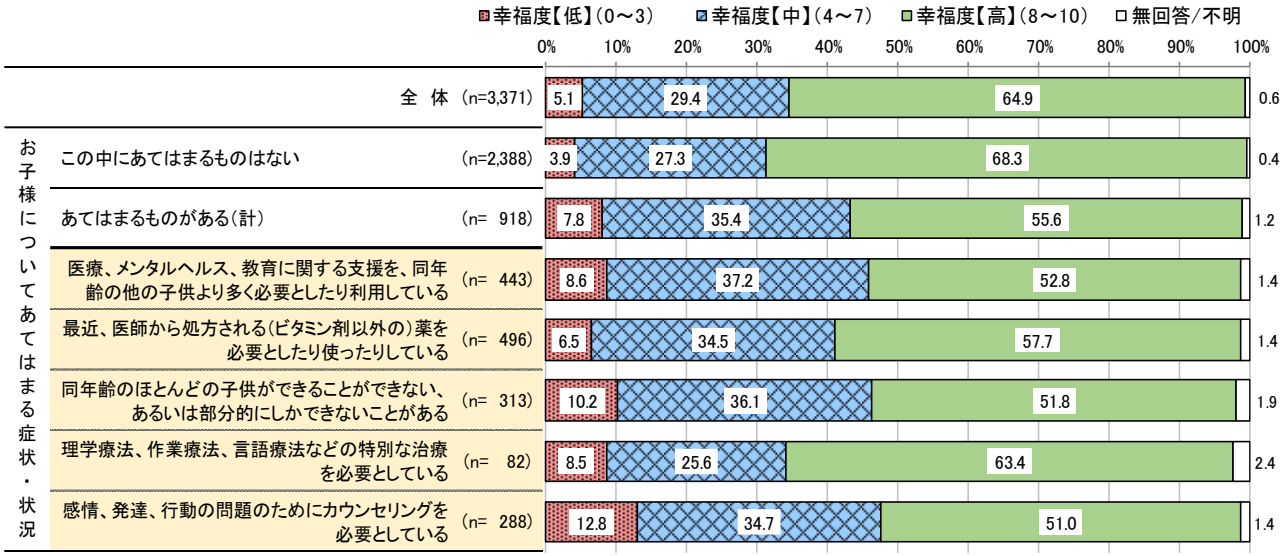
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※あてはまるものがある（計）は、「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他の子供より多く必要としたり利用している」～「感情、発達、行動の問題のためにカウンセリングを必要としている」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「お子様についてあてはまる症状・状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「この中にあてはまるものはない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 68.3%である。「あてはまるものがある(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 55.6%で、幸福度【低】(0～3)が 7.8%である。

図表 2-130 子供の幸福度(「お子様についてあてはまる症状・状況」の回答別)



（保護者：共通）問 34. お子様は過去1年以内に次のような経験をしたことがありますか。（いくつでも）

【全体】

「特に嫌な経験はしていない」が 68.5％で最も高い。嫌な経験をしたことがある中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 21.4％で最も高く、「無視をされた、仲間外れにされた」が 7.7％、「その他の嫌な経験」が 5.1％で続く。

【学年別】

「暴言や傷つくことを言われた」が小3で 34.8％、小5で 30.2％と高く、お子様が嫌な経験をしたことがある（計）保護者が小3で 42.2％、小5で 40.5％と、他の学年より 9 ポイント以上高い。

図表 2-131 過去 1 年以内のお子様の嫌な経験 ＜複数回答＞

(%)

		n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない	無回答/不明	お子様が嫌な経験をしたことがある（計）
全体		4,450	21.4	7.7	2.5	0.2	0.2	3.3	5.1	68.5	2.3	29.1
学年	3歳	810	5.3	1.7	0.4	－	－	2.1	2.1	88.3	2.5	9.3
	小3	948	34.8	10.5	3.1	0.3	0.3	7.2	4.6	56.0	1.8	42.2
	小5	902	30.2	11.5	3.5	0.3	0.4	4.0	6.3	57.4	2.1	40.5
	中2	845	22.7	8.9	3.9	0.1	－	2.4	6.9	67.0	2.1	30.9
	17歳	945	12.4	5.2	1.6	0.4	0.3	0.7	5.6	76.2	3.2	20.6
区市町村	区部	2,926	21.1	7.5	2.3	0.3	0.2	3.3	4.8	69.4	2.4	28.2
	市町村部	1,524	22.2	8.1	2.9	0.2	0.3	3.3	5.8	66.9	2.2	30.9

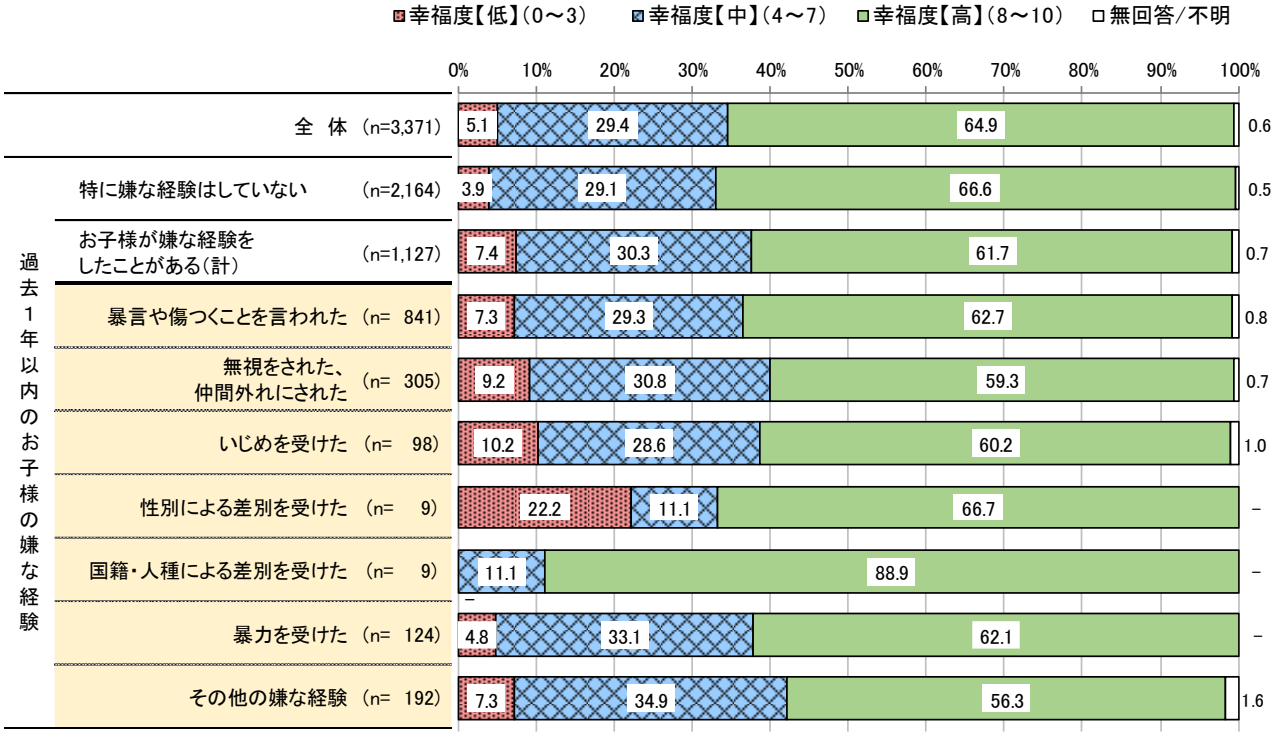
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※お子様が嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「暴力を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「過去1年以内のお子様の嫌な経験」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に嫌な経験はしていない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 66.6%である。「お子様が嫌な経験をしたことがある(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 61.7%で、幸福度【低】(0～3)が 7.4%である。

図表 2-132 子供の幸福度(「過去 1 年以内のお子様の嫌な経験」の回答別)



【自由記述】

その他（過去１年以内のお子様の嫌な経験）
親の離婚、育児放棄による祖父母との養子縁組（保護者・3歳）
入院、手術（保護者・3歳）
遊んでいるように見えて、実は分からないと思っていじめ半分で遊ばれてた（保護者・3歳）
偏食が多く、給食をほとんど食べられないことを指摘され、学校に行きたくなくなってしまった。（保護者・小3）
ひとり親であることを、学校内の他の保護者の方から大声で叫ばれて誹謗中傷を受けました。（保護者・小3）
名前を変にかえてしつこく呼ばれる（保護者・小3）
本人は言葉にできないが地域特有の仲間意識が強すぎ　親も地域貢献しないと入れない（保護者・小3）
知らない人からスマホで撮影された、暴言ではないが、冷やかされるような声がけをされた（保護者・小3）
クラスの友達に嫌なことをされた（保護者・小3）
学校に行きたくない時に先生に無理やり連れていかれた事（保護者・小3）
係を話し合いせずにおしつけられた。（保護者・小5）
障害者への偏見をうけた（保護者・小5）
クラス内で他のお子さんが暴力をふるわれたのを見た（保護者・小5）
担任の先生から精神的に傷つけられ体調を崩してしまった。（保護者・小5）
友だちが他の友だちの悪口を言うのを一時期毎日のように聞かされる。（保護者・小5）
習い事での理不尽な経験（保護者・小5）
いじめの加害者といわれ一方的に責められた（保護者・小5）
大多数からのからかい（保護者・小5）
しつこく付き纏われた（保護者・小5）
1部の先生（学校）のパワハラ的言動でいつも嫌な思いをしている様子です（保護者・中2）
クラブチームでの負担の大きな筋トレ、練習、出席など（保護者・中2）
同じ班の人が牛乳パック洗いをやらず1人でやったと泣いていた（保護者・中2）
部活動の先生からきつい言葉を受けた。「おまえ」等（保護者・中2）
先パイとの人間関係のトラブルあり、部活休部している。（保護者・中2）
友達に貸したお金を返してもらえない（保護者・中2）
SNS 上のステメでの匂わせの誹謗中傷を受けた（保護者・中2）
オンライン英会話で性的被害（保護者・中2）
友人ができない（保護者・中2）
クラスが崩壊している。授業に集中出来ない。学校がきちんとやり取りしてくれない（保護者・17 歳）
兄と父の言葉、態度（保護者・17 歳）
お金を盗まれた（他にも数人が盗まれた）（保護者・17 歳）
部活動の指導、先輩との関係（保護者・17 歳）
理不尽な学校の対応（保護者・17 歳）
SNS での鍵付きメッセージ、執着（保護者・17 歳）
学校の友達との関係（保護者・17 歳）
経済的に余裕がなく学校費や病院に行けないなど肩身の狭い思いをしている（保護者・17 歳）
バイト先でのパワハラ（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 35. お子様が通う学校について、保護者であるあなたは満足していますか。
（1つだけ）

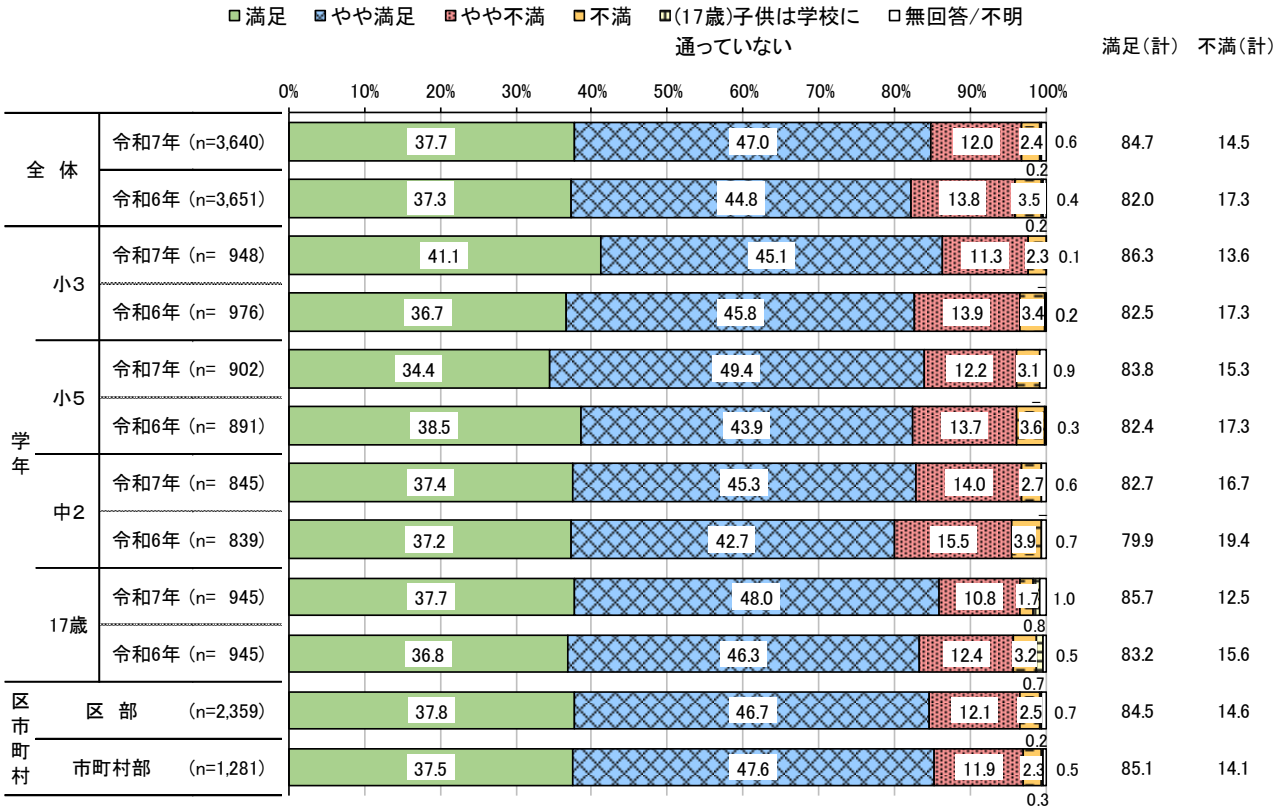
【全体】

「やや満足」が 47.0％で最も高く、次いで「満足」が 37.7％で、子供が通う学校について、満足している（「満足」と「やや満足」の割合）保護者は 84.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「やや満足」が最も高く、子供が通う学校について、満足している（「満足」と「やや満足」の割合）保護者は、82.7％以上である。

図表 2-133 お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度 ＜単一回答＞

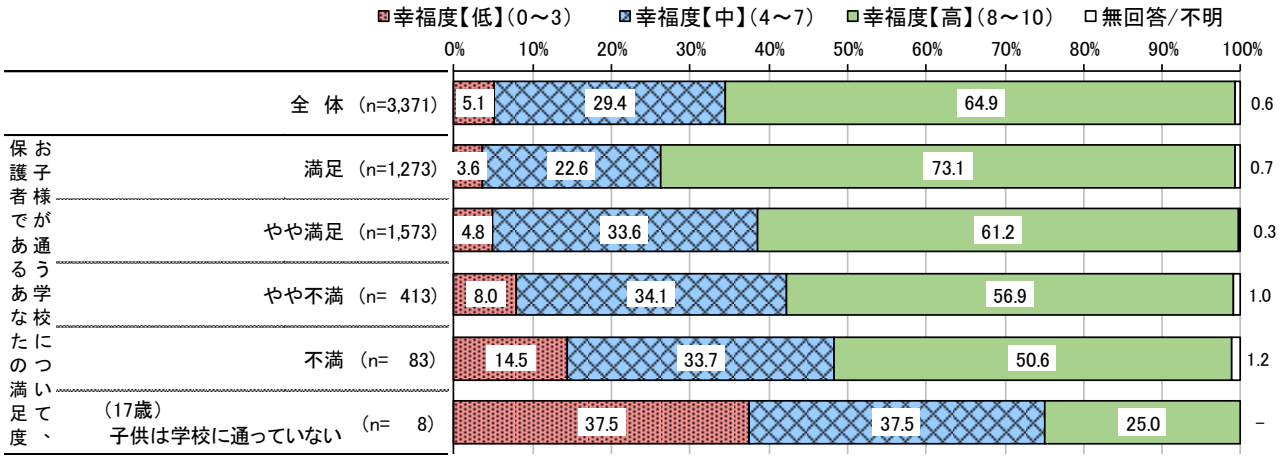


※満足（計）は「満足」及び「やや満足」の割合。
不満（計）は「不満」及び「やや不満」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の満足度が高いほど、子供の幸福度【高】(8～10)が高い傾向があり、「満足」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.1%である。

図表 2-134 子供の幸福度(「お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 36.【問 35 で「やや不満」「不満」と回答された方にお聞きします。】
お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由は何ですか。（いくつでも）

【全体】

「教師の指導力や対応・態度」が 55.9％で最も高く、次いで「カリキュラムや指導の内容が不足」が 27.9％、「PTA活動の負担」が 25.9％と続く。

【学年別】

いずれの学年でも「教師の指導力や対応・態度」が最も高い。次いで、小3と小5では「PTA活動の負担」が、それぞれ 36.4％、32.6％で、中2では「カリキュラムや指導の内容が不足」が 28.4％、17 歳では「学費（教材費などを除く）が高い」が 32.2％である。

図表 2-135 お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由 ＜複数回答＞

(%)

			n	カリキュラムや指導の内容が不足	カリキュラムや指導の内容が難しすぎる	教師の指導力や対応・態度	校則など学校での生活上のルールが厳しい、理不尽、柔軟性がない	施設（狭小、古い、落ち着ける場所が少ないなど）	学費（教材費などを除く）が高い	学費以外の費用（教材費・給食費・課外活動費など）が高い
全体		令和7年	526	27.9	5.3	55.9	20.7	22.2	11.2	11.2
		令和6年	633	28.4	4.6	58.6	23.9	22.6	12.5	11.7
学年	小3	令和7年	129	21.7	3.1	54.3	14.0	27.9	4.7	6.2
		令和6年	169	24.9	3.0	58.0	18.3	27.8	4.1	4.1
	小5	令和7年	138	30.4	3.6	62.3	14.5	21.0	3.6	5.8
		令和6年	154	26.6	1.9	55.2	22.7	21.4	2.6	7.1
	中2	令和7年	141	28.4	7.8	55.3	24.8	24.1	7.1	7.8
		令和6年	163	28.2	8.0	62.6	25.8	17.8	9.8	9.2
	17歳	令和7年	118	31.4	6.8	50.8	30.5	15.3	32.2	27.1
		令和6年	147	34.7	5.4	58.5	29.3	23.1	35.4	27.9
区市町村	区部		345	28.4	5.5	55.9	22.9	21.7	12.8	12.8
	市町村部		181	27.1	5.0	55.8	16.6	23.2	8.3	8.3

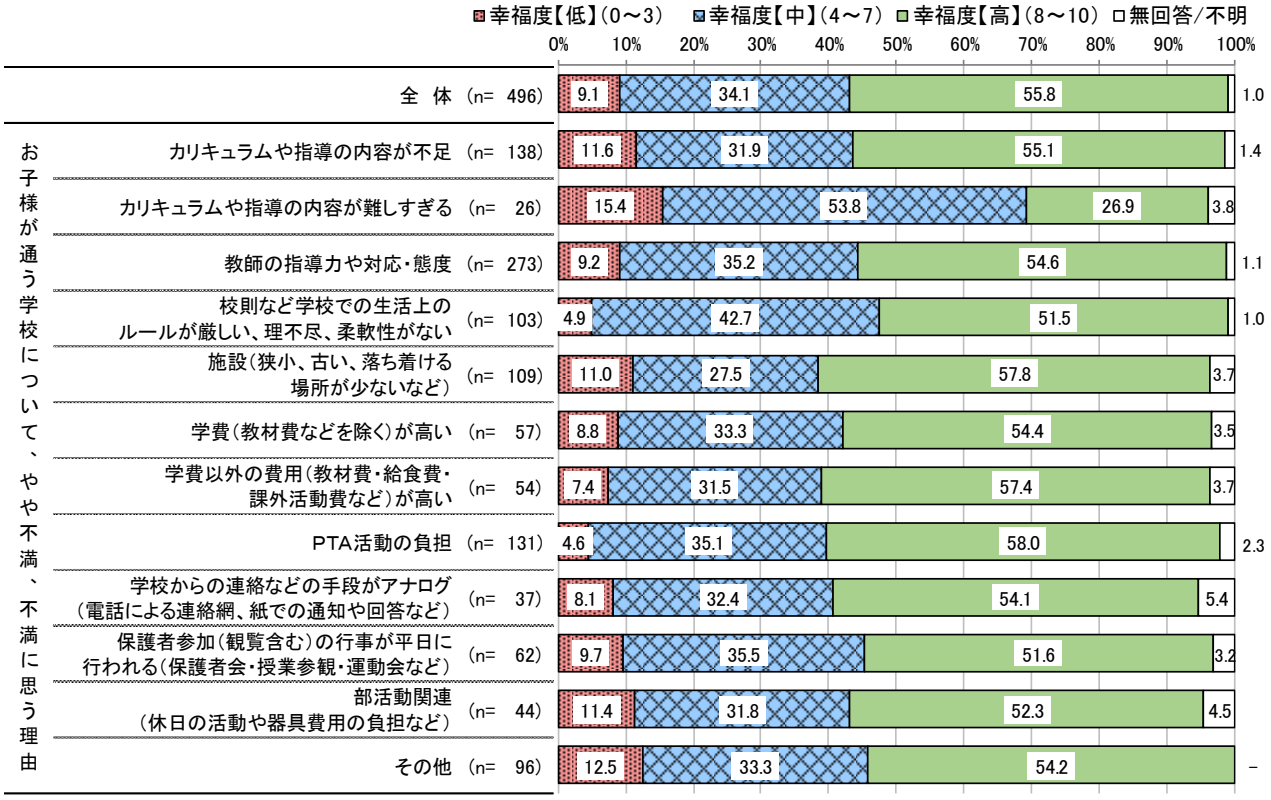
			PTA活動の負担	学校からの連絡などの手段がアナログ（電話による連絡網、紙での通知や回答など）	保護者参加（観覧含む）の行事が平日に行われる（保護者会・授業参観・運動会など）	部活動関連（休日の活動や器具費用の負担など）	その他	無回答/不明
全体		令和7年	25.9	7.4	12.9	8.6	19.0	1.3
		令和6年	29.4	11.4	13.4	8.5	16.4	1.6
学年	小3	令和7年	36.4	10.1	14.7	1.6	17.8	1.6
		令和6年	43.2	10.7	12.4	1.8	19.5	3.6
	小5	令和7年	32.6	8.7	13.8	1.4	26.1	2.2
		令和6年	42.9	15.6	18.2	2.6	18.8	0.6
	中2	令和7年	19.1	7.1	14.2	19.1	14.9	0.7
		令和6年	20.2	12.9	12.9	17.2	19.6	1.2
	17歳	令和7年	14.4	3.4	8.5	11.9	16.9	0.8
		令和6年	9.5	6.1	10.2	12.9	6.8	0.7
区市町村	区部		26.7	7.0	14.8	7.8	18.6	1.2
	市町村部		24.3	8.3	9.4	9.9	19.9	1.7

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由」の回答別に子供の幸福度をみると、「PTA活動の負担」と回答した保護者の子供では、子供の幸福度【高】(8～10)が 58.0%だった。

図表 2-136 子供の幸福度(「お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由」の回答別)



【自由記述】

その他（お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由）
遠足等の体験が少なすぎる。（保護者・小3）
同級生で荒れている子が多い、学校が遠い（保護者・小3）
タブレットが重い(持運びが困難に感じるなど)、仕様も古く不満（保護者・小3）
通っている学校に限らず公立の学校のカリキュラムは時代に合ってない。（保護者・小3）
情緒級クラスがなくて、転校せざるをえない状況にある。（保護者・小3）
情報発信がおそい（保護者・小3）
働く親に対する理解と対応が少ない（保護者・小3）
いじめ対応が良くない（保護者・小3）
暴力などへの対策が弱い（保護者・小3）
学校側や先生からの説明が少ない、不十分（保護者・小5）
タブレット教育は不要。もっと文字を書かせてほしい（保護者・小5）
通学路が危険。車、自転車の交通量が多いのに通学時間帯の規制が全くされない。(保護者・小5)
支援級に通っているが、発達障害に対する知識の足りない教員が多い（保護者・小5）
未だにコロナ時と変わらず、前を向いて無言で給食を食べさせている。(保護者・小5)
学級通信などがなく、学校での様子がわかりにくい（保護者・小5）
子どもの精神面を理解していない。学力や表面でしか判断していない。（保護者・小5）
教師が 4 人も同時に休職していた。忙しいから学校には電話するなと全体説明があった。学校公開が減ったり、卒業の行事が減ったりしても全く説明がない。（保護者・小5）
2クラスしかないので、人間関係のリセットがしにくい。（保護者・小5）
生徒が好き放題やりすぎて、学習環境に問題があるように感じられる。先生方が指導しようにも、制限があるため対応しきれないのではないかと心配している。（保護者・小5）
いじめの前段階や、いじめそのものについての生徒や大人でのディスカッションが増えて安心して通わせられたら…と思います。（保護者・中2）
公立中学校でスマホ持参OKであること（保護者・中2）
タブレット学習によって読解力や書く力が、恐ろしいほど低下している。北欧を参考にしてほしい。(保護者・中2)
学校からのお知らせが少ない。また、ギリギリで伝えられることが多い。（保護者・中2）
学校は、子供をみとめたり、ほめたりができない、しかるばかり。(保護者・中2)
子供が安心して登校できる環境づくり　登校できない場合のオンライン授業や学力的フォロー、精神面でのフォロー（保護者・中2）
生徒精神年齢の幼さなどで、学習の妨害や暴言が日常的に起こり、安心して集中できる環境が不足している（保護者・中2）
保護者が参加や見学できる事が少なく閉鎖的（保護者・中2）
いじめに対しての対応がよくない。（保護者・17 歳）
課題が多く部活動の両立ができなかった（保護者・17 歳）
校則やルールを守らない生徒に迷惑しているから。（保護者・17 歳）
都立高校ですが、担任の先生他ほとんどお話しする機会がありません。(保護者・17 歳)
教師の働き方改革を全面に出しすぎて子供主体の学校運営になっていない（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子育てに良い場所である）

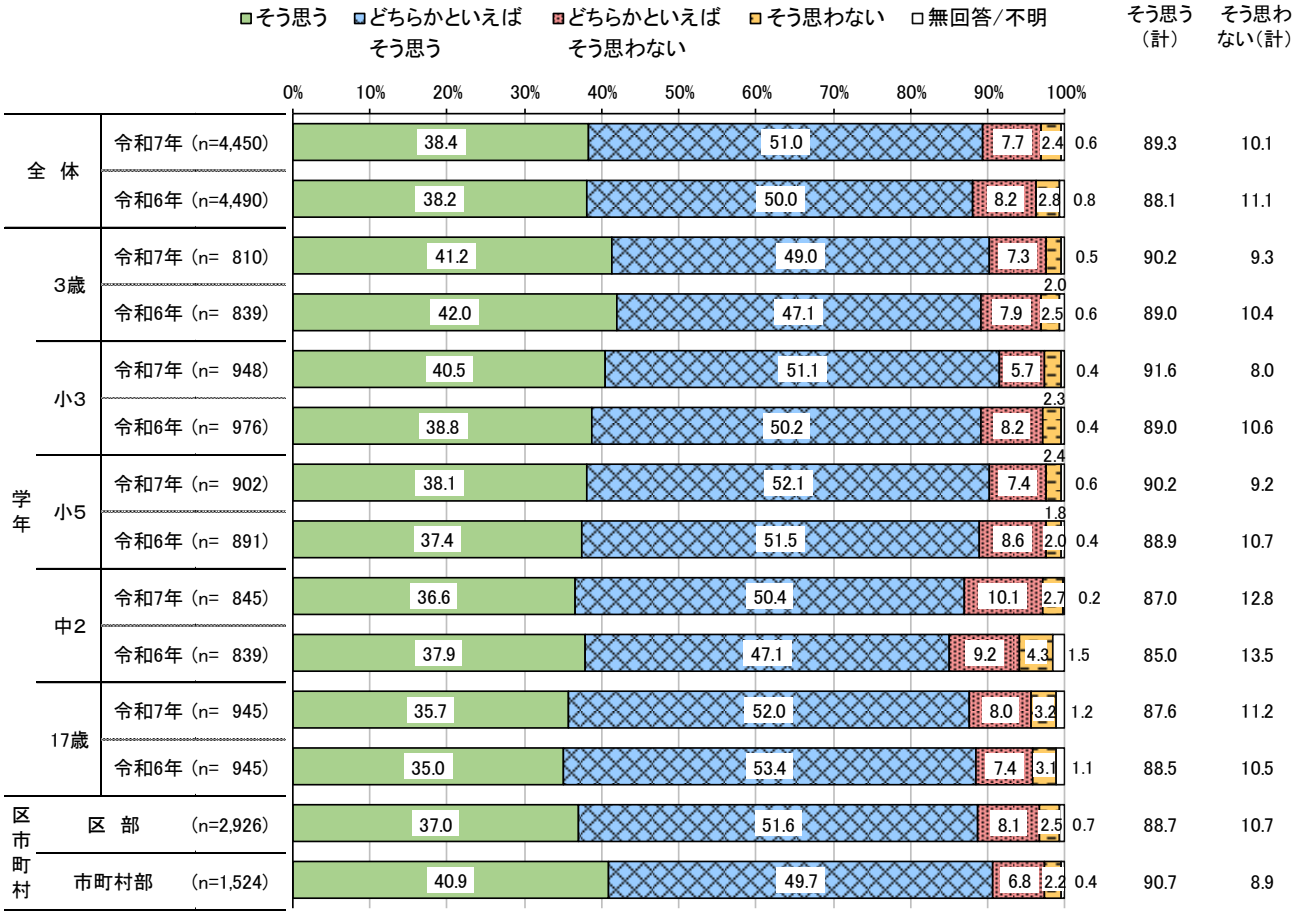
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 51.0％で最も高く、次いで「そう思う」が 38.4％であり、住む地域は子育てに良い場所であると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 89.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。住む地域は子育てに良い場所であると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 87.0％～91.6％である。

図表 2-137　A 子育てに良い場所である　＜単一回答＞

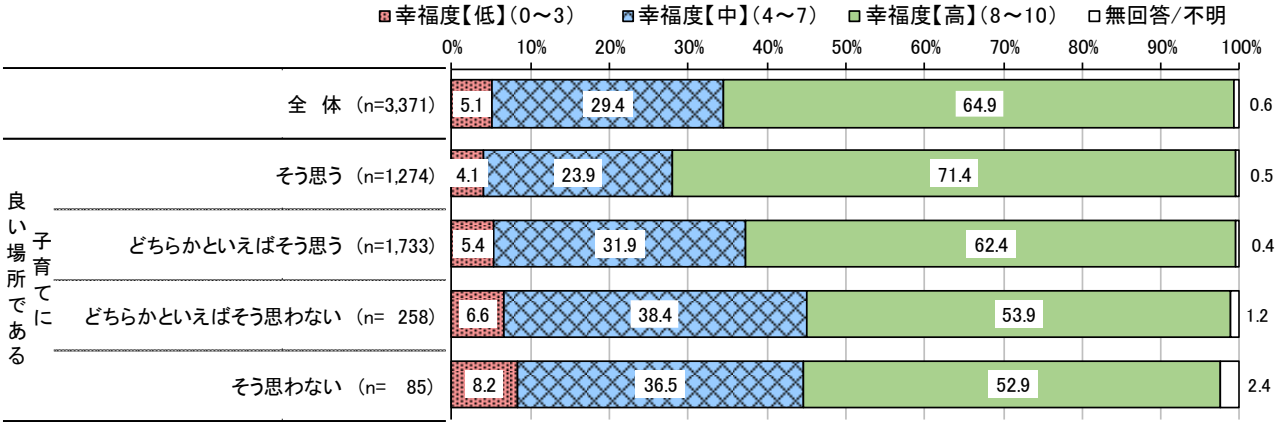


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「子育てに良い場所である」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 71.4%で、「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 52.9%、幸福度【低】(0～3)が 8.2%である。

図表 2-138 子供の幸福度(「子育てに良い場所である」の回答別)



（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　進んで周りの人達を助けようとする）

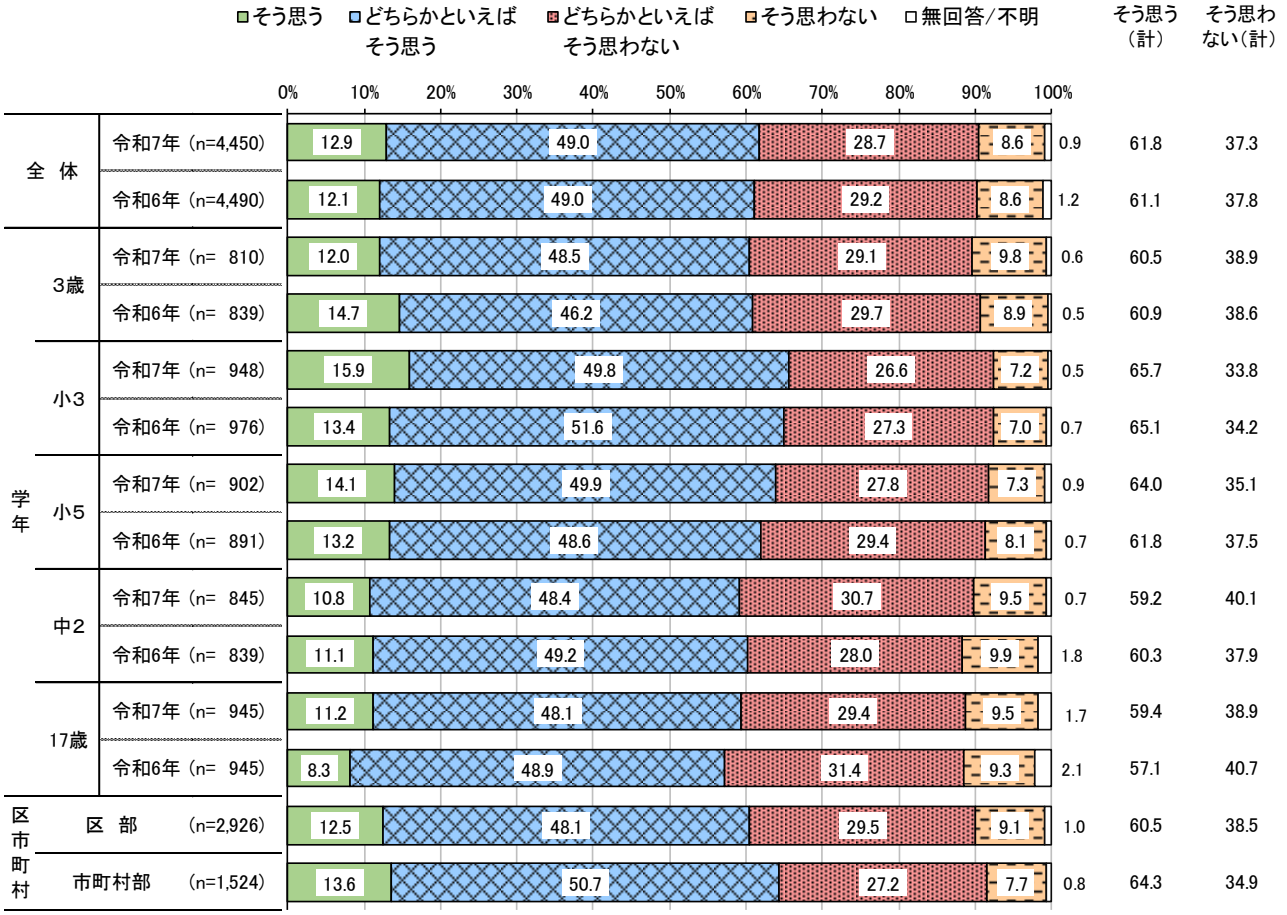
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 49.0％で最も高く、「そう思う」が 12.9％で、住む地域は進んで周りの人達を助けようとすると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 61.8％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。住む地域は進んで周りの人達を助けようとすると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は小3で 65.7％と、最も高い。

図表 2-139 B 進んで周りの人達を助けようとする ＜単一回答＞

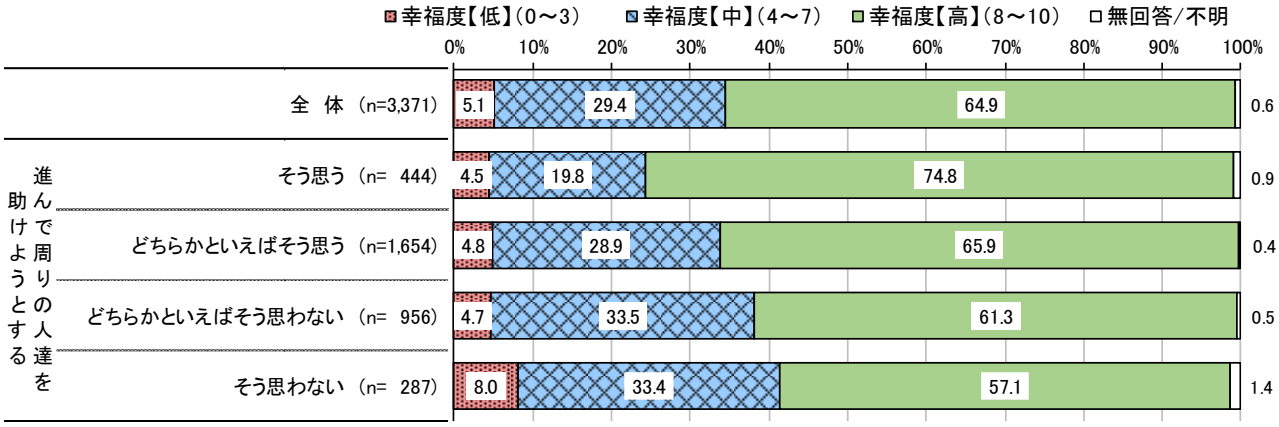


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「進んで周りの人達を助けようとする」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.8%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.1%である。

図表 2-140 子供の幸福度(「進んで周りの人達を助けようとする」の回答別)



保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い）

【全体】

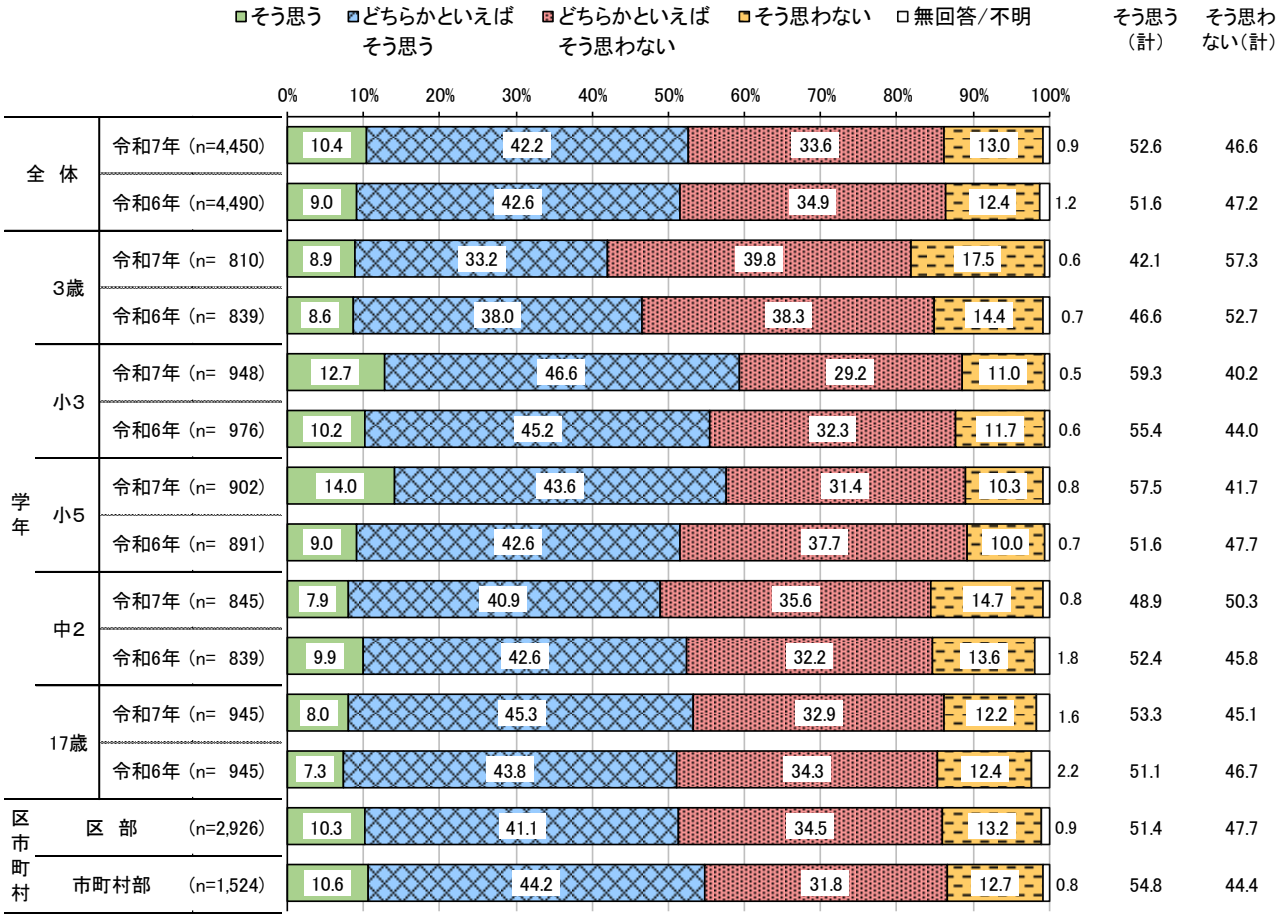
「どちらかといえばそう思う」が 42.2％で最も高く、地域の人たちは仲が良く、結びつきが強いと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 52.6％である。

【学年別】

地域の人たちは仲が良く、結びつきが強いと思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者は、3歳では 57.3％で、他の学年より 7 ポイント以上高い。

経年比較でみると、小5で、地域の人たちは仲が良く、結びつきが強いと思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者が 6.0 ポイント減少している。

図表 2-141　C 地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い　＜単一回答＞

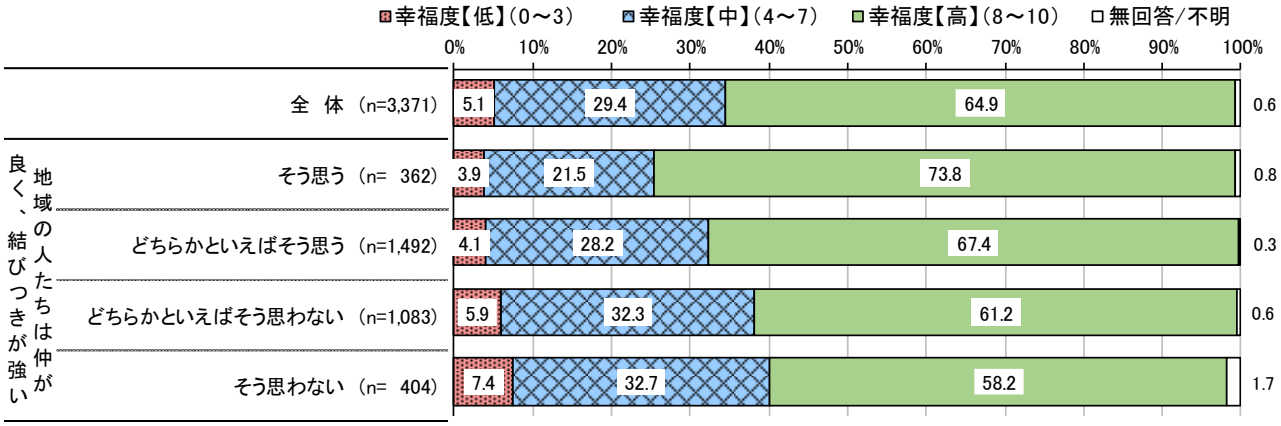


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が73.8%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が58.2%である。

図表 2-142 子供の幸福度(「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」の回答別)



（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　信用できる）

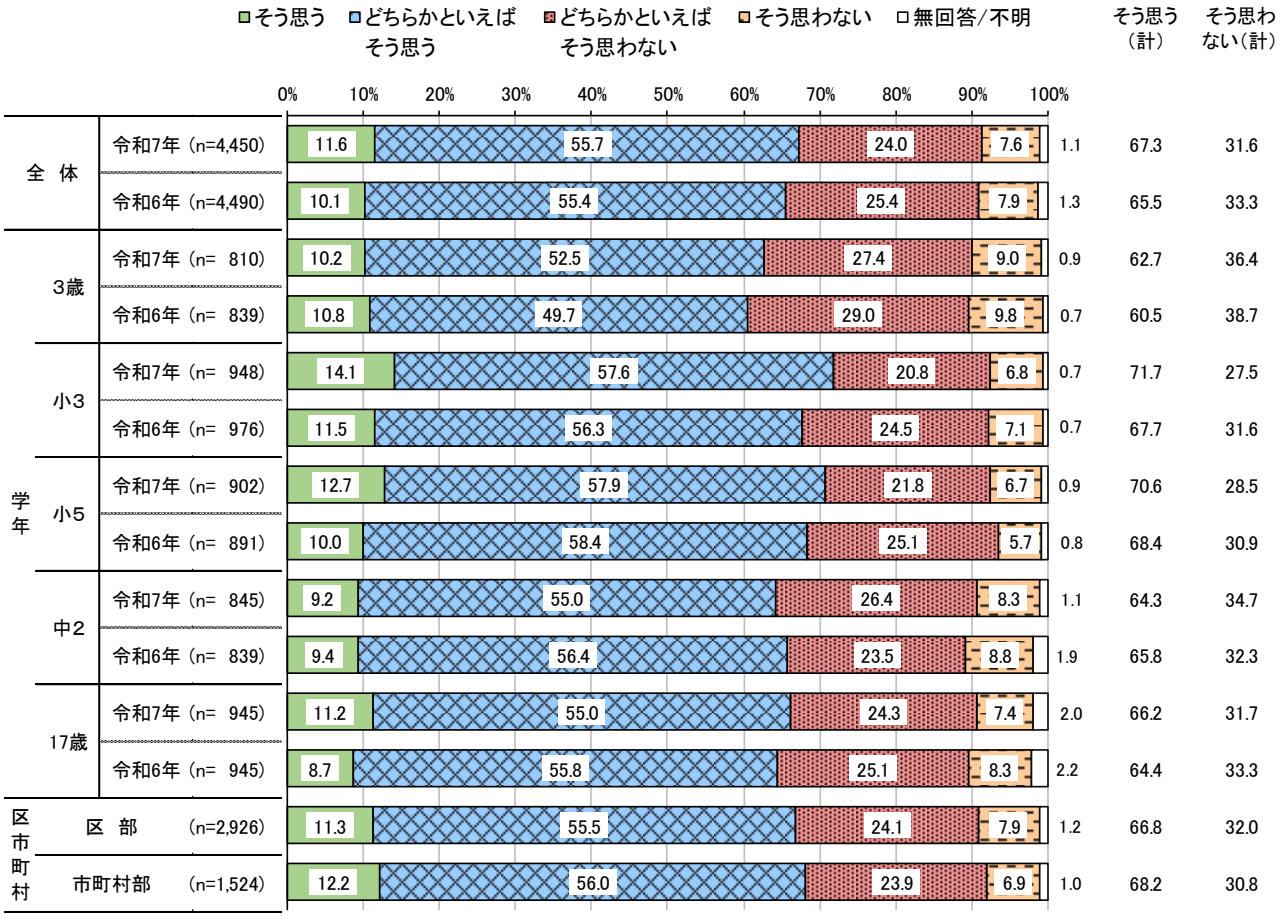
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 55.7％で最も高く、住む地域は信用できると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 67.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

図表 2-143　D 信用できる　＜単一回答＞

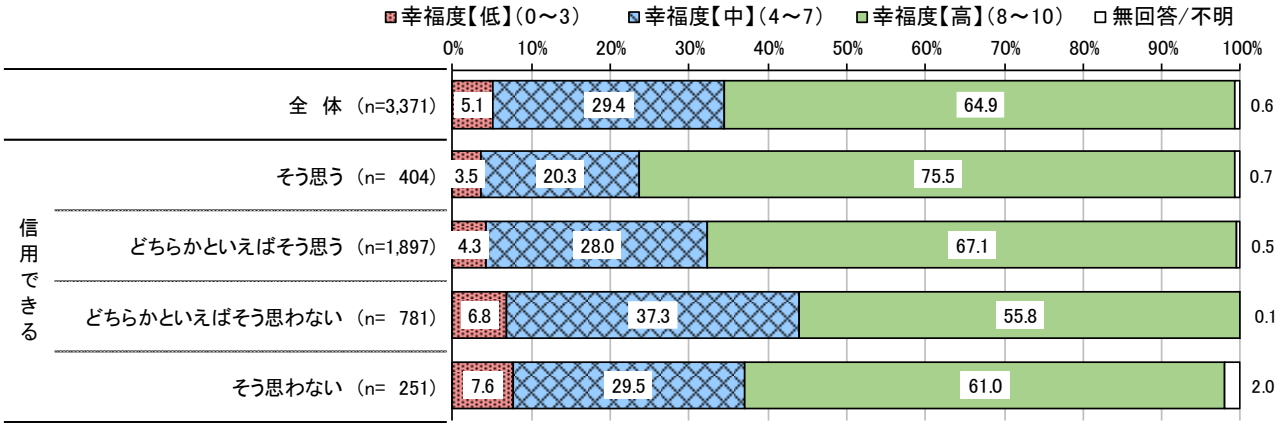


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「信用できる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が75.5%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が61.0%である。

図表 2-144 子供の幸福度(「信用できる」の回答別)



（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　同じ価値観を持っている）

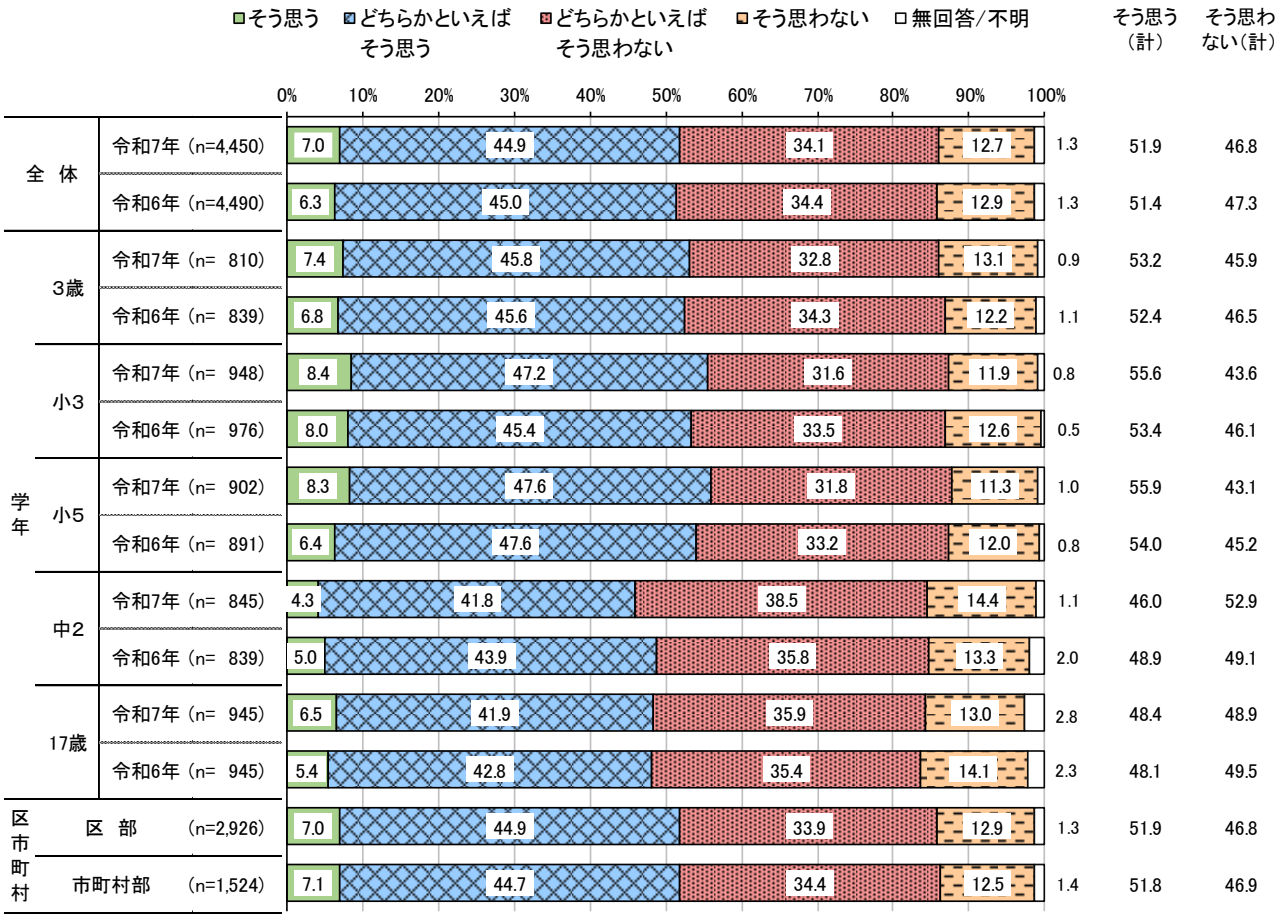
【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 44.9％で最も高い。住む地域は同じ価値観を持っていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 51.9％で、同じ価値観を持っていると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者は 46.8％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

図表 2-145 E 同じ価値観を持っている ＜単一回答＞

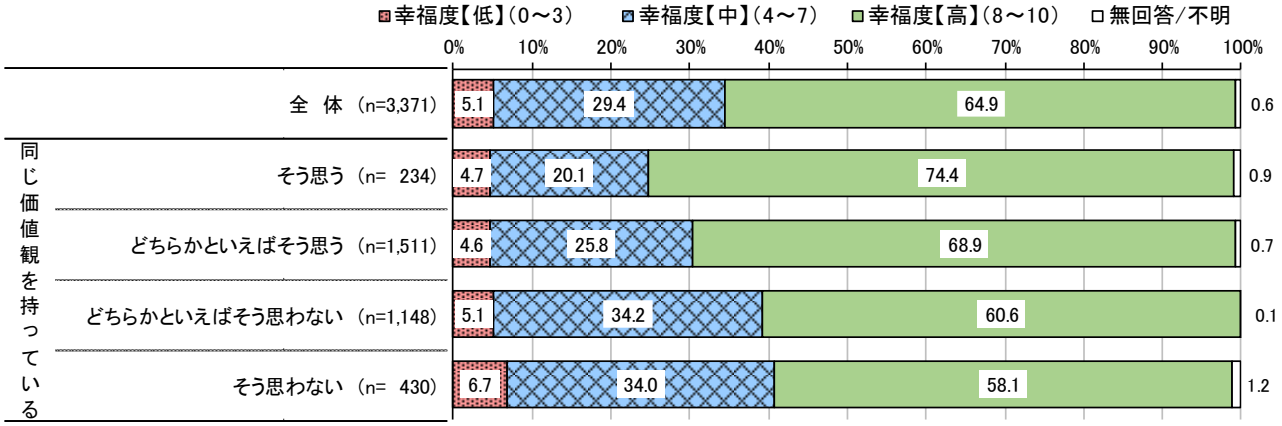


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「同じ価値観を持っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.4%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.1%である。

図表 2-146 子供の幸福度(「同じ価値観を持っている」の回答別)



（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　異なる世代間の交流が盛んである）

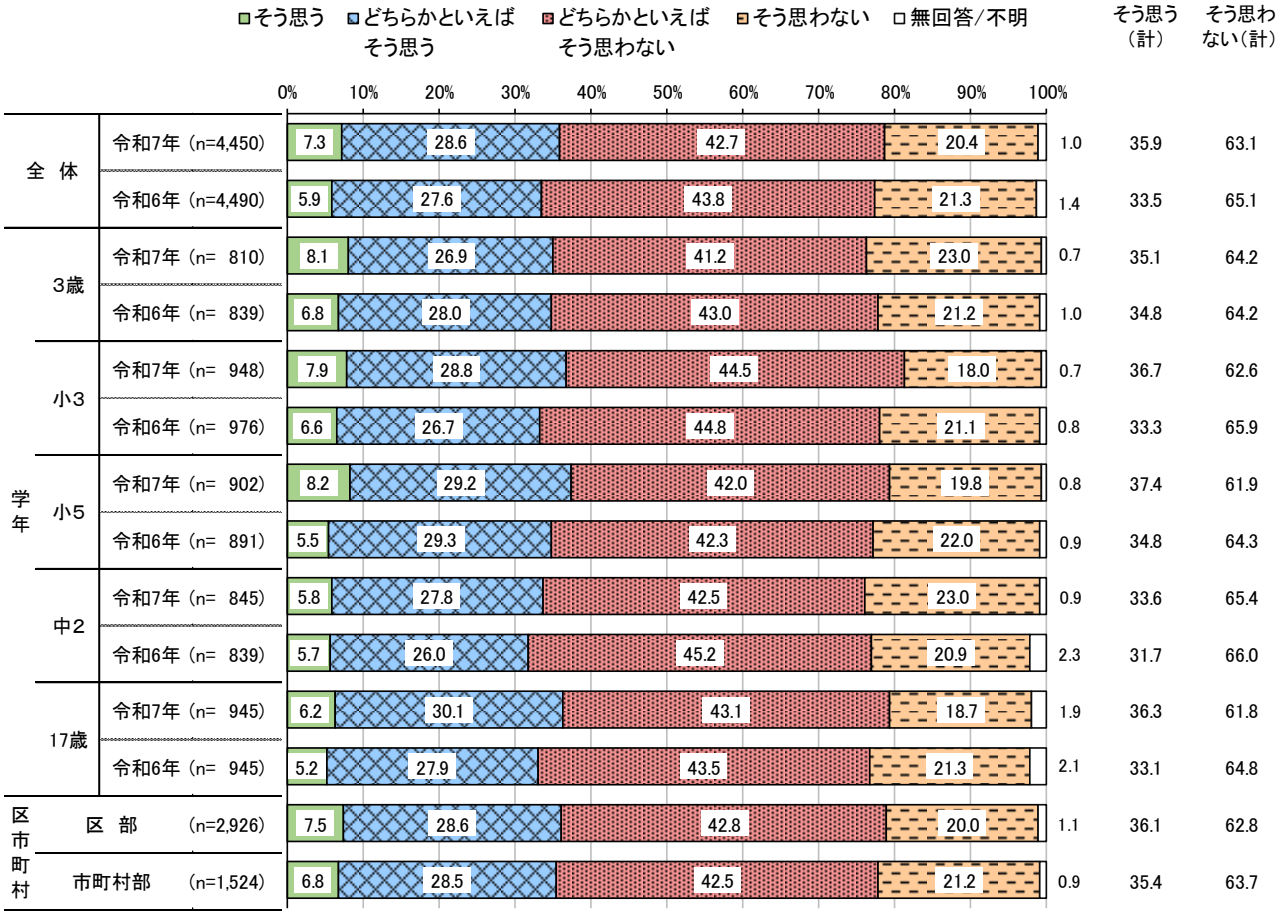
【全体】

「どちらかといえばそう思わない」が 42.7％で最も高く、異なる世代間の交流が盛んであると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者が 63.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、異なる世代間の交流が盛んであると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者が 61.8％以上である。

図表 2-147　F 異なる世代間の交流が盛んである　＜単一回答＞

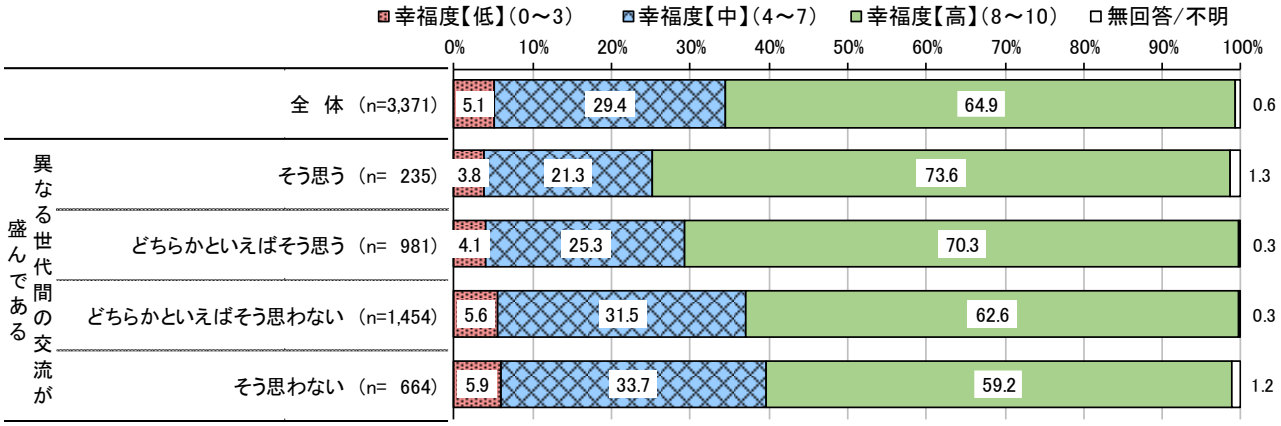


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「異なる世代間の交流が盛んである」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.6%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.2%である。

図表 2-148 子供の幸福度(「異なる世代間の交流が盛んである」の回答別)



（保護者：共通）問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友人や親戚はいますか。
（1つだけ）

【全体】

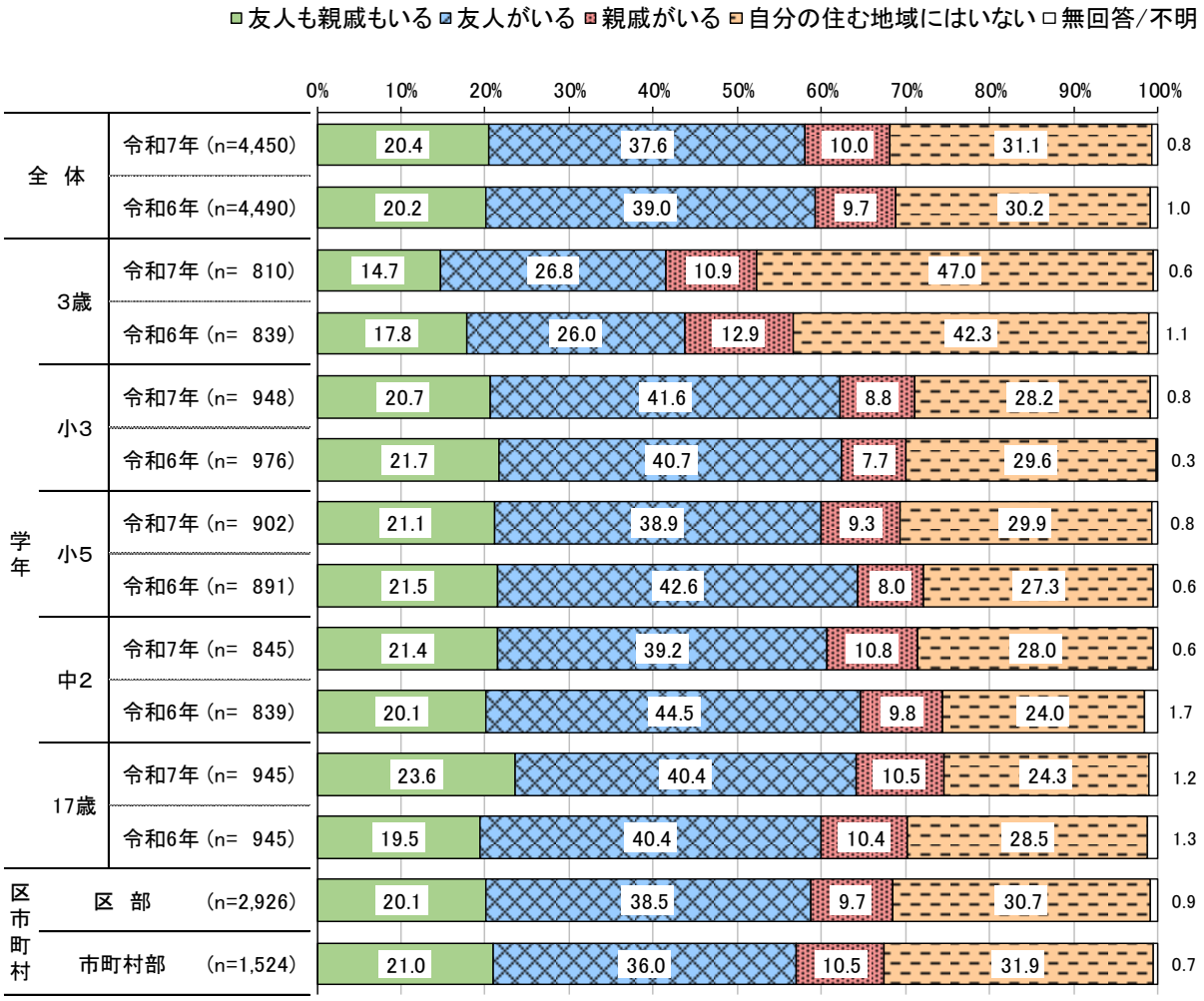
「友人がいる」が37.6％で最も高い。次いで「自分の住む地域にはいない」が31.1％、「友人も親戚もいる」が20.4％で続く。

【学年別】

3歳では、「自分の住む地域にはいない」が 47.0％で最も高い。その他の学年では、「友人がいる」が最も高い。

経年比較でみると、中2で「友人がいる」が 5.3 ポイント減少している。

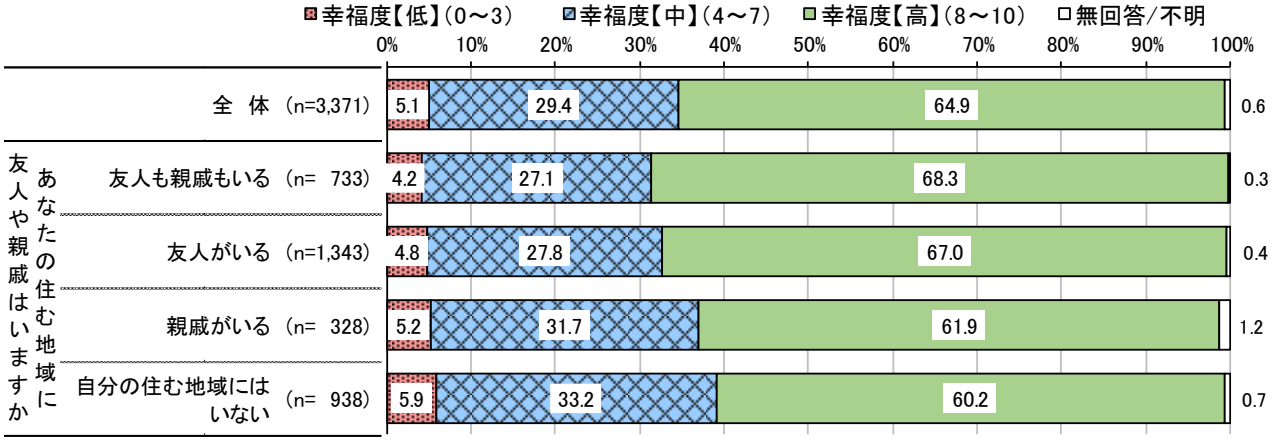
図表 2-149 あなたの住む地域に友人や親戚はいますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの住む地域に友人や親戚はいますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「友人も親戚もいる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 68.3%である。「自分の住む地域にはいない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.2%である。

図表 2-150 子供の幸福度(「あなたの住む地域に友人や親戚はいますか」の回答別)



（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）

（A　起きる時間）

【全体】

「午前6時台」が 49.1％で最も高く、次いで「午前5時台」が 30.9％、「午前7時台」が 13.5％である。

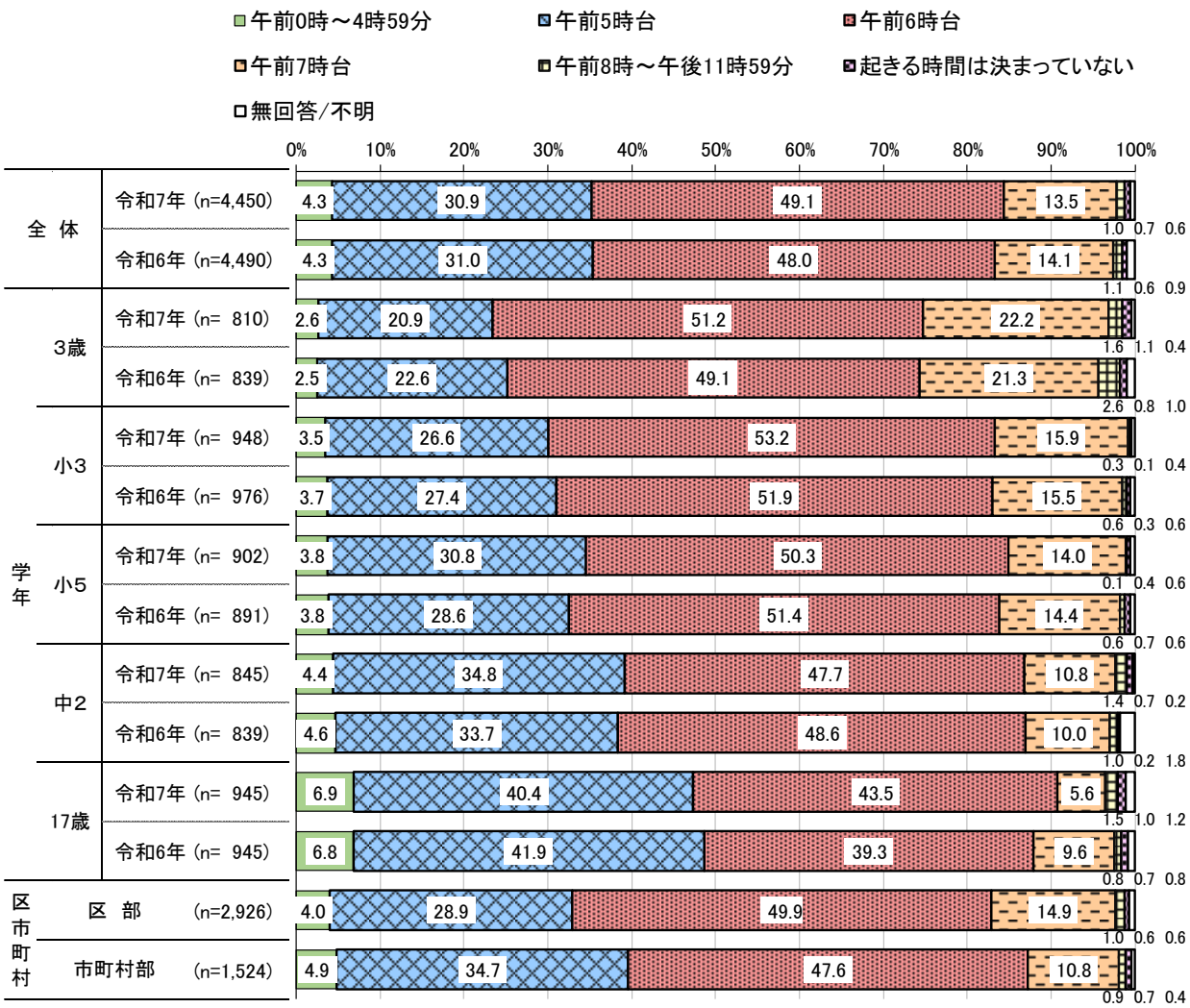
【学年別】

「午前6時台」は小3で 53.2％と最も高く、学年が上がるにつれて低くなり、17 歳では 43.5％である。学年が上がるにつれて、「午前5時台」が増え、17 歳では 40.4％である。

【区市町村別】

市町村部では「午前5時台」が 34.7％と、区部に比べて 5.8 ポイント高い。

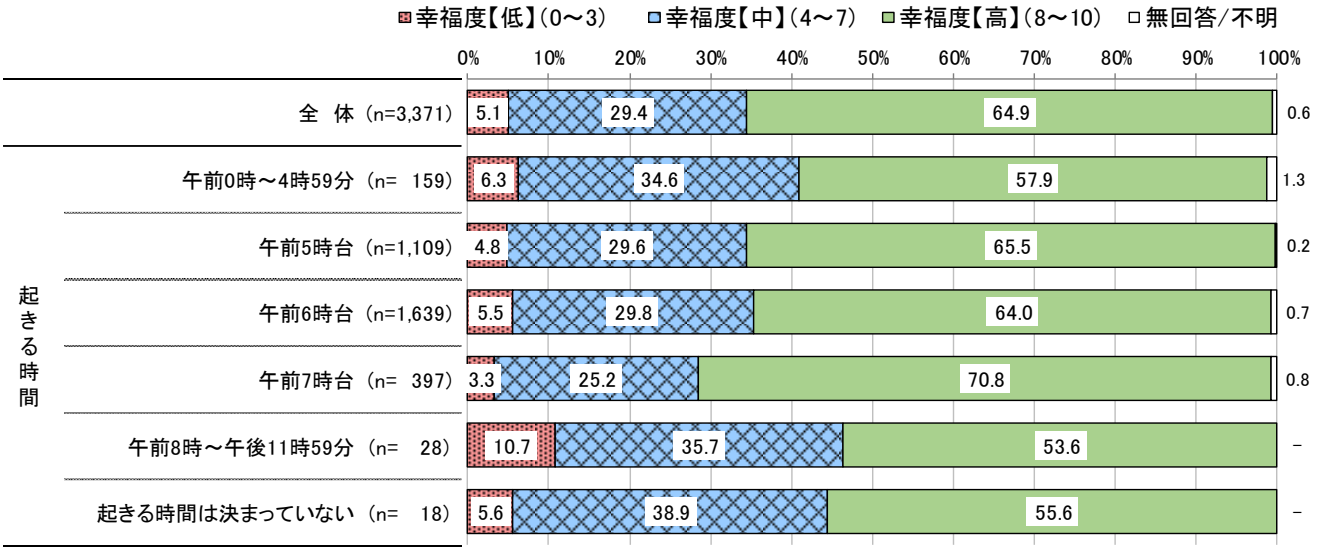
図表 2-151　A 起きる時間　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「起きる時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「午前7時台」に起床している保護者の子供で幸福度【高】(8～10)が 70.8%である。

図表 2-152 子供の幸福度(「起きる時間」の回答別)



（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。（それぞれ1つ）
（B 寝る時間）

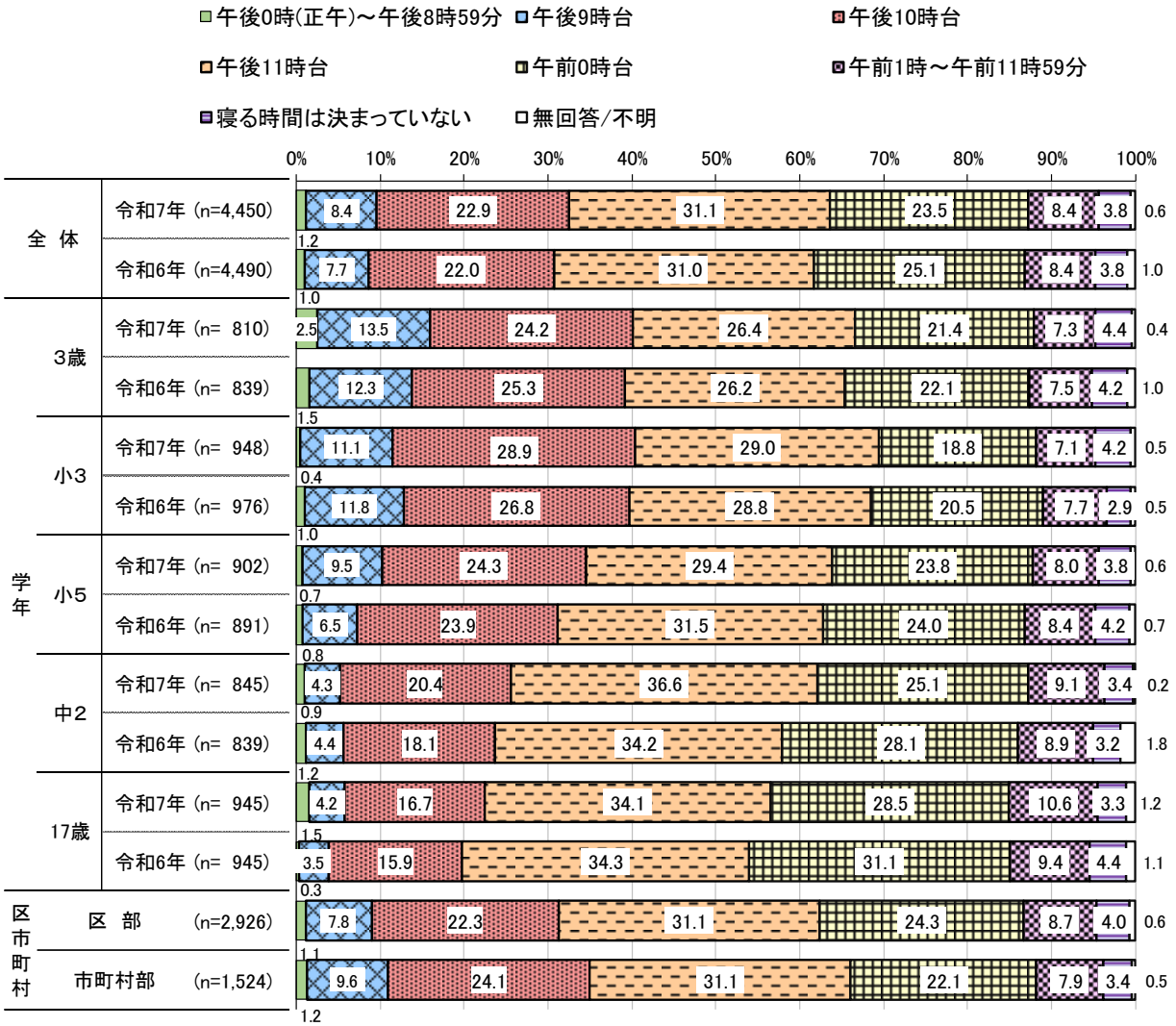
【全体】

「午後 11 時台」が 31.1％で最も高く、次いで「午前0時台」が 23.5％、「午後 10 時台」が 22.9％である。

【学年別】

「午後 11 時台」は学年が上がるにつれて高くなり、中2で 36.6％と最も高い。「午前0時台」は小3以降学年が上がるにつれて高くなり、17 歳で 28.5％と一番高い。「午後9時台」は、学年が上がるにつれて低くなる。

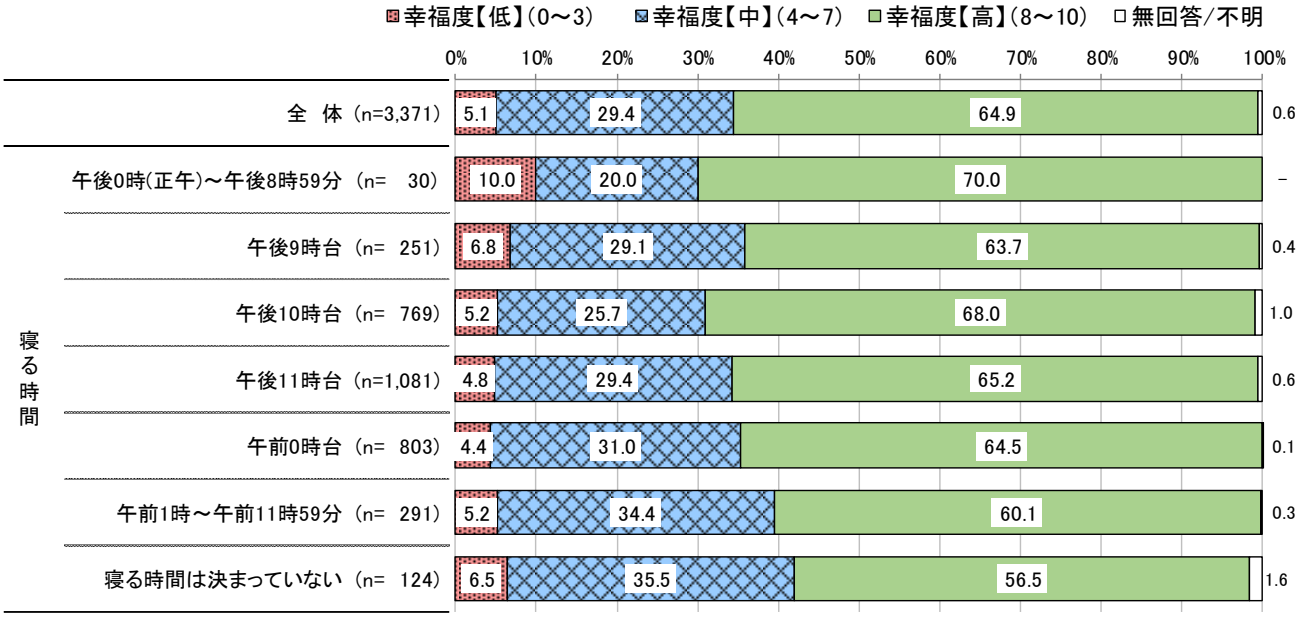
図表 2-153 B 寝る時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「寝る時間」の回答別に子供の幸福度をみると、就寝時間が「午後 10 時台」である保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 68.0%、就寝時間が「午前 1 時～午前 11 時 59 分」である保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 60.1%である。

図表 2-154 子供の幸福度(「寝る時間」の回答別)



（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。（それぞれ1つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を参考に算出した。

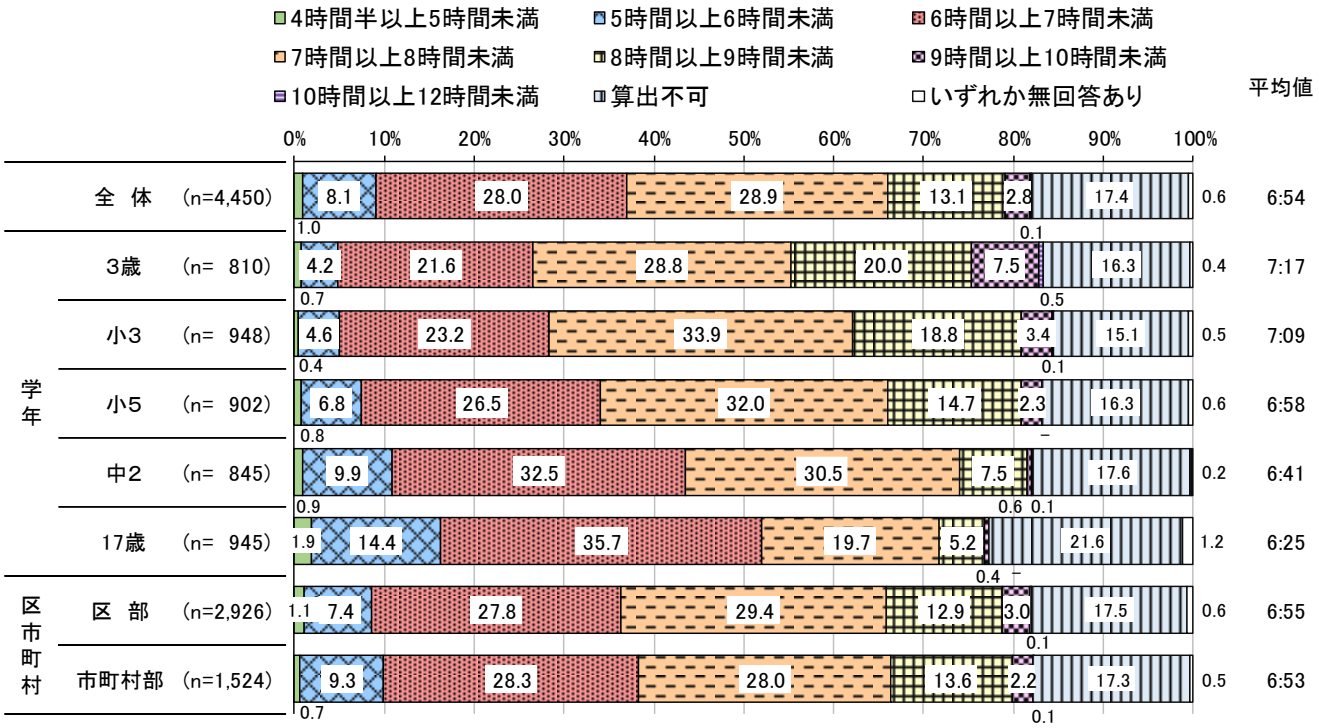
【全体】

睡眠時間は、「7時間以上8時間未満」が 28.9%、「6時間以上7時間未満」が 28.0%である。平均値は、6:54 である。

【学年別】

3歳、小3、小5では「7時間以上8時間未満」が最も高く、3歳では 28.8%、小3では 33.9%、小5では 32.0%である。中2と 17 歳では「6時間以上7時間未満」が最も高く、中2では 32.5%、17 歳では 35.7%である。

図表 2-155 睡眠時間 ＜単一回答＞



※睡眠時間は、「A 起きる時間」の「午前5時～5時 29 分」～「午前8時 30 分～8時 59 分」と、「B 寝る時間」の「午後9時～9時 29 分」～「午前0時 30 分～0時 59 分」の双方のいずれにも回答がある保護者について、それぞれ選択肢の中間値を設定し、差分をとって算出した。

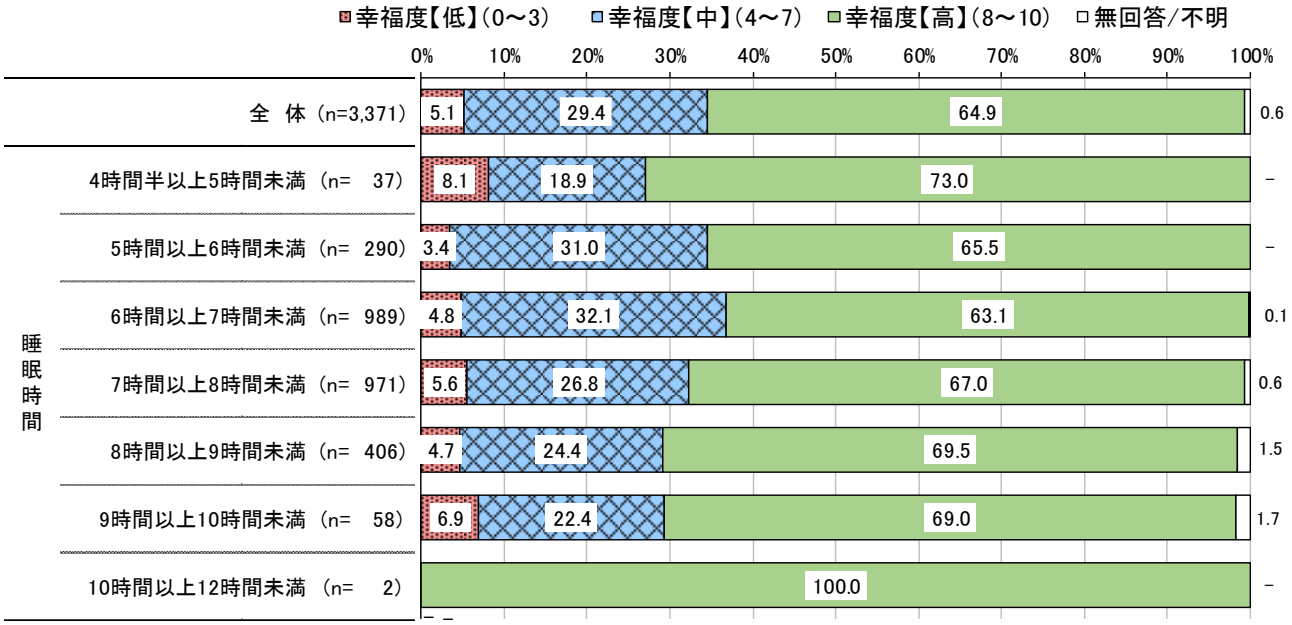
（例）B 寝る時間：午後9時～9時 29 分＝21 時 15 分
　　A 起きる時間：午前6時～6時 29 分＝6時 15 分
→睡眠時間9時間

なお、時間の幅が他の選択肢に比べて大きく中間値を設定できないため、「A 起きる時間」の「午前0時～4時 59 分」「午前9時～午前 11 時 59 分」～「起きる時間は決まっていない」と、「B 寝る時間」の「午後0時(正午)～午後8時 59 分」「午前1時～午前 11 時 59 分」「寝る時間は決まっていない」のいずれかを選択した保護者は、「算出不可」としている。

【子供の幸福度】

「睡眠時間」の回答別に子供の幸福度をみると、睡眠時間が「8時間以上9時間未満」である保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 69.5%である。

図表 2-156 子供の幸福度(「睡眠時間」の回答別)



（保護者：共通）問 40. あなたが平日（仕事などがある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

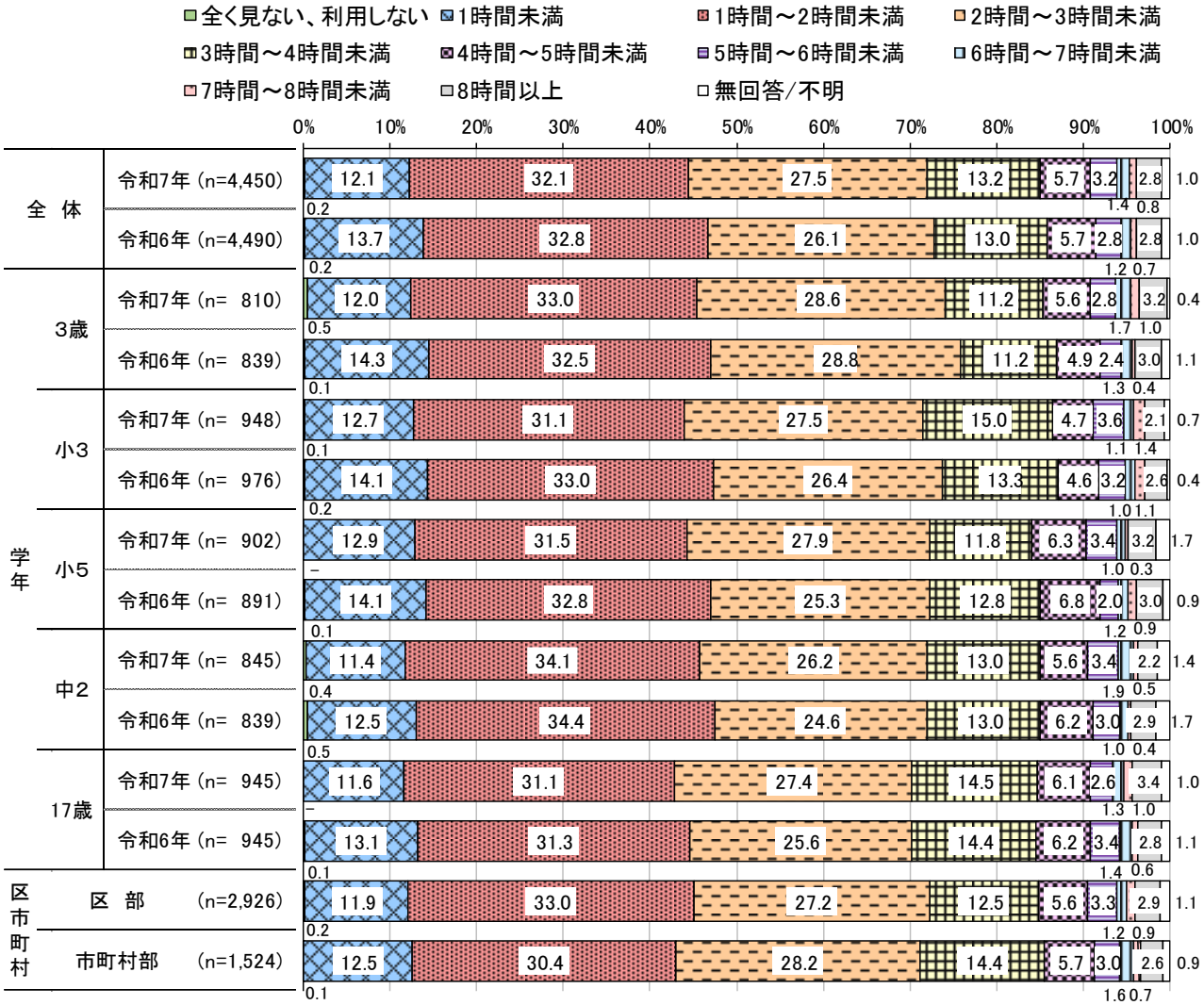
【全体】

「1時間～2時間未満」が 32.1％で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が 27.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「1時間～2時間未満」が 31.1％～34.1％で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が 26.2％～28.6％で続く。

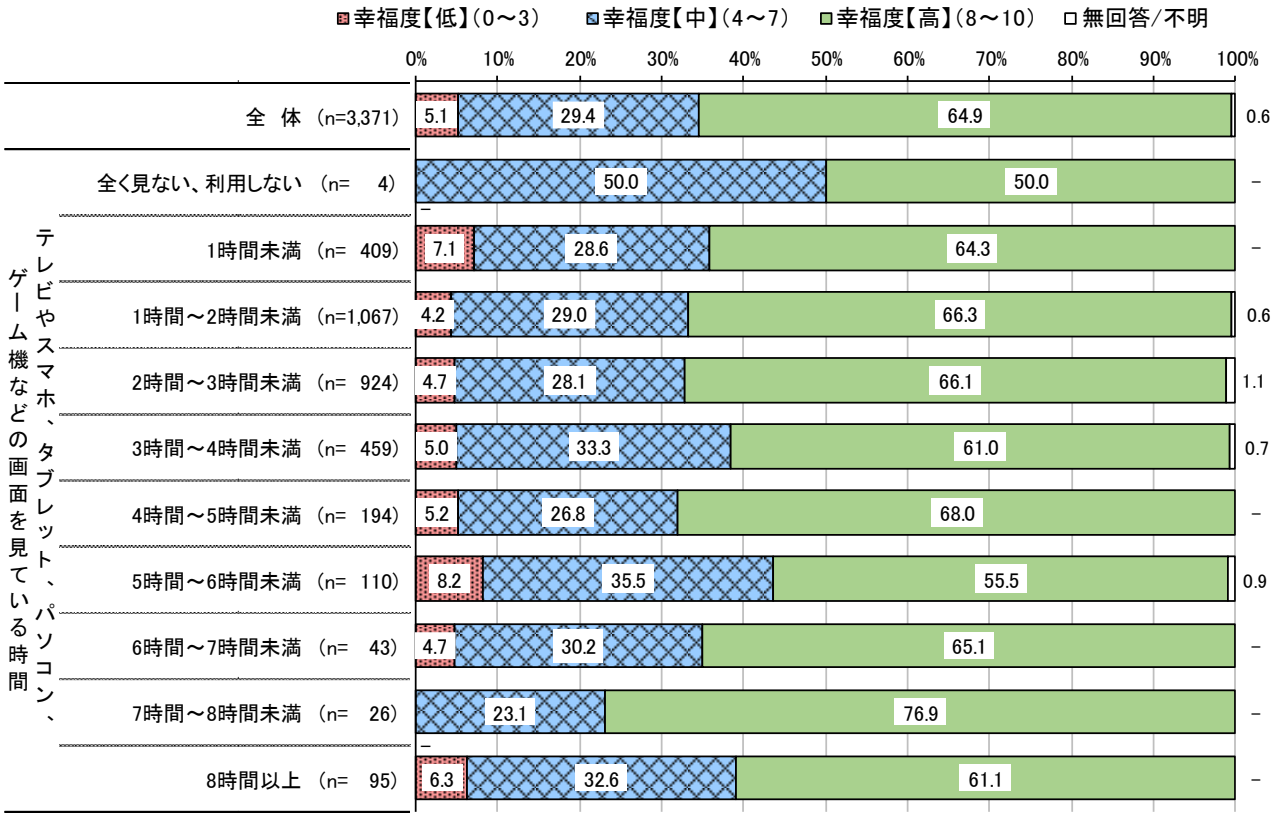
図表 2-157 テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「5時間～6時間未満」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 55.5%である。

図表 2-158 子供の幸福度(「テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別)



（保護者：共通）問 41. あなたや配偶者/パートナーは、お子様とどの程度話しますか。（それぞれ1つ）
（A あなた）

【全体】

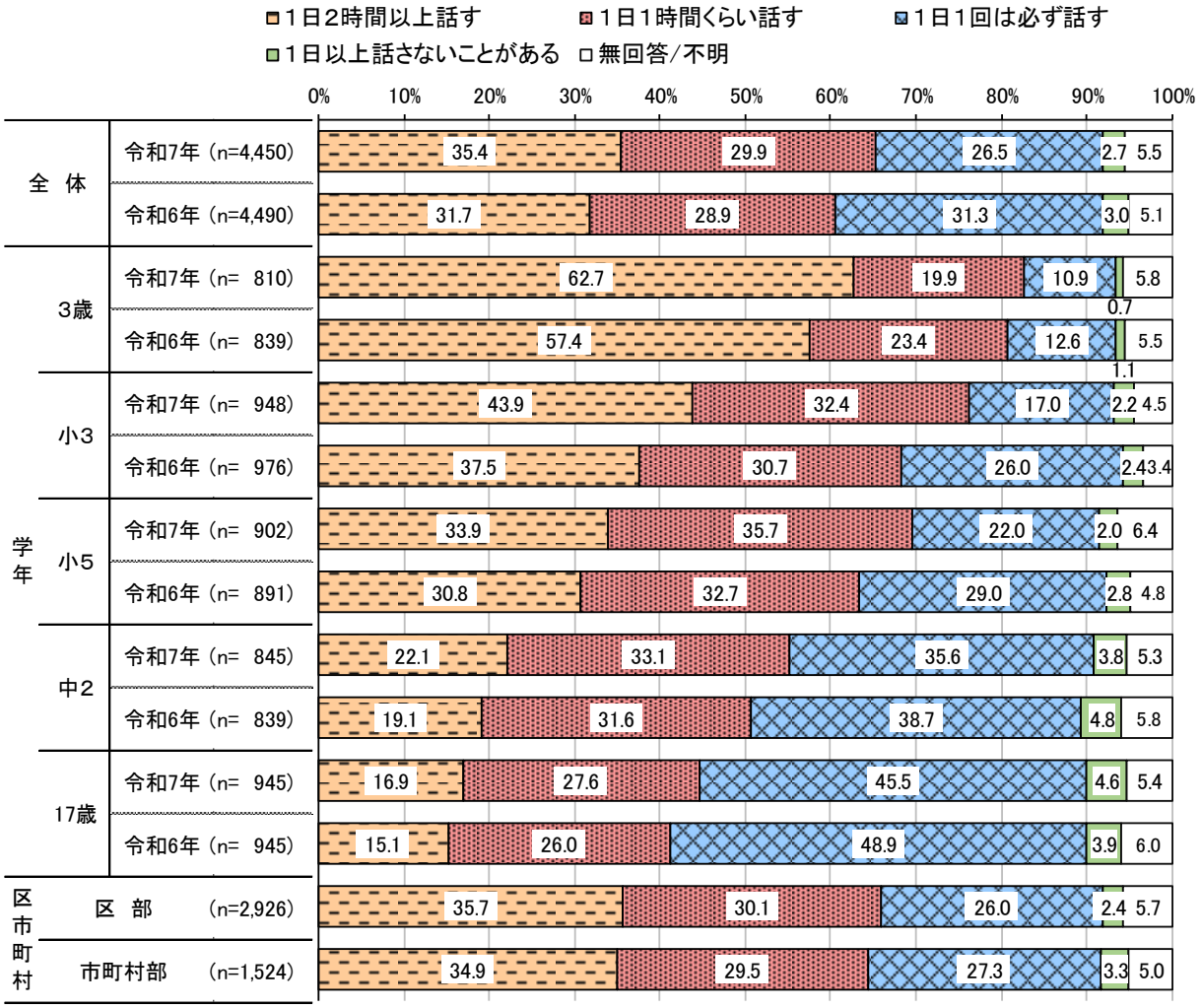
「1日2時間以上話す」が 35.4%で最も高く、次いで「1日1時間くらい話す」が 29.9%、「1日1回は必ず話す」が 26.5%である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「1日2時間以上話す」は減少傾向で、3歳の 62.7%に対して、17 歳では 16.9%で 45.8 ポイントの差がある。中2と 17 歳では「1日1回は必ず話す」が最も高い。

経年比較でみると、「1日2時間以上話す」は、3歳では 5.3 ポイント、小3では 6.4 ポイント増加している。「1日 1 回は必ず話す」は、小5で 7.0 ポイント減少している。

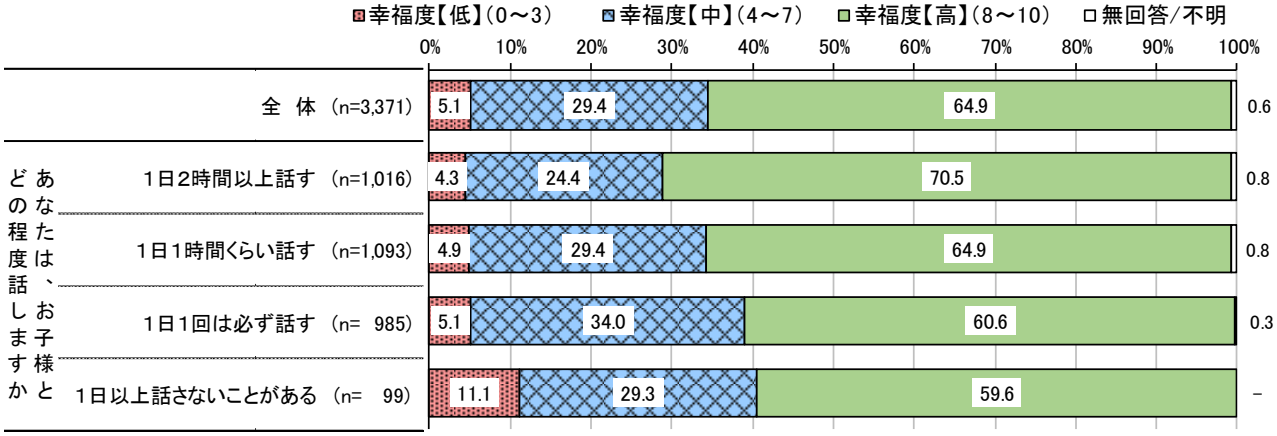
図表 2-159 A あなたは、お子様とどの程度話しますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたは、お子様とどの程度話しますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「1日2時間以上話す」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.5%である。「1日以上話さないことがある」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.6%である。

図表 2-160 子供の幸福度(「あなたは、お子様とどの程度話しますか」の回答別)



（保護者：共通）問 41. あなたや配偶者/パートナーは、お子様とどの程度話しますか。（それぞれ1つ）
（B 配偶者/パートナー）※いない場合は空欄で構いません。

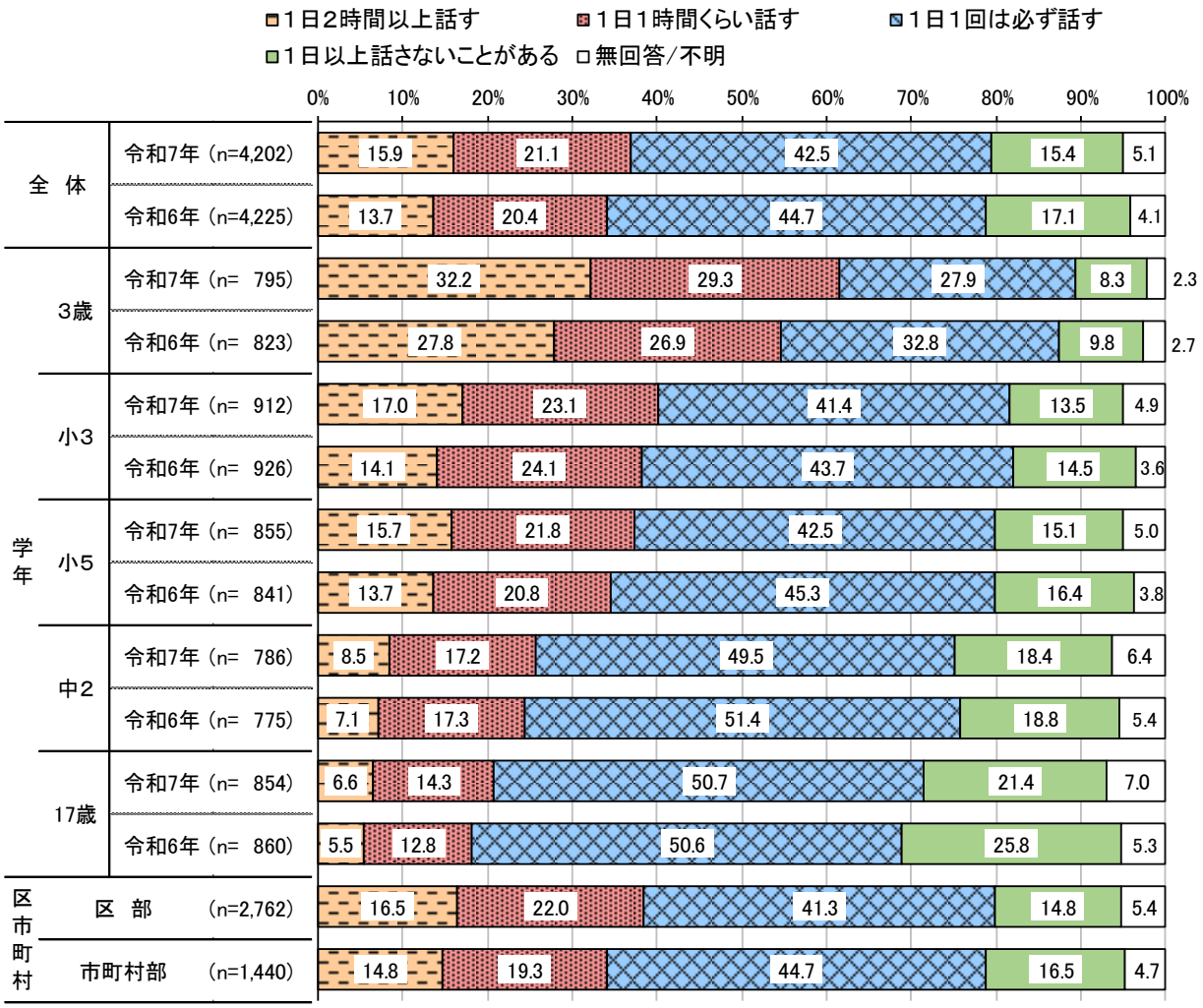
【全体】

「1日1回は必ず話す」が 42.5%で最も高く、次いで「1日1時間くらい話す」が 21.1%、「1日2時間以上話す」が 15.9%である。

【学年別】

3歳以外では「1日1回は必ず話す」が最も高く、小3では 41.4%、小5では 42.5%、中2では 49.5%、17 歳では 50.7%である。3歳では、「1日2時間以上話す」が 32.2%で最も高く、他の学年より 15 ポイント以上高い。

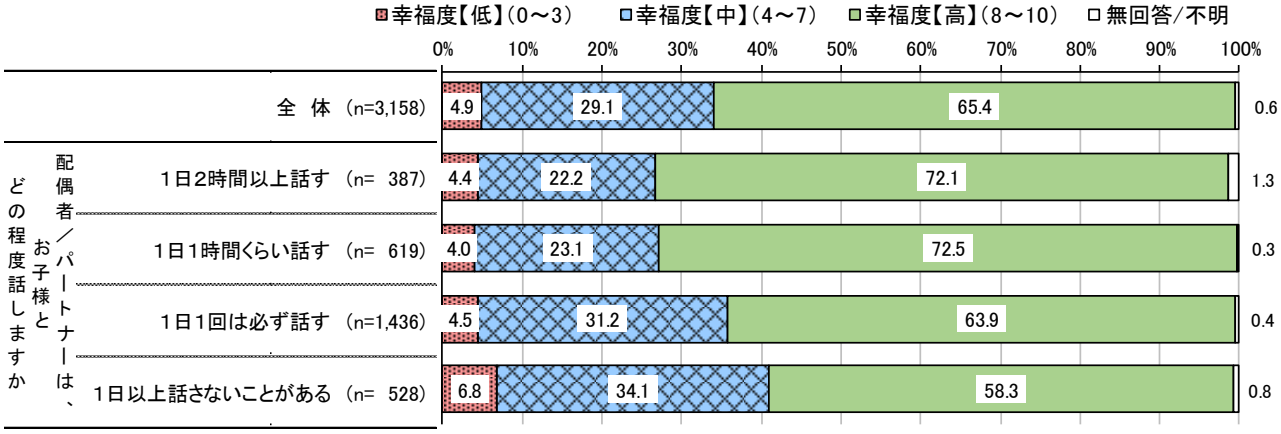
図表 2-161 B 配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「1日2時間以上話す」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 72.1%である。配偶者／パートナーは子供と「1日以上話さないことがある」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.3%である。

図表 2-162 子供の幸福度(「配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか」の回答別)



（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

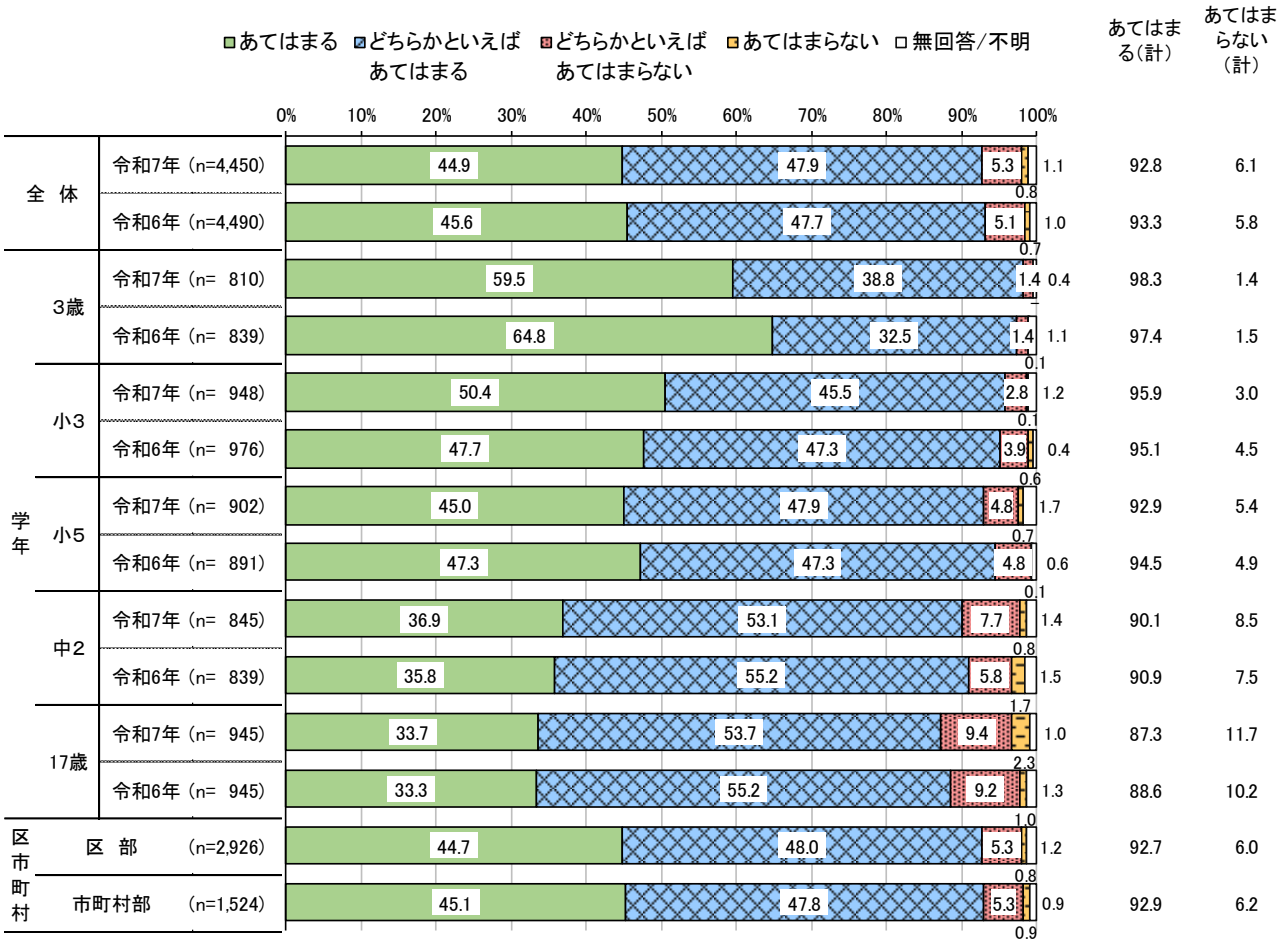
【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 47.9％で最も高く、次いで「あてはまる」が 44.9％であり、子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は 92.8％である。

【学年別】

3歳では、「あてはまる」が 59.5％で最も高く、他の学年より 9 ポイント以上高い。子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は学年が上がるにつれて減少傾向にあるが、3歳では 98.3％で、17 歳でも 87.3％である。

図表 2-163　A 子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている　＜単一回答＞

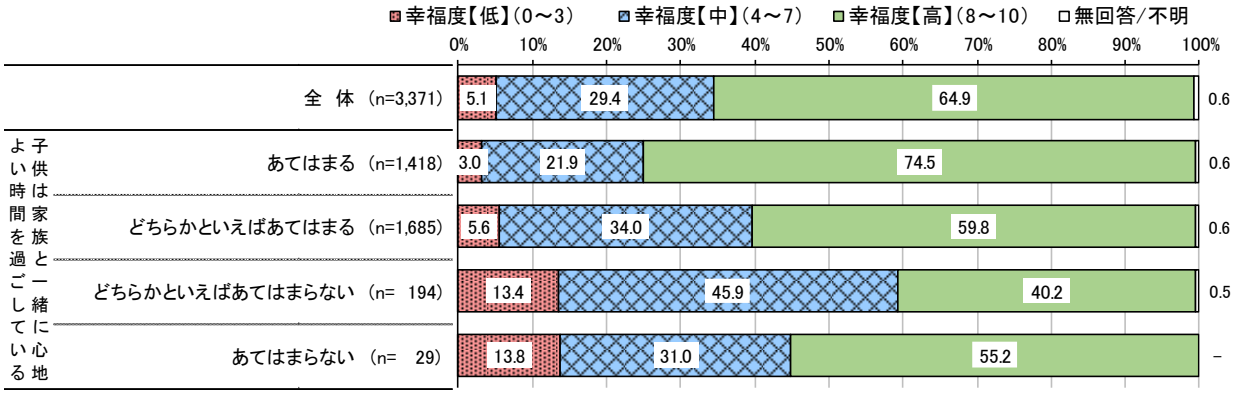


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.5%である。「どちらかといえばあてはまらない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 40.2%である。

図表 2-164 子供の幸福度(「子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別)



（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　子供は家では安心して過ごしている）

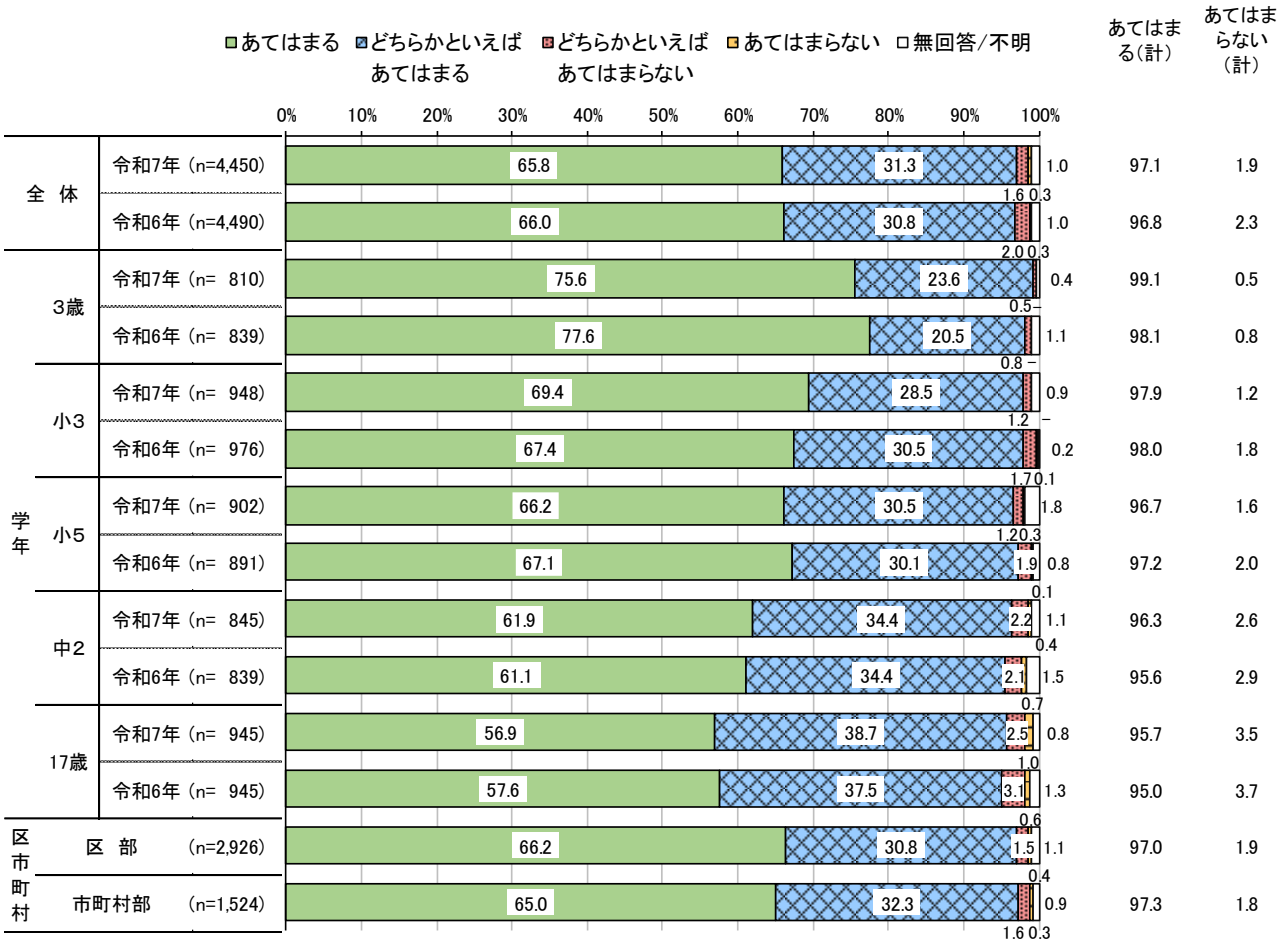
【全体】

「あてはまる」が 65.8％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 31.3％であり、子供は家では安心して過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は 97.1％である。

【学年別】

3歳では「あてはまる」が 75.6％であり、他の学年より 6 ポイント以上高い。子供は家では安心して過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は、いずれの学年でも 95.7％以上である。

図表 2-165　B 子供は家では安心して過ごしている　＜単一回答＞

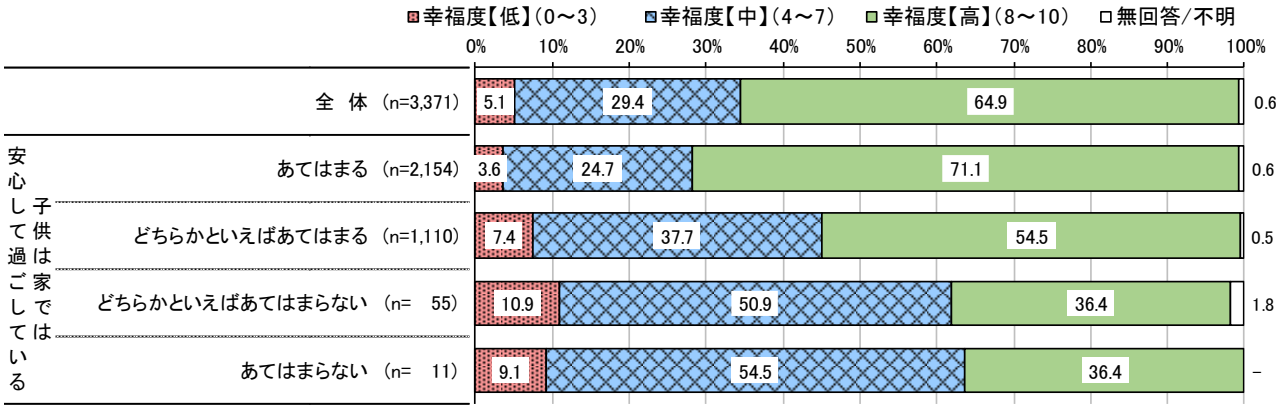


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供は家では安心して過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 71.1%である。「どちらかといえばあてはまらない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 36.4%である。

図表 2-166 子供の幸福度(「子供は家では安心して過ごしている」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）

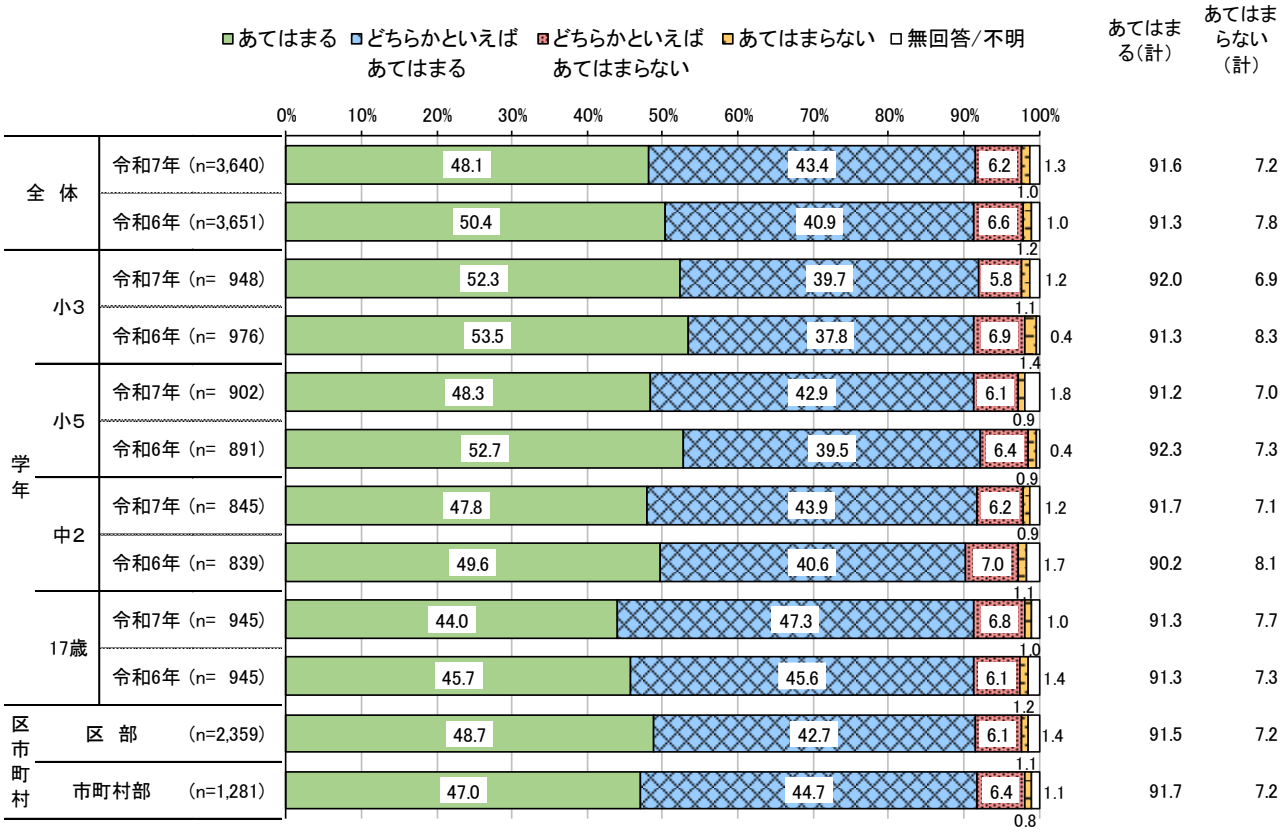
【全体】

「あてはまる」が 48.1％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 43.4％であり、子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は、91.6％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「あてはまる」が、17歳では「どちらかといえばあてはまる」が、最も高い。子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は、91.2％以上である。

図表 2-167　C 子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている　＜単一回答＞

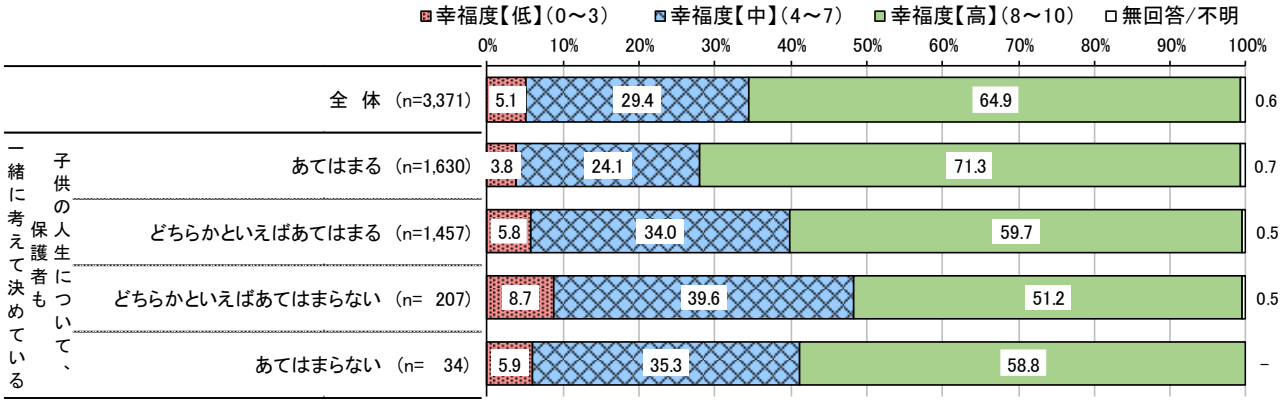


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 71.3%である。

図表 2-168 子供の幸福度(「子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている」の回答別)



（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　保護者は子供の話を聞いている）

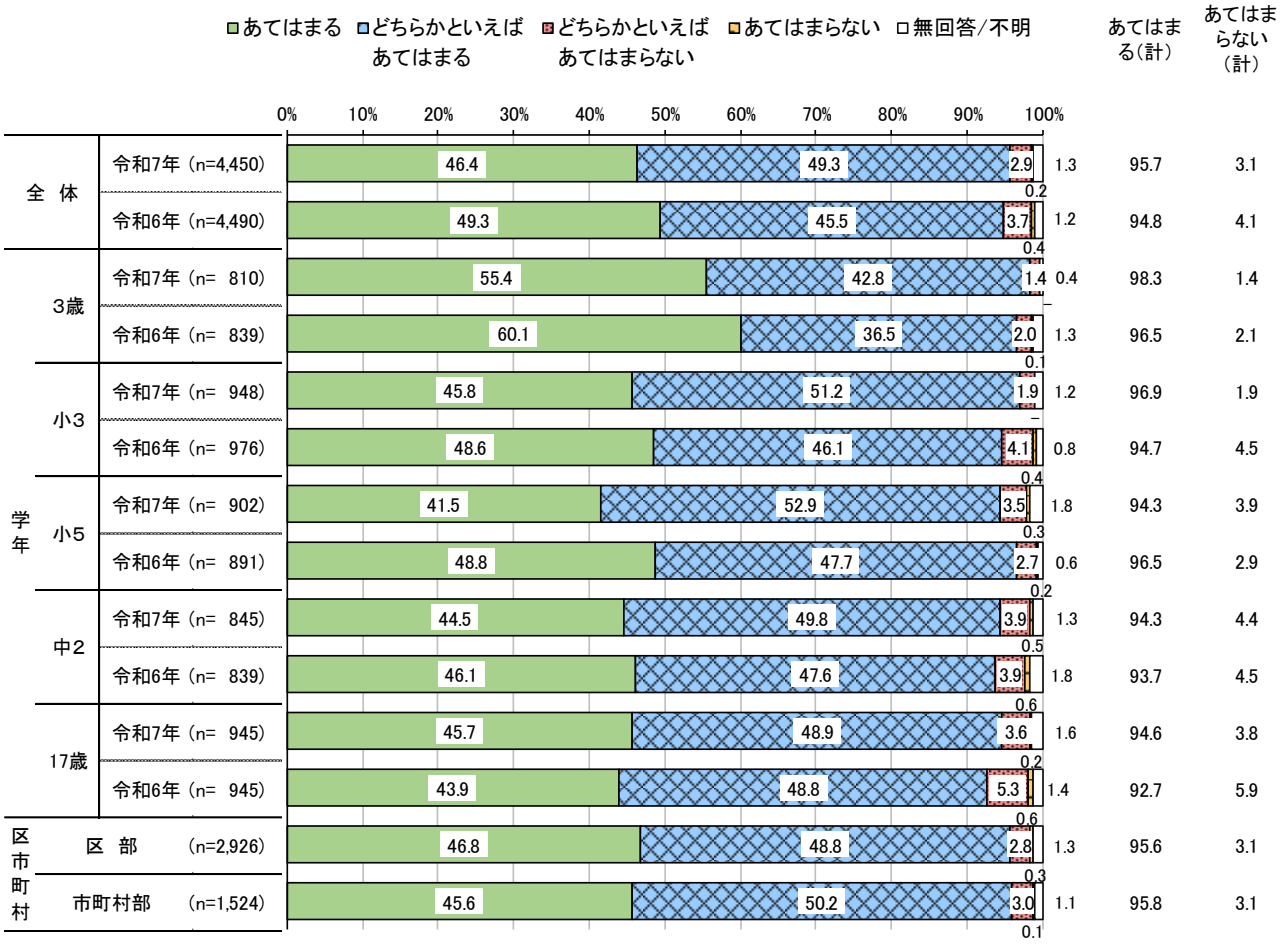
【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 49.3％で最も高く、次いで「あてはまる」が 46.4％であり、保護者は子供の話を聞いている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は 95.7％である。

【学年別】

「あてはまる」は3歳が 55.4％で最も高く、他の学年より 9 ポイント以上高い。

図表 2-169　D　保護者は子供の話を聞いている　＜単一回答＞

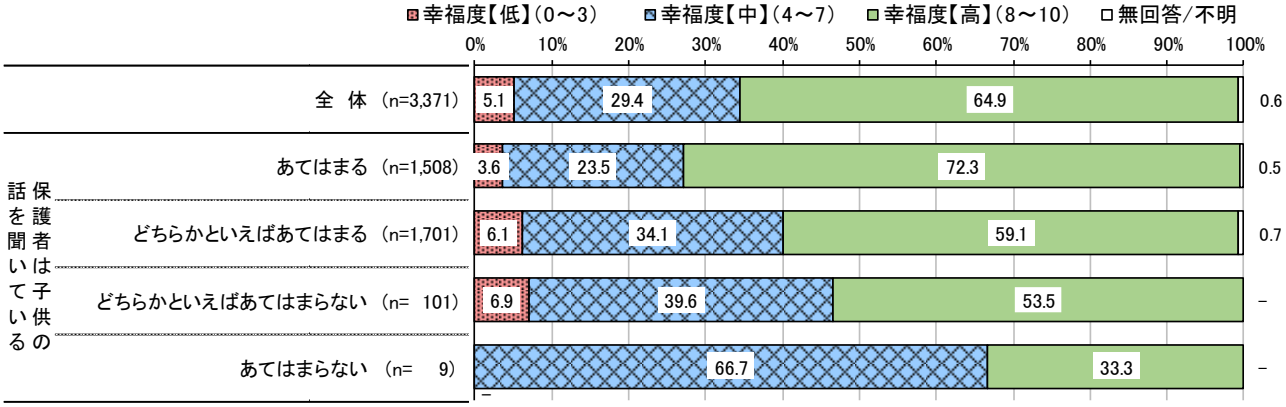


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「保護者は子供の話を聞いている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 72.3%である。「どちらかといえばあてはまらない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 53.5%である。

図表 2-170 子供の幸福度(「保護者は子供の話を聞いている」の回答別)



（保護者：共通）問 43（1）．あなたが、これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたことは何ですか。
（いくつでも）

【全体】

「国内旅行」が 93.4％で最も高い。次いで「遊園地・テーマパーク」が 93.0％、「図書館」が 86.3％の順で上位である。

体験したことがある中では、「留学」が 4.3％で最も低く、次いで「ボランティア体験」が 14.0％、「海外旅行」が 29.3％の順で下位である。

【学年別】

いずれの学年でも「国内旅行」「遊園地・テーマパーク」「図書館」が上位である。

経年比較でみると、17 歳で「職業体験・アルバイト」が 5.2 ポイント増加している。

【区市町村別】

区部では、「海外旅行」が 12.2 ポイント、「職業体験・アルバイト」が 5.4 ポイント、市町村部より高い。

図表 2-171 これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと ＜複数回答＞

(%)

			n	美術館・博物館・科学館	劇場	図書館	スポーツ施設	自然体験	キャンプ	プレーパーク・冒険遊び場	職業体験・アルバイト
全体		令和7年	4,450	78.2	46.5	86.3	72.5	70.8	40.9	60.2	32.1
		令和6年	4,490	78.0	46.6	85.4	72.4	71.0	41.2	58.0	30.0
学年	3歳	令和7年	810	52.5	18.9	71.1	39.0	53.3	15.2	55.6	4.8
		令和6年	839	49.9	22.6	67.5	38.5	55.8	19.8	52.3	6.1
	小3	令和7年	948	82.9	48.6	91.2	78.1	76.7	45.0	63.9	37.0
		令和6年	976	82.6	49.3	92.6	80.3	73.9	43.6	60.9	34.2
	小5	令和7年	902	83.4	48.6	90.0	80.6	75.4	47.9	63.7	35.8
		令和6年	891	85.1	48.3	90.3	79.8	77.1	45.0	59.9	32.0
	中2	令和7年	845	85.0	55.7	88.2	81.1	70.3	44.0	56.2	31.2
		令和6年	839	86.1	53.0	89.4	81.0	74.9	47.8	60.3	32.7
	17歳	令和7年	945	84.8	57.8	89.0	80.1	76.0	49.5	60.7	47.6
		令和6年	945	84.6	57.9	85.5	79.7	72.4	48.0	56.2	42.4
区市町村	区部		2,926	79.6	48.0	86.7	72.9	70.3	40.0	59.6	33.9
	市町村部		1,524	75.7	43.6	85.4	71.7	71.8	42.8	61.5	28.5

			ボランティア体験	遊園地・テーマパーク	国内旅行	海外旅行	留学	特にない	無回答/不明	これまでに行った場所／体験させたことがある（計）
全体		令和7年	14.0	93.0	93.4	29.3	4.3	0.2	1.6	98.3
		令和6年	12.4	93.2	93.3	27.3	3.4	0.2	1.2	98.6
学年	3歳	令和7年	2.5	84.2	88.5	15.3	1.0	0.2	1.9	97.9
		令和6年	2.6	82.8	87.8	11.9	0.8	0.5	2.4	97.1
	小3	令和7年	12.8	96.2	95.6	27.8	1.9	－	0.8	99.2
		令和6年	10.5	96.9	95.3	27.2	0.9	－	0.5	99.5
	小5	令和7年	12.5	95.1	93.7	30.3	1.8	－	2.1	97.9
		令和6年	9.8	95.8	94.7	28.6	1.7	－	0.9	99.1
	中2	令和7年	16.0	94.2	94.6	32.4	3.3	0.4	1.7	98.0
		令和6年	17.3	94.9	94.2	30.0	2.1	0.2	1.1	98.7
	17歳	令和7年	24.6	94.4	94.1	38.9	12.8	0.2	1.4	98.4
		令和6年	21.3	94.7	93.9	37.7	10.9	0.2	1.3	98.5
区市町村	区部		13.1	92.7	93.5	33.5	5.1	0.2	1.7	98.1
	市町村部		15.7	93.7	93.1	21.3	2.7	0.1	1.2	98.7

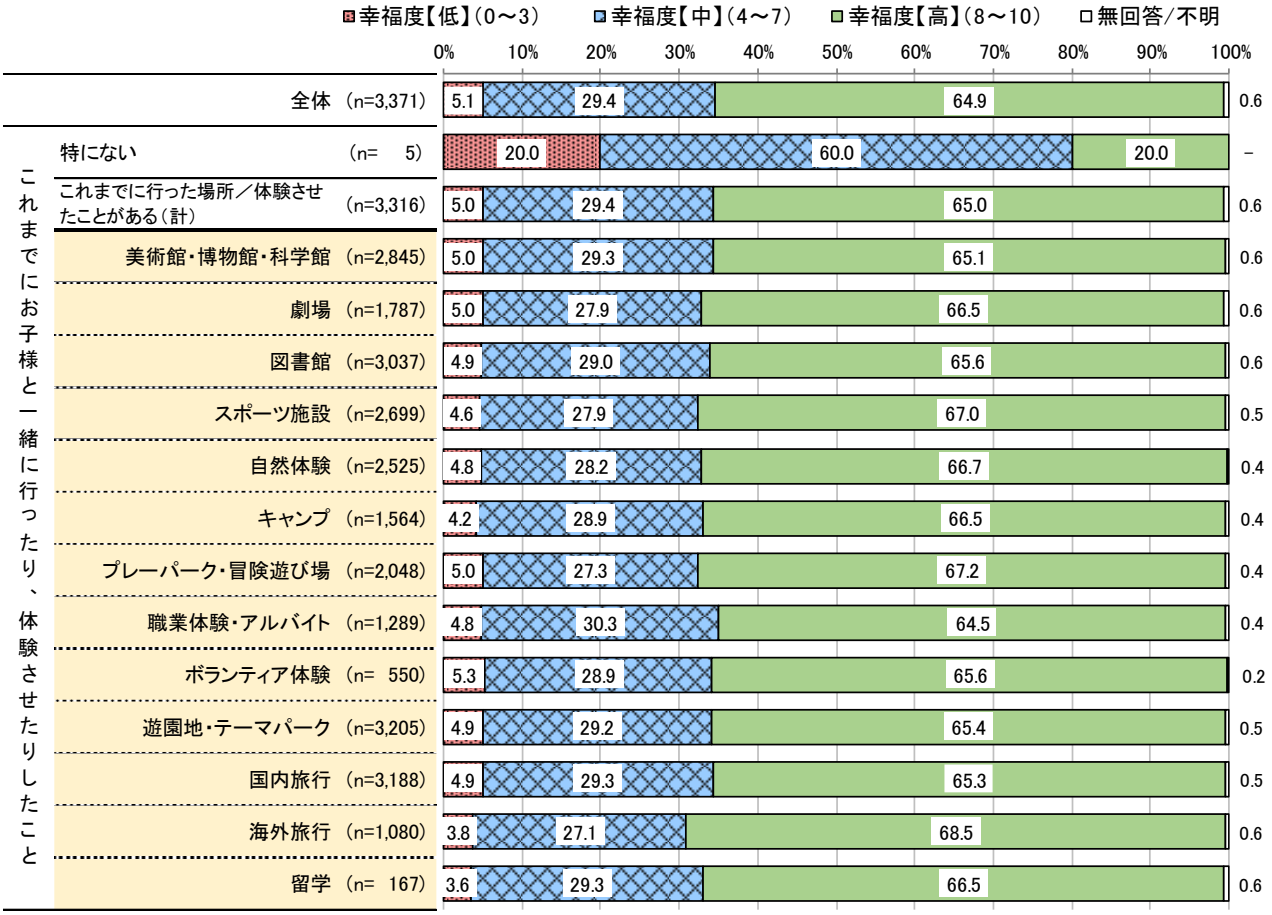
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※これまでに行った場所／体験させたことがある（計）は「美術館や博物館、科学館」～「留学」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「これまでに行った場所/体験させたことがある(計)」の保護者の子供は、幸福度【高】(8～10)の割合が 65.0%である。

図表 2-172 子供の幸福度(「これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと」の回答別)



（保護者：共通）問 43（2）．今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいことは何ですか。既に行っていて、再度行いたい場合も含めてお答えください。（いくつでも）

【全体】

「海外旅行」が 64.3％で最も高く、次いで、「留学」が 51.3％、「劇場」が 49.8％、「キャンプ」が 49.5％、「職業体験・アルバイト」が 49.2％、「ボランティア体験」が 48.9％、「国内旅行」が 45.9％、「美術館や博物館、科学館」が 45.4％、「自然体験」が 43.2％で続いている。

【学年別】

いずれの学年でも「海外旅行」が最も高い。次いで、3歳では「キャンプ」が、小3と小5では「ボランティア体験」が、中2では「留学」が、17 歳では「国内旅行」が2番目に高い。

経年比較でみると、3歳で「劇場」が 7.8 ポイント増加、小3で「プレーパーク、冒険遊び場」が 5.0 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部では「留学」が 6.6 ポイント、「ボランティア体験」が 5.4 ポイント、市町村部より高い。

図表 2-173 今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいこと ＜複数回答＞

(%)

			n	美術館・博物館・科学館	劇場	図書館	スポーツ施設	自然体験	キャンプ	プレーパーク・冒険遊び場	職業体験・アルバイト
全体		令和7年	4,450	45.4	49.8	30.8	36.5	43.2	49.5	30.1	49.2
		令和6年	4,490	45.6	49.0	31.4	37.3	42.9	51.5	31.6	51.7
学年	3歳	令和7年	810	58.0	61.9	38.4	52.8	55.2	67.4	46.5	60.6
		令和6年	839	56.6	54.1	39.9	53.5	54.6	68.3	47.7	60.4
	小3	令和7年	948	45.4	51.1	37.6	39.0	46.4	54.4	35.7	53.4
		令和6年	976	49.6	52.0	38.6	37.9	46.9	55.5	40.7	55.8
	小5	令和7年	902	44.8	50.2	33.4	35.3	45.3	48.9	32.8	47.3
		令和6年	891	44.3	51.6	32.8	36.1	43.7	53.8	32.8	52.0
	中2	令和7年	845	43.4	45.2	27.3	32.4	40.6	45.2	24.1	48.2
		令和6年	839	43.6	48.0	27.2	35.3	41.8	46.7	24.1	48.5
	17歳	令和7年	945	36.9	42.0	18.2	24.8	29.8	33.7	13.2	38.1
		令和6年	945	34.5	39.9	18.9	25.2	28.6	34.7	13.7	42.2
区市町村	区部		2,926	45.6	49.5	31.1	36.8	44.6	50.6	30.8	49.3
	市町村部		1,524	45.0	50.5	30.2	35.8	40.4	47.4	28.9	49.1

			ボランティア体験	遊園地・テーマパーク	国内旅行	海外旅行	留学	その他	特にない	無回答／不明	今後行きたい場所／体験させたいことがある（計）
全体		令和7年	48.9	37.7	45.9	64.3	51.3	1.5	0.9	5.4	93.8
		令和6年	50.4	38.5	46.6	64.6	51.6	1.2	0.5	4.9	94.5
学年	3歳	令和7年	47.3	41.4	39.8	67.9	53.7	2.2	0.4	3.1	96.5
		令和6年	50.2	42.1	41.1	70.0	52.1	1.4	0.4	2.7	96.9
	小3	令和7年	55.2	40.9	44.0	65.6	53.3	1.2	0.5	4.2	95.3
		令和6年	57.4	41.1	45.9	66.3	54.4	1.2	0.2	3.5	96.3
	小5	令和7年	54.2	39.2	45.6	62.7	52.4	1.7	0.3	5.2	94.5
		令和6年	53.2	38.9	44.8	66.0	52.7	0.9	0.6	3.5	96.0
	中2	令和7年	48.9	37.3	49.3	64.3	52.8	1.3	1.3	6.5	92.2
		令和6年	48.2	39.8	52.0	65.6	53.4	1.1	0.5	5.6	93.9
	17歳	令和7年	39.0	30.4	50.5	61.6	45.1	1.4	1.7	7.6	90.7
		令和6年	42.8	31.0	49.3	55.9	45.7	1.4	1.1	9.1	89.8
区市町村	区部		50.8	38.1	45.9	64.3	53.6	1.8	0.8	5.3	93.9
	市町村部		45.4	37.0	46.0	64.4	47.0	1.0	1.0	5.4	93.6

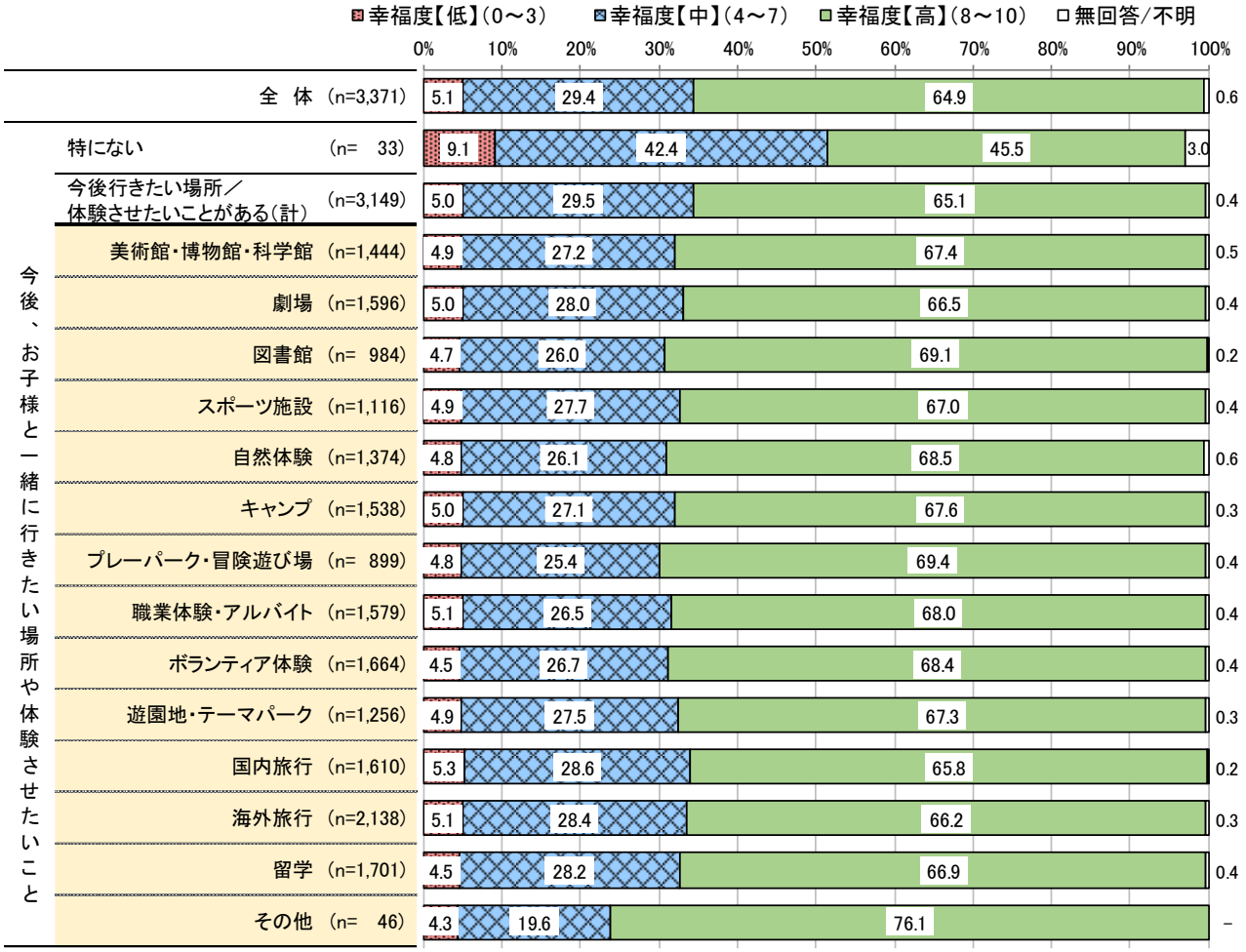
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※今後行きたい場所／体験させたいことがある（計）は「美術館や博物館、科学館」～「留学」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「今後行きたい場所／体験させたいことがある(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 65.1%である。

図表 2-174 子供の幸福度(「今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいこと」の回答別)



【自由記述】

その他（お子様と今後行きたい場所／体験させたいこと）
農業体験（保護者・3歳）
スノーボード（保護者・3歳）
クラシックコンサート（保護者・3歳）
英会話（保護者・3歳）
ホームステイ（保護者・3歳）
寄席、歌舞伎などの伝統芸能体験（保護者・3歳）
ダイビング（保護者・3歳）
親子料理教室（保護者・3歳）
一緒に映画を観たり、コンサートに行ったりしたい（保護者・3歳）
ロードトリップ（保護者・3歳）
受験（保護者・小3）
芸術体験（保護者・小3）
スポーツ観戦（保護者・小3）
習い事（保護者・小3）
大学や専門学校などの学園祭（保護者・小3）
田舎留学、農業体験（保護者・小5）
夏休み中のインターナショナルスクールのサマースクール（保護者・小5）
海外生活（保護者・小5）
万博（保護者・小5）
友人だけででかける（保護者・小5）
農業（保護者・小5）
乗馬、釣り（保護者・小5）
ショートステイ（将来に向けて）（保護者・小5）
金融教育（保護者・小5）
ライブ（保護者・中2）
東京の価値感とは違った地方での生活　祭りや地方の伝統芸能をその場所に行って楽しむこと（保護者・中2）
動物園、水族館（保護者・中2）
コンサート、演奏体験、演劇体験（保護者・中2）
一人暮らし（保護者・中2）
二週間くらいの海外ホームステイ（保護者・中2）
大学（保護者・17 歳）
テーブルマナー・作法（保護者・17 歳）
親元を離れた生活（保護者・17 歳）
国際交流（保護者・17 歳）
インターン（保護者・17 歳）
宇宙の旅（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。最もなってほしいものを選んでください。（1つだけ）

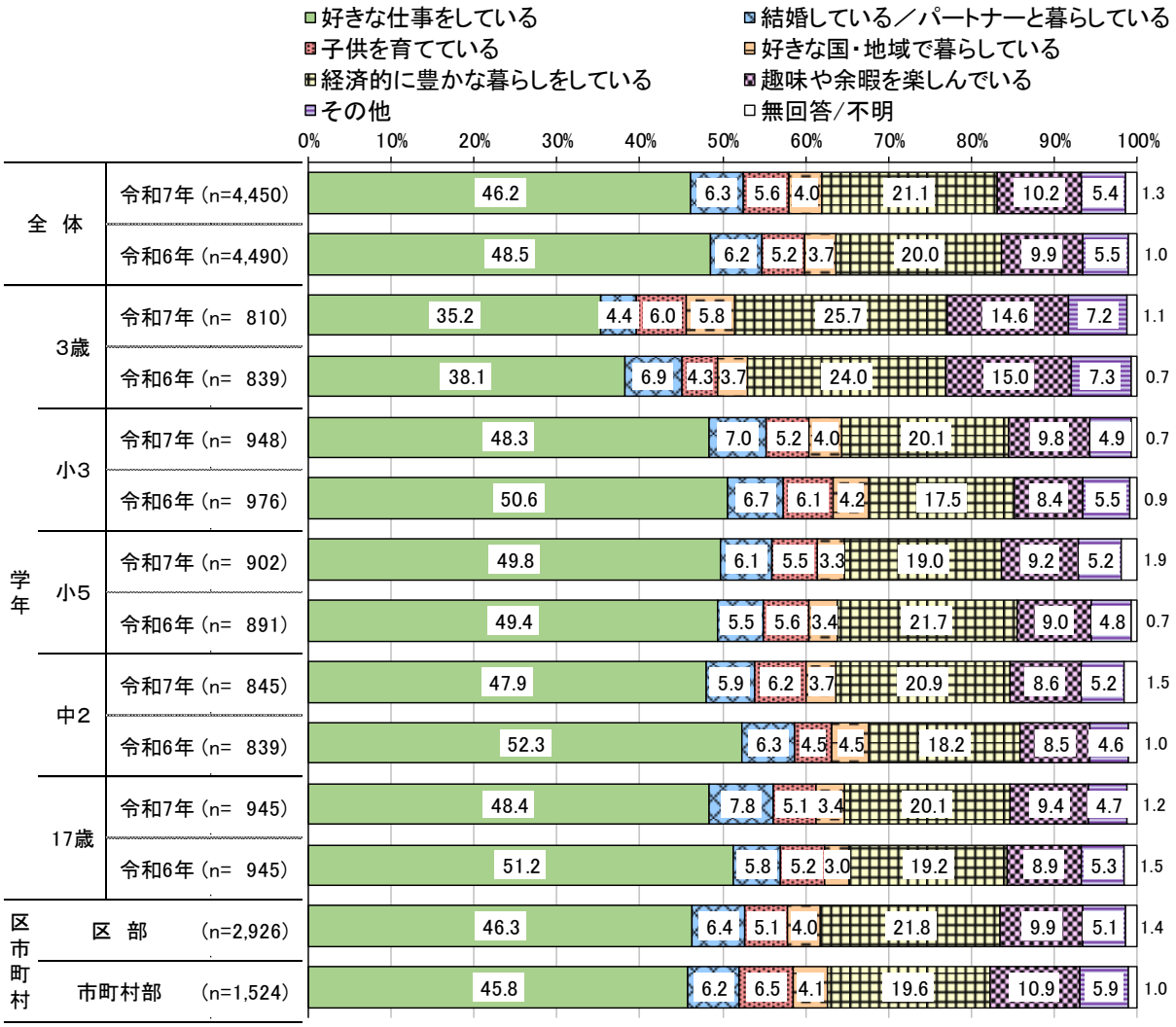
【全体】

「好きな仕事をしている」が 46.2％で最も高く、次いで「経済的に豊かな暮らしをしている」が 21.1％、「趣味や余暇を楽しんでいる」が 10.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好きな仕事をしている」が最も高いが、3歳では 35.2％と、他の学年に比べて 12 ポイント以上低い。

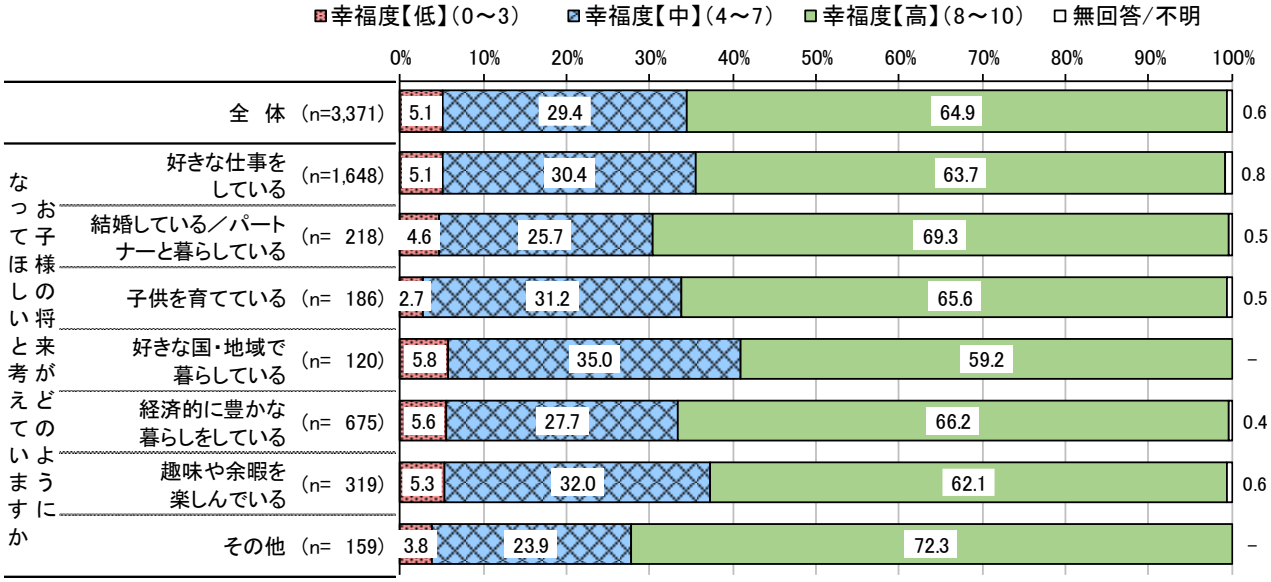
図表 2-175 あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「お子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「結婚している／パートナーと暮らしている」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.3%である。

図表 2-176 子供の幸福度(「お子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか」の回答別)



【自由記述】

その他 （お子様の将来がどのようになってほしいと考えているか）
人生を楽しんでいる（保護者・3歳）
幸せだと感じている（保護者・3歳）
健康で生きてる（保護者・3歳）
自立していれば良い（保護者・3歳）
平和に楽しく暮らしている（保護者・3歳）
本人の好きなことをしつつ、社会的道義を果たしていること（保護者・3歳）
障害児なので、一つでも多く、自力で出来る事が増えていてほしいです。（保護者・3歳）
自分らしく生きている（保護者・小3）
楽しく暮らしている（保護者・小3）
健康な生活（保護者・小3）
幸せに安心・安定して暮らしている（保護者・小3）
自分できめた人生ならなんでもOK！（保護者・小3）
ワークライフバランスが整った生活を送っている（保護者・小3）
嫌々何かをしていない生活を送って欲しい（保護者・小3）
社会人として自立（保護者・小5）
本人が自分に満足していて、幸せで生活できていれば何でも良いです。（保護者・小5）
自立して子供本人が幸せを感じる暮らしができていればよい（保護者・小5）
自身が納得して決めて道を歩んでいること（保護者・小5）
人と関わることを楽しんで過ごしてほしい（保護者・小5）
元気で健康に生きている（保護者・小5）
親亡きあと、安心して暮らせる場所を見つけてほしい（保護者・小5）
経済的に自立してほしい（保護者・中2）
何であれ、生きていて良かったと人生を謳歌していて欲しい（保護者・中2）
本人が選んだ人生で幸せに暮らしている（保護者・中2）
なんでもいいから健康で平和に生きてる（保護者・中2）
自立し自分の力で生きていける（保護者・中2）
自分に自信を持って行きていて欲しい（保護者・中2）
健康で心豊かに、経済的に自立している、家事も一通りできる（保護者・中2）
誰かのために行動できる人になってもらいたい（保護者・中2）
健康で幸せで笑顔でいればいい（保護者・17 歳）
人のためになる仕事をしている（保護者・17 歳）
平和に気持ち豊に暮らしている。（保護者・17 歳）
楽しく自分らしく暮らしている。（保護者・17 歳）
自立している（保護者・17 歳）
自身が目指す人生を歩んでいる（保護者・17 歳）
周りの「こうあるべき」にとらわれずに過ごしている。（保護者・17 歳）
健康で働いていれば良い（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。（1つだけ）

【全体】

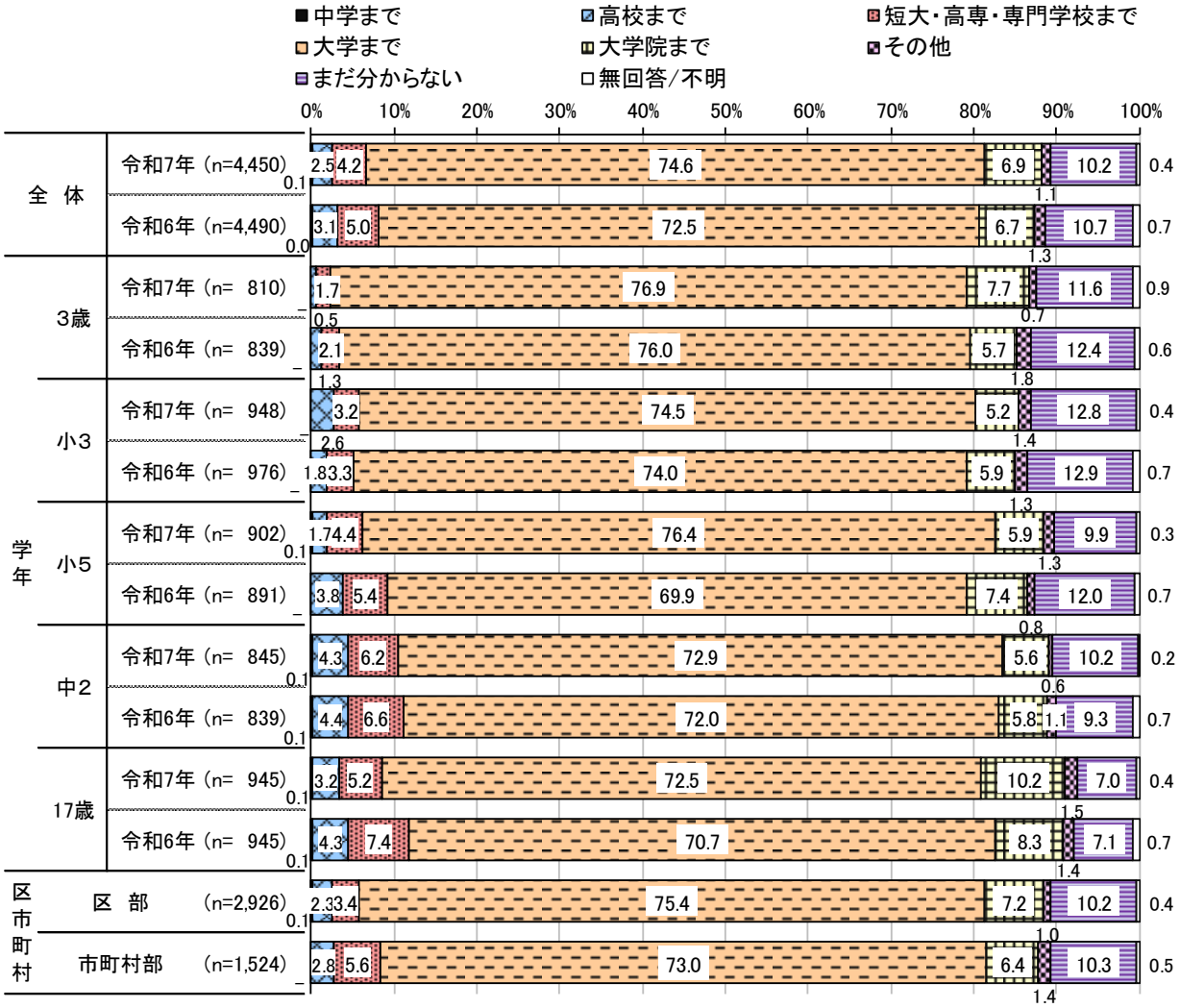
「大学まで」が 74.6％で最も高く、次いで「まだ分からない」が 10.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「大学まで」が最も高い。

経年比較でみると、小5で「大学まで」が 6.5 ポイント増加している。

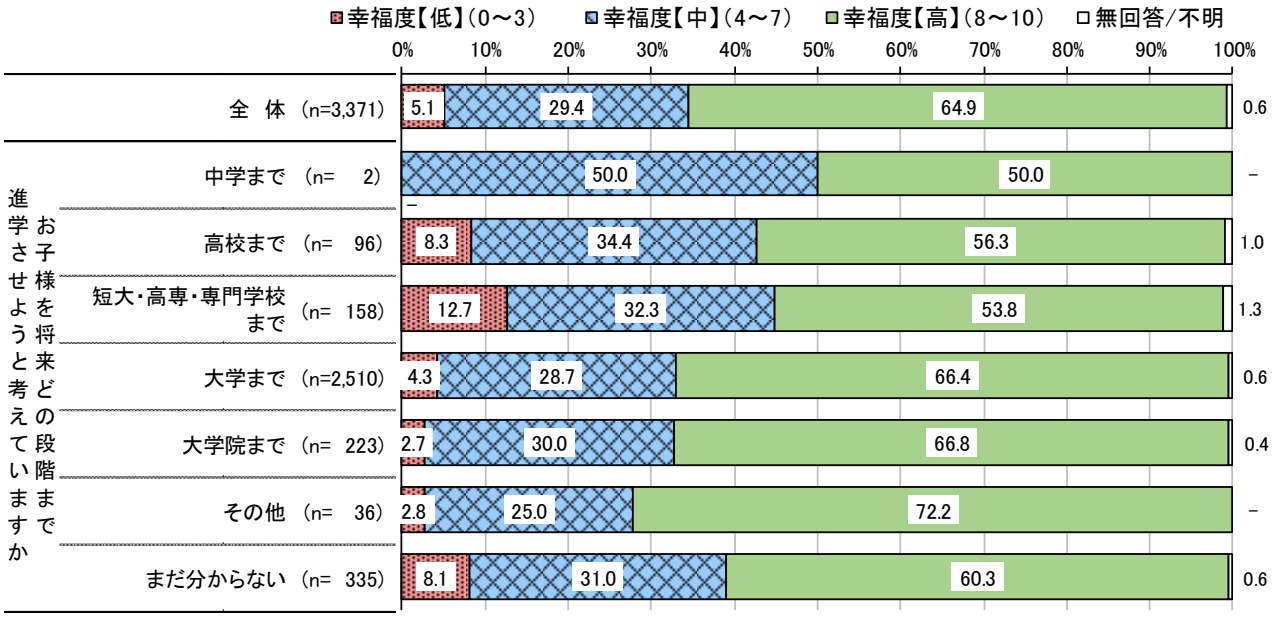
図表 2-177 お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「大学院まで」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 66.8%である。「短大・高専・専門学校まで」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 53.8%である。

図表 2-178 子供の幸福度(「お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか」の回答別)



【自由記述】

その他（お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか）
本人しだい（保護者・3歳）
本人の希望による（保護者・3歳）
大学or大学院まで（保護者・小3）
本人の希望に沿いたい選択肢がいくつかある準備をしてあげたい。（保護者・小3）
特別支援学校高等部（保護者・小3）
本人の意向次第（保護者・小3）
子どもが望んで出来るところまで（保護者・小3）
やりたい事を学べる学校まで、なければ中学までで良い（保護者・小3）
助言はするが本人に任せる（保護者・小3）
本人の希望次第（保護者・小5）
本人が望む段階まで（保護者・小5）
本人次第（保護者・小5）
大学もしくは大学院まで（子の希望による）（保護者・小5）
自分で好きなように（保護者・小5）
本人の希望を重視したい（保護者・小5）
本人の意思と学力があれば大学まで（保護者・小5）
大学以上で本人が望む程度（保護者・小5）
本人の希望で決める（保護者・中2）
資金としては大学までは援助するつもり　あとは子どもがどこまで学びたいか（保護者・中2）
医師になるまで（保護者・中2）
本人が学びたいことを学べるようにサポートしていきたい（保護者・中2）
本人の希望するところまで（保護者・17 歳）
本人の好きでよい（保護者・17 歳）
本人の希望通りにサポートする（保護者・17 歳）
留学（保護者・17 歳）
好きな進路を自分で選べたらいいと思う（保護者・17 歳）
特別支援学校（保護者・17 歳）
学校など機関にはこだわらず、自己を活かし楽しめる仲間と出会える「場」。（保護者・17 歳）
本人次第（保護者・17 歳）
音楽留学（保護者・17 歳）

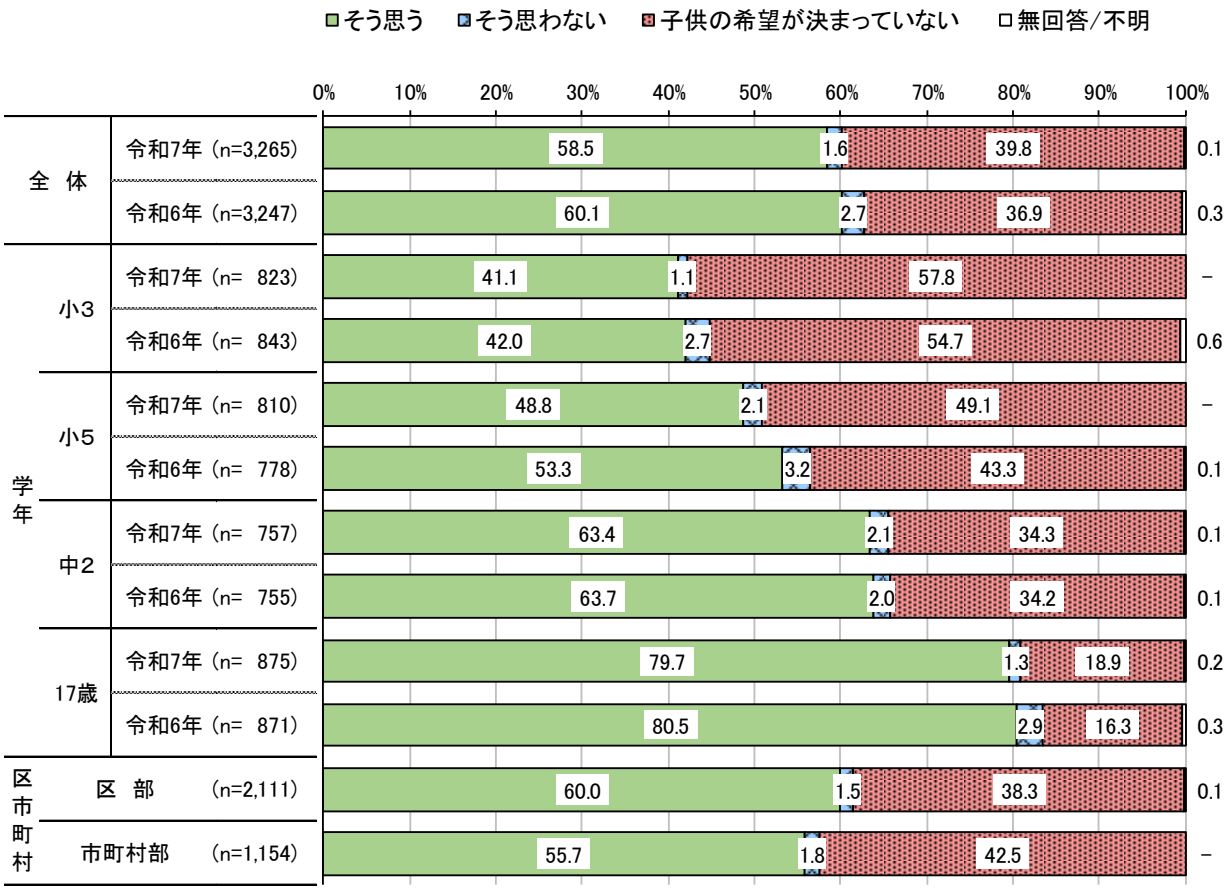
（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 46.【問 45 で「中学まで」～「大学院まで」「その他」と回答された方にお聞きします。】
それは、お子様の希望と合っていると思いますか。（1つだけ）

【全体】
「そう思う」が 58.5％で最も高く、次いで「子供の希望が決まっていない」が 39.8％である。

【学年別】
小3、小5では「お子様の希望が決まっていない」がそれぞれ 57.8％、49.1％で最も高い。中2、17 歳では「そう思う」がそれぞれ 63.4％、79.7％で最も高い。「子供の希望が決まっていない」は、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、小3では 57.8％に対して、17 歳では 18.9％である。

経年比較でみると、小5で「お子様の希望が決まっていない」が 5.8 ポイント増加している。

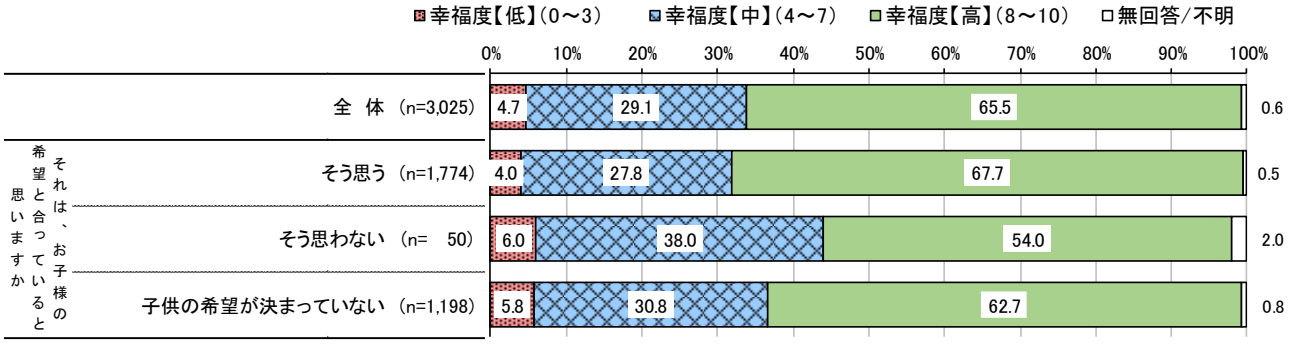
図表 2-179 それは、お子様の希望と合っていると思いますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「それは、お子様の希望と合っていると思いますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 67.7%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 54.0%である。

図表 2-180 子供の幸福度(「それは、お子様の希望と合っていると思いますか」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。（いくつでも）

【全体】

「進学費用が足りないなどの経済的な問題」が 48.9％で最も高く、次いで「子供の努力不足」が 32.9％、「お子様の希望する将来像や進路を実現する方法が分からない」が 28.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「進学費用が足りないなどの経済的な問題」が最も高い。

経年比較でみると、小5で「子供の努力不足」が 5.5 ポイント増加している。

【区市町村別】

市町村部では「進学費用が足りないなどの経済的な問題」が 52.4 ポイントと、区部より 5.4 ポイント高い。

図表 2-181 お子様の将来の夢や進路に関する問題 ＜複数回答＞

(%)

			n	進学費用が足りないなどの経済的な問題	子供の希望する将来像や進路を実現する方法が分からない	保護者と子供の考え方の違い	子供の健康上の問題	子供の努力不足	その他	特に問題はない	無回答/不明	将来像や進路に問題がある（計）
全体		令和7年	3,640	48.9	28.3	13.5	5.4	32.9	3.3	16.9	0.5	82.5
		令和6年	3,651	47.2	28.3	11.7	5.0	31.9	3.9	17.8	1.0	81.2
	小3	令和7年	948	51.2	25.0	16.5	5.3	27.7	3.3	17.9	0.6	81.4
		令和6年	976	52.6	27.7	14.5	4.2	27.9	4.5	16.8	1.1	82.1
	小5	令和7年	902	50.9	30.0	16.0	3.8	33.4	2.9	15.4	0.6	84.0
		令和6年	891	48.6	29.1	12.6	3.4	27.9	3.8	18.3	0.9	80.8
	中2	令和7年	845	47.1	30.1	12.3	5.9	38.1	3.8	17.0	0.6	82.4
		令和6年	839	42.4	32.5	11.6	4.9	37.2	4.9	17.0	1.1	81.9
	17歳	令和7年	945	46.3	28.3	9.1	6.6	32.9	3.2	17.2	0.4	82.3
		令和6年	945	44.7	24.7	8.0	7.5	34.9	2.3	19.0	1.1	79.9
区市町村	区部		2,359	47.0	29.2	13.5	5.3	33.7	2.9	17.6	0.6	81.7
	市町村部		1,281	52.4	26.5	13.3	5.5	31.5	4.0	15.6	0.4	84.0

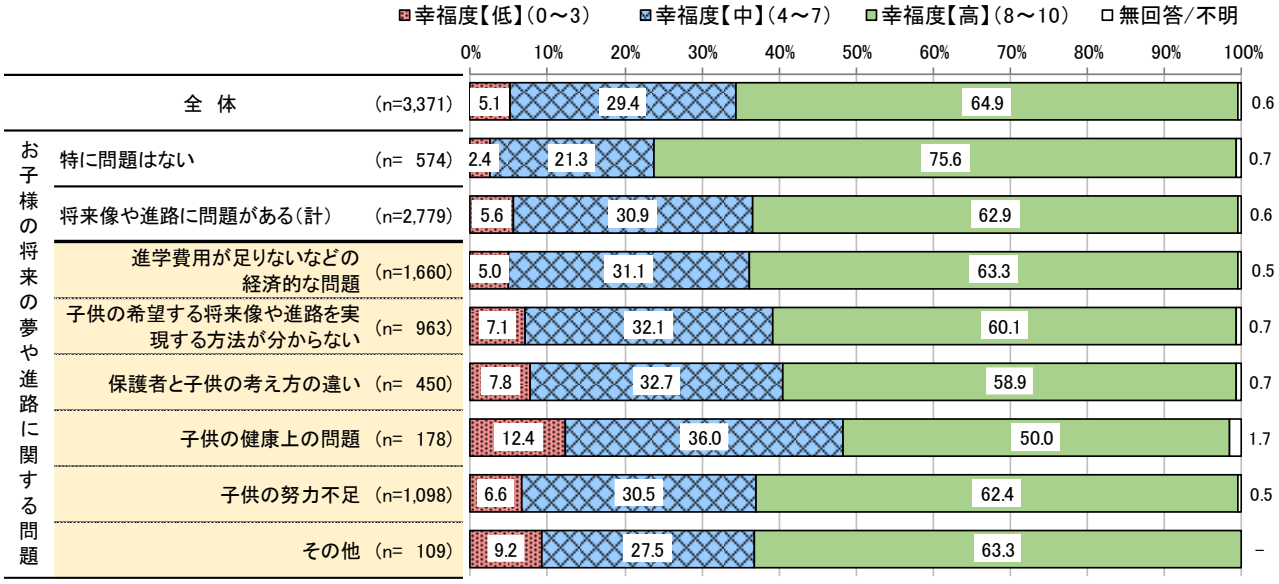
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※将来像や進路の問題がある（計）は「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「子供の努力不足」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「お子様の将来の夢や進路に関する問題」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に問題はない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が75.6%である。「将来像や進路に問題がある(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は62.9%である。

図表 2-182 子供の幸福度(「お子様の将来の夢や進路に関する問題」の回答別)



【自由記述】

その他（お子様の将来の夢や進路に関する問題）
人との関わり方（保護者・小3）
国の経済政策など政治。（保護者・小3）
子供が将来の進路を考える機会が無い（保護者・小3）
親以外のすばらしい指導者にであえるか否か（保護者・小3）
情報不足（保護者・小3）
本人のメンタルと興味と意欲（保護者・小3）
夫婦間での意見の違い。（保護者・小3）
学校の宿題などのため、本人が行いたい学習時間が取れない事（保護者・小3）
不登校なので今はそこが課題です（保護者・小3）
親側の健康が保たれていくか（保護者・小5）
留学制度　スカラーシップなど希望とそぐわない（保護者・小5）
相談する相手や場所がない（保護者・小5）
夢ーやりたいこと、がないと言うこと（保護者・小5）
未来の日本がどの様に変わっているか？（保護者・小5）
先を見とおして考えることは苦手です。知的にゆっくり成長なので（保護者・小5）
子供自身が他者とのコミュニケーションを取るのが苦手で、なかなか改善しない事。（保護者・小5）
夢ややりたい事を追えるほど追求できるか。（保護者・小5）
進路がまだはっきり決まっていない（保護者・中2）
ゲーム以外やらない（保護者・中2）
職業などのたくさんの選択肢を与えてあげられない（保護者・中2）
夢や将来像があまりない（保護者・中2）
子どもが境界知能ではと思うことがあるが、学校でそういうことも調査するようなことをしてほしい。子どもに「調べに行こう」とは言いにくいため。（本人が傷つくのではないかと思い）（保護者・中2）
本人が将来に希望が持てていない。（保護者・中2）
社会情勢（保護者・中2）
教育者の問題や友人関係（保護者・中2）
子どもが自分の目標を自分ごととしてとらえられるかどうか（保護者・中2）
暗いニュースが多いからか必要以上に将来に不安を感じていること（子どもが）（保護者・17 歳）
子供自身がやりたい事がみつかっていない（保護者・17 歳）
努力不足だとは思わないが、限られた時間を有効に使えていない（保護者・17 歳）
本人の気持ち。（保護者・17 歳）
部活と勉強の両立（保護者・17 歳）
子供それぞれのタイミングにあう進学などのシステムがない（保護者・17 歳）
精神的忍耐力の不足（保護者・17 歳）
目標がまだない（保護者・17 歳）
世界が平和でない場合（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 48. あなたの世帯の世帯年収は、次のうちどれですか。（1つだけ）

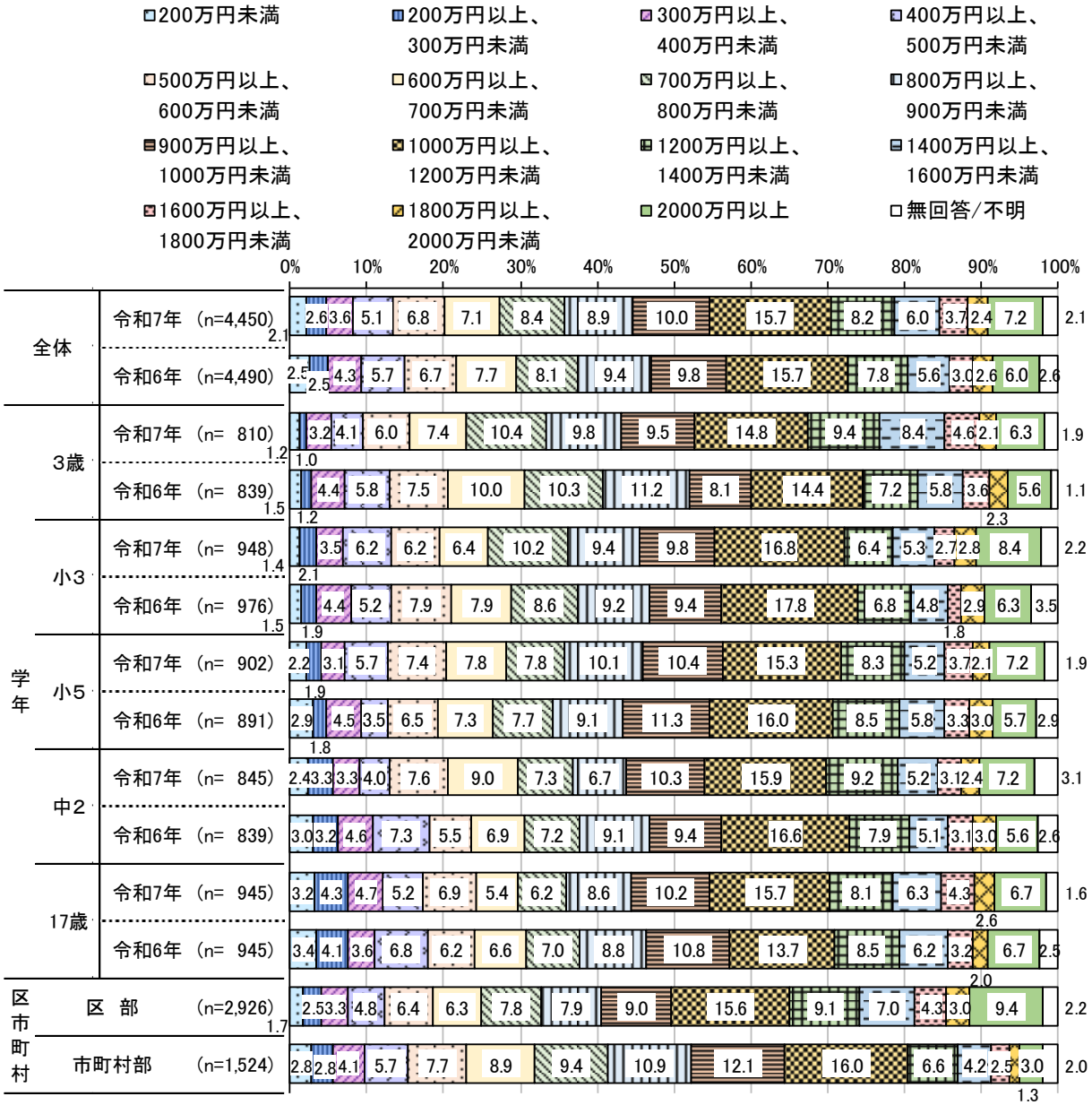
【全体】

「1000 万円以上、1200 万円未満」が 15.7%で最も高く、次いで「900 万円以上、1000 万円未満」が 10.0%、「800 万円以上、900 万円未満」が 8.9%である。

【学年別】

いずれの学年でも「1000 万円以上、1200 万円未満」が最も高く、次いで、3歳と小3では「700 万円以上、800 万円未満」がそれぞれ 10.4%と 10.2%で、その他の学年では「900 万円以上、1000 万円未満」が小5は 10.4%、中2は 10.3%、17 歳は 10.2%で続く。

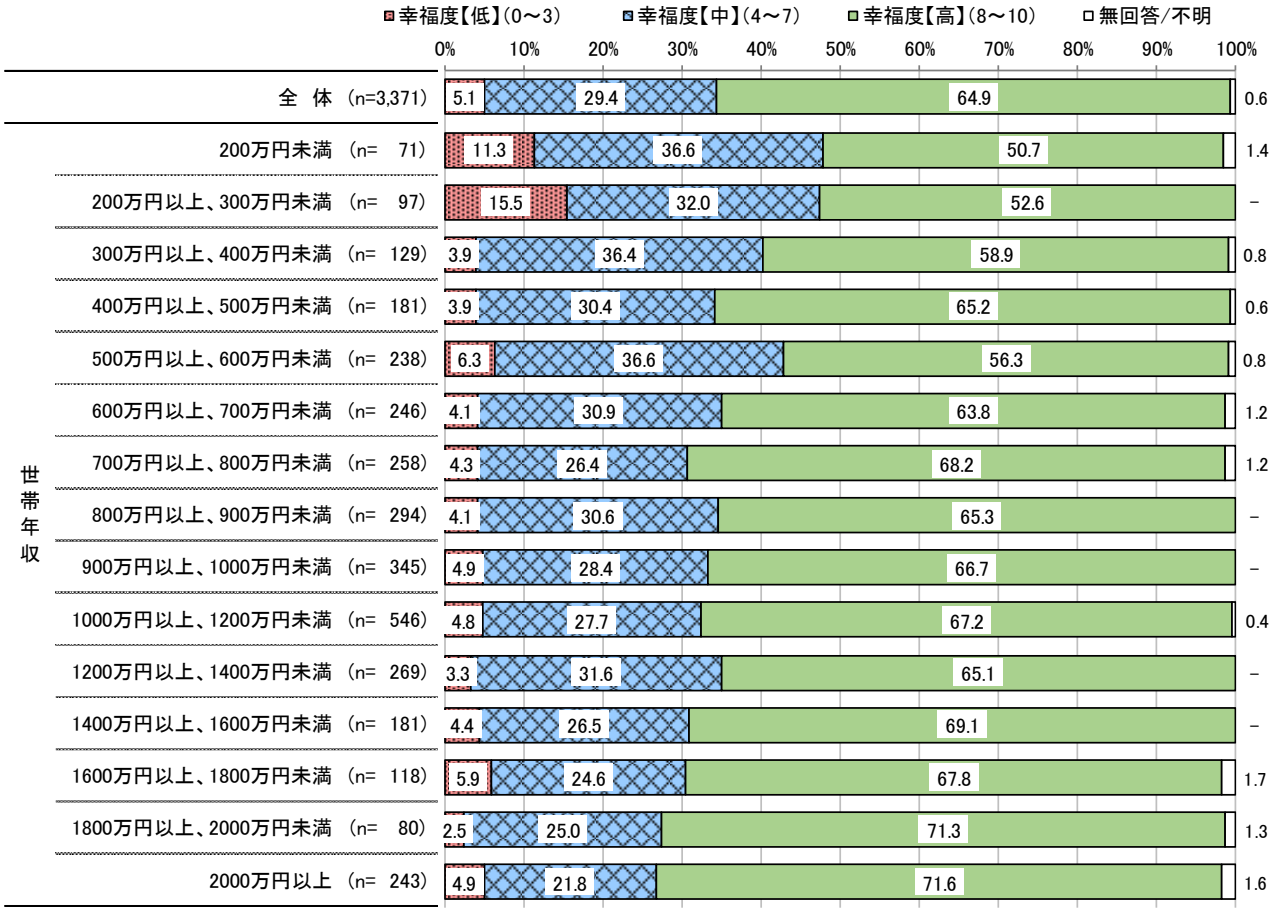
図表 2-183 あなたの世帯の世帯年収 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「世帯年収」の回答別に子供の幸福度をみると、「2000 万円以上」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 71.6%である。

図表 2-184 子供の幸福度(「世帯年収」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（A　学費（教材費などを除く））

【全体】

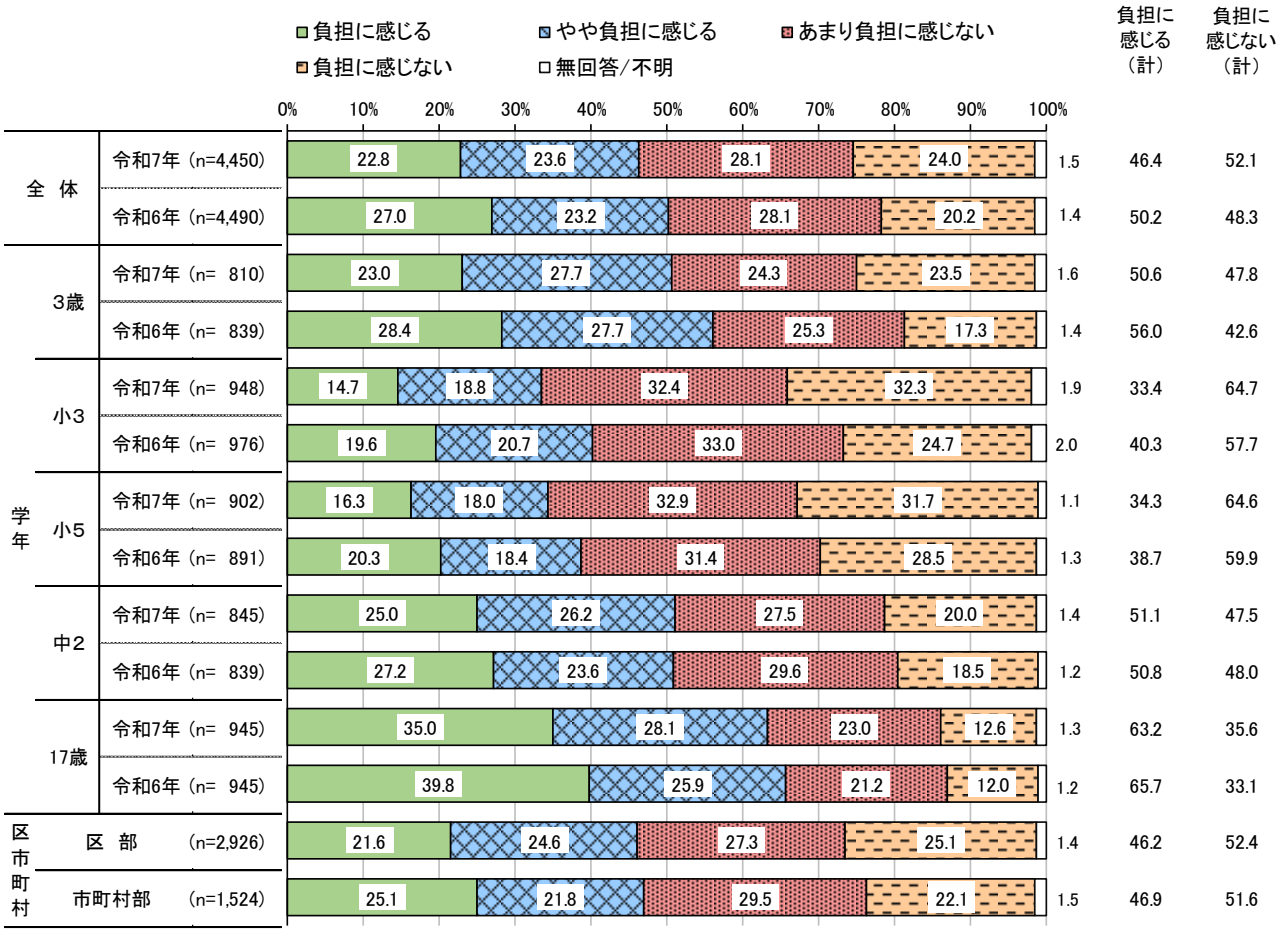
「あまり負担に感じない」が 28.1％で最も高い。学費（教材費などを除く）を負担に感じない（計）は 52.1％である。

【学年別】

学費（教材費などを除く）を負担に感じる（計）は、小3が 33.4％で最も低く、17 歳は 63.2％で最も高い。

経年比較でみると、3歳で 5.4 ポイント、小3で 6.9 ポイント、負担に感じる（計）が減少した。

図表 2-185　A 学費（教材費などを除く）の負担感　＜単一回答＞



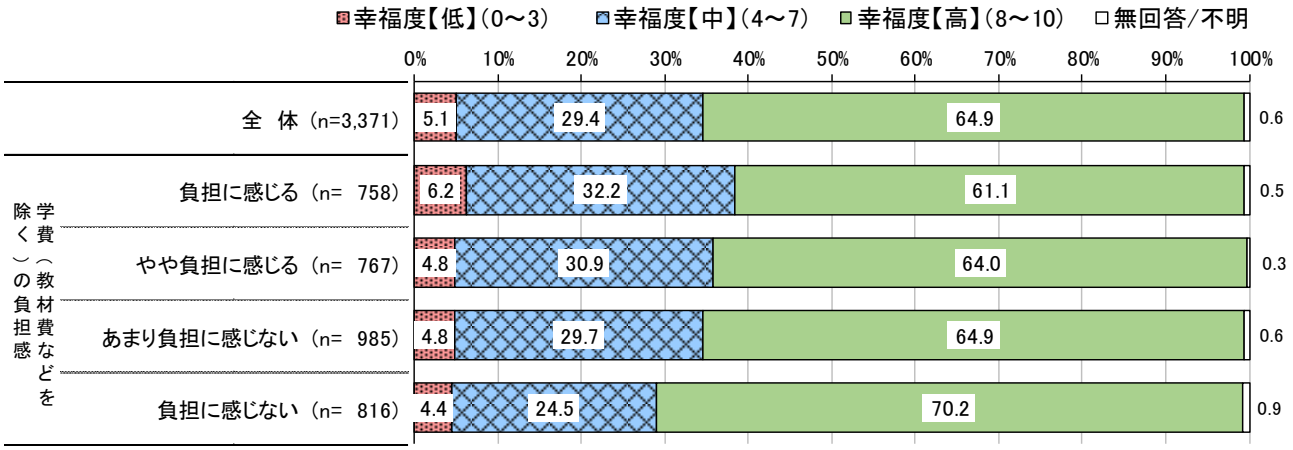
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「学費（教材費などを除く）の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 61.1％で、「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 70.2％である。

図表 2-186 子供の幸福度（「学費（教材費などを除く）の負担感」の回答別）



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（B　学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など））

【全体】

「あまり負担に感じない」が 32.9％で最も高い。学費以外の学校にかかる費用を負担に感じない（計）は 61.1％である。

【学年別】

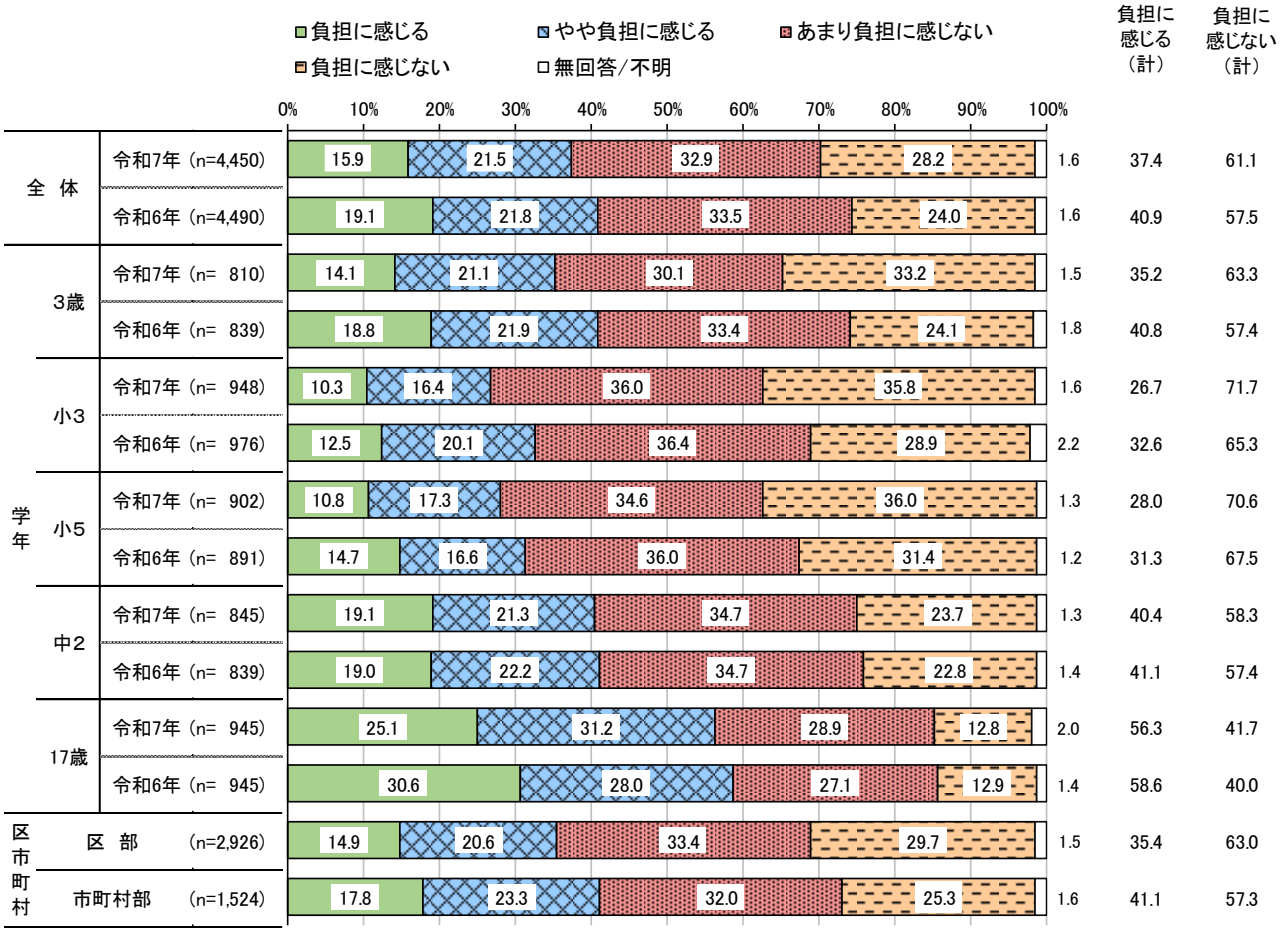
「負担に感じる」は 17 歳で最も高く 25.1％である。

経年比較でみると、3歳で 5.6 ポイント、小3で 5.9 ポイント、学費以外の学校にかかる費用を負担に感じる（計）が減少している。

【区市町村別】

市町村部では、負担に感じる（計）が 41.1％と、区部に比べて 5.7 ポイント高い。

図表 2-187　B 学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など）の負担感　＜単一回答＞



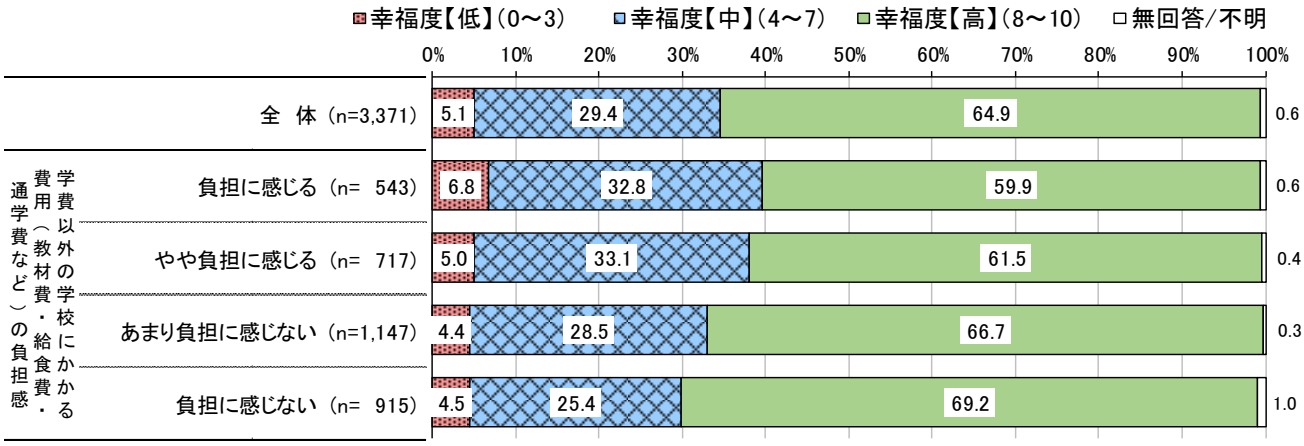
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「学費以外の学校にかかる費用（教材費や給食費、通学費など）の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 59.9％である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 69.2％である。

図表 2-188 子供の幸福度（「学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など）の負担感」の回答別）



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（C　塾や習い事に関する費用）

【全体】

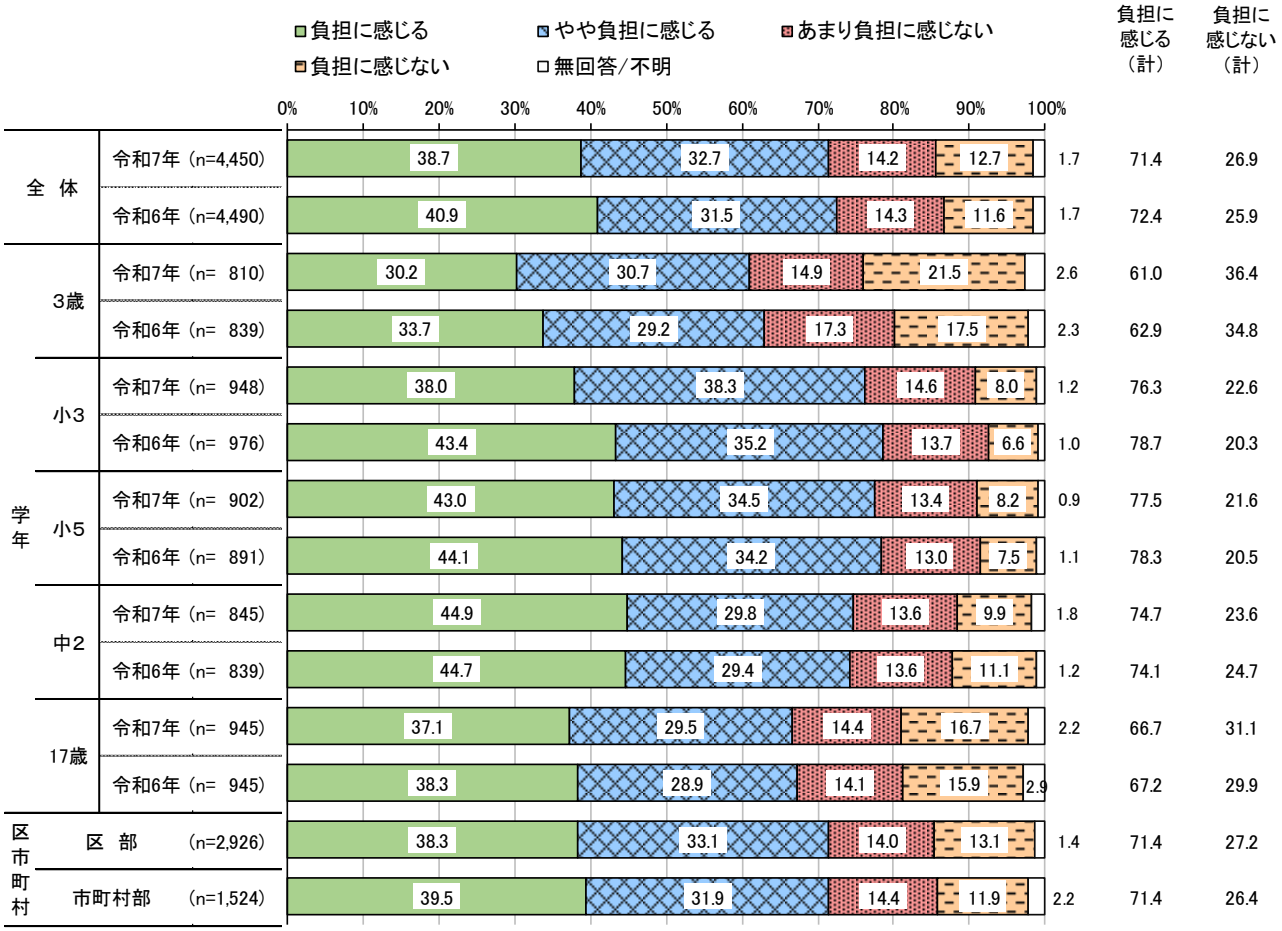
「負担に感じる」が 38.7％で最も高く、次いで「やや負担に感じる」が 32.7％である。塾や習い事に関する費用を負担に感じる（計）は 71.4％である。

【学年別】

3歳と小3では「やや負担に感じる」が、小5、中2、17 歳では「負担に感じる」が最も高い。塾や習い事に関する費用を負担に感じる（計）は、3歳で 61.0％、小3で 76.3％、小5で 77.5％、中2で 74.7％、17 歳で 66.7％である。

経年比較でみると、小3で「負担に感じる」が 5.4 ポイント減少している。

図表 2-189　C 塾や習い事に関する費用の負担感　＜単一回答＞



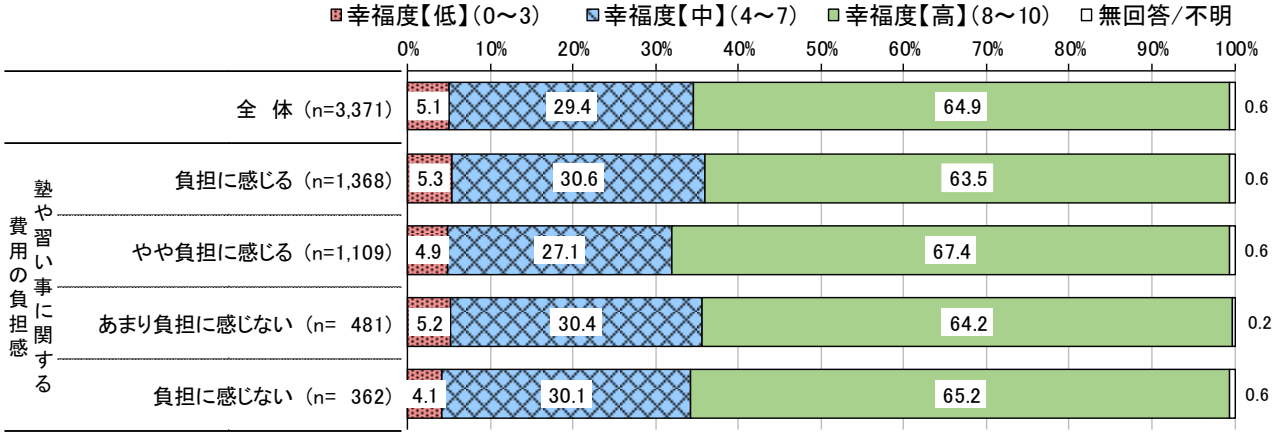
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「塾や習い事に関する費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 63.5%である。

図表 2-190 子供の幸福度(「塾や習い事に関する費用の負担感」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 部活（クラブ活動）に関する費用）

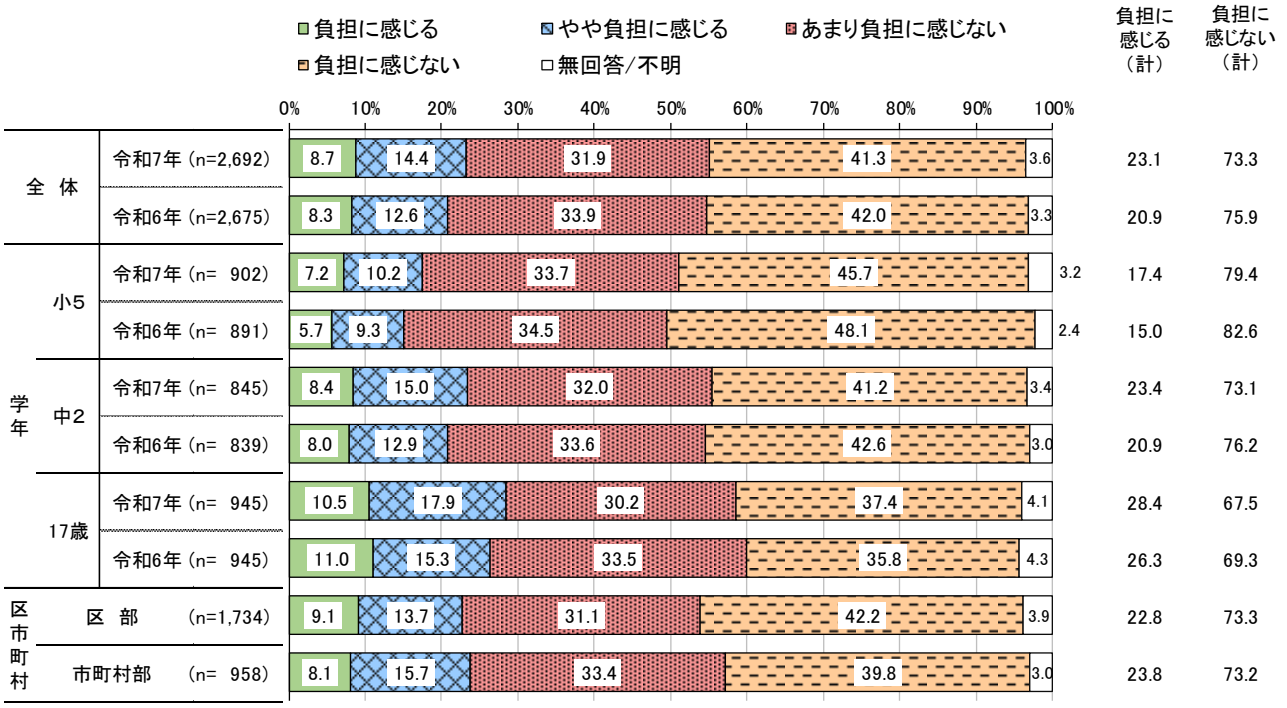
【全体】

「負担に感じない」が 41.3％で最も高く、次いで「あまり負担に感じない」が 31.9％である。部活（クラブ活動）に関する費用を負担に感じる（計）は 23.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「負担に感じない」が最も高い。部活（クラブ活動）に関する費用を負担に感じる（計）は、学年が上がるにつれて増加傾向にあり、小5では 17.4％、中2では 23.4％、17 歳では 28.4％である。

図表 2-191 D 部活（クラブ活動）に関する費用の負担感 ＜単一回答＞

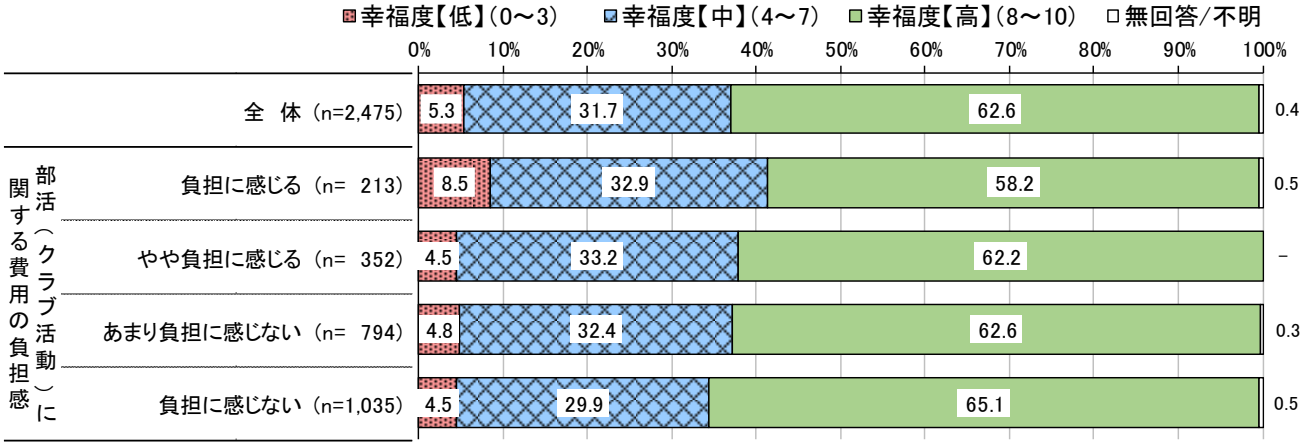


※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。
負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「部活(クラブ活動)に関する費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 58.2%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 65.1%である。

図表 2-192 子供の幸福度(「部活(クラブ活動)に関する費用の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（E　食費）

【全体】

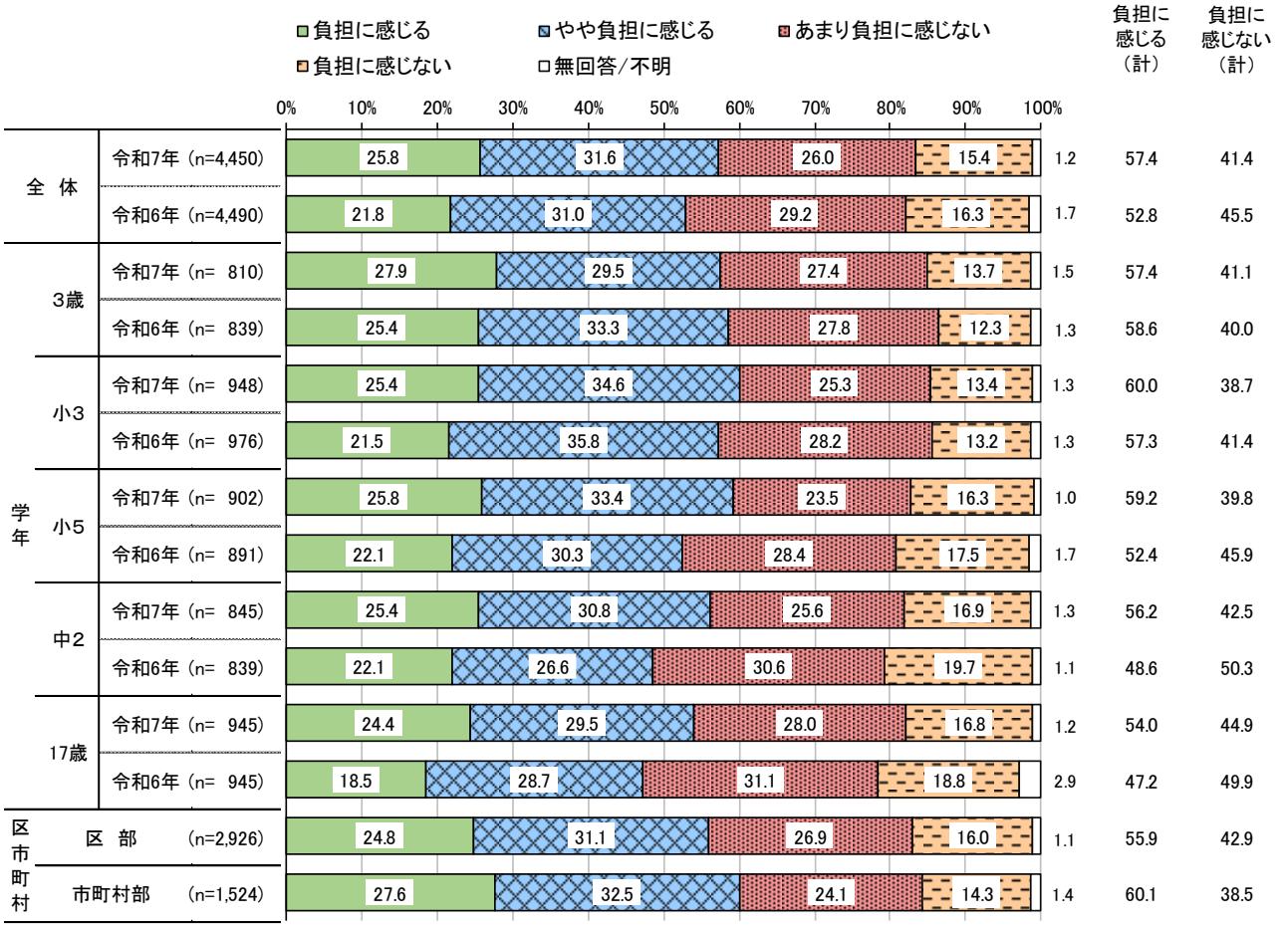
「やや負担に感じる」が 31.6％で最も高く、食費を負担に感じる（計）は 57.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「やや負担に感じる」が最も高い。

経年比較でみると、中2で 7.6 ポイント、小5と 17 歳でそれぞれ 6.8 ポイント、食費を負担に感じる（計）が増加しており、中でも 17 歳では「負担に感じる」が 5.9 ポイント増加している。

図表 2-193 E 食費の負担感 ＜単一回答＞



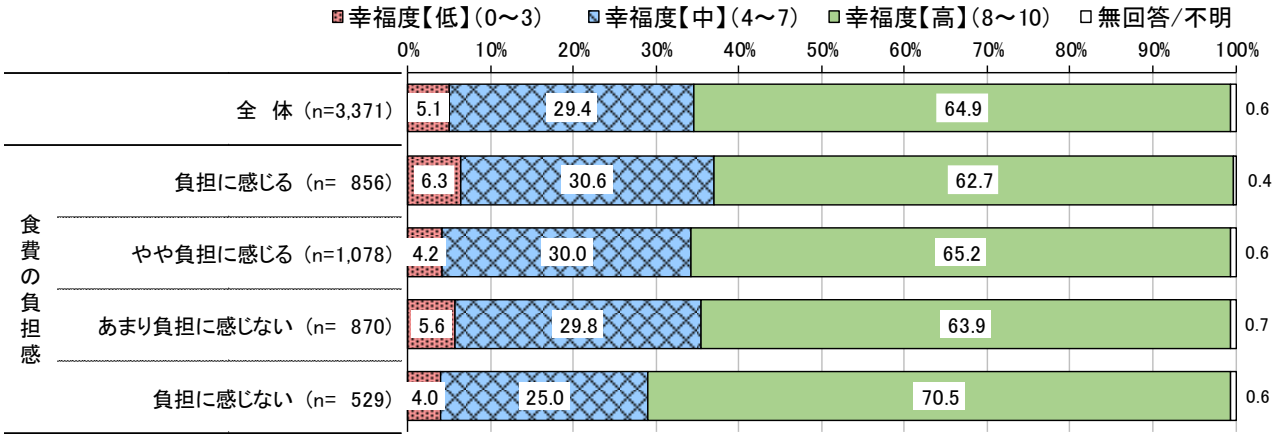
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「食費の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 62.7%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 70.5%である。

図表 2-194 子供の幸福度(「食費の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（F　住居費）

【全体】

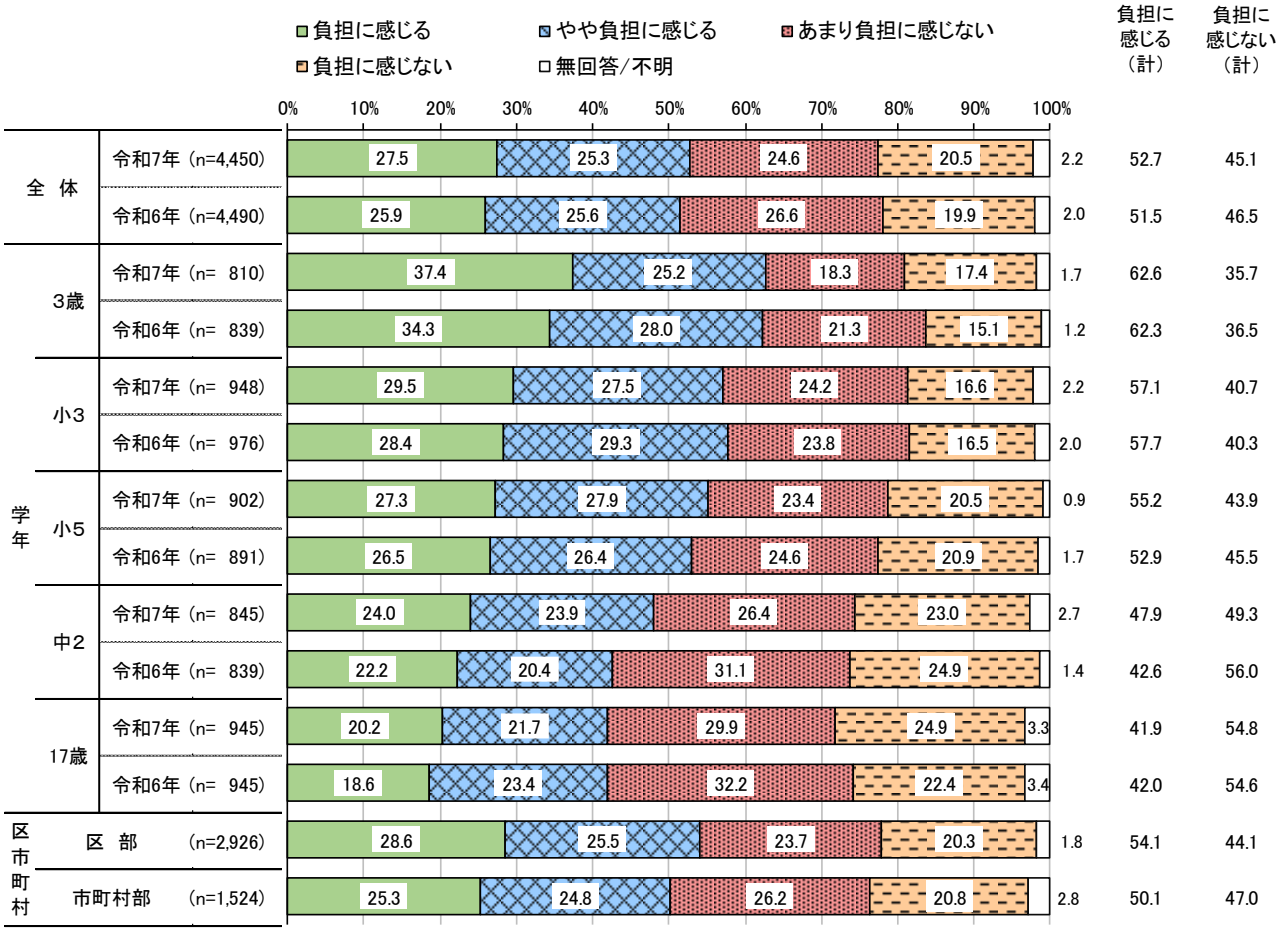
「負担に感じる」が 27.5％で最も高く、次いで「やや負担に感じる」が 25.3％、「あまり負担に感じない」が 24.6％である。住居費を負担に感じる（計）は 52.7％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、住居費を負担に感じる（計）は減少傾向である。

経年比較でみると、住居費を負担に感じる（計）は、中2で 5.3 ポイント増加している。

図表 2-195　F 住居費の負担感　＜単一回答＞



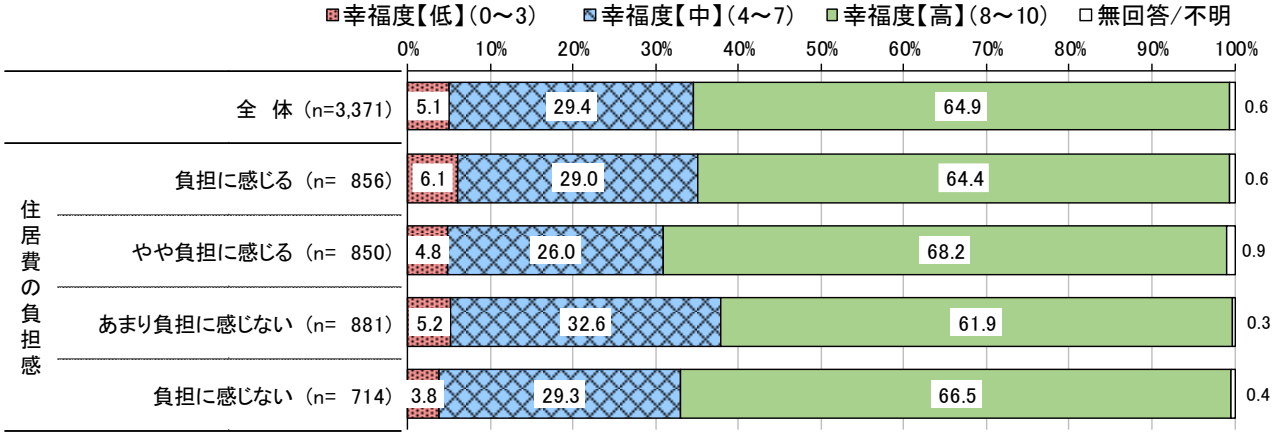
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「住居費の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 66.5%。

図表 2-196 子供の幸福度(「住居費の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（G　旅行やレジャーなどにかかる費用）

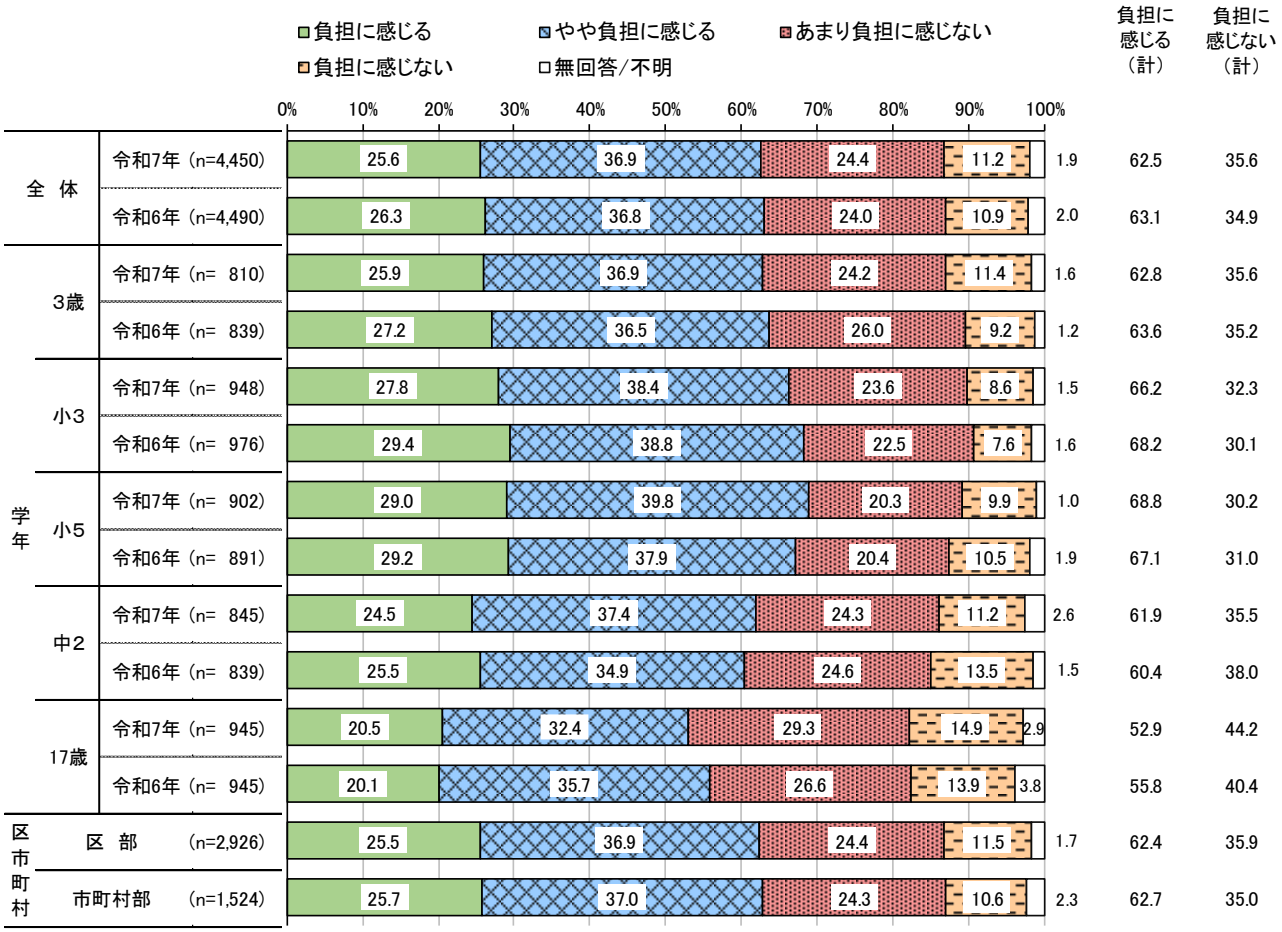
【全体】

「やや負担に感じる」が 36.9％で最も高く、旅行やレジャーなどにかかる費用を負担に感じる（計）は 62.5％である。

【学年別】

旅行やレジャーなどにかかる費用を負担に感じる（計）は、3歳、小3、小5、中2は 61.9％以上だが、17 歳では 52.9％である。

図表 2-197　G 旅行やレジャーなどにかかる費用の負担感　＜単一回答＞



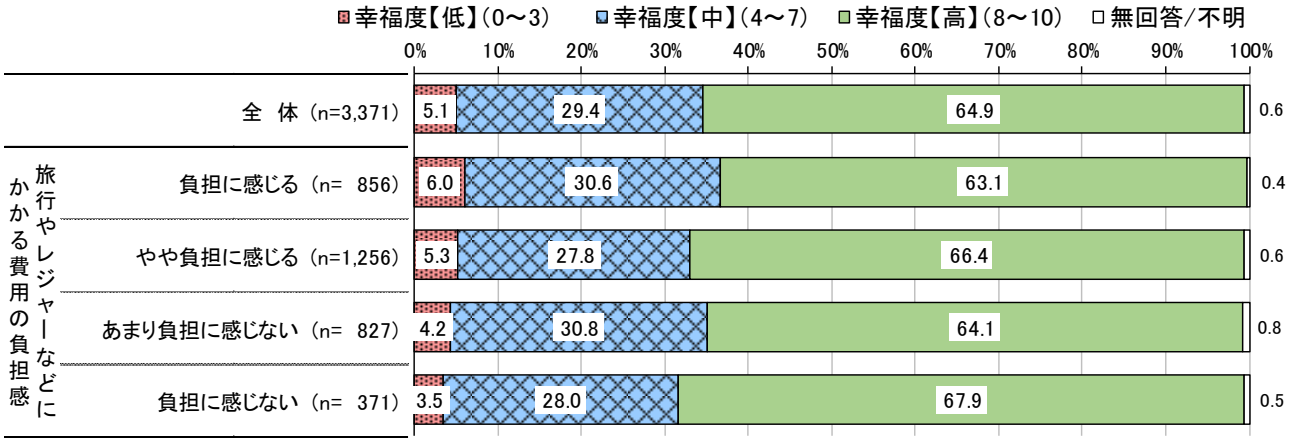
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「旅行やレジャーなどにかかる費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 63.1%であり、「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 67.9%である。

図表 2-198 子供の幸福度(「旅行やレジャーなどにかかる費用」の負担感の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（H　靴や洋服などの服飾費用）

【全体】

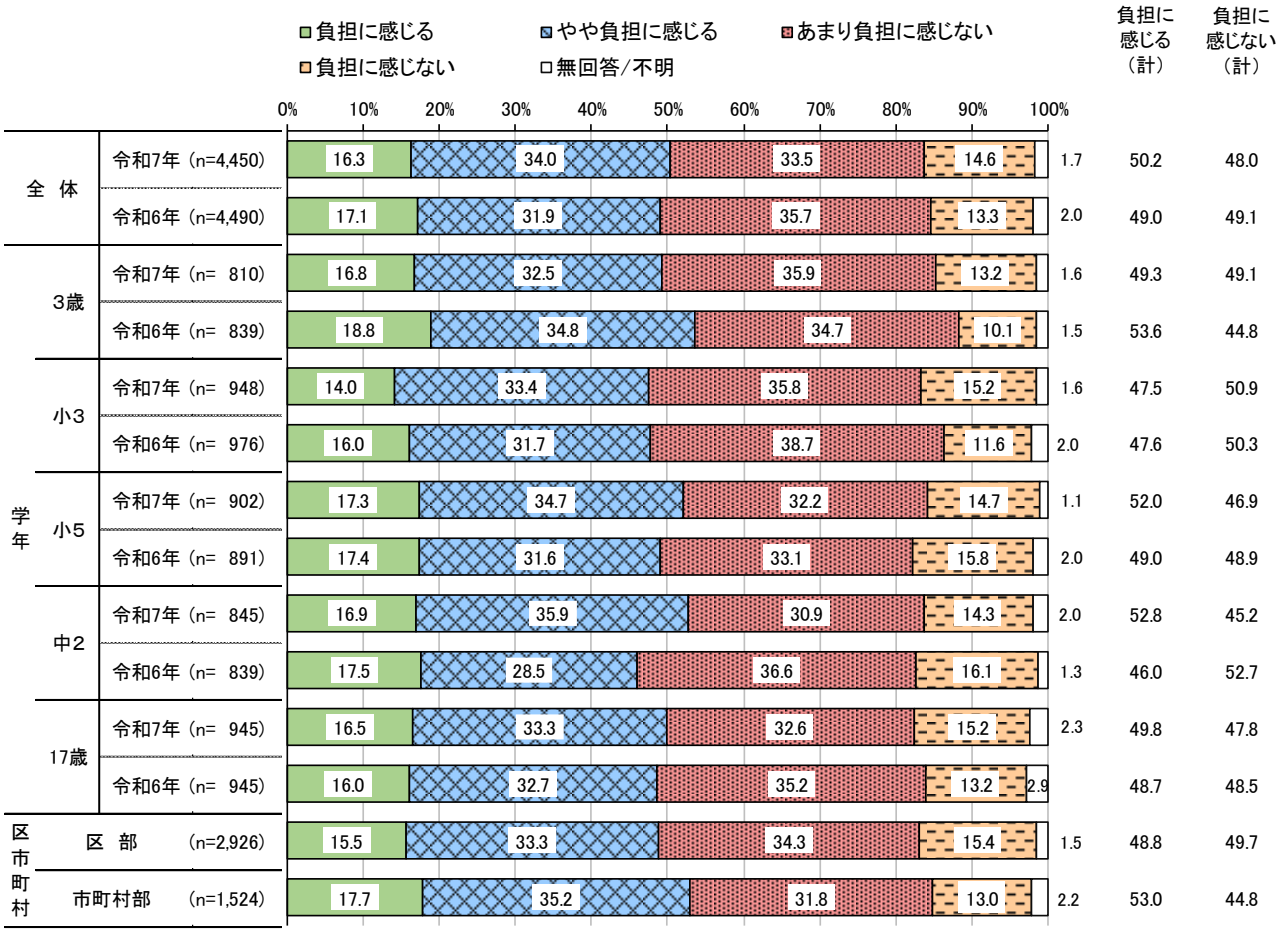
「やや負担に感じる」が 34.0％で最も高い。靴や洋服などの服飾費用を負担に感じる（計）は、50.2％である。

【学年別】

靴や洋服などの服飾費用を負担に感じる（計）は、中2の 52.8％が最も高い。

経年比較でみると、靴や洋服などの服飾費用を負担に感じる（計）は、中2で 6.8 ポイント増加している。

図表 2-199　H 靴や洋服などの服飾費用の負担感　＜単一回答＞



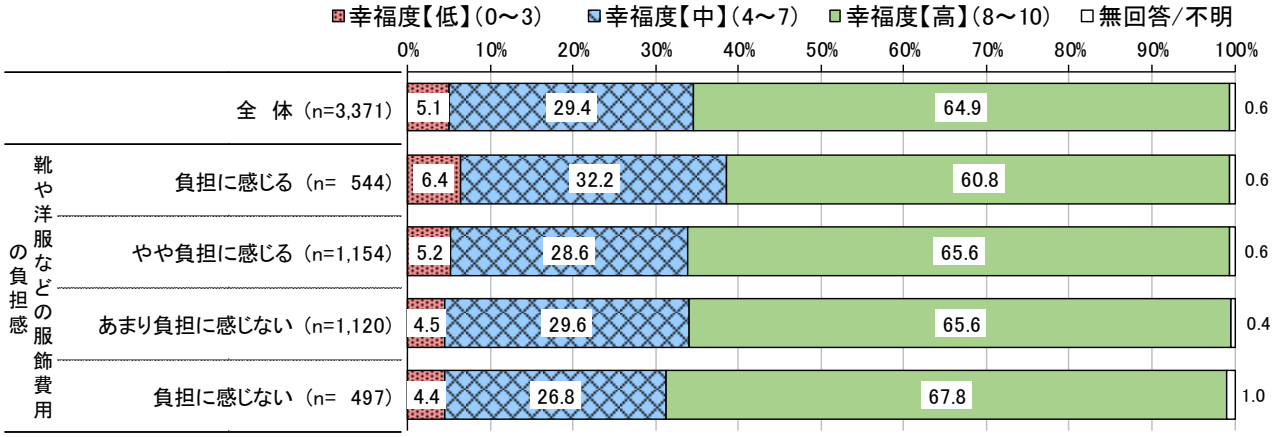
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「靴や洋服などの服飾費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.8%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 67.8%である。

図表 2-200 子供の幸福度(「靴や洋服などの服飾費用の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（I パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用）

【全体】

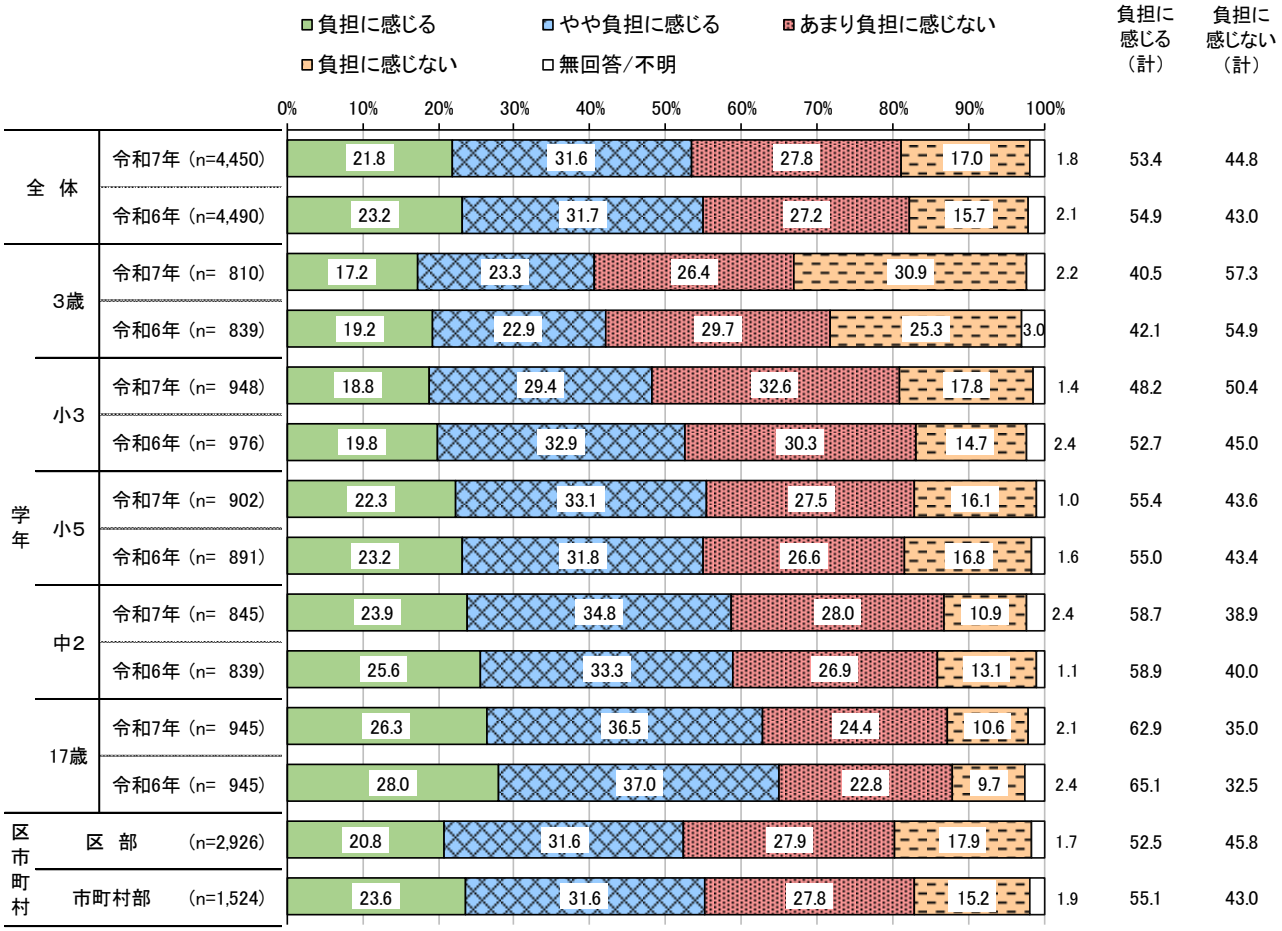
「やや負担に感じる」が 31.6％と最も高く、「負担に感じる」は 21.8％である。パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用を負担に感じる（計）は 53.4％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用を負担に感じる（計）は増加傾向にあり、17 歳では 62.9％である。

経年比較でみると、小3でパソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用を負担に感じない（計）が 5.4 ポイント増加している。

図表 2-201 I パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用の負担感 ＜単一回答＞



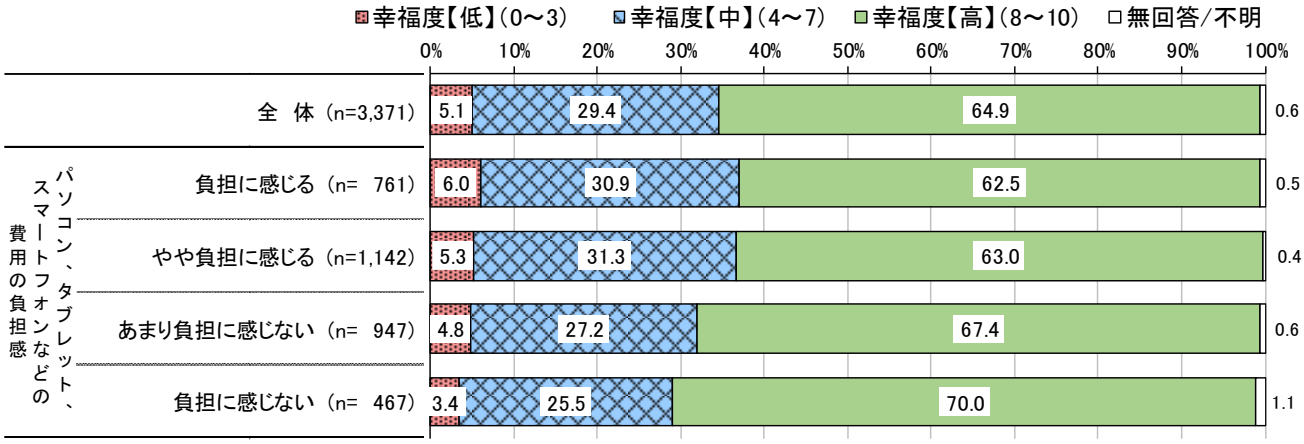
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 62.5%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 70.0%である。

図表 2-202 子供の幸福度(「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用」の負担感の回答別)



（保護者：共通）問 50. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。

（1つだけ）

【全体】

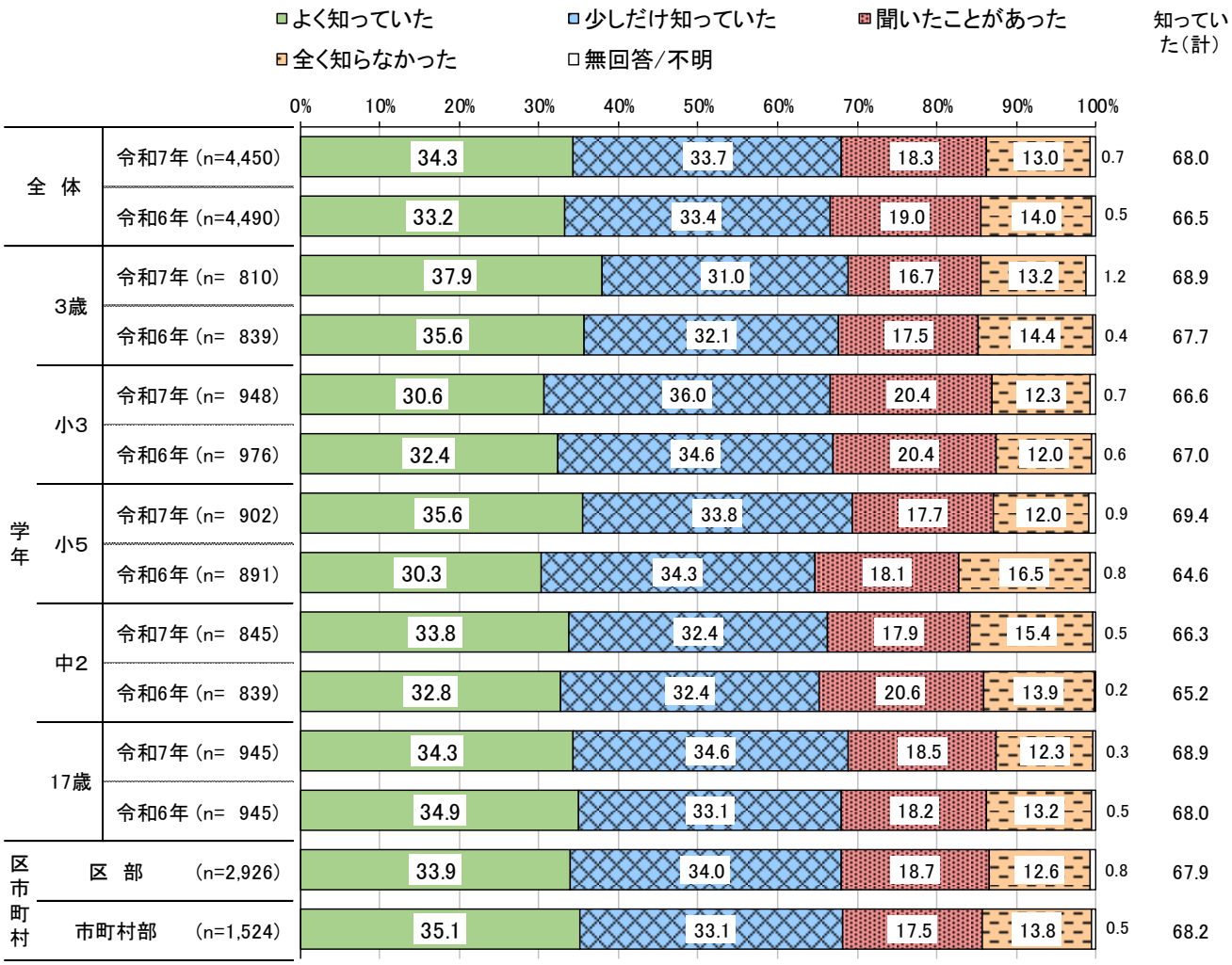
「よく知っていた」が 34.3％で最も高く、次いで「少しだけ知っていた」が 33.7％であり、子供が権利の主体であることを知っていた（計）は 68.0％である。

【学年別】

子供が権利の主体であることを知っていた（計）は、3歳で 68.9％、小3では 66.6％、小5では 69.4％、中2では 66.3％、17 歳では 68.9％である。

経年比較でみると、小5で「よく知っていた」が 5.3 ポイント増加している。

図表 2-203 子供が権利の主体であることの認知度 ＜単一回答＞

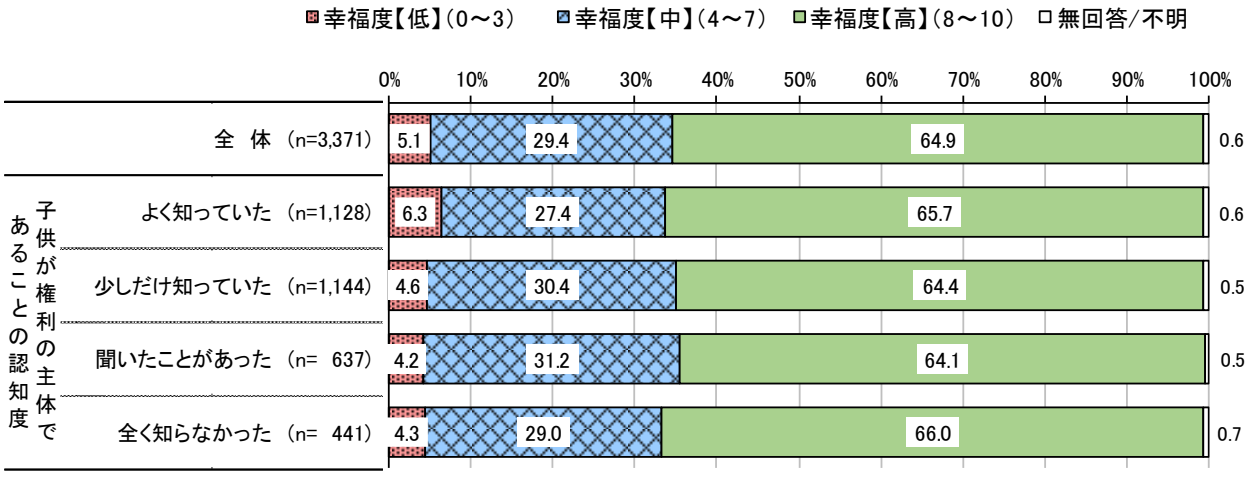


※知っていた（計）は「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「よく知っていた」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 65.7%である。

図表 2-204 子供の幸福度(「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別)



（保護者：共通）問 51. 東京都では、子供の権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように「東京都こども基本条例」を定めています。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。（1つだけ）

【全体】

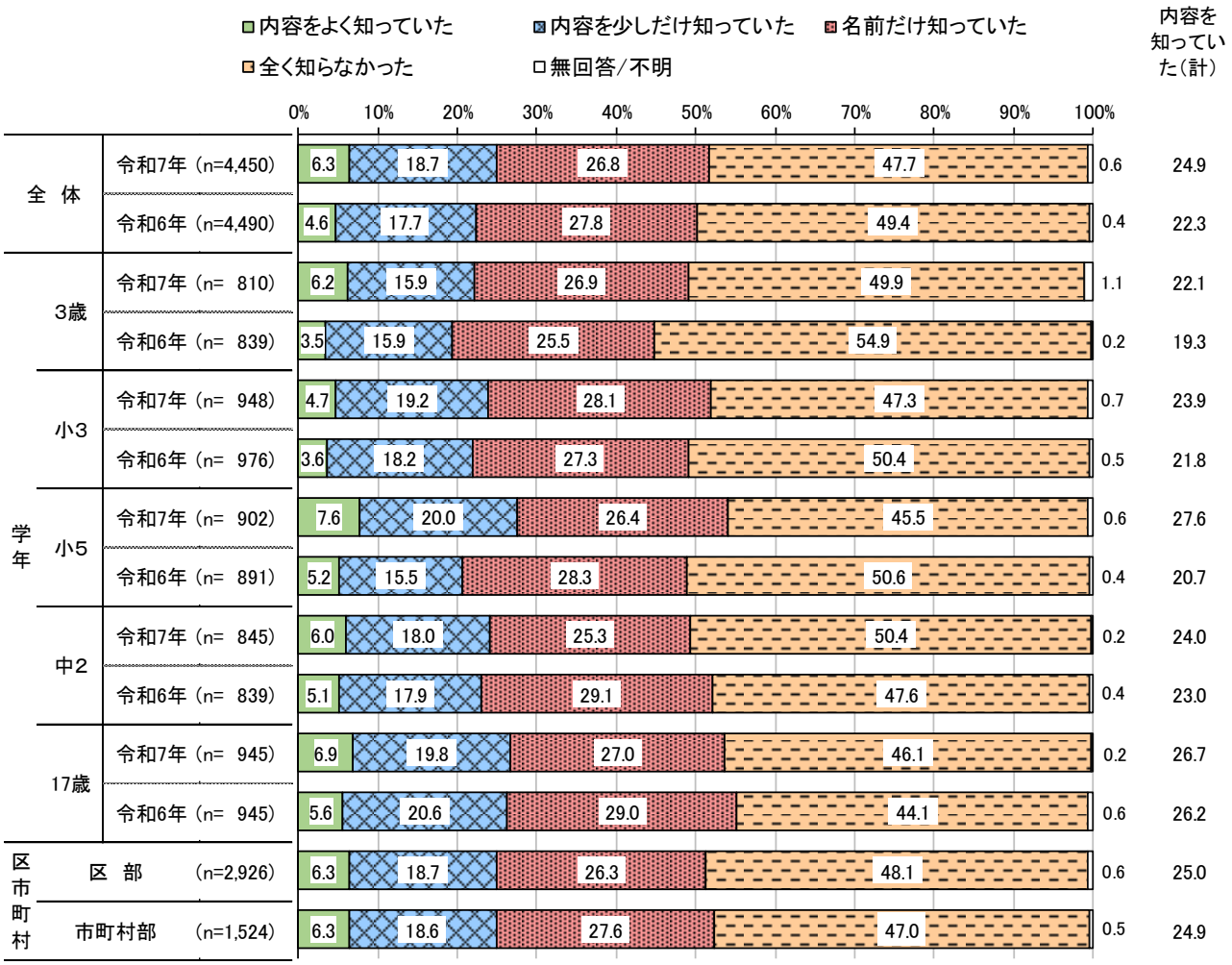
「全く知らなかった」は 47.7％で最も高い。「東京都こども基本条例」の内容を知っていた(計)は、24.9％である。

【学年別】

「東京都こども基本条例」の内容を知っていた(計)は、3歳で22.1％、小3では23.9％、小5では27.6％、中2では24.0％、17 歳では26.7％である。

経年比較でみると、3歳で「全く知らなかった」が5.0ポイント減少している。

図表 2-205 東京都こども基本条例の認知度 ＜単一回答＞

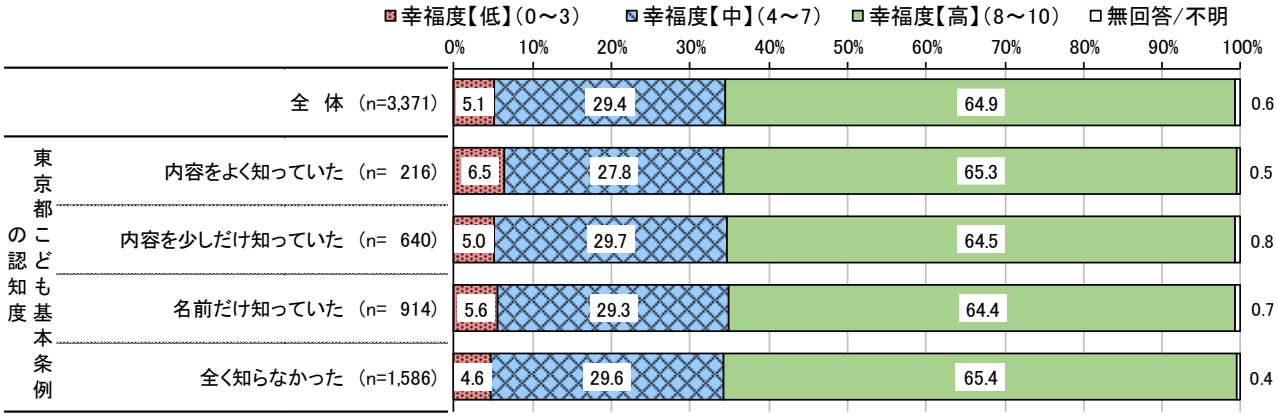


※内容を知っていた（計）は「内容をよく知っていた」及び「内容を少しだけ知っていた」の割合

【子供の幸福度】

「東京都こども基本条例の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「内容をよく知っていた」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 65.3%である。

図表 2-206 子供の幸福度(「東京都こども基本条例の認知度」の回答別)



3. その他

(1)ギャップ分析

【子供と保護者の差】

子供と保護者の回答に差があるもののうち、特徴的なものについて触れている。

(子供:共通)問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。(1つだけ)

(保護者:共通)問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。最もなってほしいものを選んでください。(1つだけ)

【全体】

「好きな仕事をしている」と回答した割合は、保護者の方が子供より 12.7 ポイント高い。「趣味や余暇(自由に使える時間)を楽しんでいる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 9.0 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも保護者の方が「好きな仕事をしている」と回答した割合が高く、「趣味や余暇(自由に使える時間)を楽しんでいる」は子供の方が高い。

図表 3-1 20 年後に一番叶えたいこと ＜単一回答＞

(%)

			n	あなたが、20年後に一番叶えたいことは何ですか								
				好きな仕事をしている	結婚している／パートナーと暮らしている	子供を育てている	好きな国・地域で暮らしている	経済的に豊かな暮らし(十分なお金があって豊かな暮らし)をしている	趣味や余暇(自由に使える時間)を楽しんでいる	その他	特にない(子供のみ)	無回答/不明
全体		保護者	3,371	48.9	6.5	5.5	3.6	20.0	9.5	4.7		1.4
		子供	3,371	36.2	9.4	7.4	2.9	19.5	18.5	1.7	3.3	1.2
		差		12.7	−2.9	−1.9	0.7	0.6	−9.0	3.1		0.1
学年	小3	保護者	896	48.4	6.9	5.4	4.0	19.9	9.9	4.7		0.8
		子供	896	36.5	7.6	12.7	2.3	20.2	12.4	1.9	4.0	2.3
		差		11.9	−0.7	−7.4	1.7	−0.3	−2.5	2.8		−1.6
	小5	保護者	847	49.9	5.7	5.5	3.2	19.0	9.6	5.1		2.0
		子供	847	37.7	7.0	8.1	1.4	20.9	18.4	1.4	3.0	2.1
		差		12.3	−1.3	−2.6	1.8	−1.9	−8.9	3.7		−0.1
	中2	保護者	775	48.1	5.8	6.1	3.9	21.2	9.0	4.4		1.5
		子供	775	38.3	10.3	4.1	4.6	15.7	22.1	1.5	3.1	0.1
		差		9.8	−4.5	1.9	−0.8	5.4	−13.0	2.8		1.4
	17歳	保護者	853	49.0	7.4	5.2	3.2	20.2	9.3	4.7		1.2
		子供	853	32.4	12.8	4.2	3.4	20.6	21.6	1.8	3.2	0.1
		差		16.6	−5.4	0.9	−0.2	−0.5	−12.3	2.9		1.1

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

（子供：共通）問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

（保護者：共通）問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。（1つだけ）

【全体】

「大学卒業後」と回答した割合は、保護者の方が子供より 21.8 ポイント高い。「まだ分からない」と回答した割合は、子供の方が保護者より 14.6 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも、保護者の方が「大学卒業後」と回答した割合が高く、一方で「まだ分からない」は子供の方が高い。

図表 3-2 社会に出て働くタイミング ＜単一回答＞

（%）

			n	あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか（学校に所属しながらのアルバイトは除く）							
				中学卒業後（すでに就労している）	高校卒業後	短大・専門学校卒業後	大学卒業後	大学院（大学よりも上の学校）卒業後	その他	まだ分からない	無回答／不明
全体		保護者	3,371	0.1	2.8	4.7	74.5	6.6	1.1	9.9	0.3
		子供	3,371	1.4	8.0	6.8	52.7	5.7	0.3	24.5	0.6
		差		−1.4	−5.2	−2.1	21.8	0.9	0.8	−14.6	−0.3
学年	小3	保護者	896	−	2.7	3.0	74.8	5.1	1.3	12.6	0.4
		子供	896	3.0	9.5	6.0	37.5	5.8	0.1	37.4	0.7
		差		−3.0	−6.8	−3.0	37.3	−0.7	1.2	−24.8	−0.2
	小5	保護者	847	0.1	1.5	4.7	76.4	5.9	1.2	9.8	0.4
		子供	847	1.4	11.0	7.0	43.6	3.9	0.4	32.3	0.5
		差		−1.3	−9.4	−2.2	32.8	2.0	0.8	−22.6	−0.1
	中2	保護者	775	−	4.0	6.3	73.7	5.2	0.6	9.9	0.3
		子供	775	0.5	6.2	7.1	61.9	4.9	0.3	18.3	0.8
		差		−0.5	−2.2	−0.8	11.7	0.3	0.4	−8.4	−0.5
	17歳	保護者	853	0.1	3.3	4.9	72.9	10.2	1.1	7.3	0.2
		子供	853	0.6	5.2	7.0	69.3	8.2	0.5	8.8	0.5
		差		−0.5	−1.9	−2.1	3.6	2.0	0.6	−1.5	−0.2

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

（子供：共通）問 18. あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。

（いくつでも）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）

問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。

（いくつでも）

【全体】

「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」と回答した割合は、保護者の方が子供より 27.6 ポイント高い。また、「親／保護者の理解が得られない、考え方の違い」も保護者の方が子供より 8.2 ポイント高い。「自分の努力不足」は、子供の方が保護者よりも 6.5 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも保護者と子供の差は「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」が最も大きい。17 歳では、「自分の努力不足」と回答した割合は、子供の方が保護者よりも 22.9 ポイント高い。

図表 3-3 将来像や進路を難しくしている問題 ＜複数回答＞

（%）

			n	あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか								
				進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	親／保護者の理解が得られない（わかってくれない）、考え方の違い（意見が合わない）	子供の健康上の問題	子供の努力不足	その他	まだ分からない（子供のみ）	特に問題はない	無回答／不明
全体		保護者	3,371	49.2	28.6	13.3	5.3	32.6	3.2		17.0	0.5
		子供	3,371	21.6	30.3	5.2	7.8	39.0	1.5	24.4	12.3	0.8
		差		27.6	−1.7	8.2	−2.6	−6.5	1.8		4.7	−0.3
学年	小3	保護者	896	51.3	25.6	16.6	5.1	27.6	3.3		18.2	0.7
		子供	896	19.3	19.6	5.1	6.7	18.2	0.9	37.4	19.2	1.5
		差		32.0	5.9	11.5	−1.6	9.4	2.5		−1.0	−0.8
	小5	保護者	847	50.9	30.6	16.1	3.7	33.8	2.7		15.3	0.6
		子供	847	25.7	24.7	3.9	10.5	31.1	1.5	28.8	16.1	0.7
		差		25.1	5.9	12.2	−6.8	2.7	1.2		−0.7	−0.1
	中2	保護者	775	47.9	29.8	11.6	5.8	36.8	3.6		17.4	0.5
		子供	775	19.0	35.0	7.5	7.1	53.5	1.8	19.1	7.6	0.5
		差		28.9	−5.2	4.1	−1.3	−16.8	1.8		9.8	−
	17歳	保護者	853	46.7	28.6	8.8	6.6	32.8	3.3		17.1	0.4
		子供	853	22.4	42.8	4.5	7.0	55.7	1.8	11.0	5.5	0.5
		差		24.3	−14.2	4.3	−0.5	−22.9	1.5		11.6	−0.1

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 23.9 ポイント高い。また、「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が子供より 22.3 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも子供の方が「あてはまる」と回答した割合が高くなっている。

図表 3-4 A 家族と一緒に心地よい時間を過ごしている ＜単一回答＞

(%)

			n	A.家族と一緒に心地よい時間を過ごしている						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,371	42.1	50.0	5.8	0.9	1.3	92.0	6.6
		子供	3,371	66.0	27.7	4.2	1.5	0.6	93.7	5.7
		差		−23.9	22.3	1.6	−0.7	0.7	−1.6	0.9
学年	小3	保護者	896	50.3	45.6	2.8	0.0	1.2	96.0	2.8
		子供	896	72.4	22.2	2.9	1.0	1.5	94.6	3.9
		差		−22.1	23.4	−0.1	−1.0	−0.2	1.3	−1.1
	小5	保護者	847	45.6	47.5	4.6	0.6	1.8	93.0	5.2
		子供	847	71.8	24.3	3.0	0.6	0.4	96.1	3.5
		差		−26.2	23.1	1.7	−	1.4	−3.1	1.7
	中2	保護者	775	36.9	54.1	6.8	0.8	1.4	91.0	7.6
		子供	775	61.0	31.0	5.5	2.2	0.3	92.0	7.7
		差		−24.1	23.1	1.3	−1.4	1.2	−1.0	−0.1
	17歳	保護者	853	34.6	53.3	9.0	2.1	0.9	87.9	11.1
		子供	853	58.0	33.8	5.4	2.5	0.4	91.8	7.9
		差		−23.4	19.6	3.6	−0.4	0.6	−3.9	3.3

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家では安心して過ごしている）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　子供は家では安心して過ごしている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 13.9 ポイント高い。また、「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が子供より 15.1 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも子供の方が「あてはまる」と回答した割合が高くなっている。

図表 3-5 B 家では安心して過ごしている ＜単一回答＞

（%）

			n	B.家では安心して過ごしている						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,371	63.9	32.9	1.6	0.3	1.2	96.8	2.0
		子供	3,371	77.8	17.8	2.3	1.5	0.7	95.6	3.7
		差		−13.9	15.1	−0.6	−1.2	0.6	1.2	−1.8
学年	小3	保護者	896	69.6	28.5	0.9	−	1.0	98.1	0.9
		子供	896	81.1	14.5	1.8	1.1	1.5	95.6	2.9
		差		−11.5	14.0	−0.9	−1.1	−0.4	2.5	−2.0
	小5	保護者	847	66.1	30.5	1.3	0.2	1.9	96.6	1.5
		子供	847	81.9	15.5	1.7	0.6	0.4	97.4	2.2
		差		−15.8	15.0	−0.4	−0.4	1.5	−0.8	−0.7
	中2	保護者	775	62.2	34.2	2.2	0.3	1.2	96.4	2.5
		子供	775	73.7	20.0	3.5	2.6	0.3	93.7	6.1
		差		−11.5	14.2	−1.3	−2.3	0.9	2.7	−3.6
	17歳	保護者	853	57.2	38.9	2.2	0.8	0.8	96.1	3.0
		子供	853	74.0	21.6	2.2	1.8	0.5	95.5	4.0
		差		−16.8	17.4	−	−0.9	0.4	0.6	−0.9

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）

【全体】

「あてはまる(計)」の割合は、保護者の方が子供より 7.5 ポイント高い。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「あてはまる(計)」の割合の差は減少傾向である。

図表 3-6　C　私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている　＜単一回答＞

(%)

			n	C.私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,371	48.4	43.2	6.1	1.0	1.3	91.6	7.1
		子供	3,371	52.4	31.7	10.3	4.6	1.0	84.1	14.9
		差		−4.0	11.5	−4.2	−3.6	0.2	7.5	−7.7
学年	小3	保護者	896	52.1	39.8	5.8	1.1	1.1	92.0	6.9
		子供	896	49.1	30.9	12.4	5.7	1.9	80.0	18.1
		差		3.0	8.9	−6.6	−4.6	−0.8	11.9	−11.2
	小5	保護者	847	48.3	42.5	6.4	0.9	1.9	90.8	7.3
		子供	847	48.1	34.1	11.0	6.1	0.7	82.2	17.1
		差		0.2	8.4	−4.6	−5.2	1.2	8.6	−9.8
	中2	保護者	775	48.3	44.0	5.5	1.0	1.2	92.3	6.6
		子供	775	53.2	31.4	10.7	4.1	0.6	84.5	14.8
		差		−4.9	12.6	−5.2	−3.1	0.5	7.7	−8.3
	17歳	保護者	853	44.5	46.8	6.8	0.9	0.9	91.3	7.7
		子供	853	59.4	30.4	7.2	2.2	0.8	89.8	9.4
		差		−14.9	16.4	−0.4	−1.3	0.1	1.5	−1.6

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　親／保護者は私の話を聞いてくれる）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　保護者は子供の話を聞いている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 26.0 ポイント高い。「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が 26.9 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも子供の方が「あてはまる」と回答した割合が高く、保護者の方が「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高い。

図表 3-7　D　親／保護者は私の話を聞いてくれる　＜単一回答＞

（%）

			n	D.親／保護者は私の話を聞いてくれる						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,371	44.7	50.5	3.0	0.3	1.5	95.2	3.3
		子供	3,371	70.8	23.6	3.4	1.3	0.9	94.4	4.7
		差		−26.0	26.9	−0.4	−1.0	0.7	0.8	−1.5
学年	小3	保護者	896	46.1	51.1	1.6	−	1.2	97.2	1.6
		子供	896	72.7	21.2	3.1	1.5	1.6	93.9	4.6
		差		−26.6	29.9	−1.6	−1.5	−0.3	3.3	−3.0
	小5	保護者	847	41.7	52.5	3.5	0.4	1.9	94.2	3.9
		子供	847	75.3	21.5	2.0	0.6	0.6	96.8	2.6
		差		−33.6	31.1	1.5	−0.2	1.3	−2.6	1.3
	中2	保護者	775	44.8	49.5	3.7	0.5	1.4	94.3	4.3
		子供	775	68.4	25.0	4.5	1.5	0.5	93.4	6.1
		差		−23.6	24.5	−0.8	−1.0	0.9	0.9	−1.8
	17歳	保護者	853	46.3	48.5	3.3	0.2	1.6	94.8	3.5
		子供	853	66.5	26.8	4.2	1.6	0.8	93.3	5.9
		差		−20.2	21.7	−0.9	−1.4	0.8	1.5	−2.3

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 36. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（保護者：共通）問 34. お子様は過去1年以内に次のような経験をしたことがありますか。（いくつでも）

【学年別】

小3では「暴言や傷つくことを言われた」が保護者の方が子供よりも 6.9 ポイント高い。一方で、「いじめを受けた」「暴力を受けた」「無視をされた、仲間外れにされた」は子供の方が保護者よりも、それぞれ 8.5 ポイント、6.8 ポイント、5.2 ポイント高い。小5では、「暴力を受けた」は子供の方が保護者よりも 7.6 ポイント高い。

図表 3-8 過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く） ＜複数回答＞

（%）

			n	過去1年以内の嫌な経験（インターネット上の経験を除く）								
				暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない	無回答/不明
全体		保護者	3,371	24.9	9.0	2.9	0.3	0.3	3.7	5.7	64.2	2.4
		子供	3,371	22.8	11.8	6.8	1.9	0.5	8.2	1.8	67.8	2.2
		差		2.1	−2.7	−3.9	−1.6	−0.2	−4.5	3.9	−3.6	0.1
学年	小3	保護者	896	34.6	10.4	3.0	0.2	0.3	7.3	4.6	56.0	1.7
		子供	896	27.7	15.6	11.5	2.3	0.7	14.1	1.9	60.3	2.3
		差		6.9	−5.2	−8.5	−2.1	−0.3	−6.8	2.7	−4.2	−0.7
	小5	保護者	847	30.2	11.8	3.4	0.4	0.4	4.0	6.3	57.4	2.2
		子供	847	28.7	15.0	7.7	3.0	0.4	11.6	2.2	60.2	3.4
		差		1.5	−3.2	−4.3	−2.6	0.0	−7.6	4.0	−2.8	−1.2
	中2	保護者	775	22.2	8.6	3.7	0.1	−	2.5	6.6	67.9	2.2
		子供	775	20.0	9.8	5.2	1.5	0.1	5.0	1.8	72.3	1.4
		差		2.2	−1.2	−1.4	−1.4	−0.1	−2.6	4.8	−4.4	0.8
	17歳	保護者	853	12.1	5.3	1.5	0.4	0.4	0.7	5.5	76.2	3.4
		子供	853	14.5	6.3	2.3	0.7	0.8	1.6	1.3	79.4	1.6
		差		−2.5	−1.1	−0.8	−0.4	−0.5	−0.9	4.2	−3.2	1.8

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

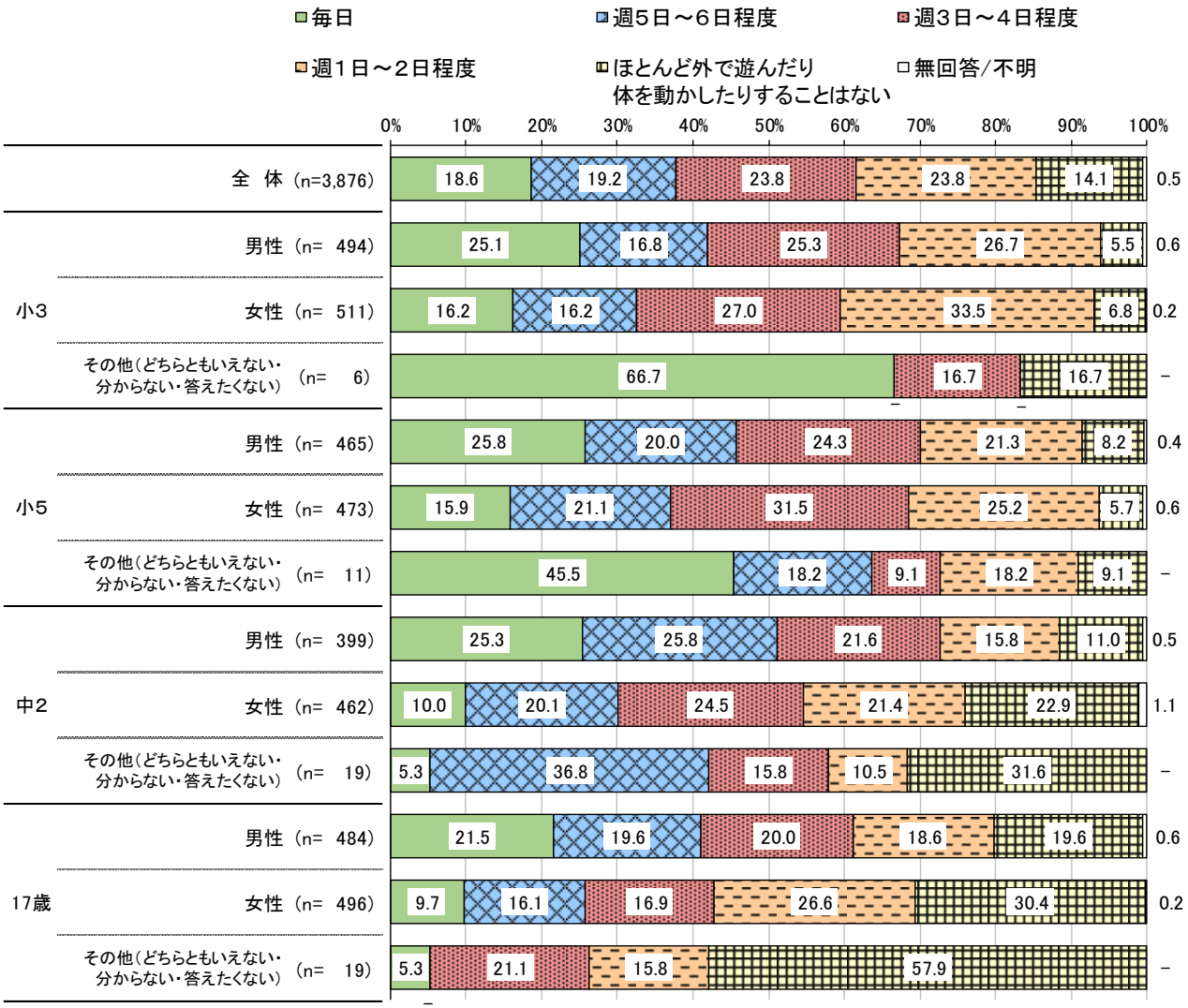
【男女の差】

男性と女性の認識の差について、特徴的なものについて触れている。

（子供：共通）問7．あなたは週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

いずれの学年でも「毎日」は、男性の方が女性より、小3では 8.9 ポイント、小5では 9.9 ポイント、中2では 15.3 ポイント、17 歳では 11.8 ポイント高い。「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」は、女性の方が男性より、中2では 11.9 ポイント、17 歳では 10.8 ポイント高い。

図表 3-9 【性別】週に 30 分以上遊んだり体を動かしたりする日 ＜単一回答＞



（子供：共通）問8．過去 1 年以内に、あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）で、次のような危険な目にあったことはありますか。（いくつでも）

「知らない人に声をかけられた」は、17 歳の女性は 14.5％で、男性よりも 8.7 ポイント高い。「知らない人ににらまれた、怒られた」は、男性の方が女性より、小5では 5.4 ポイント、中2では 7.8 ポイント高い。

いずれの学年でも「危険な目にあったことはない」が最も高いが、学年が上がるにつれ、女性の「危険な目にあったことがある（計）」は増加傾向である。

図表 3-10 【性別】過去 1 年以内の住む地域で経験した危険な目 ＜複数回答＞

(%)

			n	車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった	自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった	知らない人に声をかけられた	知らない人ににらまれた、怒られた	知らない人が後ろをついてきた	知らない人に体をさわられた	知らない人から暴力を受けた
全体			3,876	17.2	23.9	11.6	11.0	3.6	0.7	0.4
学年	小3	男性	494	16.6	21.9	10.3	7.1	5.1	0.8	0.4
		女性	511	9.0	14.3	12.1	6.5	3.1	0.8	0.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	6	－	－	－	16.7	－	－	－
	小5	男性	465	14.2	25.2	9.9	15.1	3.0	0.6	0.4
		女性	473	12.1	21.6	12.7	9.7	3.4	0.2	0.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	11	27.3	36.4	45.5	18.2	18.2	9.1	9.1
	中2	男性	399	22.8	29.1	14.0	18.0	4.5	1.0	0.5
		女性	462	14.3	26.0	14.5	10.2	4.1	0.4	0.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	21.1	5.3	5.3	15.8	－	5.3	－
	17歳	男性	484	28.3	26.9	5.8	13.8	1.7	0.2	0.6
		女性	496	21.6	28.2	14.5	9.1	4.4	1.2	－
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	15.8	36.8	－	10.5	5.3	－	5.3

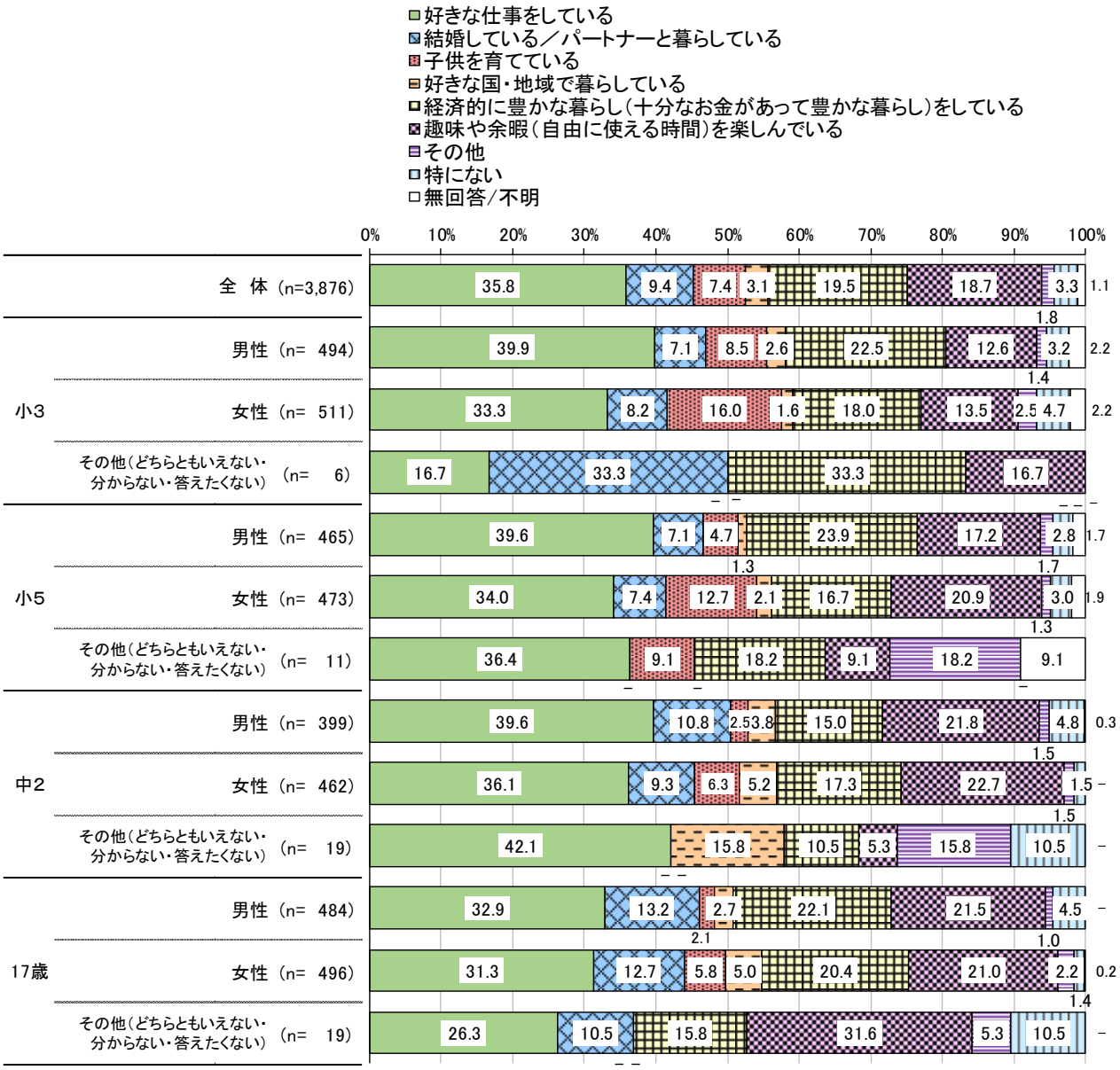
			知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた	その他	危険な目にあったことはない	無回答／不明	危険な目にあったことがある（計）
全体			0.2	1.5	53.9	2.0	44.1
学年	小3	男性	0.2	1.6	54.5	2.6	42.9
		女性	0.4	2.2	64.4	2.0	33.7
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	－	83.3	－	16.7
	小5	男性	0.4	2.6	52.9	2.6	44.5
		女性	0.2	2.3	56.4	2.5	41.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9.1	18.2	27.3	9.1	63.6
	中2	男性	－	0.5	44.9	2.5	52.6
		女性	－	0.4	53.0	1.3	45.7
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	5.3	57.9	5.3	36.8
	17歳	男性	－	0.8	53.7	1.4	44.8
		女性	0.4	0.8	49.2	0.4	50.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	5.3	52.6	－	47.4

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

（子供：共通）問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。（1つだけ）

いずれの学年でも男女とも、「好きな仕事をしている」が最も高い。小3では「好きな仕事をしている」は男性の方が女性より 6.6 ポイント高い。「子供を育てている」は、女性の方が男性より、小3では 7.5 ポイント、小5では 8.0 ポイント高い。「経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている」は、男性の方が女性より、小5では 7.2 ポイント高い。

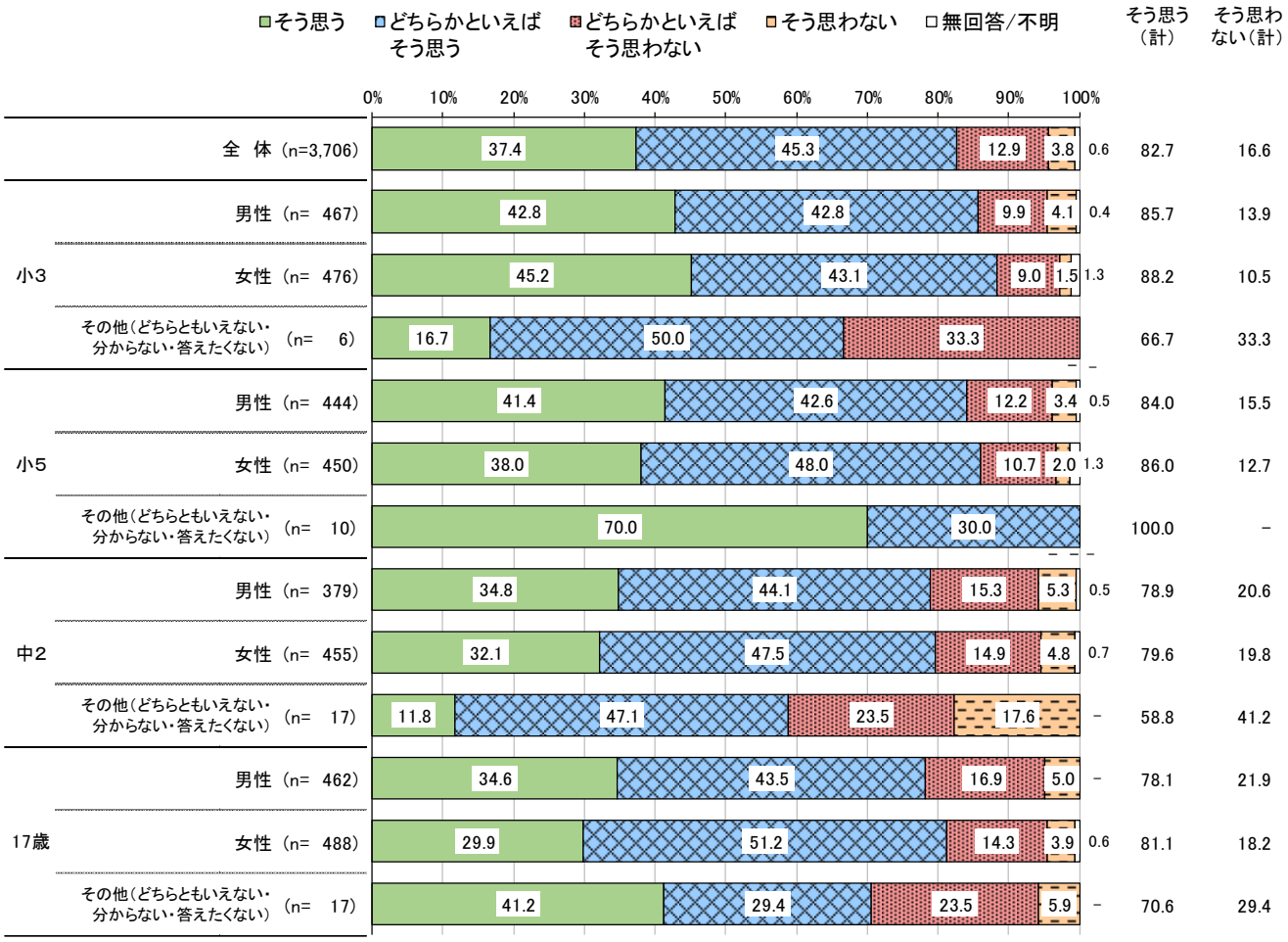
図表 3-11 【性別】20年後に一番叶えたいこと ＜単一回答＞



（子供：共通）問 12.【問 11 で「好きな仕事をしている」～「趣味や余暇を楽しんでいる」「その他」と答えた方にお聞きします。】
問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。（1つだけ）

小5、中2、17 歳では、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。小5の女性は「どちらかといえばそう思う」が 48.0％で、男性より 5.4 ポイント高い。17 歳の女性では「どちらかといえばそう思う」が 51.2％で、男性より 7.7 ポイント高い。

図表 3-12 【性別】将来的に叶えられているか ＜単一回答＞



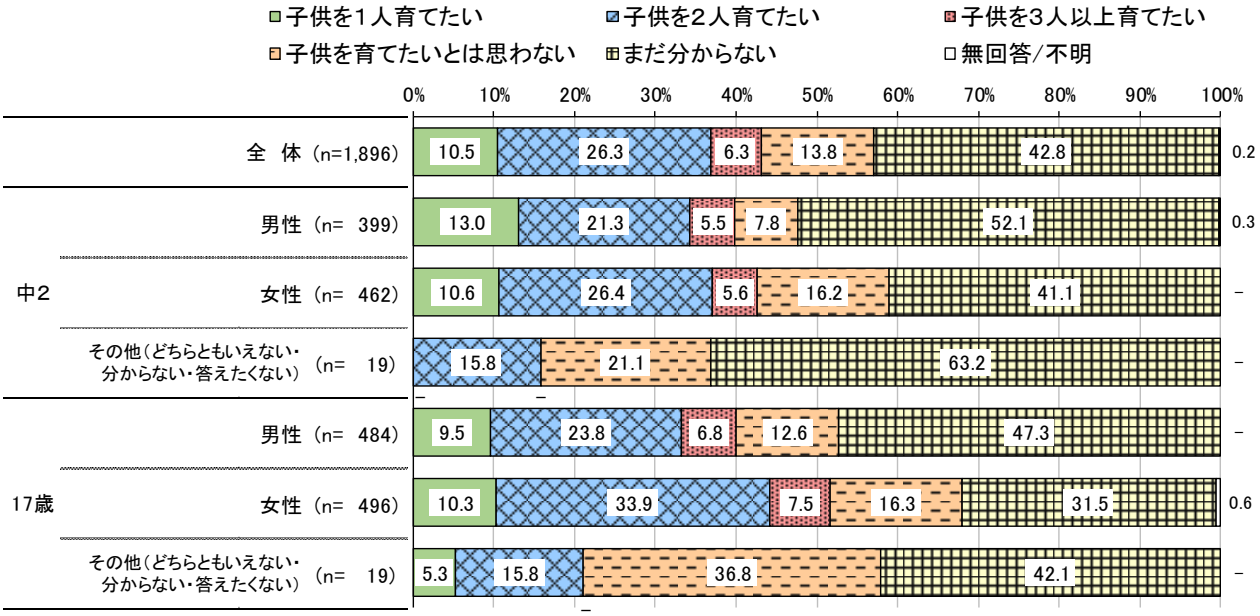
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：17 歳、中2）問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。（1つだけ）

中2の男女、17 歳の男性は「まだ分からない」が最も高く、17 歳の女性は「子供を2人育てたい」が最も高い。

「まだ分からない」は男性の方が女性より、中2では 11.0 ポイント、17 歳では 15.8 ポイント高い。中2では「子供を育てたいと思わない」は、女性の方が男性より 8.4 ポイント高い。17 歳では「子供を2人育てたい」は、女性の方が男性より 10.1 ポイント高い。

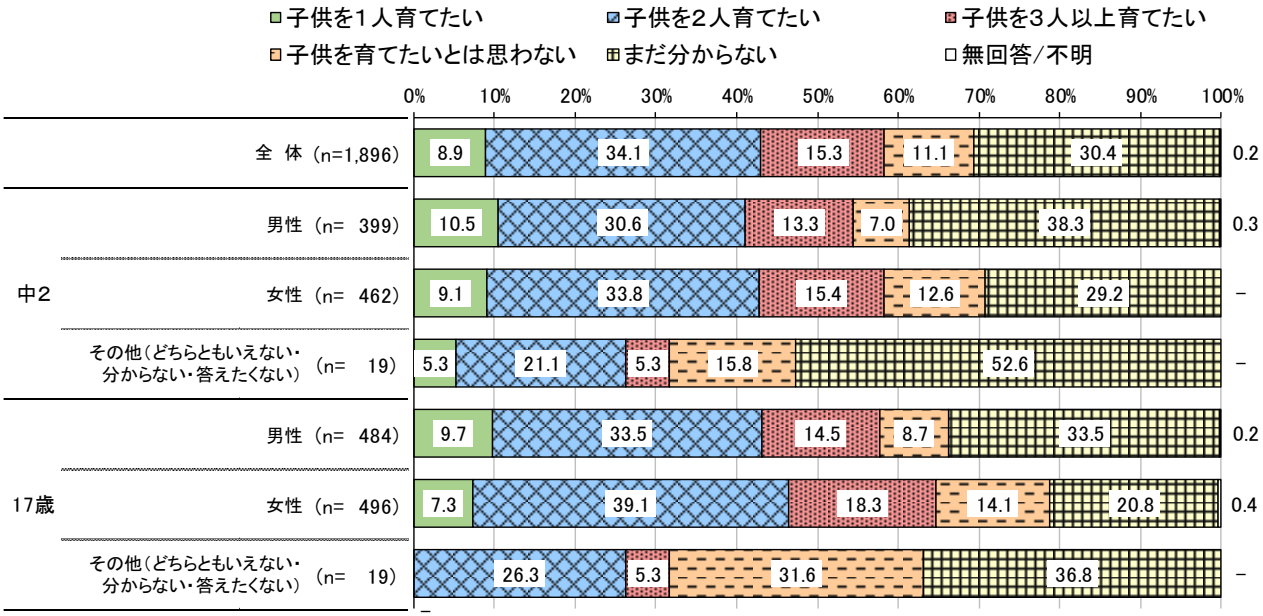
図表 3-13 【性別】将来、子供を育てたいか ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。
（1つだけ）

「まだ分からない」は男性の方が女性より、中2では 9.1 ポイント、17 歳では 12.7 ポイント高い。「子供を育てたいと思わない」は女性の方が男性より、中2では 5.6 ポイント、17 歳では 5.4 ポイント高い。

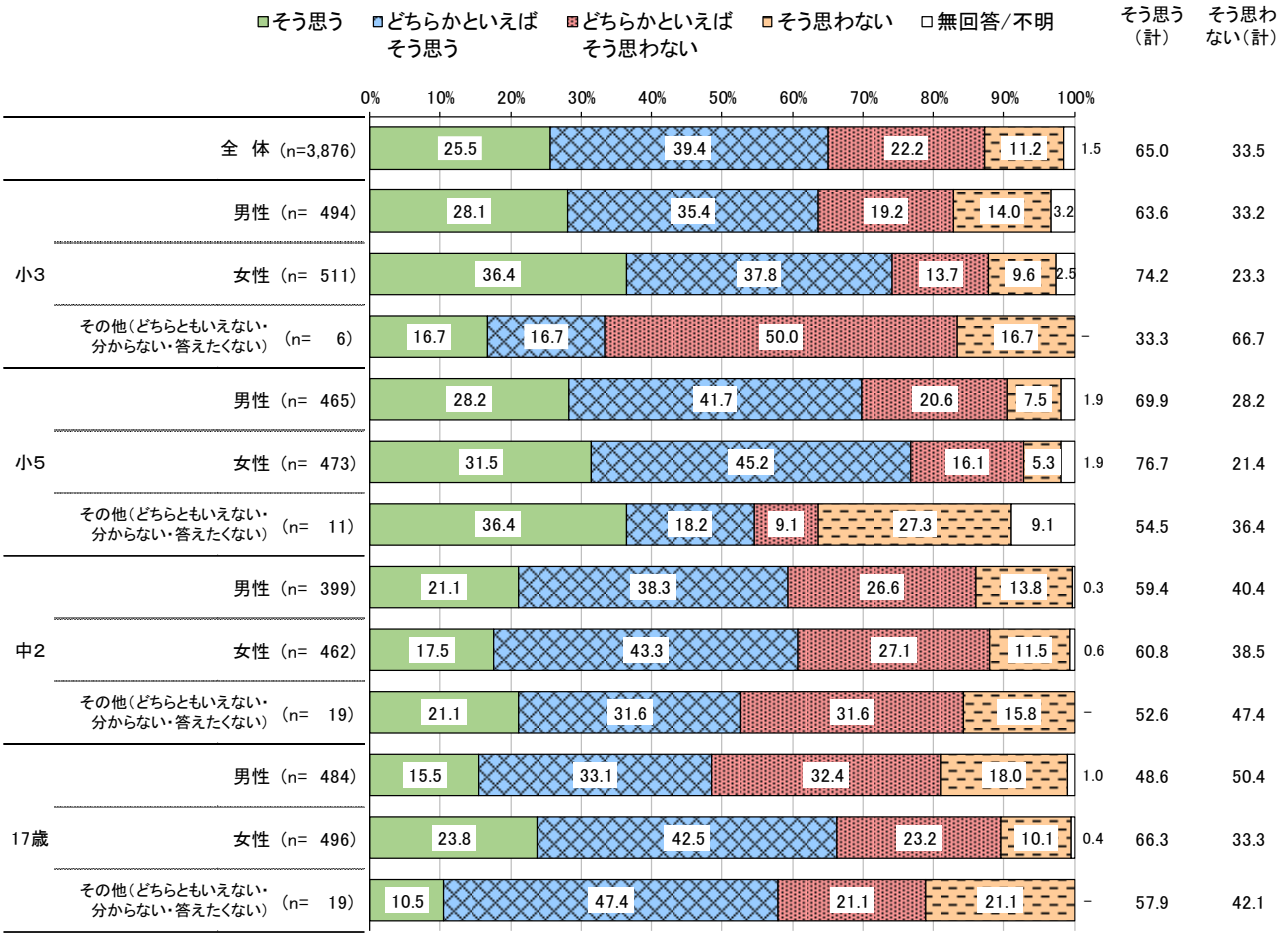
図表 3-14【性別】将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を育てたいか ＜単一回答＞



（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（B　ボランティアをしたいと思う）

そう思う（計）は、小3では 10.6 ポイント、小5では 6.8 ポイント、17 歳では 17.7 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-15【性別】ボランティアをしたいと思う ＜単一回答＞

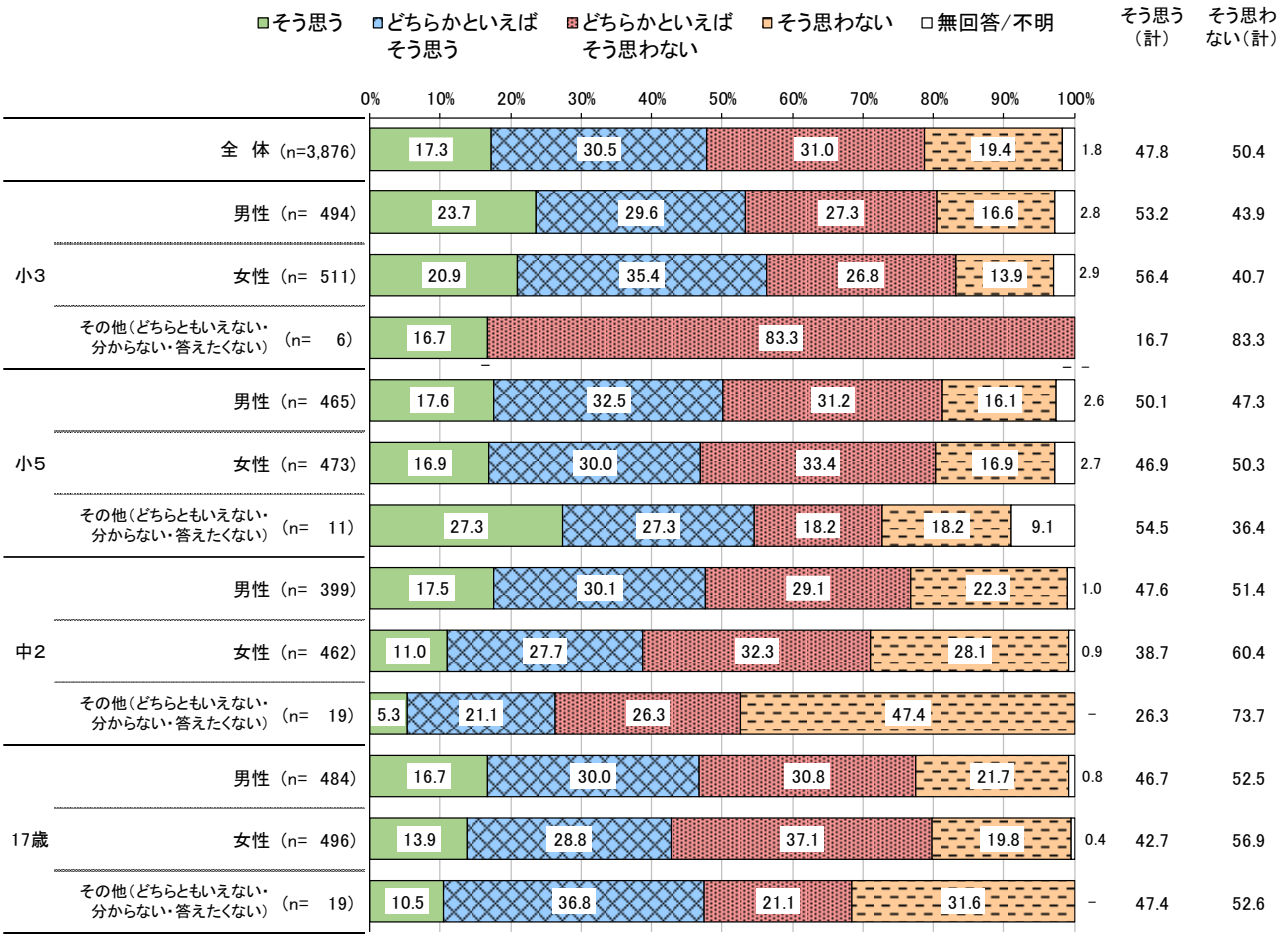


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

「そう思う（計）」は、小3では女性の方が男性より高く、小5、中2、17 歳では男性の方が女性より高い傾向が見られる。中2では「そう思う（計）」は男性が 47.6％、女性が 38.7％で、男性の方が女性より 8.9 ポイント高い。

図表 3-16【性別】自分の行動で社会を変えられると思う ＜単一回答＞

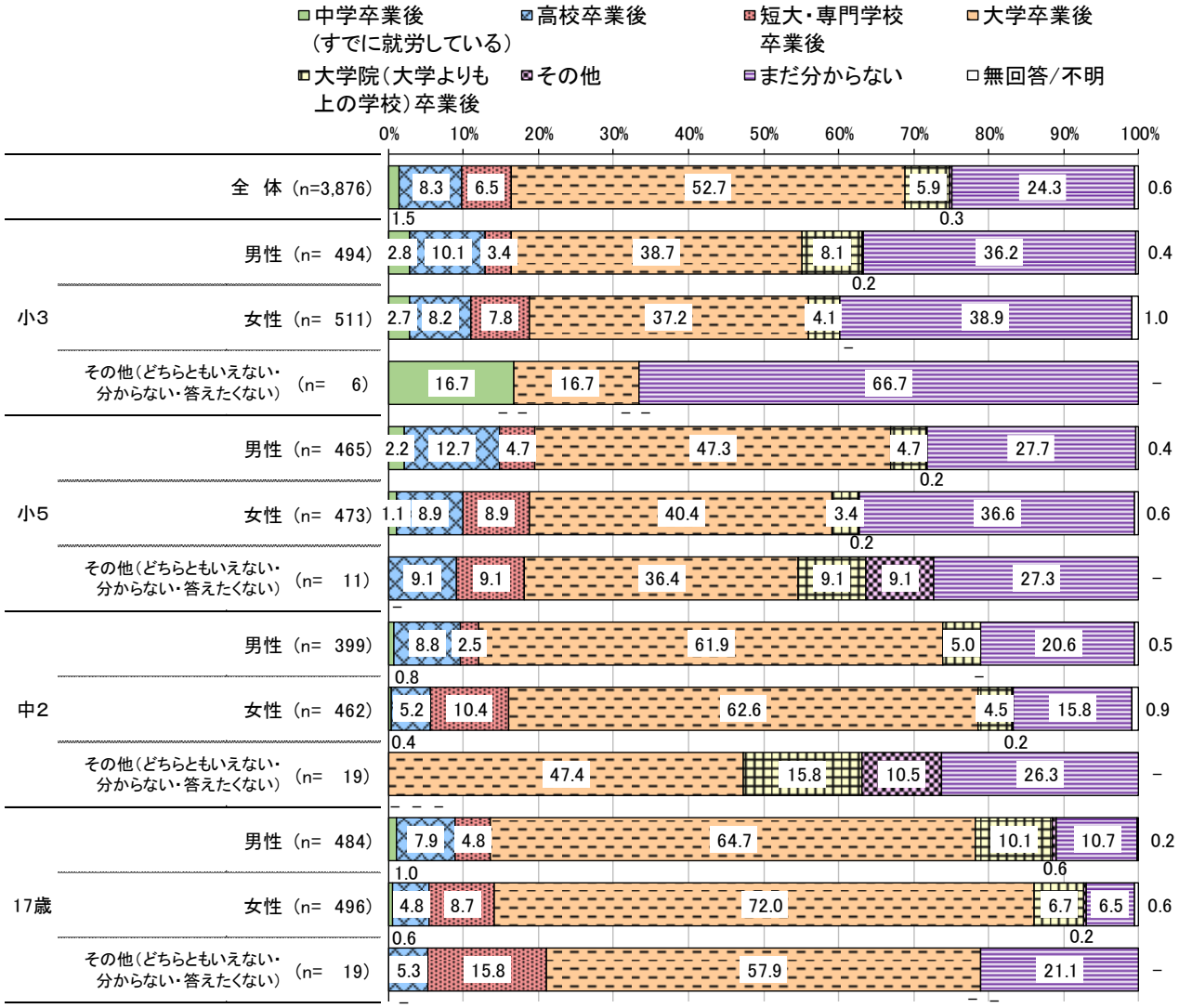


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

小5、中2、17 歳では、男女とも「大学卒業後」が最も高い。小3の女性は「まだわからない」が 38.9％で最も高い。「大学卒業後」は、小5の男性では 47.3％で、女性より 6.9 ポイント高く、17 歳の女性では 72.0％で、男性より 7.3 ポイント高い。中2の女性では「短大・専門学校卒業後」が 10.4％で、男性より 7.9 ポイント高い。

図表 3-17 【性別】社会に出て働くタイミング ＜単一回答＞



（子供：共通）問 18. あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。
（いくつでも）

中2では女性の方が男性より、「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない」で 8.7 ポイント高い。

17 歳では「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」で、男性が 20.7%、女性が 27.6%と、女性の方が男性より 6.9 ポイント高い。

図表 3-18 【性別】将来像や進路を難しくしている問題 ＜複数回答＞

(%)

			n	進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	親／保護者の理解が得られない（わかってくれない）、考え方の違い（意見が合わない）	自分の健康上の問題	自分の努力不足	その他	まだ分からない
全体			3,876	22.3	30.5	5.4	7.8	38.9	1.5	24.2
学年	小3	男性	494	20.0	19.2	4.9	6.3	20.0	0.8	35.4
		女性	511	19.0	21.9	4.9	6.8	16.4	1.2	37.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	6	33.3	16.7	33.3	－	33.3	－	33.3
	小5	男性	465	25.4	23.0	3.9	11.2	33.3	1.7	26.2
		女性	473	26.2	24.1	3.8	8.7	27.5	1.3	33.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	11	18.2	27.3	9.1	18.2	36.4	9.1	36.4
	中2	男性	399	19.3	31.8	5.8	7.3	51.6	0.8	21.3
		女性	462	20.6	40.5	8.4	6.7	53.2	1.7	16.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	15.8	26.3	15.8	21.1	31.6	10.5	26.3
	17歳	男性	484	20.7	40.3	4.8	8.3	56.0	1.4	13.0
		女性	496	27.6	44.4	5.6	6.3	56.9	2.2	8.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	10.5	31.6	10.5	10.5	52.6	5.3	15.8

			特に問題はない	無回答／不明	将来像や進路に問題がある（計）
全体			12.0	0.7	63.1
学年	小3	男性	18.8	1.2	44.5
		女性	19.8	1.6	41.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	16.7	－	50.0
	小5	男性	15.7	0.4	57.6
		女性	15.4	0.8	50.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	18.2	－	45.5
	中2	男性	8.3	0.5	69.9
		女性	7.4	0.4	75.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	5.3	－	68.4
	17歳	男性	5.2	0.2	81.6
		女性	5.4	0.8	85.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	5.3	－	78.9

※将来像や進路に問題がある（計）は、「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「自分の努力不足」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

（子供：共通）問 22.【問 20 で「1　学校に所属している」と答えた方にお聞きします。】
学校について、不満に感じることはありますか。（いくつでも）

「学校への不満がある（計）」は、男女ともに学年が上がるにつれ増加傾向ではあるが、中2では 8.4 ポイント、17 歳では 9.3 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。いずれの学年でも「友達や先輩・後輩との関係（苦手な人がいる、仲が良い人がいないなど）」は、小3では 7.9 ポイント、小5では 10.4 ポイント、中2では 13.9 ポイント、17 歳では 13.1 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「校則など生活上のルールが厳しい」は、女性の方が男性より、中2では 7.7 ポイント、17 歳では 12.9 ポイント高い。

図表 3-19 【性別】学校について不満に感じること ＜複数回答＞

(%)

			n	授業が簡単すぎる	授業が難しい	先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）	友達や先輩・後輩との関係（苦手な人がいる、仲が良い人がいないなど）	行事に関すること（参加したくない行事があるなど）	雰囲気・居心地	校則など生活上のルールが厳しい
全　体			3,805	9.2	16.9	18.3	23.4	11.6	10.8	16.2
学年	小3	男性	494	15.0	16.6	8.7	14.2	10.5	4.7	8.7
		女性	511	12.9	15.1	9.2	22.1	10.0	5.3	6.7
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	6	16.7	33.3	33.3	50.0	－	16.7	33.3
	小5	男性	465	18.7	9.7	10.8	20.9	12.0	8.0	9.2
		女性	473	10.6	13.5	14.6	31.3	11.2	9.1	7.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	11	27.3	45.5	36.4	36.4	36.4	18.2	45.5
	中2	男性	399	4.8	17.5	24.6	18.8	10.8	13.0	17.8
		女性	462	2.8	20.1	28.4	32.7	12.3	16.0	25.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	10.5	21.1	31.6	52.6	21.1	21.1	15.8
	17歳	男性	452	3.5	17.3	22.1	16.2	10.6	14.8	21.2
		女性	458	3.3	24.2	30.1	29.3	14.0	15.3	34.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	18	－	11.1	33.3	33.3	27.8	38.9	38.9

			施設に関すること（古い・狭い・暗い・使いづらいなど）	学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活（クラブ活動）で使う道具など）が高い	その他	特にない	無回答／不明	学校への不満がある（計）
全　体			12.6	8.1	2.4	34.0	1.0	65.0
学年	小3	男性	7.5	3.8	1.0	46.0	1.0	53.0
		女性	4.9	4.1	1.2	48.9	1.0	50.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	－	－	16.7	－	83.3
	小5	男性	9.9	4.1	2.6	41.3	1.3	57.4
		女性	7.2	4.2	1.7	38.1	1.3	60.7
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	45.5	18.2	18.2	36.4	－	63.6
	中2	男性	16.8	8.0	4.5	30.1	1.3	68.7
		女性	17.1	10.4	0.4	21.9	1.1	77.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	5.3	10.5	10.5	15.8	－	84.2
	17歳	男性	18.6	14.2	3.3	25.9	0.7	73.5
		女性	21.4	16.8	4.1	17.0	0.2	82.8
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	5.6	27.8	5.6	27.8	5.6	66.7

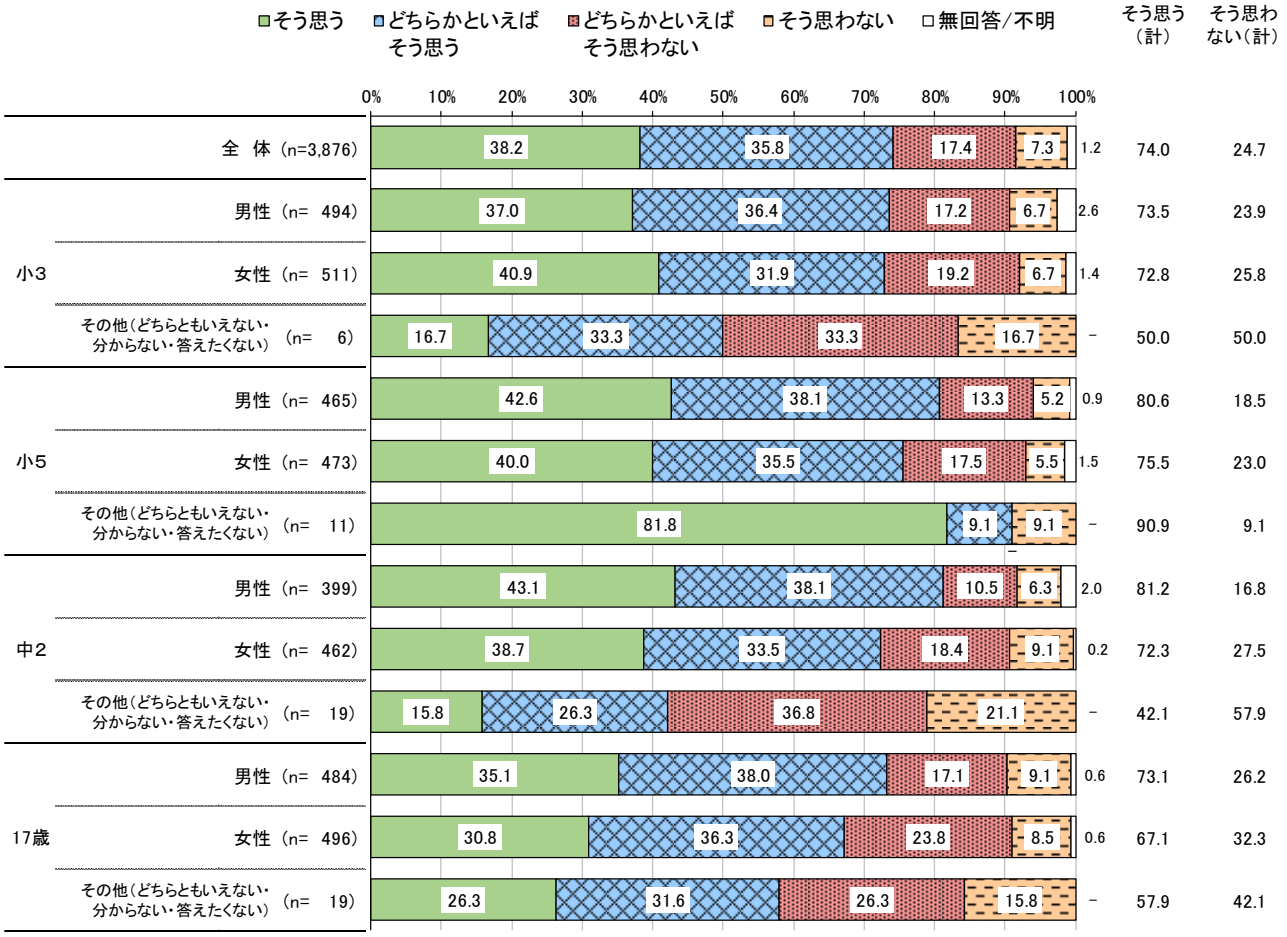
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※学校への不満がある（計）は、「授業が簡単すぎる」～「学校にかかる費用が高い」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ 1 つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

「そう思う（計）」は、中2では 8.9 ポイント、17 歳では 6.0 ポイントの差で、男性の方が女性よりも高い。

図表 3-20 【性別】自分の考えを他の人にしっかりと言える ＜単一回答＞

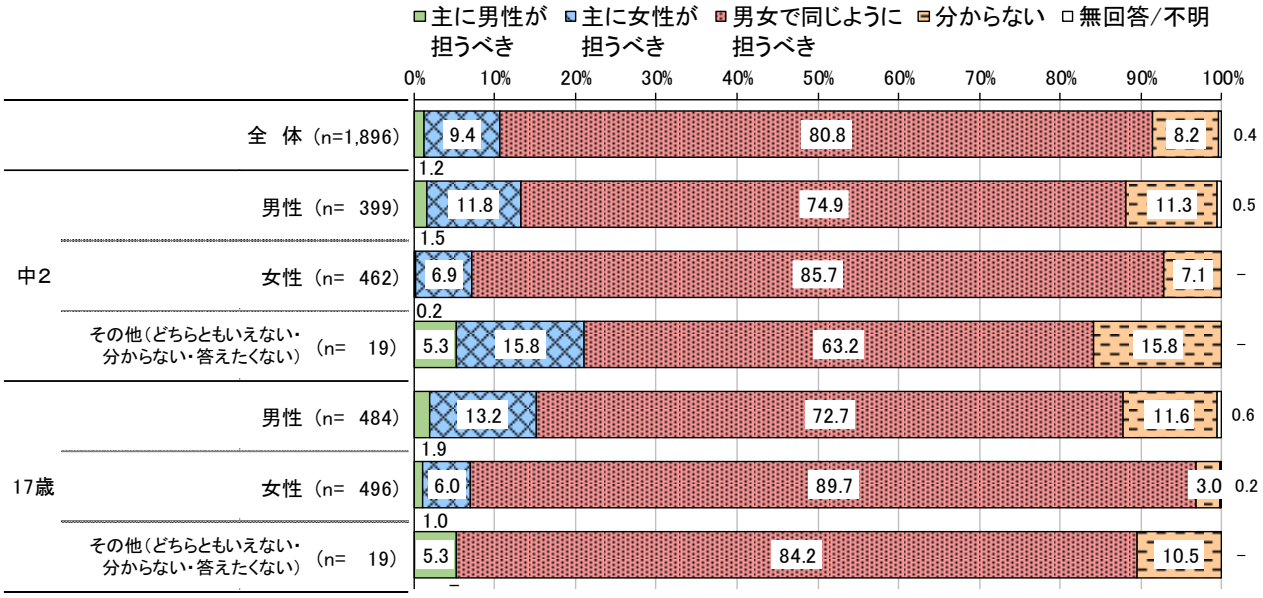


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（A　家事）

中2、17 歳の男女ともに、「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 10.8 ポイント、17 歳では 17.0 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。17 歳では、「主に女性が担うべき」は 7.2 ポイントの差で、「分からない」は 8.6 ポイントの差で男性の方が女性より高い。

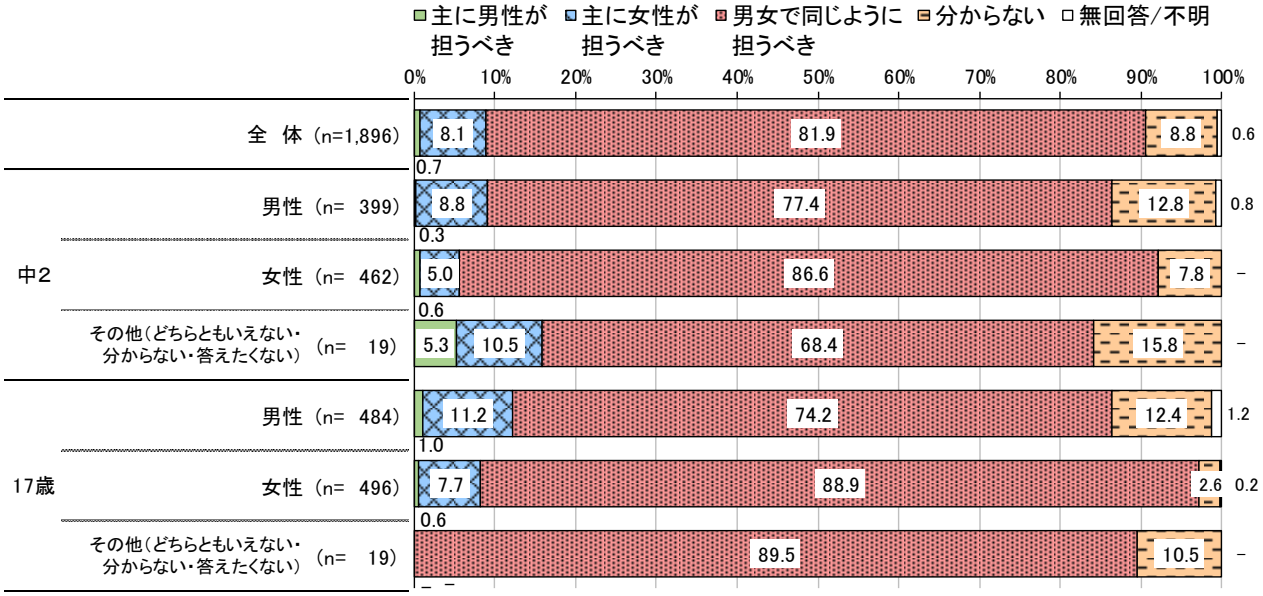
図表 3-21 【性別】家庭における男女の役割・家事　＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（B　育児）

中2、17 歳の男女ともに、「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 9.2 ポイント、17 歳では 14.7 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「分からない」は中2では 5.0 ポイント、17 歳では 9.8 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

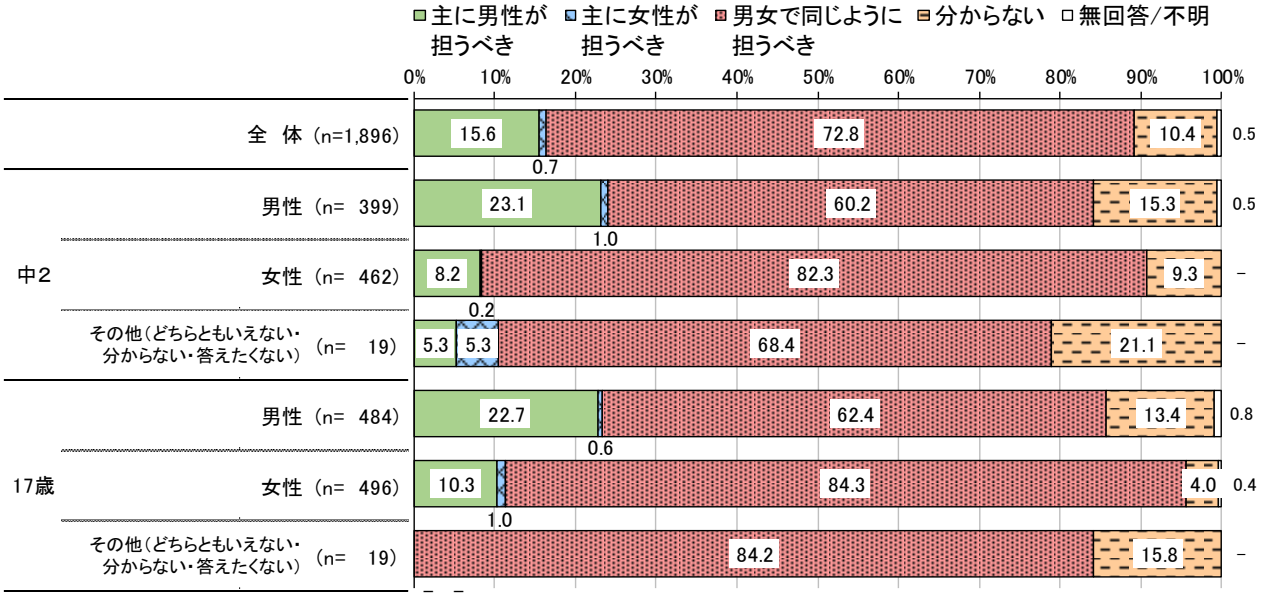
図表 3-22 【性別】家庭における男女の役割・育児　＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（C 仕事）

中2、17 歳の男女ともに、「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 22.1 ポイント、17 歳では 21.9 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「主に男性が担うべき」は中2では 14.9 ポイント、17 歳では 12.4 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

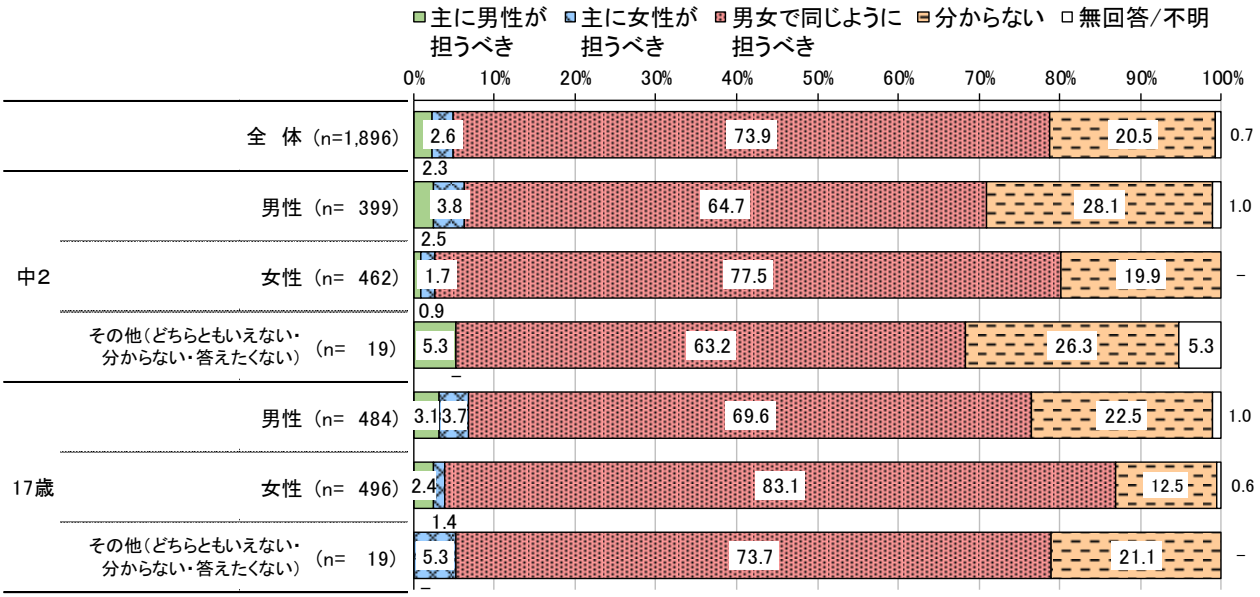
図表 3-23 【性別】家庭における男女の役割・仕事 ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（D　介護）

中2、17 歳の男女ともに、「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 12.8 ポイント、17 歳では 13.5 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「分からない」は中2では 8.2 ポイント、17 歳では 10.0 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

図表 3-24 【性別】家庭における男女の役割・介護　＜単一回答＞



（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」は、小3では 8.8 ポイント、小5では 6.3 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

中2では「友達の家」「学校の教室」「地域」は、男性の方が女性よりもそれぞれ 9.5 ポイント、9.2 ポイント、10.3 ポイント高い。17 歳では「友達の家」「学校の教室」は、男性の方が女性よりそれぞれ 5.1 ポイント、8.5 ポイント高い。

図表 3-25 【性別】ほっとできる居場所 ＜複数回答＞

(%)

			n	自分の部屋	自分の部屋以外の家の中	祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家	友達の家	学校の教室	教室以外の学校内の場所	（17歳）職場・アルバイト先	地域（図書館、公民館、児童館、公園など）	学習塾・習い事の場所
全体			3,876	66.7	69.4	50.3	27.7	38.2	25.0	0.7	29.5	22.0
学年	小3	男性	494	42.3	83.0	62.8	32.4	50.4	30.0		42.1	32.2
		女性	511	47.9	80.0	65.0	30.9	53.0	33.1		48.3	36.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	6	66.7	83.3	83.3	－	33.3	16.7		66.7	33.3
	小5	男性	465	56.3	74.0	58.5	31.8	43.7	26.5		36.6	28.2
		女性	473	59.0	74.2	61.1	38.5	47.4	31.7		40.6	33.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	11	54.5	81.8	63.6	63.6	45.5	36.4		45.5	36.4
	中2	男性	399	79.9	64.7	47.4	34.8	37.3	21.6		24.8	15.8
		女性	462	81.4	61.9	43.5	25.3	28.1	20.6		14.5	13.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	84.2	31.6	26.3	5.3	15.8	10.5		5.3	5.3
	17歳	男性	484	85.3	55.2	31.2	18.0	27.9	19.6	2.9	15.7	8.3
		女性	496	84.1	63.3	33.9	12.9	19.4	17.7	2.4	13.1	6.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	84.2	57.9	36.8	10.5	5.3	15.8	5.3	10.5	5.3

			インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）	飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）	その他	居場所はない	無回答／不明	居場所がある（計）
全体			23.2	15.3	2.1	0.3	1.1	98.6
学年	小3	男性	18.4	17.0	1.6	－	2.2	97.8
		女性	9.6	16.8	2.3	－	0.8	99.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	16.7	－	－	－	100.0
	小5	男性	23.2	13.5	1.9	0.4	2.4	97.2
		女性	16.9	16.5	1.5	0.2	2.3	97.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	45.5	27.3	9.1	－	－	100.0
	中2	男性	29.8	19.0	4.0	－	0.5	99.5
		女性	32.7	18.2	1.1	0.6	0.2	99.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	36.8	－	10.5	－	－	100.0
	17歳	男性	28.9	10.5	1.4	0.4	0.2	99.4
		女性	26.4	12.1	2.4	0.2	0.2	99.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	52.6	15.8	5.3	5.3	－	94.7

※居場所がある（計）は「自分の部屋」～「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

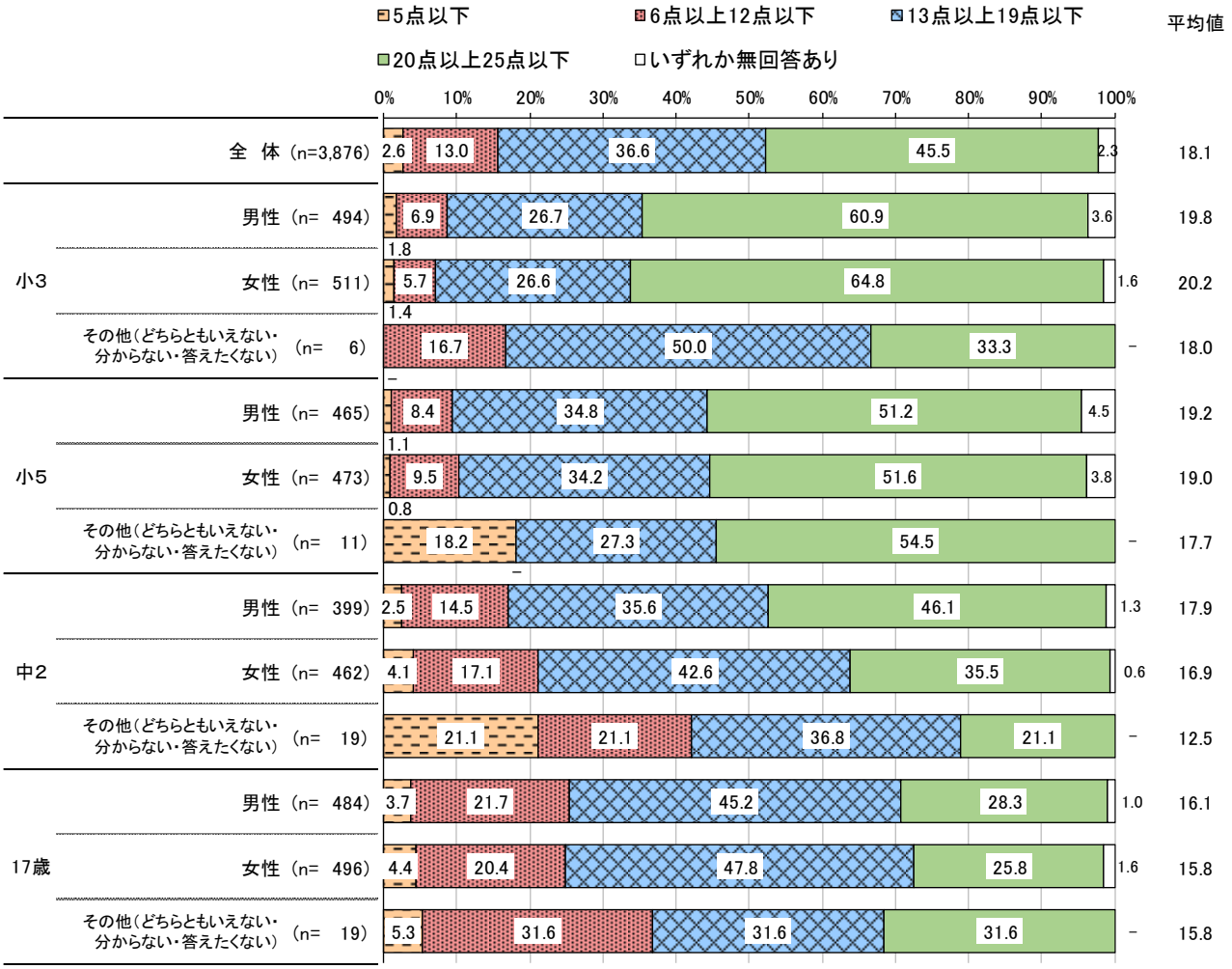
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

中2では「20 点以上 25 点以下」は男性の方が女性より 10.6 ポイント高く、「13 点以上 19 点以下」は女性の方が男性より 7.0 ポイント高い。

図表 3-26 【性別】精神的健康状態（WHO-5） ＜単一回答＞



（子供：共通）問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

いずれの学年でも「友達に関すること」は女性の方が男性より高い傾向があり、小5では 12.7 ポイント、中2では 19.7 ポイント、17 歳では 11.6 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

中2、17 歳では女性の方が男性より割合が高い項目が多い。中2では「勉強に関すること」「学校に関すること」「部活に関すること」「進学に関すること」「将来に関すること」は、それぞれ 8.7 ポイント、12.5 ポイント、5.7 ポイント、8.2 ポイント、8.0 ポイントの差で、17 歳では「勉強に関すること」「進学に関すること」が、それぞれ 5.8 ポイント、12.9 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-27 【性別】今、悩んでいること ＜複数回答＞

(%)

			n	勉強に関すること	(17歳)仕事に関すること	友達に関すること	家族に関すること	学校に関すること	(17歳、中2、小5)部活・クラブ活動に関すること	塾・習い事に関すること	進学に関すること	(17歳)就職に関すること
全体			3,876	47.0	3.5	22.0	8.0	16.1	11.8	13.2	28.1	5.4
学年	小3	男性	494	23.1		10.5	5.3	8.7		11.3	4.3	
		女性	511	19.2		15.3	6.7	10.8		10.2	5.9	
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	6	－		33.3	16.7	33.3		－	－	
	小5	男性	465	34.2		12.7	5.2	11.8	3.0	17.6	14.2	
		女性	473	35.5		25.4	4.4	11.6	4.2	17.8	14.6	
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	11	63.6		54.5	27.3	36.4	27.3	45.5	36.4	
	中2	男性	399	58.4		19.3	9.3	15.0	19.8	15.0	33.6	
		女性	462	67.1		39.0	12.3	27.5	25.5	16.2	41.8	
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	63.2		42.1	31.6	21.1	21.1	36.8	31.6	
	17歳	男性	484	67.8	15.3	20.5	7.9	19.4	23.3	8.1	49.6	21.5
		女性	496	73.6	11.3	32.1	11.7	23.6	20.6	8.1	62.5	19.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	19	68.4	21.1	31.6	10.5	31.6	15.8	15.8	47.4	31.6

			恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること	インターネットやSNSの人間関係に関すること	（戦争や事件などの）ニュースに関すること	その他	悩みはない	無回答／不明	悩んでいることがある（計）
全体			12.7	18.9	11.1	29.9	3.2	14.0	1.6	24.6	1.6	73.8
学年	小3	男性	3.8	12.3	10.5	18.0	2.4	16.0	0.4	46.0	3.4	50.6
		女性	9.2	10.6	9.6	18.4	1.8	15.9	1.4	44.4	1.2	54.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	16.7	16.7	50.0	－	16.7	－	16.7	－	83.3
	小5	男性	5.8	16.1	8.4	28.0	2.6	20.0	1.5	29.0	3.7	67.3
		女性	12.3	12.3	12.7	21.6	1.9	18.0	2.1	29.2	2.7	68.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	36.4	36.4	27.3	63.6	18.2	18.2	9.1	9.1	－	90.9
	中2	男性	13.8	22.6	12.0	31.6	4.3	11.8	1.5	18.3	1.0	80.7
		女性	17.3	24.0	11.7	39.6	4.3	12.1	1.7	13.0	0.2	86.8
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10.5	21.1	36.8	42.1	－	5.3	15.8	10.5	－	89.5
	17歳	男性	19.0	26.4	8.7	39.0	5.4	11.6	2.1	10.1	－	89.9
		女性	19.8	26.8	13.1	42.7	3.4	7.1	1.6	5.4	0.6	94.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26.3	52.6	47.4	42.1	－	10.5	－	10.5	－	89.5

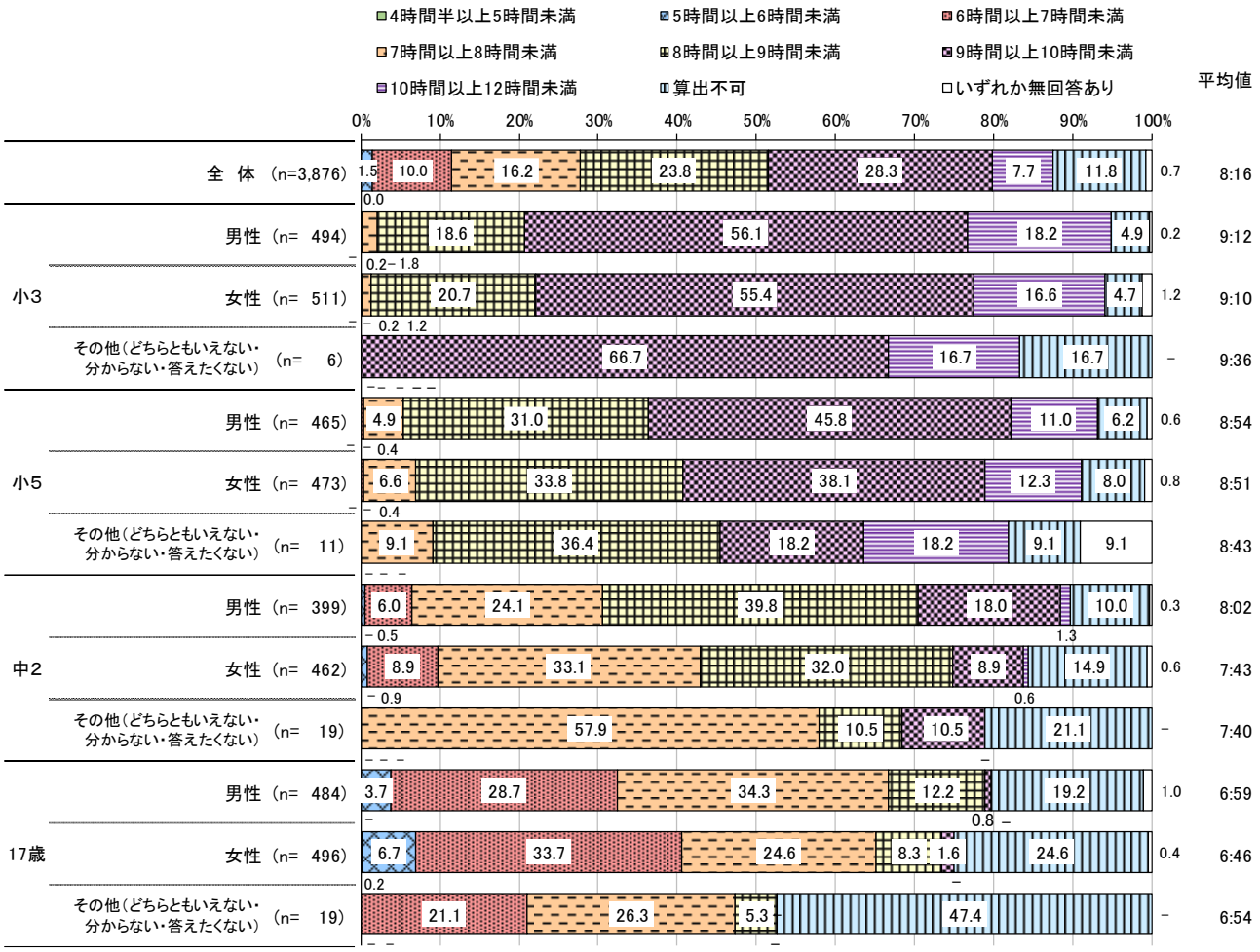
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

（子供：共通）問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ 1 つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を算出した。（算出方法は P.206 のとおり）

小3、小5では男女ともに「9時間以上 10 時間未満」が最も高いが、小5では男性の方が女性より 7.7 ポイント高い。中2では、男性は「8時間以上9時間未満」が最も高く、女性は「7時間以上8時間未満」が最も高い。17 歳では、男性は「7時間以上8時間未満」が最も高く、女性は「6時間以上7時間未満」が最も高い。

図表 3-28 【性別】睡眠時間 ＜単一回答＞



（2）テーマ別

意見表明、学校生活、居場所・遊びなど、今後の子供政策の検討に資すると考えられるテーマごとに、設問間の個別クロス集計を実施した。

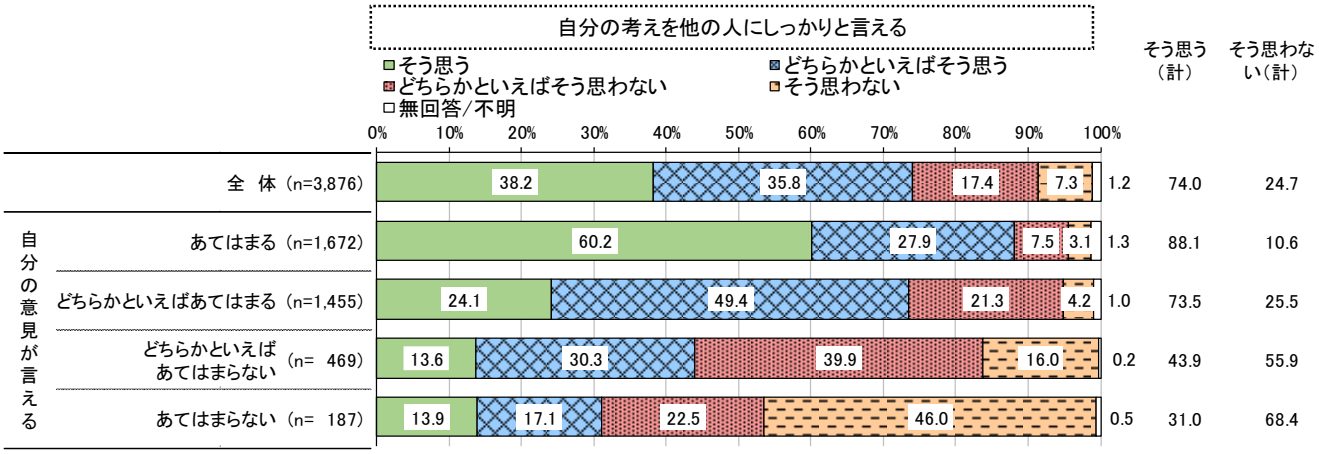
【子供の意見表明】

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

学校や職場で自分の意見が言える（「あてはまる」）子供の 88.1%は、自分の考えを他の人にしっかりと言える（そう思う（計））と回答しているが、学校や職場で自分の意見が言えない（「あてはまらない」）子供では 31.0%である。

図表 3-29　学校や職場で自分の意見が言える × 自分の考えを他の人にしっかりと言える



※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

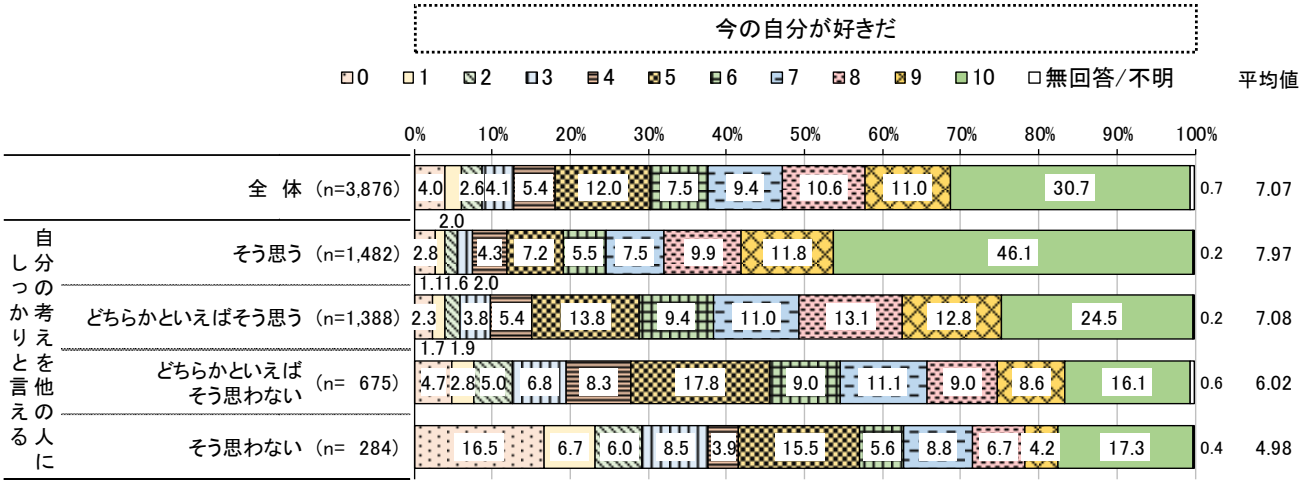
（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）。
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

※本調査では、問 26「D　今の自分が好きだ」を「自己肯定感」と定義している。

自分の考えを他の人にしっかりと言える（「そう思う」）子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 46.1％で平均値は 7.97 である。自分の考えを他の人にしっかりと言えない（「そう思わない」）子供の自己肯定感は、「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 17.3％、「0」（全くあてはまらない）が 16.5％で、平均値は 4.98 である。

図表 3-30　自分の考えを他の人にしっかりと言える × 今の自分が好きだ



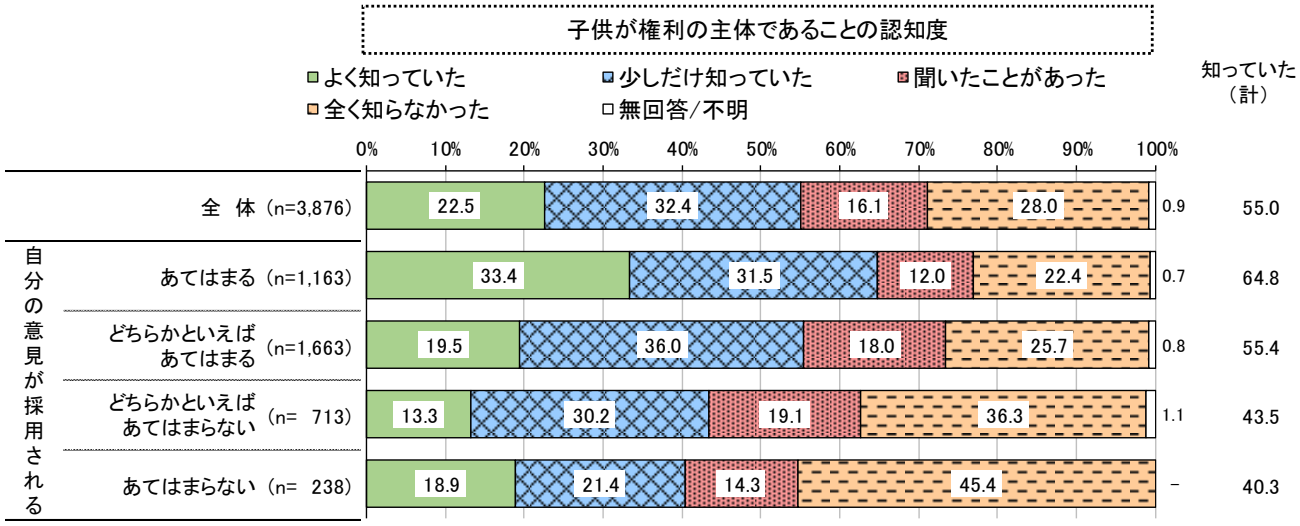
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「1　学校に所属している」「2　就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（C　自分の意見が採用される）

（子供：共通）問 42. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。
（1つだけ）

学校や職場で自分の意見が採用される（「あてはまる」）と回答した子供では、子供が権利の主体であることを「知っていた（計）」が 64.8％だが、学校や職場で自分の意見が採用されない（「あてはまらない」）と回答した子供では 40.3％である。

図表 3-31　学校や職場で自分の意見が採用される × 子供が権利の主体であることの認知度



※知っていた（計）は「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合。

【安全安心】

（子供：共通）問8. 過去 1 年以内に、あなたの住む地域（自宅（自分の家）から歩いて 20 分以内の場所）で、次のような危険な目にあったことはありますか。（いくつでも）

（子供：共通）問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）

（A.明るく、楽しい気分で過ごした）

（B.落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

（C.意欲的で、活動的に過ごした）

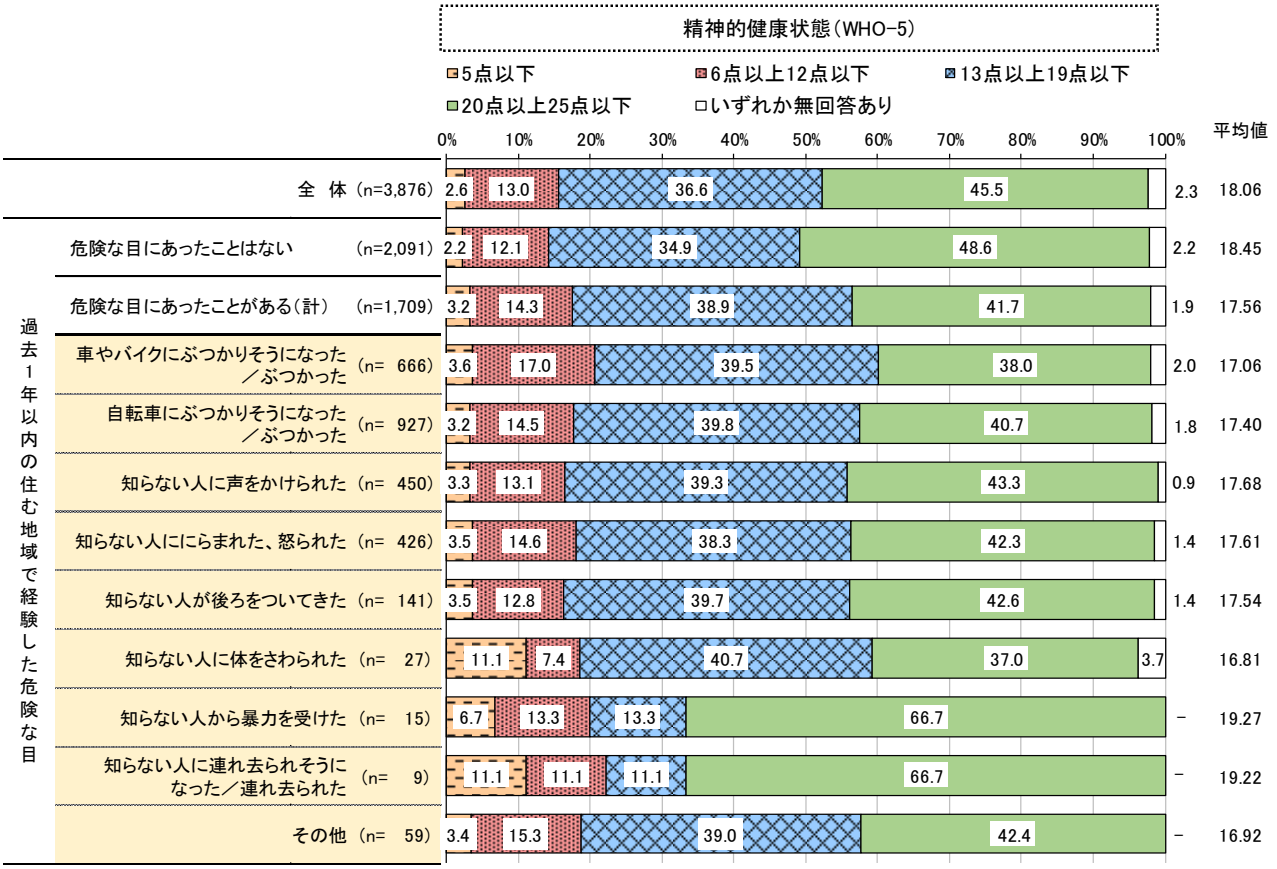
（D.ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

（E.日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

「危険な目にあったことはない」子供では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 48.6％で平均値は 18.45 である。「危険な目にあったことがある（計）」の子供では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 41.7％で平均値は 17.56 である。

図表 3-32 過去 1 年以内の住む地域で経験した危険な目 × 精神的健康状態（WHO-5）



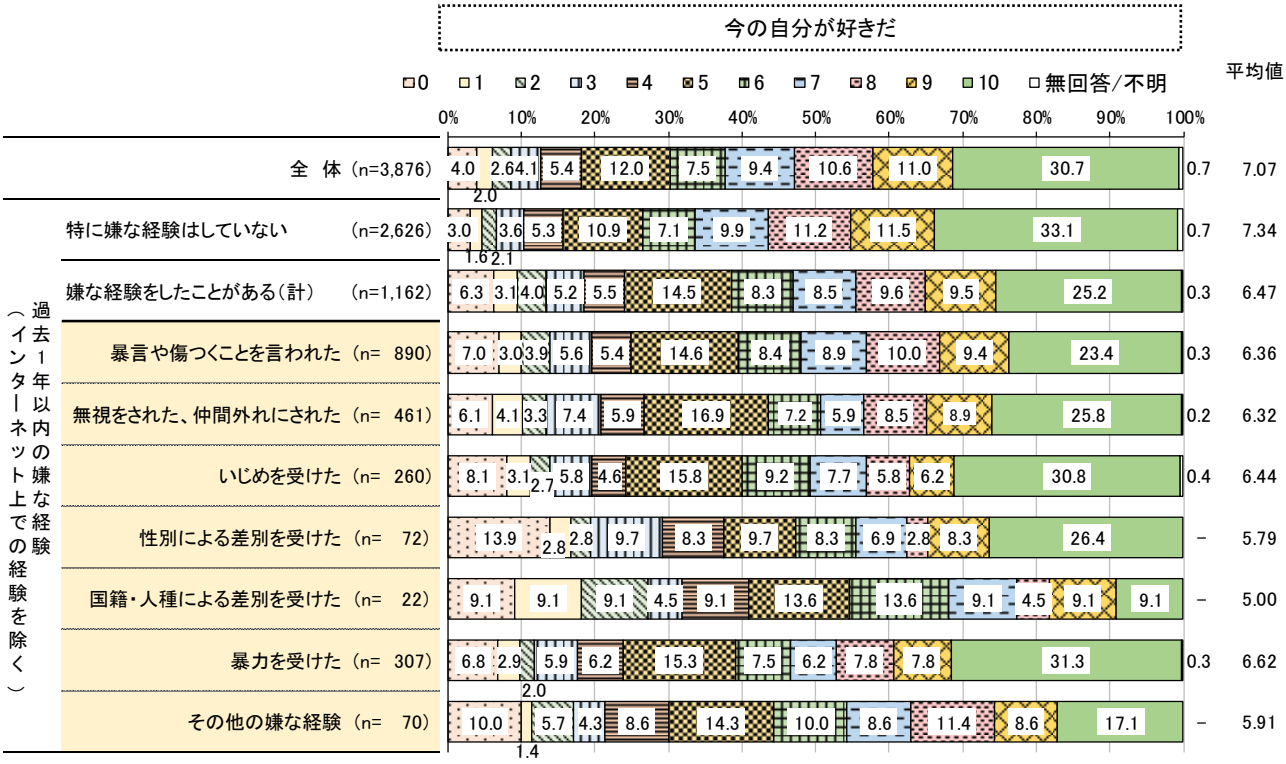
※「危険な目にあったことがある（計）」は、子供問8の「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」～「知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 36. あなたは過去1年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 今の自分が好きだ）

「特に嫌な経験はしていない」子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 33.1％で、平均値は 7.34 である。「嫌な経験をしたことがある（計）」の子供の自己肯定感は、「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 25.2％で、平均値は 6.47 である。

図表 3-33 過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く） × 今の自分が好きだ



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 38. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。（いくつでも）

（子供：共通）問 34. .あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）

（A 明るく、楽しい気分で過ごした）

（B.落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

（C.意欲的で、活動的に過ごした）

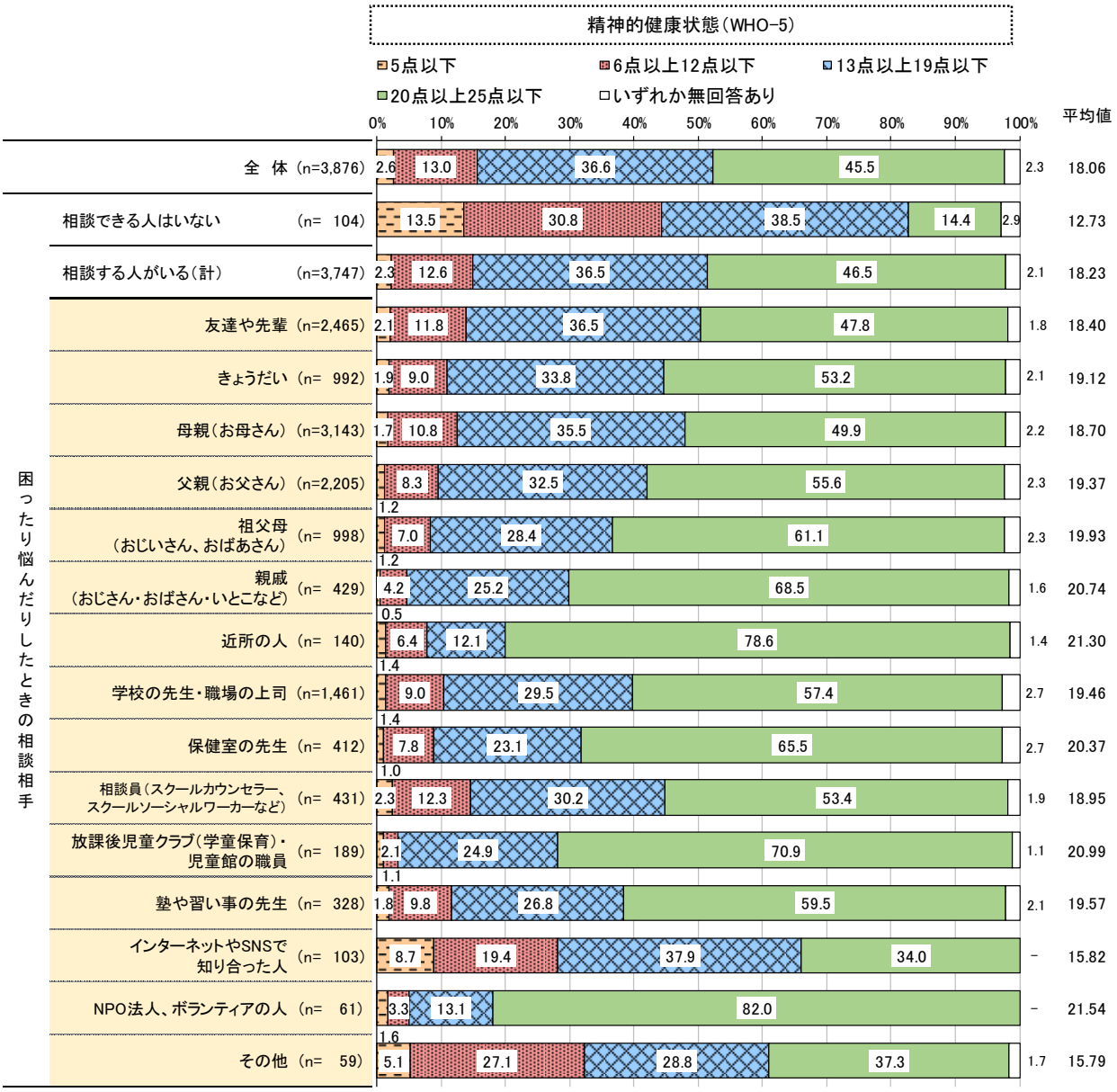
（D.ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

（E.日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

「相談する人がいる（計）」の子供では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 46.5%で平均値が 18.23 である。「相談できる人はいない」と回答した子供では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 14.4%、平均値が 12.73 である。

図表 3-34 困ったり悩んだりしたときの相談相手 × 精神的健康状態（WHO-5）



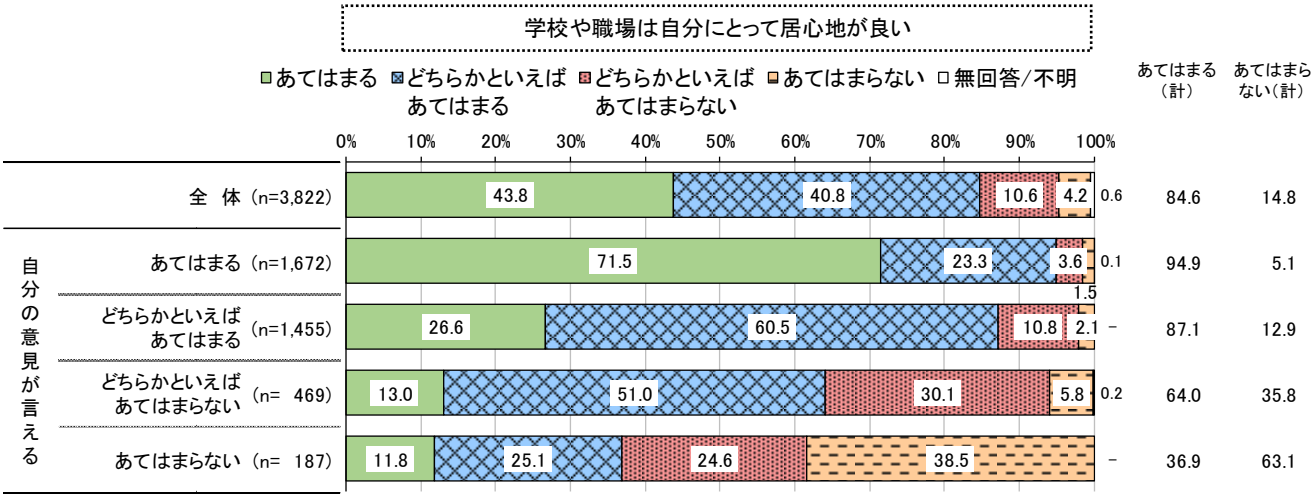
【学校生活】

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

学校や職場で自分の意見が言える（「あてはまる」）子供の 94.9%は、学校や職場が自分にとって居心地が良い（あてはまる（計））と回答しているが、学校や職場で自分の意見が言えない（「あてはまらない」）子供では 36.9%である。

図表 3-35　学校や職場で自分の意見が言える × 学校や職場は自分にとって居心地が良い



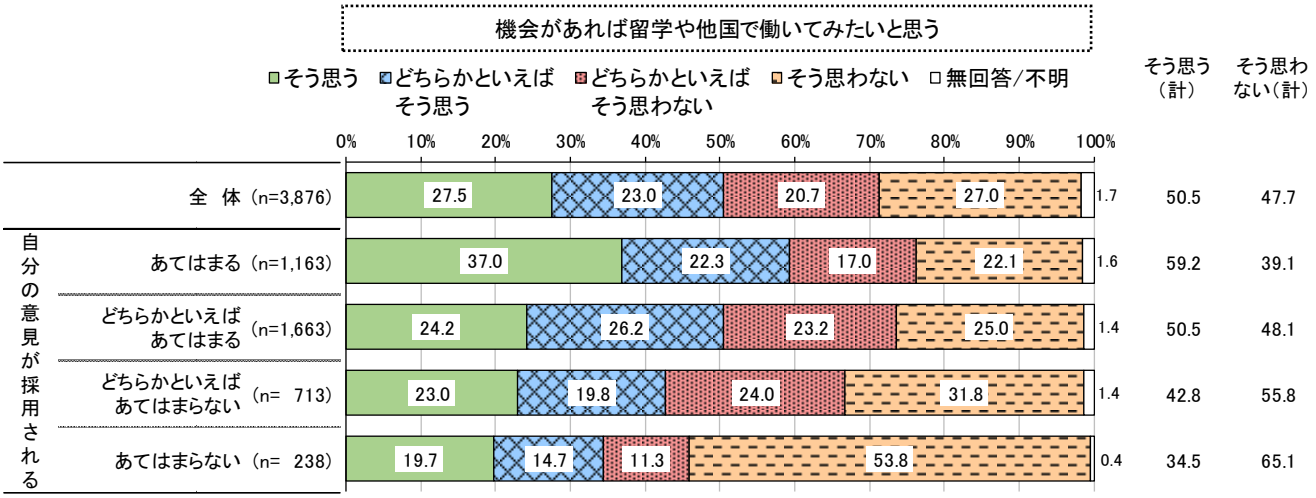
※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 25.【問 20 で「1　学校に所属している」「2　就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（C.自分の意見が採用される）

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（G.機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）

学校や職場で自分の意見が採用される（「あてはまる」）子供の 59.2%は、機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う（そう思う（計））と回答しているが、学校や職場で自分の意見が採用されない（「あてはまらない」）子供では 34.5%である。

図表 3-36 学校等で自分の意見が採用される × 機会があれば留学や他国で働いてみたい



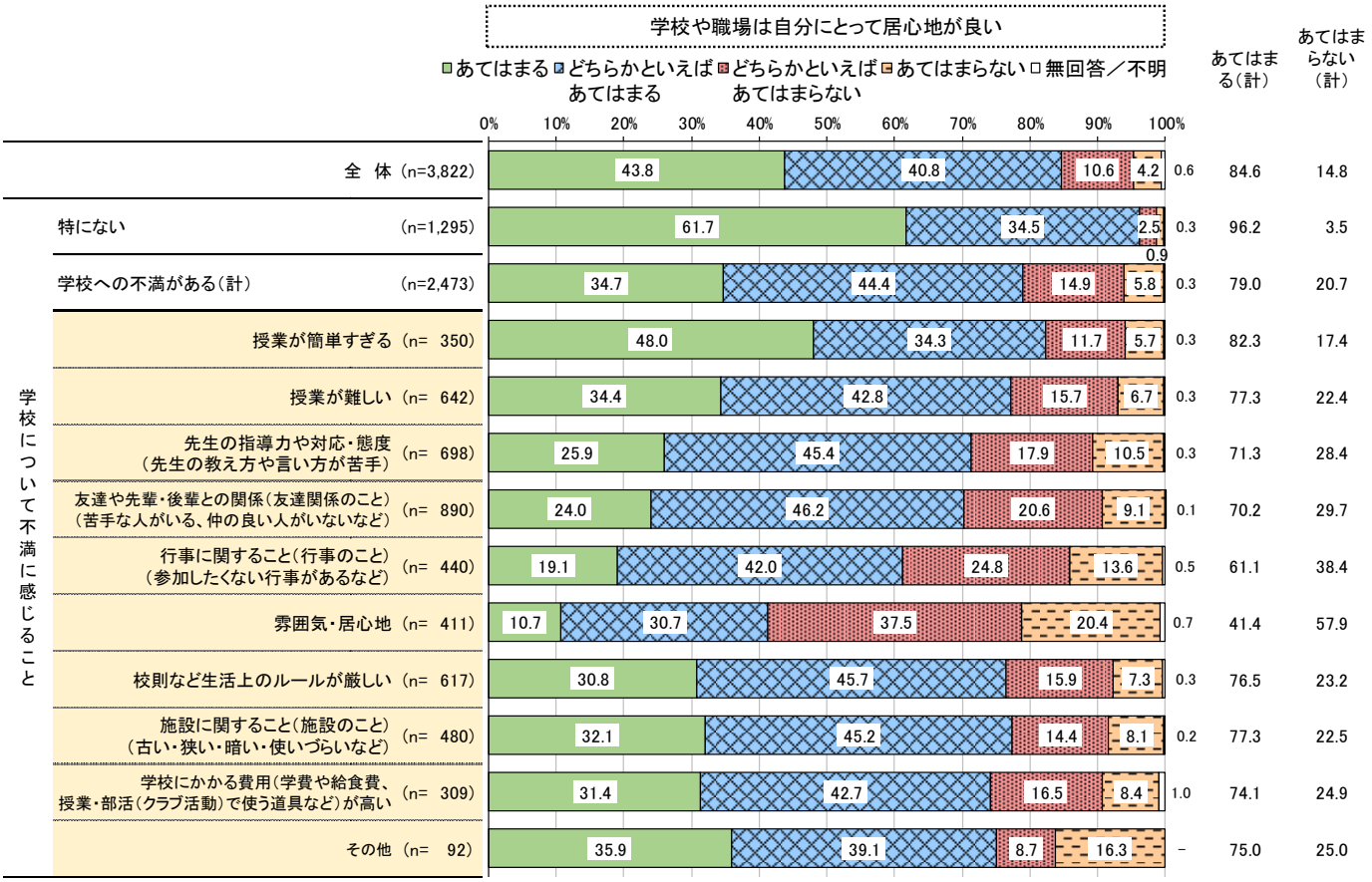
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 22.【問 20 で「学校に所属している」と答えた方にお聞きします。】
学校について、不満に感じることはありますか。（いくつでも）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

学校について不満に感じることが「特にない」子供の 96.2%は、学校や職場は自分にとって居心地が良い（あてはまる（計））と回答している。「学校への不満がある（計）」の子供では、学校や職場は自分にとって居心地が良い（あてはまる（計））が 79.0%である。

図表 3-37 学校について不満に感じること × 学校や職場は自分にとって居心地が良い



※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

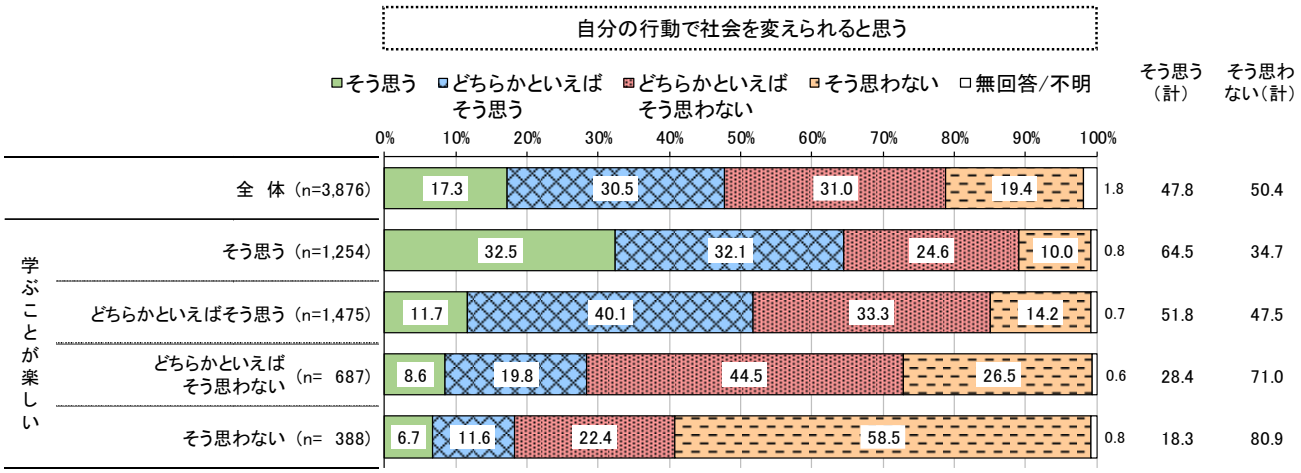
【学び・成長】

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

学ぶことが楽しい（「そう思う」）子供では、「自分の行動で社会を変えられると思う（「そう思う（計）」）が 64.5％である。学ぶことが楽しいと思わない（「そう思わない」）子供では、「自分の行動で社会を変えられると思う（「そう思う（計）」）が 18.3％である。

図表 3-38　学ぶことが楽しい　×　自分の行動で社会を変えられると思う



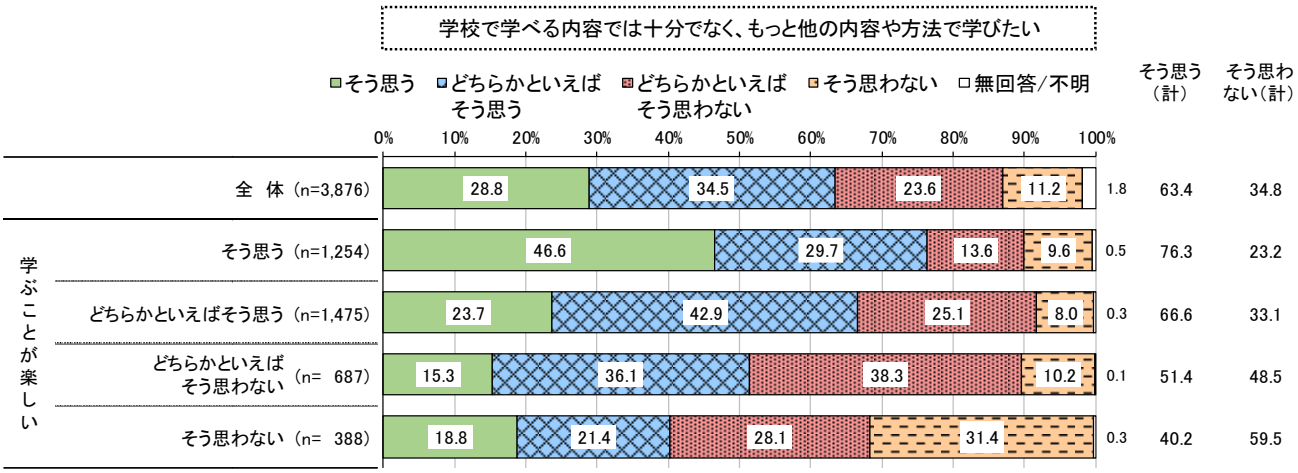
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C 学ぶことが楽しい）

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（B 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）

学ぶことが楽しい（「そう思う」）子供では、学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい（そう思う（計））が 76.3％である。学ぶことが楽しいと思わない（「そう思わない」）子供では、もっと他の内容や方法で学びたい（「そう思う（計）」）が 40.2％である。

図表 3-39 学ぶことが楽しい × 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい



※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

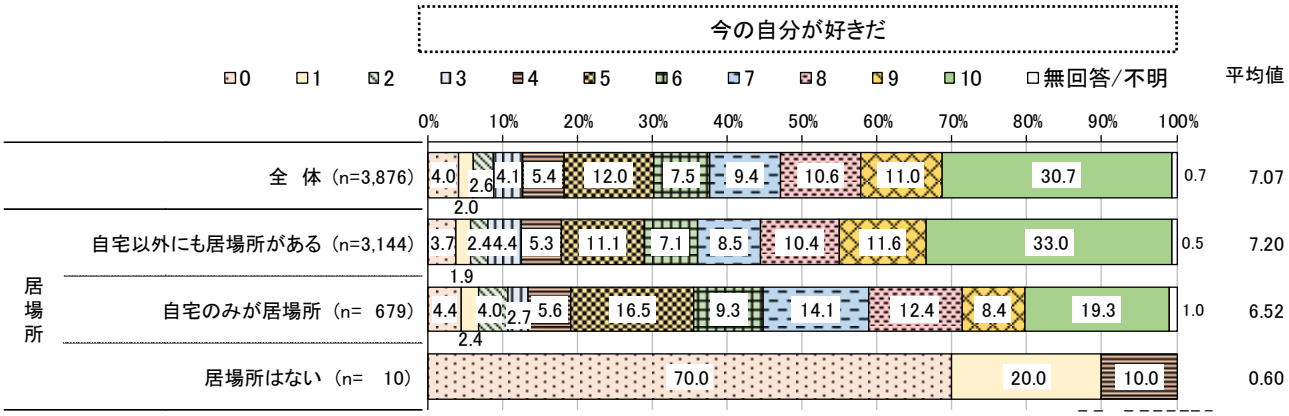
【居場所・遊び】

（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

（子供：共通）問 26. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

「自宅以外にも居場所がある」子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 33.0％で平均値は 7.20 である。「自宅のみが居場所」の子供は、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）が 19.3％で、平均値は 6.52 である。

図表 3-40　居場所（自宅以外と自宅のみ）　×　今の自分が好きだ



※「自宅以外にも居場所がある」は、子供問 33 で「祖父母・親戚の家」～「飲食店・商業施設」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

「自宅のみが居場所」は、子供問 33 で「自分の部屋」「自分の部屋以外の家の中」だけを選択した子供の割合。

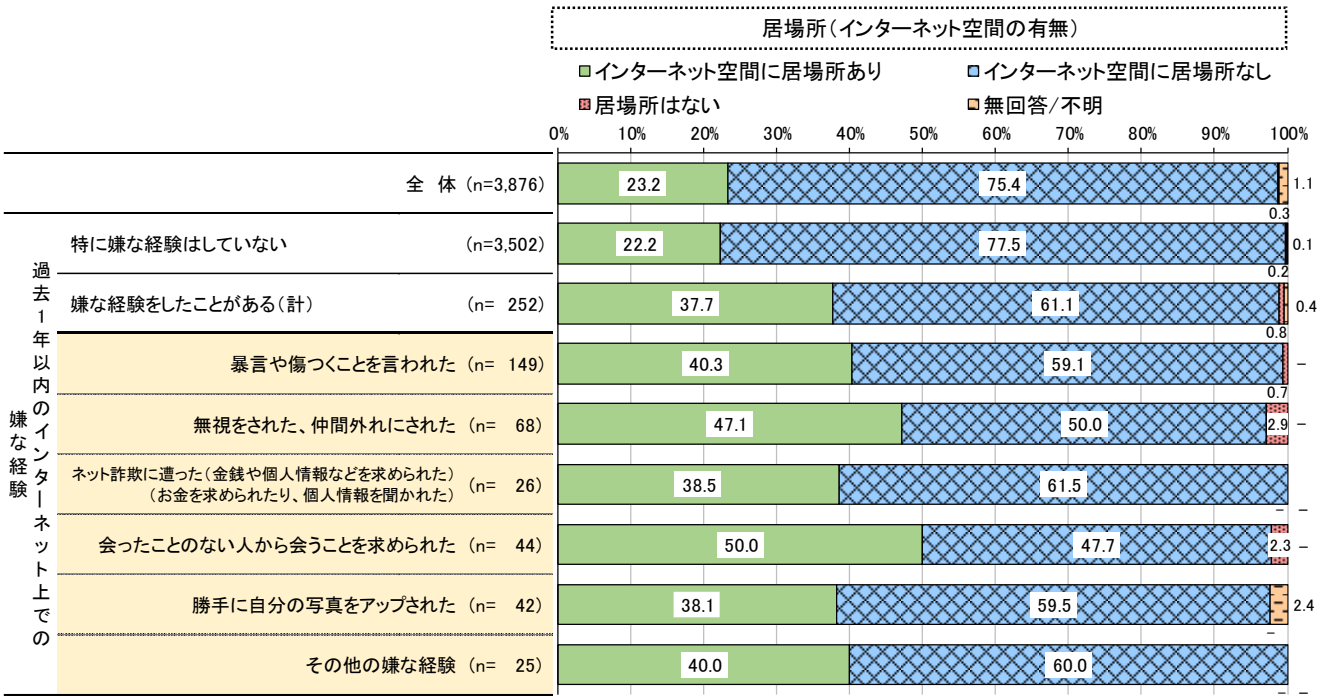
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 37. あなたは過去 1 年以内に、インターネット上で次のような経験をしたことがありますか。
（いくつでも）

（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

過去 1 年以内にインターネット上で「特に嫌な経験はしていない」子供では、「インターネット空間に居場所あり」が 22.2％で、「インターネット空間に居場所なし」は 77.5％である。過去 1 年以内にインターネット上で「嫌な経験をしたことがある（計）」子供では、「インターネット空間に居場所あり」が 37.7％で、「インターネット空間に居場所なし」は 61.1％である。

図表 3-41 過去1年以内のインターネット上での嫌な経験 × 居場所（インターネット空間の有無）



※「インターネット空間に居場所あり」は、子供問 33 で「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」を選択した子供の割合。

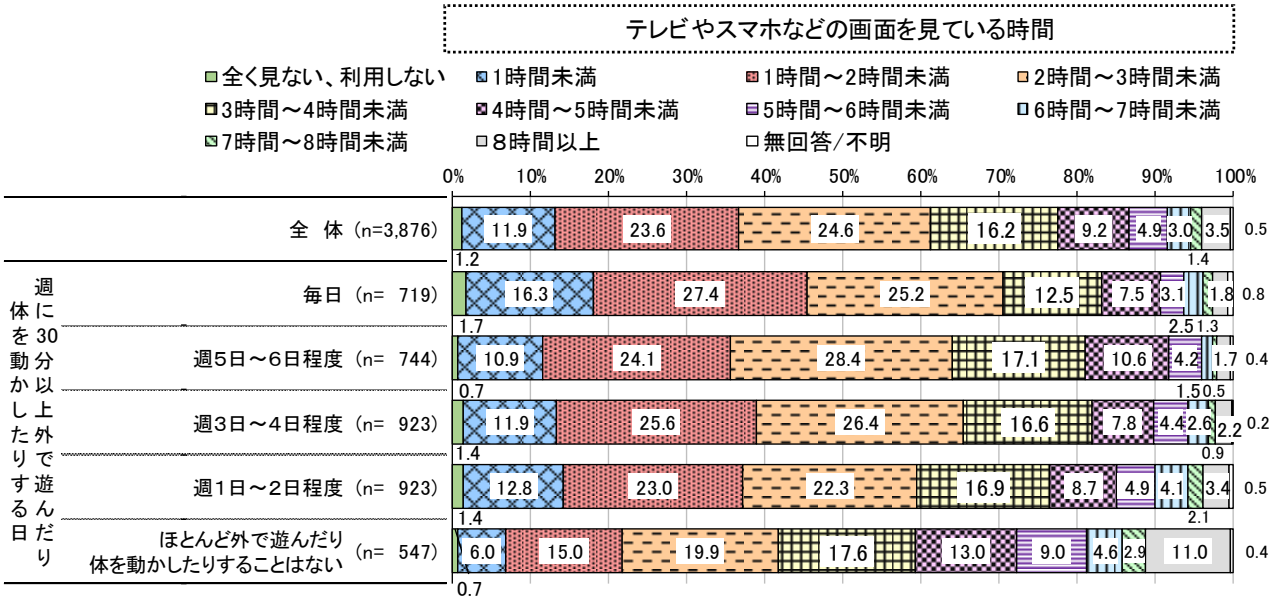
「インターネット空間に居場所なし」は、子供問 33 で「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」を選択しなかった子供の割合。

（子供：共通）問7. あなたは、週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

（子供：共通）問 41. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日が「毎日」と回答した子供では、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間は「1時間～2時間未満」が 27.4％で最も高い。「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」と回答した子供では、「2 時間～3 時間未満」が 19.9％で最も高いが、「8時間以上」も 11.0％である。

図表 3-42 週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日 × テレビやスマホなどの画面を見ている時間



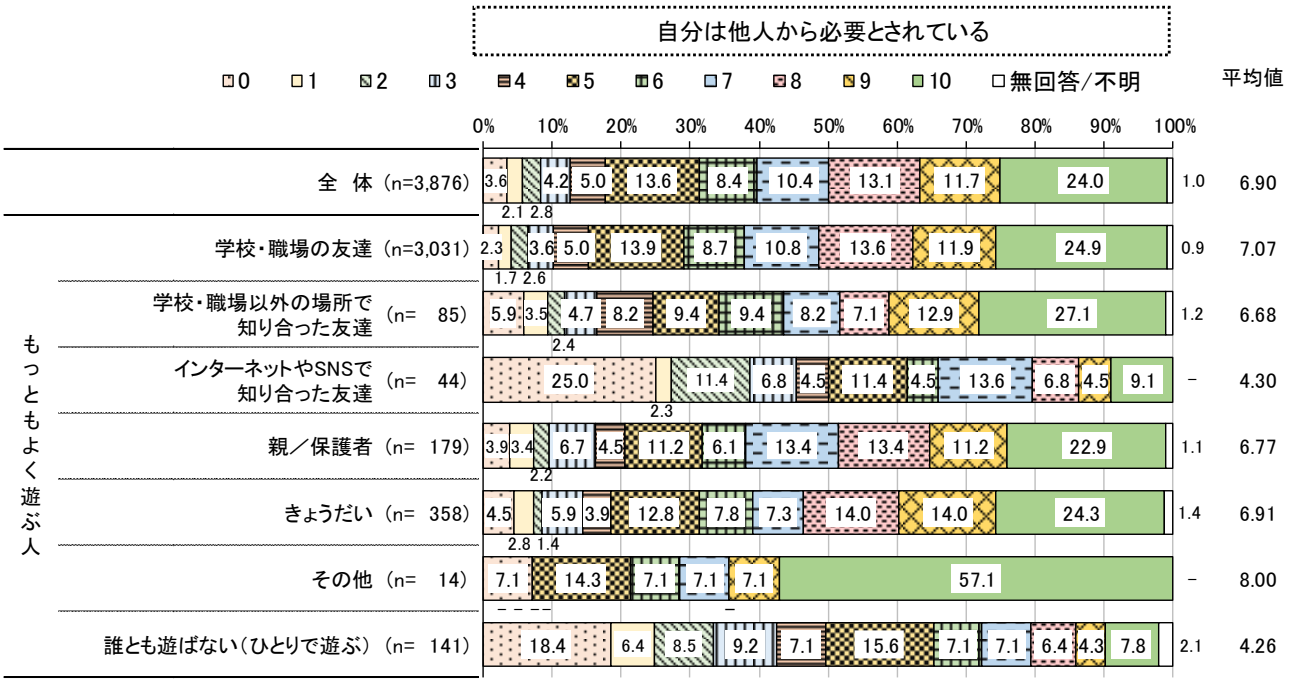
（子供：共通）問6. あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。（1つだけ）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

※本調査では、（子供）問 26「F　自分は他人から必要とされている」を「自己有用感」と定義している。

普段、「学校・職場の友達」と遊ぶ子供は、「自分は他人から必要とされている」に「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 24.9％で、平均値は 7.07 である。「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」子供の自己有用感は、「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 7.8％、「0」（全くあてはまらない）が 18.4％で、平均値は 4.26 である。

図表 3-43　もっともよく遊ぶ人　×　自分は他人から必要とされている



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【地域社会】

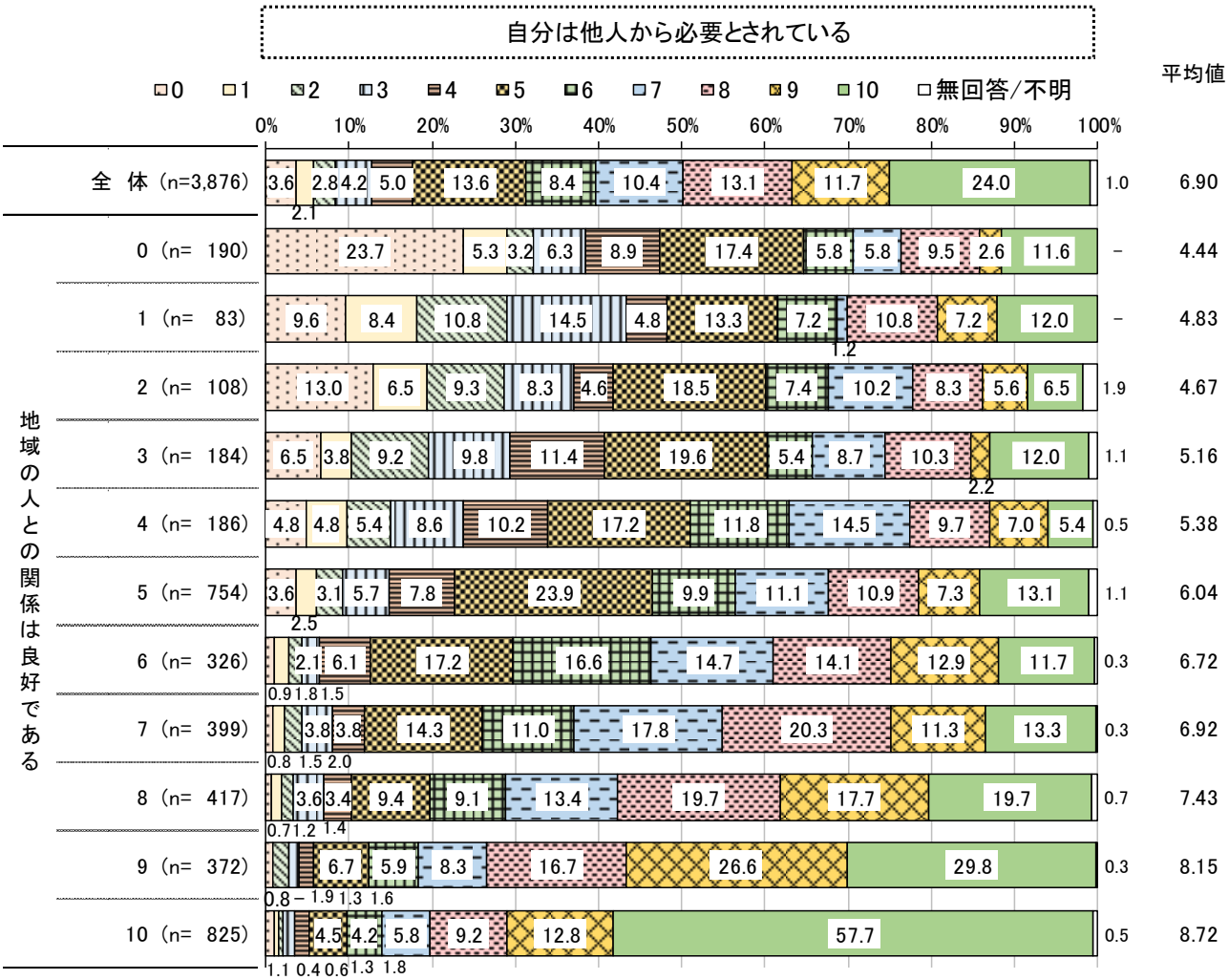
（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

※本調査では、（子供）問 26「F　自分は他人から必要とされている」を「自己有用感」と定義している。

「地域の人との関係は良好である」に「10」（とてもあてはまる）と回答した子供は、「自分は他人から必要とされている」に「10」（とてもあてはまる）が 57.7％で平均値 8.72 である。「地域の人との関係は良好である」に「0」（全くあてはまらない）と回答した子供の自己有用感は、「10」（とてもあてはまる）は11.6％、「0」（全くあてはまらない）が 23.7％で平均値が 4.44 である。

図表 3-44　地域の人との関係は良好である　×　自分は他人から必要とされている



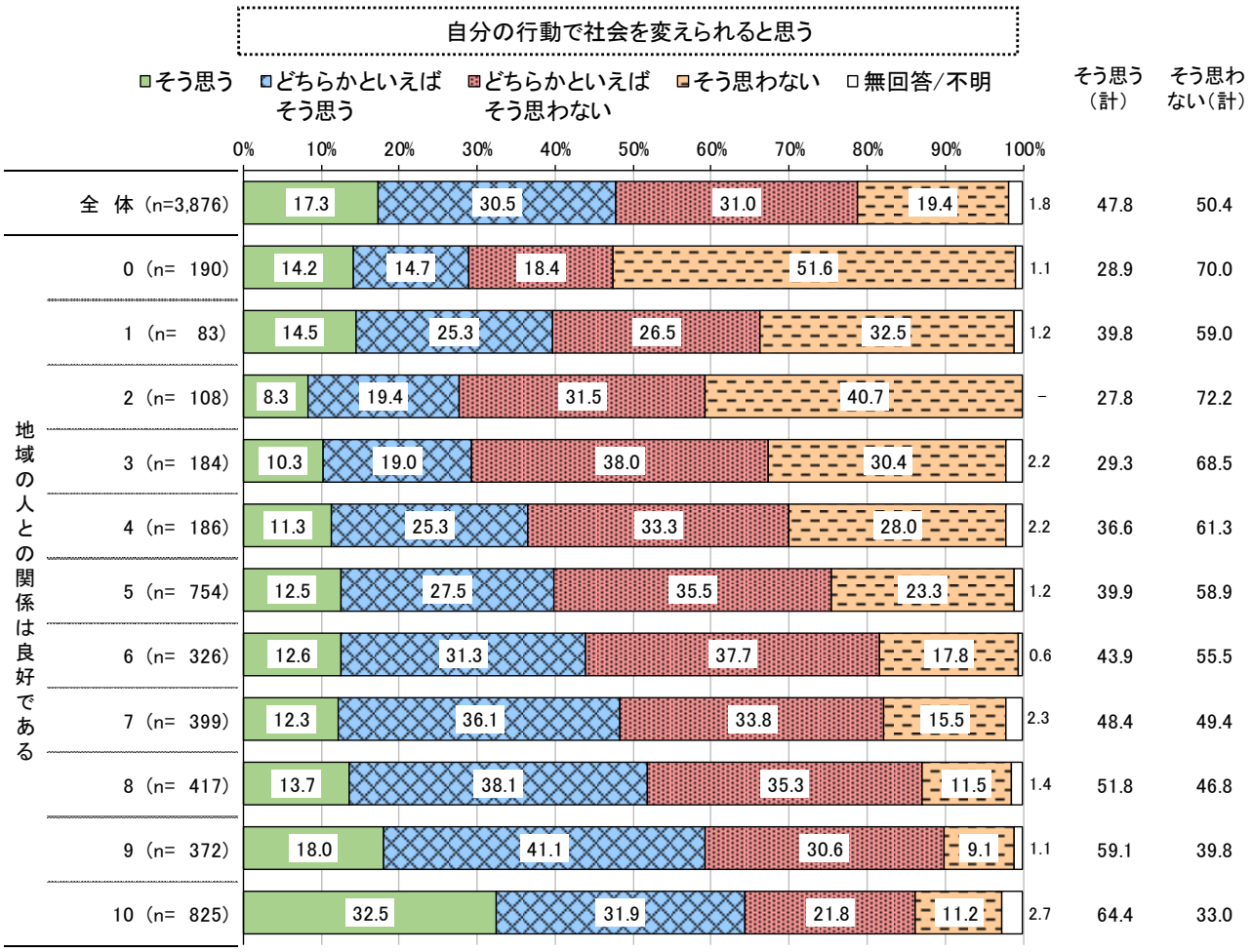
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

「地域の人との関係は良好である」に「10」（とてもあてはまる）と回答した子供では、「自分の行動で社会を変えられる（そう思う（計））」が 64.4％である。「地域の人との関係は良好である」に「0」（全くあてはまらない）と回答した子供では、「自分の行動で社会を変えられる（そう思う（計））」が 28.9％である。

図表 3-45　地域の人との関係は良好である　×　自分の行動で社会を変えられると思う



※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

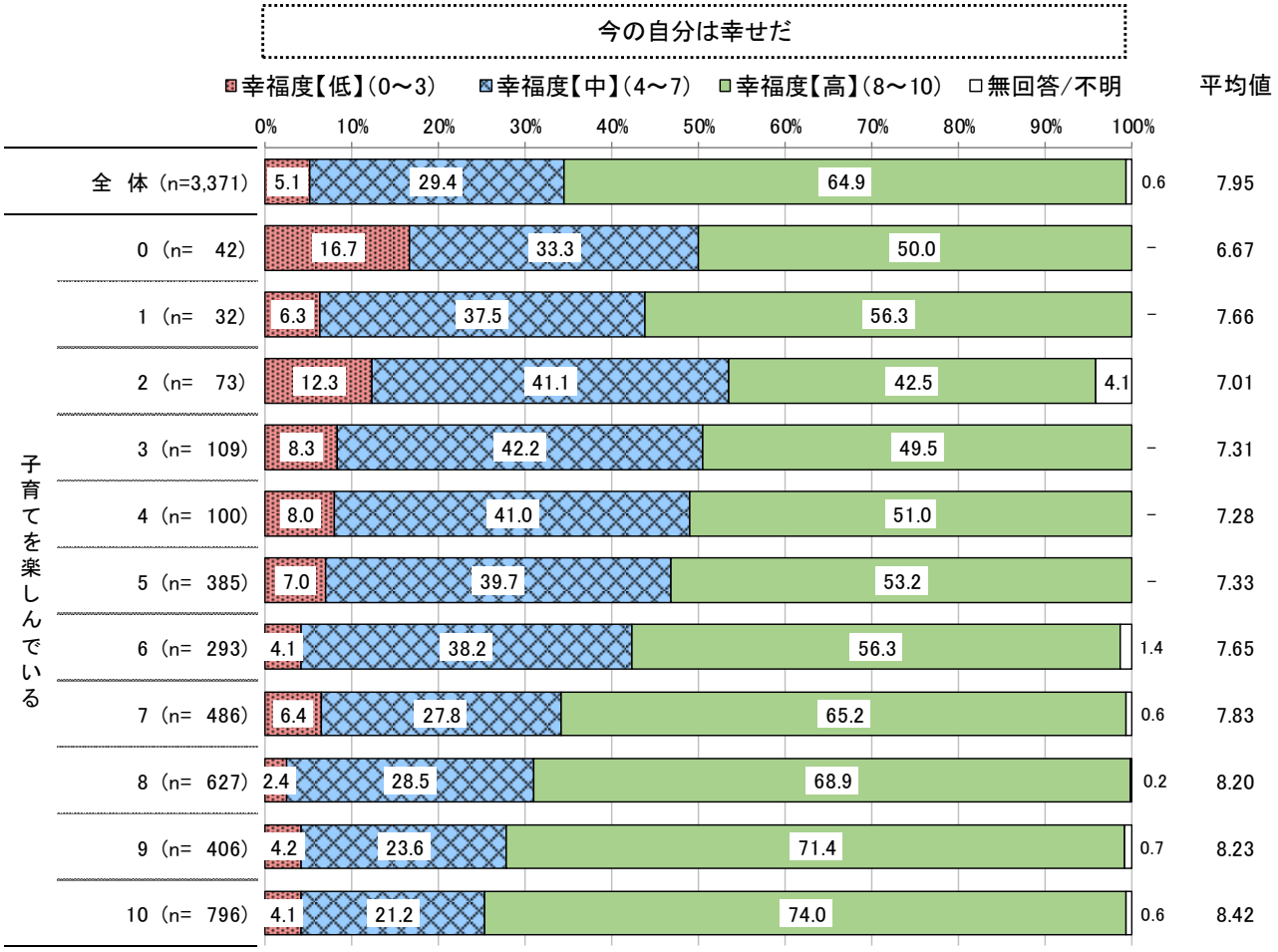
【子育て】

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H 子育てを楽しんでいる）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B 今の自分は幸せだ）

「子育てを楽しんでいる」に「10」（とてもあてはまる）と回答した保護者の子供は、幸福度【高】が 74.0％である。「子育てを楽しんでいる」に「2」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】は 42.5％、幸福度【低】が 12.3％である。

図表 3-46 （保護者）子育てを楽しんでいる × （子供）今の自分は幸せだ



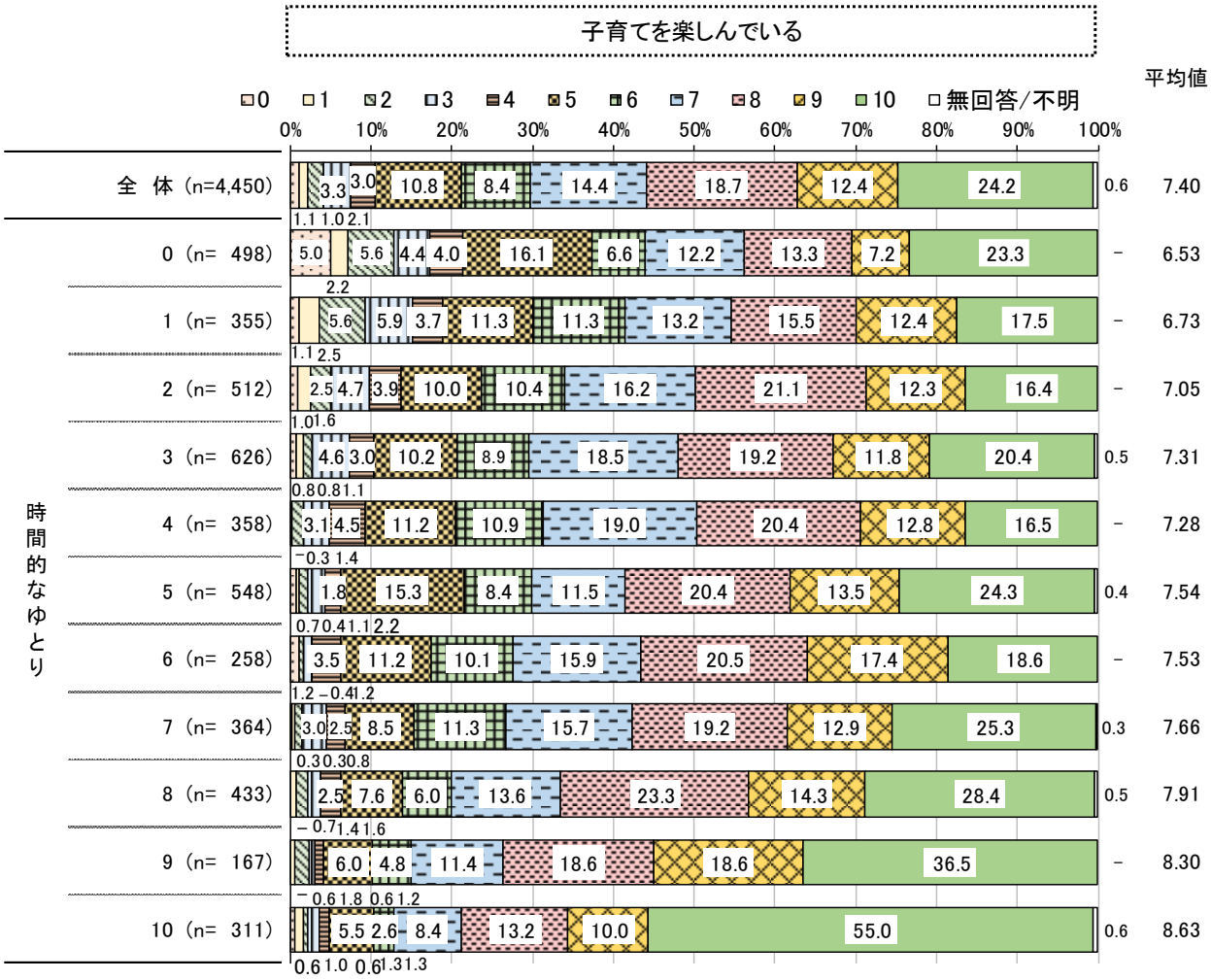
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（A　時間的なゆとり）

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　子育てを楽しんでいる）

「時間的なゆとり」を感じられているかに「10」（とてもあてはまる）と回答した保護者では、「子育てを楽しんでいる」に「10」と回答した割合は 55.0%、平均値は 8.63 である。「時間的なゆとり」を感じられているかに「0」（全くあてはまらない）と回答した保護者では、「子育てを楽しんでいる」に「10」と回答した割合は 23.3%、平均値は 6.53 である。

図表 3-47　時間的なゆとり　×　子育てを楽しんでいる



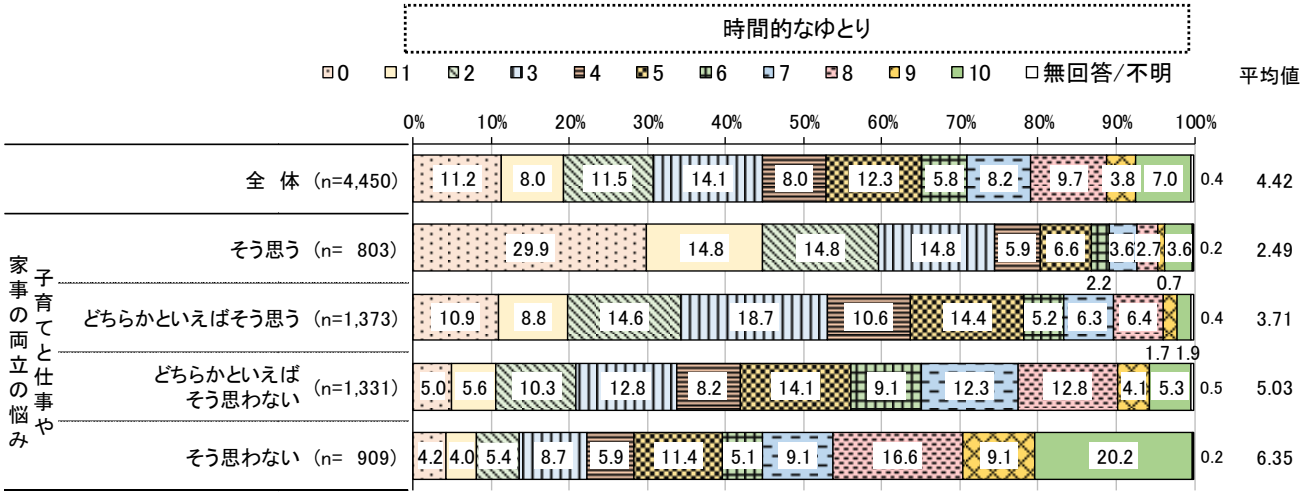
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　子育てと仕事や家事の両立）

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（A　時間的なゆとり）

子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う」）保護者は、「時間的なゆとり」を感じられているかに「10」（とてもあてはまる）と回答した保護者は 3.6%、「0」（全くあてはまらない）と回答した保護者は 29.9%で、平均値は 2.49 である。子育てと仕事や家事の両立に悩んでいない（「そう思わない」）保護者では、「時間的なゆとり」を感じられているかに「10」（とてもあてはまる）と回答した保護者は 20.2%で、平均値は 6.35 である。

図表 3-48　子育てと仕事や家事の両立の悩み　×　時間的なゆとり



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

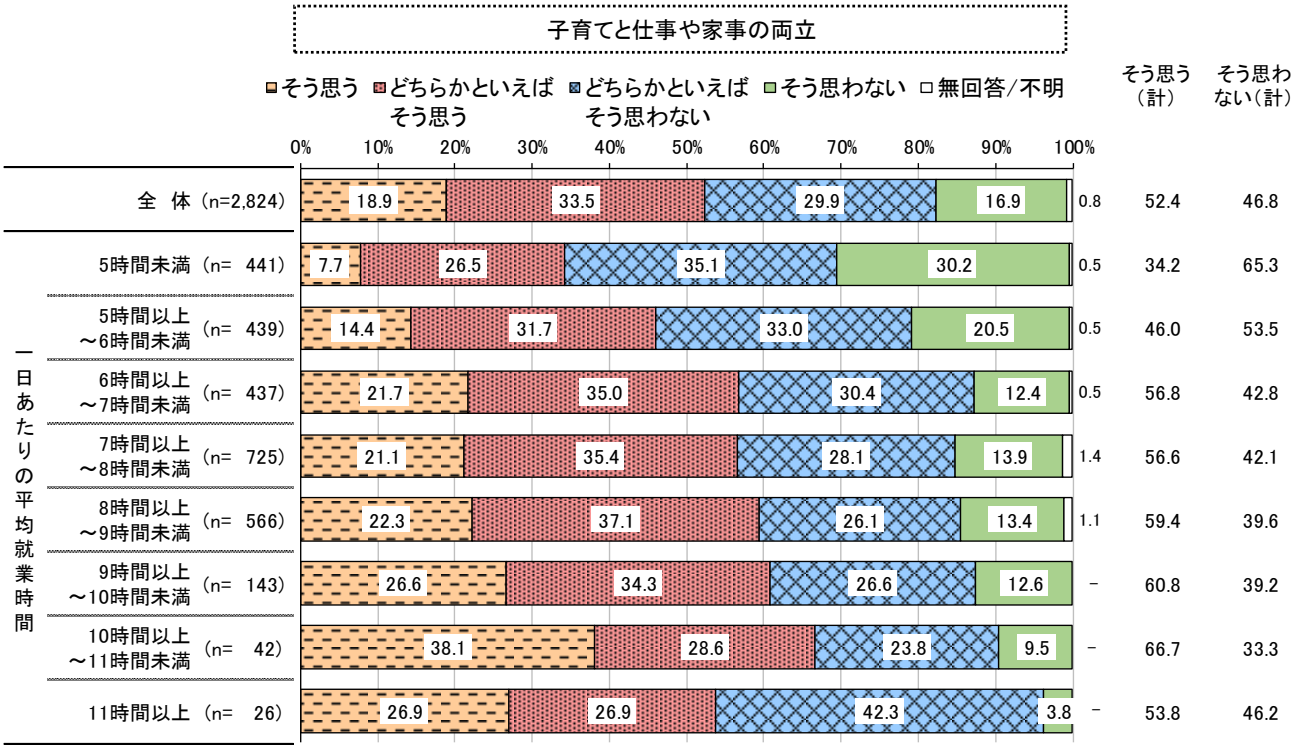
（保護者：共通）問8.【問7で「1」～「5」と回答された方にお聞きします。】
あなたの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。
また、「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（B　1日あたりの平均就業時間）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　子育てと仕事や家事の両立）

※上記設問のクロス集計は、保護者の問1（お子様との関係）で「母」と回答し、かつ問7（就業状況）で「経営者」～「その他」のいずれかを回答した保護者（就業している母親）に絞ってクロス集計している。

一日あたりの平均就業時間が「6時間以上～7時間未満」から長くなると、子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う（計）」）割合が、悩んでいない（「そう思わない（計）」）割合より高くなる。

図表 3-49　1日あたりの平均就業時間　×　子育てと仕事や家事の両立



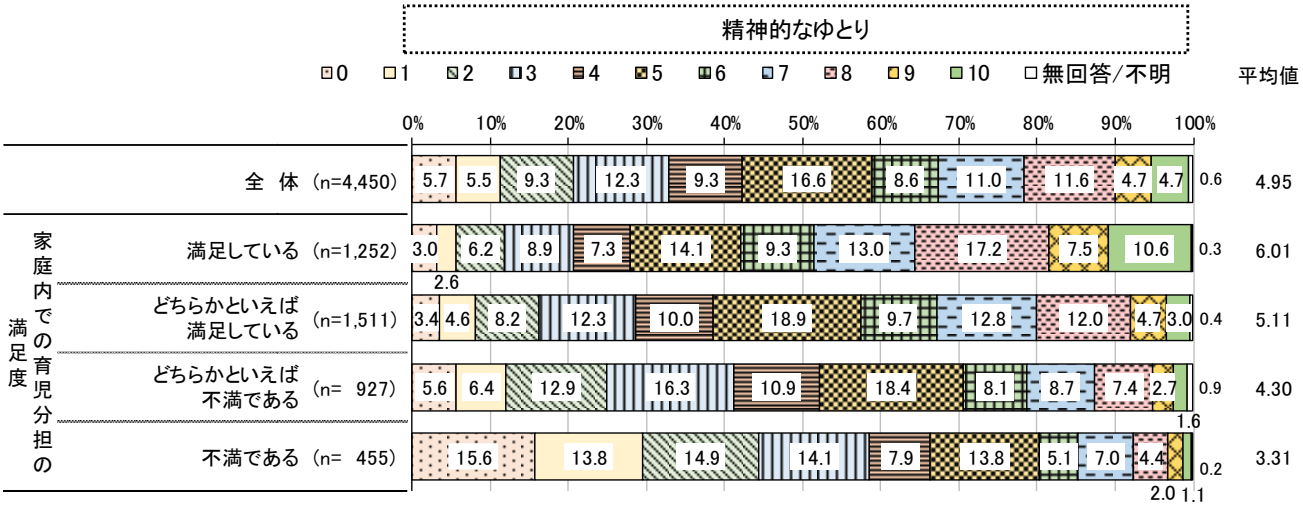
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（保護者：共通）問 21B. あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（D　精神的なゆとり）

家庭内での育児分担に「満足している」保護者は、「精神的なゆとり」を感じられているかに「10」（とてもあてはまる）が 10.6％で、平均値は 6.01 である。「不満である」保護者は、「精神的なゆとり」を感じられているかに「10」（とてもあてはまる）は 1.1％、「0」（全くあてはまらない）が 15.6％で、平均値が 3.31 である。

図表 3-50 家庭内での育児分担の満足度 × 精神的なゆとり



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

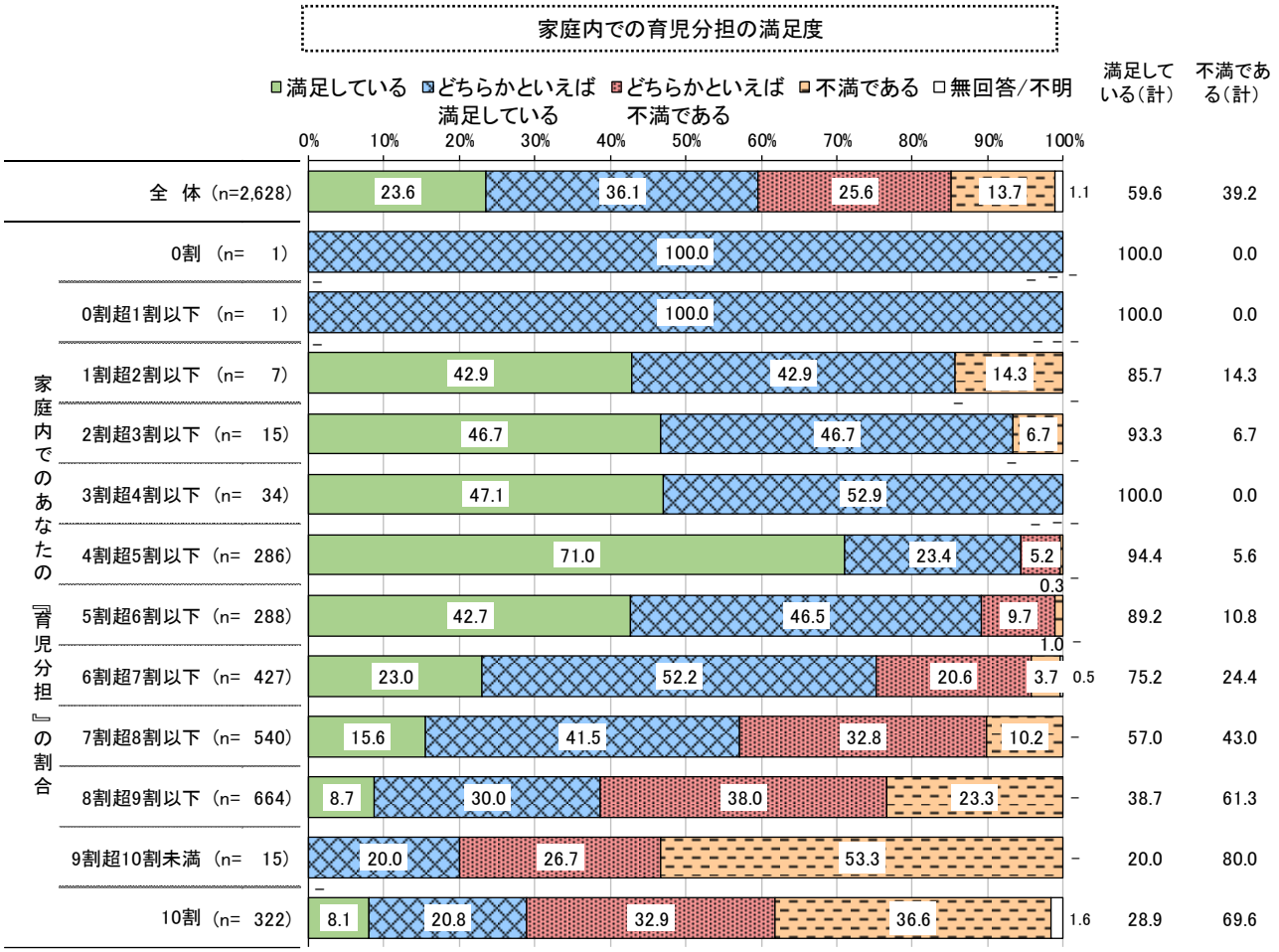
（保護者：共通）問 20. ご家庭内での「家事の分担」「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（B 育児の分担）

（保護者：共通）問 21B.【配偶者／パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

※上記設問のクロス集計は、保護者の問1（お子様との関係）で「母」と回答し、かつ問7（就業状況）で「経営者」～「その他」のいずれかを回答した保護者（就業している母親）に絞ってクロス集計している。

家庭内での育児分担が「4割超5割以下」である保護者（就業している母親）は、育児分担に「満足している（計）」割合が 94.4％である。育児分担が「10割」である保護者（就業している母親）は、育児分担に「不満である(計)」が 69.6％である。

図表 3-51 家庭内でのあなたの『育児分担』の割合 × 家庭内での育児分担の満足度



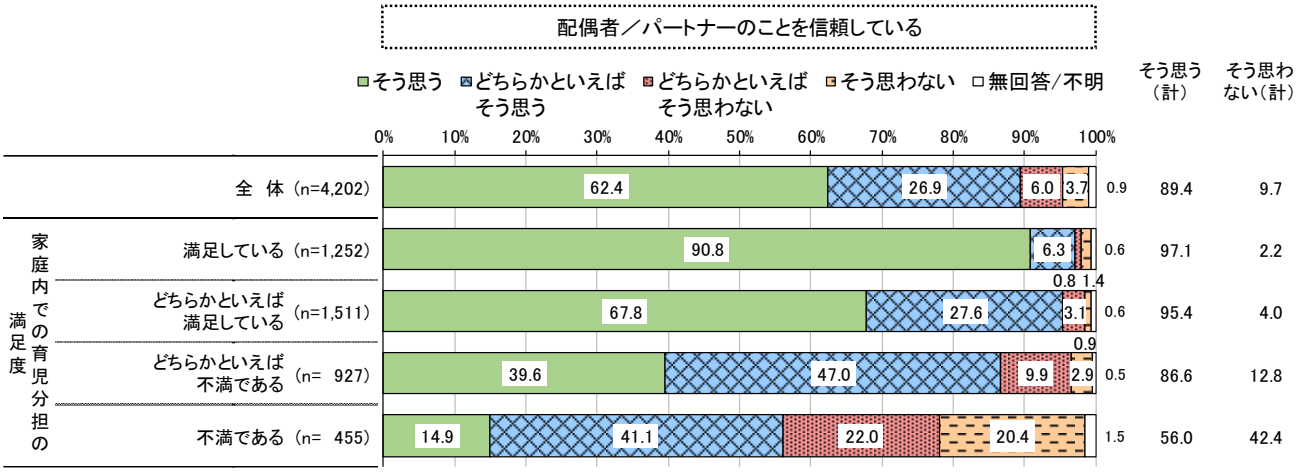
※満足している（計）は「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合。
不満である（計）は「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の割合。

（保護者：共通）問 21B. あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

（保護者：共通）問 16.【配偶者／パートナーがいる方にお聞きします。】あなたと配偶者／パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つずつ）
（B　配偶者／パートナーのことを信頼している）

家庭内での育児分担に満足している（「満足している」）保護者の 90.8%が、配偶者／パートナーのことを信頼している（「そう思う」）と回答。「不満である」保護者では、配偶者／パートナーのことを信頼している（「そう思う」）は 14.9%である。

図表 3-52 家庭内での育児分担の満足度 × 配偶者／パートナーのことを信頼している



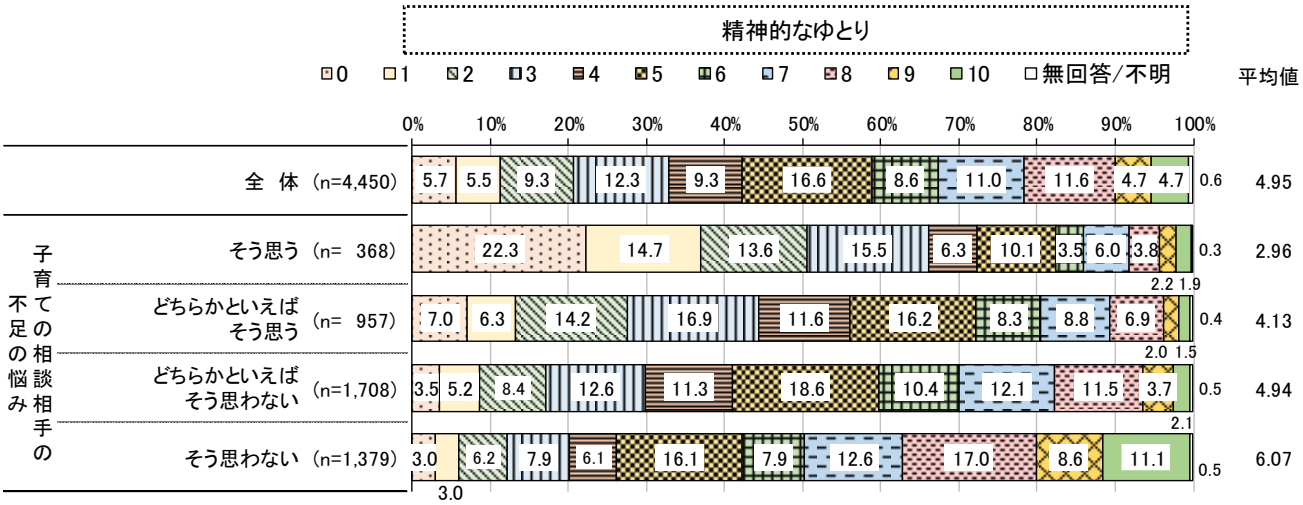
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　子育ての相談相手の不足）

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（D　精神的なゆとり）

子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う」）保護者は、「精神的なゆとり」を感じられているかに「0」（全くあてはまらない）と回答した割合が 22.3％で、平均値は 2.96 である。子育ての相談相手の不足に悩んでいない（「そう思わない」）保護者は、「精神的なゆとり」を感じられているかに「8」と回答した割合が 17.0％で最も高く、平均値が 6.07 である。

図表 3-53　子育ての相談相手の不足の悩み　×　精神的ゆとり



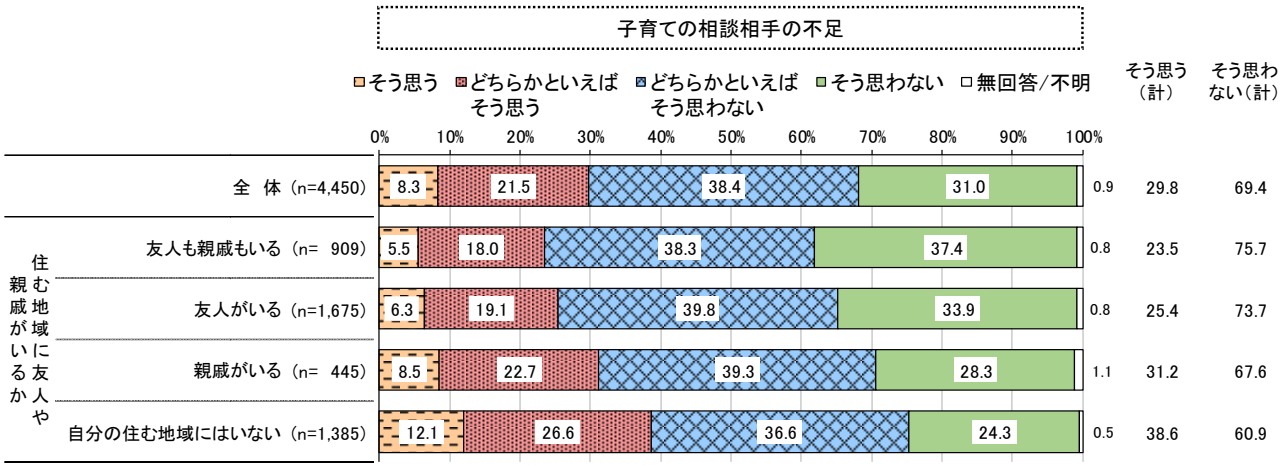
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（保護者：共通）問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友人や親戚はいますか。
（1つだけ）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　子育ての相談相手の不足）

住む地域に「友人も親戚もいる」保護者では、子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う（計）」）は 23.5%である。友人や親戚が「自分の住む地域にはいない」保護者では、子育ての相談相手が不足に悩んでいる（「そう思う（計）」）は 38.6%である。

図表 3-54 住む地域に友人や親戚がいるか × 子育ての相談相手の不足



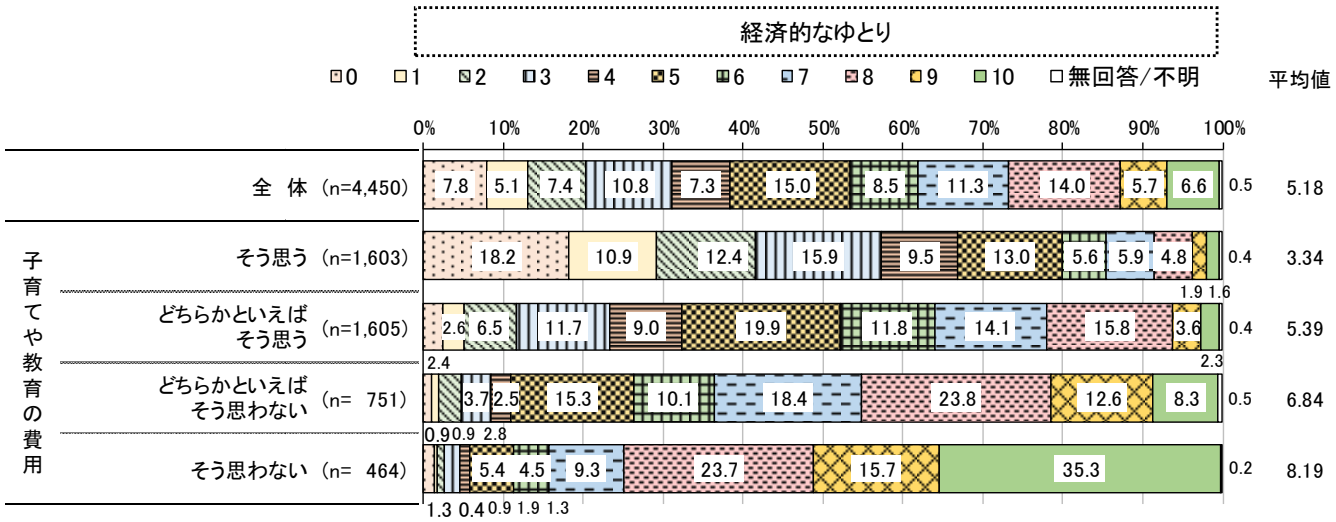
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子育てや教育の費用）

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（B　経済的なゆとり）

子育てや教育の費用に悩んでいる（「そう思う」）保護者では、「経済的なゆとり」を感じられているかに「0」（全くあてはまらない）と回答した割合は 18.2％で、平均値は 3.34。子育てや教育の費用に悩んでいない（「そう思わない」）保護者では、「経済的なゆとり」を感じられているかに「10」（とてもあてはまる）が 35.3％で、平均値は 8.19。

図表 3-55　子育てや教育の費用 × 経済的なゆとり



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（3）重回帰分析

子供の幸福度の重回帰分析

子供の幸福度との関連性を明らかにするために、各学年の子供の設問から選定した 19 項目を説明変数として学年ごとに重回帰分析を行った。なお、選定した 19 項目は各学年で共通で、欠損値が含まれるものを除いて実施した。また、多重共線性の指標（VIF）は最大で 3.096 となっており、一般的に多重共線性の目安とされる 10 を超える項目はなかったため、項目の除外は行っていない。

結果を図表 3-56～3-59 に示している。なお、項目は標準偏回帰係数の値が大きいものから順に並べて表示している。また、説明変数のうち、以下の項目において有意な結果（有意水準5％以下）が得られた。

【小 3】（11 項目）
・Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる
・Q16C 学ぶことが楽しい
・Q21 学校等が好きか
・Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い
・Q25E 安心して相談できる先生等がいる
・Q26F 他人から必要とされている
・Q26G 夢中になれることがある
・Q32A 友達との関係は良好だ
・Q32B 家族との関係は良好だ
・Q32C 学校の先生等との関係は良好だ
・Q32D 地域の人との関係は良好だ

【小 5】（5項目）
・Q21 学校等が好きか
・Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い
・Q26F 他人から必要とされている
・Q26G 夢中になれることがある
・Q32B 家族との関係は良好だ

【中2】（7項目）
・Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある
・Q21 学校等が好きか
・Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い
・Q26F 他人から必要とされている
・Q26G 夢中になれることがある
・Q32A 友達との関係は良好だ
・Q32B 家族との関係は良好だ

【17 歳】(8項目)

・Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる

・Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い

・Q26F 他人から必要とされている

・Q26G 夢中になれることがある

・Q32A 友達との関係は良好だ

・Q32B 家族との関係は良好だ

・Q32C 学校の先生等との関係は良好だ

・Q32D 地域の人との関係は良好だ

※回帰分析…ある結果(目的変数 Y)にある要素(説明変数 X)がどのくらい関連性があるのかを明らかにする統計手法。特に、要素(説明変数 X)が複数あるものを重回帰分析という。説明変数と目的変数の間には以下のモデル式が成り立つ。

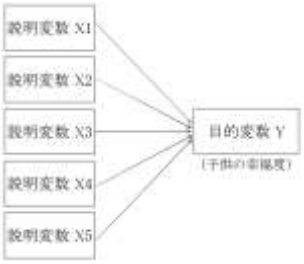
$Y=\beta 0+\beta 1X1+\beta 2X2$ (説明変数が 2 個の例)

・自由度調整済み決定係数(自由度調整済み R2 乗)…データに対するモデル式の当てはまり度合いを表した「決定係数」を補正した数値。一般的には 1 に近いほどモデル式の説明力が高いとされる。

・偏回帰係数…上で示した式の βi (i=1, 2, 3…)の推定値。

・標準偏回帰係数…各変数の単位に依存しない標準化された偏回帰係数。－1から1の間の値をとり、絶対値が1に近いほど、説明変数と目的変数に関連性があることを意味する。符号は関連の向きを表す。

・多重共線性の指標(VIF)…多重共線性とは、2つ以上の説明変数が相関しており、高い線形関係にある状態を指す。この問題を排除する方法として VIF(Variance Inflation Factor)と呼ばれる指標を用いる。



【小3】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.516、有意性は p＜0.001 であり、子供の幸福度を当該の 19 項目で 51.6%説明できていると言える。

図表 3-56 重回帰分析の結果（小3）

n=1018

R	R2乗	調整済み R2乗
0.726	0.527	0.516

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	2.546	0.625		4.076	0.000	
Q26F 他人から必要とされている	0.203	0.026	0.235	7.772	0.000 ***	1.711
Q32B 家族との関係は良好だ	0.207	0.043	0.148	4.858	0.000 ***	1.728
Q26G 夢中になれることがある	0.156	0.032	0.136	4.859	0.000 ***	1.464
Q32A 友達との関係は良好だ	0.136	0.034	0.115	3.953	0.000 ***	1.596
Q32C 学校の先生等との関係は良好だ	0.093	0.034	0.089	2.697	0.007 **	2.031
Q32D 地域の人との関係は良好だ	0.066	0.023	0.084	2.796	0.005 **	1.697
Q25E 安心して相談できる先生等がいる	0.180	0.080	0.063	2.248	0.025 *	1.495
Q25C 学校等で意見が採用される	0.074	0.075	0.030	0.990	0.322	1.710
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	0.022	0.073	0.009	0.300	0.764	1.774
Q38 悩みの相談相手の種類	0.006	0.025	0.006	0.241	0.809	1.303
Q33 居場所の数	−0.016	0.025	−0.017	−0.636	0.525	1.353
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	−0.071	0.095	−0.021	−0.745	0.456	1.424
Q25B 学校等で意見が言える	−0.059	0.080	−0.023	−0.732	0.464	1.858
Q30D 保護者が話を聞いてくれる	−0.140	0.102	−0.038	−1.368	0.172	1.443
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	−0.132	0.082	−0.042	−1.614	0.107	1.240
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	−0.157	0.077	−0.055	−2.032	0.042 *	1.365
Q16C 学ぶことが楽しい	−0.163	0.073	−0.063	−2.231	0.026 *	1.502
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.220	0.094	−0.076	−2.349	0.019 *	1.985
Q21 学校等が好きか	−0.212	0.079	−0.087	−2.676	0.008 **	1.958

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【小5】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.476、有意性は p＜0.001 であり、子供の幸福度を当該の 19 項目で 47.6%説明できていると言える。

図表 3-57 重回帰分析の結果（小 5）

n=962

R	R2乗	調整済み R2乗
0.698	0.487	0.476

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	4.726	0.626		7.549	0.000	
Q32B 家族との関係は良好だ	0.286	0.045	0.218	6.317	0.000 ***	1.979
Q26F 他人から必要とされている	0.155	0.024	0.201	6.559	0.000 ***	1.550
Q26G 夢中になれることがある	0.159	0.028	0.164	5.672	0.000 ***	1.391
Q32A 友達との関係は良好だ	0.062	0.035	0.056	1.785	0.075	1.658
Q32D 地域の人との関係は良好だ	0.036	0.023	0.049	1.569	0.117	1.646
Q25C 学校等で意見が採用される	0.081	0.081	0.035	0.992	0.321	2.009
Q33 居場所の数	0.016	0.026	0.018	0.615	0.539	1.391
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.002	0.072	−0.001	−0.023	0.982	1.616
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	−0.013	0.098	−0.004	−0.136	0.892	1.453
Q16C 学ぶことが楽しい	−0.027	0.063	−0.013	−0.430	0.667	1.451
Q38 悩みの相談相手の種類	−0.013	0.026	−0.015	−0.510	0.610	1.449
Q25B 学校等で意見が言える	−0.038	0.085	−0.016	−0.452	0.651	2.059
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	−0.070	0.075	−0.027	−0.940	0.347	1.350
Q25E 安心して相談できる先生等がいる	−0.071	0.071	−0.031	−0.993	0.321	1.577
Q30D 保護者が話を聞いてくれる	−0.171	0.116	−0.045	−1.480	0.139	1.515
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	−0.137	0.078	−0.049	−1.750	0.080	1.313
Q32C 学校の先生等との関係は良好だ	−0.047	0.034	−0.049	−1.380	0.168	2.118
Q21 学校等が好きか	−0.284	0.075	−0.135	−3.765	0.000 ***	2.134
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.402	0.094	−0.156	−4.300	0.000 ***	2.195

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【中2】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.608、有意性は p＜0.001 であり、子供の幸福度を当該の 19 項目で 60.8%説明できていると言える。

図表 3-58 重回帰分析の結果（中2）

n=887

R	R2乗	調整済み R2乗
0.785	0.617	0.608

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	4.444	0.584		7.615	0.000	
Q26F 他人から必要とされている	0.257	0.026	0.312	9.951	0.000 ***	2.085
Q32B 家族との関係は良好だ	0.215	0.038	0.191	5.608	0.000 ***	2.451
Q32A 友達との関係は良好だ	0.129	0.036	0.117	3.558	0.000 ***	2.293
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	0.158	0.071	0.056	2.230	0.026 *	1.333
Q26G 夢中になれることがある	0.057	0.027	0.054	2.103	0.036 *	1.384
Q32D 地域の人との関係は良好だ	0.015	0.023	0.018	0.651	0.515	1.649
Q32C 学校の先生等との関係は良好だ	0.013	0.035	0.013	0.377	0.707	2.603
Q25C 学校等で意見が採用される	0.035	0.093	0.013	0.379	0.705	2.468
Q33 居場所の数	0.013	0.027	0.012	0.479	0.632	1.300
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	0.026	0.068	0.011	0.386	0.699	1.604
Q25E 安心して相談できる先生等がいる	0.017	0.074	0.007	0.229	0.819	1.898
Q16C 学ぶことが楽しい	−0.039	0.059	−0.016	−0.659	0.510	1.329
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	−0.081	0.091	−0.022	−0.892	0.373	1.239
Q38 悩みの相談相手の種類	−0.041	0.028	−0.038	−1.448	0.148	1.433
Q25B 学校等で意見が言える	−0.113	0.094	−0.043	−1.200	0.231	2.669
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	−0.132	0.080	−0.046	−1.644	0.101	1.633
Q30D 保護者が話を聞いてくれる	−0.205	0.107	−0.058	−1.921	0.055	1.917
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.348	0.104	−0.123	−3.344	0.001 ***	2.866
Q21 学校等が好きか	−0.346	0.078	−0.145	−4.422	0.000 ***	2.286

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【17歳】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.593、有意性は p＜0.001 であり、子供の幸福度を当該の 19 項目で 59.3%説明できていると言える。

図表 3-59 重回帰分析の結果（17 歳）

n=1009

R	R2乗	調整済み R2乗
0.775	0.601	0.593

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	2.907	0.519		5.598	0.000	
Q26F 他人から必要とされている	0.232	0.025	0.281	9.218	0.000 ***	2.046
Q26G 夢中になれることがある	0.169	0.025	0.177	6.646	0.000 ***	1.557
Q32C 学校の先生等との関係は良好だ	0.160	0.038	0.157	4.185	0.000 ***	3.096
Q32B 家族との関係は良好だ	0.173	0.035	0.156	4.971	0.000 ***	2.167
Q32A 友達との関係は良好だ	0.130	0.035	0.124	3.751	0.000 ***	2.399
Q25E 安心して相談できる先生等がいる	0.060	0.077	0.023	0.769	0.442	1.931
Q25B 学校等で意見が言える	0.058	0.096	0.020	0.597	0.551	2.441
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	0.035	0.078	0.011	0.446	0.656	1.306
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	0.013	0.065	0.005	0.204	0.839	1.337
Q16C 学ぶことが楽しい	−0.002	0.062	−0.001	−0.039	0.969	1.301
Q25C 学校等で意見が採用される	−0.018	0.087	−0.006	−0.202	0.840	2.230
Q38 悩みの相談相手の種類	−0.017	0.034	−0.012	−0.513	0.608	1.287
Q33 居場所の数	−0.024	0.030	−0.019	−0.792	0.428	1.209
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.069	0.065	−0.028	−1.060	0.290	1.527
Q30D 保護者が話を聞いてくれる	−0.131	0.094	−0.036	−1.396	0.163	1.498
Q21 学校等が好きか	−0.168	0.086	−0.065	−1.952	0.051	2.450
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	−0.202	0.073	−0.073	−2.772	0.006 **	1.514
Q32D 地域の人との関係は良好だ	−0.085	0.024	−0.103	−3.483	0.001 ***	1.942
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.298	0.103	−0.104	−2.898	0.004 **	2.859

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

（4）他調査比較

他調査と比較可能な設問について比較を行った。

① CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020

（調査概要）

・調査時期 ： 2016 年～2019 年

・対 象 者 ： 35 か国の8歳、10 歳、12 歳

・回 答 数 ： 8歳（32,608 人）、10 歳（49,427 人）、12 歳（46,149 人）。合計 128,184 人

・調査方法 ： 学校に調査員が訪問し、紙で回答（電子での回答を実施、または併用した国もある）

＜地域とのつながり＞

【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】

How much do you agree with each of these sentences about your local area? （10 歳）

（あなたの住む地域について、それぞれの文章はどのくらいあてはまりますか）

- In my area there are enough places to play and have a good time
  （私の住んでいる地域には、楽しく遊べる場所がたくさんある）
- If I have a problem, there are people in my local area who will help me
  （困った時に地域に助けてくれる人がいる）
- Adults in my local area are kind to children
  （地域の大人は子供に優しい）
- Adults in my area listen to children and take them seriously
  （地域の大人は子供の話をよく聞き、真剣に受け止めてくれる）

【とうきょう こども アンケート】

問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）（小5）

A 私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある

B 私が困っていたら近所の人が助けてくれる

C 近所の大人たちは私にやさしい

D 大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる

「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における各国と本調査を比較すると、「Adults listen」については 52％で2位の水準である。「Places to play」は 58％、「Adults kind」は 54％で平均程度の水準にある。一方、「Adults support」は、全体平均を下回っている。

図表 3-60 地域とのつながり ＜単一回答＞

Places to play 遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある			Adults support 困っていたら近所の人が助けてくれる			Adults kind 近所の大人たちはやさしい			Adults listen 大人たちが話をきちんと聞いてくれる		
1位	エストニア	70%	1位	スリランカ	59%	1位	クロアチア	64%	1位	スリランカ	57%
2位	スイス	70%	2位	スイス	57%	2位	スリランカ	63%		**東京（本調査）**	**52%**
3位	チリ	67%	3位	アルバニア	57%	3位	アルバニア	62%	2位	チリ	52%
4位	スリランカ	66%	4位	チリ	57%	4位	フィンランド	62%	3位	台湾	51%
5位	クロアチア	65%	5位	ネパール	52%	5位	スイス	61%	4位	スイス	50%
6位	ハンガリー	65%	6位	台湾	51%	6位	チリ	60%	5位	マルタ	46%
7位	ポーランド	63%	7位	ベトナム	51%	7位	ベルギー（フランドル）	59%	6位	南アフリカ	45%
8位	イスラエル	61%	8位	フランス	50%	8位	マルタ	58%	7位	ネパール	44%
9位	ギリシャ	60%	9位	クロアチア	49%	9位	台湾	56%	8位	ハンガリー	43%
10位	アルバニア	60%	10位	アルジェリア	48%	10位	アルジェリア	56%	9位	インドネシア	43%
									10位	英国（イングランド）	43%
…			…			…			…		
	東京（本調査）	**58%**		**東京（本調査）**	**35%**		**東京（本調査）**	**54%**			
平均	54%		平均	46%		平均	52%		平均	40%	

※令和6年調査の東京の結果

遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある			困っていたら近所の人が助けてくれる			近所の大人たちはやさしい			大人たちが話をきちんと聞いてくれる		
	東京（本調査）	63%		**東京（本調査）**	37%		**東京（本調査）**	56%		**東京（本調査）**	56%

※平均は「CHILDREN’S WORLDS REPORT 2020」の Table 7.2 の平均であり、本調査の結果は含まれていない。

※「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」では「totally agree」～「not agree」の5段階評価、本調査は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階評価であり、「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における「totally agree」の割合と本調査における「そう思う」の割合で比較を行っている。

＜家庭との関係性＞

【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】

How much do you agree with each of these sentences?（10 歳）

（それぞれの文章はあなたにどのくらいあてはまりますか）

・We have a good time together in my family

（家族で一緒に楽しい時間を過ごしている）

・I feel safe at home

（家にいると安心する）

・My parent/s listen to me and take what I say into account

（両親は私の言うことをよく聞き、私が言うことを考慮してくれる）

・My parent/s and I make decisions about my life together

（私の人生について両親と一緒に決めている）

【とうきょう こども アンケート】

問 30　あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（小5）

Ａ　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている

Ｂ　家では安心して過ごしている

Ｃ　私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている

Ｄ　親／保護者は私の話を聞いてくれる

「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における各国と本調査を比較すると、「Parents listen」については、本調査では 76％で2位相当である。「Have a good time」は本調査では 71％、「Feel safe」は本調査では 82％で全体平均を上回る。「Parents joint decisions」については 48％で全体平均を下回っている。

図表 3-61 家庭との関係性 ＜単一回答＞

Have a good time 家族と一緒に心地よい時間を過ごしている			Feel safe 家では安心して過ごしている			Parents joint decisions 私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている			Parents listen 親／保護者は私の話を聞いてくれる		
1位	エストニア	81%	1位	ポーランド	90%	1位	スリランカ	78%	1位	スリランカ	78%
2位	スリランカ	81%	2位	エストニア	88%	2位	アルバニア	68%		**東京（本調査）**	**76%**
3位	アルバニア	80%	3位	ハンガリー	87%	3位	ルーマニア	67%	2位	インド	68%
4位	ハンガリー	76%	4位	アルバニア	85%	4位	エストニア	66%	3位	イスラエル	68%
5位	ノルウェー	75%	5位	ノルウェー	84%	5位	アルジェリア	65%	4位	ハンガリー	67%
6位	アルジェリア	75%	6位	スイス	83%	6位	ノルウェー	65%	5位	ノルウェー	67%
7位	クロアチア	74%	7位	クロアチア	83%	7位	ポーランド	65%	6位	アルジェリア	65%
8位	ポーランド	73%	8位	ギリシャ	83%	8位	ナミビア	64%	7位	フィンランド	62%
9位	ギリシャ	73%	9位	フィンランド	83%	9位	イスラエル	64%	8位	チリ	62%
10位	マルタ	73%	10位	スリランカ	83%	10位	マレーシア	64%	9位	エストニア	60%
									10位	スイス	60%
…			…			…			…		
	東京（本調査）	**71%**		**東京（本調査）**	**82%**		**東京（本調査）**	**48%**			
平均	66%		平均	76%		平均	55%		平均	56%	

※令和6年の東京の結果

家族と一緒に心地よい時間を過ごしている			家では安心して過ごしている			私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている			保護者は私の話を聞いてくれる		
	東京（本調査）	72%		**東京（本調査）**	84%		**東京（本調査）**	50%		**東京（本調査）**	78%

※平均は「CHILDREN’S WORLDS REPORT 2020」の Table 4.2 の平均であり、本調査の結果は含まれていない。

※「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」では「totally agree」～「not agree」の5段階評価、本調査は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４段階評価であり、「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における「totally agree」の割合と本調査における「あてはまる」の割合で比較を行っている。

② 日本財団「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」

（調査概要）

・調査時期 ： 2024 年2月 22 日（木）～3月5日（火）

・対 象 者 ： 日本・米国・英国・中国・韓国・インドの 17 歳～19 歳男女

・回 答 数 ： 各国 1,000 人

・調査方法 ： インターネット

＜社会貢献意欲＞

【日本財団「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」
自国について・自身と社会の関わりについて（17 歳～19 歳）
以下の項目に同意しますか。
・ボランティア活動に参加したい
・政治や選挙、社会問題について、関心がある
・政治選挙社会問題について家族や友人と議論することがある
・自分の行動で、国や社会を変えられると思う
・機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う

【とうきょう こども アンケート】
問 15 あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）（17 歳）
B ボランティアをしたいと思う
C 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある
D 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している
F 自分の行動で社会を変えられると思う
G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う

「社会課題について関心がある」については、本調査では 65.8％であり、「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」における「日本」（56.5％）よりも 9.3 ポイント高い。

「社会課題について家族や友達と積極的に議論している」は、本調査では 39.5％であり、「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」における「日本」（50.5％）よりも 11.0 ポイント低い。

図表 3-62 社会貢献意欲 ＜単一回答＞

	ボランティア活動に参加したい ボランティアをしたいと思う	政治や選挙、社会問題について、関心がある 社会課題（SDGs・環境問題・いじめや差別の問題など）について関心がある	政治選挙社会問題について家族や友人と議論することがある 社会課題（SDGs・環境問題・いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している	自分の行動で、国や社会を変えられると思う 自分の行動で社会を変えられると思う	機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う
日本	60.4% (49.7%)	56.5% (50.0%)	50.5% (34.2%)	45.8% (26.9%)	52.8% (41.7%)
東京都（本調査）	**57.7%** (57.5%)	**65.8%** (68.3%)	**39.5%** (41.0%)	**44.6%** (45.7%)	**57.8%** (58.4%)
アメリカ	76.3%	61.7%	67.3%	65.6%	71.5%
イギリス	68.6%	57.8%	66.3%	56.1%	76.7%
中国	89.8%	81.5%	79.8%	83.7%	72.6%
韓国	70.5%	65.0%	62.6%	60.8%	79.3%
インド	79.2%	62.8%	74.9%	80.6%	76.1%

※選択肢の上段は「18 歳意識調査」の選択肢。下段は本調査の選択肢。

※「18 歳意識調査『第 62 回-国や社会に対する意識（6カ国調査）-』」で「同意」及び「どちらかといえば同意」と回答した割合と、本調査で「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した割合で比較している。

※日本の下段カッコ書き数値は、2022 年実施の「18 歳意識調査」の数値。

※東京都の下段カッコ書き数値は、令和6年調査の数値。

③ PISA 2022

（調査概要）

・調査時期 ： 2022 年6月から8月
（新型コロナウイルス感染症の影響で、2021 年に予定されていた調査を 2022 年に延期して実施）

・対 象 者 ： 81 か国・地域（OECD 加盟 37 か国、非加盟 44 か国・地域）の 15 歳、約 69 万人

・回 答 数 ： 日本では、全国の高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校の 1 年生のうち、
国際的な規定に基づき抽出された 183 校（学科）、約 6,000 人が調査に参加

・調査方法 ： 学校のパソコンを使用したコンピュータ使用型調査

＜生活への満足度＞

【PISA 2022 Results – Volume II　Students' life satisfaction】
ST016　Overall, how satisfied are you with your life as a whole these days?（15 歳）
（全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか。）

【とうきょう こども アンケート】
問 26　あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（中2・17 歳）
（C 今の自分の生活に満足している）

生活への満足度については、本調査の中2は 68.4％、17 歳は 61.1％である。「PISA 2022」の「Satisfied with their lives」における「Japan」（15 歳）は 60.8％であり、本調査の方が中2では 7.6 ポイント高い。また、「OECD average」（15 歳）での満足度は 61.4％であり、本調査の方が中2で 7.0 ポイント高い。

図表 3-63 生活への満足度 ＜単一回答＞

	本調査		PISA2022（Japan）	PISA2022（OECD average）
	中2	17歳	15歳	15歳
生活への満足度	68.4% (67.5%)	61.1% (60.1%)	60.8% (50.0%)	61.4% (67.0%)

※「PISA 2022」、本調査ともに「0」～「10」の 11 段階評価であり、ともに「7」～「10」と回答した割合で比較を行っている。

※本調査の下段カッコ書き数値は、令和6年調査の数値。

※PISA2022 の下段カッコ書き数値は、PISA2018 の数値。

④ HBSC（Health Behaviour in School-aged Children）国際調査　2021/22 年度調査

（調査概要）

・調査時期　：　2021 年 10 月～2022 年 6 月

・対 象 者　：　51 の国と地域の 11 歳、13 歳、15 歳

・回 答 数　：　各国または各地域において、各年齢層ごとに約 1,500 人

・調査方法　：　生徒は鉛筆と紙、または電子調査モードを使用して、学校全体でアンケートに回答

＜精神的健康状態（WHO-5）＞

【HBSC（Health Behaviour in School-aged Children）国際調査　2021/22 年度調査】

How often over the last two weeks they had?（11 歳、13 歳、15 歳）

（過去 2 週間において、以下の頻度はどのくらいありましたか）

・ felt cheerful and in good spirits

（明るく元気な気分）

・ calm and relaxed

（穏やかでリラックスした気分）

・ active and vigorous

（活動的で活力がある気分）

・woken up feeling fresh and rested

（目覚めた時に爽快で休息が取れた気分）

・felt their daily life was filled with things that interested them

（日常生活が興味のあることで満たされていると感じる）

【とうきょう こども アンケート】

問 34. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（小5・中2・17 歳）

A 明るく、楽しい気分で過ごした

B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

C 意欲的で、活動的に過ごした

D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

「HBSC 国際調査　2021/22 年度調査」における各国と本調査を比較すると、11 歳（東京（本調査）は小5）では男性は 76.8 で5位相当、女子は 76.1 で3位相当である。13 歳（東京（本調査）は中2）では男性は 71.5 で6位相当、女性は 67.5 で2位相当である。15 歳（東京（本調査）は 17 歳）では男性は 64.2 で平均以上の水準、女性は 63.0 で3位相当である。

図表 3-64 精神的健康状態（WHO-5） ＜単一回答＞

（平均点 単位：点）

11歳（東京（本調査）は小5）						13歳（東京（本調査）は中2）						15歳（東京（本調査）は17歳）					
男性			女性			男性			女性			男性			女性		
1位	アルバニア	80.1	1位	北マケドニア	76.6	1位	アルバニア	76.8	1位	カザフスタン	67.8	1位	カザフスタン	73.0	1位	グリーンランド	64.7
2位	北マケドニア	79.4	2位	アルバニア	76.5	2位	カザフスタン	76.4		**東京（本調査）**	**67.5**	2位	アルバニア	72.0	2位	カザフスタン	63.2
3位	キルギス	77.9		**東京（本調査）**	**76.1**	3位	キルギス	74.8	2位	キルギス	67.5	3位	キルギス	71.7		**東京（本調査）**	**63.0**
4位	アルメニア	77.2	3位	アルメニア	75.6	4位	アルメニア	74.8	3位	アルバニア	66.9	4位	北マケドニア	71.3	3位	アルメニア	62.4
	東京（本調査）	**76.8**	4位	キルギス	74.1	5位	北マケドニア	74.4	4位	アルメニア	66.7	5位	アルメニア	69.8	4位	キルギス	60.5
5位	カザフスタン	76.8	5位	カザフスタン	73.3		**東京（本調査）**	**71.5**	5位	北マケドニア	66.2	6位	グリーンランド	69.2	5位	アルバニア	60.1
6位	クロアチア	76.1	6位	グリーンランド	71.5	6位	グリーンランド	70.3	6位	グリーンランド	63.0	7位	クロアチア	68.2	6位	北マケドニア	57.1
7位	ギリシャ	75.2	7位	クロアチア	70.0	7位	クロアチア	70.3	7位	モルドバ	61.3	8位	モルドバ	67.0	7位	モルドバ	56.6
8位	ポルトガル	74.7	8位	キプロス	69.8	8位	ポルトガル	69.3	8位	デンマーク	57.9	9位	デンマーク	66.9	8位	デンマーク	56.5
9位	グリーンランド	73.8	9位	モルドバ	69.5	9位	モルドバ	69.1	9位	クロアチア	57.3	10位	アイスランド	65.8	9位	アイスランド	53.1
10位	オランダ	73.0	10位	ギリシャ	69.2	10位	デンマーク	68.9	10位	ノルウェー	56.6				10位	ノルウェー	53.1
…			…			…			…			…			…		
													東京（本調査）	**64.2**			
全平均	70.4		全平均	64.5		全平均	65.8		全平均	53.8		全平均	62.3		全平均	49.4	

（参考）アメリカを除く G7（カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア）との比較

	11歳（東京（本調査）は小5）		13歳（東京（本調査）は中2）		15歳（東京（本調査）は17歳）	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
東京（本調査）	76.8	76.1	71.5	67.5	64.2	63.0
カナダ	69.8	61.1	65.8	51.7	59.0	47.7
イギリス	64.1	52.3	59.7	43.6	56.8	39.3
フランス	66.3	60.4	59.0	48.8	59.0	45.6
ドイツ	67.3	62.6	62.0	51.1	58.3	46.6
イタリア	66.9	57.2	63.4	47.1	55.8	40.1

※平均点は「HBSC 国際調査 2021/22 年度調査」の平均点であり、本調査の結果は含まれていない。

※「HBSC 国際調査 2021/22 年度調査」では、「all the time」：20 点～「at no time」：0点とし、5項目×20 点満点の合計スコアを 0～100 点で算出している。本調査では「いつも」：5点～「全くない」：0点とし、5項目×5点満点で算出したスコアに4をかけることで「HBSC 国際調査 2021/22 年度調査」のスコアと比較を行っている。

⑤ 内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」

（調査概要）

・調査時期 ： 令和4年（2022 年）11 月 10 日～25 日

・対 象 者 ： 令和4年4月1日現在、10 歳～39 歳の男女 20,000 人

・回 答 数 ： 10 歳～39 歳：8,555 人（うち、10 歳～14 歳：1,520 人、15 歳～39 歳：7,035 人）

・調査方法 ： 郵送法（オンライン回答併用）

＜社会貢献意欲＞

【内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」】
問 10 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（1つだけ）（11 歳・14 歳）

【とうきょう こども アンケート】
問 15 あなたは次のことについてどう思いますか。（小5・中2）
（A 将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う）

「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」の 11 歳では「そう思う」が 46.3％で、本調査の小5（52.3％）が 6.0 ポイント高い。また、「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」の 14 歳では「そう思う」が 42.5％で、本調査の中2では 42.5％である。

図表 3-65 社会貢献意欲 ＜単一回答＞

内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）	社会のために役立つことをしたい	
	11歳	46.3%
	14歳	42.5%
本調査	将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う	
	小5	52.3% (53.1%)
	中2	42.5% (40.9%)

※本調査の下段カッコ書き数値は、令和6年調査の数値。

※「こども・若者の意識と生活に関する調査」、本調査ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階評価であり、ともに「そう思う」と回答した割合で比較している。

⑥ 21 世紀出生児縦断調査

比較に使用した縦断調査は以下のとおり。

○ 第9回（令和元年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）

（調査概要）

・調査時期 ： 令和元年5月 25 日

・対 象 者 ： 全国の平成 22 年（2010 年）5月 10 日から同月 24 日の間に出生した9歳（小学3年生）

27,397 人

・回 答 数 ： 24,204 人

・調査方法 ： 郵送法

○ 第 11 回（令和3年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）

（調査概要）

・調査時期 ： 令和3年5月 25 日

・対 象 者 ： 全国の平成 22 年（2010 年）5月 10 日から同月 24 日の間に出生した 11 歳（小学5年生）

25,362 人

・回 答 数 ： 23,216 人

・調査方法 ： 郵送法（オンライン回答併用）

○ 第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）

（調査概要）

・調査時期 ： 令和6年5月 25 日

・対 象 者 ： 全国の平成 22 年（2010 年）5月 10 日から同 24 日の間に出生した 14歳（中学2年生）

24,672 人

・回 答 数 ： 20,295 人

・調査方法 ： 郵送法（オンライン回答併用）

＜学校で勉強したことが役立つか＞

【第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】
問 10　あなたは、学校生活に満足していますか。（14 歳）
①～⑥の各項目について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。
（⑤学校の勉強は将来役に立つと思う）

【とうきょう こども アンケート】
問 16　あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）（中2）
（A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ）

「第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では、「学校の勉強は将来役に立つと思う」が 79.1％である。本調査の中2では、「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」が 88.3％であり、本調査の方が 9.2 ポイント高い。

図表 3-66　学校で勉強したことが役立つか　＜単一回答＞

第14回（令和6年）21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）（14歳）	学校の勉強は将来役に立つと思う
	79.1%
本調査（中2）	学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ
	88.3% (85.0%)

※「第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の4段階評価、本調査では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階評価であり、21 世紀出生児縦断調査の「とてもそう思う」及び「まあそう思う」と回答した割合と、本調査で「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した割合で比較している。
※本調査の下段カッコ書き数値は、令和6年調査の数値。

＜希望する進路＞

【第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問 13　あなたは現在、将来について考えていますか。「進路」「結婚」「最初の子どもを持つ時期」それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。（14 歳）

（進路）

・中学卒業後に働くことを考えている

・中学卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている

・高校卒業後に働くことを考えている

・高校卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている

・大学卒業後に働くことを考えている

・具体的にはまだ考えていない

【とうきょう こども アンケート】

問 17　あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）（中2）

・中学卒業後

・高校卒業後

・短大・専門学校卒業後

・大学卒業後

・大学院（大学よりも上の学校）卒業後

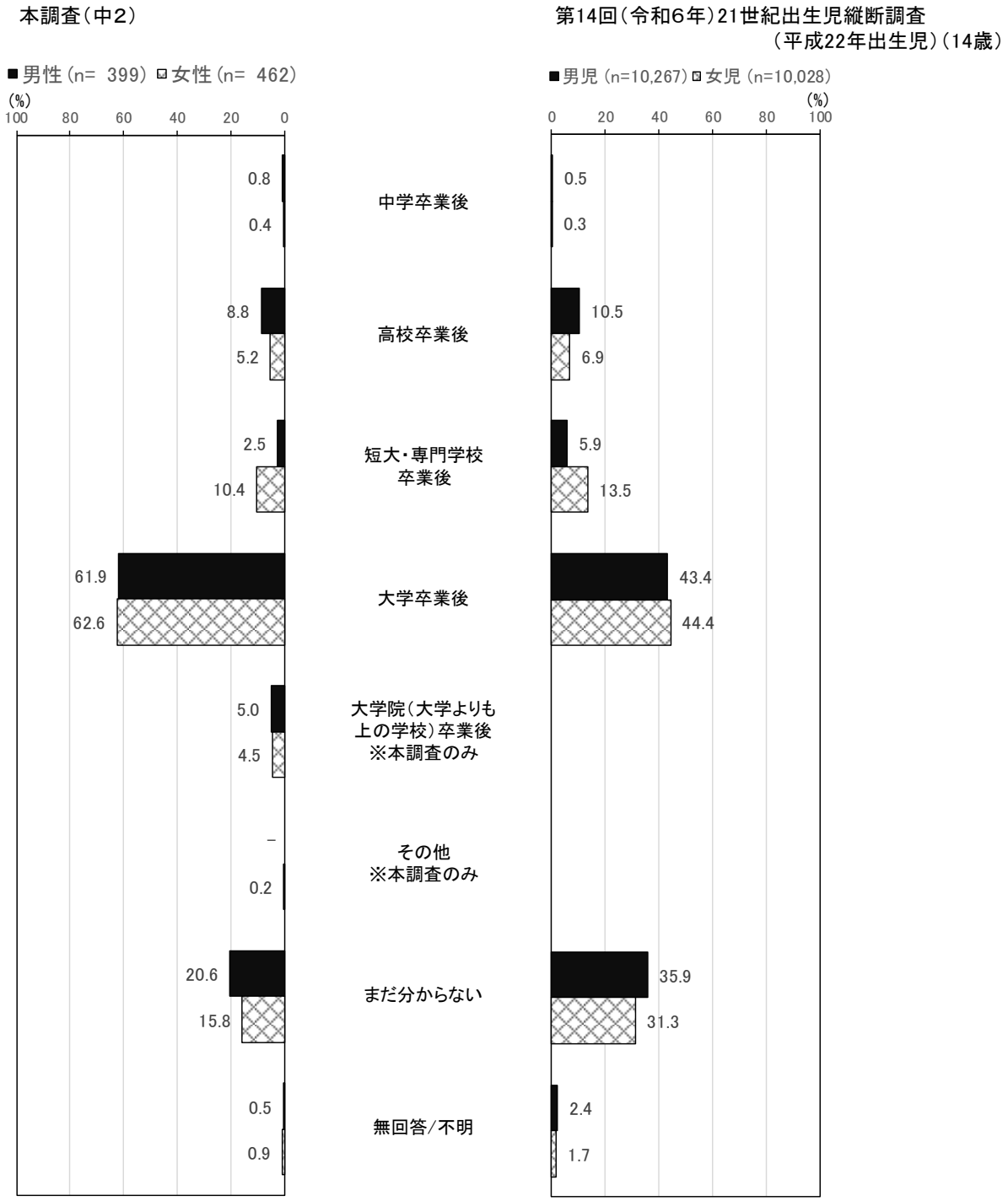
・その他

・まだ分からない

「第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では、「具体的にはまだ考えていない」が男児は 35.9％、女児は 31.3％であり、それぞれ本調査より 15.3 ポイント、15.5 ポイント高い。

本調査では、「大学卒業後」が男性は 61.9％、女性は 62.6％で男女とも最も高く、「第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」と比べて、男性は 18.5 ポイント、女性は 18.2 ポイント高い。

図表 3-67 希望する進路 ＜単一回答＞



※本調査では、「男性」「女性」「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」の3区分であるが、「第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では「男児」「女児」の2区分のため、「男性」「女性」についての比較のみ行う。

＜起きる時間・寝る時間＞

【第9回（令和元年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問4 平成 22 年5月生まれのお子さんの朝起きる時間と夜寝る時間について、登校日と土・日曜日別にそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。（9 歳）

【第 11 回（令和3年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問 15 あなたの朝起きる時間と夜寝る時間は何時ごろですか。
登校日と土・日曜日別にそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。（11 歳）

【第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問3 あなたの起きる時間、寝る時間は何時頃ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（14 歳）
※平日は曜日によって、起きる時間、寝る時間が異なる場合は、最も多い時間帯としてください。

＜登校日の朝起きる時間＞
- 午前5時前（第 14 回のみ）
- 午前5時～5時 29 分（第 14 回のみ）
- 午前5時 30 分～5時 59 分（第 14 回のみ）
- 午前6時前（第9回、第 11 回のみ）
- 午前6時～6時 29 分
- 午前6時 30 分～6時 59 分
- 午前7時～7時 29 分
- 午前7時 30 分～7時 59 分
- 午前8時～8時 29 分
- 午前8時 30 分～8時 59 分
- 午前9時以降
- 起きる時間は決まっていない
（第9回：寝る時間は不規則である）

＜登校日の夜寝る時間＞
- 午後9時前
- 午後9時～9時 29 分
- 午後9時～9時 29 分
- 午後9時 30 分～9時 59 分
- 午後 10 時～10 時 29 分
- 午後 10 時 30 分～10 時 59 分
- 午後 11 時～11 時 29 分
- 午後 11 時 30 分～11 時 59 分
- 午前0時以降（第9回、第 11 回のみ）
- 午前0時～0時 29 分（第 14 回のみ）
- 午前0時 30 分～0時 59 分（第 14 回のみ）
- 午前1時以降（第 14 回のみ）
- 寝る時間は決まっていない
（第9回：寝る時間は不規則である）

【とうきょう こども アンケート】

問 39 あなたは、平日（学校がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ） （小3・小5・中2）

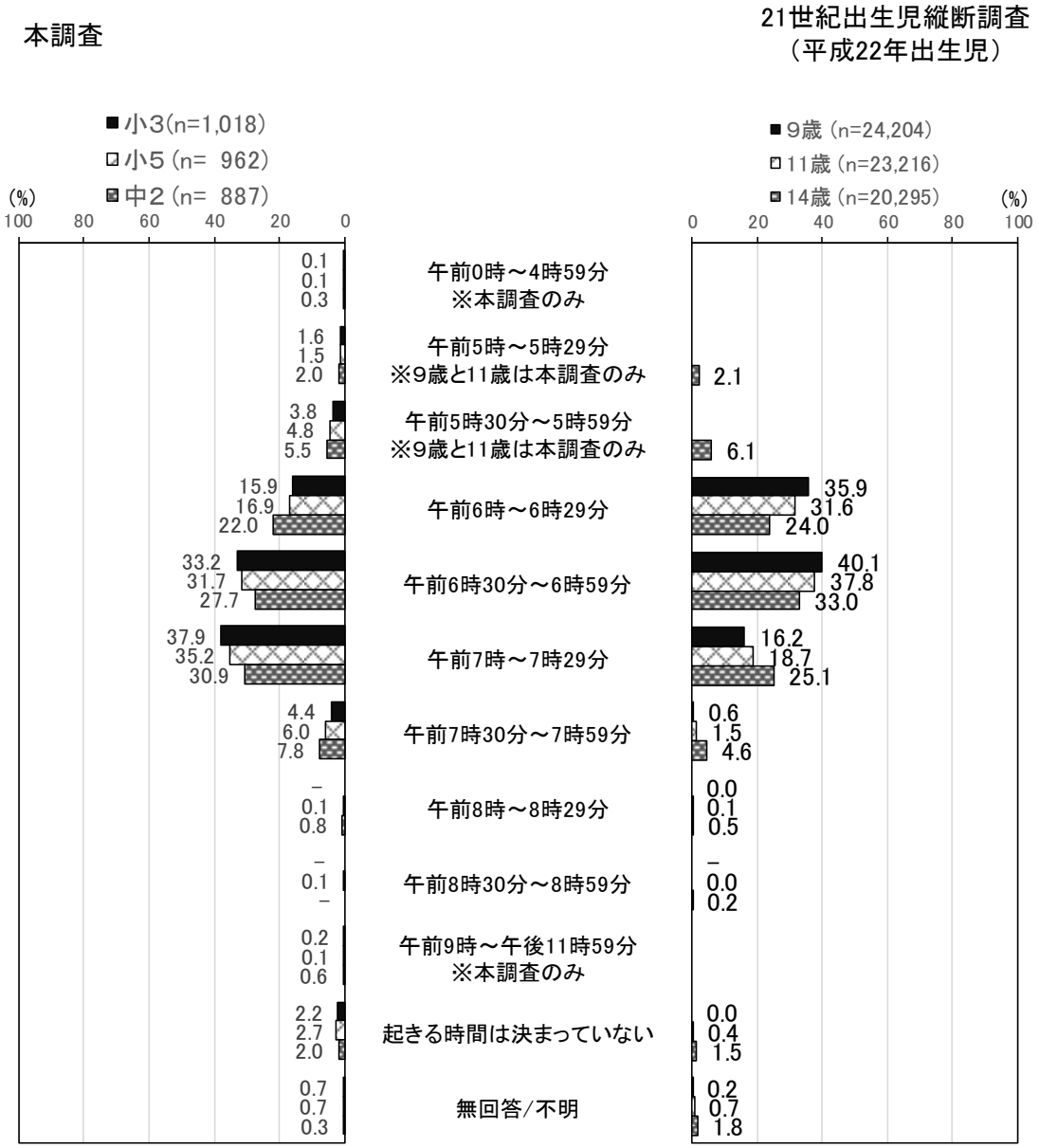
A 起きる時間
- 午前0時～4時 59 分
- 午前5時～5時 29 分
- 午前5時 30 分～5時 59 分
- 午前6時～6時 29 分
- 午前6時 30 分～6時 59 分
- 午前7時～7時 29 分
- 午前7時 30 分～7時 59 分
- 午前8時～8時 29 分
- 午前8時 30 分～8時 59 分
- 午前9時～午後 11 時 59 分
- 起きる時間は決まっていない

B 寝る時間
- 午後0時(正午)～午後7時 59 分
- 午後8時～午後8時 29 分
- 午後8時 30 分～午後8時 59 分
- 午後9時～9時 29 分
- 午後9時 30 分～9時 59 分
- 午後 10 時～10 時 29 分
- 午後 10 時 30 分～10 時 59 分
- 午後 11 時～11 時 29 分
- 午後 11 時 30 分～11 時 59 分
- 午前0時～午前0時 29 分
- 午前0時 30 分～0時 59 分
- 午前1時～午前 11 時 59 分
- 寝る時間は決まっていない

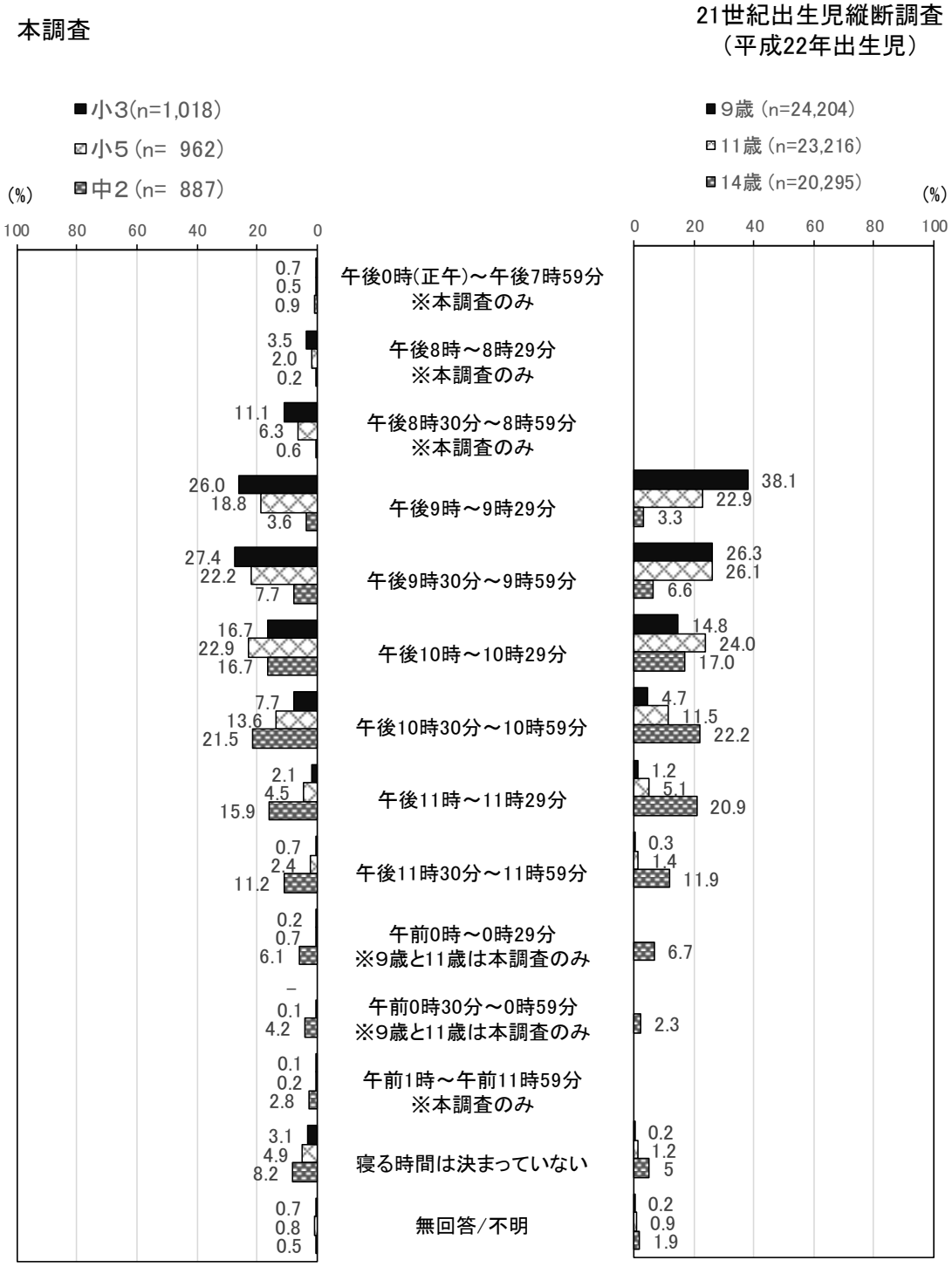
「起きる時間」は、「21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」においては、いずれの年代も「午前6時 30 分～6時 59 分」が最も高い。本調査では、小3・小5・中2のいずれも「午前7時～7時 29 分」が最も高い。

「寝る時間」は、「21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」においては、9歳では「午後9時～9時 29 分」が、11 歳では「午後9時 30 分～9時 59 分」が、14 歳では「午後 10 時 30 分～10 時 59 分」の割合がそれぞれ最も高い。本調査においては、小3では「午後9時 30 分～9時 59 分」が、小5では「午後 10 時～10 時 29 分」が、中2では「午後 10 時 30 分～10 時 59 分」の割合が、それぞれ最も高い。

図表 3-68 起きる時間 ＜単一回答＞



図表 3-69 寝る時間 ＜単一回答＞



⑦ こども家庭庁「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」

（調査概要）

・調査時期 ： 令和6年(2024 年)11 月1日～12 月 16 日

・対 象 者 ： 令和6年 11 月1日現在、10 歳～17 歳の男女 5,000 人

・回 答 数 ： 3,129 人

・調査方法 ： 個別面接聴取法・訪問配布訪問回収法・訪問配布オンライン回答・郵送回収の併用

＜スマートフォン所有状況＞

【こども家庭庁「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」】

Q1-2 インターネットを利用している機器をすべてえらんでください。（いくつでも）（10～17 歳）

A スマートフォン（子供向けスマートフォン、青少年向けスマートフォン等を含む）

B 契約していないスマートフォン（保護者や兄姉等のおさがり、Wi-Fｉのみの利用等）

【とうきょう こども アンケート】

問 29 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。

（それぞれ１つ）（小3・小5・中2）

（B スマートフォン）

・自由に使える

・ルールや制限はあるが使える

・自宅にあるが使えない

・自宅にあるが使うことがない

・自宅にない

こども家庭庁「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」において、インターネットを利用する機器として「スマートフォン」と回答した割合は 11 歳男性で 59.0%、女性で 73.1%。14 歳男性で 89.4%、女性で 90.8%。17 歳男性で 98.0%、女性で 99.0%である。本調査でスマートフォンを「自由に使える」または「制限はあるが使える」と回答した割合は、小5男性で 60.4%、女性で 68.5%。中2男性で 93.2%、女性で 96.3%。17 歳男性で 97.9%、女性で 99.0%である。

図表 3-70 スマートフォン所有状況

＜本調査は単一回答、こども家庭庁調査は複数回答＞

（%）

	本調査			こども家庭庁 令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査		
スマートフォン	小5	男性	60.4	11歳	男性	59.0
		女性	68.5		女性	73.1
	中2	男性	93.2	14歳	男性	89.4
		女性	96.3		女性	90.8
	17歳	男性	97.9	17歳	男性	98.0
		女性	99.0		女性	99.0

※スマートフォンは、本調査問 29B スマートフォンを「自由に使える」「ルールや制限はあるが使える」の合計と、こども家庭庁「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」のQ1－2インターネットを利用している機器の「スマートフォン（計）」を比較している。

⑧ スポーツ庁「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

調査概要

・調査時期 ： 令和6年4月～7月

・対 象 者 ：

①小学校、義務教育、学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員 992,126 人

②中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部の2年生全員 909,274 人

・回 答 数 ： ①981,865 人

②869,813 人

・調査方法 ： 質問紙調査

＜スクリーンタイム＞

【スポーツ庁「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」】

質問8平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1 日にどのくらいの時間、テレビや DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（小学生（5年生）・中学生（2年生））

・5時間以上

・4時間以上5時間未満

・3時間以上4時間未満

・2時間以上3時間未満

・1時間以上2時間未満

・1時間未満

・全く見ない

【とうきょう こども アンケート】

問 41 あなたが平日（学校がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。 学校の授業で見る時間は除きます。（1つだけ）（小5・中2）

・全く見ない、利用しない

・1時間未満

・1時間～2時間未満

・2時間～3時間未満

・3時間～4時間未満

・4時間～5時間未満

・5時間～6時間未満

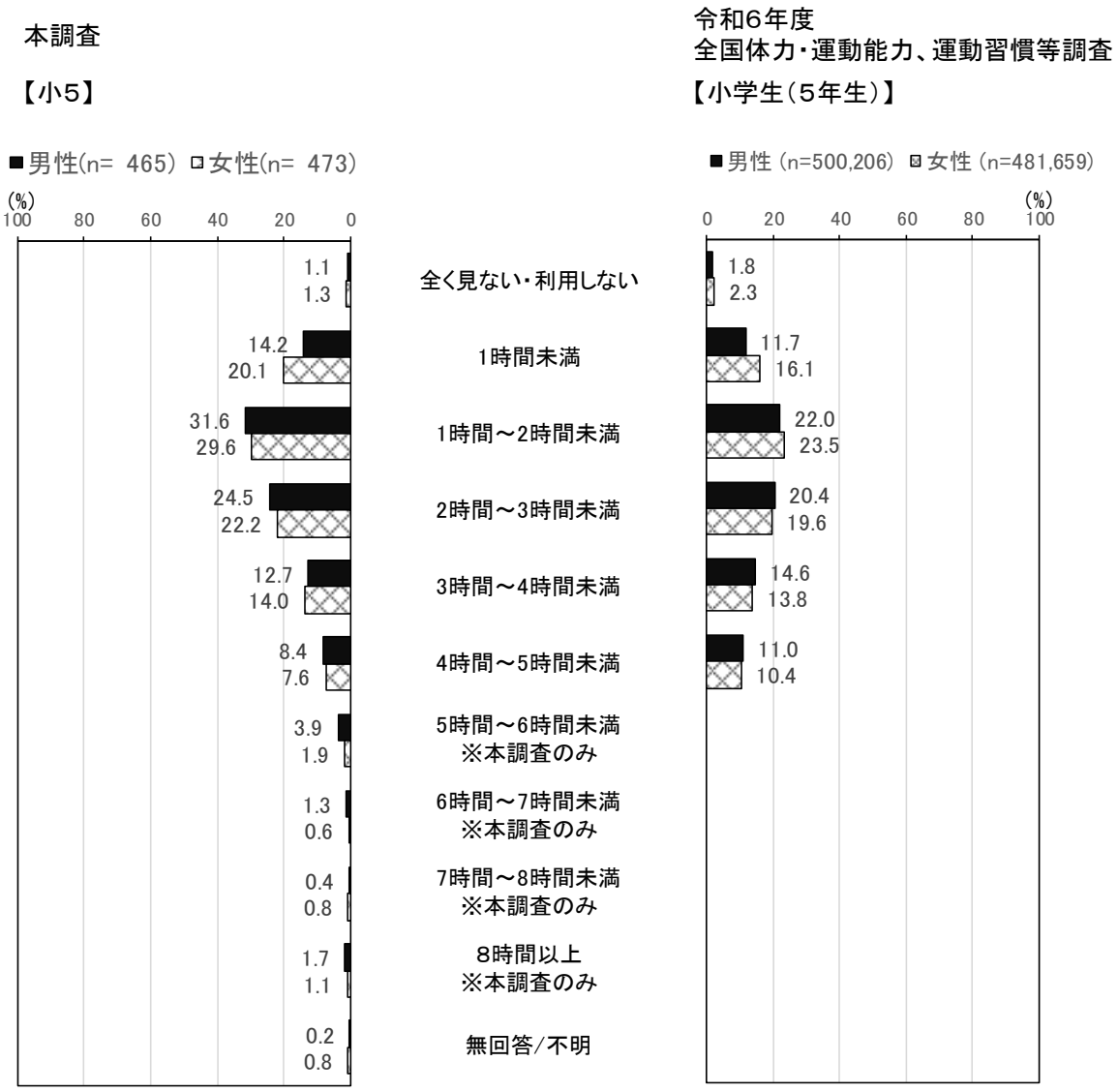
・6時間～7時間未満

・7時間～8時間未満

・8時間以上

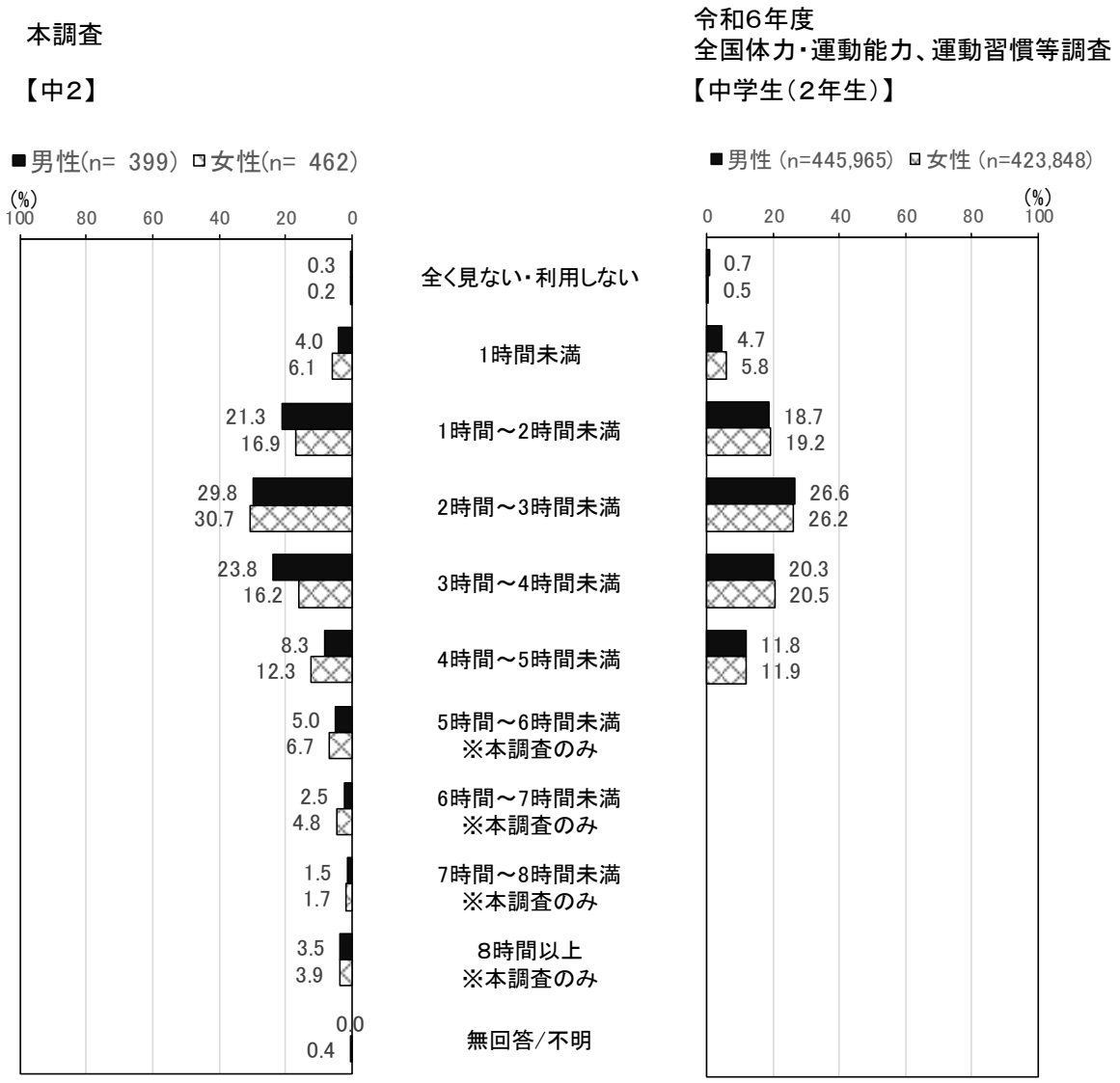
平日にテレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間は、「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、小学生（5年生）は男女とも「1時間以上2時間未満」の割合が最も高く、中学生（2年生）は、男女とも「2時間以上3時間未満」の割合が最も高い。本調査の小5では、男女とも「1時間～2時間未満」の割合が、中2では「2時間～3時間未満」の割合が最も高い。

図表 3-71 スクリーンタイム（小学生） ＜単一回答＞



※本調査では、「男性」「女性」「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」の3区分であるが、「スポーツ庁「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では「男性」「女性」の2区分のため、「男性」「女性」についての比較のみ行う。

図表 3-72 スクリーンタイム（中学生） ＜単一回答＞



※本調査では、「男性」「女性」「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」の3区分であるが、「スポーツ庁「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では「男性」「女性」の2区分のため、「男性」「女性」についての比較のみ行う。

⑨ 東京大学未来ビジョン研究センターによる調査／SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」

比較に使用した調査は以下のとおり。

○ 東京大学未来ビジョン研究センターによる調査

（調査概要）

・調査時期 ： 2020 年年6月 22 日～25 日

・対 象 者 ： 20～79 歳男女

・回 答 数 ： 2,400 人

・調査方法 ： 登録モニターに対するインターネット調査

・引 用 元 ： 東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員によるワーキング・ペーパー「日本人の主観的幸福感～何をどのように測るべきか～」

○ SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」

（調査概要）

・調査時期 ： 2024 年7月 26 日～29 日

・対 象 者 ： 18～89 歳男女

・回 答 数 ： 7,471 人

・調査方法 ： インターネット調査

・引 用 元 ：「幸福度研究会報告書 日本社会は幸せか？～多様な幸福感・幸せへの道しるべ～フルバージョン」

＜大人の幸福度＞

【東京大学未来ビジョン研究センターによる調査】

質問文：現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。

【SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」】

質問文：現在、あなたはどの程度、幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸せ」を 0 点として、最も近いと思う点数をお選びください。

【とうきょう こども アンケート】

保護者問 23 あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（共通）

（B 今の自分は幸せだ）

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）の 11 段階

大人の幸福度は、男性をみると、「東京大学未来ビジョン研究センターによる調査」では 50 代が平均値 5.8 で最も高い。「SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」」では 20 代が平均値 6.3 で最も高い。本調査では 30 代が平均値 7.8 で最も高い。女性をみると、「東京大学未来ビジョン研究センターによる調査」では 30 代、40 代が平均値 6.5 で最も高い。「SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」」では 50代が平均値 6.6 で最も高い。本調査では 30 代が平均値 7.9 で最も高い。（※本調査男女ともに 20 代は回答者数が 50 人未満のため比較対象外。）

図表 3-73 大人の幸福度 ＜単一回答＞

（平均値）

		本調査	東京大学未来ビジョン研究センターによる調査	SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」
男性	20代	6.7	5.6	6.3
	30代	7.8	5.5	6.1
	40代	7.4	5.5	6.1
	50代	7.4	5.8	6.1
女性	20代	8.0	6.3	6.5
	30代	7.9	6.5	6.4
	40代	7.5	6.5	6.3
	50代	7.2	6.1	6.6

（n）

		本調査	東京大学未来ビジョン研究センターによる調査	SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」
男性	20代	9	200	446
	30代	138	200	476
	40代	385	200	625
	50代	236	200	656
女性	20代	42	200	430
	30代	867	200	474
	40代	2,060	200	604
	50代	647	200	652

※「東京大学未来ビジョン研究センターによる調査」、「SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」」、本調査いずれも「0」～「10」の 11 段階評価であり、その平均点で比較を行っている。

※「東京大学未来ビジョン研究センターによる調査」、「SOMPOインスティチュート・プラス株式会社「幸福度に関わるアンケート調査」」はいずれも回答者自身の子供の有無は不問。本調査は回答者自身の子供あり。